

### Ⅲ 被害想定について



### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

#### 1. 建物被害想定

##### 1.1 建物データ整理の概要

建物データは、各市町村から固定資産台帳データを収集するとともに、非課税建物データを別途収集した。

建物データは、用途別・年代別・構造別に整理し、基盤地図情報の建物分布から建物面積で按分し、建物データを作成した。年代については、揺れによる建物被害と液状化による建物被害のそれぞれの予測手法で年代区分が異なっていることから、揺れによる建物被害用と液状化による建物被害用の2種類を整理した。

表Ⅲ-1.1-1 建物被害予測に用いた建物データの整理年月

市町村 コード	市区町村名	課税データ	非課税データ	市町村 コード	市区町村名	課税データ	非課税データ
72010	福島市	令和2年4月1日	令和2年4月1日	74446	三島町	令和元年10月1日	－
72028	会津若松市	令和2年10月	令和2年10月	74454	金山町	令和元年	令和元年
72036	郡山市	令和2年1月1日	令和2年3月末	74462	昭和村	令和2年1月1日	－
72044	いわき市	令和2年7月1日	令和2年4月1日	74471	会津美里町	令和2年1月1日	－
72052	白河市	令和2年10月19日	令和2年10月19日	74616	西郷村	令和2年1月1日	令和2年1月
72079	須賀川市	令和2年11月10日	令和2年4月	74641	泉崎村	令和2年1月1日	令和元年10月
72087	喜多方市	令和元年	令和元年	74659	中島村	令和2年1月1日	－
72095	相馬市	令和元年	平成29年	74667	矢吹町	令和元年	令和元年
72109	二本松市	令和2年1月1日	平成31年4月1日	74811	棚倉町	令和2年11月	令和2年10月
72117	田村市	令和2年1月	令和2年1月	74829	矢祭町	令和2年1月1日	－
72125	南相馬市	令和2年1月1日	令和2年1月1日	74837	塙町	令和2年	－
72133	伊達市	令和2年1月1日	令和2年9月	74845	鮫川村	令和2年1月1日	令和2年12月1日
72141	本宮市	令和2年1月1日	－	75019	石川町	令和2年1月1日	令和元年12月1日
73016	桑折町	令和元年	平成30年	75027	玉川村	令和2年1月1日	令和2年1月1日
73032	国見町	令和2年1月1日	平成30年4月1日	75035	平田村	令和2年1月1日	令和2年1月1日
73083	川俣町	平成31年	平成30年	75043	浅川町	令和3年1月1日	平成31年4月1日
73229	大玉村	令和2年1月1日	平成31年	75051	古殿町	令和2年1月1日	平成30年
73423	鏡石町	令和2年1月1日	平成31年3月	75213	三春町	令和2年1月1日	平成30年1月
73440	天栄村	令和2年1月1日	平成27年	75221	小野町	令和元年	平成27年
73628	下郷町	令和元年	平成27年	75418	広野町	令和2年1月1日	平成29年11月1日
73644	檜枝岐村	令和元年8月	－	75426	檜葉町	令和3年1月1日	令和元年10月1日
73679	只見町	令和2年1月1日	平成29年9月1日	75434	富岡町	令和2年1月1日	令和2年1月1日
73687	南会津町	令和2年10月1日	令和2年10月30日	75442	川内村	令和元年6月1日	平成30年6月1日
74021	北塩原村	令和元年	令和2年11月	75451	大熊町	平成31年	平成30年
74055	西会津町	令和3年1月1日	平成27年	75469	双葉町	令和2年1月1日	令和2年11月
74071	磐梯町	令和元年	平成28年	75477	浪江町	令和2年11月	－
74080	猪苗代町	令和2年1月1日	令和2年11月	75485	葛尾村	令和2年8月6日	令和2年11月30日
74217	会津坂下町	令和元年	－	75612	新地町	令和元年12月1日	令和元年6月1日
74225	湯川村	令和2年1月1日	令和2年11月1日	75647	飯館村	令和2年1月1日	平成28年11月1日
74233	柳津町	平成31年	平成30年				

- 1) 黒字の整理年月は、データに記されていたもの
- 2) 赤字の整理年月は、建物データの最終建築年月日の翌月の1日としたもの
- 3) 青字の整理年月は、建物データの最終建築年を記したもの

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

#### 1.2 建物データ作成結果

市町村別の建物構造別・建築年代別棟数について、揺れによる建物被害予測に基づく年代として表Ⅲ-1.2-1に示し、液状化による建物被害予測に基づく年代として表Ⅲ-1.2-2に示す。また、これらを柱状グラフにして図Ⅲ-1.2-1～図Ⅲ-1.2-6に、建物分布図を図Ⅲ-1.2-7～図Ⅲ-1.2-9に示す。

表Ⅲ-1.2-1 市町村別の建物構造別・建築年代別棟数  
(揺れによる建物被害予測に基づく年代)

市町村名	木造						RC造			S造			合計
	1962年 以前	1963～ 71年	1972～ 80年	1981～ 89年	1990～ 2001年	2002年 以降	1971以 前	1972～ 80年	1981年 以降	1971以 前	1972～ 80年	1981年 以降	
福島市	21,220	19,948	30,583	21,179	24,194	21,571	667	1,794	5,938	1,713	5,363	18,702	172,872
会津若松市	10,748	6,874	12,737	9,151	9,845	7,660	422	467	1,201	738	1,750	4,818	66,411
郡山市	15,945	19,638	34,671	23,170	24,674	32,889	878	2,427	12,280	3,233	7,439	25,270	202,513
いわき市	31,395	19,622	34,857	25,537	29,358	30,109	690	1,122	3,905	2,303	5,282	23,707	207,888
白河市	3,130	4,225	9,099	5,219	6,923	5,180	74	110	751	541	1,305	5,038	41,595
須賀川市	3,604	5,065	11,671	5,545	7,815	6,899	73	306	747	731	1,674	5,233	49,363
喜多方市	15,099	5,367	8,178	6,004	6,816	3,906	101	156	241	1,299	1,871	3,600	52,638
相馬市	5,126	2,502	4,339	3,509	4,126	4,041	39	93	193	352	695	2,291	27,306
二本松市	10,045	8,031	12,467	6,553	6,498	4,440	55	209	764	1,782	2,247	4,293	57,384
田村市	7,935	6,715	13,050	5,887	4,704	2,890	25	81	155	2,225	5,272	4,129	53,068
南相馬市	4,219	5,814	11,655	7,743	7,739	6,654	67	75	260	598	1,381	5,717	51,922
伊達市	14,383	7,294	9,998	6,794	7,055	5,139	61	199	568	1,716	1,643	3,436	58,286
本宮市	951	2,207	6,688	2,654	3,519	3,092	12	56	159	482	877	2,403	23,100
桑折町	1,791	1,442	1,603	1,192	1,225	1,096	4	55	71	283	315	862	9,939
国見町	1,623	1,221	1,486	1,107	1,141	812	0	3	10	274	405	731	8,813
川俣町	2,849	2,291	4,354	2,260	1,726	996	10	31	78	717	812	1,179	17,303
大玉村	269	1,076	2,806	925	1,274	1,166	3	13	56	91	285	583	8,547
鏡石町	504	819	1,493	848	1,198	1,337	11	7	38	148	246	908	7,557
天栄村	437	524	1,369	849	1,503	838	1	11	66	222	309	497	6,626
下郷町	2,317	501	856	665	741	346	15	19	64	385	509	604	7,022
檜枝岐村	170	85	237	12	181	63	1	3	7	3	5	24	791
只見町	1,065	435	1,569	571	715	353	35	63	92	43	212	502	5,655
南会津町	4,574	2,007	4,090	3,889	4,095	1,957	32	98	264	332	840	1,964	24,142
北塩原村	286	112	431	209	385	244	4	59	100	35	118	180	2,163
西会津町	2,480	985	2,985	1,326	1,132	591	33	51	54	216	282	389	10,524
磐梯町	1,201	339	557	585	617	311	12	9	79	59	183	423	4,375
猪苗代町	3,241	2,114	2,948	2,295	2,353	1,184	87	132	208	316	667	1,105	16,650
会津坂下町	2,820	1,288	1,461	924	1,043	1,001	30	23	44	275	345	867	10,121
湯川村	436	189	214	152	157	215	3	12	18	64	68	157	1,685
柳津町	1,990	327	582	464	571	197	17	18	48	161	137	205	4,717
三島町	1,297	105	251	275	193	112	4	6	17	30	64	81	2,435
金山町	1,215	271	603	461	406	180	17	35	50	29	156	228	3,651
昭和村	882	217	319	259	357	85	2	5	5	80	93	121	2,425
会津美里町	9,130	2,810	3,237	2,458	2,750	1,593	36	33	58	309	646	1,077	24,137
西郷村	37	453	3,136	1,910	2,286	2,223	21	52	251	68	455	2,019	12,911
泉崎村	32	96	1,430	529	835	646	0	1	28	15	78	547	4,237
中島村	449	457	541	488	668	475	1	3	7	65	82	336	3,572
矢吹町	1,312	1,188	2,263	1,458	1,814	1,795	14	22	41	87	364	1,153	11,511
棚倉町	1,142	1,534	2,680	1,718	1,958	1,264	11	24	56	204	371	982	11,944
矢祭町	7	755	2,753	826	853	570	0	3	2	53	88	293	6,203
塙町	2,096	881	2,063	997	1,312	810	6	4	14	42	130	461	8,816
鮫川村	1,186	425	838	236	382	260	0	0	6	75	66	130	3,604
石川町	1,248	2,672	6,968	1,742	1,535	989	21	45	71	343	737	1,003	17,374
玉川村	957	804	1,021	610	961	596	6	12	49	141	388	582	6,127
平田村	1,875	1,217	1,384	828	805	422	0	4	4	257	739	523	8,058
浅川町	1,113	771	1,286	788	725	537	12	12	17	55	226	423	5,965
古殿町	197	648	3,867	952	777	523	2	15	42	60	230	306	7,619
三春町	2,616	2,399	3,329	2,580	2,251	1,410	12	13	151	701	1,350	1,128	17,940
小野町	545	1,565	4,513	1,221	959	626	9	10	45	272	737	672	11,174
広野町	489	274	479	499	713	524	9	39	51	34	74	426	3,611
楢葉町	205	172	575	494	835	987	9	37	99	8	67	1,027	4,515
富岡町	530	400	569	548	945	884	14	53	139	62	140	906	5,190
川内村	793	492	540	367	372	151	2	7	2	97	234	203	3,260
大熊町	894	593	1,090	836	1,058	631	20	36	83	60	215	844	6,360
双葉町	794	407	1,149	493	613	246	21	62	92	69	210	362	4,518
浪江町	1,387	768	1,459	1,093	1,513	1,011	19	32	57	145	386	708	8,578
葛尾村	168	76	70	122	227	214	29	116	114	0	3	48	1,187
新地町	70	554	2,319	766	865	1,131	16	20	107	128	188	649	6,813
飯館村	11	149	2,064	526	515	587	0	3	11	4	467	640	4,977
総計	204,530	152,210	281,830	173,298	192,806	168,659	3,775	8,406	30,128	24,830	51,521	137,695	1,429,687

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

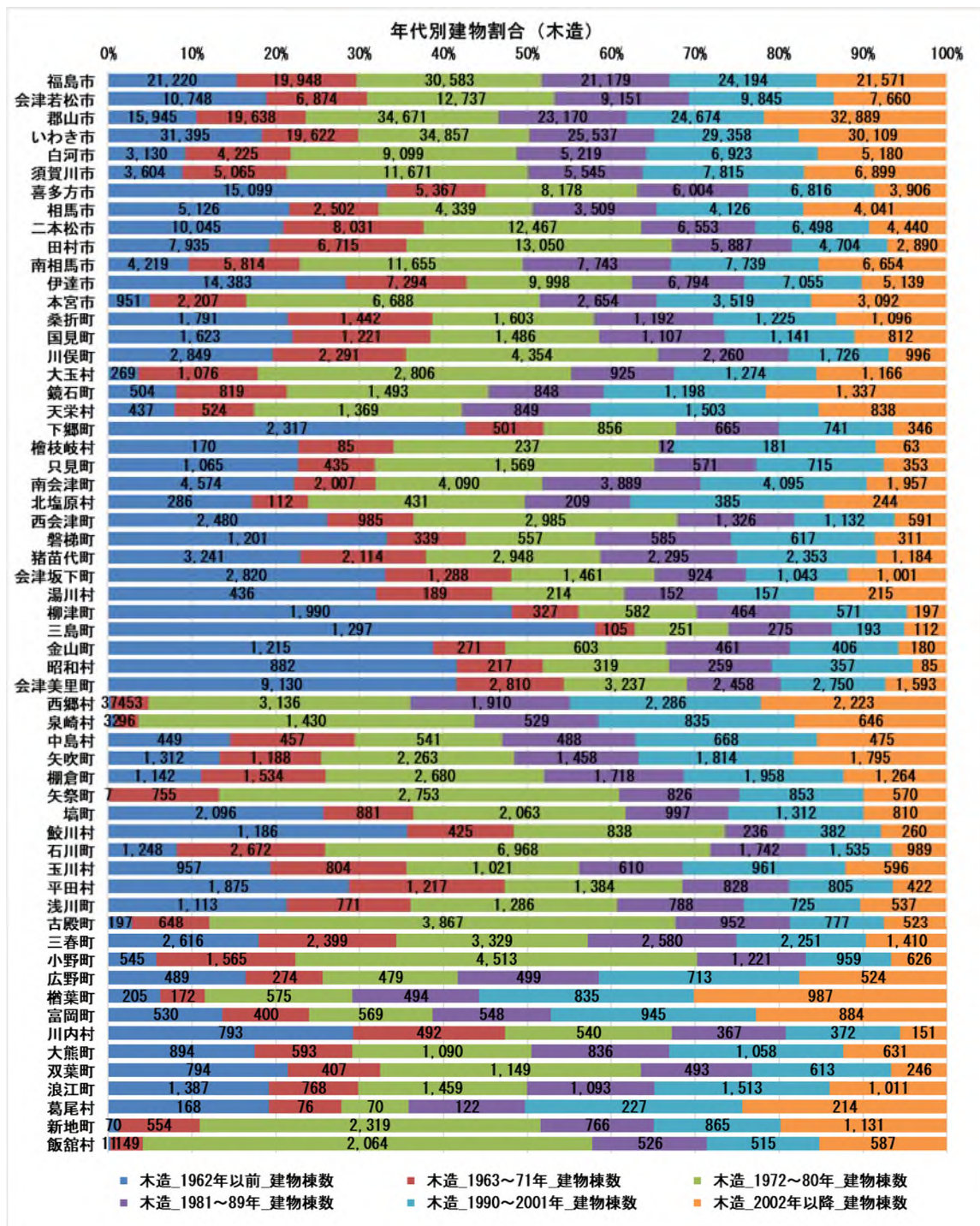
表Ⅲ-1.2-2 市町村別の建物構造別・建築年代別棟数  
(液状化による建物被害予測に基づく年代)

市町村名	棟数						合計
	木造		非木造				
			杭あり			杭なし	
	1980年 以前	1981以 降年	1974以 前	1975～ 83年	1984年 以降	全年代	
福島市	71,751	66,944	654	1,388	5,663	26,472	172,872
会津若松市	30,359	26,656	308	415	835	7,838	66,411
郡山市	70,254	80,733	1,123	1,471	9,958	38,975	202,513
いわき市	85,874	85,004	510	652	1,652	34,195	207,887
白河市	16,454	17,322	65	73	659	7,022	41,595
須賀川市	20,340	20,259	38	113	505	8,108	49,363
喜多方市	28,644	16,726	26	57	124	7,061	52,638
相馬市	11,967	11,676	27	46	123	3,467	27,306
二本松市	30,543	17,491	59	126	254	8,911	57,384
田村市	27,700	13,481	5	36	57	11,789	53,068
南相馬市	21,688	22,136	14	21	201	7,862	51,922
伊達市	31,675	18,988	39	36	163	7,385	58,286
本宮市	9,846	9,265	17	46	105	3,821	23,100
桑折町	4,836	3,513	2	7	9	1,572	9,939
国見町	4,330	3,060	1	7	10	1,405	8,813
川俣町	9,494	4,982	6	23	32	2,766	17,303
大玉村	4,151	3,365	1	3	7	1,020	8,547
鏡石町	2,816	3,383	2	3	20	1,333	7,557
天栄村	2,330	3,190	0	4	14	1,088	6,626
下郷町	3,674	1,752	6	10	7	1,573	7,022
檜枝岐村	492	256	0	1	7	35	791
只見町	3,069	1,639	0	0	0	947	5,655
南会津町	10,671	9,941	13	31	46	3,440	24,142
北塩原村	829	838	5	12	23	456	2,163
西会津町	6,450	3,049	13	3	13	996	10,524
磐梯町	2,097	1,513	2	2	23	738	4,375
猪苗代町	8,303	5,832	20	30	61	2,404	16,650
会津坂下町	5,569	2,968	4	7	26	1,547	10,121
湯川村	839	524	0	4	5	313	1,685
柳津町	2,899	1,232	0	3	7	576	4,717
三島町	1,653	580	1	6	1	194	2,435
金山町	2,089	1,047	0	1	3	511	3,651
昭和村	1,418	701	0	0	0	306	2,425
会津美里町	15,177	6,801	3	3	26	2,127	24,137
西郷村	3,626	6,419	2	15	111	2,738	12,911
泉崎村	1,558	2,010	1	1	12	655	4,237
中島村	1,447	1,631	0	0	0	494	3,572
矢吹町	4,763	5,067	4	8	22	1,647	11,511
棚倉町	5,356	4,940	4	13	27	1,604	11,944
矢祭町	3,515	2,249	0	1	4	434	6,203
塙町	5,040	3,119	1	7	14	635	8,816
鮫川村	2,449	878	0	1	1	275	3,604
石川町	10,888	4,266	18	33	45	2,124	17,374
玉川村	2,782	2,167	0	0	0	1,178	6,127
平田村	4,476	2,055	0	0	0	1,527	8,058
浅川町	3,170	2,050	1	3	7	734	5,965
古殿町	4,712	2,252	2	0	5	648	7,619
三春町	8,344	6,241	8	23	37	3,287	17,940
小野町	6,623	2,806	2	5	12	1,726	11,174
広野町	1,242	1,736	0	2	27	604	3,611
檜葉町	952	2,316	1	9	39	1,198	4,515
富岡町	1,499	2,377	10	17	53	1,234	5,190
川内村	1,825	890	0	1	1	543	3,260
大熊町	2,577	2,525	8	24	50	1,176	6,360
双葉町	2,350	1,352	1	7	3	805	4,518
浪江町	3,614	3,617	4	18	22	1,303	8,578
葛尾村	314	563	2	0	3	305	1,187
新地町	2,943	2,762	0	0	0	1,108	6,813
飯館村	2,224	1,628	0	0	3	1,122	4,977
総計	638,570	534,763	3,033	4,828	21,137	227,357	1,429,687

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

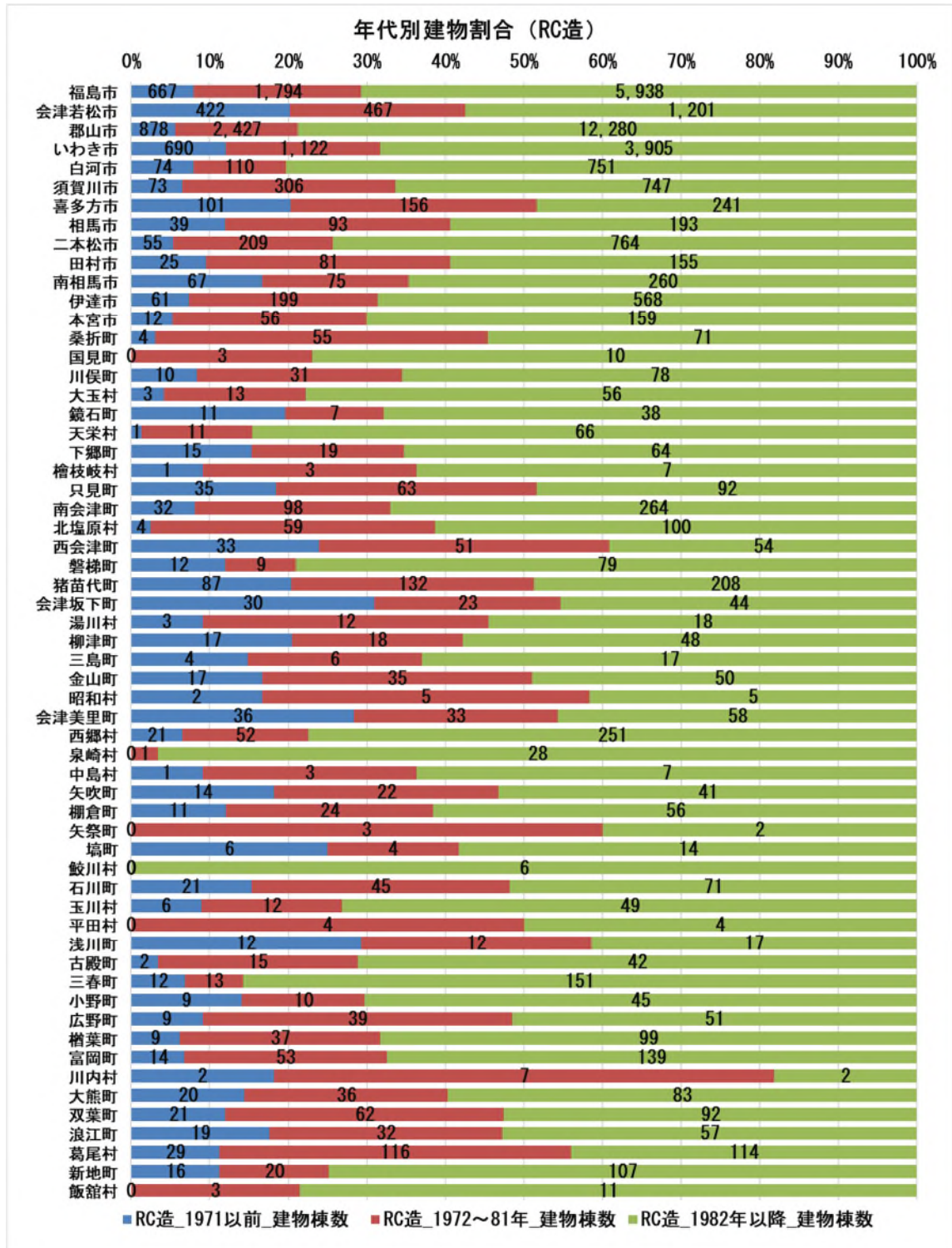
#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.2-1 構造別年代別木造建物割合（揺れによる建物被害予測に基づく年代）

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

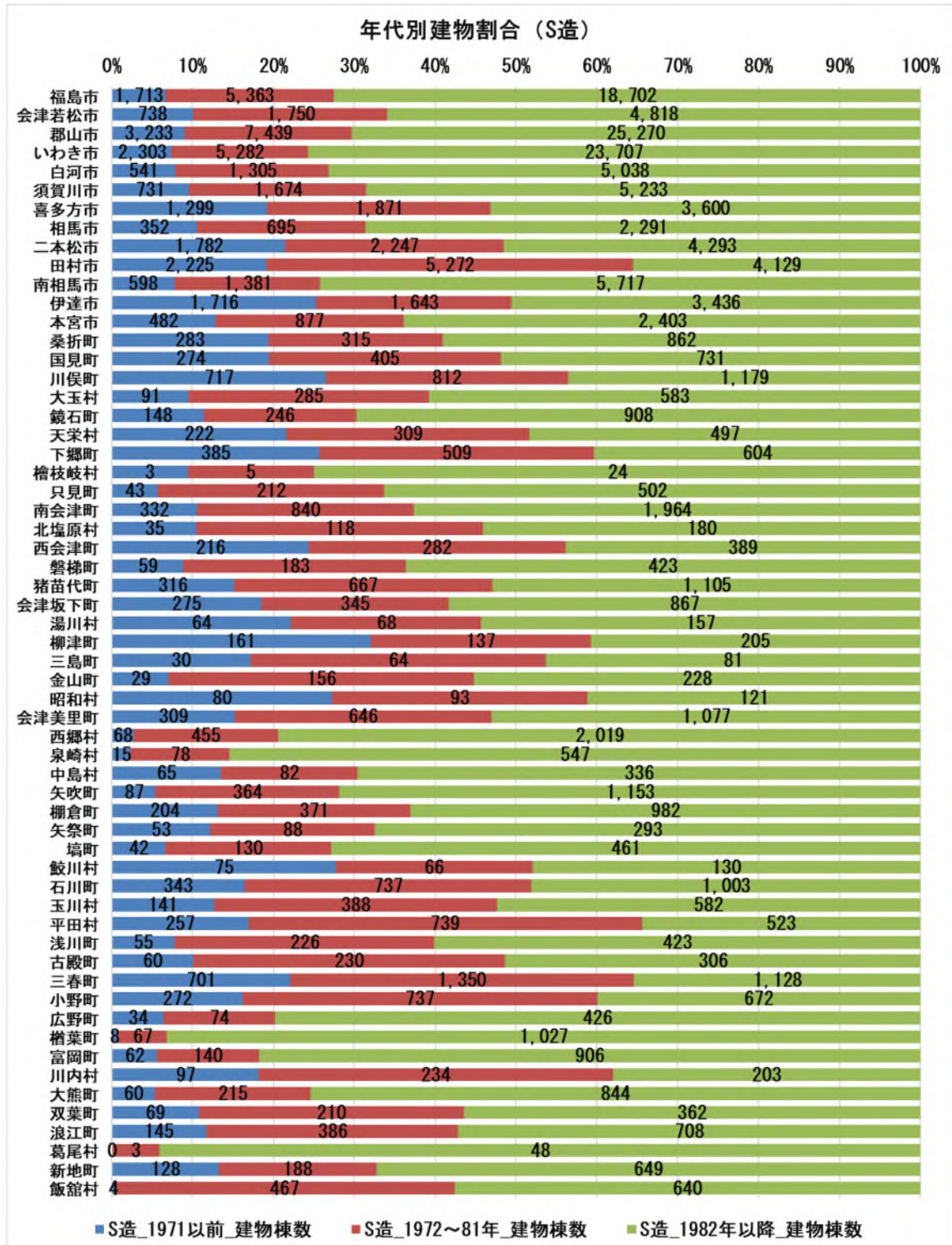


図Ⅲ-1.2-2 構造別年代別 RC 造建物割合（揺れによる建物被害予測に基づく年代）



### Ⅲ 被害想定について

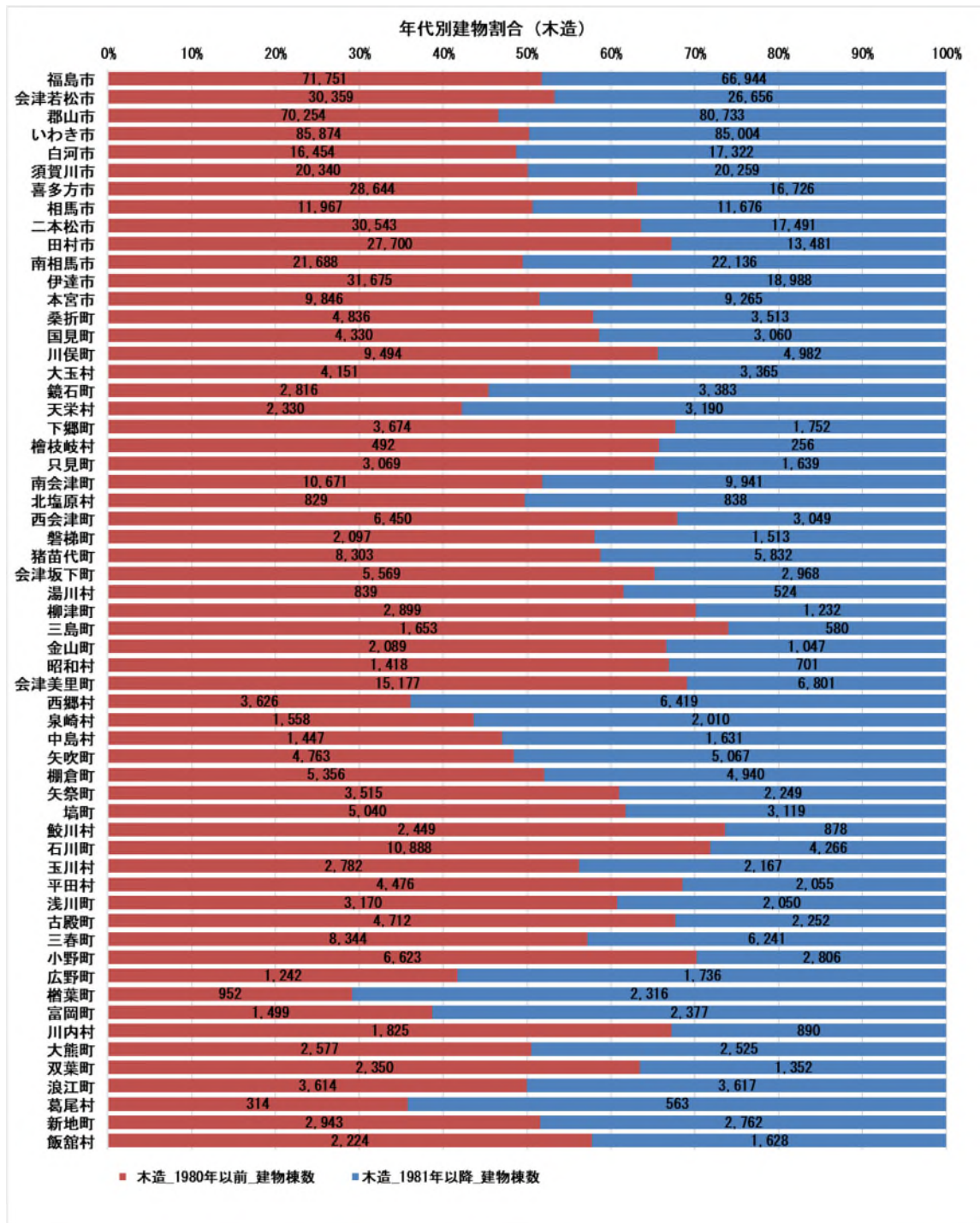
#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.2-3 構造別年代別S造建物割合（揺れによる建物被害予測に基づく年代）

### Ⅲ 被害想定について

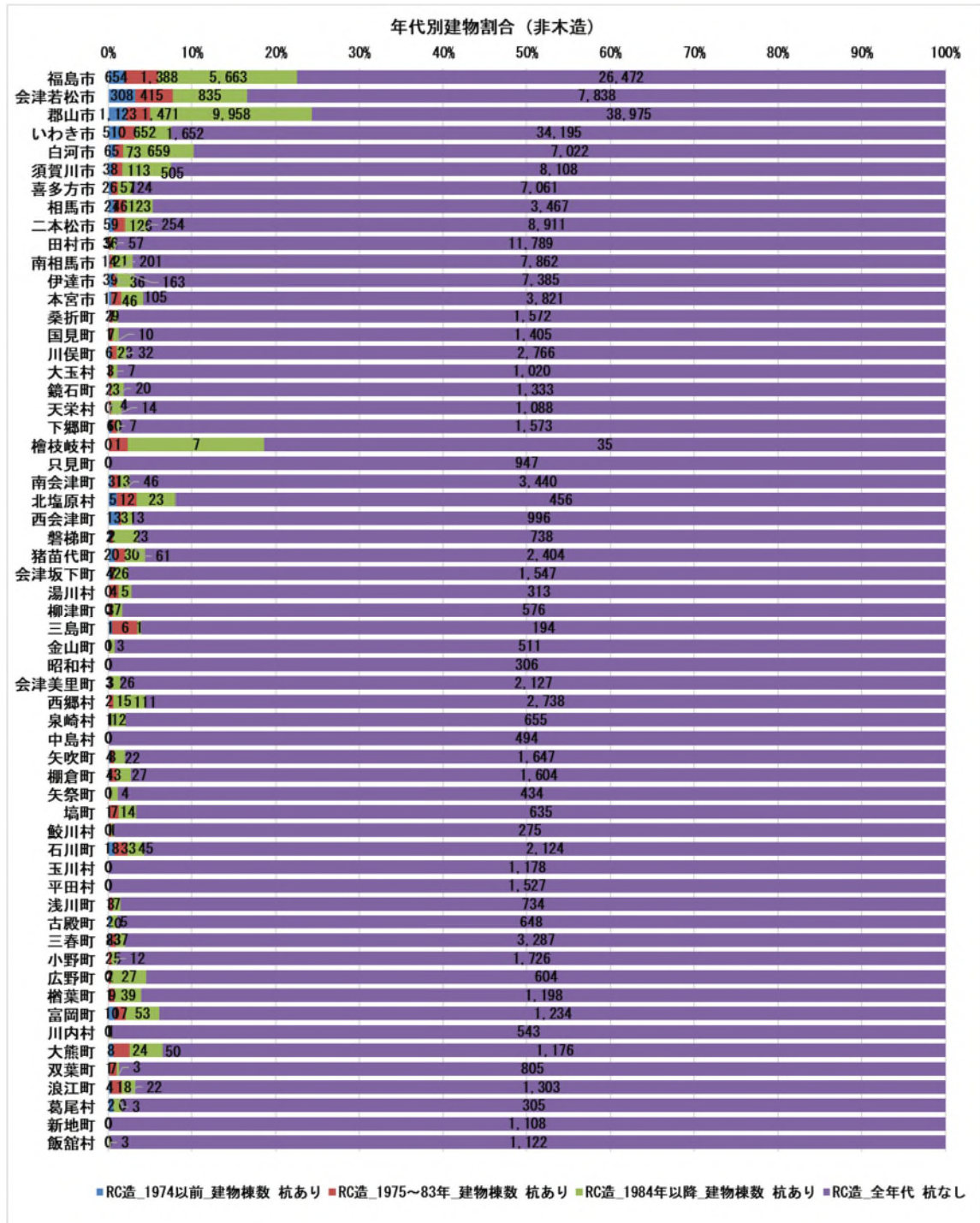
#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.2-4 構造別年代別木造建物割合（液状化による建物被害予測に基づく年代）

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

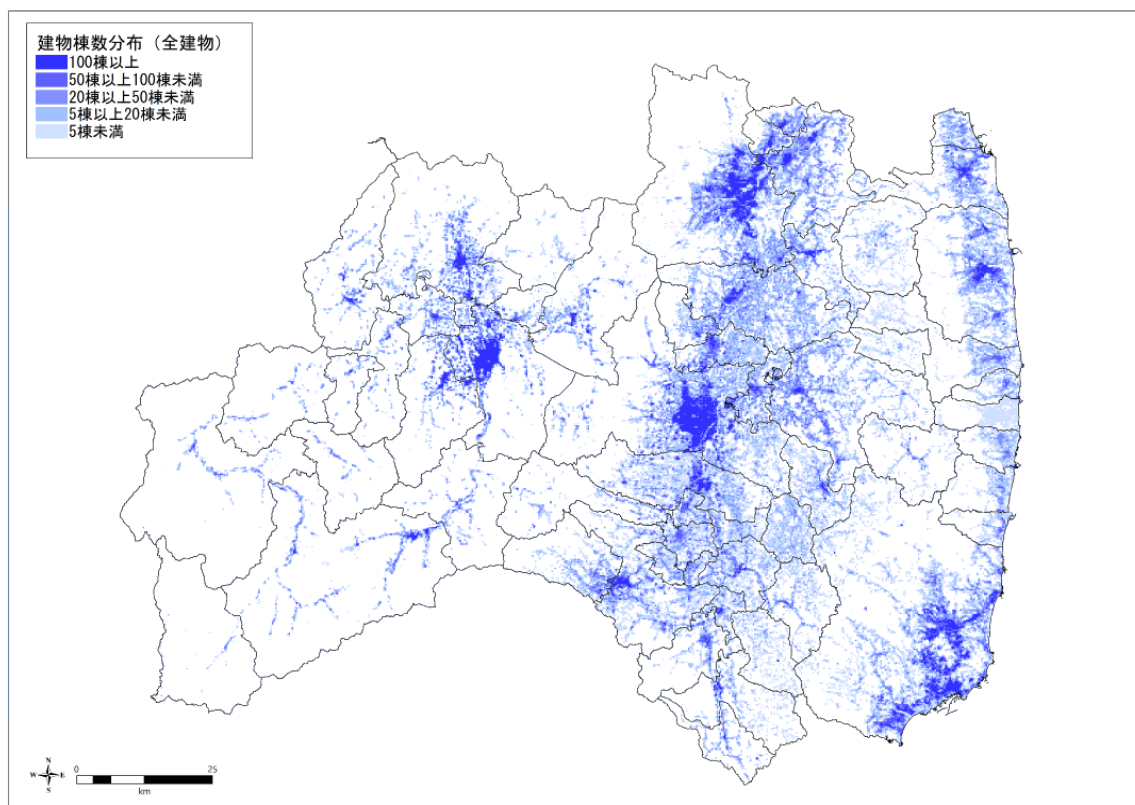


図Ⅲ-1.2-5 構造別年代別非木造建物割合（液状化による建物被害予測に基づく年代）

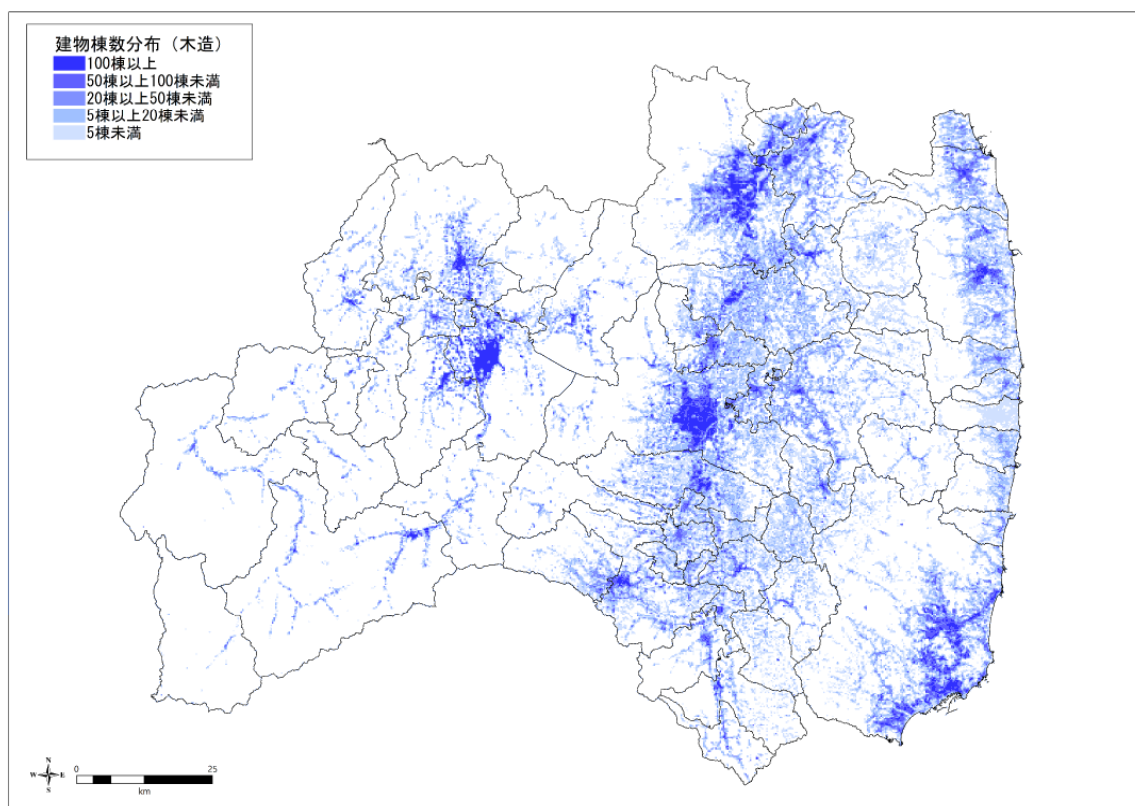


### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



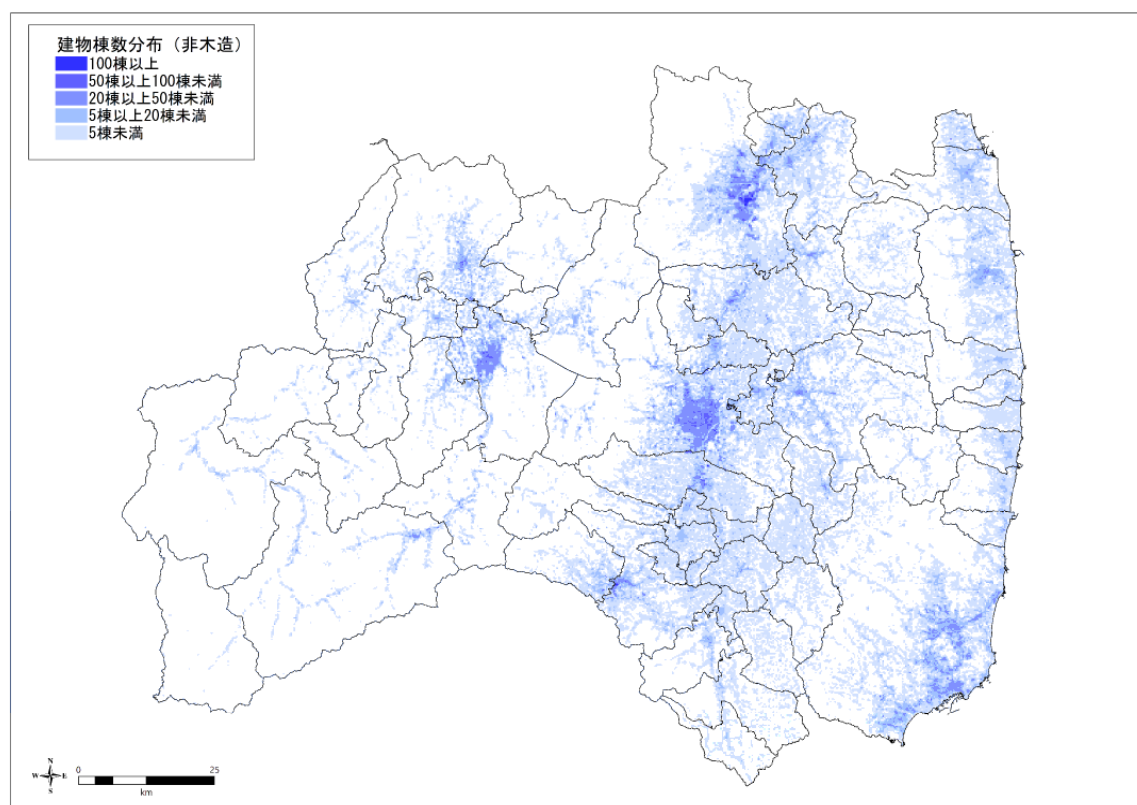
図Ⅲ-1.2-6 建物棟数分布（全建物）



図Ⅲ-1.2-7 建物棟数分布（木造建物）

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.2-8 建物棟数分布（非木造建物）



### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

#### 1.3 建物被害想定手法

建物被害想定は、以下の方針に基づき実施した。

- ・本調査における建築物被害の算出基準は、下表に示す罹災証明に用いる全壊・半壊の定義（平成13年6月内閣府政策統括官（防災担当）通知）<sup>Ⅲ-1)</sup>を基本として用いる。なお、被害想定項目によっては、「大破」もしくは「倒壊」といった基準が示されており、それらの関係は概ね下図に示すとおりとなる。

表Ⅲ-1.3-1 罹災証明における全半壊の定義<sup>Ⅲ-1)</sup>

種類	認定基準
全壊	住家がその居住のための基本的機能を喪失したもの、すなわち、住家全部が倒壊、流失、埋没、焼失したもの、または住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもので、具体的には、住家の損壊、消失若しくは流失した部分の床面積がその住家の延床面積の70%以上に達した程度のも、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上に達した程度のもとする。
大規模半壊	居住する住宅が半壊し、構造耐力上主要な部分の補修を含む大規模な補修を行わなければ当該住宅に居住することが困難なものである。具体的には、損壊部分がその住家の延床面積の50%以上70%未満のも、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が40%以上50%未満のもとする。
半壊	住家がその居住のための基本的機能の一部を喪失したもの、すなわち、住家の損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに再使用できる程度のも、具体的には、損壊部分がその住家の延床面積の20%以上70%未満のも、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が20%以上50%未満のもとする。

#### ③ 構造的基準

無被害	被害 軽微	小破	中破	大破	倒壊
-----	----------	----	----	----	----

#### ② 震災復興都市づくり特別委員会基準

外観上被害なし	軽微な損傷	中程度の損傷	全壊または大破
---------	-------	--------	---------

#### ③ 自治体基準

無被害	一部損壊	半壊	全壊
-----	------	----	----

図Ⅲ-1.3-1 1995年兵庫県南部地震における被災度指標の対応関係（宮腰ほか，2000）<sup>Ⅲ-2)</sup>

<各被害基準と特徴>

#### ① 構造的基準（日本建築学会調査）

- ・構造的被害に基づく調査
- ・主として、建築構造系の研究者が調査したもの

#### ② 震災復興都市づくり特別委員会基準

- ・再使用、再利用可能性に基づく調査
- ・主として、建築計画系の研究者が調査したもの

#### ③ 自治体基準

- ・建物の財産的価値に基づく調査
- ・主として、自治体の職員が調査したもの

- ・建物被害は複数の要因で重複して被害を起こす可能性がある。本調査では被害要因の重複を避けるため、「液状化→揺れ→土砂災害→津波→火災焼失」の順番で被害の要因を割り当てるものとする。

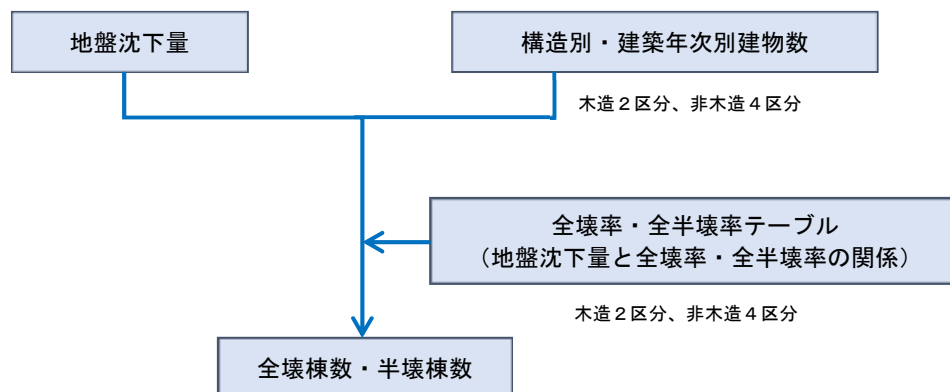
### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

#### (1) 液状化による建物被害

##### 1) 計算の流れ

液状化による建物被害は、東京工業大学の時松教授による浦安市などでの調査 (Tokimatsu and Katsumata(2012)<sup>Ⅲ-3)</sup>) において地盤沈下量によって全壊率、半壊率に違いが見られるとの知見が得られている。中央防災会議 (2012、南海トラフ)<sup>Ⅲ-5)</sup> では、液状化による建築物被害は、図Ⅲ-1.3-2 に示す流れで、揺れによる被害同様、250mメッシュごとに集計した建物データに、地盤沈下量と建物被害の関係から求められた被害率 (図Ⅲ-1.3-3) を乗ずることで算出する。



図Ⅲ-1.3-2 液状化による建物被害の予測手順 (中央防災会議(2012)<sup>Ⅲ-5)</sup> をもとに作成)

##### 2) 予測手法

被害率は建物の構造で異なり、表Ⅲ-1.3-2 に示すように木造については年代を基準として2区分、非木造については杭あり建物と杭なし建物で異なる。そのため、杭なし建物については全年代、杭ありについてはアスペクト比の大きい小規模建物については年代によって3区分に、それ以外の建物は被害がないと仮定し計6区分とした。

また、今回の想定では非木造建物における杭あり建物は3階建て以上の建物とした。また、アスペクト比の大きい小規模建物(短辺方向スパンが1~2程度)の3階建て以上の建物に占める割合は地域によって異なり、かつ実態調査も困難なため1割と設定した。

表Ⅲ-1.3-2 液状化による建物被害の想定に用いた建築年次区分

建物		建築年次区分
木造建物		昭和55年(1980年)以前
		昭和56年(1981年)以降
非木造建物	杭なし	全年代
	杭あり※	昭和49年(1974年)以前
		昭和50年(1975年)～昭和58年(1983年)
		昭和59年(1984年)以降

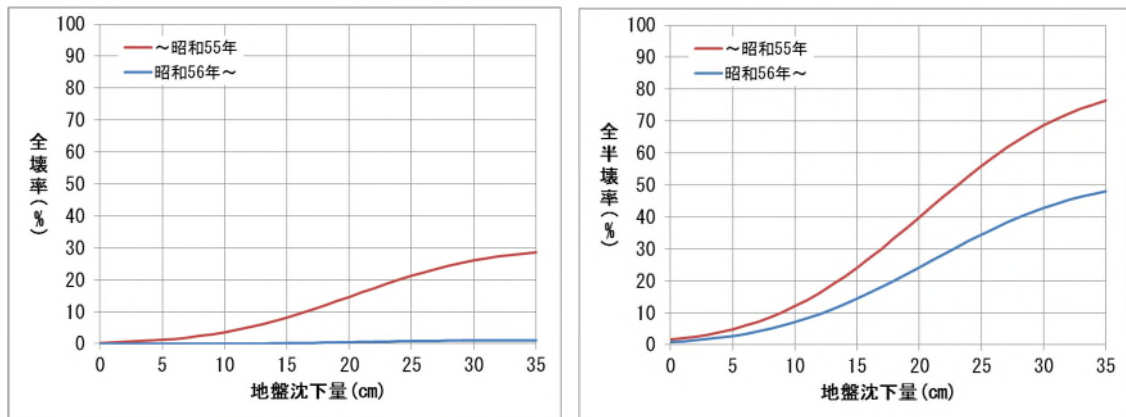
※杭あり建物のうち、被害が生じるのはアスペクト比の大きい小規模建物のみを対象とし、アスペクト比の小さいもしくはアスペクト比が大きいても大規模建物については半壊以上の被害はないものとする。(アスペクト比：矩形のものの長辺と短辺の比)

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

昭和 55（1980）年以前建築の木造建物の被害率を図Ⅲ-1.3-3に赤線で示す。昭和 53（1978）年日本海中部地震における秋田県八郎潟周辺や能代市などの被害事例から設定されたもので、多くの木造家屋が全壊にいたった事例が多い。

また、昭和 56（1981）年以降建築の木造建物の被害率を図Ⅲ-1.3-3に青線で示す。東北地方太平洋沖地震における千葉県浦安市や茨城県潮来市日の出地区などの被害事例から設定されたものであり、全壊に至る割合は非常に小さい。



図Ⅲ-1.3-3 地盤沈下量に対する建物被害率

（木造／左：全壊率、右：全半壊率）

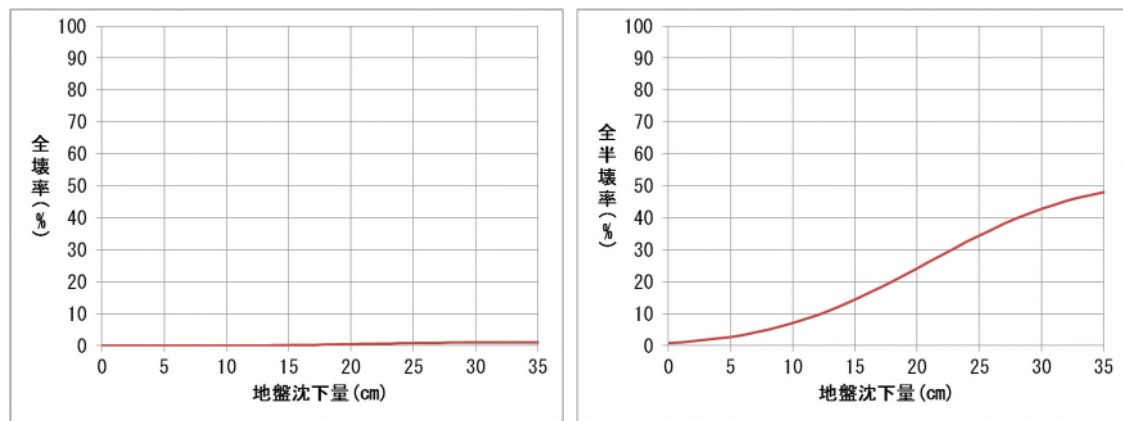
（中央防災会議（2012）<sup>Ⅲ-5</sup>をもとに設定）

非木造建物の被害率は、図Ⅲ-1.3-4、図Ⅲ-1.3-5に示す。液状化の際、基礎地盤が流動することから、杭を打設して液状化に対する対策を行っているかどうかは、非木造建物の被害程度に大きく影響する。また、杭有りの場合でも、細長い（アスペクト比の大きい）小規模建物の場合は、構造上不安定であることから、それ以外の建物と分けて考えることとする。

まず、杭無しの非木造建物の被害率を図Ⅲ-1.3-4に示す。東北地方太平洋沖地震における浦安市の事例を参考とすると、ほぼ木造（昭和 56 年以降建築）と同様の被害傾向であるため、木造（昭和 56 年以降建築）の被害率を適用した。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

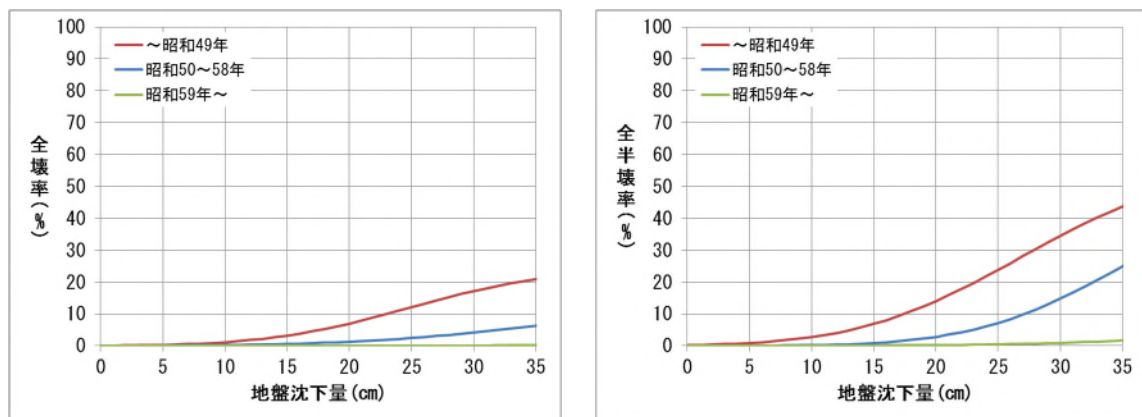


図Ⅲ-1.3-4 地盤沈下量に対する建物被害率

(非木造：杭無し／左：全壊率、右：全半壊率)

(中央防災会議 (2012) Ⅲ-5) をもとに設定)

杭有り（アスペクト比の大きい小規模建物）の非木造建物の被害率は図Ⅲ-1.3-5に示す。兵庫県南部地震における兵庫県の埋立地において100棟以上の基礎の被害が発生した建物データから作成した被害関数である。この被害データにおいて、基礎の被害を受け傾斜したもの多くはアスペクト比の大きい小規模建物であるため、この被害関数は細長い小規模建物に対して適用するものとした。



図Ⅲ-1.3-5 地盤沈下量に対する建物被害率

(非木造：杭あり-アスペクト比の大きい小規模建物／左：全壊率、右：全半壊率)

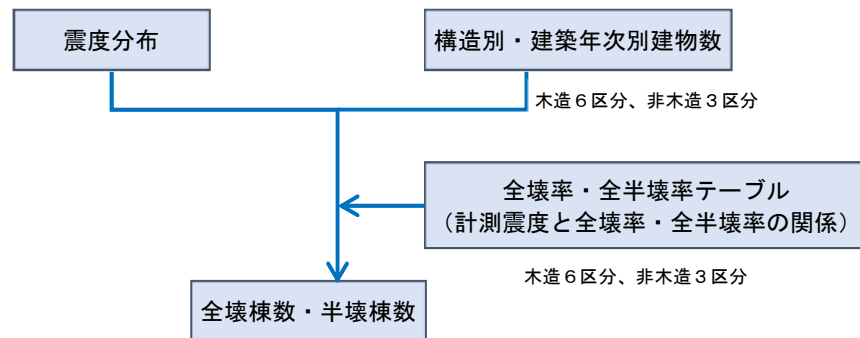
(中央防災会議 (2012) Ⅲ-5) をもとに設定)

杭有り（アスペクト比の大きい小規模建物以外）の非木造建物については、半壊以上の被害はないものとした（中央防災会議 (2012) Ⅲ-5) による）。

## (2) 揺れによる建物被害

### 1) 計算の流れ

建物の被害想定は、下図の予測手順に沿って実施する。



図Ⅲ-1.3-6 揺れによる建物被害の予測手順（中央防災会議(2012)<sup>Ⅲ-5)</sup>をもとに作成)

### 2) 予測手法

揺れによる全半壊棟数は、その構造別、建築年代別に異なることが知られている。今回の想定では、平成24年8月29日に中央防災会議より公表された過去の地震動により構築された計測震度と建物被害の関係を示す被害率を250mメッシュごとに集計した建物データにあてはめ被害数を算出する。

翠川・伊東・三浦(2011)<sup>Ⅲ-6)</sup>や日本建築学会(2011)<sup>Ⅲ-7)</sup>によると、2003年から2007年までの新潟県中越地震や新潟県中越沖地震等の地震、2011年東北地方太平洋沖地震などの被害実態は、この被害率曲線を概ね下回るか近傍に分布するとされている。そのため、本被害率を用いると実際の被害よりも多少過大に算出されることが想定されるが、今回は安全側の評価(被害を大きめに評価し、対策に余裕を持たせる)として、中央防災会議(2012)の被害率曲線を使用することとした。

中央防災会議(2012)の被害率曲線では、昭和56年(1981)以降の新耐震基準に準じた建物が、さらに3つの建築年代で分類されている。長尾・山崎(2011)<sup>Ⅲ-8)</sup>によると、昭和56年以降の木造建物でも各年代によって被害率に大きな差が生じる。これを踏まえ、今回の想定でも昭和56年以降の木造建物の被害率曲線は、被害実態から3つの年代に区分した被害率曲線を用いる。

中央防災会議では、令和3年12月21日に、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定結果を公表した<sup>Ⅲ-9)</sup>。ここでは、木造建物の被害関数は北海道の耐震性能を基にして積雪期と積雪期以外で、雪荷重の違いを考慮した関数を適用している。

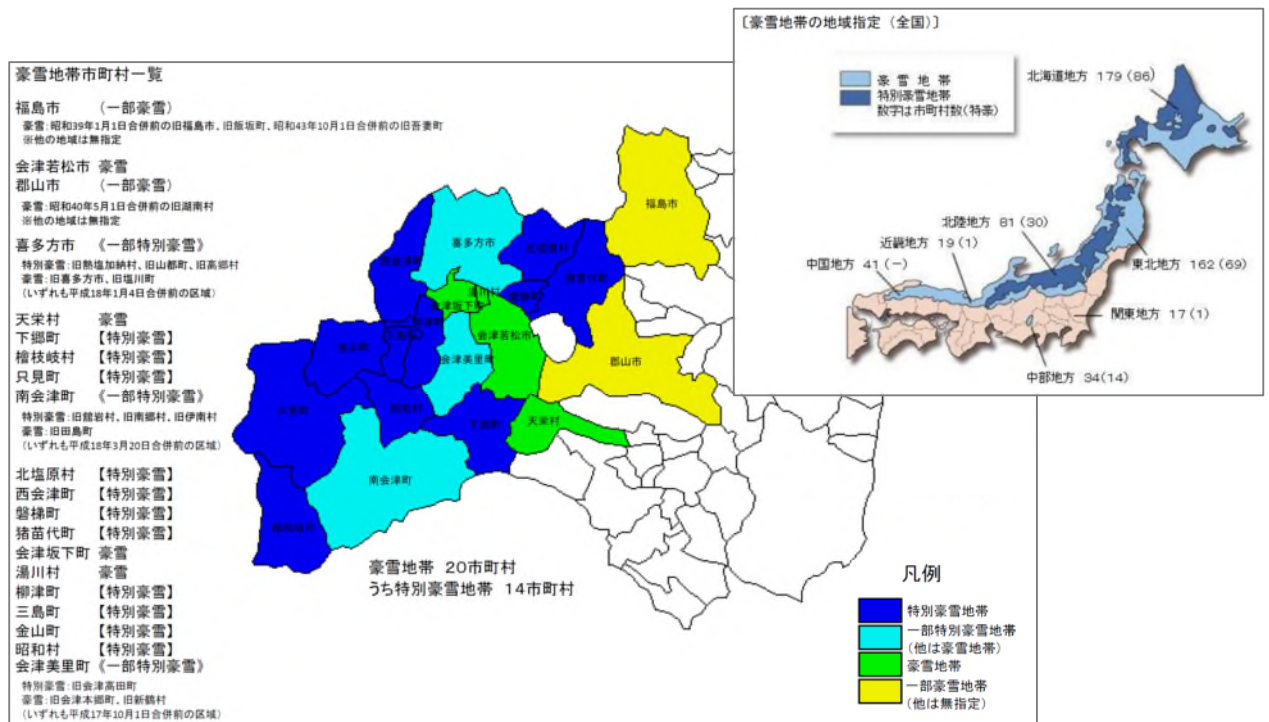
福島県では、図Ⅲ-1.3-7に示したように会津地方の市町村が特別豪雪地帯及び豪雪地帯となっており、1.5m以上の積雪荷重を考慮した設計を行うことになっている。このことから、会津地方の建物の被害率曲線は、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定で用いられた積雪寒冷地における木造建物の被害関数を用いることとした。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.3-3 揺れによる建物被害の想定に用いた建築年次区分

構造別	建築年次別
木造建物	昭和 37 年 (1962 年) 以前
	昭和 38 年 (1963 年) ～ 昭和 46 年 (1971 年)
	昭和 47 年 (1972 年) ～ 昭和 55 年 (1980 年)
	昭和 56 年 (1981 年) ～ 平成元 年 (1989 年)
	平成 2 年 (1990 年) ～ 平成 13 年 (2001 年)
	平成 14 年 (2002 年) 以降
非木造建物	昭和 46 年 (1971 年) 以前
	昭和 47 年 (1972 年) ～ 昭和 55 年 (1980 年)
	昭和 56 年 (1981 年) 以降



図Ⅲ-1.3-7 福島県内の豪雪地帯市町村一覧

福島県(2011 年 3 月): 福島県豪雪地帯対策基本計画 (第三次)、平成 23 年 3 月<sup>Ⅲ-10)</sup>

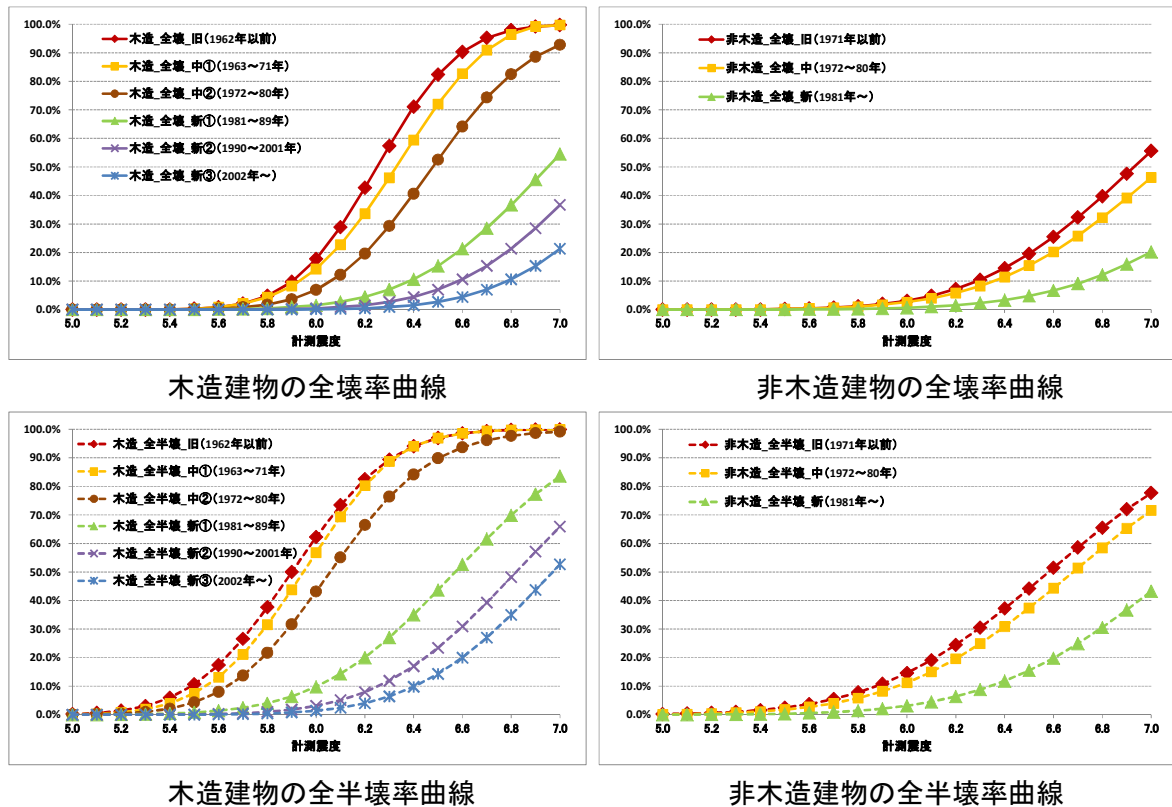
表Ⅲ-1.3-4 積雪時と無雪期を考慮した市町村

積雪時と無雪期を考慮した市町村
会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町



### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

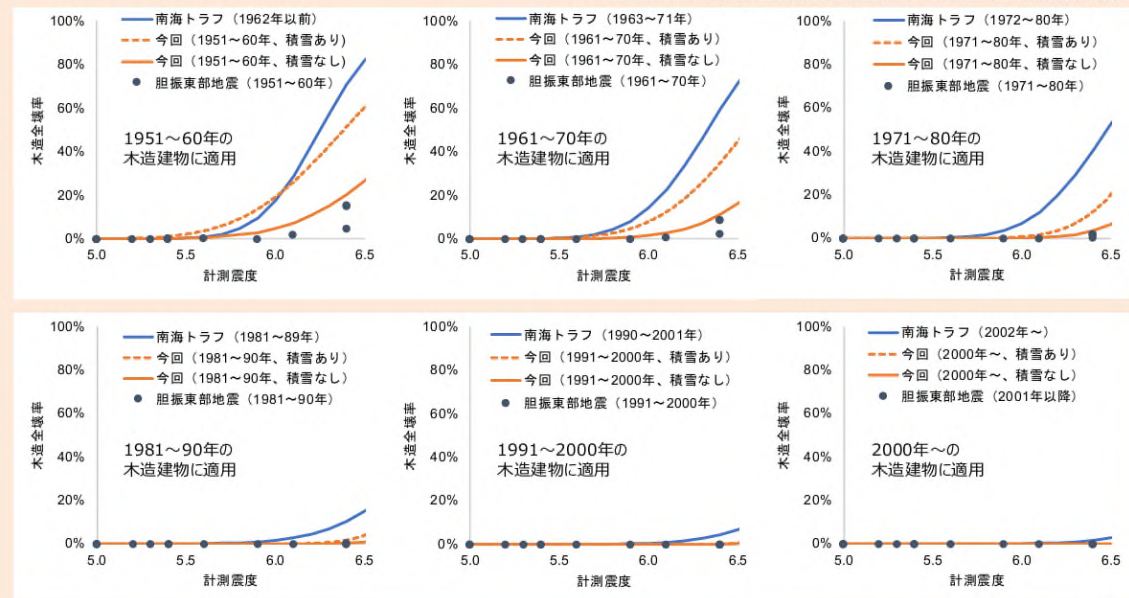


図Ⅲ-1.3-8 建物の被害率曲線

(中央防災会議[2012, 2013]) Ⅲ-5), Ⅲ-4)

#### ■ 木造建物の被害率曲線

※ 比較のため南海トラフ巨大地震の被害想定で使用した建物被害関数を表示



※ 東北・北海道の地域では、積雪荷重を考慮した構造となっているため、耐震性が比較的高い。

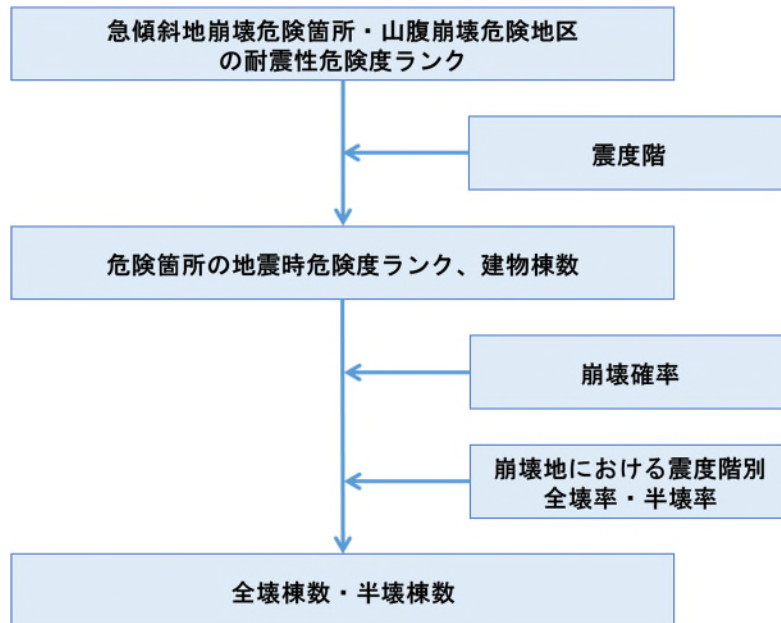
図Ⅲ-1.3-9 計測震度-全壊率曲線 (木造建物) (※会津地方の木造建物に適用)

(中央防災会議：日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定項目及び手法の概要、令和3年12月21日) Ⅲ-9)

## (3) 急傾斜地等崩壊による建物被害

## 1) 計算の流れ

急傾斜地等崩壊による建物被害は、下図に示す手順に沿って実施する。



図Ⅲ-1.3-10 土砂災害による建物被害の予測手順（中央防災会議，2012）

## 2) 予測手法

耐震性危険度ランクと震度階より算出した震度による地震時危険度ランクから、近年発生した直下地震（新潟県中越地震、新潟県中越沖地震、岩手・宮城内陸地震）のデータに基づく崩壊確率（表Ⅲ-1.3-5）を設定し、崩壊確率と崩壊地における建物全壊・半壊率（表Ⅲ-1.3-6）を用いて土砂災害による建物被害数を算出する。

予測に用いる建物データは、基盤地図情報（建築物の外周線）を基に作成した。

なお、積雪のある地域では地震による雪崩や屋根からの落雪によって被害が拡大する可能性がある。こうした影響は定量的な被害予測には盛り込んでいないが、定性的な被害の様相を「11. 被害シナリオ」にて整理している。

表Ⅲ-1.3-5 危険度ランク別崩壊確率<sup>Ⅲ-4)</sup>

ランク	崩壊確率
A	10%

※ 近年発生した直下地震の事例（新潟県中越地震、新潟県中越沖地震、岩手・宮城内陸地震）を踏まえ、崩壊危険度ランク別の崩壊確率を上のように設定する（ランク B, C の崩壊確率はゼロ）。

表Ⅲ-1.3-6 崩壊地における震度別の建物全壊・半壊率

被害区分	～震度 4	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
全壊率	0%	6%	12%	18%	24%	30%
半壊率	0%	14%	28%	42%	56%	70%

※：静岡県（2001）<sup>Ⅲ-11)</sup>



### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

##### 急傾斜地崩壊による全半壊棟数

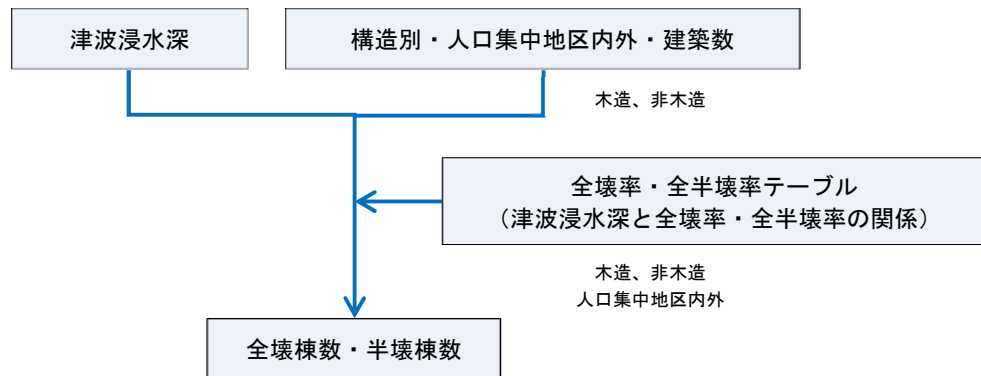
$$= \text{危険箇所内人家戸数} \times \text{崩壊確率} \times \text{崩壊地における震度別建物全壊・半壊率}$$

#### (4) 津波による建物被害

##### 1) 計算の流れ

津波による被害は、木造、非木造の構造別で分けて予測する。また、国土交通省都市局による「東日本大震災による被災現況調査データ」(国土交通省、平成 23 年 10 月時点)<sup>Ⅲ-12)</sup>によると、人口集中地区では、それ以外の地区と比較して浸水深が浅いところでも全壊率、全半壊率ともに高くなっていることを受けて、人口集中地区とそれ以外の地区で異なる被害率曲線(中央防災会議、2012)を採用する。

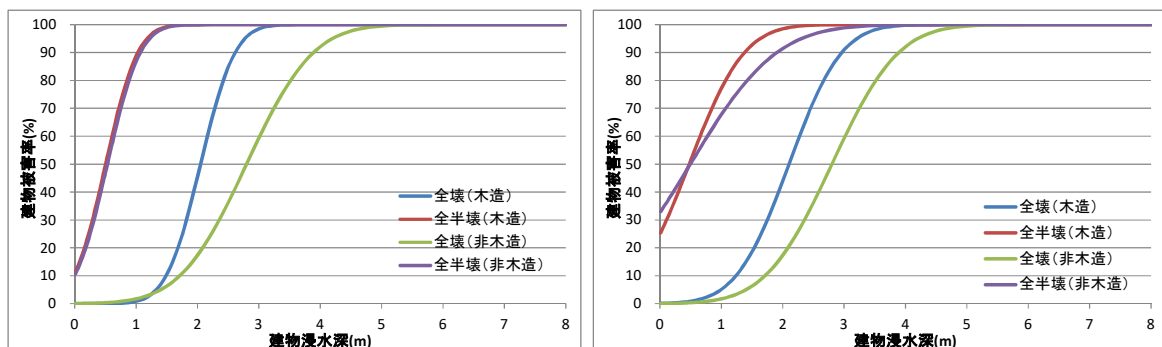
なお、人口集中地区は平成 27 年国勢調査に基づく、人口集中地区(DID)をもとに設定した。



図Ⅲ-1.3-11 津波による建物被害の予測手順(中央防災会議(2012)をもとに作成)

##### 2) 予測手法

人口集中地区とそれ以外の地区における浸水深別・建物構造別被害率(図Ⅲ-1.3-12、中央防災会議、2012)を基に、津波浸水深から建物被害を算出する。



図Ⅲ-1.3-12 津波による建物被害率曲線(中央防災会議, 2012)

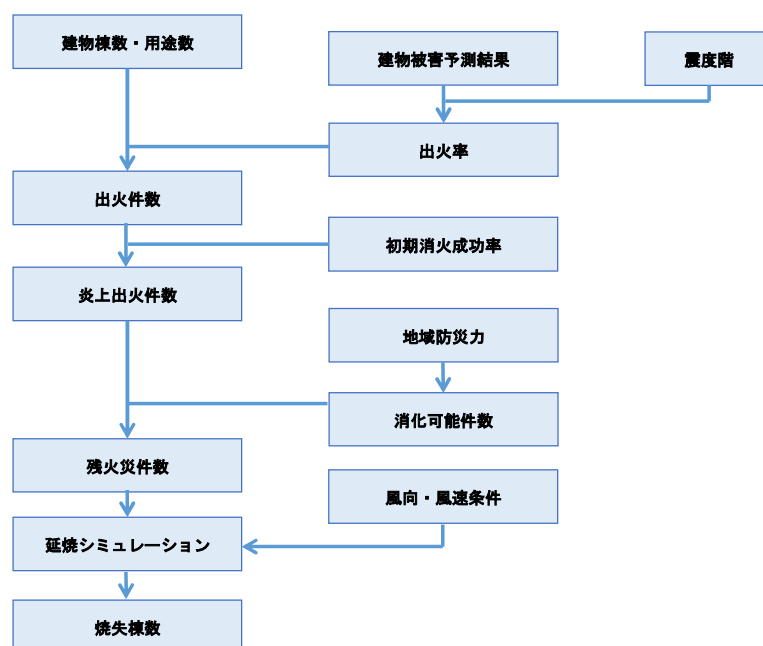
津波浸水深ごとの建物被害率(左:人口集中地区、右:人口集中地区以外)

## (5) 地震火災による建物被害

### 1) 計算の流れ

地震火災による被害は、中央防災会議（2013）による首都直下地震の被害想定<sup>Ⅲ-4)</sup>で用いられた方法を用いた。予測手順を図Ⅲ-1.3-13に示す。

まず、建物被害予測結果と震度階から、市町村別出火件数を算出した。これより、震度階別初期消火率、地域別炎上出火件数と地域防災力による消火可能件数から、消火できなかった残火災件数を求めた。残火災件数を出火点として風向・風速等の気象データを考慮して延焼シミュレーションを行い、焼失棟数を算出した。なお、中央防災会議（2012）では、250m メッシュ単位で延焼シミュレーションを行っているが、今回は、建物1棟単位の延焼シミュレーションを行い、焼失棟数を算出した。



図Ⅲ-1.3-13 火災による建物被害の予測手順  
（中央防災会議（2013）<sup>Ⅲ-4)</sup>をもとに作成）

### 2) 予測手法

出火件数、炎上出火件数、消火可能件数、残出火件数、焼失棟数の順に述べる。

なお、積雪のある地域では道路上の積雪により消火活動に支障が発生し、火災の被害が拡大する可能性がある。こうした影響は定量的な被害予測には盛り込んでいないが、定性的な被害の様相を「11. 被害シナリオ」にて整理している。

#### ① 出火件数

出火件数は、季節・時間帯別に、

ア) 建物倒壊しない場合の火気器具・電熱器具からの出火

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

イ) 建物倒壊した場合の火気器具・電熱器具からの出火

ウ) 建物全壊による電気機器・配線からの出火

の3つの出火要因に分けて算出した。

ア) 建物倒壊しない場合の火気器具・電熱器具からの出火

$$\begin{aligned} & \text{(建物倒壊しない場合の火気器具・電熱器具からの出火件数)} \\ & = \Sigma \text{(出火元別出火件数)} \\ & \text{(出火元別出火件数)} = \text{(出火元別建物棟数)} \times \text{(出火元別出火率)} \end{aligned}$$

建物倒壊しない場合の火気器具・電熱器具からの震度階別・用途別・季節時間帯別の全出火率は、表Ⅲ-1.3-7の数値を使用した。

表Ⅲ-1.3-7 火気器具・電熱器具からの震度階別・用途別・季節時間帯別の出火率

冬深夜					
	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
飲食店	0.0003%	0.0009%	0.0047%	0.0188%	0.0660%
物販店	0.0001%	0.0004%	0.0013%	0.0059%	0.0510%
病院	0.0002%	0.0004%	0.0014%	0.0075%	0.1180%
診療所	0.0000%	0.0002%	0.0005%	0.0018%	0.0070%
事務所等その他事務所	0.0000%	0.0001%	0.0004%	0.0020%	0.0110%
住宅・共同住宅	0.0002%	0.0006%	0.0021%	0.0072%	0.0260%
夏 12 時					
	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
飲食店	0.0029%	0.0076%	0.0346%	0.1152%	0.3310%
物販店	0.0005%	0.0015%	0.0071%	0.0253%	0.1230%
病院	0.0009%	0.0016%	0.0070%	0.0296%	0.3130%
診療所	0.0004%	0.0004%	0.0016%	0.0050%	0.0230%
事務所等その他事務所	0.0005%	0.0017%	0.0083%	0.0313%	0.1830%
住宅・共同住宅	0.0003%	0.0003%	0.0013%	0.0043%	0.0210%
冬 18 時					
	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
飲食店	0.0047%	0.0157%	0.0541%	0.1657%	0.5090%
物販店	0.0007%	0.0020%	0.0085%	0.0302%	0.1580%
病院	0.0008%	0.0017%	0.0072%	0.0372%	0.5290%
診療所	0.0004%	0.0010%	0.0036%	0.0130%	0.0410%
事務所等その他事務所	0.0003%	0.0012%	0.0052%	0.0216%	0.1770%
住宅・共同住宅	0.0010%	0.0034%	0.0109%	0.0351%	0.1150%

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

#### イ) 建物倒壊した場合の火気器具・電熱器具からの出火

(建物倒壊した場合の火気器具・電熱器具からの出火)

$$= (\text{建物倒壊棟数}) \times (\text{季節時間帯別の倒壊建物の出火率})$$

建物倒壊棟数は全壊棟数の3割とし、季節・時間帯別の倒壊建物の出火率は表Ⅲ-1.3-8の数値を使用した。

表Ⅲ-1.3-8 季節時間帯別の倒壊建物の出火率

冬深夜	夏 12 時	冬 18 時
0.0449%	0.0629%	0.1392%

#### ウ) 建物全壊による電気機器・配線からの出火

建物全壊による電気機器・配線からの出火は、建物の全壊率との関係をもとに設定した。

阪神・淡路大震災時の主要被災市における全壊棟数と電気機器・配線からの全出火件数との関係は次式のとおりである。今回の想定では、全壊棟数を用いて出火件数を算出した。

(電気機器からの出火件数)

$$= (\text{建物全壊による電気機器からの出火率}) \times (\text{全壊棟数})$$

(配線からの出火件数)

$$= (\text{建物全壊による配線からの出火率}) \times (\text{全壊棟数})$$

建物全壊による電気機器・配線からの出火率は、下表の数値を採用した。

表Ⅲ-1.3-9 建物全壊による電気機器・配線からの出火率

電気機器	配線
0.044%	0.030%

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

#### ②炎上出火件数

炎上出火件数は、出火時の初期に地域住民によって消火されるものを考慮し算出した。

$$(\text{炎上出火件数}) = (1 - \text{初期消火成功率}) \times (\text{出火件数})$$

初期消火成功率は、下表の数値を使用した。

表Ⅲ-1.3-10 初期消火成功率

震度階	6 弱以下	6 強	7
初期消火成功率	67%	30%	15%

#### ③消火可能件数

消火可能件数は、次のとおりとした。

消火可能件数(発災直後)

$$\begin{aligned} &= 0.3 \times (\text{消防ポンプ自動車数} \div 2 + \text{小型動力ポンプ数} \div 4) \\ &\quad \times \{1 - (1 - 3.14 \times 140 \times 140 \div \text{市街地面積}(\text{m}^2))^{水利数}\} \end{aligned}$$

消防ポンプ自動車は、消防本部ごとの「消防年報」（令和 2 年度版）等に記載された台数を用いた。

市街地面積は、点在する集落に対する広範な消火対応の必要性や、津波浸水による消防活動の阻害を考慮した消火可能件数の低減を加味するために、各市町村の可住地面積を用いた。

水利数は、消防本部ごとの「消防年報」（令和 2 年度版）等に記載された防火水槽・消火栓・その他の水利の合計値を用いた。

#### ④残出火件数

残出火件数は、上記までで求めた消火可能件数と想定される炎上出火件数を比較し、次式により消火されなかった火災が延焼拡大する恐れがある件数とした。

$$(\text{残出火件数}) = (\text{炎上出火件数}) - (\text{消火可能火災件数})$$

#### ⑤焼失棟数

焼失棟数は、消防庁消防大学校 消防研究センターによる建物 1 棟単位のシミュレーションが可能な消防力最適運用支援情報システム（以下、消防システムと呼ぶ）<sup>Ⅲ-13)</sup>を用いて、時系列の延焼範囲を予測し、焼失棟数を算定した。

残出火発生建物は、炎上出火件数の多い 250m メッシュの内の、中心付近に位置する建物とした。

設定した残出火発生建物を出火点として、消防システムによる延焼シミュレーションによって焼失棟数を算定した。延焼シミュレーションは出火から 24 時間までとした。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

なお、延焼シミュレーションを行う際の、風向と風速は次のように設定した。

風向と風速は、県のアメダス観測点（福島、白河、小名浜、若松）における、10年間のデータをもとに設定した。風速は観測点の風速を平均値と最大値を求め、+2 $\sigma$ の値とした。平均値は4m/s、最大値は8m/sとした。風向は、4観測点の月ごとの平均風向から設定した。設定した風向・風速を表Ⅲ-1.3-11に示した。

表Ⅲ-1.3-11 延焼シミュレーションで用いる風向・風速

	アメダス観測点			
風向	福島	白河	小名浜	若松
冬	西北西	北西	北北西	西北西
夏	北東	南南西	南	北西
風速				
平均	4m/s			
最大	8m/s			

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

#### 1.4 揺れ等による全壊・半壊、火災による焼失を含めた建物被害想定結果（重複処理）

本想定では、被害要因の重複を避けるため、「液状化→揺れ→急傾斜地崩壊→津波→火災焼失」の順番で被害の要因を割り当てるものとした。なお、建物被害は複数の要因で重複して被害を起こす可能性があることに留意する必要がある。例えば、揺れによって全壊した後に津波で流失することが考えられる。この場合は、揺れによる建物全壊棟数としてカウントしている。

表Ⅲ-1.4-2～表Ⅲ-1.4-19 に、市町村ごとに地震別、季節・時間別、風力別の建物被害の結果を示す。地震別、季節・時間別、風力別の建物被害の合計をまとめて表Ⅲ-1.4-1 に示す。これらより以下のことが言える。液状化の被害では、想定東北地方太平洋沖地震で全壊が 4,233 棟と多く出ている。沿岸の低地部と郡山周辺で液状化の発生が多く被害にむすびついている。揺れによる被害は、会津盆地東縁断層帯の地震の冬で全壊が 23,312 棟と最も多く、続いて福島盆地西縁断層帯の地震の冬で全壊が 19,107 棟となっている。この二つの地震ではそれぞれ会津盆地及び福島盆地の人口集中地域の直下で地震が発生し、震度 6 強及び 7 の揺れがこれらの盆地内に分布したことで被害が大きくなっている。これに伴い、これらの盆地では冬の 18 時に火災が多く発生して延焼火災となり、焼失棟数が会津盆地東縁断層帯の地震で風速 8m/s の時に 13,936 棟、福島盆地西縁断層帯の地震で 11,991 棟と多く発生した。

表Ⅲ-1.4-20～表Ⅲ-1.4-22 に、市町村ごとに出火件数示す。図Ⅲ-1.4-1～図Ⅲ-1.4-6 に揺れによる建物全壊棟数分布を示し、図Ⅲ-1.4-6～図Ⅲ-1.4-15 に延焼火災による焼失棟数分布を示す。

表Ⅲ-1.4-1(1) 建物の被害予測結果のまとめ（風速 8m/s）

地震名	季節 時間	液状化		揺れ		急傾斜地		津波		火災	合計	
		全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊	半壊
福島盆地 西縁断層 帯の地震	冬 5 時	564	3,066	19,107	35,876	12	26			5,477	25,159	38,969
	夏 12 時	564	3,066	19,104	35,861	12	26			6,525	26,204	38,953
	冬 18 時	564	3,066	19,107	35,876	12	26			13,936	33,618	38,969
会津盆地 東縁断層 帯の地震	冬 5 時	634	3,233	23,312	21,325	33	79			2,813	26,792	24,637
	夏 12 時	634	3,233	10,232	13,899	35	81			5,061	15,962	17,213
	冬 18 時	634	3,233	23,312	21,325	33	79			11,991	35,970	24,637
想定東北 地方太平 洋沖地震	冬 5 時	4,233	21,024	14,069	71,714	113	245	4,965	6,576	1,388	24,768	99,560
	夏 12 時	4,233	21,024	13,918	71,130	113	245	4,965	6,576	4,411	27,640	98,976
	冬 18 時	4,233	21,024	14,069	71,714	113	245	4,965	6,576	8,591	31,971	99,560

表Ⅲ-1.4-1(2) 建物の被害予測結果のまとめ（風速 4m/s）

地震名	季節 時間	液状化		揺れ		急傾斜地		津波		火災	合計	
		全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊	半壊
福島盆地 西縁断層 帯の地震	冬 5 時	564	3,066	19,107	35,876	12	26			3,208	22,890	38,969
	夏 12 時	564	3,066	19,104	35,861	12	26			4,173	23,852	38,953
	冬 18 時	564	3,066	19,107	35,876	12	26			9,017	28,699	38,969
会津盆地 東縁断層 帯の地震	冬 5 時	634	3,233	23,312	21,325	33	79			1,873	25,852	24,637
	夏 12 時	634	3,233	10,232	13,899	35	81			3,941	14,842	17,213
	冬 18 時	634	3,233	23,312	21,325	33	79			8,413	32,391	24,637
想定東北 地方太平 洋沖地震	冬 5 時	4,233	21,024	14,069	71,714	113	245	4,965	6,576	749	24,129	99,560
	夏 12 時	4,233	21,024	13,918	71,130	113	245	4,965	6,576	2,915	26,145	98,976
	冬 18 時	4,233	21,024	14,069	71,714	113	245	4,965	6,576	5,550	28,930	99,560

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-2 建物被害（福島盆地西縁断層帯の地震，冬5時）（単位：棟）：風速 8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	267	1,627	13,700	25,319	4	8	4,835	18,806	26,955
会津若松市	0	0	*	*	0	0	0	*	*
郡山市	8	56	0	4	0	0	0	8	60
いわき市	0	0	0	0	*	*	0	*	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	*	2	*	1	0	0	0	*	3
相馬市	68	293	0	4	0	0	0	68	297
二本松市	39	171	8	299	3	7	0	50	476
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	8	0	0	0	0	0	1	8
伊達市	85	420	1,368	5,822	3	7	0	1,457	6,249
本宮市	5	35	0	13	0	0	0	5	48
桑折町	43	223	2,539	2,251	1	3	277	2,860	2,477
国見町	12	70	1,488	2,108	*	1	365	1,865	2,178
川俣町	11	53	0	11	*	*	0	12	65
大玉村	11	43	*	23	0	0	0	11	67
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	2	0	0	0	*	2
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	7	38	3	19	*	*	0	10	56
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	*	1	0	0	0	0	0	*	1
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	4	0	0	0	0	0	1	4
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	4	19	0	1	0	0	0	4	20
飯館村	*	2	0	*	0	0	0	*	2
合計	564	3,066	19,107	35,876	12	26	5,477	25,159	38,969

\*：わずく、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-3 建物被害（福島盆地西縁断層帯の地震，夏12時）（単位：棟）：風速8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	267	1,627	13,700	25,319	4	8	5,164	19,135	26,955
会津若松市	0	0	*	*	0	0	0	*	*
郡山市	8	56	0	4	0	0	0	8	60
いわき市	0	0	0	0	*	*	0	*	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	*	2	*	*	0	0	0	*	2
相馬市	68	293	0	4	0	0	0	68	297
二本松市	39	171	8	299	3	7	0	50	476
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	8	0	0	0	0	0	1	8
伊達市	85	420	1,368	5,822	3	7	988	2,445	6,249
本宮市	5	35	0	13	0	0	0	5	48
桑折町	43	223	2,539	2,251	1	3	312	2,895	2,477
国見町	12	70	1,488	2,108	*	1	61	1,561	2,178
川俣町	11	53	0	11	*	*	0	12	65
大玉村	11	43	*	23	0	0	0	11	67
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	1	0	0	0	*	1
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	7	38	*	5	*	*	0	7	43
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	*	1	0	0	0	0	0	*	1
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	4	0	0	0	0	0	1	4
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	4	19	0	1	0	0	0	4	20
飯館村	*	2	0	*	0	0	0	*	2
合計	564	3,066	19,104	35,861	12	26	6,525	26,204	38,953

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-4 建物被害（福島盆地西縁断層帯の地震，冬18時）（単位：棟）：風速8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	267	1,627	13,700	25,319	4	8	11,155	25,126	26,955
会津若松市	0	0	*	*	0	0	0	*	*
郡山市	8	56	0	4	0	0	0	8	60
いわき市	0	0	0	0	*	*	0	*	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	*	2	*	1	0	0	0	*	3
相馬市	68	293	0	4	0	0	0	68	297
二本松市	39	171	8	299	3	7	0	50	476
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	8	0	0	0	0	0	1	8
伊達市	85	420	1,368	5,822	3	7	1,712	3,169	6,249
本宮市	5	35	0	13	0	0	0	5	48
桑折町	43	223	2,539	2,251	1	3	621	3,204	2,477
国見町	12	70	1,488	2,108	*	1	448	1,948	2,178
川俣町	11	53	0	11	*	*	0	12	65
大玉村	11	43	*	23	0	0	0	11	67
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	2	0	0	0	*	2
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	7	38	3	19	*	*	0	10	56
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	*	1	0	0	0	0	0	*	1
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	4	0	0	0	0	0	1	4
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	4	19	0	1	0	0	0	4	20
飯館村	*	2	0	*	0	0	0	*	2
合計	564	3,066	19,107	35,876	12	26	13,936	33,618	38,969

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-5 建物被害（福島盆地西縁断層帯の地震，冬5時）（単位：棟）：風速 4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	267	1,627	13,700	25,319	4	8	2,820	16,791	26,955
会津若松市	0	0	*	*	0	0	0	*	*
郡山市	8	56	0	4	0	0	0	8	60
いわき市	0	0	0	0	*	*	0	*	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	*	2	*	1	0	0	0	*	3
相馬市	68	293	0	4	0	0	0	68	297
二本松市	39	171	8	299	3	7	0	50	476
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	8	0	0	0	0	0	1	8
伊達市	85	420	1,368	5,822	3	7	0	1,457	6,249
本宮市	5	35	0	13	0	0	0	5	48
桑折町	43	223	2,539	2,251	1	3	201	2,784	2,477
国見町	12	70	1,488	2,108	*	1	187	1,687	2,178
川俣町	11	53	0	11	*	*	0	12	65
大玉村	11	43	*	23	0	0	0	11	67
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	2	0	0	0	*	2
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	7	38	3	19	*	*	0	10	56
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	*	1	0	0	0	0	0	*	1
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	4	0	0	0	0	0	1	4
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	4	19	0	1	0	0	0	4	20
飯館村	*	2	0	*	0	0	0	*	2
合計	564	3,066	19,107	35,876	12	26	3,208	22,890	38,969

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-6 建物被害（福島盆地西縁断層帯の地震，夏12時）（単位：棟）：風速4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	267	1,627	13,700	25,319	4	8	3,626	17,597	26,955
会津若松市	0	0	*	*	0	0	0	*	*
郡山市	8	56	0	4	0	0	0	8	60
いわき市	0	0	0	0	*	*	0	*	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	*	2	*	*	0	0	0	*	2
相馬市	68	293	0	4	0	0	0	68	297
二本松市	39	171	8	299	3	7	0	50	476
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	8	0	0	0	0	0	1	8
伊達市	85	420	1,368	5,822	3	7	248	1,705	6,249
本宮市	5	35	0	13	0	0	0	5	48
桑折町	43	223	2,539	2,251	1	3	266	2,849	2,477
国見町	12	70	1,488	2,108	*	1	32	1,532	2,178
川俣町	11	53	0	11	*	*	0	12	65
大玉村	11	43	*	23	0	0	0	11	67
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	1	0	0	0	*	1
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	7	38	*	5	*	*	0	7	43
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	*	1	0	0	0	0	0	*	1
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	4	0	0	0	0	0	1	4
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	4	19	0	1	0	0	0	4	20
飯館村	*	2	0	*	0	0	0	*	2
合計	564	3,066	19,104	35,861	12	26	4,173	23,852	38,953

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-7 建物被害（福島盆地西縁断層帯の地震，冬18時）（単位：棟）：風速4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	267	1,627	13,700	25,319	4	8	7,717	21,688	26,955
会津若松市	0	0	*	*	0	0	0	*	*
郡山市	8	56	0	4	0	0	0	8	60
いわき市	0	0	0	0	*	*	0	*	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	*	2	*	1	0	0	0	*	3
相馬市	68	293	0	4	0	0	0	68	297
二本松市	39	171	8	299	3	7	0	50	476
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	8	0	0	0	0	0	1	8
伊達市	85	420	1,368	5,822	3	7	626	2,083	6,249
本宮市	5	35	0	13	0	0	0	5	48
桑折町	43	223	2,539	2,251	1	3	464	3,047	2,477
国見町	12	70	1,488	2,108	*	1	209	1,709	2,178
川俣町	11	53	0	11	*	*	0	12	65
大玉村	11	43	*	23	0	0	0	11	67
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	2	0	0	0	*	2
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	7	38	3	19	*	*	0	10	56
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	*	1	0	0	0	0	0	*	1
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	4	0	0	0	0	0	1	4
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	4	19	0	1	0	0	0	4	20
飯館村	*	2	0	*	0	0	0	*	2
合計	564	3,066	19,107	35,876	12	26	9,017	28,699	38,969

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-8 建物被害（会津盆地東縁断層帯の地震，冬5時）（単位：棟）：風速 8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	0	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	161	816	13,330	9,428	8	19	2,401	15,900	10,262
郡山市	97	613	316	749	11	25	0	424	1,387
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	7	44	1	49	1	2	0	9	95
須賀川市	48	223	3	135	*	1	0	51	359
喜多方市	122	573	2,098	3,133	2	4	153	2,375	3,711
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	14	58	0	2	0	0	0	14	60
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	2	10	0	7	0	0	0	2	17
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	2	9	0	1	0	0	0	2	10
鏡石町	2	13	0	3	0	0	0	2	16
天栄村	3	16	150	298	*	1	0	153	315
下郷町	4	23	1,100	913	2	5	15	1,121	941
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	18	115	169	418	*	1	0	188	534
北塩原村	*	1	23	63	*	1	0	23	66
西会津町	22	84	7	40	0	0	0	28	124
磐梯町	*	1	1,278	686	0	0	151	1,429	686
猪苗代町	52	248	2,423	2,020	4	10	93	2,573	2,278
会津坂下町	34	143	534	783	*	*	0	568	926
湯川村	3	15	427	254	0	0	0	430	269
柳津町	2	9	5	31	1	2	0	8	42
三島町	2	6	*	2	0	0	0	2	7
金山町	2	10	*	1	0	0	0	3	11
昭和村	*	1	1	7	0	0	0	1	8
会津美里町	32	158	1,444	2,236	2	5	0	1,478	2,400
西郷村	2	17	3	57	1	2	0	5	76
泉崎村	1	6	0	3	0	0	0	1	9
中島村	0	0	*	3	0	0	0	*	3
矢吹町	3	20	*	3	0	0	0	3	24
棚倉町	0	0	0	*	0	0	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	*	3	0	*	0	0	0	*	3
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	634	3,233	23,312	21,325	33	79	2,813	26,792	24,637

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-9 建物被害（会津盆地東縁断層帯の地震，夏12時）（単位：棟）：風速8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	0	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	161	816	6,207	6,905	9	20	4,188	10,565	7,741
郡山市	97	613	316	749	11	25	0	424	1,387
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	7	44	1	49	1	2	0	9	95
須賀川市	48	223	3	135	*	1	0	51	359
喜多方市	122	573	618	1,434	2	4	294	1,036	2,012
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	14	58	0	2	0	0	0	14	60
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	2	10	0	7	0	0	0	2	17
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	2	9	0	1	0	0	0	2	10
鏡石町	2	13	0	3	0	0	0	2	16
天栄村	3	16	150	298	*	1	0	153	315
下郷町	4	23	478	615	2	5	11	495	643
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	18	115	40	152	*	1	0	59	268
北塩原村	*	1	6	26	*	1	0	6	28
西会津町	22	84	1	10	0	0	0	23	94
磐梯町	*	1	637	584	0	0	197	834	584
猪苗代町	52	248	1,024	1,342	5	11	168	1,250	1,600
会津坂下町	34	143	162	363	*	*	49	244	506
湯川村	3	15	203	207	0	0	111	316	222
柳津町	2	9	1	7	1	2	0	4	18
三島町	2	6	*	*	0	0	0	2	6
金山町	2	10	*	*	0	0	0	2	10
昭和村	*	1	*	2	0	0	0	*	2
会津美里町	32	158	383	942	2	6	43	460	1,106
西郷村	2	17	3	57	1	2	0	5	76
泉崎村	1	6	0	3	0	0	0	1	9
中島村	0	0	*	3	0	0	0	*	3
矢吹町	3	20	*	3	0	0	0	3	24
棚倉町	0	0	0	*	0	0	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	*	3	0	*	0	0	0	*	3
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	634	3,233	10,232	13,899	35	81	5,061	15,962	17,213

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-10 建物被害（会津盆地東縁断層帯の地震，冬18時）（単位：棟）：風速8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	0	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	161	816	13,330	9,428	8	19	8,578	22,077	10,262
郡山市	97	613	316	749	11	25	376	800	1,387
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	7	44	1	49	1	2	0	9	95
須賀川市	48	223	3	135	*	1	0	51	359
喜多方市	122	573	2,098	3,133	2	4	1,142	3,364	3,711
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	14	58	0	2	0	0	0	14	60
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	2	10	0	7	0	0	0	2	17
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	2	9	0	1	0	0	0	2	10
鏡石町	2	13	0	3	0	0	0	2	16
天栄村	3	16	150	298	*	1	0	153	315
下郷町	4	23	1,100	913	2	5	17	1,123	941
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	18	115	169	418	*	1	0	188	534
北塩原村	*	1	23	63	*	1	0	23	66
西会津町	22	84	7	40	0	0	0	28	124
磐梯町	*	1	1,278	686	0	0	286	1,564	686
猪苗代町	52	248	2,423	2,020	4	10	536	3,016	2,278
会津坂下町	34	143	534	783	*	*	437	1,005	926
湯川村	3	15	427	254	0	0	159	589	269
柳津町	2	9	5	31	1	2	0	8	42
三島町	2	6	*	2	0	0	0	2	7
金山町	2	10	*	1	0	0	0	3	11
昭和村	*	1	1	7	0	0	0	1	8
会津美里町	32	158	1,444	2,236	2	5	461	1,939	2,400
西郷村	2	17	3	57	1	2	0	5	76
泉崎村	1	6	0	3	0	0	0	1	9
中島村	0	0	*	3	0	0	0	*	3
矢吹町	3	20	*	3	0	0	0	3	24
棚倉町	0	0	0	*	0	0	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	*	3	0	*	0	0	0	*	3
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	634	3,233	23,312	21,325	33	79	11,991	35,970	24,637

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-11 建物被害（会津盆地東縁断層帯の地震，冬５時）（単位：棟）：風速 4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	0	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	161	816	13,330	9,428	8	19	1,597	15,096	10,262
郡山市	97	613	316	749	11	25	0	424	1,387
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	7	44	1	49	1	2	0	9	95
須賀川市	48	223	3	135	*	1	0	51	359
喜多方市	122	573	2,098	3,133	2	4	95	2,317	3,711
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	14	58	0	2	0	0	0	14	60
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	2	10	0	7	0	0	0	2	17
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	2	9	0	1	0	0	0	2	10
鏡石町	2	13	0	3	0	0	0	2	16
天栄村	3	16	150	298	*	1	0	153	315
下郷町	4	23	1,100	913	2	5	0	1,106	941
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	18	115	169	418	*	1	0	188	534
北塩原村	*	1	23	63	*	1	0	23	66
西会津町	22	84	7	40	0	0	0	28	124
磐梯町	*	1	1,278	686	0	0	95	1,373	686
猪苗代町	52	248	2,423	2,020	4	10	86	2,566	2,278
会津坂下町	34	143	534	783	*	*	0	568	926
湯川村	3	15	427	254	0	0	0	430	269
柳津町	2	9	5	31	1	2	0	8	42
三島町	2	6	*	2	0	0	0	2	7
金山町	2	10	*	1	0	0	0	3	11
昭和村	*	1	1	7	0	0	0	1	8
会津美里町	32	158	1,444	2,236	2	5	0	1,478	2,400
西郷村	2	17	3	57	1	2	0	5	76
泉崎村	1	6	0	3	0	0	0	1	9
中島村	0	0	*	3	0	0	0	*	3
矢吹町	3	20	*	3	0	0	0	3	24
棚倉町	0	0	0	*	0	0	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	*	3	0	*	0	0	0	*	3
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	634	3,233	23,312	21,325	33	79	1,873	25,852	24,637

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-12 建物被害（会津盆地東縁断層帯の地震，夏12時）（単位：棟）：風速4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	0	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	161	816	6,207	6,905	9	20	3,397	9,774	7,741
郡山市	97	613	316	749	11	25	0	424	1,387
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	7	44	1	49	1	2	0	9	95
須賀川市	48	223	3	135	*	1	0	51	359
喜多方市	122	573	618	1,434	2	4	67	809	2,012
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	14	58	0	2	0	0	0	14	60
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	2	10	0	7	0	0	0	2	17
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	2	9	0	1	0	0	0	2	10
鏡石町	2	13	0	3	0	0	0	2	16
天栄村	3	16	150	298	*	1	0	153	315
下郷町	4	23	478	615	2	5	9	493	643
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	18	115	40	152	*	1	0	59	268
北塩原村	*	1	6	26	*	1	0	6	28
西会津町	22	84	1	10	0	0	0	23	94
磐梯町	*	1	637	584	0	0	148	785	584
猪苗代町	52	248	1,024	1,342	5	11	167	1,249	1,600
会津坂下町	34	143	162	363	*	*	0	195	506
湯川村	3	15	203	207	0	0	109	315	222
柳津町	2	9	1	7	1	2	0	4	18
三島町	2	6	*	*	0	0	0	2	6
金山町	2	10	*	*	0	0	0	2	10
昭和村	*	1	*	2	0	0	0	*	2
会津美里町	32	158	383	942	2	6	43	460	1,106
西郷村	2	17	3	57	1	2	0	5	76
泉崎村	1	6	0	3	0	0	0	1	9
中島村	0	0	*	3	0	0	0	*	3
矢吹町	3	20	*	3	0	0	0	3	24
棚倉町	0	0	0	*	0	0	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	*	3	0	*	0	0	0	*	3
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	634	3,233	10,232	13,899	35	81	3,941	14,842	17,213

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-13 建物被害（会津盆地東縁断層帯の地震，冬18時）（単位：棟）：風速4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	0	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	161	816	13,330	9,428	8	19	6,222	19,721	10,262
郡山市	97	613	316	749	11	25	0	424	1,387
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	7	44	1	49	1	2	0	9	95
須賀川市	48	223	3	135	*	1	0	51	359
喜多方市	122	573	2,098	3,133	2	4	672	2,894	3,711
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	14	58	0	2	0	0	0	14	60
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	2	10	0	7	0	0	0	2	17
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	2	9	0	1	0	0	0	2	10
鏡石町	2	13	0	3	0	0	0	2	16
天栄村	3	16	150	298	*	1	0	153	315
下郷町	4	23	1,100	913	2	5	17	1,123	941
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	18	115	169	418	*	1	0	188	534
北塩原村	*	1	23	63	*	1	0	23	66
西会津町	22	84	7	40	0	0	0	28	124
磐梯町	*	1	1,278	686	0	0	214	1,492	686
猪苗代町	52	248	2,423	2,020	4	10	471	2,950	2,278
会津坂下町	34	143	534	783	*	*	355	923	926
湯川村	3	15	427	254	0	0	152	582	269
柳津町	2	9	5	31	1	2	0	8	42
三島町	2	6	*	2	0	0	0	2	7
金山町	2	10	*	1	0	0	0	3	11
昭和村	*	1	1	7	0	0	0	1	8
会津美里町	32	158	1,444	2,236	2	5	309	1,787	2,400
西郷村	2	17	3	57	1	2	0	5	76
泉崎村	1	6	0	3	0	0	0	1	9
中島村	0	0	*	3	0	0	0	*	3
矢吹町	3	20	*	3	0	0	0	3	24
棚倉町	0	0	0	*	0	0	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	*	3	0	*	0	0	0	*	3
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	634	3,233	23,312	21,325	33	79	8,413	32,391	24,637

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-14 建物被害（想定東北地方太平洋沖地震，冬５時）（単位：棟）：風速 8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		津波		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	260	1,594	50	1,866	1	2	0	0	0	311	3,462
会津若松市	143	702	126	510	3	6	0	0	0	272	1,217
郡山市	670	4,048	4,296	20,947	11	23	0	0	1,171	6,148	25,018
いわき市	1,621	7,466	1,922	12,066	41	88	2,090	4,902	0	5,674	24,522
白河市	35	209	233	1,768	4	8	0	0	0	271	1,984
須賀川市	125	599	2,241	6,089	3	6	0	0	217	2,586	6,693
喜多方市	41	204	2	19	0	0	0	0	0	43	223
相馬市	213	914	266	1,799	*	1	1,009	573	0	1,489	3,288
二本松市	91	371	219	2,189	8	17	0	0	0	318	2,577
田村市	94	407	396	4,159	6	14	0	0	0	497	4,580
南相馬市	116	620	126	1,799	5	10	912	676	0	1,159	3,105
伊達市	93	459	169	2,147	4	8	0	0	0	265	2,615
本宮市	34	209	285	1,327	*	1	0	0	0	319	1,537
桑折町	44	227	205	1,161	1	2	0	0	0	249	1,391
国見町	12	70	820	1,894	*	*	0	0	0	832	1,965
川俣町	69	262	10	255	1	1	0	0	0	79	518
大玉村	13	54	3	92	*	*	0	0	0	16	146
鏡石町	13	96	163	848	0	0	0	0	0	176	945
天栄村	4	22	118	458	1	2	0	0	0	123	482
下郷町	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	29	3	14	0	0	0	0	0	8	43
北塩原村	*	*	0	0	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	11	45	0	0	0	0	0	0	0	11	45
磐梯町	*	*	1	10	0	0	0	0	0	1	10
猪苗代町	51	241	32	136	1	1	0	0	0	83	378
会津坂下町	33	138	10	71	0	0	0	0	0	42	209
湯川村	2	13	2	16	0	0	0	0	0	5	28
柳津町	*	2	*	*	0	0	0	0	0	*	2
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	12	58	7	40	0	0	0	0	0	19	98
西郷村	3	29	252	1,182	2	3	0	0	0	257	1,214
泉崎村	3	19	1	42	*	*	0	0	0	4	61
中島村	2	16	13	184	*	*	0	0	0	15	200
矢吹町	22	144	94	870	*	*	0	0	0	116	1,014
棚倉町	26	150	44	450	*	1	0	0	0	71	601
矢祭町	23	90	*	8	*	1	0	0	0	23	99
塙町	11	46	0	14	1	3	0	0	0	12	63
鮫川村	0	0	0	1	*	1	0	0	0	*	2
石川町	125	411	2	127	1	1	0	0	0	128	540
玉川村	15	76	10	169	*	*	0	0	0	25	245
平田村	1	5	21	361	*	1	0	0	0	23	366
浅川町	*	*	12	236	1	2	0	0	0	13	238
古殿町	9	41	8	162	1	2	0	0	0	18	205
三春町	3	15	31	389	*	1	0	0	0	34	406
小野町	9	43	26	500	3	6	0	0	0	37	549
広野町	12	67	13	91	*	1	57	14	0	83	173
檜葉町	5	56	91	394	1	2	38	100	0	135	552
富岡町	9	70	351	710	3	6	26	56	0	389	842
川内村	2	11	16	205	1	2	0	0	0	19	218
大熊町	8	49	412	810	1	2	45	0	0	467	861
双葉町	68	252	457	983	5	9	168	82	0	699	1,326
浪江町	33	179	322	1,100	2	4	151	95	0	508	1,378
葛尾村	*	2	7	56	*	1	0	0	0	8	60
新地町	22	118	177	902	*	*	469	78	0	668	1,098
飯館村	16	75	3	90	1	2	0	0	0	21	168
合計	4,233	21,024	14,069	71,714	113	245	4,965	6,576	1,388	24,768	99,560

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-15 建物被害（想定東北地方太平洋沖地震，夏12時）（単位：棟）：風速 8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		津波		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	260	1,594	50	1,866	1	2	0	0	0	311	3,462
会津若松市	143	702	23	150	3	6	0	0	0	169	858
郡山市	670	4,048	4,296	20,947	11	23	0	0	3,478	8,456	25,018
いわき市	1,621	7,466	1,922	12,066	41	88	2,090	4,902	0	5,674	24,522
白河市	35	209	233	1,768	4	8	0	0	0	271	1,984
須賀川市	125	599	2,241	6,089	3	6	0	0	445	2,814	6,693
喜多方市	41	204	*	5	0	0	0	0	0	42	209
相馬市	213	914	266	1,799	*	1	1,009	573	0	1,489	3,288
二本松市	91	371	219	2,189	8	17	0	0	0	318	2,577
田村市	94	407	396	4,159	6	14	0	0	63	560	4,580
南相馬市	116	620	126	1,799	5	10	912	676	0	1,159	3,105
伊達市	93	459	169	2,147	4	8	0	0	0	265	2,615
本宮市	34	209	285	1,327	*	1	0	0	0	319	1,537
桑折町	44	227	205	1,161	1	2	0	0	0	249	1,391
国見町	12	70	820	1,894	*	*	0	0	221	1,053	1,965
川俣町	69	262	10	255	1	1	0	0	0	79	518
大玉村	13	54	3	92	*	*	0	0	0	16	146
鏡石町	13	96	163	848	0	0	0	0	0	176	945
天栄村	4	22	118	458	1	2	0	0	0	123	482
下郷町	0	0	0	*	0	0	0	0	0	0	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	29	1	4	0	0	0	0	0	5	33
北塩原村	*	*	0	0	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	11	45	0	0	0	0	0	0	0	11	45
磐梯町	*	*	*	2	0	0	0	0	0	*	3
猪苗代町	51	241	6	40	1	1	0	0	0	57	282
会津坂下町	33	138	1	17	0	0	0	0	0	34	155
湯川村	2	13	*	4	0	0	0	0	0	3	17
柳津町	*	2	*	*	0	0	0	0	0	*	2
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	12	58	1	9	0	0	0	0	0	13	67
西郷村	3	29	252	1,182	2	3	0	0	38	296	1,214
泉崎村	3	19	1	42	*	*	0	0	0	4	61
中島村	2	16	13	184	*	*	0	0	0	15	200
矢吹町	22	144	94	870	*	*	0	0	0	116	1,014
棚倉町	26	150	44	450	*	1	0	0	0	71	601
矢祭町	23	90	*	8	*	1	0	0	0	23	99
塙町	11	46	0	14	1	3	0	0	0	12	63
鮫川村	0	0	0	1	*	1	0	0	0	*	2
石川町	125	411	2	127	1	1	0	0	0	128	540
玉川村	15	76	10	169	*	*	0	0	0	25	245
平田村	1	5	21	361	*	1	0	0	0	23	366
浅川町	*	*	12	236	1	2	0	0	0	13	238
古殿町	9	41	8	162	1	2	0	0	0	18	205
三春町	3	15	31	389	*	1	0	0	0	34	406
小野町	9	43	26	500	3	6	0	0	0	37	549
広野町	12	67	13	91	*	1	57	14	0	83	173
楢葉町	5	56	91	394	1	2	38	100	0	135	552
富岡町	9	70	351	710	3	6	26	56	44	434	842
川内村	2	11	16	205	1	2	0	0	0	19	218
大熊町	8	49	412	810	1	2	45	0	0	467	861
双葉町	68	252	457	983	5	9	168	82	121	820	1,326
浪江町	33	179	322	1,100	2	4	151	95	0	508	1,378
葛尾村	*	2	7	56	*	1	0	0	0	8	60
新地町	22	118	177	902	*	*	469	78	0	668	1,098
飯館村	16	75	3	90	1	2	0	0	0	21	168
合計	4,233	21,024	13,918	71,130	113	245	4,965	6,576	4,411	27,640	98,976

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-16 建物被害（想定東北地方太平洋沖地震，冬18時）（単位：棟）：風速8m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		津波		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	260	1,594	50	1,866	1	2	0	0	0	311	3,462
会津若松市	143	702	126	510	3	6	0	0	0	272	1,217
郡山市	670	4,048	4,296	20,947	11	23	0	0	4,380	9,357	25,018
いわき市	1,621	7,466	1,922	12,066	41	88	2,090	4,902	1,126	6,800	24,522
白河市	35	209	233	1,768	4	8	0	0	392	663	1,984
須賀川市	125	599	2,241	6,089	3	6	0	0	1,057	3,426	6,693
喜多方市	41	204	2	19	0	0	0	0	0	43	223
相馬市	213	914	266	1,799	*	1	1,009	573	130	1,618	3,288
二本松市	91	371	219	2,189	8	17	0	0	0	318	2,577
田村市	94	407	396	4,159	6	14	0	0	210	707	4,580
南相馬市	116	620	126	1,799	5	10	912	676	110	1,269	3,105
伊達市	93	459	169	2,147	4	8	0	0	0	265	2,615
本宮市	34	209	285	1,327	*	1	0	0	159	478	1,537
桑折町	44	227	205	1,161	1	2	0	0	0	249	1,391
国見町	12	70	820	1,894	*	*	0	0	88	920	1,965
川俣町	69	262	10	255	1	1	0	0	0	79	518
大玉村	13	54	3	92	*	*	0	0	0	16	146
鏡石町	13	96	163	848	0	0	0	0	105	281	945
天栄村	4	22	118	458	1	2	0	0	0	123	482
下郷町	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	29	3	14	0	0	0	0	0	8	43
北塩原村	*	*	0	0	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	11	45	0	0	0	0	0	0	0	11	45
磐梯町	*	*	1	10	0	0	0	0	0	1	10
猪苗代町	51	241	32	136	1	1	0	0	0	83	378
会津坂下町	33	138	10	71	0	0	0	0	0	42	209
湯川村	2	13	2	16	0	0	0	0	0	5	28
柳津町	*	2	*	*	0	0	0	0	0	*	2
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	12	58	7	40	0	0	0	0	0	19	98
西郷村	3	29	252	1,182	2	3	0	0	104	361	1,214
泉崎村	3	19	1	42	*	*	0	0	0	4	61
中島村	2	16	13	184	*	*	0	0	0	15	200
矢吹町	22	144	94	870	*	*	0	0	0	116	1,014
棚倉町	26	150	44	450	*	1	0	0	0	71	601
矢祭町	23	90	*	8	*	1	0	0	0	23	99
塙町	11	46	0	14	1	3	0	0	0	12	63
鮫川村	0	0	0	1	*	1	0	0	0	*	2
石川町	125	411	2	127	1	1	0	0	0	128	540
玉川村	15	76	10	169	*	*	0	0	0	25	245
平田村	1	5	21	361	*	1	0	0	0	23	366
浅川町	*	*	12	236	1	2	0	0	0	13	238
古殿町	9	41	8	162	1	2	0	0	0	18	205
三春町	3	15	31	389	*	1	0	0	0	34	406
小野町	9	43	26	500	3	6	0	0	0	37	549
広野町	12	67	13	91	*	1	57	14	0	83	173
楢葉町	5	56	91	394	1	2	38	100	0	135	552
富岡町	9	70	351	710	3	6	26	56	69	459	842
川内村	2	11	16	205	1	2	0	0	304	323	218
大熊町	8	49	412	810	1	2	45	0	0	467	861
双葉町	68	252	457	983	5	9	168	82	123	821	1,326
浪江町	33	179	322	1,100	2	4	151	95	96	604	1,378
葛尾村	*	2	7	56	*	1	0	0	0	8	60
新地町	22	118	177	902	*	*	469	78	138	806	1,098
飯館村	16	75	3	90	1	2	0	0	0	21	168
合計	4,233	21,024	14,069	71,714	113	245	4,965	6,576	8,591	31,971	99,560

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が含まないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-17 建物被害（想定東北地方太平洋沖地震，冬5時）（単位：棟）：風速4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		津波		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	260	1,594	50	1,866	1	2	0	0	0	311	3,462
会津若松市	143	702	126	510	3	6	0	0	0	272	1,217
郡山市	670	4,048	4,296	20,947	11	23	0	0	564	5,541	25,018
いわき市	1,621	7,466	1,922	12,066	41	88	2,090	4,902	0	5,674	24,522
白河市	35	209	233	1,768	4	8	0	0	0	271	1,984
須賀川市	125	599	2,241	6,089	3	6	0	0	186	2,555	6,693
喜多方市	41	204	2	19	0	0	0	0	0	43	223
相馬市	213	914	266	1,799	*	1	1,009	573	0	1,489	3,288
二本松市	91	371	219	2,189	8	17	0	0	0	318	2,577
田村市	94	407	396	4,159	6	14	0	0	0	497	4,580
南相馬市	116	620	126	1,799	5	10	912	676	0	1,159	3,105
伊達市	93	459	169	2,147	4	8	0	0	0	265	2,615
本宮市	34	209	285	1,327	*	1	0	0	0	319	1,537
桑折町	44	227	205	1,161	1	2	0	0	0	249	1,391
国見町	12	70	820	1,894	*	*	0	0	0	832	1,965
川俣町	69	262	10	255	1	1	0	0	0	79	518
大玉村	13	54	3	92	*	*	0	0	0	16	146
鏡石町	13	96	163	848	0	0	0	0	0	176	945
天栄村	4	22	118	458	1	2	0	0	0	123	482
下郷町	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	29	3	14	0	0	0	0	0	8	43
北塩原村	*	*	0	0	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	11	45	0	0	0	0	0	0	0	11	45
磐梯町	*	*	1	10	0	0	0	0	0	1	10
猪苗代町	51	241	32	136	1	1	0	0	0	83	378
会津坂下町	33	138	10	71	0	0	0	0	0	42	209
湯川村	2	13	2	16	0	0	0	0	0	5	28
柳津町	*	2	*	*	0	0	0	0	0	*	2
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	12	58	7	40	0	0	0	0	0	19	98
西郷村	3	29	252	1,182	2	3	0	0	0	257	1,214
泉崎村	3	19	1	42	*	*	0	0	0	4	61
中島村	2	16	13	184	*	*	0	0	0	15	200
矢吹町	22	144	94	870	*	*	0	0	0	116	1,014
棚倉町	26	150	44	450	*	1	0	0	0	71	601
矢祭町	23	90	*	8	*	1	0	0	0	23	99
塙町	11	46	0	14	1	3	0	0	0	12	63
鮫川村	0	0	0	1	*	1	0	0	0	*	2
石川町	125	411	2	127	1	1	0	0	0	128	540
玉川村	15	76	10	169	*	*	0	0	0	25	245
平田村	1	5	21	361	*	1	0	0	0	23	366
浅川町	*	*	12	236	1	2	0	0	0	13	238
古殿町	9	41	8	162	1	2	0	0	0	18	205
三春町	3	15	31	389	*	1	0	0	0	34	406
小野町	9	43	26	500	3	6	0	0	0	37	549
広野町	12	67	13	91	*	1	57	14	0	83	173
楢葉町	5	56	91	394	1	2	38	100	0	135	552
富岡町	9	70	351	710	3	6	26	56	0	389	842
川内村	2	11	16	205	1	2	0	0	0	19	218
大熊町	8	49	412	810	1	2	45	0	0	467	861
双葉町	68	252	457	983	5	9	168	82	0	699	1,326
浪江町	33	179	322	1,100	2	4	151	95	0	508	1,378
葛尾村	*	2	7	56	*	1	0	0	0	8	60
新地町	22	118	177	902	*	*	469	78	0	668	1,098
飯館村	16	75	3	90	1	2	0	0	0	21	168
合計	4,233	21,024	14,069	71,714	113	245	4,965	6,576	749	24,129	99,560

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-18 建物被害（想定東北地方太平洋沖地震，夏12時）（単位：棟）：風速 4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		津波		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	260	1,594	50	1,866	1	2	0	0	0	311	3,462
会津若松市	143	702	23	150	3	6	0	0	0	169	858
郡山市	670	4,048	4,296	20,947	11	23	0	0	2,176	7,153	25,018
いわき市	1,621	7,466	1,922	12,066	41	88	2,090	4,902	0	5,674	24,522
白河市	35	209	233	1,768	4	8	0	0	0	271	1,984
須賀川市	125	599	2,241	6,089	3	6	0	0	361	2,730	6,693
喜多方市	41	204	*	5	0	0	0	0	0	42	209
相馬市	213	914	266	1,799	*	1	1,009	573	0	1,489	3,288
二本松市	91	371	219	2,189	8	17	0	0	0	318	2,577
田村市	94	407	396	4,159	6	14	0	0	0	497	4,580
南相馬市	116	620	126	1,799	5	10	912	676	0	1,159	3,105
伊達市	93	459	169	2,147	4	8	0	0	0	265	2,615
本宮市	34	209	285	1,327	*	1	0	0	0	319	1,537
桑折町	44	227	205	1,161	1	2	0	0	0	249	1,391
国見町	12	70	820	1,894	*	*	0	0	189	1,021	1,965
川俣町	69	262	10	255	1	1	0	0	0	79	518
大玉村	13	54	3	92	*	*	0	0	0	16	146
鏡石町	13	96	163	848	0	0	0	0	0	176	945
天栄村	4	22	118	458	1	2	0	0	0	123	482
下郷町	0	0	0	*	0	0	0	0	0	0	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	29	1	4	0	0	0	0	0	5	33
北塩原村	*	*	0	0	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	11	45	0	0	0	0	0	0	0	11	45
磐梯町	*	*	*	2	0	0	0	0	0	*	3
猪苗代町	51	241	6	40	1	1	0	0	0	57	282
会津坂下町	33	138	1	17	0	0	0	0	0	34	155
湯川村	2	13	*	4	0	0	0	0	0	3	17
柳津町	*	2	*	*	0	0	0	0	0	*	2
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	12	58	1	9	0	0	0	0	0	13	67
西郷村	3	29	252	1,182	2	3	0	0	37	295	1,214
泉崎村	3	19	1	42	*	*	0	0	0	4	61
中島村	2	16	13	184	*	*	0	0	0	15	200
矢吹町	22	144	94	870	*	*	0	0	0	116	1,014
棚倉町	26	150	44	450	*	1	0	0	0	71	601
矢祭町	23	90	*	8	*	1	0	0	0	23	99
塙町	11	46	0	14	1	3	0	0	0	12	63
鮫川村	0	0	0	1	*	1	0	0	0	*	2
石川町	125	411	2	127	1	1	0	0	0	128	540
玉川村	15	76	10	169	*	*	0	0	0	25	245
平田村	1	5	21	361	*	1	0	0	0	23	366
浅川町	*	*	12	236	1	2	0	0	0	13	238
古殿町	9	41	8	162	1	2	0	0	0	18	205
三春町	3	15	31	389	*	1	0	0	0	34	406
小野町	9	43	26	500	3	6	0	0	0	37	549
広野町	12	67	13	91	*	1	57	14	0	83	173
檜葉町	5	56	91	394	1	2	38	100	0	135	552
富岡町	9	70	351	710	3	6	26	56	44	434	842
川内村	2	11	16	205	1	2	0	0	0	19	218
大熊町	8	49	412	810	1	2	45	0	0	467	861
双葉町	68	252	457	983	5	9	168	82	107	806	1,326
浪江町	33	179	322	1,100	2	4	151	95	0	508	1,378
葛尾村	*	2	7	56	*	1	0	0	0	8	60
新地町	22	118	177	902	*	*	469	78	0	668	1,098
飯館村	16	75	3	90	1	2	0	0	0	21	168
合計	4,233	21,024	13,918	71,130	113	245	4,965	6,576	2,915	26,145	98,976

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-19 建物被害（想定東北地方太平洋沖地震，冬18時）（単位：棟）：風速 4m/s

市区町村名	液状化		揺れ		急傾斜地		津波		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
福島市	260	1,594	50	1,866	1	2	0	0	0	311	3,462
会津若松市	143	702	126	510	3	6	0	0	0	272	1,217
郡山市	670	4,048	4,296	20,947	11	23	0	0	3,230	8,207	25,018
いわき市	1,621	7,466	1,922	12,066	41	88	2,090	4,902	558	6,232	24,522
白河市	35	209	233	1,768	4	8	0	0	71	342	1,984
須賀川市	125	599	2,241	6,089	3	6	0	0	747	3,116	6,693
喜多方市	41	204	2	19	0	0	0	0	0	43	223
相馬市	213	914	266	1,799	*	1	1,009	573	68	1,557	3,288
二本松市	91	371	219	2,189	8	17	0	0	0	318	2,577
田村市	94	407	396	4,159	6	14	0	0	203	700	4,580
南相馬市	116	620	126	1,799	5	10	912	676	0	1,159	3,105
伊達市	93	459	169	2,147	4	8	0	0	0	265	2,615
本宮市	34	209	285	1,327	*	1	0	0	0	319	1,537
桑折町	44	227	205	1,161	1	2	0	0	0	249	1,391
国見町	12	70	820	1,894	*	*	0	0	73	905	1,965
川俣町	69	262	10	255	1	1	0	0	0	79	518
大玉村	13	54	3	92	*	*	0	0	0	16	146
鏡石町	13	96	163	848	0	0	0	0	0	176	945
天栄村	4	22	118	458	1	2	0	0	0	123	482
下郷町	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	29	3	14	0	0	0	0	0	8	43
北塩原村	*	*	0	0	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	11	45	0	0	0	0	0	0	0	11	45
磐梯町	*	*	1	10	0	0	0	0	0	1	10
猪苗代町	51	241	32	136	1	1	0	0	0	83	378
会津坂下町	33	138	10	71	0	0	0	0	0	42	209
湯川村	2	13	2	16	0	0	0	0	0	5	28
柳津町	*	2	*	*	0	0	0	0	0	*	2
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	12	58	7	40	0	0	0	0	0	19	98
西郷村	3	29	252	1,182	2	3	0	0	96	353	1,214
泉崎村	3	19	1	42	*	*	0	0	0	4	61
中島村	2	16	13	184	*	*	0	0	0	15	200
矢吹町	22	144	94	870	*	*	0	0	0	116	1,014
棚倉町	26	150	44	450	*	1	0	0	0	71	601
矢祭町	23	90	*	8	*	1	0	0	0	23	99
塙町	11	46	0	14	1	3	0	0	0	12	63
鮫川村	0	0	0	1	*	1	0	0	0	*	2
石川町	125	411	2	127	1	1	0	0	0	128	540
玉川村	15	76	10	169	*	*	0	0	0	25	245
平田村	1	5	21	361	*	1	0	0	0	23	366
浅川町	*	*	12	236	1	2	0	0	0	13	238
古殿町	9	41	8	162	1	2	0	0	0	18	205
三春町	3	15	31	389	*	1	0	0	0	34	406
小野町	9	43	26	500	3	6	0	0	0	37	549
広野町	12	67	13	91	*	1	57	14	0	83	173
楢葉町	5	56	91	394	1	2	38	100	0	135	552
富岡町	9	70	351	710	3	6	26	56	69	459	842
川内村	2	11	16	205	1	2	0	0	285	304	218
大熊町	8	49	412	810	1	2	45	0	0	467	861
双葉町	68	252	457	983	5	9	168	82	81	780	1,326
浪江町	33	179	322	1,100	2	4	151	95	68	576	1,378
葛尾村	*	2	7	56	*	1	0	0	0	8	60
新地町	22	118	177	902	*	*	469	78	0	668	1,098
飯館村	16	75	3	90	1	2	0	0	0	21	168
合計	4,233	21,024	14,069	71,714	113	245	4,965	6,576	5,550	28,930	99,560

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-20 出火件数（福島盆地西縁断層帯の地震）（単位：件）

市町村名	冬5時			夏12時			冬18時		
	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数
福島市	18	12	11	28	19	18	52	34	33
会津若松市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	1	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	1	0	0	1	0	0
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	2	1	0	4	2	2	7	4	3
本宮市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	3	2	2	5	4	4	8	6	6
国見町	2	1	1	3	2	2	4	3	3
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	25	17	14	42	27	26	74	48	45

- 1) 全出火は、建物全壊及び電気機器等からの出火。  
2) 炎上出火は、住民による初期消火によって消火されたものを考慮。  
3) 残出火は、消防隊による消火活動によって消火されたものを考慮。延焼拡大に発展する出火。  
※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。0

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.4-21 出火件数（会津盆地東縁断層帯の地震）（単位：件）

市町村名	冬5時			夏12時			冬18時		
	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	21	17	17	37	31	30	71	59	58
郡山市	1	0	0	2	1	0	4	2	1
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	0	0	0	0	0	0	1	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0	1	0	0
喜多方市	3	2	2	4	3	2	9	5	5
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	1	0	0
下郷町	1	1	1	3	2	2	4	3	3
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	1	0	0	1	1	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	2	1	2	5	4	4	7	6	6
猪苗代町	3	3	3	7	6	6	12	9	10
会津坂下町	1	0	0	1	1	1	2	2	2
湯川村	1	0	0	1	1	1	2	2	2
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	2	1	0	2	1	1	5	3	3
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯沼村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	35	27	25	65	50	47	122	92	90

1) 全出火は、建物全壊及び電気機器等からの出火。

2) 炎上出火は、住民による初期消火によって消火されたものを考慮。

3) 残出火は、消防隊による消火活動によって消火されたものを考慮。延焼拡大に発展する出火。

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

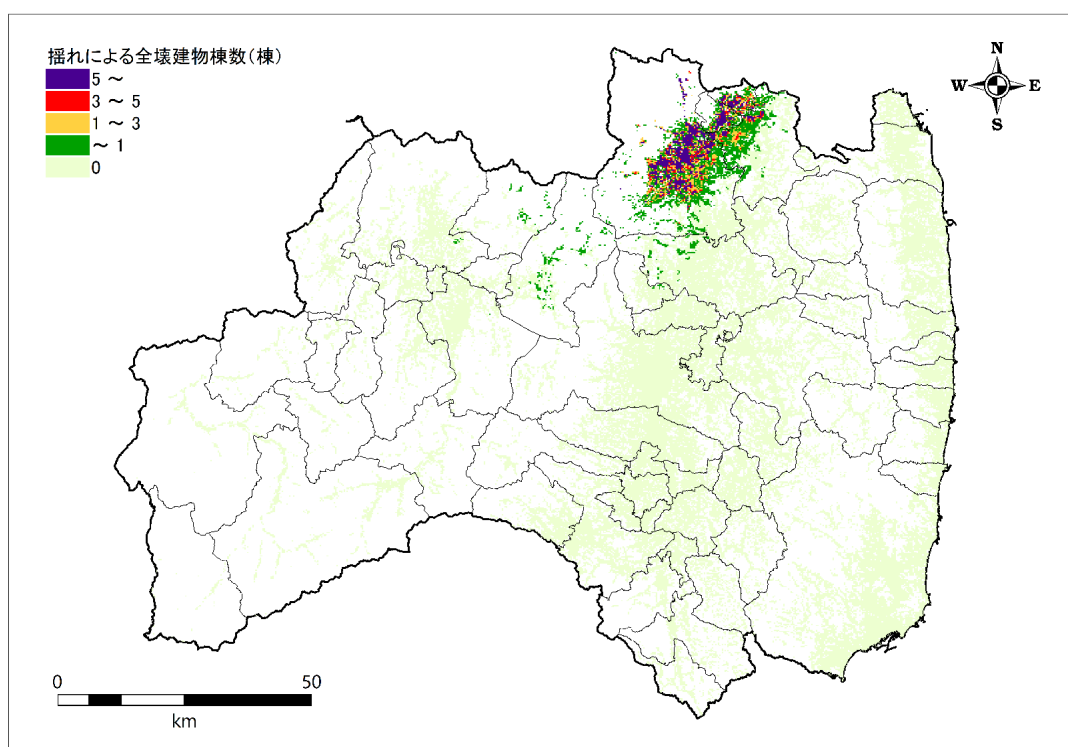
表Ⅲ-1.4-22 出火件数（想定東北地方太平洋沖地震）（単位：件）

市町村名	冬5時			夏12時			冬18時		
	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数	全出火件数	炎上出火件数	残出火件数
福島市	1	0	0	2	1	0	6	2	0
会津若松市	0	0	0	1	0	0	2	1	0
郡山市	8	4	4	15	8	7	31	16	15
いわき市	5	2	0	9	4	0	21	8	6
白河市	1	0	0	2	1	0	4	2	2
須賀川市	3	2	2	6	4	4	11	7	7
喜多方市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	0	0	1	1	0	2	1	1
二本松市	1	0	0	2	1	0	3	1	0
田村市	1	0	0	3	1	1	4	1	1
南相馬市	1	0	0	2	1	0	3	1	1
伊達市	1	0	0	1	0	0	3	1	0
本宮市	1	0	0	1	1	0	2	1	1
桑折町	0	0	0	1	0	0	1	1	0
国見町	1	1	0	2	1	1	3	2	2
川俣町	0	0	0	0	0	0	1	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	1	0	0	1	1	1
天栄村	0	0	0	0	0	0	1	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	0	0	0	0	0	0	1	0	0
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	1	0	0	1	1	1	2	1	2
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	1	0	0	1	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	1	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	1	0	0
小野町	0	0	0	1	0	0	1	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	1	0	0	1	1	0
富岡町	1	0	0	1	1	1	2	1	2
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	1	0	0	1	1	0	2	1	1
双葉町	1	0	0	1	1	1	2	1	1
浪江町	0	0	0	1	1	0	2	1	1
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	1	0	0	1	1	1
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	29	15	6	60	29	16	120	56	45

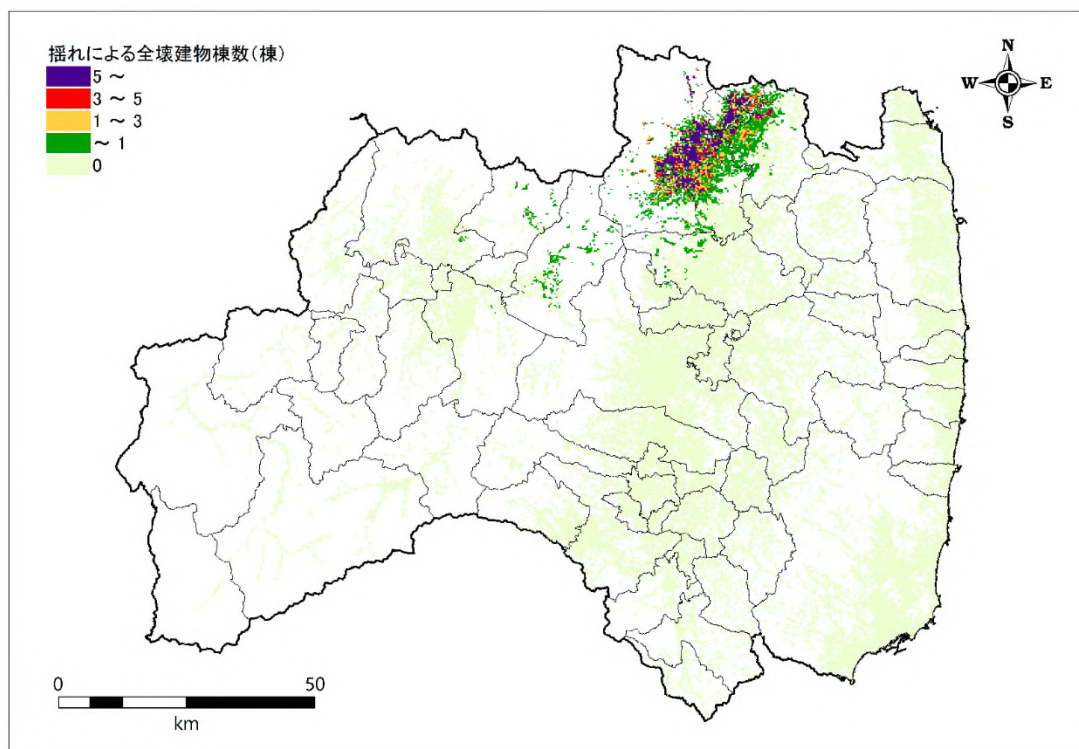
- 1) 全出火は、建物全壊及び電気機器等からの出火。  
2) 炎上出火は、住民による初期消火によって消火されたものを考慮。  
3) 残出火は、消防隊による消火活動によって消火されたものを考慮。延焼拡大に発展する出火。  
※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



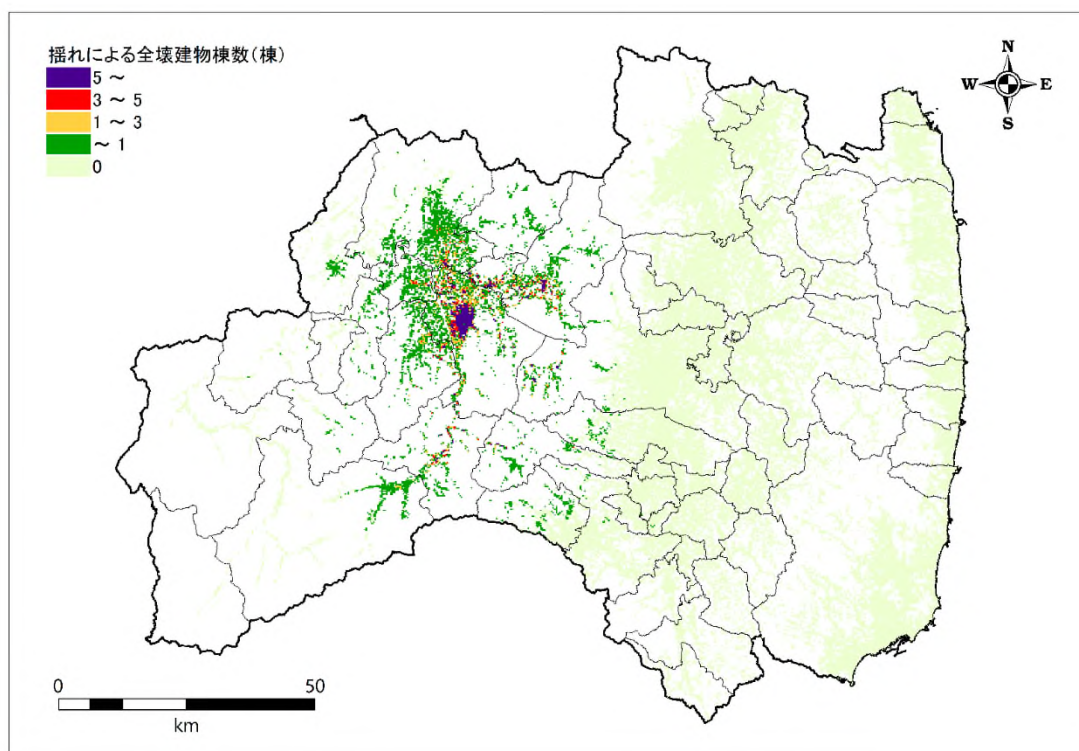
図Ⅲ-1.4-1 揺れによる建物全壊棟数分布  
(福島盆地西縁断層帯の地震, 夏)



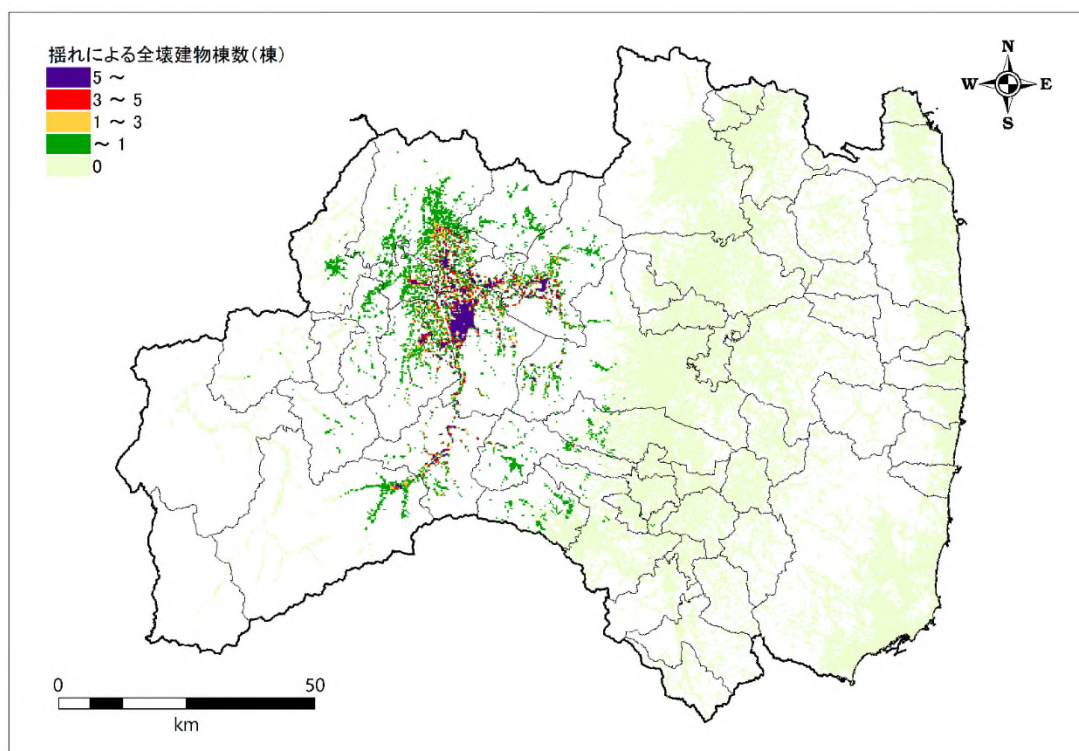
図Ⅲ-1.4-2 揺れによる建物全壊棟数分布  
(福島盆地西縁断層帯の地震, 冬)

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.4-3 揺れによる建物全壊棟数分布  
(会津盆地東縁断層帯の地震, 夏)

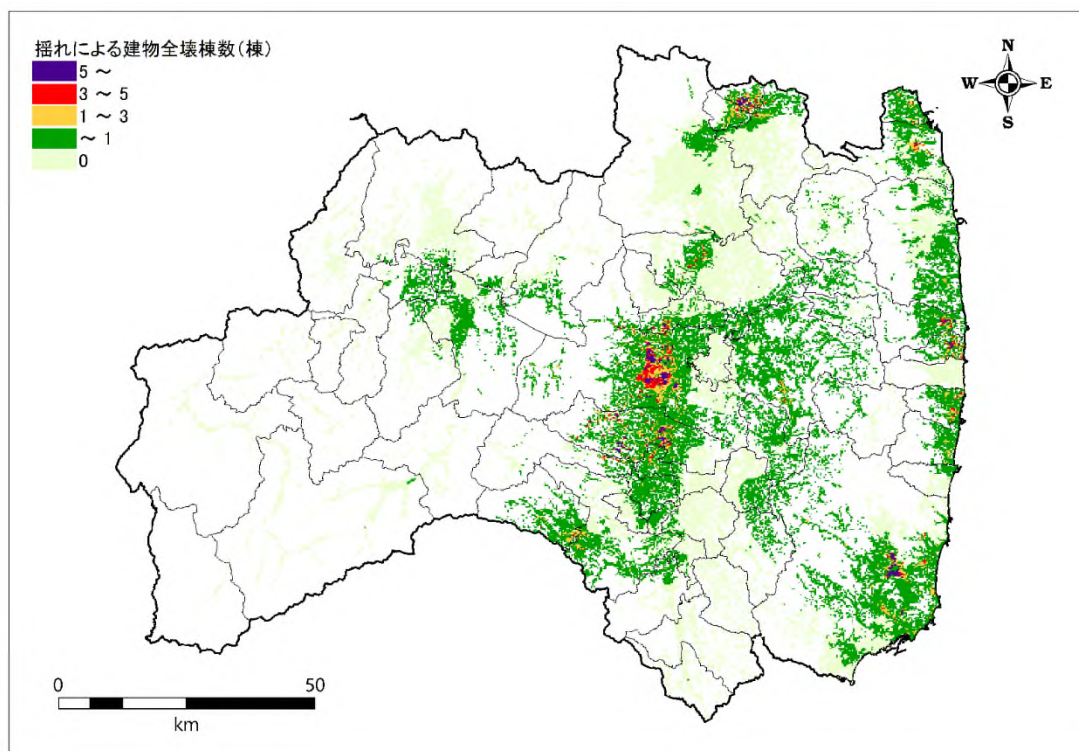


図Ⅲ-1.4-4 揺れによる建物全壊棟数分布  
(会津盆地東縁断層帯の地震, 冬)

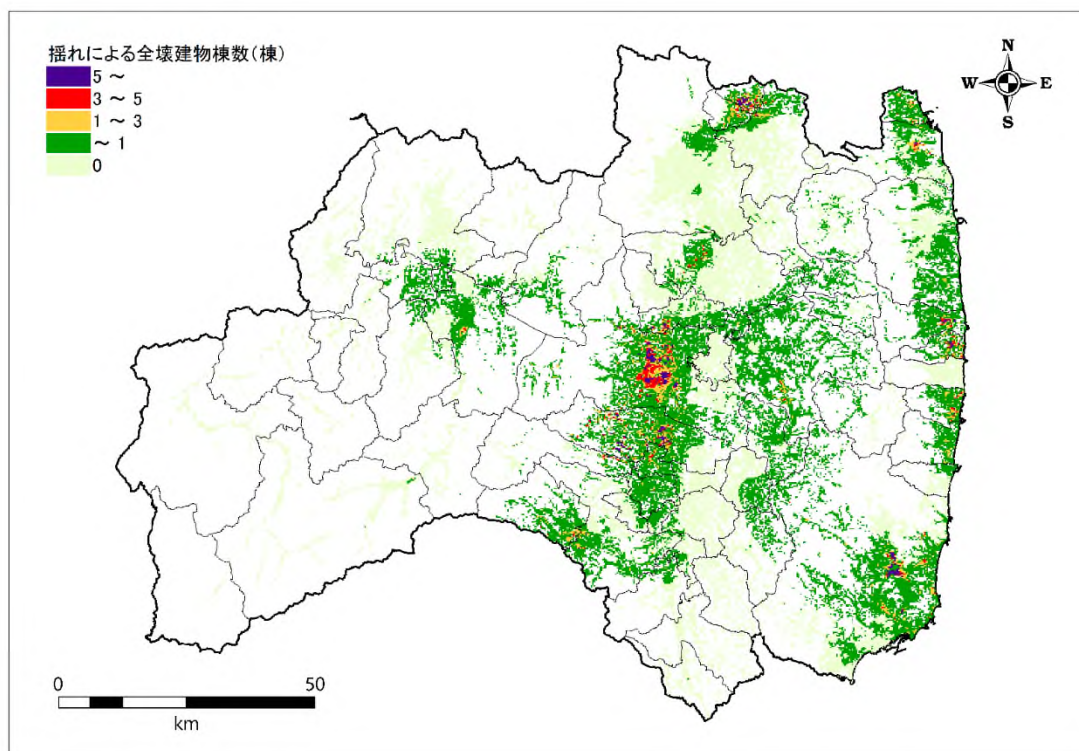


### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.4-5 揺れによる建物全壊棟数分布  
(想定東北地方太平洋沖地震, 夏)

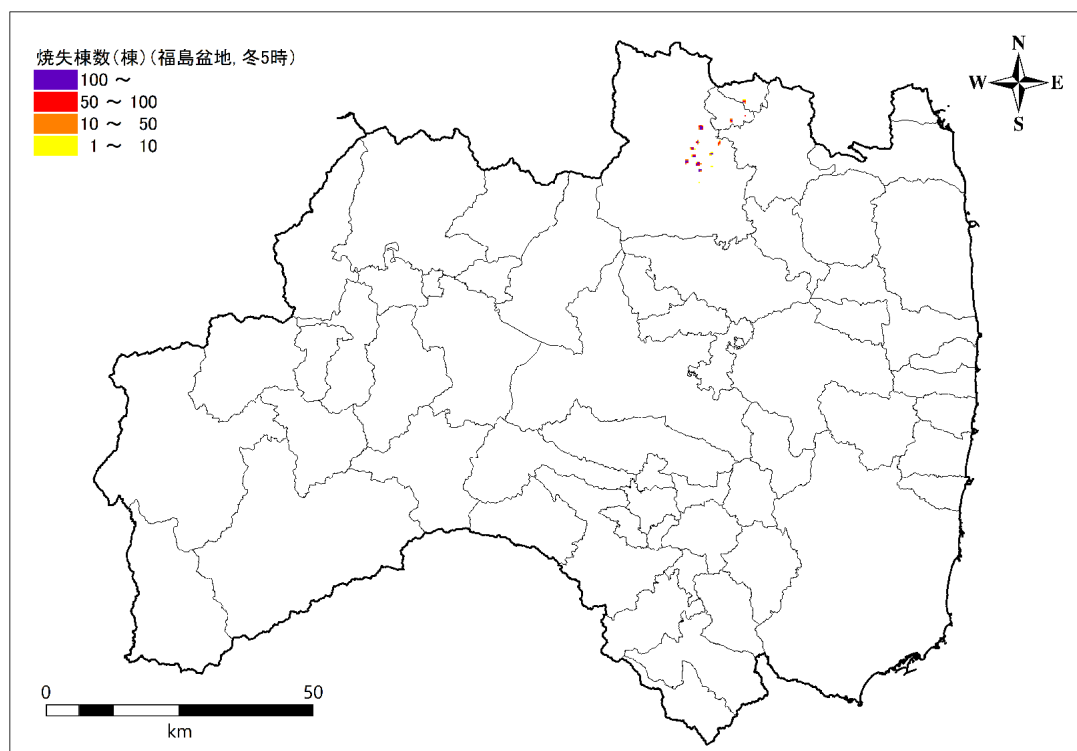


図Ⅲ-1.4-6 揺れによる建物全壊棟数分布  
(想定東北地方太平洋沖地震, 冬)

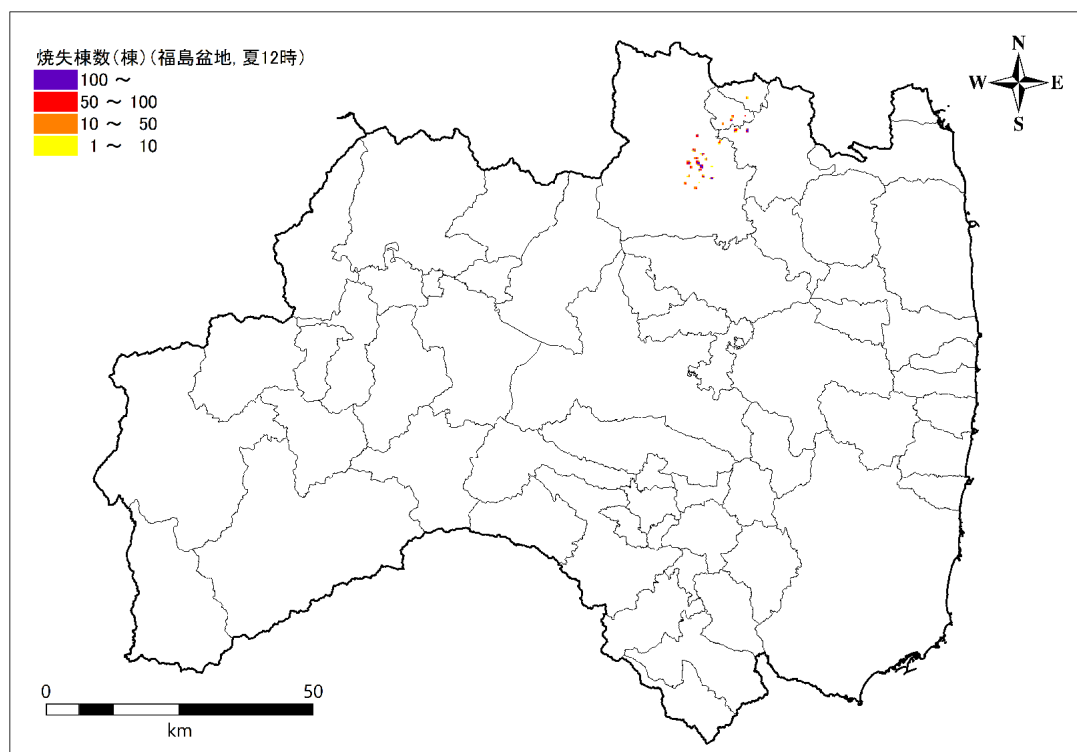


### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



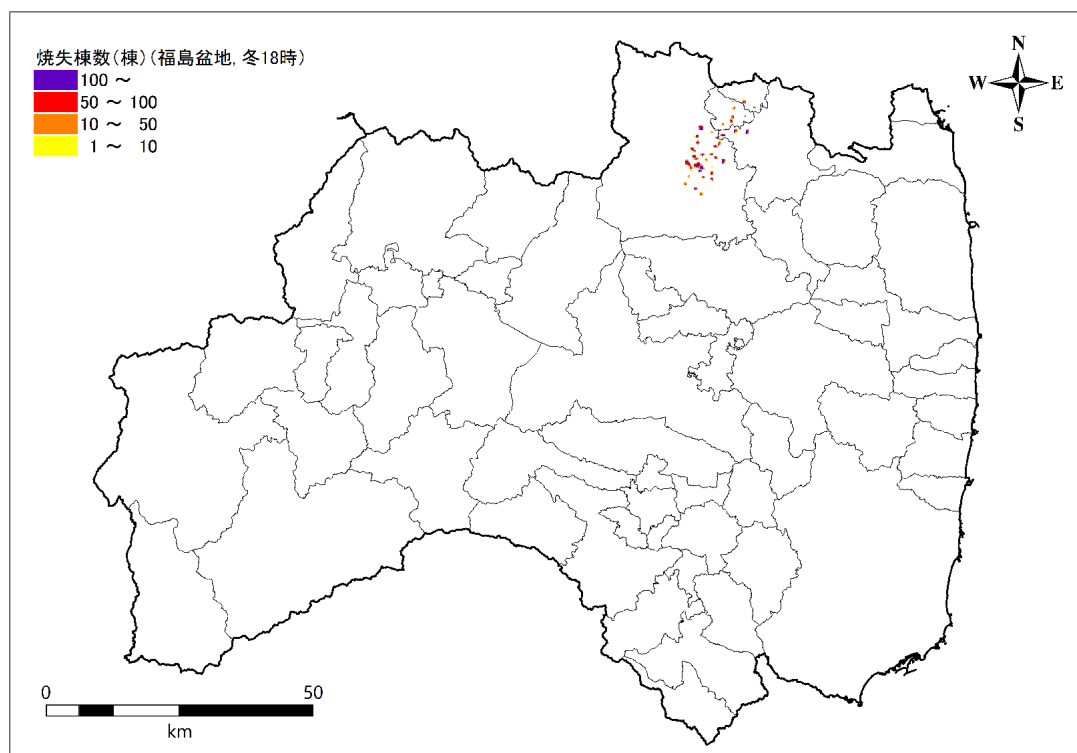
図Ⅲ-1.4-7 火災による焼失棟数分布  
(福島盆地西縁断層帯の地震, 冬5時): 風速 8m/s



図Ⅲ-1.4-8 火災による焼失棟数分布  
(福島盆地西縁断層帯の地震, 夏12時): 風速 8m/s

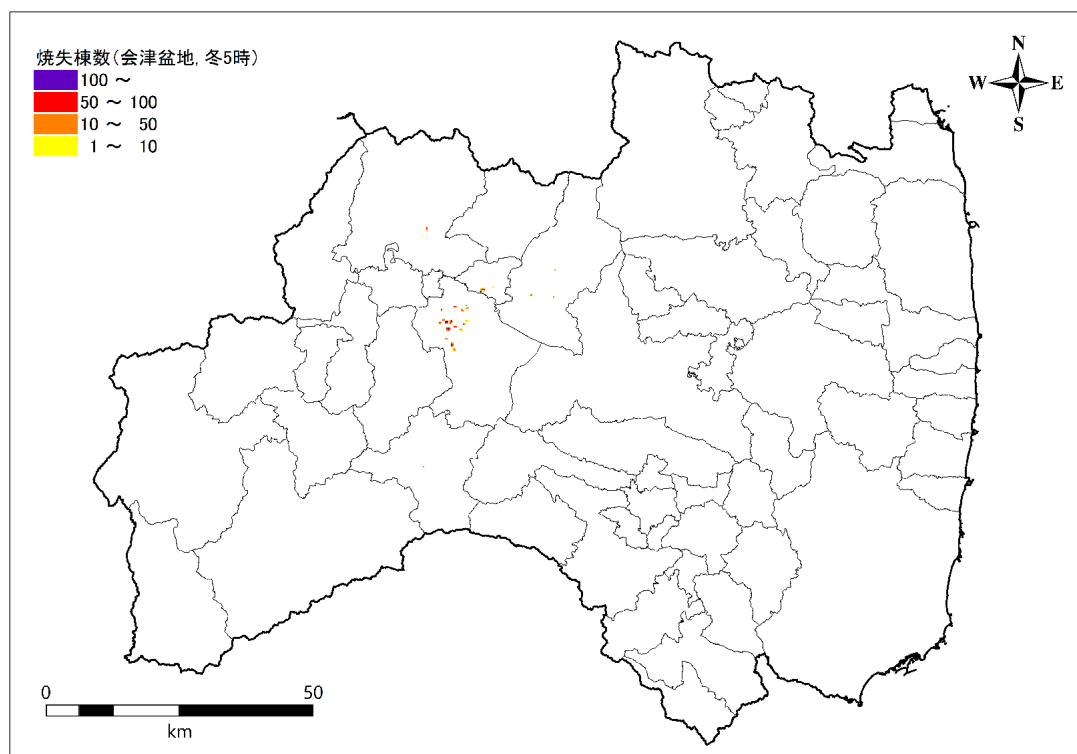
### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.4-9 火災による焼失棟数分布

(福島盆地西縁断層帯の地震, 冬18時): 風速 8m/s

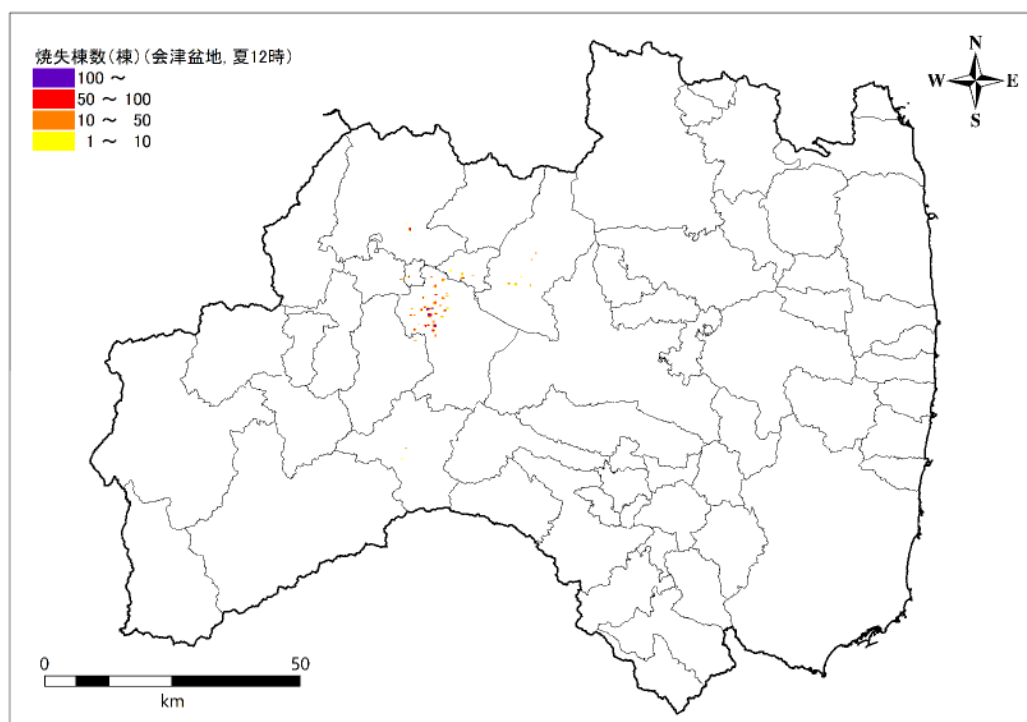


図Ⅲ-1.4-10 火災による焼失棟数分布

(会津盆地東縁断層帯の地震, 冬5時): 風速 8m/s

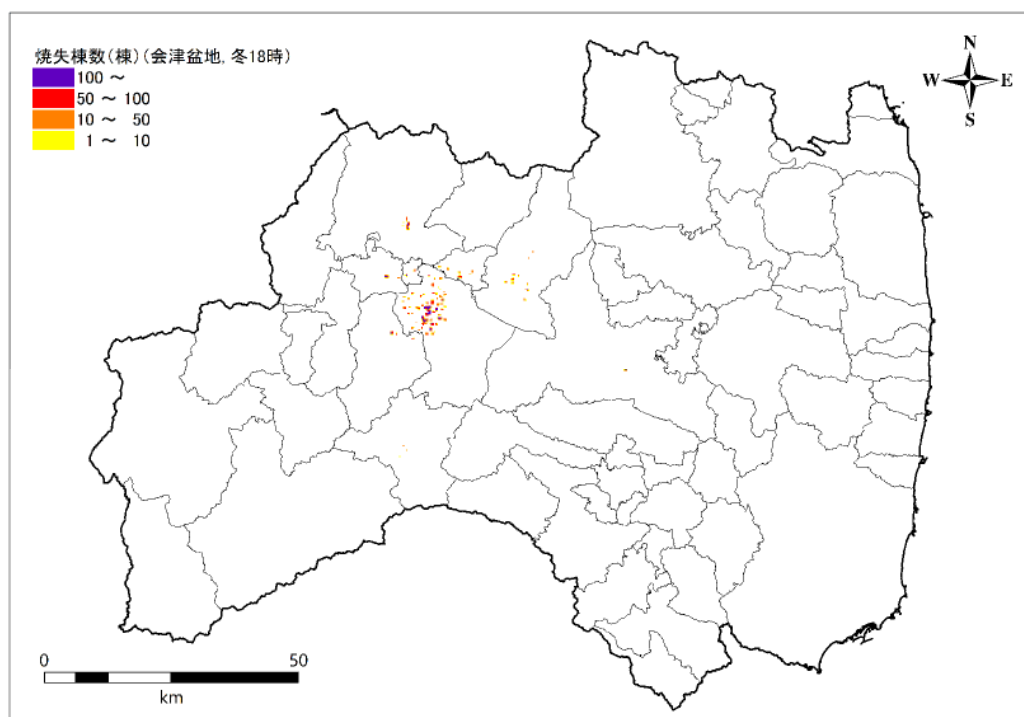
### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.4-11 火災による焼失棟数分布

(会津盆地東縁断層帯の地震, 夏 12 時) : 風速 8m/s



図Ⅲ-1.4-12 火災による焼失棟数分布

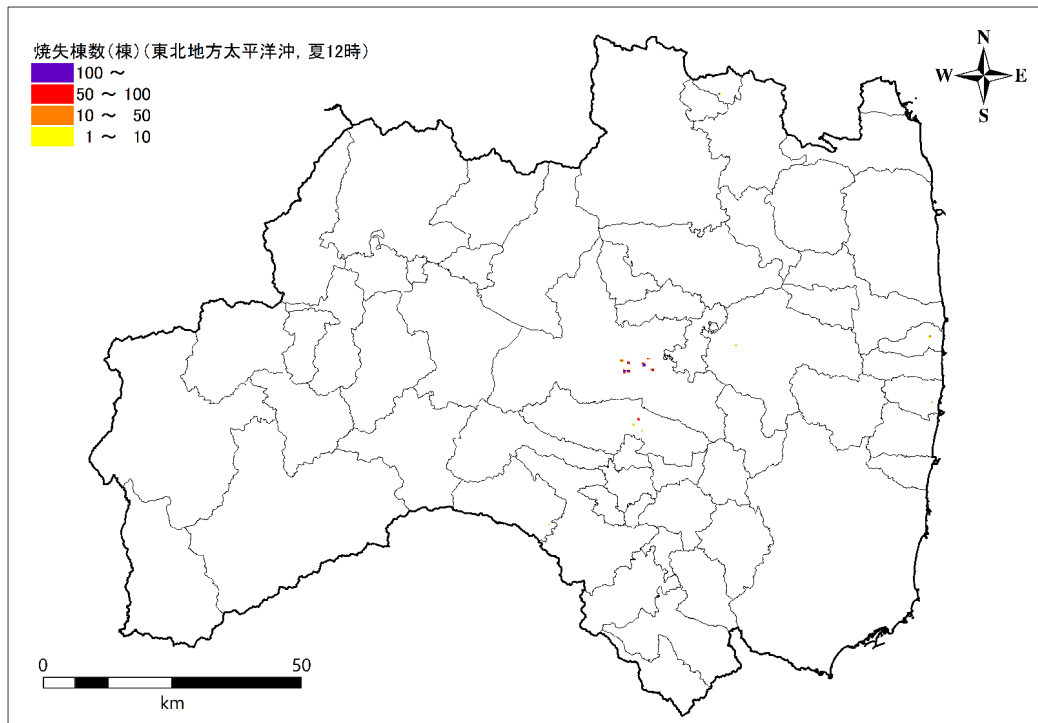
(会津盆地東縁断層帯の地震, 冬 18 時) : 風速 8m/s

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



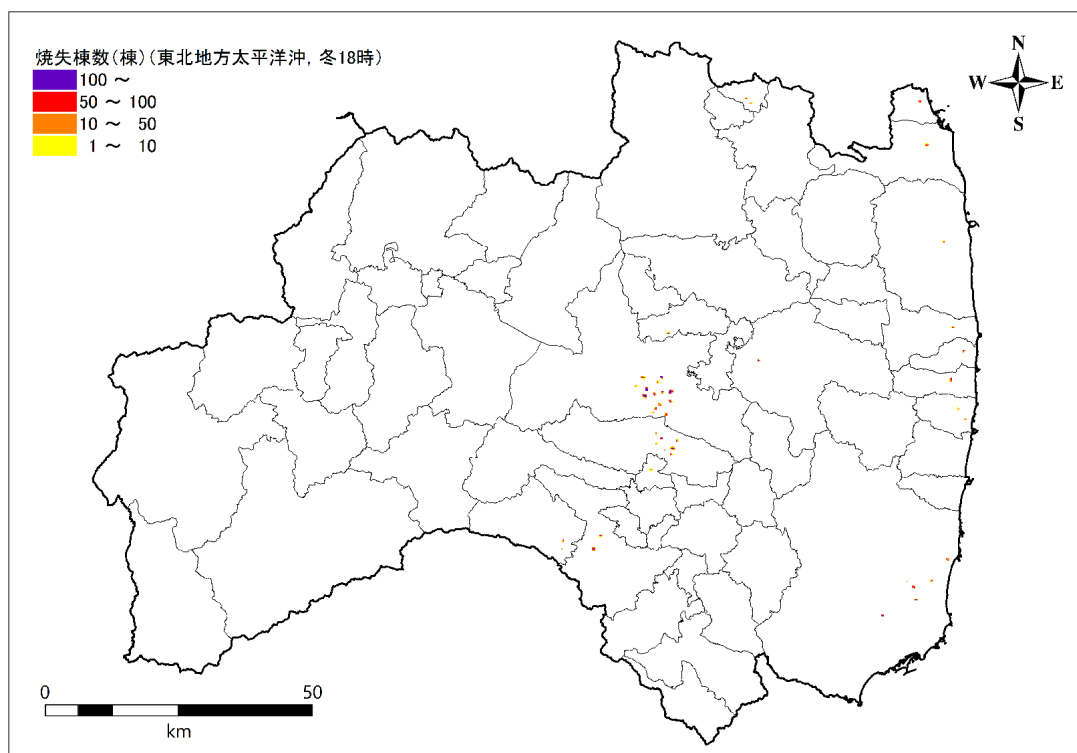
図Ⅲ-1.4-13 火災による焼失棟数分布  
(想定東北地方太平洋沖地震, 冬5時): 風速 8m/s



図Ⅲ-1.4-14 火災による焼失棟数分布  
(想定東北地方太平洋沖地震, 夏12時): 風速 8m/s

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定



図Ⅲ-1.4-15 火災による焼失棟数分布  
(想定東北地方太平洋沖地震, 冬 18 時) : 風速 8m/s

### 1.5 市町村直下の地震の揺れによる建物被害想定結果

本想定では、福島盆地西縁断層帯の地震、会津盆地東縁断層帯の地震、想定東北地方太平洋沖地震の3つの想定地震に対して被害想定を行っている。これらの想定地震以外に市町村直下の地震についても震度分布を求めている。これは各市町村の役所を中心に想定地震を設定したものである。

ここでは、市町村直下の地震が発生した場合のその揺れによる建物被害の想定を行った。被害想定手法は、1.3(2)の示した震度と被害率の関係をを用いた。震度は市町村直下の地震による震度分布のうち、想定地震を置いた役所のある市町村のみの震度、例えば、郡山市直下の地震であれば郡山市のみの震度を用いた。そして、郡山市の建物データを用いて被害数を求めた。対象とした建物の構造は、木造と非木造とした。会津地方においては、積雪時と無積雪時の考慮を行っている。

表Ⅲ-1.5-1に、市町村直下の地震の揺れに対する建物被害を示す。建物数及び被害数は、木造と非木造を合わせた数量である。市町村直下の地震は、想定地震の近傍では大きな揺れになることから、被害量も大きくなる。本想定では、3つの想定地震について被害想定を行っているが、もしも直下で地震が発生した場合は大きな被害が発生することを念頭に対策を検討する必要がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 1. 建物被害想定

表Ⅲ-1.5-1 市町村直下の地震の揺れに対する建物被害（単位：棟数）

市区町村名	建物棟数	夏				冬			
		全壊棟数	全壊率	半壊棟数	半壊率	全壊棟数	全壊率	半壊棟数	半壊率
福島市	172,872	17,313	10.0%	33,725	19.5%	17,313	10.0%	33,725	19.5%
会津若松市	66,411	1,761	2.7%	3,631	5.5%	5,317	8.0%	6,798	10.2%
郡山市	202,513	19,433	9.6%	36,004	17.8%	19,433	9.6%	36,004	17.8%
いわき市	207,888	24,537	11.8%	36,795	17.7%	24,537	11.8%	36,795	17.7%
白河市	41,595	3,050	7.3%	7,557	18.2%	3,050	7.3%	7,557	18.2%
須賀川市	49,363	3,642	7.4%	9,303	18.8%	3,642	7.4%	9,303	18.8%
喜多方市	52,638	2,282	4.3%	3,854	7.3%	6,551	12.4%	6,594	12.5%
相馬市	27,306	4,330	15.9%	5,690	20.8%	4,330	15.9%	5,690	20.8%
二本松市	57,384	3,926	6.8%	10,809	18.8%	3,926	6.8%	10,809	18.8%
田村市	53,068	3,628	6.8%	10,720	20.2%	3,628	6.8%	10,720	20.2%
南相馬市	51,922	4,668	9.0%	10,938	21.1%	4,668	9.0%	10,938	21.1%
伊達市	58,286	6,074	10.4%	13,757	23.6%	6,074	10.4%	13,757	23.6%
本宮市	23,100	1,755	7.6%	4,580	19.8%	1,755	7.6%	4,580	19.8%
桑折町	9,939	2,253	22.7%	2,448	24.6%	2,253	22.7%	2,448	24.6%
国見町	8,813	1,621	18.4%	2,183	24.8%	1,621	18.4%	2,183	24.8%
川俣町	17,303	1,924	11.1%	4,261	24.6%	1,924	11.1%	4,261	24.6%
大玉村	8,547	715	8.4%	1,902	22.2%	715	8.4%	1,902	22.2%
鏡石町	7,557	1,017	13.5%	1,609	21.3%	1,017	13.5%	1,609	21.3%
天栄村	6,626	385	5.8%	956	14.4%	385	5.8%	956	14.4%
下郷町	7,022	131	1.9%	348	5.0%	454	6.5%	708	10.1%
檜枝岐村	791	6	0.8%	20	2.5%	27	3.4%	54	6.9%
只見町	5,655	50	0.9%	157	2.8%	188	3.3%	368	6.5%
南会津町	24,142	628	2.6%	943	3.9%	1,573	6.5%	1,582	6.6%
北塩原村	2,163	13	0.6%	40	1.8%	41	1.9%	84	3.9%
西会津町	10,524	406	3.9%	754	7.2%	1,205	11.4%	1,378	13.1%
磐梯町	4,375	126	2.9%	260	5.9%	406	9.3%	479	10.9%
猪苗代町	16,650	803	4.8%	1,242	7.5%	2,067	12.4%	2,022	12.1%
会津坂下町	10,121	1,182	11.7%	1,199	11.8%	2,552	25.2%	1,529	15.1%
湯川村	1,685	212	12.6%	218	12.9%	447	26.5%	262	15.6%
柳津町	4,717	119	2.5%	277	5.9%	431	9.1%	575	12.2%
三島町	2,435	42	1.7%	121	5.0%	183	7.5%	296	12.2%
金山町	3,651	70	1.9%	158	4.3%	239	6.6%	338	9.3%
昭和村	2,425	42	1.7%	115	4.7%	163	6.7%	258	10.6%
会津美里町	24,137	914	3.8%	1,719	7.1%	3,016	12.5%	3,252	13.5%
西郷村	12,911	596	4.6%	1,907	14.8%	596	4.6%	1,907	14.8%
泉崎村	4,237	418	9.9%	863	20.4%	418	9.9%	863	20.4%
中島村	3,572	637	17.8%	820	22.9%	637	17.8%	820	22.9%
矢吹町	11,511	2,001	17.4%	2,614	22.7%	2,001	17.4%	2,614	22.7%
棚倉町	11,944	1,077	9.0%	2,581	21.6%	1,077	9.0%	2,581	21.6%
矢祭町	6,203	353	5.7%	1,368	22.1%	353	5.7%	1,368	22.1%
埴町	8,816	850	9.6%	2,048	23.2%	850	9.6%	2,048	23.2%
鮫川村	3,604	332	9.2%	989	27.5%	332	9.2%	989	27.5%
石川町	17,374	2,157	12.4%	5,039	29.0%	2,157	12.4%	5,039	29.0%
玉川村	6,127	698	11.4%	1,377	22.5%	698	11.4%	1,377	22.5%
平田村	8,058	835	10.4%	2,126	26.4%	835	10.4%	2,126	26.4%
浅川町	5,965	924	15.5%	1,603	26.9%	924	15.5%	1,603	26.9%
古殿町	7,619	576	7.6%	1,990	26.1%	576	7.6%	1,990	26.1%
三春町	17,940	1,622	9.0%	4,222	23.5%	1,622	9.0%	4,222	23.5%
小野町	11,174	947	8.5%	2,928	26.2%	947	8.5%	2,928	26.2%
広野町	3,611	327	9.1%	688	19.0%	327	9.1%	688	19.0%
檜葉町	4,515	197	4.4%	558	12.4%	197	4.4%	558	12.4%
富岡町	5,190	468	9.0%	837	16.1%	468	9.0%	837	16.1%
川内村	3,260	237	7.3%	732	22.5%	237	7.3%	732	22.5%
大熊町	6,360	412	6.5%	1,068	16.8%	412	6.5%	1,068	16.8%
双葉町	4,518	1,011	22.4%	1,138	25.2%	1,011	22.4%	1,138	25.2%
浪江町	8,578	1,258	14.7%	1,618	18.9%	1,258	14.7%	1,618	18.9%
葛尾村	1,187	62	5.2%	171	14.4%	62	5.2%	171	14.4%
新地町	6,813	691	10.1%	1,567	23.0%	691	10.1%	1,567	23.0%
飯館村	4,977	260	5.2%	974	19.6%	260	5.2%	974	19.6%

- 1) 1.3(2)の揺れによる建物被害の手法を用いている。
  - 2) 建物棟数と被害棟数は、木造、非木造を合わせた数である。なお、被害棟数の重複処理は行っていない。
  - 3) 市町村の被害数は、市町村直下の地震に該当する市町村のみの被害数を集計したもの。
- ※ 建物棟数及び被害棟数は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



## 2. 人的被害の想定

### 2.1 人的被害想定と人口データについて

人的被害想定は、以下に示す方針で実施した。

- ・ 人的被害として、死者、負傷者、重傷者を予測する。負傷者のうち、重傷者は1月以上の治療を要する見込みの者を想定する。
- ・ 本調査では、以下の要因による死傷者を予測する。
  - ① 建物倒壊：揺れによって全壊した家屋の下敷きによる死傷者を想定。
  - ② 屋内収容物等：屋内収容物（家具等）の移動・転倒、屋内落下物による死者を想定。
    - ①建物倒壊による死者の内数として取り扱うものとする。
  - ③ 急傾斜地崩壊：揺れにより引き起こされた急傾斜地崩壊により家屋が倒壊し、それに伴って死者が発生する場合を想定。
  - ④ 火災：炎上出家屋内からの逃げ遅れや、倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者（生き埋め等）、延焼拡大時の逃げまどいによる死者を想定。
  - ⑤ 津波：津波が到達する時間までに避難が完了できなかった者を津波に巻き込まれた者とし、そこでの浸水深をもとに死亡か負傷かを判定。
  - ⑥ ブロック塀等：ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物による死者を想定。
  - ⑦ 要配慮者、避難行動要支援者：①～⑥の内数として取り扱うものとする。
  - ⑧ 要救助者（自力脱出困難者）：揺れによる建物被害に伴う要救助者と津波浸水に伴う要救助者を想定。
- ・ 人的被害想定を行う際には、1日の人口の移動モデルを設定し、前提条件の時間帯の人口を木造屋内人口、非木造屋内人口に分けて、250mメッシュ単位で推定する。
- ・ 各被害の算定については、過去の地震被害の状況より設定した経験式を用いて行うことを基本とする。
- ・ 人口分布の基礎資料としては、以下の資料を用いた。
  - ① 平成27年国勢調査（総務省統計局）Ⅲ-14)
  - ② 平成27年国勢調査に関する地域メッシュ統計（総務省統計局）Ⅲ-15)
  - ③ 平成26年経済センサス - 基礎調査 調査の結果（総務省統計局）Ⅲ-16)
  - ④ 平成27年国勢調査・平成26年経済センサスのリンク統計データ（（公財）統計情報研究開発センター）Ⅲ-17)
- ・ 市町村ごとに時間帯別の住家屋内人口、非住家屋内人口、及び、木造屋内人口、非木造屋内人口を推定した。推定方法は次の通り。
  - ① 平成27年国勢調査による夜間人口＝深夜の人口とした。
  - ② 平成27年国勢調査による昼間人口＝昼（12時）の人口とした。

### Ⅲ 被害想定について

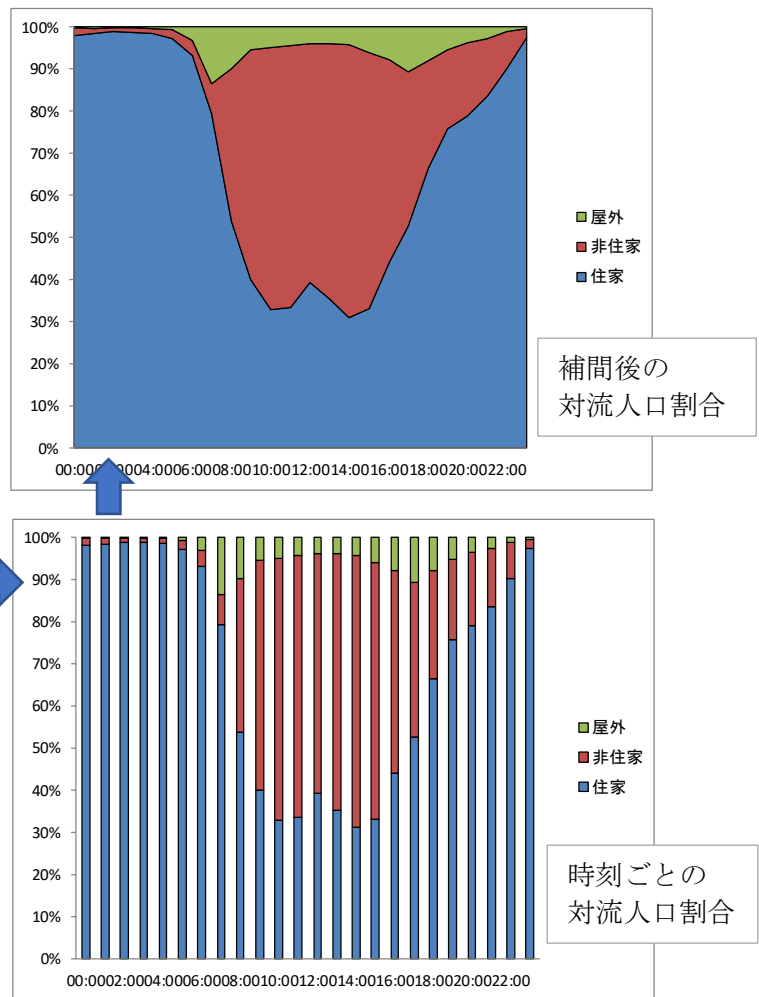
#### 2. 人的被害想定

- ③ 18 時の人口は、平成 27 年国勢調査（1/2 地域メッシュ（500m メッシュ））の昼間人口及び夜間人口から推定。
- ④ 社会生活基本調査から市町村別時間帯別の人口動態割合を作成し、住家人口、非住家人口、屋外人口の比率を求めた。（図Ⅲ-2.1-1）
- ⑤ 住家の木造・非木造割合や、非住家の木造・非木造割合と④を用いて、時間帯別屋内人口の木造滞留人口、非木造滞留人口割合を求めた。（図Ⅲ-2.1-1）

時間	人口	住家	非住家	屋外
00:00	2,078,413	2,038,110	35,547	4,757
01:00	2,078,569	2,046,283	25,265	7,021
02:00	2,078,659	2,053,759	22,078	2,822
03:00	2,078,656	2,053,403	22,503	2,750
04:00	2,078,602	2,048,329	24,129	6,145
05:00	2,078,241	2,021,251	43,719	13,271
06:00	2,077,355	1,935,770	76,736	64,849
07:00	2,074,720	1,645,174	149,151	280,395
08:00	2,066,331	1,111,092	752,628	202,610
09:00	2,061,622	824,528	1,123,934	113,160
10:00	2,059,918	677,233	1,280,829	101,856
11:00	2,059,735	689,040	1,280,532	90,163
12:00	2,061,014	811,308	1,169,671	80,035
13:00	2,059,584	725,564	1,254,017	80,004
14:00	2,058,522	640,245	1,332,166	86,111
15:00	2,059,970	682,190	1,254,438	123,342
16:00	2,064,521	909,852	994,559	160,110
17:00	2,067,440	1,089,546	758,546	219,348
18:00	2,070,817	1,376,040	530,471	164,306
19:00	2,073,124	1,569,389	392,728	111,007
20:00	2,073,894	1,637,784	359,690	76,420
21:00	2,074,914	1,734,428	284,901	55,585
22:00	2,076,431	1,873,112	178,682	24,637
23:00	2,078,211	2,023,786	45,930	8,495

福島県時間帯別の人口動態  
（社会生活基本調査）

市町村ごとに人口動態割合  
を作成



図Ⅲ-2.1-1 時間帯別屋内人口の木造滞留人口、非木造滞留人口割合

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

平成 27 年における国勢調査の表Ⅲ-2.1-1 市町村ごとの人口（平成 27 年国勢調査）を表Ⅲ-2.1-1 に示した。なお、同表には令和 2 年国勢調査の人口等基本集計による市町村ごとの人口も参考までに示している。

表Ⅲ-2.1-1 市町村ごとの人口（平成 27 年国勢調査）

市町村	H27人口 (昼間人口)	H27人口 (夜間人口)	昼間人口－ 夜間人口	R2年人口※	R2人口－ H27人口(夜 間)
福島市	300,785	294,247	6,538	282,693	-11,554
会津若松市	128,980	124,062	4,918	117,376	-6,686
郡山市	335,726	335,444	282	327,692	-7,752
いわき市	319,441	350,237	-30,796	332,931	-17,306
白河市	61,937	61,913	24	59,491	-2,422
須賀川市	71,675	77,441	-5,766	74,992	-2,449
喜多方市	46,412	49,377	-2,965	44,760	-4,617
相馬市	35,664	38,556	-2,892	34,865	-3,691
二本松市	53,109	58,162	-5,053	53,557	-4,605
田村市	34,714	38,503	-3,789	35,169	-3,334
南相馬市	52,047	57,797	-5,750	59,005	1,208
伊達市	52,496	62,400	-9,904	58,240	-4,160
本宮市	31,711	30,924	787	30,236	-688
桑折町	12,957	12,271	686	11,459	-812
国見町	7,227	9,512	-2,285	8,639	-873
川俣町	13,774	14,452	-678	12,170	-2,282
大玉村	6,419	8,679	-2,260	8,900	221
鏡石町	11,225	12,486	-1,261	12,318	-168
天栄村	4,723	5,611	-888	5,194	-471
下郷町	5,357	5,800	-443	5,264	-536
檜枝岐村	708	615	93	504	-111
只見町	4,365	4,470	-105	4,044	-426
南会津町	16,609	16,264	345	14,451	-1,813
北塩原村	2,837	2,831	6	2,556	-275
西会津町	6,184	6,582	-398	5,770	-812
磐梯町	4,781	3,579	1,202	3,322	-257
猪苗代町	13,539	15,037	-1,498	13,552	-1,485
会津坂下町	15,392	16,303	-911	15,068	-1,235
湯川村	2,457	3,206	-749	3,081	-125
柳津町	3,231	3,536	-305	3,081	-455
三島町	1,711	1,668	43	1,452	-216
金山町	2,297	2,189	108	1,862	-327
昭和村	1,285	1,322	-37	1,246	-76
会津美里町	16,920	20,913	-3,993	19,014	-1,899
西郷村	18,023	20,322	-2,299	20,808	486
泉崎村	7,989	6,495	1,494	6,213	-282
中島村	3,889	5,001	-1,112	4,885	-116
矢吹町	16,728	17,370	-642	17,287	-83
棚倉町	14,389	14,295	94	13,343	-952
矢祭町	5,888	5,950	-62	5,392	-558
塙町	8,876	9,157	-281	8,302	-855
鮫川村	3,026	3,577	-551	3,049	-528
石川町	15,788	15,880	-92	14,644	-1,236
玉川村	5,428	6,777	-1,349	6,392	-385
平田村	5,429	6,505	-1,076	5,826	-679
浅川町	5,247	6,577	-1,330	6,036	-541
古殿町	4,591	5,373	-782	4,825	-548
三春町	13,287	18,304	-5,017	17,018	-1,286
小野町	9,245	10,475	-1,230	9,471	-1,004
広野町	4,519	4,319	200	5,412	1,093
楢葉町	743	975	-232	3,710	2,735
富岡町	0	0	0	2,128	2,128
川内村	1,736	2,021	-285	2,044	23
大熊町	0	0	0	847	847
双葉町	0	0	0	-	0
浪江町	131	0	131	1,923	1,923
葛尾村	7	18	-11	420	402
新地町	6,897	8,218	-1,321	7,905	-313
飯館村	42	41	1	1,318	1,277
合計	1,830,593	1,914,039	-83,446	1,833,152	-80,887

※令和 2 年国勢調査 人口等基本集計

- 常住地による人口（夜間人口）：  
国勢調査時に調査の地域に常住している人口
- 従業地・通学地による人口（昼間人口）：従業地・通学地集計の結果を用いて、次により算出された人口  
A市の昼間人口＝A市の夜間人口－A市からの流出人口＋A市への流入人口

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

250m メッシュの人口データは、平成 27 年国勢調査（1/2 地域メッシュ（500m メッシュ））の人口データより、時間帯別屋内人口割合と 250m メッシュの建物面積の重みをつけ、5 時、12 時、18 時の人口データを作成した。市町村で集計した人口データは、250m メッシュの中心が入る市町村の集計値とした。市町村ごとの作成した人口データを表Ⅲ-2. 1-2 に示す。図Ⅲ-2. 1-2～図Ⅲ-2. 1-4 に 250m メッシュの人口分布（5 時、12 時、18 時）を示す。

表Ⅲ-2. 1-2 市町村ごとの作成した人口データ

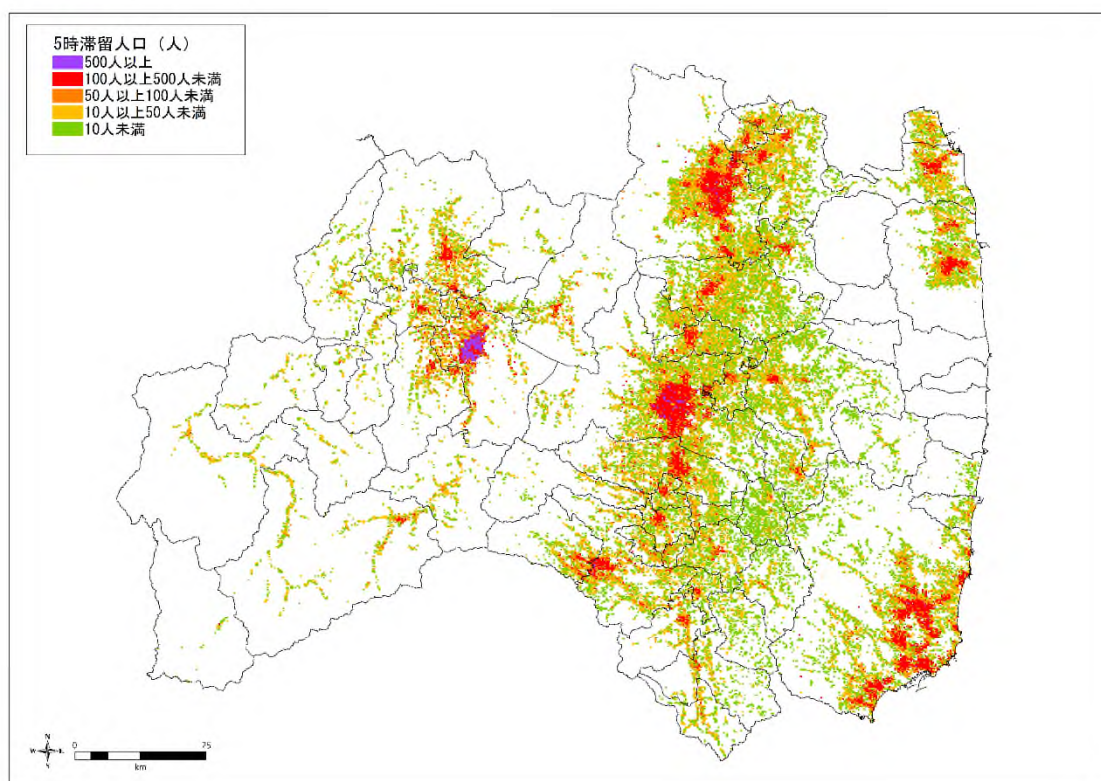
市町村名	5時滞留人口	12時滞留人口	18時滞留人口
福島市	297,569	300,778	299,497
会津若松市	125,013	129,554	127,738
郡山市	340,785	336,000	337,913
いわき市	350,313	319,403	331,770
白河市	64,846	64,115	64,407
須賀川市	79,198	73,506	75,783
喜多方市	50,053	46,787	48,093
相馬市	39,037	35,654	37,007
二本松市	59,911	54,583	56,714
田村市	39,485	34,827	36,690
南相馬市	57,926	52,289	54,544
伊達市	63,917	55,547	58,895
本宮市	31,936	34,761	33,631
桑折町	14,158	14,899	14,603
国見町	10,172	8,952	9,440
川俣町	14,813	14,189	14,439
大玉村	9,651	8,585	9,011
鏡石町	13,766	15,203	14,628
天栄村	5,635	4,782	5,123
下郷町	5,814	5,423	5,579
檜枝岐村	613	705	668
只見町	4,470	4,353	4,400
南会津町	16,208	16,566	16,423
北塩原村	3,163	3,107	3,129
西会津町	6,597	6,197	6,357
磐梯町	3,721	4,914	4,437
猪苗代町	15,069	13,569	14,169
会津坂下町	16,449	15,497	15,878
湯川村	3,774	2,964	3,288
柳津町	3,587	3,245	3,382
三島町	1,666	1,690	1,680
金山町	2,182	2,380	2,301
昭和村	1,315	1,282	1,295
会津美里町	21,184	17,186	18,785
西郷村	26,147	26,002	26,060
泉崎村	6,797	8,217	7,649
中島村	5,355	4,152	4,633
矢吹町	18,740	18,217	18,426
棚倉町	14,665	14,494	14,562
矢祭町	5,930	5,836	5,874
塙町	9,291	8,992	9,112
鮫川村	3,542	3,006	3,220
石川町	16,368	16,050	16,177
玉川村	6,959	5,917	6,334
平田村	6,593	5,485	5,928
浅川町	6,797	5,674	6,123
古殿町	5,403	4,732	5,000
三春町	20,962	17,139	18,668
小野町	10,553	9,558	9,956
広野町	4,321	4,520	4,440
檜葉町	975	833	890
富岡町	0	350	210
川内村	2,009	1,710	1,830
大熊町	0	0	0
双葉町	0	0	0
浪江町	0	132	79
葛尾村	18	7	11
新地町	8,652	7,516	7,970
飯館村	46	46	46
合計	1,954,118	1,872,078	1,904,899

※ 市町村別の人口は、250m メッシュの人口を集計している。

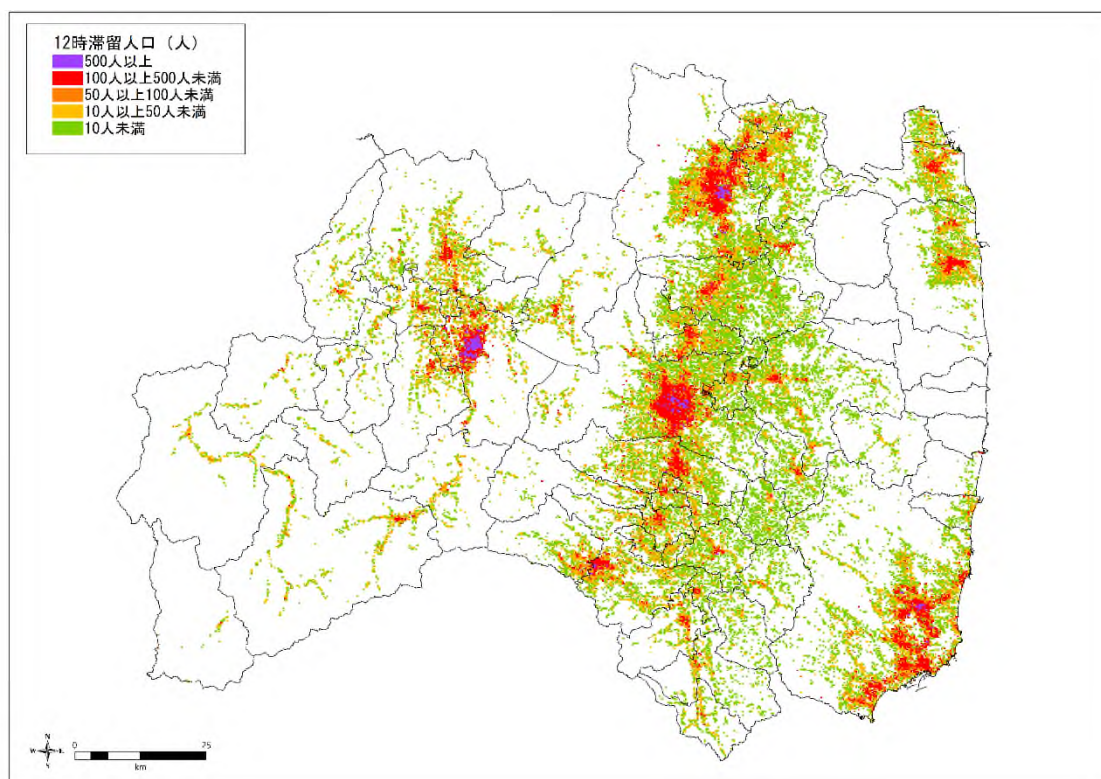
※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定



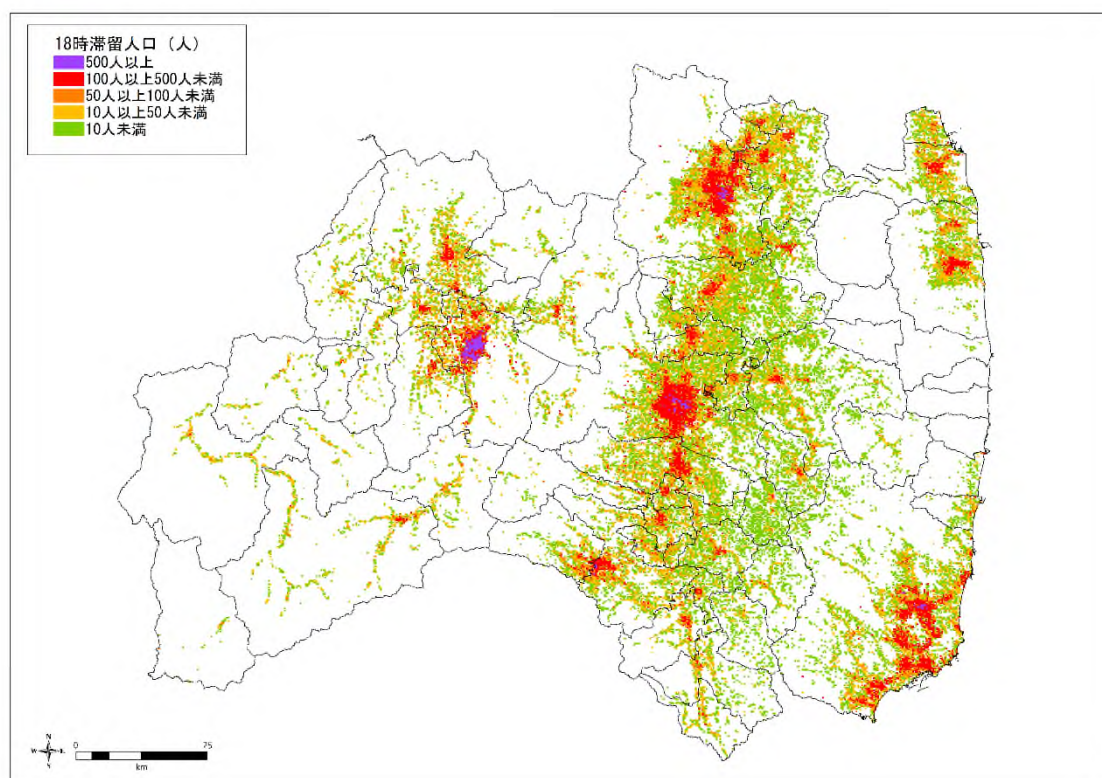
図Ⅲ-2.1-2 福島県の250mメッシュ別滞留人口分布（5時）



図Ⅲ-2.1-3 福島県の250mメッシュ別滞留人口分布（12時）



Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定



図Ⅲ-2.1-4 福島県の250mメッシュ別滞留人口分布（18時）

## 2.2 人的被害想定手法

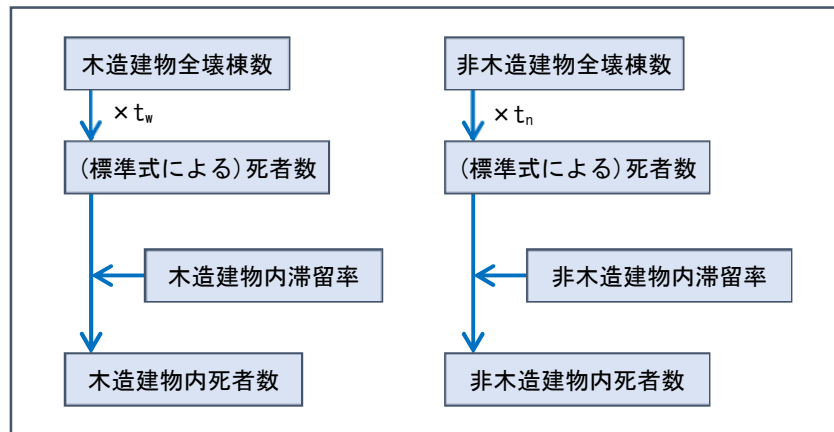
人的被害の被害想定手法を項目別に整理する。

### (1) 建物倒壊による人的被害

建物倒壊による人的被害は、揺れによる建物被害と人口データから死者数、負傷者数、重傷者数を想定する中央防災会議（2012、南海トラフ）<sup>Ⅲ-18)</sup>の手法を用いる。

#### 1) 建物倒壊による死者数

建物倒壊による死者数の算定フローと算定式を以下に示す。



図Ⅲ-2. 2-1 建物倒壊による死者数の算定フロー（中央防災会議、2012）<sup>Ⅲ-18)</sup>

<算定式>

$$(\text{死者数}) = (\text{木造 死者数}) + (\text{非木造 死者数})$$

$$(\text{木造 死者数}) = t_w \times (\text{市町村別の揺れによる木造全壊棟数}) \times (\text{木造建物内滞留率})$$

$$(\text{非木造 死者数}) = t_n \times (\text{市町村別の揺れによる非木造全壊棟数}) \times (\text{非木造建物内滞留率})$$

$$(\text{木造建物内滞留率}) = (\text{発生時刻の木造建物内滞留人口}) \div (\text{朝5時の木造建物内滞留人口})$$

$$(\text{非木造建物内滞留率}) = (\text{発生時刻の非木造建物内滞留人口}) \div (\text{朝5時の非木造建物内滞留人口})$$

$$t_w = 0.0676 \quad t_n = 0.00840 \times (P_{n0}/B_n) \div (P_{w0}/B_w)$$

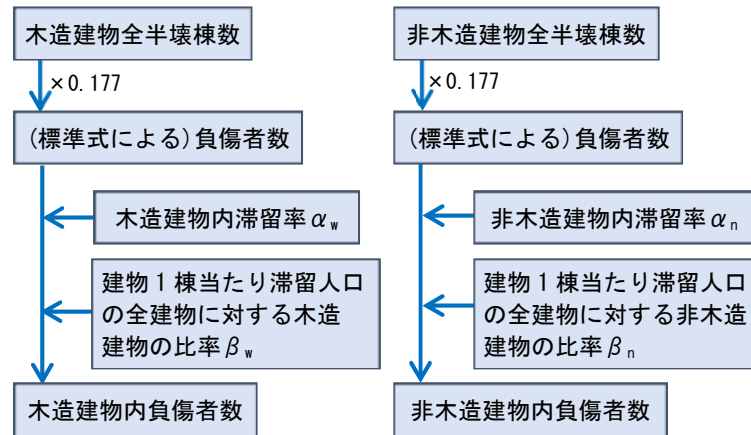
$$P_{w0} : \text{夜間人口 (木造)} \quad P_{n0} : \text{夜間人口 (非木造)}$$

$$B_w : \text{建物棟数 (木造)} \quad B_n : \text{建物棟数 (非木造)}$$



## 2) 建物倒壊による負傷者数

建物倒壊による負傷者の算定フローと算定式を以下に示す。



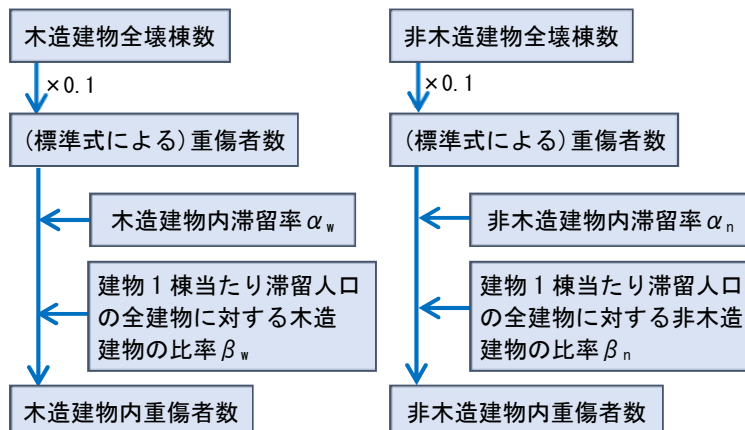
図Ⅲ-2.2-2 建物倒壊による負傷者数の算定フロー（中央防災会議、2012）Ⅲ-18)

<算定式>

$$\begin{aligned}
 & \text{(木造建物における負傷者数)} = 0.177 \times (\text{揺れによる木造全半壊棟数}) \times \alpha_w \times \beta_w \\
 & \text{(非木造建物における負傷者数)} = 0.177 \times (\text{揺れによる非木造全半壊棟数}) \times \alpha_n \times \beta_n \\
 \\
 & \text{(木造建物内滞留率)} \alpha_w \\
 & \quad = (\text{発生時刻の木造建物内滞留人口}) \div (\text{朝5時の木造建物内滞留人口}) \\
 & \text{(非木造建物内滞留率)} \alpha_n \\
 & \quad = (\text{発生時刻の非木造建物内滞留人口}) \div (\text{朝5時の非木造建物内滞留人口}) \\
 \\
 & \text{(建物1棟当たり滞留人口の全建物に対する木造建物の比率 (時間帯別)) } \beta_w \\
 & \quad = (\text{発生時刻の木造建物内滞留人口}) \div (\text{全建物1棟当たりの滞留人口}) \\
 & \text{(建物1棟当たり滞留人口の全建物に対する非木造建物の比率 (時間帯別)) } \beta_n \\
 & \quad = (\text{発生時刻の非木造建物内滞留人口}) \div (\text{全建物1棟当たりの滞留人口})
 \end{aligned}$$

## 3) 建物倒壊による重傷者数（負傷者数の内数）

建物倒壊による重傷者数の算定フローと算定式を以下に示す。なお、重傷者数は上項で求めた負傷者数の内数である。



図Ⅲ-2.2-3 建物倒壊による重傷者数の算定フロー（中央防災会議、2012）Ⅲ-18)

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

<算定式>

$$\begin{aligned} \text{(木造建物における重傷者数)} &= 0.100 \times \text{(揺れによる木造全半壊棟数)} \times \alpha_w \times \beta_w \\ \text{(非木造建物における重傷者数)} &= 0.100 \times \text{(揺れによる非木造全半壊棟数)} \times \alpha_m \times \beta_n \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{(木造建物内滞留率)} \quad \alpha_w & \\ &= \text{(発生時刻の木造建物内滞留人口)} \div \text{(朝5時の木造建物内滞留人口)} \\ \text{(非木造建物内滞留率)} \quad \alpha_m & \\ &= \text{(発生時刻の非木造建物内滞留人口)} \div \text{(朝5時の非木造建物内滞留人口)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{(建物1棟当たり滞留人口の全建物に対する木造建物の比率(時間帯別))} \quad \beta_w & \\ &= \text{(発生時刻の木造建物内滞留人口)} \div \text{(全建物1棟当たりの滞留人口)} \\ \text{(建物1棟当たり滞留人口の全建物に対する非木造建物の比率(時間帯別))} \quad \beta_n & \\ &= \text{(発生時刻の非木造建物内滞留人口)} \div \text{(全建物1棟当たりの滞留人口)} \end{aligned}$$

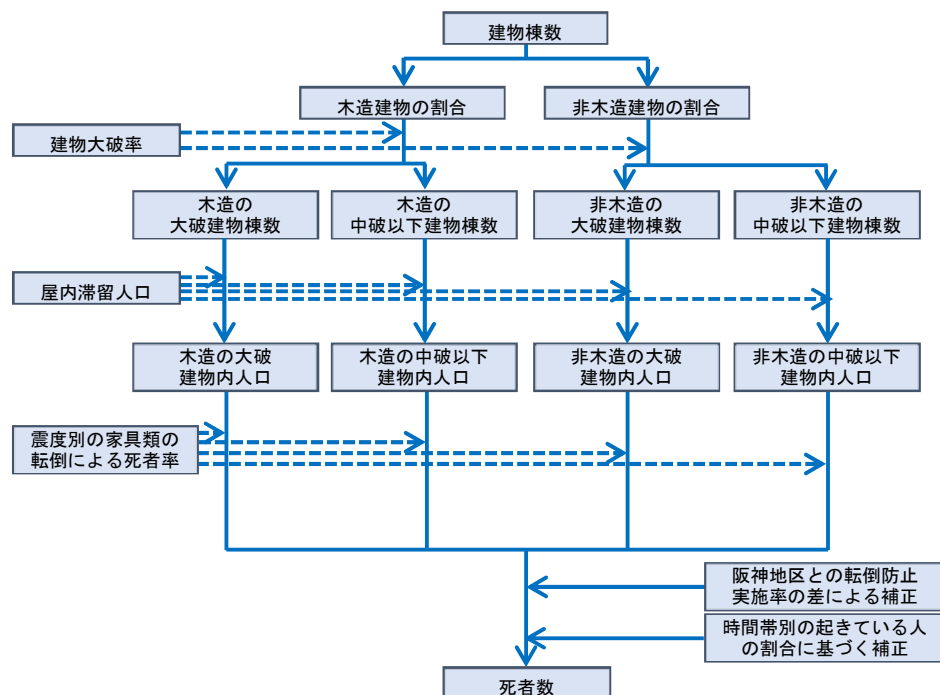
(2) 屋内収容物の移動転倒および屋内落下物による人的被害

屋内収容物の転倒、もしくは落下物による死傷者数は図Ⅲ-2.2-4 に沿って想定を実施する。

火災予防審議会・東京消防庁（2005）<sup>Ⅲ-19)</sup>における、木造建物、非木造建物別の死者率設定の基となった北浦ほか（1996）<sup>Ⅲ-20)</sup>では、低層建物、中高層建物の区分で屋内転倒物の状況が分析されている。北浦ほか（1996）によると、屋内転倒物による死亡とされた人の多くが建物被害との複合的な要因によるものであり、かつ、低層建物の多くが木造建物、中高層建物の多くが非木造建物である。これを踏まえ、東京消防庁では、低層建物を木造建物、中高層建物を非木造建物とし、木造・非木造建物の別で屋内転倒物による死者率を設定している。

兵庫県南部地震における家具転倒物による死者は、大破建物の96%で発生しており、上記手法で負傷者も同様としていたが、大破建物と中破以下建物では負傷者発生比率は同等と考えている。

なお、兵庫県南部地震のデータは純粋な屋内転倒物のみによるものではなく、建物被害との複合的要因によるものが多く含まれていると考えられることから、屋内転倒物による死傷者と、別途算出される揺れによる建物被害に伴う死傷者との区別は難しい。このため、今回の想定では屋内転倒物による死傷者数は揺れによる建物被害の内数として取り扱う。



図Ⅲ-00-4 屋内収容物の移動・転倒による人的被害の予測手順(死者数)

(中央防災会議、2012)

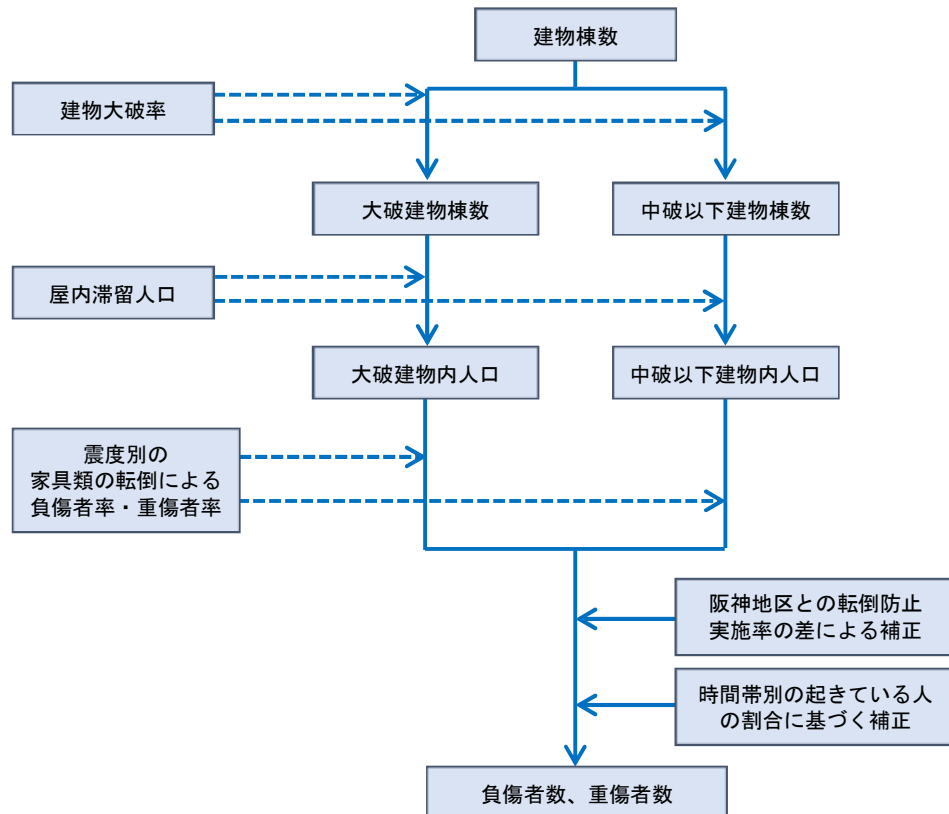
※ 家具類の転倒による死者率を屋内落下物の死者率もしくは屋内ガラス被害による死者率に置き換えるとそれぞれの死者数となる。ここで木造大破率＝木造全壊率×0.7、非木造大破率＝非木造全壊率

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

建物構造別の震度分布、人口データ、転倒防止措置の実施状況に応じた被害率を用いて、屋内収容物の移動や転倒に伴う死者数を想定した。

負傷者数についても死者数と同様の考え方で想定した。



図Ⅲ-2.2-5 屋内収容物の移動・転倒による人的被害の予測手順(負傷者数)

(中央防災会議、2012)

※ 家具類の転倒による負傷者率・重傷者率を屋内落下物もしくは屋内ガラス被害の負傷者率・重傷者率に置き換えるとそれぞれの負傷者数、重傷者数となる。ここで木造大破率＝木造全壊率×0.7、非木造大破率＝非木造全壊率

#### 1) 屋内転倒物による死傷者

死傷者率については、火災予防審議会・東京消防庁（2005）「地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について（平成17年）」<sup>Ⅲ-22)</sup>の設定を用いた。

表Ⅲ-2.2-1、表Ⅲ-2.2-2に屋内転倒物による死者率、重傷者及び負傷者率を示す。

表Ⅲ-2.2-1 屋内転倒物による死者率（大破(左)と中破以下(右)）

	木造建物	非木造建物		木造建物	非木造建物
震度7	0.314%	0.192%	震度7	0.00955%	0.000579%
震度6強	0.255%	0.156%	震度6強	0.00689%	0.000471%
震度6弱	0.113%	0.0688%	震度6弱	0.00343%	0.000208%
震度5強	0.0235%	0%	震度5強	0.000715%	0.0000433%
震度5弱	0.00264%	0%	震度5弱	0.0000803%	0.00000487%

※ ここで木造大破率＝木造全壊率×0.7、非木造大破率＝非木造全壊率

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2. 2-2 屋内転倒物による負傷者率（大破(左)と中破以下(右)）

	負傷者率	重傷者率		負傷者率	重傷者率
震度 7	3.69%	0.995%	震度 7	0.112%	0.0303%
震度 6 強	3.00%	0.809%	震度 6 強	0.0809%	0.0218%
震度 6 弱	1.32%	0.357%	震度 6 弱	0.0402%	0.0109%
震度 5 強	0.276%	0%	震度 5 強	0.00839%	0.00226%
震度 5 弱	0.0310%	0%	震度 5 弱	0.000943%	0.000255%

① 阪神・淡路大震災当時の阪神地区との転倒防止実施率の違いによる補正

北浦ほか（1996）<sup>Ⅲ-21)</sup>は、家具の設定方式別に転倒・被害状況を調査している。それによると、比較的設置対策がなされていた本棚・飾り棚・食器棚について、「家具などで止めている」だけでも移動を約 1/2 に防ぐ効果がある。「金具でとめている」、「造りつけ」を転倒防止対策あり、「単においていた」を転倒防止対策なしとして、その対策状況別の「遠くへ飛んだ」および「倒れた」の割合（転倒率）を次表に示す。

表Ⅲ-2. 2-3 対策状況別転倒率（本棚・飾り棚・食器棚）

	転倒率
対策あり	5.4%
（金具で止めていた）	(11.0%)
（造りつけ）	(1.4%)
対策無し（単においていた）	19.0%

上表より、転倒防止対策を行った場合の転倒率は、対策を行っていなかった場合の転倒率の  $(5.4\%/19.0\% \times 100 =)$  28% と考えることができる。また、阪神地域における転倒防止対策措置率は、北浦ほか（1996）によるアンケート結果における重量家具類（タンス・戸棚・食器棚・テレビ等）の対策措置率をもとにすると約 7.8% であった。

中央防災会議（2012、南海トラフ）で示されている全国平均の家具類の転倒防止対策実施率は 26.2% である。

以上をふまえて、阪神・淡路大震災当時の阪神地区との転倒防止対策実施率の違いを次式により補正する。

転倒防止対策実施効果の補正係数

$$\begin{aligned}
 &= (\text{現状での転倒率}^*) / (\text{阪神・淡路大震災当時の阪神地区での転倒率}^*) \\
 &= ((100 - \text{現状の対策実施率}) + \text{現状の対策実施率} \times \text{対策後の転倒率}) / \\
 &\quad ((100 - \text{阪神・淡路の対策実施率}) + \text{阪神・淡路の対策実施率} \times \text{対策後の転倒率}) \\
 &= ((100 - \text{現状の対策実施率}) + \text{現状の対策実施率} \times 0.28) / ((100 - 7.8\%) + 7.8\% \\
 &\quad \times 0.28)
 \end{aligned}$$

ここで、現状の対策実施率として、全国平均の 26.2%を適用すると、補正係数は 0.85 となる。そのため、震度別死傷者率に対して補正係数 0.85 を乗じて、対策実施状況による被害低減状況を補正することとする。

## ② 時間帯による起きている人の割合に基づく補正

時間帯による起床率に基づき、補正係数を設定する。起床率は 2010 年 NHK 国民生活時間調査<sup>Ⅲ-23)</sup>に基づき、深夜で 1.0、12 時および 18 時で 0.82 とする。したがって、震度別死傷者率に対して時間帯別補正係数をさらに乗じて、時間帯ごとの危険性の違いを補正する。

## 2) 屋内落下物による死傷者

屋内転倒物の被害想定と同様、建物構造別の被害状況や震度分布、人口データ、転倒防止措置の実施状況に応じた被害率から死傷者数を想定する。死傷者率については、火災予防審議会・東京消防庁（2005）「地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について（平成 17 年）」<sup>Ⅲ-19)</sup>の設定を用いた。

表Ⅲ-2.2-4 屋内落下物による死者率（大破(左)と中破以下(右)）

	木造建物	非木造建物		木造建物	非木造建物
震度 7	0.0776%	0.0476%	震度 7	0.00270%	0.000164%
震度 6 強	0.0542%	0.0351%	震度 6 強	0.00188%	0.000121%
震度 6 弱	0.0249%	0.0198%	震度 6 弱	0.000865%	0.0000682%
震度 5 強	0.0117%	0%	震度 5 強	0.000407%	0.0000404%
震度 5 弱	0.00586%	0%	震度 5 弱	0.000204%	0.0000227%

表Ⅲ-2.2-5 屋内落下物による負傷者率(大破(左)と中破以下(右))

	負傷者率	重傷者率		負傷者率	重傷者率
震度 7	1.76%	0.194%	震度 7	0.0613%	0.00675%
震度 6 強	1.23%	0.135%	震度 6 強	0.0428%	0.00471%
震度 6 弱	0.566%	0.0623%	震度 6 弱	0.0197%	0.00216%
震度 5 強	0.266%	0%	震度 5 強	0.00926%	0.00102%
震度 5 弱	0.133%	0%	震度 5 弱	0.00463%	0.000509%

### a) 阪神・淡路大震災当時の阪神地区との転倒防止実施率の違いによる補正

屋内転倒物と同様、震度別死傷者率に対して補正係数 0.65 を乗じて、対策実施状況による被害低減状況を補正するものとする。

### b) 時間帯による起きている人の割合に基づく補正

時間帯による起床率に基づき、補正係数を設定する。起床率は 2010 年 NHK 国民生活時間調査<sup>Ⅲ-23)</sup>に基づき、深夜で 1.0、12 時および 18 時で 0.82 とする。したがって、震度別死傷者率に対して時間帯別補正係数をさらに乗じて、時間帯ごとの危険性の違いを補正する。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

3) 屋内ガラス被害

屋内転倒物と同様、屋内ガラス被害による死傷者は、揺れによる建物被害に伴う死傷者の内数として取り扱う。死傷者率については、火災予防審議会・東京消防庁（2005）「地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について（平成 17 年）」<sup>Ⅲ-22)</sup>の設定を用いた。

表Ⅲ-2. 2-6 屋内ガラス被害による死傷者率

	死者率	負傷者率	重傷者率
震度 7	0.000299%	0.0564%	0.00797%
震度 6 強	0.000259%	0.0490%	0.00691%
震度 6 弱	0.000180%	0.0340%	0.00480%
震度 5 強	0.000101%	0.0190%	0.00269%
震度 5 弱	0.0000216%	0.00408%	0.000576%

想定地震によって想定される当該メッシュの震度、別途設定された屋内人口を用いて、メッシュ毎に屋内収容物の移動と転倒、屋内落下物による死傷者数を算出した。



(3) 急傾斜地崩壊による人的被害

急傾斜地崩壊による人的被害は、揺れにより引き起こされた土砂災害による建物被害と人口データから死者数、負傷者数、重傷者数を想定する中央防災会議（2012、南海トラフ）の手法を用いる。

急傾斜地崩壊による人的被害の算定式を以下に示す。

(死者数)  $= 0.098 \times (\text{急傾斜地崩壊による全壊棟数}) \times 0.7 \times (\text{木造建物内滞留者人口比率})$

(負傷者数)  $= 1.25 \times (\text{死者数})$

(重傷者数)  $= (\text{負傷者数}) \div 2$

ここで、(木造建物内滞留者人口比率)

$= (\text{発生時刻の木造建物内滞留人口}) \div (\text{木造建物内滞留人口の24時間平均})$

(4) 火災による人的被害

火災による人的被害は、炎上出火家屋内からの逃げ遅れや、倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者（生き埋め等）、延焼拡大時の逃げまどいと人口データから、死者数、負傷者数を想定する中央防災会議（2012、南海トラフ）の手法を用いる。

なお、火災による人的被害は最も被害が大きいとされる風速 8m/s のケースで想定する。

積雪のある地域では家屋周辺の積雪や地震による落雪によって家屋外への避難が困難となり、倒壊後の家屋外への避難や延焼拡大時の逃げまどいが困難となり被害が拡大する可能性がある。こうした影響は定量的な被害予測には盛り込んでいないが、定性的な被害の様相を「11. 被害シナリオ」にて整理している。

1) 火災による死者数

火災による死者は、以下の a～c の合計より算出する。炎上家屋や延焼家屋内の死傷者数とのダブルカウントを除去する。

a) 炎上出火家屋からの逃げ遅れ

$$\begin{aligned} \text{（炎上出火家屋内から逃げ遅れた死者数）} &= \\ &0.046 \times \text{出火件数} \times \text{（屋内滞留人口比率）} \end{aligned}$$

b) 倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者

$$\begin{aligned} \text{（閉込めによる死者数）} &= \\ &\text{（倒壊かつ焼失家屋内の救出困難な人）} \times \text{（1－生存救出率（0.387））} \end{aligned}$$

c) 延焼拡大時の逃げまどい

$$\log \left( \frac{\text{全潰死者数} + \text{火災死者数}}{\text{全潰死者数}} \right) = 1.5 \times \text{（世帯焼失率）}$$

※ 諸井・武村（2004）による関東大震災における「火災による死者の増加傾向」に係る推定式。

2) 火災による負傷者数・重傷者数

火災による負傷者数及び重傷者数は、以下の a と b の合計より算出する。

a) 炎上出火家屋からの逃げ遅れ

$$\begin{aligned} \text{（出火直後の火災による重傷者数）} &= 0.075 \times \text{出火件数} \times \text{（屋内滞留人口比率）} \\ \text{（出火直後の火災による負傷者数）} &= 0.187 \times \text{出火件数} \times \text{（屋内滞留人口比率）} \end{aligned}$$

ここで、

$$\text{屋内滞留人口比率} = \text{（発生時刻の屋内滞留人口）} \div \text{（屋内滞留人口の 24 時間平均）}$$

b) 延焼拡大時の逃げまどい

$$\begin{aligned} \text{（延焼火災による重傷者数）} &= 0.0053 \times \text{焼失人口} \\ \text{（延焼火災による負傷者数）} &= 0.0136 \times \text{焼失人口} \end{aligned}$$

ここで、

$$\text{焼失人口} = \text{（市町村別焼失率）} \times \text{（発生時刻の市町村別滞留人口）}$$

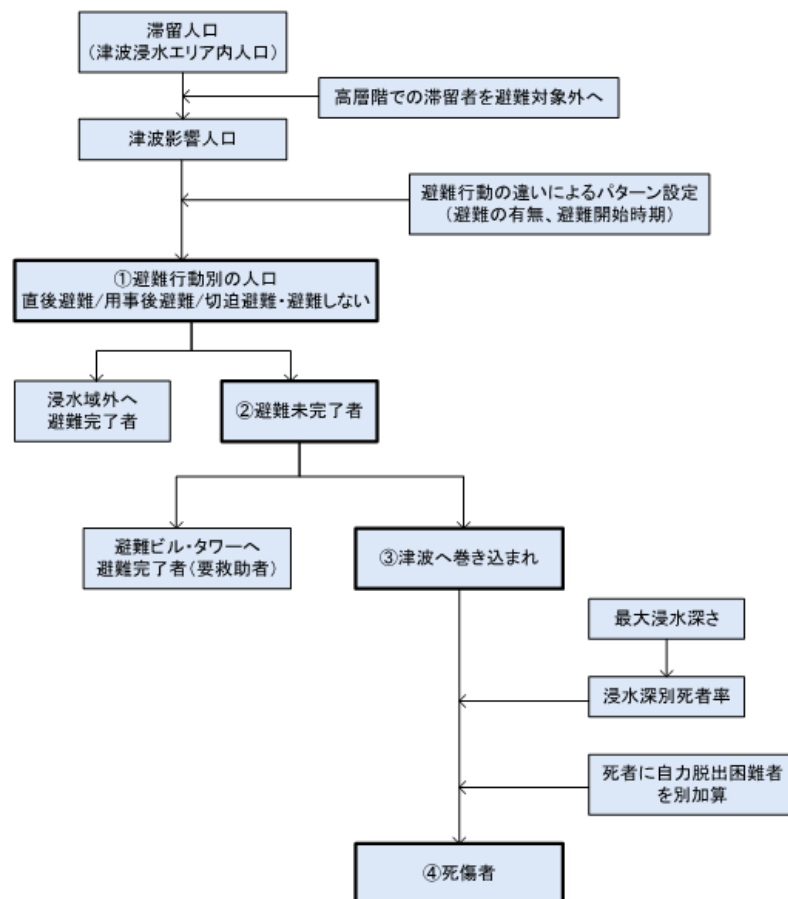
(5) 津波による人的被害

津波による死傷者数は、中央防災会議（2012、南海トラフ）の手法を用いて、図Ⅲ-2.2-6に示す手順で算出する。

津波浸水域において津波が到達する時間（浸水深 30cm 以上）までに避難が完了できなかった者を津波に巻き込まれたものとし、そこでの浸水深をもとに死亡か負傷かを判定することとした。

人的被害については、①避難行動（避難の有無、避難開始時期）、②津波到達時間までの避難完了可否、③津波に巻き込まれた場合の死者発生度合の 3 つに分けて設定する。また、人的被害は建物データに紐づく人口に対して津波浸水エリアを重ね合わせることで算定している。

なお、揺れによる建物倒壊に伴う自力脱出困難者は津波から避難できないものとする。



図Ⅲ-2.2-6 津波による死傷者数の予測手順  
(中央防災会議、2012 をもとに作成)

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

##### 1) 避難行動の違い（避難の有無、避難開始時期）

避難行動の違い（避難の有無、避難開始時期）については東日本大震災の実績（直後避難 55%、用事後避難 40%、切迫避難 5%）を踏まえて設定した。

表Ⅲ-2.2-7 避難意識のパターン  
中央防災会議（2021）<sup>Ⅲ-24)</sup>に加筆

	避難する		切迫避難 あるいは 避難しない
	すぐに 避難する (直接避難)	避難するが すぐには 避難しない (用事後避難)	
全員が発災後すぐに避難を開始した場合	100%	0%	0%
早期避難者比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合	70% ※1	30% ※2	0% ※3
早期避難者比率が高い場合	70% ※1	20% ※2	10% ※4
早期避難者比率が低い場合	20% ※5	50% ※2	30% ※6
<b>東日本大震災の実績 ※7</b>	<b>55%</b>	<b>40%</b>	<b>5%</b>

設定値については、東日本大震災の被災地域での調査結果や過去の津波被害（北海道南西沖地震、日本海中部地震）の避難の状況を踏まえ設定。

※1：東日本大震災ですぐに避難した人の割合が最も高い市で67%

※2：全体から直接避難と切迫避難の割合を引いた数値

※3：津波情報や避難の呼びかけを見聞きしている中でそれをもって避難のきっかけとなった場合、切迫避難の割合が一番低い市で0%。

※4：東日本大震災で意識の高い地域でも6.5%もの人が避難しなかったこと（死者含む）を踏まえて設置

※5：日本海中部地震の事例等から20%。

※6：切迫避難の割合が高い市で25～約27%であったことによる。

※7：東日本大震災の実績：岩手県（54%、40%、6%）、宮城県（56%、41%、3%）

##### 2) 避難未完了率

発災時の所在地から安全な場所まで避難完了できない人の割合であり、以下の考え方で算出した（中央防災会議（2012、南海トラフ））。

###### a) 要避難メッシュの特定

最大津波浸水深が 30cm 以上となる要避難メッシュを特定した。

###### b) 避難先メッシュの設定

各要避難メッシュ（避難元メッシュ）から最短距離にあり、かつ避難元メッシュよりも津波浸水深 1cm 到達時間が長い、津波浸水深 30cm 未満のメッシュを避難先メッシュと設定した。

###### c) 避難距離の算定

メッシュ中心間の直線距離の 1.5 倍を避難距離とした（東日本大震災の実績※1）。

※1 国土交通省（2013）：「津波避難を想定した避難路、避難施設の配置及び避難誘導について（第3版）」（平成25年4月）<sup>Ⅲ-25)</sup>によると、避難距離は直線距離の1.5倍。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

##### d) 避難完了所要時間の算定

各要避難メッシュについて、避難距離を避難速度（中央防災会議（2021）より平均時速 2.24km/h と設定<sup>※2</sup>）で割って避難完了所要時間を算出した<sup>※2</sup>。なお、避難開始時間は表Ⅲ-2.2-8 とし、切迫避難者は当該メッシュに津波が到達してから避難するものとした。

※2 中央防災会議：「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定項目及び手法の概要」（令和 3 年 12 月）<sup>Ⅲ-24</sup>によると、避難速度は平均 2.24 km/h。

##### e) 避難成否の判定

各要避難メッシュについて、避難先メッシュの隣接メッシュにおける浸水深 30cm 到達時間と避難先メッシュまでの避難完了所要時間を比較し、避難行動者別に避難成否を判定した。

なお、避難完了／未完了の判定計算は次のように実施した。

#### 【入力データ】

- ・10m メッシュ浸水深データ： $h(x, y, t)$
- ・10m メッシュ最大浸水深データ： $h_{\max}(x, y)$
- ・10m メッシュ浸水深 30 cm 到達時間： $t_{30}(x, y)$ （地震発生からの時間）
- ・10m メッシュ浸水深 1 cm 到達時間： $t_1(x, y)$ （地震発生からの時間）
- ・10m メッシュ内人口： $n(x, y)$
- ・10m メッシュ避難行動者割合  
直後避難者率： $p_i$ 、用事後避難者率： $p_l$ 、切迫避難者率： $1 - (p_i + p_l)$
- ・各津波避難ビル等の 30 cm 津波浸水到達時間： $t_{\text{buil}}$ （地震発生からの時間）

#### 【計算手順】

##### (ア) 要避難メッシュ( $x_m, y_m$ )の特定

以下の条件を満たすメッシュ

$$h_{\max}(x_m, y_m) \geq 30 \text{ cm}, t_{30}(x_m, y_m) > 0$$

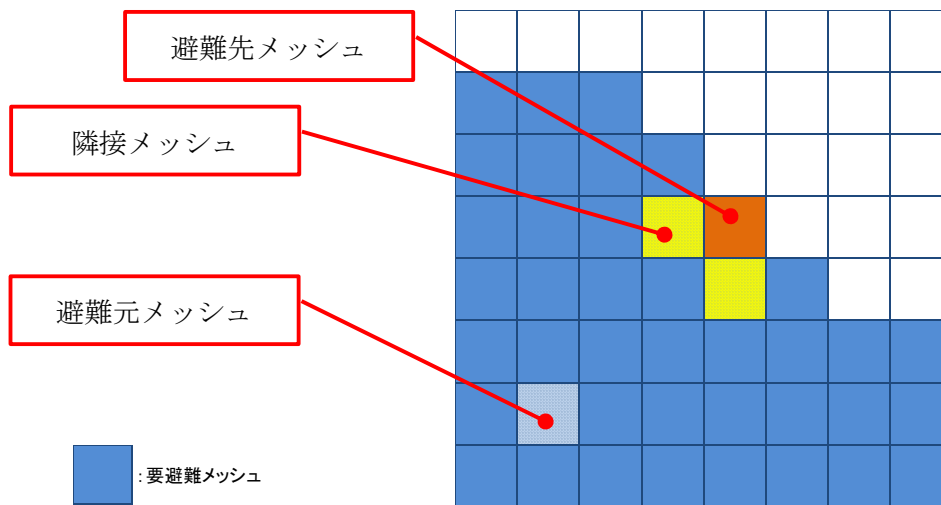
##### (イ) 避難先メッシュ( $x_n, y_n$ )の特定

各要避難メッシュ(避難元メッシュ)から最短距離にあり、かつ避難元メッシュよりも津波浸水深 1 cm 到達時間が長い、津波浸水深 30 cm 未満の避難先メッシュを特定した。

$$h_{\max}(x_n, y_n) < 30 \text{ cm}, t_1(x_n, y_n) - t_1(x_m, y_m) > 0$$

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定



図Ⅲ-2.2-7 要避難メッシュと避難元メッシュ、避難先メッシュ、隣接メッシュ  
(中央防災会議、2012)

#### (ウ)避難距離 $l_e$ の算定

メッシュ中心間の直線距離の 1.5 倍を避難距離  $l_e(x_m, y_m)$  とした<sup>※1</sup> (参照)。

#### (エ)避難完了所要時間 $t_e$ の算定

各要避難メッシュについて、避難完了所要時間  $t_e(x_m, y_m)$  を算出した。また、要避難メッシュと避難先メッシュの標高差が大きい場合避難に時間を要するものと考え、標高差が 5m 以上ある場合は、標高差を昇降速度 0.21m/秒<sup>※3</sup> 割った時間を避難完了所要時間に追加した。

$$t_e(x_m, y_m) = l_e(x_m, y_m) / 2.24 \text{ km/h}$$

※3 足立・小松・荒木 (1980) : 「障害者を考慮した住宅団地の研究 (その1) 歩行行動から見た障壁の分析」 (日本建築学会大会学術講演梗概集) Ⅲ-26)

#### (オ)避難開始時間

中央防災会議 (2021) で設定された避難開始時間を用いた。

表Ⅲ-2.2-8 避難開始時間

(中央防災会議、2021) をもとに作成

	避難する		切迫避難あるいは避難しない
	すぐに避難する (直接避難)	避難するがすぐには避難しない (用事後避難)	
昼	5 分 <sup>1)</sup> ⇒7 分 (冬季) <sup>4)</sup>	15 分 <sup>3)</sup> ⇒17 分 (冬季) <sup>4)</sup>	メッシュに津波が到達してから避難
夜	10 分 <sup>2)</sup> ⇒12 分 (冬季) <sup>4)</sup>	20 分 <sup>2)</sup> ⇒22 分 (冬季) <sup>4)</sup>	

1) 巨大地震の場合は揺れが 5 分程度継続する可能性があるため (避難は揺れが収まってから)

2) 寝間着からの着替え等のため昼間より +5 分と仮定

3) 東日本大震災の調査結果による

4) 防寒着の着用等でさらに +2 分と仮定

(カ)避難成否の判定

各要避難メッシュについて、避難先メッシュの隣接メッシュにおける浸水深 30 cm到達時間と避難先メッシュまでの避難完了所要時間を比較し、避難行動者別に避難成否を判定した。 $(x_{n-1}, y_n)$ は避難先メッシュ $(x_n, y_n)$ の隣接メッシュを表す。

<直後避難者>

$$\begin{aligned} t_{30}(x_{n-1}, y_n) > t_e(x_m, y_m) + \text{避難開始時間} & \quad \text{避難完了} \\ t_{30}(x_{n-1}, y_n) \leq t_e(x_m, y_m) + \text{避難開始時間} & \quad \text{避難失敗(津波巻き込まれ)} \end{aligned}$$

<用事後避難者>

$$\begin{aligned} t_{30}(x_{n-1}, y_n) > t_e(x_m, y_m) + \text{避難開始時間} & \quad \text{避難完了} \\ t_{30}(x_{n-1}, y_n) \leq t_e(x_m, y_m) + \text{避難開始時間} & \quad \text{避難失敗(津波巻き込まれ)} \end{aligned}$$

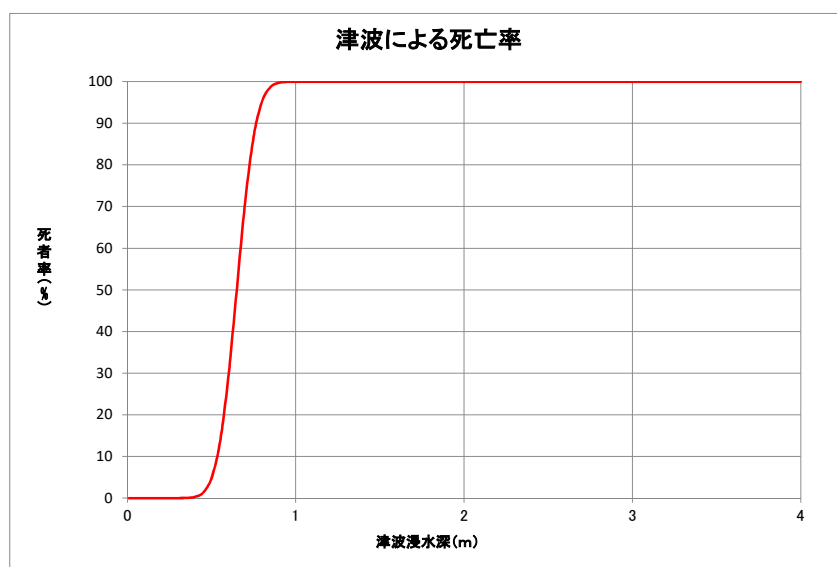
<切迫避難者>

$$\begin{aligned} t_{30}(x_{n-1}, y_n) > t_e(x_m, y_m) + t_1 & \quad \text{避難完了}^{※4} \\ t_{30}(x_{n-1}, y_n) \leq t_e(x_m, y_m) + t_1 & \quad \text{避難失敗(津波巻き込まれ)}^{※4} \end{aligned}$$

※4 切迫避難者の避難開始時間を当該メッシュ津波浸水深 1 cm到達時間  $t_1$  と設定。

3) 浸水深別死者率

各要避難メッシュにおける、避難未完了者（避難失敗者）に関して、死亡率曲線（浸水深 30 cm以上で死者発生、浸水深 1 mで全員死亡という正規分布の累積分布関数：下図）を用いて、死亡者数を算出した（中央防災会議、2012）。死亡者以外（生存と想定される人）は負傷者としたが、浸水深 30 cm未満の避難未完了者は巻き込まれても負傷しないものとした。



図Ⅲ-2. 2-8 浸水深別死者率 （中央防災会議、2012）



判定対象とする浸水深は移動中メッシュ ( $x_{n-s}, y_{n-t}$ ) の浸水深  $h(x_{n-s}, y_{n-t})$  とする。

< 直後避難者 >

$$h(x_{n-s}, y_{n-t}) = h(x_m, y_m) - \{h(x_m, y_m) - h(x_n, y_n)\} \times \{t_{30}(x_{n-1}, y_n) - \text{避難開始時間}\} \div t_e(x_m, y_m)$$

※避難開始時間  $t_{01}(x_m, y_m)$  の場合は  $t_{01}(x_m, y_m)$

< 用事後避難者の場合 >

$$h(x_{n-s}, y_{n-t}) = h(x_m, y_m) - \{h(x_m, y_m) - h(x_n, y_n)\} \times \{t_{30}(x_{n-1}, y_n) - \text{避難開始時間}\} \div t_e(x_m, y_m)$$

※避難開始時間  $t_{01}(x_m, y_m)$  の場合は  $t_{01}(x_m, y_m)$

< 切迫避難者の場合 >

$$h(x_{n-s}, y_{n-t}) = h(x_m, y_m) - \{h(x_m, y_m) - h(x_n, y_n)\} \times \{t_{30}(x_{n-1}, y_n) - t_{01}(x_m, y_m)\} \div t_e(x_m, y_m)$$

負傷者の重傷：軽傷の割合については、北海道南西沖地震における奥尻町の人的被害の事例を参考にし、重傷者数：軽傷者数＝49 人：94 人＝34：66 として配分することとした。なお、東日本大震災における人的被害の内訳(2012 年 3 月 11 日現在、消防庁発表)をみると、沿岸市町村における重傷者数：軽傷者数＝458 人：3,464 人＝12：88 となるが、津波以外の要因も含まれる可能性があることと、危険側をみるため、北海道南西沖地震の際の重傷：軽傷の比率を用いる。

#### 4) その他考慮事項

##### ① 夜間における避難開始の遅れ、避難速度低下の考慮

- ・東北地方太平洋沖地震は昼間の発生（14 時 46 分発生）であったが、夜間発災の場合にはより避難が遅れることが想定される。ここでは、夜間の場合には、避難開始は昼間に比べてさらに 5 分準備に時間がかかると仮定するとともに、避難速度も昼間の 80%に低下すると仮定した。

##### ② 津波避難ビル等の考慮

- ・浸水域内に津波避難ビルや津波避難タワーが整備されているところでは、浸水域内にいる人は津波避難ビル等に逃げ込むことで助かることができる。ここでは、津波避難ビル等による人的被害軽減効果を考慮した。
- ・現実的には、避難までに時間的猶予があり浸水域外まで水平避難できる人でも、近くの津波避難ビル等を使用するケースが考えられる。しかし、ここでは避難を要する浸水想定区域内にいる人のうち、避難が間に合わないような人から優先的に津波避難ビル等への収容を考えることとした。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

- ・津波避難ビル等の位置、収容人数については、県が把握している調査結果を用いた。なお、今回はマクロ的な想定であることから、各地の津波避難ビル等の効果測定では、各ビル等の具体的な配置や属性、周辺環境等を考慮して詳細に分析する必要がある。

- ・まず、浸水域内の津波避難ビル等における収容可能人数を設定する。

避難可能人数＝津波避難ビル等の避難場所の収容可能人数・・・(A)

- ・ただし、津波到達時間が短い場合には、避難ビルに逃げ込めない可能性があり、その場合の避難可能人数は次のように求めるものとした。

避難可能人数＝ $\{\pi \times (\text{避難距離 } m)^2\} \times \text{周辺人口密度(人/m}^2) \times \alpha \cdots (B)$

ここで、

避難距離(m)＝ $\{\text{歩行速度(m/分)} \times \text{避難時間(分)}\} \div 1.5$

周辺人口密度(人/m<sup>2</sup>)＝津波浸水区域人口(人)÷津波浸水面積(m<sup>2</sup>)

(周辺：津波避難ビル等を中心とした2km四方)

$\alpha$ ：避難阻害率 0.5

計算上30cm津波浸水到達時間 $t_{\text{buil}}$ が長いと避難距離も長くなるが、実際は徒歩での避難距離には限界がある。そこで、東日本大震災の実績<sup>※5</sup>に基づき避難距離の上限を500mとした。

歩行速度は東日本大震災の実態に基づき昼間2.24km/h(37.3m/分)、そして夜間はその80%とする。

※5 国土交通省等(2011)：東日本大震災の津波被災現況調査結果(第3次報告)Ⅲ-27)

ここで、避難時間(避難開始後に避難にかけられる時間)( $t_{\text{buil}} - t_1$ )は、避難パターン別に表Ⅲ-2.2-9のとおりを設定した。

避難時間は、各津波避難ビル等の30cm津波浸水到達時間 $t_{\text{buil}}$ が長く、避難開始時間 $t_1$ が短ければ長くなり、津波避難ビル等に逃げ込める人が増える。反面、階段によってタワーや高層階等まで上がるには時間がかかり、避難時の混乱・混雑時には通常のようにスムーズにいかないことが予想される。現状、その設定は困難であるため、内閣府(2012)同様に係数 $\alpha$ を設け、いうなれば避難阻害率( $\alpha$ )0.5とした。この係数は、地域の状況、避難ビル等の周知や避難訓練の充実具合などによって細かく設定し、減災の効果、進捗管理が行われることが望まれる。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.2-9 避難開始後に避難にかけられる時間

	避難開始後に避難にかけられる時間( $t_{ave}-t_1$ )	
東日本大震災における実績を反映	昼間	$(t_{bui}-5 \text{ 分}) \times 0.06 + (t_{bui}-15 \text{ 分}) \times 0$
	夜間	$(t_{bui}-10 \text{ 分}) \times 0.06 + (t_{bui}-20 \text{ 分}) \times 0$
全員が発災後直後に避難を開始した場合	昼間	$(t_{bui}-5 \text{ 分}) \times 1.0$
	夜間	$(t_{bui}-10 \text{ 分}) \times 1.0$
早期避難者比率(避難意識)が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合	昼間	$(t_{bui}-5 \text{ 分}) \times 0.7 + (t_{bui}-15 \text{ 分}) \times 0.3$
	夜間	$(t_{bui}-10 \text{ 分}) \times 0.7 + (t_{bui}-20 \text{ 分}) \times 0.3$
早期避難者比率(避難意識)が高い場合	昼間	$(t_{bui}-5 \text{ 分}) \times 0.7 + (t_{bui}-15 \text{ 分}) \times 0.2$
	夜間	$(t_{bui}-10 \text{ 分}) \times 0.7 + (t_{bui}-20 \text{ 分}) \times 0.2$
早期避難者比率(避難意識)が低い場合	昼間	$(t_{bui}-5 \text{ 分}) \times 0.2 + (t_{bui}-15 \text{ 分}) \times 0.5$
	夜間	$(t_{bui}-10 \text{ 分}) \times 0.2 + (t_{bui}-20 \text{ 分}) \times 0.5$

注1：上表で()内がマイナスになる場合は0とする

注2：夜間の避難開始時間はさらに+2分と仮定

- ・求めた(A)と(B)を比較して少ない方を最終的な津波避難ビル等への避難可能人数とする。津波避難ビル等考慮前の津波による人的被害数に対して、津波避難ビル等への避難可能人数分だけ人的被害が軽減されるものとする。

③揺れによる建物倒壊に伴う死者及び自力脱出困難者の考慮

- ・浸水域内における揺れによる建物倒壊に伴う死傷者については、建物倒壊による死傷者としてカウントし、津波による人的被害からは除く。
- ・浸水域内における揺れによる建物倒壊に伴う自力脱出困難者(うち生存者)については、津波による死者としてカウントするものとする(近隣住民等による救助活動が行われずに、建物倒壊により閉じ込められた状態で浸水する可能性があるとともに、浸水地域の救助活動が難航し、一定時間を経過すると生存率が低下することを考慮)。

(ア) 算定される津波による死者数(もしくは負傷者数)に対して、(1—時間帯別の市町村別の建物倒壊による死者数(もしくは負傷者数)÷市町村別全人口)を乗じることによって、浸水域における建物倒壊による死傷者数との重複を処理した。

津波による死者数(重複処理後)＝

[前頁までの計算による]津波による死者数(重複処理前)×

(1—時間帯別の市町村別の建物倒壊による死者数÷市町村別全人口)

津波による負傷者数(重複処理後)＝

[前頁までの計算による]津波による負傷者数(重複処理前)×

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

(1-時間帯別の市町村別の建物倒壊による負傷者数÷市町村別全人口)

(イ) 自力脱出困難者数から建物倒壊による死者数を差し引いた分(=自力脱出困難生存者数)のうち、津波浸水域内で発生した分、および津波による死者数(重複処理後)との重複をさらに取り除いた分(=A)について、(1)の結果としての津波による死者数に対してさらに加算した。

津波による死者増分＝

$$\begin{aligned} & \{(\text{揺れによる建物倒壊に伴う自力脱出困難者数} \\ & \quad - \text{揺れによる建物倒壊による死者数}) \\ & \quad \times (\text{時間帯別の市町村別浸水域人口} \div \text{市町村別全人口})\} \\ & \quad \times (1 - \text{津波による死者数(重複処理後)} \div \text{浸水域人口}) \end{aligned}$$

ここで、(A)のすべてが津波に巻き込まれて死亡するとは限られないが、津波浸水域での救助活動は津波警報等が出ている中で制限されるし、救助活動を開始しても救助には相当の時間を要すると考えられる中(夜間の救助にもなるとさらに活動困難)、生き埋め者の生存率は時間とともに減少するため、ここでは津波浸水域内の自力脱出困難生存者数は津波浸水深の大小にかかわらず死亡するものとした。

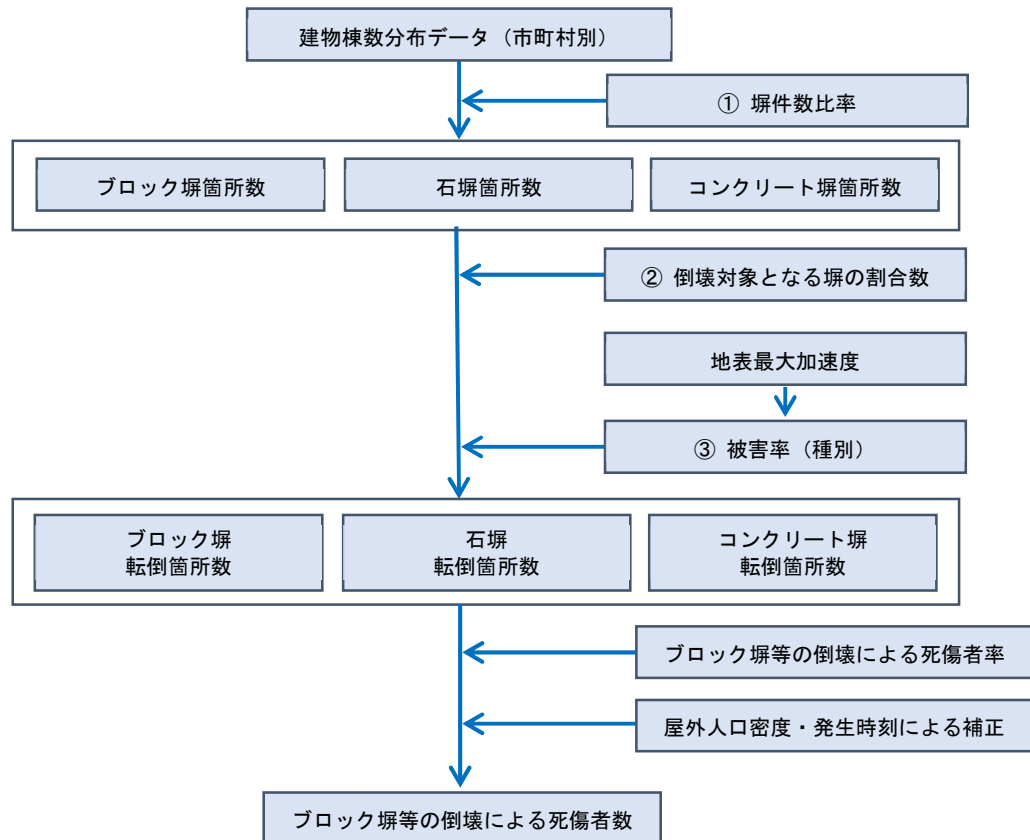
(6) ブロック塀等の倒壊および屋外落下物による人的被害

1) ブロック塀等の転倒

① 計算の流れ

東京都（1997）<sup>Ⅲ-28)</sup> 及び愛知県（2003）<sup>Ⅲ-29)</sup> に基づき、

図Ⅲ-2.2-9 に示す手順で、建物あたりのブロック塀等の存在割合からブロック塀、石塀等の分布数を 250m メッシュごとに求め、宮城県沖地震における地震動の強さと被害率との関係式を用いて各施設の被害数を求める。



図Ⅲ-2.2-9 ブロック塀等の転倒箇所数の予測手順  
（中央防災会議（2012）をもとに作成）

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

#### ② 予測手法

ブロック塀については、愛知県（2003）による県内の木造棟数とブロック塀数との関係を用いて、石塀・コンクリート塀については、東京都（1997）による木造棟数と塀件数との関係を用いて、それぞれの塀の数を求める。

次に、東京都（1997）に基づき、各塀の危険度調査結果から、特に改善が必要のない塀の比率を設定する。東京都（1997）では、このうちの半分は改訂耐震基準を十分満たしており、倒壊の危険性はないものとしている。

表Ⅲ-2.2-10 ブロック塀と石塀、コンクリート塀の数と木造住宅棟数との関係

ブロック塀	石塀	コンクリート塀
$0.16 \times (\text{木造住宅棟数})$	$0.035 \times (\text{木造住宅棟数})$	$0.036 \times (\text{木造住宅棟数})$

※ 出典：愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査報告書、愛知県防災会議地震部会、2003（ブロック塀・石塀）

※ 出典：東京都における直下地震の被害想定に関する調査報告書、東京都、1997（コンクリート塀）

表Ⅲ-2.2-11 倒壊対象となる塀の割合

塀の種類	外見調査の結果特に改善が必要ない塀の比率(A)	倒壊対象となる割合 ( $1 - 0.5A$ )
ブロック塀	0.500	0.750
石塀	0.362	0.819
コンクリート塀	0.576	0.712

※ 出典：東京都における直下地震の被害想定に関する調査報告書、東京都、1997

被害率は、宮城県沖地震時の地震動の強さ(加速度)とブロック塀等の被害率の関係実態から次式を設定する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブロック塀被害率(%) = <math>-12.6 + 0.07 \times (\text{地表最大加速度}) (\text{gal})</math></li> <li>・ 石塀被害率(%) = <math>-26.6 + 0.168 \times (\text{地表最大加速度}) (\text{gal})</math></li> <li>・ コンクリート塀被害率(%) = <math>-12.6 + 0.07 \times (\text{地表最大加速度}) (\text{gal})</math></li> </ul>
--

※ ただし、右辺の式の値が負になる場合には0%に、100を超える場合には100%に置き換える。

※ 出典：東京都における直下地震の被害想定に関する調査報告書、東京都、1997

以上、メッシュ毎の転倒の可能性のある塀の数と、想定地震ごとの各メッシュの最大地表加速度（計測震度から換算）を用いて、上式を介して各メッシュでの塀の転倒数を算出する。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

ブロック塀等の倒壊による死傷者数については、市町村毎のブロック塀等の転倒数と、宮城県沖地震（1978）時のブロック塀等の被害件数と死傷者数との関係（東京都（1997）、愛知県（2003））から設定された死傷者率を用いて死傷者数を算出した。

$$\begin{aligned} \text{（死傷者数）} &= \text{（死傷者率）} \times \text{（市町村別のブロック塀等被害件数）} \times \\ &\quad \text{（市町村別時刻別移動者数）} \div \text{（市町村別18時移動者数）} \\ &\quad \times \left( \text{（市町村別屋外人口密度）} \div 1689.16 \text{（人/} \text{km}^2 \text{）} \right) \end{aligned}$$

死傷者率（=倒壊1件当たり死傷者数）

死者率	負傷者率	重傷者率
0.00116	0.04	0.0156

なお、死傷者率は、1978年の宮城県沖地震時の仙台市の屋外人口密度（1689.16/km<sup>2</sup>）を前提としており、福島県の各市町村における屋外人口密度に応じて補正した。補正に用いた市町村別屋外人口密度は、次の式で求めた。

市町村別屋外人口密度

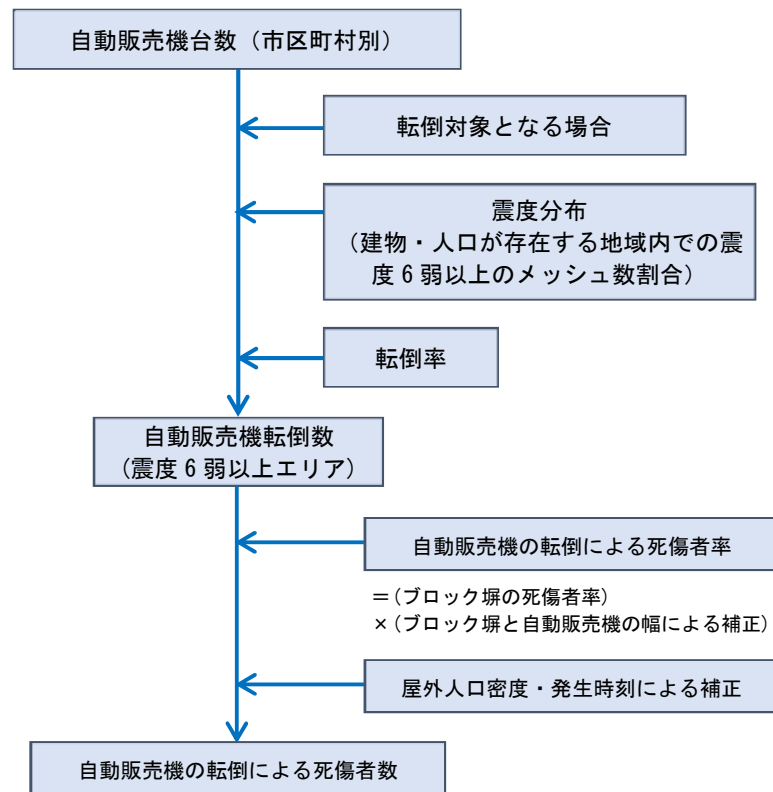
$$= \text{市町村別屋外人口（時間別）} \div \text{各市町村で人口が確認された面積（km}^2\text{）}$$



2) 自動販売機の転倒

① 計算の流れ

自動販売機の予測手順を図Ⅲ-2.2-10に示す。自動販売機の転倒は、阪神・淡路大震災時の実態から震度6弱以上のエリアで発生するとした。



図Ⅲ-2.2-10 自動販売機の転倒数の予測手順（中央防災会議（2012）をもとに作成）

② 予測手法

転倒対象となる自動販売機の割合は、中央防災会議（2012、南海トラフ）と同じく、屋外設置比率（約 6 割）と転倒防止措置未対応率（約 1 割）を乗じて設定するものとする。

自動販売機の転倒率についても、中央防災会議（2012、南海トラフ）にならい、阪神・淡路大震災時の（概ね震度 6 弱以上の地域における）転倒率から約 20.9%と設定する。

阪神・淡路大震災時の概ね震度 6 弱以上の地域における転倒率：

25,880 台/124,100 台＝約 20.9%

メッシュ毎の人口分布を用いて、メッシュ毎に自動販売機の台数を按分し、上述の割合を用いて、想定地震における各メッシュの地震動が震度 6 弱以上となるメッシュについて、自動販売機の転倒数を算出する。

中央防災会議（2012、南海トラフ）の手法を用いて、自動販売機の転倒による市町村毎の死傷者数を算出した。

ブロック塀と自動販売機の幅の違いによる死傷者率の違いを考慮し、死傷者率はブロック塀等と同様とし、自動販売機とブロック塀の幅の平均長の比（1：12.2）によって補正した※。

※ 東京都において、ブロック塀の幅は最大で約 12.2m（＝1 棟あたりの敷地面積の平方根）とし、自動販売機の幅については統計的な実測データが存在しないため、仮に 1m とした。

メッシュ毎の自動販売機の転倒数と、前項で示した死傷者率を用いて死傷者数を算出した。

$$\begin{aligned} \text{(死傷者数)} = & \text{(死傷者率)} \times \text{(市町村別の自動販売機被害件数)} \times \\ & \text{(市町村別時刻別移動者数)} \div \text{(市町村別18時移動者数)} \times \\ & \text{((市町村別屋外人口密度)} \div 1689.16 \text{ (人/km}^2\text{))} \end{aligned}$$

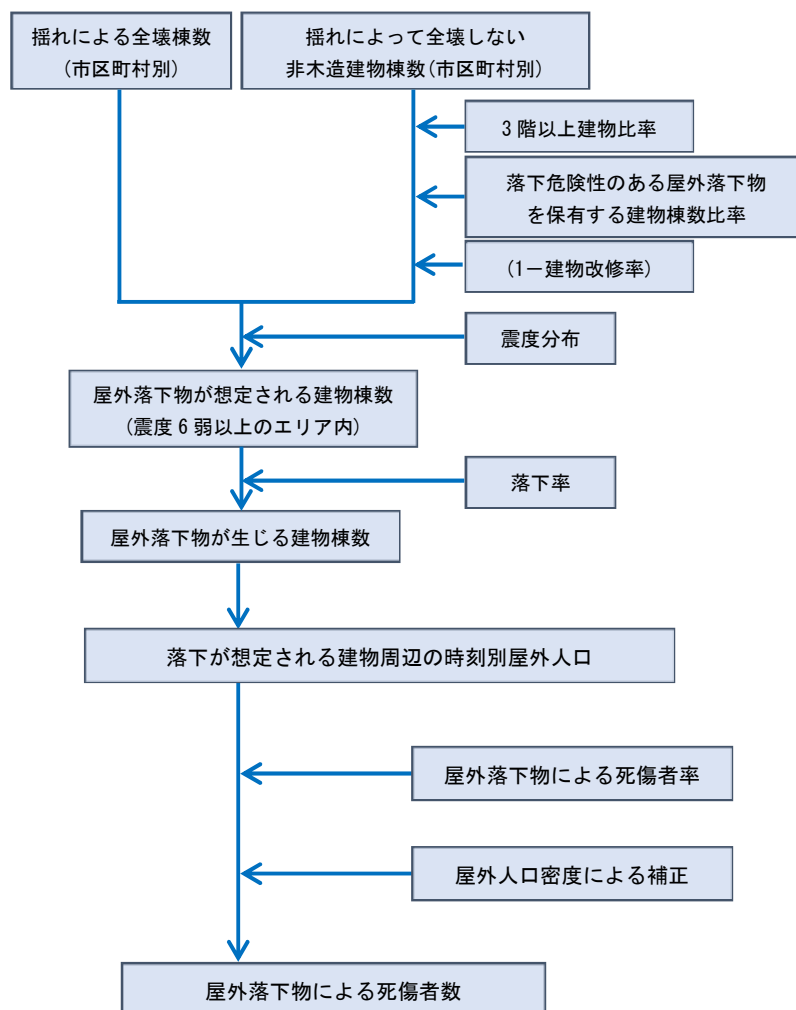
※ 死傷者率の補正は、前項と同じ方法による。

### 3) 屋外落下物

#### ① 計算の流れ

屋外落下物発生の予測手順を図Ⅲ-2.2-11 に示す。中央防災会議（2012、南海トラフ）の手法と同じく、東京都（1997）を参考に、全壊する建物および震度 6 弱以上の地域における 3 階建て以上の非木造建物のうち、落下危険物を有する建物から落下物の発生が想定される建物棟数を算出する。また、揺れによって全壊する建物については、すべての建物で落下物の発生が想定されるものとする。

一方、揺れによって全壊しない建物のうち落下が想定される建物棟数は、震度 6 弱以上のエリア内の 3 階以上の非木造建物棟数に、落下物を保有する建物棟数比率と安全化指導実施による建物改修を実施していない率を乗ずることで算出する。



図Ⅲ-2.2-11 屋外落下物が生じる建物棟数の予測手順  
(中央防災会議（2012）をもとに作成)

② 予測手法

屋外落下物を保有する建物棟数比率は、東京都の調査結果（東京都（1997））をもとに、対象となる建物の築年別に設定した。

表Ⅲ-2.2-12 屋外落下物を保有する建物棟数比率

建築年代	飛散物(窓ガラス、壁面等)	非飛散物(吊り看板等)
～昭和45年	30%	17%
昭和46年～55年	6%	8%
昭和56年～	0%	3%

※ 出典：東京における直下地震の被害想定に関する調査報告書、東京都、1997

建物改修率には、東京都（1997）で用いられている平均改修率 87%を用いる。

また、落下物の発生が想定される建物のうち落下が生じる建物の割合(落下率)には、東京都（1997）で設定したブロック塀の被害率と同じ式を用いる。

$$(\text{落下率})(\%) = -12.6 + 0.07 \times (\text{地表最大加速度})(\text{gal})$$

※ ただし、右辺の式の値が負になる場合には 0%に、100 を超える場合には 100%に置き換える。

メッシュ毎の建物総数から、屋外落下物を保有する建物棟数比率と平均改修率を用いて、屋外落下物を有する建物棟数を算出し、想定地震における各メッシュの最大地表加速度（計測震度から算出）を用いて、上式により、各メッシュでの屋外落下物の落下率の発生件数を算出する。

屋外落下物については、中央防災会議（2012、南海トラフ）の手法を用いて、宮城県沖地震（1978）時の落下物による被害事例に基づく、屋外落下物及び窓ガラスの屋外落下による死傷者率を設定して、市町村毎の死傷者数を算出した。

屋外落下物については、宮城県沖地震（1978）時の落下物による被害事例に基づき、屋外落下物及び窓ガラスの屋外落下による死傷者率を設定し、屋外落下物が生じる建物棟数を用いて死傷者数を算出する。

$$\begin{aligned} (\text{死傷者数}) = & (\text{死傷者率}) \times \{ (\text{市町村別の落下危険性のある落下物を保有する建物棟数}) \\ & \div (\text{市町村別建物棟数}) \times (\text{市町村別時刻別移動者数}) \} \\ & \times ((\text{市町村別屋外人口密度}) \div 1689.16 (\text{人}/\text{km}^2)) \end{aligned}$$

※ なお、死傷者率の補正は、前項「ブロック塀等の転倒による死傷者数」と同じ方法による。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.2-13 屋外落下物による死傷者率(＝死傷者数÷屋外人口)

	死者率	負傷者率	重傷者率
震度 7	0.00504%	1.69%	0.0816%
震度 6 強	0.00388%	1.21%	0.0624%
震度 6 弱	0.00239%	0.700%	0.0383%
震度 5 強	0.000604%	0.0893%	0.00945%
震度 5 弱	0%	0%	0%
震度 4 以下	0%	0%	0%

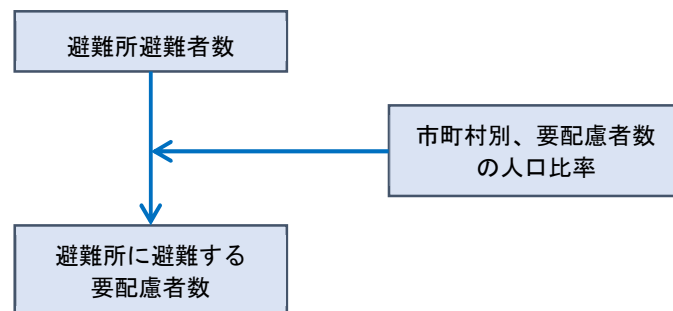
※ 出典：火災予防審議会・東京消防庁「地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について」(平成17年)における屋外落下物(壁面落下)と屋外ガラス被害による死傷者率の合算値

※ 震度 7 を計測震度 6.5 相当、震度 6 強以下を各震度階の計測震度の中間値として内挿補間する。

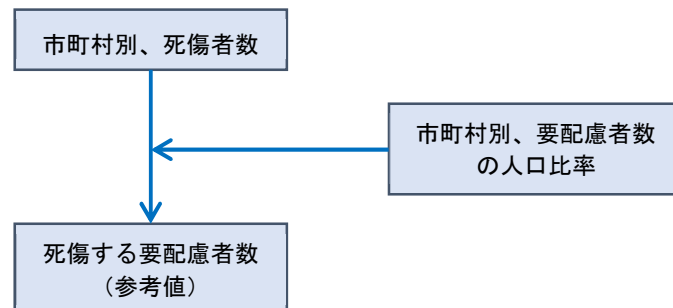
(7) 要配慮者、避難行動要支援者の人的被害

中央防災会議（2013、南海トラフ）Ⅲ-30)の手法を基に、死傷者数に占める要配慮者数の算出を行った。前述のとおり、死傷者数は概ね被害率曲線を用いて、震度や浸水深に応じて算出している。要配慮者が被害を受ける可能性は、死傷者全体が被害を受ける可能性よりも高くなる可能性があるが、参考値として扱い、死傷者数の内数としての数値を算出するに留め、災害のイメージ像（被害シナリオ）にて、要配慮者が被る被害の特性を整理した。

なお、要配慮者の定義は表Ⅲ-2.2-14のとおりとした。



図Ⅲ-2.2-12 避難所に避難する要配慮者数の予測手順（中央防災会議、2013）Ⅲ-30)



図Ⅲ-2.2-13 死傷する要配慮者数の予測手順（参考値）（中央防災会議、2013）Ⅲ-30)

表Ⅲ-2.2-14 要配慮者の定義

区分	内容
後期高齢者	75 歳以上の人口
乳幼児	0 ～ 4 歳の人口
外国人	5 ～ 74 歳の外国人の人口

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.2-15 対象とする要配慮者数

市町村名	総数 a	0～4歳 b	75歳以上人口 c	外国人(5～74歳) d	要配慮者総数 b+c+d	要配慮者割合 (b+c+d)/a
福島市	294,247	10,286	40,357	1,896	52,539	17.9%
会津若松市	124,062	4,656	18,466	630	23,752	19.1%
郡山市	335,444	12,968	39,883	1,785	54,636	16.3%
いわき市	350,237	12,648	49,656	1,997	64,301	18.4%
白河市	61,913	2,376	8,327	441	11,144	18.0%
須賀川市	77,441	2,962	9,895	260	13,117	16.9%
喜多方市	49,377	1,645	9,959	152	11,756	23.8%
相馬市	38,556	1,548	5,566	242	7,356	19.1%
二本松市	58,162	1,866	9,511	285	11,662	20.1%
田村市	38,503	1,220	6,900	240	8,360	21.7%
南相馬市	57,797	1,349	9,438	239	11,026	19.1%
伊達市	62,400	1,731	10,754	274	12,759	20.4%
本宮市	30,924	1,189	4,350	129	5,668	18.3%
桑折町	12,271	376	2,271	31	2,678	21.8%
国見町	9,512	214	1,744	57	2,015	21.2%
川俣町	14,452	298	2,958	97	3,353	23.2%
大玉村	8,679	378	1,192	28	1,598	18.4%
鏡石町	12,486	547	1,547	37	2,131	17.1%
天栄村	5,611	173	941	38	1,152	20.5%
下郷町	5,800	145	1,420	19	1,584	27.3%
檜枝岐村	615	27	129	2	158	25.7%
只見町	4,470	105	1,237	8	1,350	30.2%
南会津町	16,264	469	3,728	62	4,259	26.2%
北塩原村	2,831	69	500	13	582	20.6%
西会津町	6,582	156	1,836	24	2,016	30.6%
磐梯町	3,579	142	732	8	882	24.6%
猪苗代町	15,037	518	3,004	45	3,567	23.7%
会津坂下町	16,303	528	3,021	91	3,640	22.3%
湯川村	3,206	124	565	10	699	21.8%
柳津町	3,536	112	905	9	1,026	29.0%
三島町	1,668	40	534	6	580	34.8%
金山町	2,189	23	833	6	862	39.4%
昭和村	1,322	27	491	4	522	39.5%
会津美里町	20,913	622	4,313	33	4,968	23.8%
西郷村	20,322	904	2,136	186	3,226	15.9%
泉崎村	6,495	259	952	71	1,282	19.7%
中島村	5,001	198	743	15	956	19.1%
矢吹町	17,370	680	2,460	128	3,268	18.8%
棚倉町	14,295	559	2,237	71	2,867	20.1%
矢祭町	5,950	218	1,239	16	1,473	24.8%
塙町	9,157	298	1,901	58	2,257	24.6%
鮫川村	3,577	118	761	7	886	24.8%
石川町	15,880	477	2,878	65	3,420	21.5%
玉川村	6,777	230	1,001	53	1,284	18.9%
平田村	6,505	222	1,175	95	1,492	22.9%
浅川町	6,577	238	1,078	29	1,345	20.5%
古殿町	5,373	170	1,153	45	1,368	25.5%
三春町	18,304	595	2,954	60	3,609	19.7%
小野町	10,475	342	1,945	66	2,353	22.5%
広野町	4,319	78	548	16	642	14.9%
檜葉町	975	0	76	5	81	8.3%
富岡町	0	0	0	0	0	0.0%
川内村	2,021	20	453	18	491	24.3%
大熊町	0	0	0	0	0	0.0%
双葉町	0	0	0	0	0	0.0%
浪江町	0	0	0	0	0	0.0%
葛尾村	18	0	3	0	3	16.7%
新地町	8,218	315	1,302	42	1,659	20.2%
飯館村	41	0	41	0	41	100.0%
合計	1,914,039	67,458	283,999	10,244	361,701	18.9%

(出典：平成 27 年国勢調査)



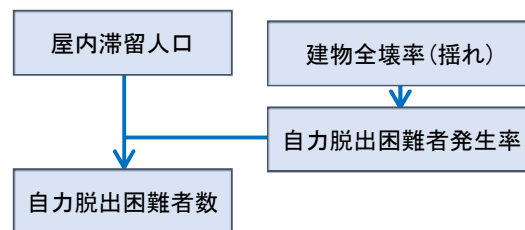
(8) 要救助者（自力脱出困難者）数

1) 揺れによる建物被害に伴う要救助者（自力脱出困難者）

中央防災会議（2012、南海トラフ）の手法により、揺れによる建物被害に伴う要救助者を算定する。

中央防災会議（2012、南海トラフ）では、阪神・淡路大震災時における建物全壊率と救助が必要となる自力脱出困難者の数との関係を用いた静岡県（2001）や東京都（1997）の手法を参考にして、下式により自力脱出困難者数を算定する。図Ⅲ-2.2-14 にフロー図を示す。

$$\text{自力脱出困難者数（木造、非木造別）} = 0.117 \times (\text{揺れによる建物全壊率}) \times \text{屋内人口}$$



図Ⅲ-2.2-14 揺れによる建物倒壊に伴う自力脱出困難者数の算定フロー  
(中央防災会議、2012)

2) 津波被害に伴う要救助者（自力脱出困難者）

津波による人的被害の想定では、津波の最大浸水深よりも高い階に滞留する者は避難せずにその場にとどまる場合を考慮して、中高層階に滞留する人を要救助対象となると考え、下表の考え方に沿って、要救助者数を算出する。

ただし、最大浸水深が1m未満の場合には中高層階に滞留した人でも自力で脱出が可能であると考え、中高層階滞留に伴う要救助者は最大浸水深1m以上の地域で発生するものとする。また、津波到達時間が1時間以上ある地域では中高層階滞留者の3割が避難せずに留まるとして要救助対象とする。

表Ⅲ-2.2-16 中高層階滞留に伴う要救助者の設定

最大浸水深	中高層階滞留に伴う要救助者の設定の考え方
1m 未満	(自力脱出可能とみなす)
1m 以上 6m 未満	3 階以上の滞留者が要救助対象
6m 以上 15m 未満	6 階以上の滞留者が要救助対象
15m 以上	11 階以上の滞留者が要救助対象

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

#### 2.3 人的被害想定結果（死傷者数・負傷者数・重傷者数）

以下に、地震別、季節・時間帯別の人的被害の結果を示す。なお、2.2 で示した被害想定項目の集計は表Ⅲ-2.3-1 のとおりとした。

想定結果については総括表を表Ⅲ-2.3-2～表Ⅲ-2.3-4 に示し、市町村別の結果を表Ⅲ-2.3-5～表Ⅲ-2.3-13 に示した。

建物倒壊による死者は、表Ⅲ-2.3-2 に示すように、就寝時の冬 5 時が最も被害が多く、火災による被害は火気の使用機会が多くなる冬 18 時が最も多くなった。建物倒壊による負傷者は、表Ⅲ-2.3-4 に示すように、福島盆地西縁断層帯の地震と想定東北地方太平洋沖地震では冬 5 時が多く、会津盆地東縁断層帯の地震では夏 12 時が多くなっており、火災による負傷者は、冬 18 時が 3 地震とも多かった。

津波による死者は、750 人～800 人程度であった。これは、東北地方太平洋沖地震の直接死と死亡届等を合わせた死者の半数程度である。しかし、津波による人的被害の計算は住民全員が逃げる場合を考えた方法で、お年寄りとか体の不自由な方などの要配慮者については考えられていない。また、原発事故により住民が戻られていない町もあり、これらを考えると津波による被害が増える可能性がある。特に津波の被害についてはこのようなことを念頭に結果を見る必要がある。

表Ⅲ-2.3-1 集計項目と対応する集計内容

集計項目	集計内容
建物倒壊	建物倒壊による人的被害
うち屋内収容物等	屋内収容物の移動転倒および屋内落下物による人的被害
急傾斜地崩壊	急傾斜地崩壊による人的被害
火災	火災による人的被害
津波	津波による人的被害
ブロック塀等	ブロック塀等の倒壊および屋外落下物による人的被害

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-1 人的被害総括表（死者）：風速 8m/s

地震名	季節 時間	死者						
		建物 倒壊	うち屋内 収容物等	急傾斜地 崩壊	津波	火災	ブロック 塀等	合計
福島盆地西縁断層帯 の地震	冬 5 時	1,240	16	1	－	230	*	1,471
	夏 12 時	517	13	1	－	232	*	749
	冬 18 時	918	12	1	－	516	*	1,434
会津盆地東縁断層帯 の地震	冬 5 時	1,448	18	4	－	151	*	1,602
	夏 12 時	248	14	1	－	174	*	423
	冬 18 時	1,086	14	2	－	535	*	1,624
想定東北地方太平洋 沖地震	冬 5 時	764	41	11	746	55	*	1,577
	夏 12 時	327	30	5	751	114	*	1,197
	冬 18 時	588	31	8	796	259	*	1,651

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

表Ⅲ-2.3-2 人的被害総括表（重傷者）：風速 8m/s

地震名	季節 時間	重傷者						
		建物 倒壊	うち屋内 収容物等	急傾斜地 崩壊	津波	火災	ブロック 塀等	合計
福島盆地西縁断層帯 の地震	冬 5 時	1,821	63	1	－	808	*	2,630
	夏 12 時	1,229	50	*	－	1,128	*	2,358
	冬 18 時	1,300	48	1	－	2,684	*	3,985
会津盆地東縁断層帯 の地震	冬 5 時	2,191	66	2	－	480	*	2,673
	夏 12 時	2,188	53	1	－	872	*	3,061
	冬 18 時	1,883	51	2	－	2,574	*	4,459
想定東北地方太平洋 沖地震	冬 5 時	1,200	164	7	78	211	*	1,497
	夏 12 時	1,007	132	3	64	628	*	1,703
	冬 18 時	947	126	5	80	1,432	1	2,464

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

表Ⅲ-2.3-3 人的被害総括表（負傷者）：風速 8m/s

地震名	季節 時間	負傷者						
		建物 倒壊	うち屋内収 容物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロック 塀等	合計
福島盆地西縁断層帯 の地震	冬 5 時	9,494	346	2	－	2,019	*	11,515
	夏 12 時	7,702	277	1	－	2,817	*	10,520
	冬 18 時	7,206	264	1	－	6,702	1	13,910
会津盆地東縁断層帯 の地震	冬 5 時	7,520	374	5	－	1,199	*	8,724
	夏 12 時	10,673	299	2	－	2,177	*	12,852
	冬 18 時	7,474	285	3	－	6,425	1	13,904
想定東北地方太平洋 沖地震	冬 5 時	13,756	947	14	152	527	*	14,449
	夏 12 時	10,633	751	6	124	1,568	1	12,332
	冬 18 時	10,534	720	10	155	3,575	2	14,276

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-4 人的被害

(福島盆地西縁断層帯の地震、冬5時) (単位：人)：風速 8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者					
	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計
うち屋内収容物等		うち屋内収容物等						うち屋内収容物等										
福島市	889	12	*	203	*	1,092	6,795	251	1	1,774	*	8,570	1,303	48	*	710	*	2,014
会津若松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
郡山市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
いわき市	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
喜多方市	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
相馬市	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
二本松市	1	*	*	0	*	1	52	12	*	0	*	52	1	1	*	0	*	1
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
伊達市	88	2	*	0	*	89	1,198	44	*	0	*	1,198	129	8	*	0	*	130
本宮市	0	0	0	0	*	*	2	2	0	0	*	2	0	0	0	0	*	*
桑折町	165	1	*	14	*	180	826	18	*	142	*	969	245	4	*	57	*	302
国見町	96	1	*	13	*	109	612	12	*	103	*	714	143	2	*	41	*	184
川俣町	0	0	*	0	*	*	2	2	*	0	*	2	0	0	*	0	*	*
大玉村	*	*	0	0	*	*	4	2	0	0	*	4	*	*	0	0	*	*
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	*	*	*	0	0	*	3	2	*	0	0	3	*	*	*	0	0	*
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楡葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,240	16	1	230	*	1,471	9,494	346	2	2,019	*	11,515	1,821	63	1	808	*	2,630

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-5 人的被害

(福島盆地西縁断層帯の地震、夏 12 時) (単位：人)：風速 8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者					
	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計
	うち屋内収容物等						うち屋内収容物等						うち屋内収容物等					
福島市	371	10	*	200	*	571	5,339	199	*	2,252	*	7,592	857	38	*	902	*	1,759
会津若松市	0	0	0	0	*	*	*	*	*	0	*	*	0	0	0	0	*	*
郡山市	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
いわき市	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	*	*	0	0	*	0	0	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
喜多方市	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
相馬市	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
二本松市	*	*	*	0	*	*	47	10	*	0	*	47	1	1	*	0	*	1
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
伊達市	37	2	*	16	*	53	946	35	*	364	*	1,310	104	7	*	146	*	250
本宮市	0	0	0	0	*	*	4	2	0	0	*	4	0	0	0	0	*	*
桑折町	69	1	*	11	*	81	809	14	*	165	*	973	170	3	*	66	*	236
国見町	40	*	*	4	*	44	543	9	*	36	*	579	97	2	*	15	*	112
川俣町	0	0	*	0	*	*	3	2	*	0	*	3	0	0	*	0	*	*
大玉村	*	*	0	0	*	*	5	2	0	0	*	5	*	*	0	0	*	*
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	*	*	*	0	*	*	4	2	*	0	*	4	*	*	*	0	*	*
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	517	13	1	232	*	749	7,702	277	1	2,817	*	10,520	1,229	50	*	1,128	*	2,358

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2. 3-6 人的被害

(福島盆地西縁断層帯の地震、冬 18 時) (単位：人)：風速 8m/s

市区町村名	死者					負傷者					重傷者							
	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計			
福島市	658	9	*	426	*	1,084	5,098	190	*	5,324	1	10,423	922	36	*	2,132	*	3,055
会津若松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
郡山市	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
いわき市	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	*	0	0	*	0	0	0	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
喜多方市	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
相馬市	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
二本松市	*	*	*	0	*	1	41	9	*	0	*	41	1	1	*	0	*	1
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
伊達市	66	2	*	44	*	110	902	33	*	775	*	1,678	98	6	*	311	*	409
本宮市	0	0	0	0	*	*	2	2	0	0	*	2	0	0	0	0	*	*
桑折町	122	1	*	27	*	150	673	14	*	367	*	1,040	176	3	*	147	*	323
国見町	71	*	*	18	*	89	479	9	*	236	*	715	102	2	*	95	*	197
川俣町	0	0	*	0	*	*	2	2	*	0	*	2	0	0	*	0	*	*
大玉村	*	*	0	0	*	*	3	1	0	0	*	3	*	*	0	0	*	*
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	*	*	*	0	*	*	3	2	*	0	*	3	*	*	*	0	*	*
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楡葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
飯沼村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	918	12	1	516	*	1,434	7,206	264	1	6,702	1	13,910	1,300	48	1	2,684	*	3,985

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-7 人的被害

(会津盆地東縁断層帯の地震、冬5時) (単位：人)：風速 8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者					
	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計		建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計		建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	
福島市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*		0	0	0	0	*	*
会津若松市	829	10	1	138	*	968	3,875	185	1	1,049	*	4,926	1,261	36	1	420	*	1,681
郡山市	19	2	1	0	*	20	191	47	1	0	*	193	32	8	1	0	*	33
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	*	*	*	0	*	*	8	8	*	0	*	8	*	*	*	0	*	*
須賀川市	*	*	*	0	*	*	22	8	*	0	*	22	*	*	*	0	*	*
喜多方市	135	2	*	4	*	140	882	36	*	41	*	924	196	7	*	17	*	213
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
鏡石町	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
天栄村	9	*	*	0	0	9	70	2	*	0	0	70	13	*	*	0	0	14
下郷町	65	*	*	1	0	66	344	6	*	8	0	352	107	1	*	3	0	111
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	11	*	*	0	0	11	99	6	*	0	0	99	16	1	*	0	0	16
北塩原村	1	*	*	0	0	1	12	2	*	0	0	12	2	*	*	0	0	2
西会津町	*	*	0	0	0	*	8	1	0	0	0	8	1	*	0	0	0	1
磐梯町	78	*	0	5	0	83	330	6	0	59	0	389	121	1	0	23	0	144
猪苗代町	144	1	1	2	0	147	725	19	1	42	0	767	221	4	*	17	0	238
会津坂下町	34	1	*	0	*	34	226	14	*	0	*	226	51	3	*	0	*	51
湯川村	26	*	0	0	*	26	119	5	0	0	*	119	42	1	0	0	*	42
柳津町	*	*	*	0	0	*	6	1	*	0	0	6	*	*	*	0	0	*
三島町	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*
金山町	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*
昭和村	*	*	0	0	0	*	1	*	0	0	0	1	*	*	0	0	0	*
会津美里町	94	1	*	0	0	94	589	18	*	0	0	589	127	3	*	0	0	127
西郷村	*	*	*	0	*	*	9	6	*	0	*	9	*	*	*	0	*	*
泉崎村	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
中島村	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
矢吹町	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
棚倉町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
玉川村	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楡葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,448	18	4	151	*	1,602	7,520	374	5	1,199	*	8,724	2,191	66	2	480	*	2,673

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-8 人的被害

(会津盆地東縁断層帯の地震、夏 12 時) (単位：人)：風速 8m/s

市区町村名	死者					負傷者					重傷者				
	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計
福島市	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	151	8	*	154	*	306	6,239	147	*	1,808	*	8,047	1,415	29	*
郡山市	8	1	*	0	*	9	177	37	1	0	*	178	23	6	*
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	*	*	*	0	*	*	9	7	*	0	*	9	*	*	*
須賀川市	*	*	*	0	*	*	20	6	*	0	*	20	*	*	*
喜多方市	15	1	*	7	*	23	970	28	*	130	*	1,100	133	5	*
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	0	0	0	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	*	2	2	0	0	*	2	0	0	0	*
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
鏡石町	0	0	0	0	*	*	1	0	0	*	1	0	0	0	*
天栄村	4	*	*	0	*	4	81	2	*	0	*	81	13	*	*
下郷町	11	*	*	*	*	11	464	5	*	4	*	468	95	1	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	1	*	*	0	*	1	104	5	*	0	*	104	10	1	*
北塩原村	*	*	*	0	*	*	18	1	*	0	*	18	2	*	*
西会津町	*	*	0	0	*	*	9	1	0	0	*	9	*	*	*
磐梯町	15	*	0	5	*	20	475	5	0	95	*	570	113	1	0
猪苗代町	24	1	*	3	*	28	1,147	15	*	67	*	1,214	240	3	*
会津坂下町	4	1	*	1	*	5	232	11	*	19	*	250	33	2	*
湯川村	5	*	0	2	*	7	181	4	*	41	*	222	42	1	0
柳津町	*	*	*	0	*	*	5	1	*	0	*	5	*	*	*
三島町	*	*	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	*
金山町	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0
昭和村	*	*	0	0	0	*	1	0	0	0	1	*	*	0	0
会津美里町	10	1	*	1	*	11	527	14	*	15	*	542	68	3	*
西郷村	*	*	*	0	*	*	10	5	*	0	*	10	*	*	*
泉崎村	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0
中島村	*	*	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	*
矢吹町	*	*	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	*	0	0
棚倉町	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	*
玉川村	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	248	14	1	174	*	423	10,673	299	2	2,177	*	12,852	2,188	53	1

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-9 人的被害

(会津盆地東縁断層帯の地震、冬 18 時) (単位：人)：風速 8m/s

市区町村名	死者					負傷者					重傷者				
	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計
福島市	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	621	8	1	432	*	1,053	4,082	140	1	4,776	1	8,860	1,131	27	*
郡山市	14	1	1	12	*	28	153	36	1	161	*	315	24	6	*
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	*	*	*	0	*	*	7	7	*	0	*	7	*	*	*
須賀川市	*	*	*	0	*	*	17	6	*	0	*	17	*	*	*
喜多方市	101	1	*	33	*	133	786	27	*	521	*	1,307	148	5	*
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
鏡石町	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0
天栄村	7	*	*	0	*	7	62	2	*	0	*	62	11	*	*
下郷町	49	*	*	1	*	50	336	5	*	9	*	345	89	1	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	8	*	*	0	*	8	86	4	*	0	*	87	12	1	*
北塩原村	1	*	*	0	*	1	13	1	*	0	*	13	2	*	*
西会津町	*	*	0	0	*	*	7	1	0	0	*	7	*	*	0
磐梯町	59	*	0	10	*	69	332	4	0	173	*	506	102	1	0
猪苗代町	112	1	*	15	*	127	772	14	*	274	*	1,046	200	3	*
会津坂下町	26	1	*	13	*	39	196	11	*	202	*	398	38	2	*
湯川村	20	*	0	5	*	25	122	4	0	91	*	213	36	1	0
柳津町	*	*	*	0	*	*	5	1	*	0	*	5	*	*	*
三島町	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	0	0
金山町	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	0	0
昭和村	*	*	0	0	0	0	1	*	0	0	0	1	*	0	0
会津美里町	70	1	*	14	*	84	485	13	*	219	*	705	90	3	*
西郷村	*	*	*	0	*	*	8	5	*	0	*	8	*	*	0
泉崎村	0	0	0	0	*	*	1	1	0	0	*	1	0	0	0
中島村	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	0	0
矢吹町	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	0	0
棚倉町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯沼村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,086	14	2	535	*	1,624	7,474	285	3	6,425	1	13,904	1,883	51	*

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-10 人的被害

(想定東北地方太平洋沖地震、冬5時) (単位：人)：風速 8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者								
	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	津波	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	津波	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	津波	火災	ブロック塀等	合計			
福島市	3	3	*	0	0	*	3	333	85	*	0	0	*	333	5	15	*	0	0	*	5
会津若松市	8	2	*	0	0	*	9	108	37	*	0	0	*	108	12	6	*	0	0	*	12
郡山市	257	10	1	0	50	*	308	4,563	227	1	0	442	*	5,007	431	43	1	0	177	*	609
いわき市	123	9	4	521	0	*	648	2,415	210	5	129	0	*	2,549	186	40	3	66	0	*	255
白河市	14	2	*	0	0	*	14	351	35	*	0	0	*	351	24	7	*	0	0	*	24
須賀川市	144	3	*	0	5	*	149	1,415	65	*	0	85	*	1,501	213	13	*	0	34	*	248
喜多方市	*	*	0	0	0	*	*	4	3	0	0	0	*	4	*	1	0	0	0	*	*
相馬市	16	1	*	113	0	*	129	328	23	*	11	0	*	339	23	4	*	5	0	*	29
二本松市	14	1	1	0	0	*	15	413	28	1	0	0	*	414	21	5	*	0	0	*	22
田村市	23	1	1	0	0	*	24	799	22	1	0	0	*	799	39	4	*	0	0	*	39
南相馬市	4	1	*	91	0	*	96	225	25	1	12	0	*	237	6	5	*	6	0	*	13
伊達市	11	1	*	0	0	*	11	385	26	*	0	0	*	385	16	5	*	0	0	*	16
本宮市	15	1	*	0	0	*	15	245	16	*	0	0	*	245	23	3	*	0	0	*	23
桑折町	13	*	*	0	0	*	13	236	10	*	0	0	*	236	20	2	*	0	0	*	20
国見町	53	1	*	0	0	*	53	460	11	*	0	0	*	460	78	2	*	0	0	*	78
川俣町	*	*	*	0	0	*	*	31	4	*	0	0	*	31	1	1	*	0	0	*	1
大玉村	*	*	*	0	0	*	*	15	3	*	0	0	*	16	*	1	*	0	0	*	*
鏡石町	10	1	0	0	0	*	10	169	11	0	0	0	*	169	15	2	0	0	0	*	15
天栄村	7	*	*	0	0	0	7	98	4	*	0	0	0	98	11	1	*	0	0	0	11
下郷町	0	*	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	*	0	*	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	*	*	0	0	0	0	*	3	1	0	0	0	0	3	*	*	0	0	0	0	*
北塩原村	0	*	0	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	*	0	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	0
磐梯町	*	*	0	0	0	0	*	2	1	0	0	0	0	2	*	*	0	0	0	0	*
猪苗代町	2	*	*	0	0	0	2	27	4	*	0	0	0	27	3	1	*	0	0	0	3
会津坂下町	1	*	0	0	0	*	1	14	4	0	0	0	*	14	1	1	0	0	0	*	1
湯川村	*	*	0	0	0	*	*	3	1	0	0	0	*	3	*	*	0	0	0	*	*
柳津町	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	*	*	0	0	0	0	*	7	2	0	0	0	0	7	1	*	0	0	0	0	1
西郷村	14	1	*	0	0	*	14	233	22	*	0	0	*	233	23	4	*	0	0	0	23
泉崎村	*	*	*	0	0	*	*	7	3	*	0	0	*	7	*	*	*	0	0	*	*
中島村	1	*	*	0	0	*	1	33	3	*	0	0	*	33	1	1	*	0	0	*	1
矢吹町	5	1	*	0	0	*	5	152	12	*	0	0	*	152	8	2	*	0	0	*	8
棚倉町	2	*	*	0	0	*	2	66	6	*	0	0	*	66	3	1	*	0	0	*	3
矢祭町	*	*	*	0	0	0	*	1	1	*	0	0	0	1	*	*	*	0	0	0	*
塙町	0	*	*	0	0	0	*	2	2	*	0	0	0	2	0	*	*	0	0	0	*
鮫川村	0	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	0	*	*	0	0	0	*
石川町	*	*	*	0	0	*	*	22	5	*	0	0	*	22	*	1	*	0	0	*	*
玉川村	1	*	*	0	0	*	1	30	3	*	0	0	*	30	1	*	*	0	0	*	1
平田村	1	*	*	0	0	0	1	66	3	*	0	0	0	66	2	*	*	0	0	0	2
逢川町	1	*	*	0	0	*	1	40	4	*	0	0	0	40	1	1	*	0	0	*	1
古殿町	*	*	*	0	0	0	1	25	2	*	0	0	0	25	1	*	*	0	0	0	1
三春町	2	*	*	0	0	*	2	72	8	*	0	0	*	72	3	1	*	0	0	*	3
小野町	2	*	*	0	0	0	2	86	6	*	0	0	*	86	2	1	*	0	0	*	3
広野町	1	*	*	1	0	0	2	14	2	*	*	0	0	15	1	*	*	*	0	0	1
楡葉町	3	*	*	*	0	0	4	58	1	*	*	0	0	58	6	*	*	*	0	0	6
富岡町	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*
川内村	1	*	*	0	0	0	1	30	1	*	0	0	0	30	1	*	*	0	0	0	1
大原町	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*
双葉町	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	*	0	0	0	*
浪江町	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*
葛尾村	*	*	*	0	0	0	*	2	*	*	0	0	0	2	*	*	*	0	0	0	*
新地町	10	*	*	18	0	*	29	168	8	*	1	0	*	169	16	1	*	1	0	*	16
飯館村	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*
合計	764	41	11	746	55	*	1,577	13,756	947	14	152	527	*	14,449	1,200	164	7	78	211	*	1,497

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-11 人的被害

(想定東北地方太平洋沖地震、夏 12 時) (単位：人)：風速 8m/s

市区町村名	死者							負傷者							重傷者						
	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災	ブロック塀等	合計
	うち屋内収容物等							うち屋内収容物等							うち屋内収容物等						
福島市	1	1	*	0	0	*	1	268	67	*	0	0	*	268	7	7	*	0	0	*	7
会津若松市	1	1	*	0	0	*	1	111	30	*	0	0	*	111	6	5	*	0	0	*	6
郡山市	113	8	*	0	92	*	205	3,354	180	1	0	1,246	*	4,600	349	34	*	0	499	*	848
いわき市	52	7	2	456	0	*	509	1,606	167	2	102	0	*	1,710	137	31	1	52	0	*	190
白河市	6	1	*	0	0	*	6	301	28	*	0	0	*	301	24	5	*	0	0	*	24
須賀川市	60	3	*	0	13	*	74	1,220	52	*	0	178	*	1,398	170	10	*	0	71	*	242
喜多方市	*	*	0	0	0	*	*	5	3	0	0	0	*	5	*	*	0	0	0	*	*
相馬市	7	1	*	131	0	*	138	234	18	*	13	0	*	247	19	3	*	7	0	*	26
二本松市	6	1	*	0	0	*	6	311	22	*	0	0	*	311	20	4	*	0	0	*	21
田村市	10	1	*	0	2	*	12	642	17	*	0	23	*	666	47	3	*	0	9	*	56
南相馬市	2	1	*	81	0	*	83	196	20	*	7	0	*	204	10	4	*	4	0	*	14
伊達市	4	1	*	0	0	*	5	313	21	*	0	0	*	314	17	4	*	0	0	*	17
本宮市	8	1	*	0	0	*	8	230	12	*	0	0	*	230	24	2	*	0	0	*	24
桑折町	6	*	*	0	0	*	6	162	8	*	0	0	*	162	15	2	*	0	0	*	15
国見町	22	*	*	0	5	*	28	363	9	*	0	106	*	470	53	2	*	0	43	*	96
川俣町	*	*	*	0	0	*	*	31	3	*	0	0	*	31	1	1	*	0	0	*	1
大玉村	*	*	*	0	0	*	*	16	2	*	0	0	*	16	*	*	*	0	0	*	*
鏡石町	4	*	*	0	0	*	4	132	9	0	0	0	*	132	13	2	0	0	0	*	13
天栄村	3	*	*	0	0	*	3	98	3	*	0	0	*	98	12	1	*	0	0	*	12
下郷町	0	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	*	*	*	0	0	*	*	3	1	0	0	0	*	3	*	*	0	0	0	*	*
北塩原村	0	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	*	*	*	0	0	*	*	2	1	0	0	0	*	2	*	*	0	0	0	*	*
猪苗代町	*	*	*	0	0	*	*	29	3	*	0	0	*	29	1	1	*	0	0	*	1
会津坂下町	*	*	*	0	0	*	*	10	3	0	0	0	*	10	*	*	0	0	0	*	*
津川村	*	*	*	0	0	*	*	2	1	0	0	0	*	2	*	*	0	0	0	*	*
棚津町	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	*	*	*	0	0	*	*	5	2	0	0	0	*	5	*	*	0	0	0	*	*
西郷村	6	1	*	0	1	*	7	205	17	*	0	15	*	220	23	3	*	0	6	*	29
泉崎村	*	*	*	0	0	*	*	6	2	*	0	0	*	6	*	*	*	0	0	*	*
中島村	*	*	*	0	0	*	*	24	2	*	0	0	*	24	1	*	*	0	0	*	1
矢吹町	2	*	*	0	0	*	2	108	10	*	0	0	*	108	8	2	*	0	0	*	8
棚倉町	1	*	*	0	0	*	1	62	5	*	0	0	*	62	4	1	*	0	0	*	4
矢祭町	*	*	*	0	0	*	*	2	1	*	0	0	*	2	*	*	*	0	0	*	*
埴町	0	0	*	0	0	*	*	2	1	*	0	0	*	2	0	0	*	0	0	*	*
鮫川村	0	0	*	0	0	*	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	*	0	0	*	*
石川町	*	*	*	0	0	*	*	24	4	*	0	0	*	24	*	*	*	0	0	*	*
玉川村	*	*	*	0	0	*	*	26	2	*	0	0	*	26	1	*	*	0	0	*	1
平田村	1	*	*	0	0	*	1	53	2	*	0	0	*	53	3	*	*	0	0	*	3
浅川町	*	*	*	0	0	*	*	28	3	*	0	0	*	28	2	1	*	0	0	*	2
古殿町	*	*	*	0	0	*	*	22	2	*	0	0	*	22	1	*	*	0	0	*	1
三春町	1	*	*	0	0	*	1	71	6	*	0	0	*	71	3	1	*	0	0	*	3
小野町	1	*	*	0	0	*	1	79	5	*	0	0	*	79	4	1	*	0	0	*	4
広野町	*	*	*	20	0	*	21	14	1	*	1	0	*	14	1	*	*	*	0	*	1
楢葉町	2	*	*	6	0	0	8	50	1	*	*	0	0	50	6	*	*	*	0	0	6
富岡町	*	0	*	11	0	0	11	*	0	*	*	0	0	*	*	0	*	*	0	0	*
川内村	*	*	*	0	0	0	*	21	1	*	0	0	0	21	1	*	*	0	0	0	1
大熊町	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*
双葉町	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*
浪江町	3	0	*	1	0	0	4	51	0	*	*	0	0	51	7	0	*	*	0	0	7
葛尾村	*	*	*	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	1	*	*	*	0	0	0	*
新地町	5	*	*	46	0	*	51	139	6	*	1	0	*	140	15	1	*	1	0	*	16
飯館村	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*
合計	327	30	5	751	114	*	1,197	10,633	751	6	124	1,568	1	12,332	1,007	132	3	64	628	*	1,703

\*：わずか。0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.3-12 人的被害

(想定東北地方太平洋沖地震、冬 18 時) (単位：人)：風速 8m/s

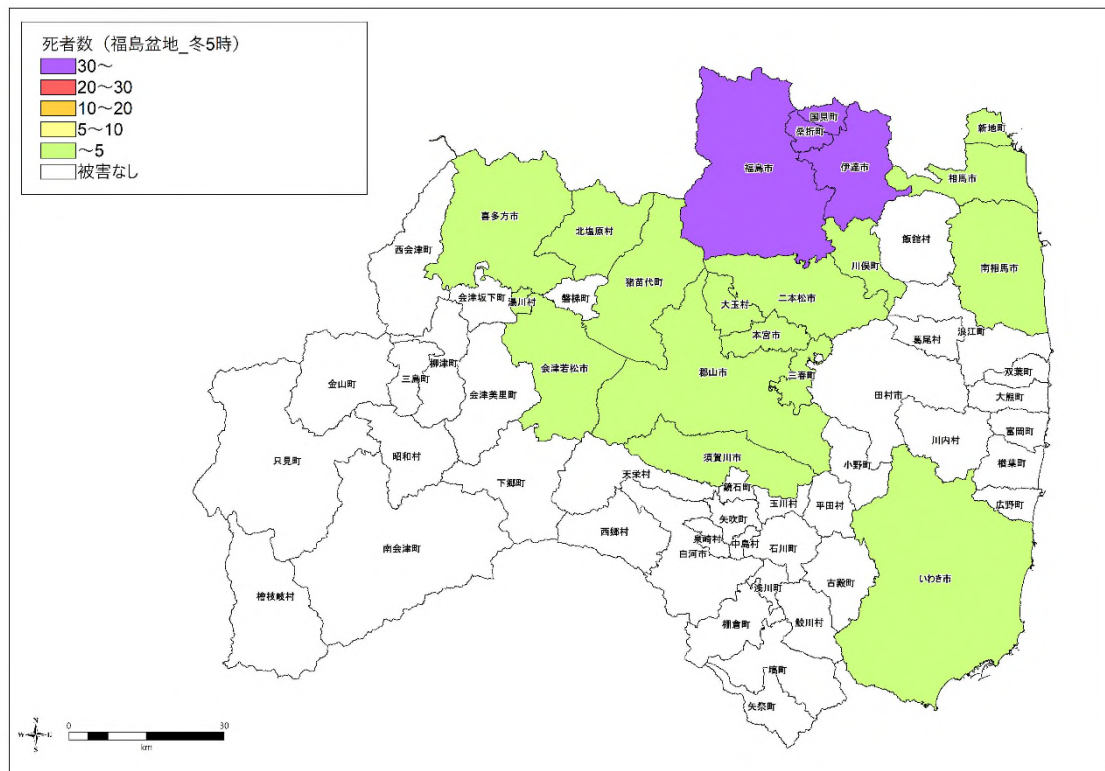
市区町村 名	死者							負傷者							重傷者						
	建物倒壊		急傾斜 地崩壊	津波	火災	プロッ ク塙等	合計	建物倒壊		急傾斜 地崩壊	津波	火災	プロッ ク塙等	合計	建物倒壊		急傾斜 地崩壊	津波	火災	プロッ ク塙等	合計
	うち屋 内収容 物等	うち屋 内収容 物等						うち屋 内収容 物等	うち屋 内収容 物等						うち屋 内収容 物等	うち屋 内収容 物等					
福島市	2	2	*	0	0	*	2	252	64	*	0	0	*	252	5	5	*	0	0	*	5
会津若松市	6	1	*	0	0	*	6	94	28	*	0	0	*	94	8	5	*	0	0	*	9
郡山市	199	7	1	0	158	*	358	3,450	172	1	0	1,918	1	5,370	337	33	*	0	768	*	1,106
いわき市	92	7	3	518	30	*	643	1,745	160	4	125	505	*	2,379	137	30	2	64	202	*	406
白河市	10	1	*	0	12	*	22	272	27	*	0	176	*	449	20	5	*	0	71	*	91
須賀川市	107	2	*	0	28	*	135	1,103	50	*	0	496	*	1,599	162	10	*	0	199	*	361
喜多方市	*	*	0	0	0	*	*	3	3	0	0	0	*	3	*	*	0	0	0	*	*
相馬市	13	1	*	129	4	*	146	247	17	*	13	61	*	321	18	3	*	7	24	*	50
二本松市	10	1	1	0	0	*	11	306	21	1	0	0	*	307	17	4	*	0	0	*	18
田村市	17	1	*	0	7	*	25	606	16	1	0	92	*	699	35	3	*	0	37	*	72
南相馬市	4	1	*	87	4	*	96	198	19	*	10	50	*	258	8	3	*	5	20	*	33
伊達市	8	1	*	0	0	*	8	293	20	*	0	0	*	293	13	4	*	0	0	*	14
本宮市	13	1	*	0	3	*	16	213	12	*	0	69	*	282	21	2	*	0	28	*	49
桑折町	10	*	*	0	0	*	10	170	8	*	0	0	*	170	15	1	*	0	0	*	15
国見町	39	*	*	0	3	*	42	346	8	*	0	43	*	388	56	2	*	0	17	*	73
川俣町	*	*	*	0	0	*	*	26	3	*	0	0	*	26	1	1	*	0	0	*	1
大玉村	*	*	*	0	0	*	*	13	2	*	0	0	*	13	*	*	*	0	0	*	*
鏡石町	8	*	*	0	3	*	10	128	8	0	0	47	*	175	12	2	0	0	19	*	31
天栄村	5	*	*	0	0	*	5	81	3	*	0	0	*	81	9	1	*	0	0	*	9
下郷町	0	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	*	*	0	0	0	*	*	2	1	0	0	0	*	2	*	*	0	0	0	*	*
北塩原村	0	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	*	*	0	0	0	*	*	1	1	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	*	*
猪苗代町	2	*	*	0	0	*	2	25	3	*	0	0	*	25	2	1	*	0	0	*	2
会津坂下町	*	*	0	0	0	*	*	11	3	0	0	0	*	11	1	*	0	0	0	*	1
津川村	*	*	0	0	0	*	*	2	1	0	0	0	*	2	*	*	0	0	0	*	*
棚津町	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	*	*	0	0	0	*	*	6	2	0	0	0	*	6	*	*	0	0	0	*	*
西郷村	11	1	*	0	3	*	14	190	16	*	0	46	*	236	20	3	*	0	18	*	38
泉崎村	*	*	*	0	0	*	*	6	2	*	0	0	*	6	*	*	*	0	0	*	*
中島村	1	*	*	0	0	*	1	24	2	*	0	0	*	24	1	*	*	0	0	*	1
矢吹町	4	*	*	0	0	*	4	115	9	*	0	0	*	115	7	2	*	0	0	*	7
棚倉町	2	*	*	0	0	*	2	61	4	*	0	0	*	61	3	1	*	0	0	*	3
矢祭町	*	*	*	0	0	*	*	1	1	*	0	0	*	1	*	*	*	0	0	*	*
塙町	0	0	*	0	0	*	*	2	1	*	0	0	*	2	0	0	*	0	0	*	*
鮫川村	0	0	*	0	0	*	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	*	0	0	*	*
石川町	*	*	*	0	0	*	*	19	3	*	0	0	*	19	*	*	*	0	0	*	*
玉川村	*	*	*	0	0	*	*	24	2	*	0	0	*	24	1	*	*	0	0	*	1
平田村	1	*	*	0	0	*	1	50	2	*	0	0	*	50	2	*	*	0	0	*	2
浅川町	1	*	*	0	0	*	1	29	3	*	0	0	*	29	1	1	*	0	0	*	1
古殿町	*	*	*	0	0	*	*	20	2	*	0	0	*	20	1	*	*	0	0	*	1
三春町	1	*	*	0	0	*	1	59	6	*	0	0	*	59	3	1	*	0	0	*	3
小野町	1	*	*	0	0	*	1	69	5	*	0	0	*	69	3	1	*	0	0	*	3
広野町	1	*	*	16	0	*	16	13	1	*	3	0	*	16	1	*	*	1	0	*	2
楡葉町	3	*	*	4	0	*	7	52	1	*	*	0	*	53	6	*	*	*	0	*	6
富岡町	*	0	*	6	0	0	7	*	0	*	0	0	0	*	*	0	*	0	0	0	*
川内村	1	*	*	0	0	*	1	22	1	*	0	0	*	22	1	*	*	0	0	*	1
大熊町	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*
双葉町	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*
浪江町	5	0	*	*	*	0	5	48	0	*	*	7	0	55	7	0	*	*	3	0	10
葛尾村	*	*	*	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	1	*	*	*	0	0	0	*
新地町	8	*	*	35	4	*	47	134	6	*	4	66	*	205	13	1	*	2	27	*	42
飯館村	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*
合計	588	31	8	796	259	*	1,651	10,534	720	10	155	3,575	2	14,276	947	126	5	80	1,432	1	2,464

\*：わずか 0：数少ない。

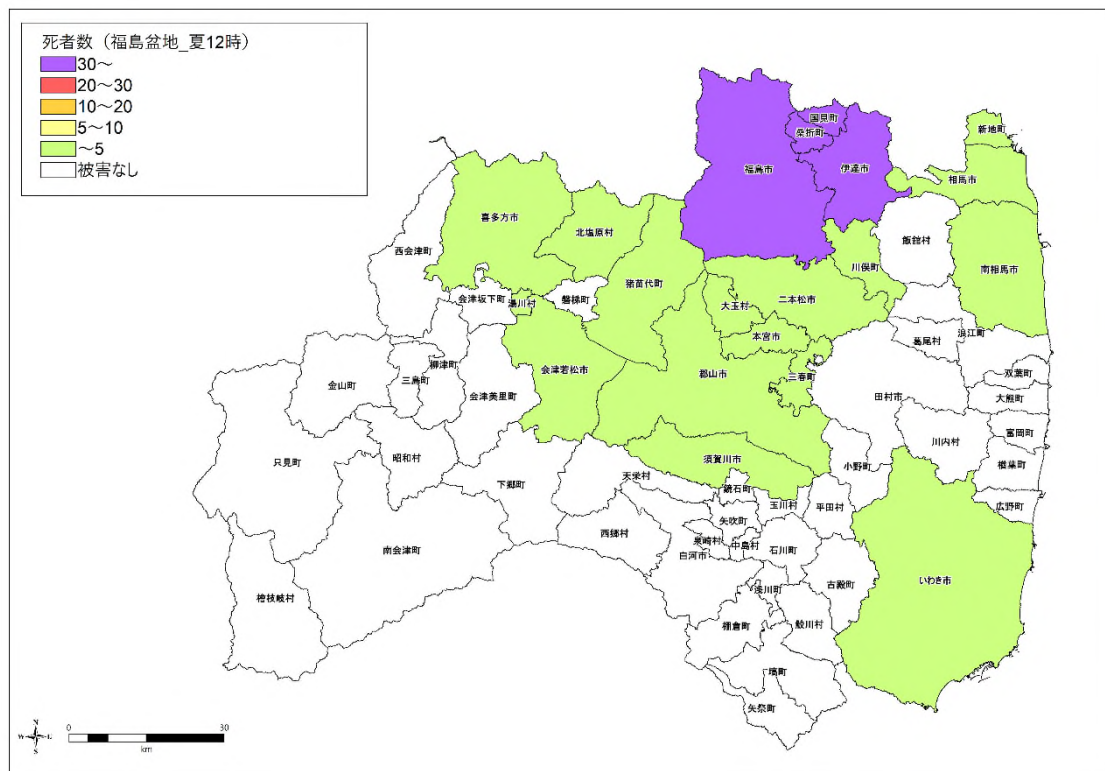
※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定



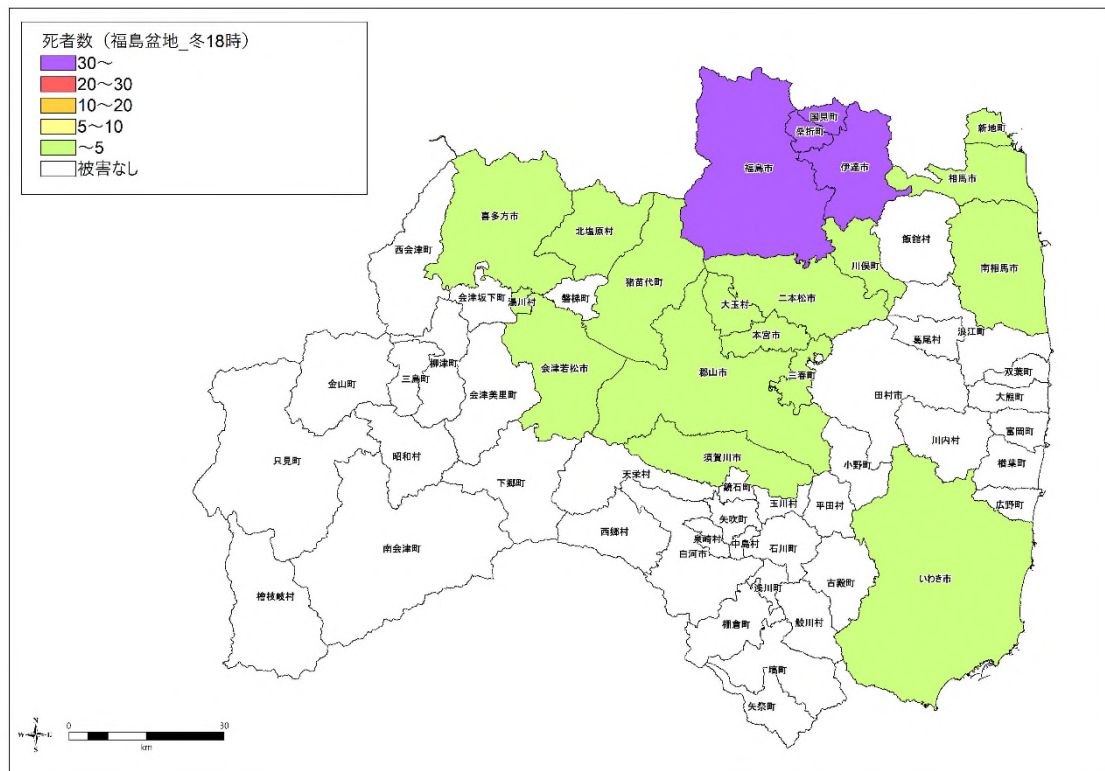
図Ⅲ-2.3-1 人的被害（死者数）福島盆地西縁断層帯の地震 冬5時：風速 8m/s



図Ⅲ-2.3-2 人的被害（死者数）福島盆地西縁断層帯の地震 夏12時：風速 8m/s

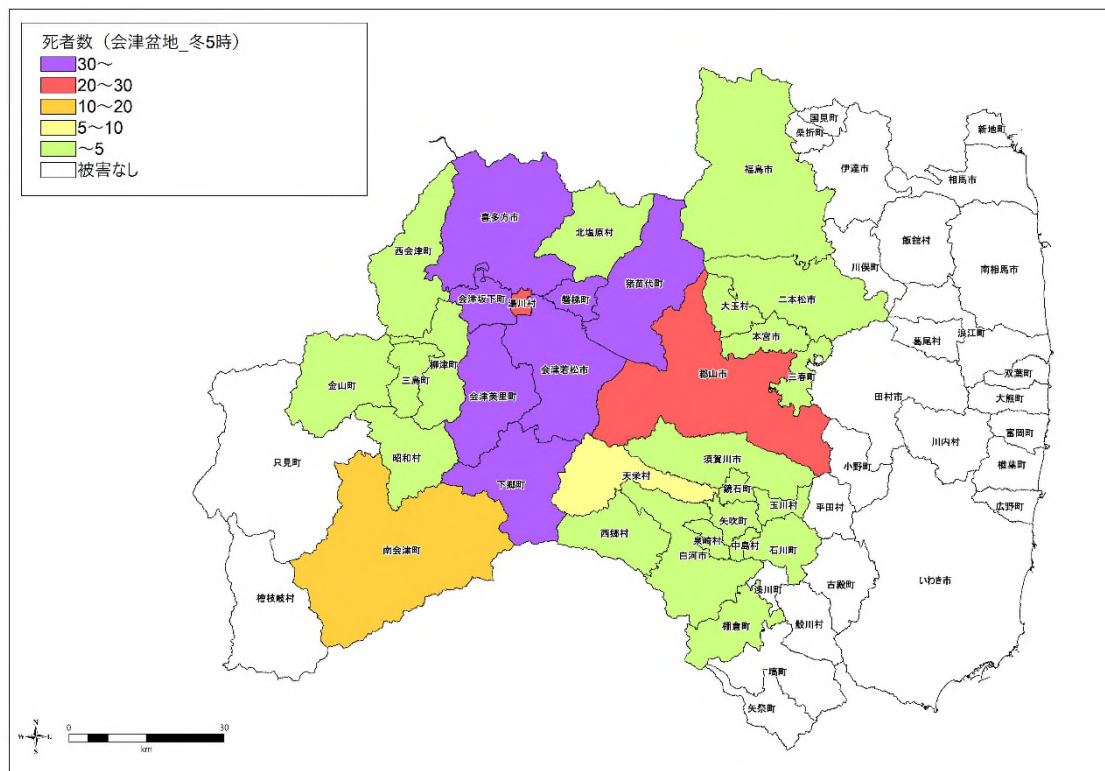
### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定



※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

図Ⅲ-2.3-3 人的被害（死者数）福島盆地西縁断層帯の地震 冬18時：風速8m/s



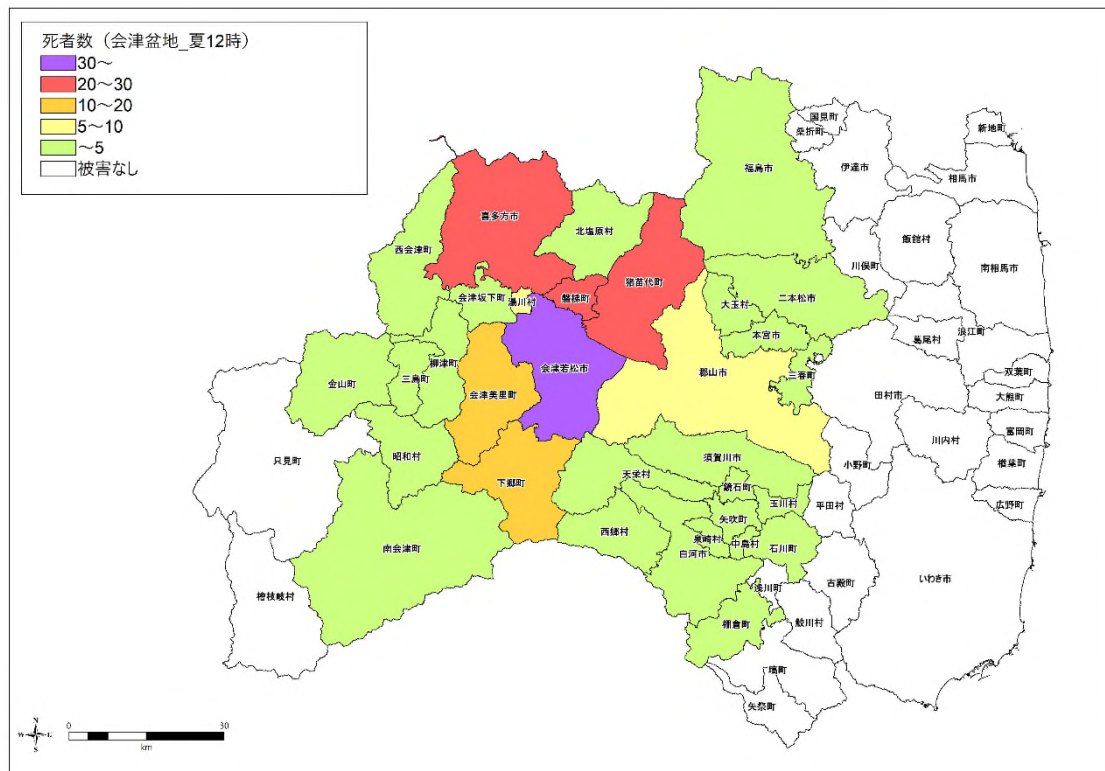
※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

図Ⅲ-2.3-4 人的被害（死者数）会津盆地東縁断層帯の地震 冬5時：風速8m/s



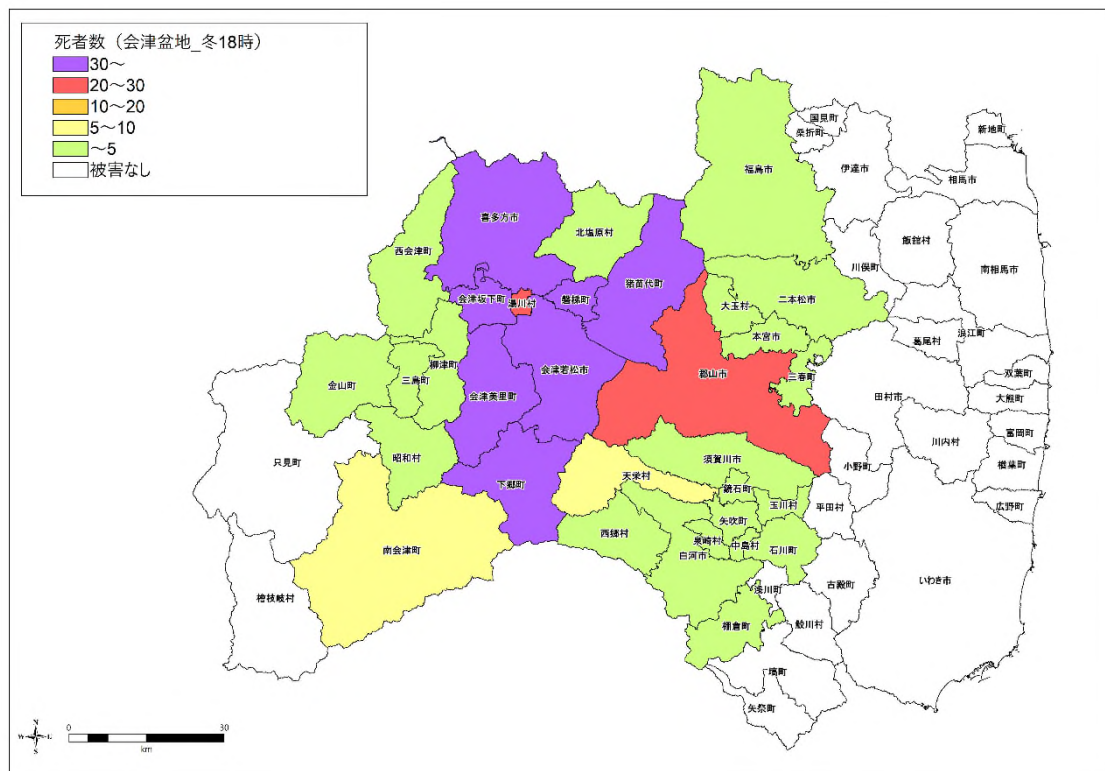
### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定



※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

図Ⅲ-2.3-5 人的被害（死者数）会津盆地東縁断層帯の地震 夏12時：風速8m/s



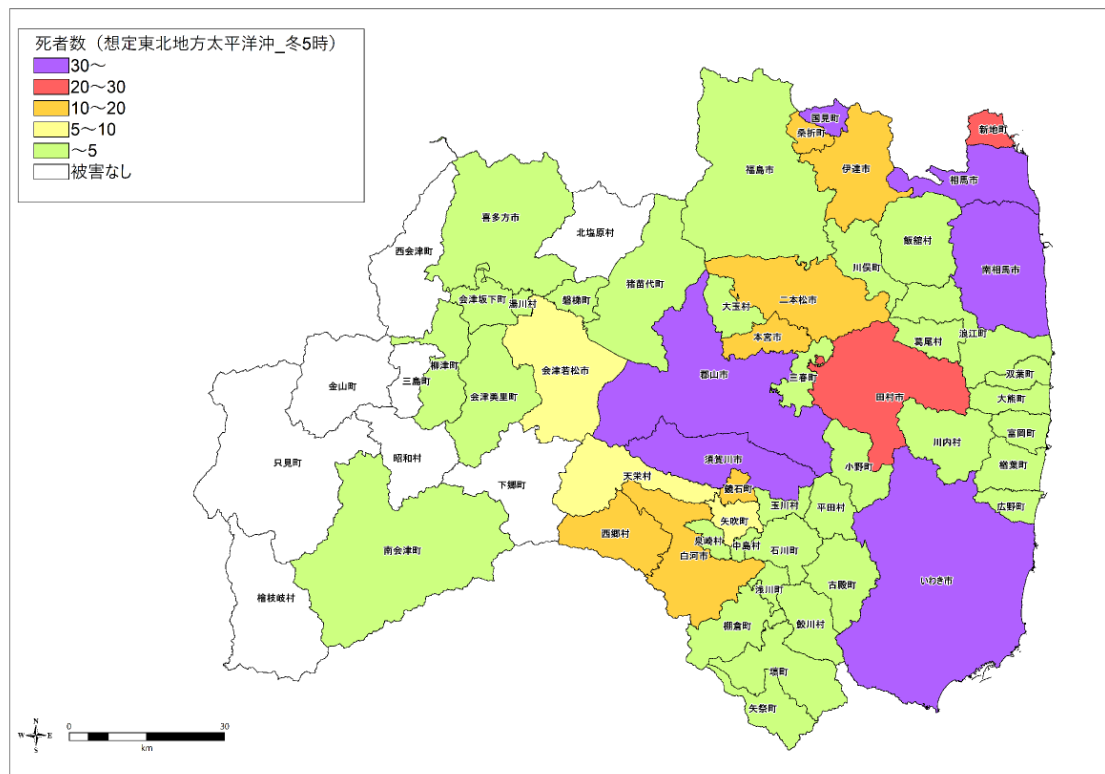
※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

図Ⅲ-2.3-6 人的被害（死者数）会津盆地東縁断層帯の地震 冬18時：風速8m/s

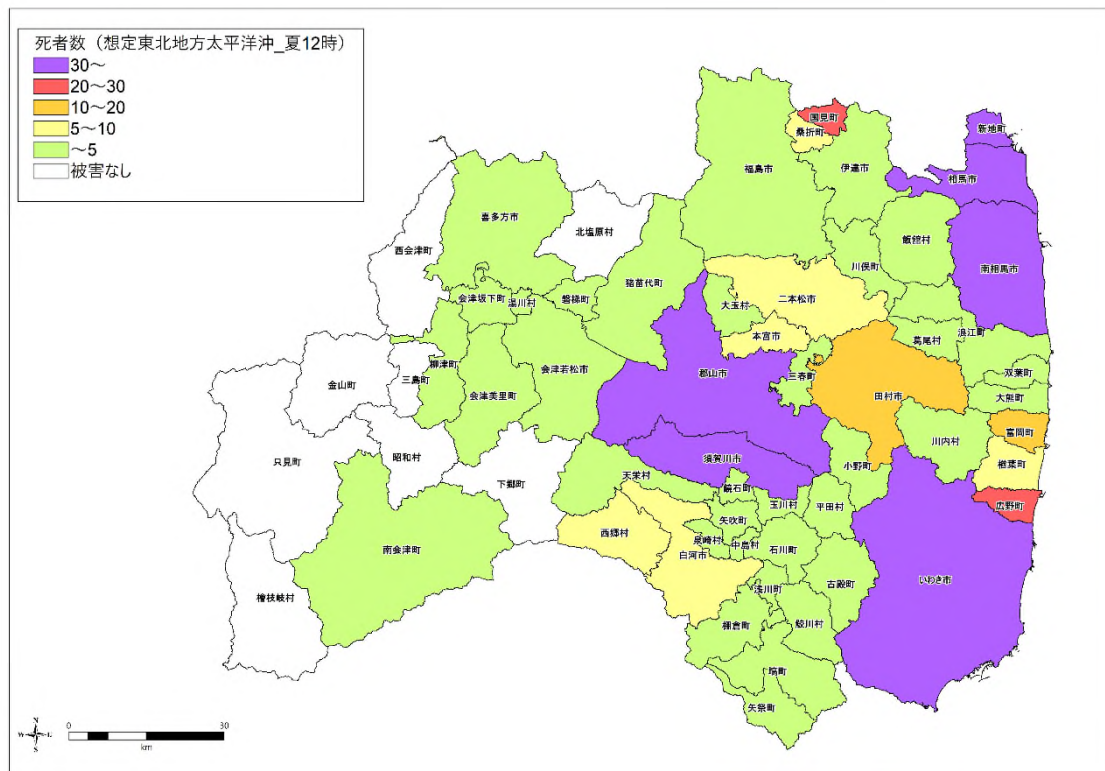


### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定



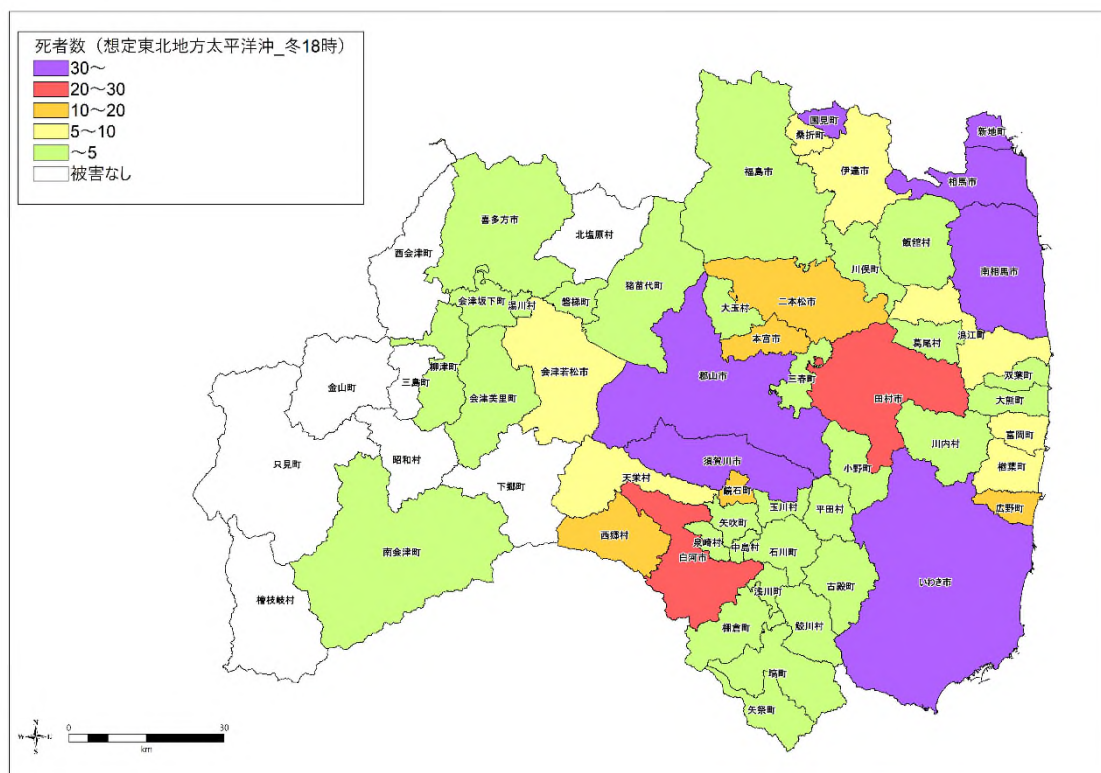
図Ⅲ-2.3-7 人的被害（死者数）想定東北地方太平洋沖地震 冬5時：風速 8m/s



図Ⅲ-2.3-8 人的被害（死者数）想定東北地方太平洋沖地震 夏12時：風速 8m/s

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定



図Ⅲ-2.3-9 人的被害（死者数）想定東北地方太平洋沖地震 冬18時：風速8m/s

#### 2.4 要配慮者の人的被害

要配慮者の人的被害の想定結果は、以下のとおりである。

想定結果については総括表を表Ⅲ-2.4-1～表Ⅲ-2.4-3 に示し、市町村別の想定結果を表Ⅲ-2.4-4～表Ⅲ-2.4-12 に示した。

要配慮者の人的被害は、2.3 の人的被害の内数として整理していることから、人的被害と同様な傾向である。人的被害のうち、約2割が要配慮者による人的被害として発生すると考えられる。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2. 4-1 要配慮者の人的被害総括表（死者）

地震名	季節 時間	死者						
		建物 倒壊	うち屋 内収容 物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロッ ク塀等	合計
福島盆地西 縁断層帯の 地震	冬 5 時	233	3	*	－	42	*	276
	夏 12 時	97	2	*	－	42	*	140
	冬 18 時	173	2	*	－	95	*	268
会津盆地東 縁断層帯の 地震	冬 5 時	306	4	1	－	30	*	337
	夏 12 時	52	3	*	－	34	*	86
	冬 18 時	230	3	*	－	106	*	337
想定東北地 方太平洋沖 地震	冬 5 時	136	7	2	139	9	*	286
	夏 12 時	58	5	1	137	19	*	214
	冬 18 時	104	6	1	146	44	*	296

\*：わずか。－：対象外。

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

表Ⅲ-2. 4-2 要配慮者の人的被害総括表（重傷者）

地震名	季節 時間	重傷者						
		建物 倒壊	うち屋 内収容 物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロッ ク塀等	合計
福島盆地西 縁断層帯の 地震	冬 5 時	343	12	*	－	148	*	491
	夏 12 時	232	9	*	－	208	*	441
	冬 18 時	245	9	*	－	496	*	741
会津盆地東 縁断層帯の 地震	冬 5 時	463	14	*	－	95	*	559
	夏 12 時	455	11	*	－	174	*	629
	冬 18 時	396	10	*	－	517	*	914
想定東北地 方太平洋沖 地震	冬 5 時	213	30	1	14	35	*	264
	夏 12 時	178	24	1	12	105	*	296
	冬 18 時	167	23	1	15	245	*	428

\*：わずか。－：対象外。

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

表Ⅲ-2. 4-3 要配慮者の人的被害総括表（負傷者）

地震名	季節 時間	負傷者						
		建物 倒壊	うち屋 内収容 物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロッ ク塀等	合計
福島盆地西 縁断層帯の 地震	冬 5 時	1,781	65	*	－	370	*	2,151
	夏 12 時	1,451	52	*	－	520	*	1,972
	冬 18 時	1,354	49	*	－	1,239	*	2,593
会津盆地東 縁断層帯の 地震	冬 5 時	1,601	75	1	－	237	*	1,839
	夏 12 時	2,246	60	*	－	434	*	2,680
	冬 18 時	1,584	57	1	－	1,292	*	2,876
想定東北地 方太平洋沖 地震	冬 5 時	2,486	173	3	28	86	*	2,603
	夏 12 時	1,917	25	1	23	263	*	2,204
	冬 18 時	1,895	131	2	29	612	*	2,538

\*：わずか。－：対象外。

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.4-4 要配慮者の人的被害

(福島盆地西縁断層帯の地震、冬5時)(単位:人):風速 8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者					
	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計
うち屋内収容物等		うち屋内収容物等						うち屋内収容物等						うち屋内収容物等				
福島市	159	2	*	36	*	195	1,213	45	*	317	*	1,530	233	9	*	127	*	360
会津若松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
郡山市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
いわき市	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
喜多方市	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
相馬市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
二本松市	*	*	*	0	*	*	10	2	*	0	*	10	*	*	*	0	*	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
伊達市	18	*	*	0	*	18	245	9	*	0	*	245	26	2	*	0	*	27
本宮市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
桑折町	36	*	*	3	*	39	180	4	*	31	*	211	53	1	*	12	*	66
国見町	20	*	*	3	*	23	130	3	*	22	*	151	30	*	*	9	*	39
川俣町	0	0	*	0	*	*	*	*	*	0	*	*	0	0	*	0	*	*
大玉村	*	*	0	0	*	*	1	*	0	0	*	1	*	*	0	0	*	*
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	*	*	*	0	0	*	1	1	*	0	0	1	*	*	*	0	0	*
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楡葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	233	3	*	42	*	276	1,781	65	*	370	*	2,151	343	12	*	148	*	491

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.4-5 要配慮者の人的被害

(福島盆地西縁断層帯の地震、夏12時)(単位：人)：風速8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者					
	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計
	うち屋内収容物等						うち屋内収容物等						うち屋内収容物等					
福島市	66	2	*	36	*	102	953	35	*	402	*	1,356	153	7	*	161	*	314
会津若松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
郡山市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
いわき市	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
喜多方市	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
相馬市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
二本松市	*	*	*	0	*	*	9	2	*	0	*	9	*	*	*	0	*	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
伊達市	8	*	*	3	*	11	193	7	*	74	*	268	21	1	*	30	*	51
本宮市	0	0	0	0	*	*	1	*	0	0	*	1	0	0	0	0	*	*
桑折町	15	*	*	3	*	18	176	3	*	36	*	212	37	1	*	14	*	52
国見町	9	*	*	1	*	9	115	2	*	8	*	123	21	*	*	3	*	24
川俣町	0	0	*	0	*	*	1	*	*	0	*	1	0	0	*	0	*	*
大玉村	*	*	0	0	*	*	1	*	0	0	*	1	*	*	0	0	*	*
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	*	*	*	0	*	*	1	*	*	0	*	1	*	*	*	0	*	*
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	97	2	*	42	*	140	1,451	52	*	520	*	1,972	232	9	*	208	*	441

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.4-6 要配慮者の人的被害

(福島盆地西縁断層帯の地震、冬18時)(単位：人)：風速8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者					
	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計	建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	合計
	うち屋内収容物等						うち屋内収容物等						うち屋内収容物等					
福島市	117	2	*	76	*	194	910	34	*	951	*	1,861	165	7	*	381	*	545
会津若松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
郡山市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
いわき市	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	*	*	0	0	*	0	0	*
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
喜多方市	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
相馬市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
二本松市	*	*	*	0	*	*	8	2	*	0	*	8	*	*	*	0	*	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
伊達市	13	*	*	9	*	23	184	7	*	159	*	343	20	1	*	64	*	84
本宮市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
桑折町	27	*	*	6	*	33	147	3	*	80	*	227	38	1	*	32	*	71
国見町	15	*	*	4	*	19	102	2	*	50	*	152	22	*	*	20	*	42
川俣町	0	0	*	0	*	*	*	*	*	0	*	*	0	0	*	0	*	*
大玉村	*	*	0	0	*	*	1	*	0	0	*	1	*	*	0	0	*	*
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	*	*	*	0	*	*	1	*	*	0	*	1	*	*	*	0	*	*
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	173	2	*	95	*	268	1,354	49	*	1,239	*	2,593	245	9	*	496	*	741

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.4-7 要配慮者の人的被害

(会津盆地東縁断層帯の地震、冬5時)(単位:人):風速 8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者					
	建物倒壊 うち屋内 収容物等		急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塀等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等		急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塀等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等		急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塀等	合計
福島市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
会津若松市	159	2	*	26	*	185	742	35	*	201	*	943	241	7	*	80	*	322
郡山市	3	*	*	0	*	3	31	8	*	0	*	31	5	1	*	0	*	5
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	*	*	*	0	*	*	2	2	*	0	*	2	*	*	*	0	*	*
須賀川市	*	*	*	0	*	*	4	1	*	0	*	4	*	*	*	0	*	*
喜多方市	32	*	*	1	*	33	210	9	*	10	*	220	47	2	*	4	*	51
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
鏡石町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
天栄村	2	*	*	0	0	2	14	*	*	0	0	14	3	*	*	0	0	3
下郷町	18	*	*	*	0	18	94	2	*	2	0	96	29	*	*	1	0	30
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	3	*	*	0	0	3	26	1	*	0	0	26	4	*	*	0	0	4
北塩原村	*	*	*	0	0	*	2	*	*	0	0	2	*	*	*	0	0	*
西会津町	*	*	0	0	0	*	2	*	0	0	0	2	*	*	0	0	0	*
磐梯町	19	*	0	1	0	21	81	1	0	14	0	96	30	*	0	6	0	36
猪苗代町	34	*	*	*	0	35	172	4	*	10	0	182	52	1	*	4	0	56
会津坂下町	8	*	*	0	*	8	51	3	*	0	*	51	11	1	*	0	0	11
湯川村	6	*	0	0	*	6	26	1	0	0	*	26	9	*	0	0	0	9
柳津町	*	*	*	0	0	*	2	*	*	0	0	2	*	*	*	0	0	*
三島町	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*
金山町	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*
昭和村	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*
会津美里町	22	*	*	0	0	22	140	4	*	0	0	140	30	1	*	0	0	30
西郷村	*	*	*	0	*	*	1	1	*	0	*	1	*	*	*	0	*	*
泉崎村	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
中島村	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*
矢吹町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*
棚倉町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*
玉川村	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楡葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	306	4	1	30	*	337	1,601	75	1	237	*	1,839	463	14	*	95	*	559

\* : わずか, 0 : 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.4-8 要配慮者の人的被害

(会津盆地東縁断層帯の地震、夏12時)(単位：人)：風速8m/s

市区町村名	死者					負傷者					重傷者				
	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計
福島市	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	29	2	*	30	*	59	1,194	28	*	346	*	1,541	271	5	*
郡山市	1	*	*	0	*	1	29	6	*	0	*	29	4	1	*
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	*	*	*	0	*	*	2	1	*	0	*	2	*	*	*
須賀川市	*	*	*	0	*	*	3	1	*	0	*	3	*	*	*
喜多方市	4	*	*	2	*	5	231	7	*	31	*	262	32	1	*
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	0	0	0	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
鏡石町	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
天栄村	1	*	*	0	*	1	17	*	*	0	*	17	3	*	*
下郷町	3	*	*	*	*	3	127	1	*	1	*	128	26	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	*	*	*	0	*	*	27	1	*	0	*	27	3	*	*
北塩原村	*	*	*	0	*	*	4	*	*	0	*	4	*	*	*
西会津町	*	*	0	0	*	*	3	*	0	0	*	3	*	0	*
磐梯町	4	*	0	1	*	5	117	1	0	23	*	140	28	*	9
猪苗代町	6	*	*	1	*	7	272	4	*	16	*	288	57	1	*
会津坂下町	1	*	*	*	*	1	52	2	*	4	*	56	7	*	2
湯川村	1	*	0	*	*	1	40	1	0	9	*	48	9	*	0
柳津町	*	*	*	0	*	*	1	*	*	0	*	1	*	*	*
三島町	*	*	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	*
金山町	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	0	0	*
昭和村	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	0	0	*
会津美里町	2	*	*	*	*	3	125	3	*	3	*	129	16	1	*
西郷村	*	*	*	0	*	*	2	1	*	0	*	2	*	*	*
泉崎村	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	0	0	0	*
中島村	*	*	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	0	0	*
矢吹町	*	*	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	0	0	*
棚倉町	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	0	0	0	*
玉川村	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	0	0	0	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	0	0	0	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯沼村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	52	3	*	34	*	86	2,246	60	*	434	*	2,680	455	11	*

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.4-9 要配慮者の人的被害

(会津盆地東縁断層帯の地震、冬18時)(単位：人)：風速8m/s

市区町村名	死者					負傷者					重傷者				
	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塙等	合計
福島市	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	0	0	0	0	*
会津若松市	119	1	*	83	*	202	781	27	*	914	*	1,696	217	5	*
郡山市	2	*	*	2	*	4	25	6	*	26	*	51	4	1	*
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	*	*	*	0	*	*	1	1	*	0	*	1	*	*	*
須賀川市	*	*	*	0	*	*	3	1	*	0	*	3	*	*	*
喜多方市	24	*	*	8	*	32	187	6	*	124	*	311	35	1	*
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
鏡石町	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
天栄村	1	*	*	0	*	1	13	*	*	0	*	13	2	*	*
下郷町	13	*	*	*	*	14	92	1	*	2	*	94	24	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	2	*	*	0	*	2	23	1	*	0	*	23	3	*	*
北塩原村	*	*	*	0	*	*	3	*	*	0	*	3	*	*	*
西会津町	*	*	0	0	*	*	2	*	0	0	*	2	*	*	*
磐梯町	14	*	0	3	*	17	82	1	0	43	*	125	25	*	0
猪苗代町	26	*	*	4	*	30	183	3	*	65	*	248	47	1	*
会津坂下町	6	*	*	3	*	9	44	2	*	45	*	89	8	*	18
湯川村	4	*	0	1	*	5	27	1	0	20	*	46	8	*	0
柳津町	*	*	*	0	*	*	1	*	*	0	*	1	*	*	*
三島町	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	0	*
金山町	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	0	*
昭和村	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0
会津美里町	17	*	*	3	*	20	115	3	*	52	*	167	21	1	*
西郷村	*	*	*	0	*	*	1	1	*	0	*	1	*	*	*
泉崎村	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	*
中島村	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	0	*
矢吹町	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	*
棚倉町	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	*
玉川村	0	0	0	0	*	*	*	0	0	*	*	0	0	0	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	*
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯沼村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	230	3	*	106	*	337	1,584	57	1	1,292	*	2,876	396	10	*

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2. 4-10 要配慮者の人的被害

(想定東北地方太平洋沖地震、冬5時)(単位:人): 風速 8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者								
	建物倒壊 うち 屋内収容 物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち 屋内収容 物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロッ ク塙等	合計	建物倒壊 うち 屋内収容 物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロッ ク塙等	合計			
福島市	1	1	*	0	0	*	1	59	15	*	0	0	*	59	1	1	*	0	0	*	1
会津若松市	2	*	*	0	0	*	2	21	7	*	0	0	*	21	2	1	*	0	0	*	2
郡山市	42	2	*	0	8	*	50	743	37	*	0	72	*	815	70	7	*	0	29	*	99
いわき市	23	2	1	96	0	*	119	443	39	1	24	0	*	468	34	7	*	12	0	*	47
白河市	3	*	*	0	0	*	3	63	6	*	0	0	*	63	4	1	*	0	0	*	4
須賀川市	24	1	*	0	1	*	25	240	11	*	0	14	*	254	36	2	*	0	6	*	42
喜多方市	*	*	0	0	0	*	*	1	1	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	*	*
相馬市	3	*	*	22	0	*	25	63	4	*	2	0	*	65	4	1	*	1	0	*	5
二本松市	3	*	*	0	0	*	3	83	6	*	0	0	*	83	4	1	*	0	0	*	4
田村市	5	*	*	0	0	*	5	173	5	*	0	0	*	174	8	1	*	0	0	*	8
南相馬市	1	*	*	17	0	*	18	43	5	*	2	0	*	45	1	1	*	1	0	*	2
伊達市	2	*	*	0	0	*	2	79	5	*	0	0	*	79	3	1	*	0	0	*	3
本宮市	3	*	*	0	0	*	3	45	3	*	0	0	*	45	4	1	*	0	0	*	4
桑折町	3	*	*	0	0	*	3	52	2	*	0	0	*	52	4	*	*	0	0	*	4
国見町	11	*	*	0	0	*	11	97	2	*	0	0	*	97	17	*	*	0	0	*	17
川俣町	*	*	*	0	0	*	*	7	1	*	0	0	*	7	*	*	*	0	0	*	*
大玉村	*	*	*	0	0	*	*	3	1	*	0	0	*	3	*	*	*	0	0	*	*
鏡石町	2	*	0	0	0	*	2	29	2	0	0	0	*	29	3	*	0	0	0	*	3
大茨村	2	*	*	0	0	0	2	20	1	*	0	0	0	20	2	*	*	0	0	0	2
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	*	*	0	0	0	0	*	1	*	0	0	0	0	1	*	*	0	0	0	0	*
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	*	*	0	0	0	0	*	7	1	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*
猪苗代町	*	*	*	0	0	0	*	7	1	*	0	0	0	7	1	*	*	0	0	0	1
会津坂下町	*	*	0	0	0	*	3	1	0	0	0	0	*	3	*	*	0	0	0	*	*
湯川村	*	*	0	0	0	*	1	*	0	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	*	*
柳津町	*	*	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	*	*	0	0	0	0	*	2	1	0	0	0	0	2	*	*	0	0	0	0	*
西郷村	2	*	*	0	0	*	2	37	3	*	0	0	*	37	4	1	*	0	0	*	4
泉崎村	*	*	0	0	0	*	*	1	1	*	0	0	*	1	*	*	*	0	0	*	*
中島村	*	*	0	0	0	*	*	6	1	*	0	0	*	6	*	*	*	0	0	*	*
矢吹町	1	*	*	0	0	*	1	29	2	*	0	0	*	29	2	*	*	0	0	*	2
棚倉町	*	*	*	0	0	*	13	1	*	0	0	0	13	1	*	*	0	0	0	*	1
矢祭町	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*
塙町	0	0	*	0	0	0	*	1	*	*	0	0	1	0	0	*	0	0	0	0	*
鮫川村	0	0	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	0	*
石川町	*	*	*	0	0	*	*	5	1	*	0	0	*	5	*	*	*	0	0	*	*
玉川村	*	*	0	0	0	*	*	6	*	*	0	0	*	6	*	*	*	0	0	*	*
平田村	*	*	*	0	0	0	*	15	1	*	0	0	0	15	*	*	*	0	0	0	*
浅川町	*	*	*	0	0	*	*	8	1	*	0	0	*	8	*	*	*	0	0	*	*
古殿町	*	*	*	0	0	0	*	6	1	*	0	0	0	6	*	*	*	0	0	0	*
三春町	*	*	*	0	0	*	*	14	2	*	0	0	*	14	1	*	*	0	0	*	1
小野町	*	*	*	0	0	*	19	1	*	0	0	0	19	1	*	*	0	0	0	*	1
広野町	*	*	*	*	0	0	*	2	*	*	*	0	0	2	*	*	*	*	0	0	*
楡葉町	0	0	*	*	0	0	*	5	*	*	*	0	0	5	*	*	*	*	0	0	1
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	*	*	*	0	0	0	*	7	*	*	0	0	0	7	*	*	*	0	0	0	*
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*
新地町	2	*	*	4	0	*	6	34	2	*	*	0	*	34	3	*	*	*	0	*	3
飯館村	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*
合計	136	7	2	139	9	*	286	2,486	173	3	28	86	*	2,603	213	30	1	14	35	*	264

\* : わずか, 0 : 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2. 4-11 要配慮者の人的被害  
(想定東北地方太平洋沖地震、夏12時)(単位：人)：風速8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者								
	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロック 塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロック 塙等	合計	建物倒壊 うち屋内 収容物等	急傾斜 地崩壊	津波	火災	ブロック 塙等	合計			
福島市	*	*	*	0	0	*	48	2	*	0	0	*	48	1	1	*	0	0	*	1	
会津若松市	*	*	*	0	0	*	21	1	*	0	0	*	21	1	1	*	0	0	*	1	
郡山市	18	1	*	0	15	*	33	546	5	*	0	203	*	749	57	6	*	0	81	*	138
いわき市	10	1	*	84	0	*	94	295	6	*	19	0	*	314	25	6	*	10	0	*	35
白河市	1	*	*	0	0	*	1	54	1	*	0	0	*	54	4	1	*	0	0	*	4
須賀川市	10	*	*	0	2	*	12	207	1	*	0	30	*	237	29	2	*	0	12	*	41
喜多方市	*	*	0	0	0	*	1	*	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	*	*	
相馬市	1	*	*	25	0	*	26	45	1	*	2	0	*	47	4	1	*	1	0	*	5
二本松市	1	*	*	0	0	*	1	62	1	*	0	0	*	62	4	1	*	0	0	*	4
田村市	2	*	*	0	*	*	3	139	1	*	0	5	*	145	10	1	*	0	2	*	12
南相馬市	*	*	*	15	0	*	16	37	1	*	1	0	*	39	2	1	*	1	0	*	3
伊達市	1	*	*	0	0	*	1	64	1	*	0	0	*	64	3	1	*	0	0	*	3
本宮市	1	*	*	0	0	*	1	42	*	*	0	0	*	42	4	*	*	0	0	*	4
桑折町	1	*	*	0	0	*	1	35	*	*	0	0	*	35	3	*	*	0	0	*	3
国見町	5	*	*	0	1	*	6	77	*	*	0	23	*	100	11	*	*	0	9	*	20
川俣町	*	*	*	0	0	*	7	*	*	0	0	*	7	*	*	*	0	0	*	*	
大玉村	*	*	*	0	0	*	3	*	*	0	0	*	3	*	*	*	0	0	*	*	
鎌石町	1	*	0	0	0	*	1	22	*	0	0	0	*	22	2	*	0	0	0	*	2
天栄村	1	*	*	0	0	*	1	20	*	*	0	0	*	20	2	*	*	0	0	*	2
下郷町	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	0	0	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	*	*	0	0	0	*	1	*	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	0	*	*
北塩原村	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	0	*	*
猪苗代町	*	*	*	0	0	*	7	*	*	0	0	*	7	*	*	*	0	0	0	*	*
会津坂下町	*	*	0	0	0	*	2	*	0	0	0	*	2	*	*	0	0	0	0	*	*
湯川村	*	*	0	0	0	*	1	*	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	0	*	*
柳津町	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	0	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	*	*	0	0	0	*	1	*	0	0	0	*	1	*	*	0	0	0	0	*	*
西郷村	1	*	*	0	*	*	1	33	*	*	0	2	*	35	4	1	*	0	1	*	5
泉崎村	*	*	*	0	0	*	1	*	*	0	0	*	1	*	*	*	0	0	0	*	*
中島村	*	*	*	0	0	*	5	*	*	0	0	*	5	*	*	*	0	0	0	*	*
矢吹町	*	*	*	0	0	*	20	*	*	0	0	*	20	2	*	*	0	0	0	*	2
棚倉町	*	*	*	0	0	*	13	*	*	0	0	*	13	1	*	*	0	0	0	*	1
矢祭町	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	*	0	0	0	*	*
塙町	0	0	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	*	0	0	0	*	*
鮫川村	0	0	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*	0	0	*	0	0	0	*	*
石川町	*	*	*	0	0	*	5	*	*	0	0	*	5	*	*	*	0	0	0	*	*
玉川村	*	*	*	0	0	*	5	*	*	0	0	*	5	*	*	*	0	0	0	*	*
平田村	*	*	*	0	0	*	12	*	*	0	0	*	12	1	*	*	0	0	0	*	1
浅川町	*	*	*	0	0	*	6	*	*	0	0	*	6	*	*	*	0	0	0	*	*
古殿町	*	*	*	0	0	*	6	*	*	0	0	*	6	*	*	*	0	0	0	*	*
三春町	*	*	*	0	0	*	14	*	*	0	0	*	14	1	*	*	0	0	0	*	1
小野町	*	*	*	0	0	*	18	*	*	0	0	*	18	1	*	*	0	0	0	*	1
広野町	*	*	3	0	0	*	3	2	*	*	0	*	2	*	*	*	*	0	0	*	*
楢葉町	*	*	*	*	0	0	1	4	*	*	*	0	4	*	*	*	*	0	0	*	*
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	*	*	*	0	0	0	5	*	*	0	0	0	5	*	*	*	0	0	0	0	*
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	0	*
新地町	1	*	*	9	0	*	10	28	*	*	0	*	28	3	*	*	*	0	0	*	3
飯館村	*	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	0	*
合計	58	5	1	137	19	*	214	1,917	25	1	23	263	*	2,204	178	24	1	12	105	*	296

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2. 4-12 要配慮者の人的被害

(想定東北地方太平洋沖地震、冬18時)(単位：人)：風速8m/s

市区町村名	死者						負傷者						重傷者							
	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	津波	火災	プロック塙等	合計	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	津波	火災	プロック塙等	合計	建物倒壊 うち屋内収容物等	急傾斜地崩壊	津波	火災	プロック塙等	合計		
福島市	*	*	*	0	0	*	45	12	*	0	0	*	45	1	1	*	0	0	*	1
会津若松市	1	*	*	0	0	*	1	18	5	*	0	0	18	2	1	*	0	0	*	2
郡山市	32	1	*	0	26	*	58	562	28	*	0	312	875	55	5	*	0	125	*	180
いわき市	17	1	1	95	6	*	118	320	29	1	23	93	437	25	6	*	12	37	*	75
白河市	2	*	*	0	2	*	4	49	5	*	0	32	81	4	1	*	0	13	*	16
須賀川市	18	*	*	0	5	*	23	187	8	*	0	84	271	27	2	*	0	34	*	61
喜多方市	*	*	0	0	0	*	*	1	1	0	0	0	1	*	*	0	0	0	*	*
相馬市	2	*	*	25	1	*	28	47	3	*	3	12	61	4	1	*	1	5	*	9
二本松市	2	*	*	0	0	*	2	61	4	*	0	0	61	3	1	*	0	0	*	4
田村市	4	*	*	0	1	*	5	132	4	*	0	20	152	8	1	*	0	8	*	16
南相馬市	1	*	*	17	1	*	18	38	4	*	2	10	49	1	1	*	1	4	*	6
伊達市	2	*	*	0	0	*	2	60	4	*	0	0	60	3	1	*	0	0	*	3
本宮市	2	*	*	0	*	*	3	39	2	*	0	13	52	4	*	*	0	5	*	9
桑折町	2	*	*	0	0	*	2	37	2	*	0	0	37	3	*	*	0	0	*	3
国見町	8	*	*	0	1	*	9	73	2	*	0	9	82	12	*	*	0	4	*	15
川俣町	*	*	*	0	0	*	*	6	1	*	0	0	6	*	*	*	0	0	*	*
大玉村	*	*	*	0	0	*	*	2	*	*	0	0	2	*	*	*	0	0	*	*
鏡石町	1	*	0	0	*	*	2	22	1	0	0	8	30	2	*	0	0	3	*	5
天栄村	1	*	*	0	0	*	1	17	1	*	0	0	17	2	*	*	0	0	*	2
下郷町	0	0	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	0	0	0	0	0	*	*
楡枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	*	*	0	0	0	*	*	1	*	0	0	0	1	*	*	0	0	0	*	*
北塩原村	0	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	0	*	0	0	0	0	0	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	*	*	0	0	0	*	*	*	0	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
猪苗代町	*	*	*	0	0	*	*	6	1	*	0	0	6	*	*	*	0	0	*	*
会津坂下町	*	*	0	0	0	*	2	1	0	0	0	0	2	*	*	0	0	0	*	*
湯川村	*	*	0	0	0	*	*	1	*	0	0	0	1	*	*	0	0	0	*	*
柳津町	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	0	0	0	0	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	*	*	0	0	0	*	1	*	0	0	0	0	1	*	*	0	0	0	*	*
西郷村	2	*	*	0	1	*	2	30	3	*	0	7	37	3	1	*	0	3	*	6
泉崎村	*	*	*	0	0	*	*	1	*	*	0	0	1	*	*	*	0	0	*	*
中島村	*	*	*	0	0	*	*	5	*	*	0	0	5	*	*	*	0	0	*	*
矢吹町	1	*	*	0	0	*	1	22	2	*	0	0	22	1	*	*	0	0	*	1
楢倉町	*	*	*	0	0	*	12	1	*	0	0	0	12	1	*	*	0	0	*	1
矢祭町	*	*	*	0	0	*	*	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	*	*
塙町	0	0	*	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	*	*
鮫川村	0	0	*	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	0	0	*	0	0	*	*
石川町	*	*	*	0	0	*	4	1	*	0	0	0	4	*	*	*	0	0	*	*
玉川村	*	*	*	0	0	*	5	*	*	0	0	0	5	*	*	*	0	0	*	*
平田村	*	*	*	0	0	*	11	*	*	0	0	0	11	*	*	*	0	0	*	*
浅川町	*	*	*	0	0	*	6	1	*	0	0	0	6	*	*	*	0	0	*	*
古殿町	*	*	*	0	0	*	5	*	*	0	0	0	5	*	*	*	0	0	*	*
三春町	*	*	*	0	0	*	12	1	*	0	0	0	12	1	*	*	0	0	*	1
小野町	*	*	*	0	0	*	16	1	*	0	0	0	16	1	*	*	0	0	*	1
広野町	*	*	2	0	0	*	2	2	*	*	0	0	2	*	*	*	*	0	*	*
楢葉町	*	*	*	*	0	*	1	4	*	*	0	0	4	*	*	*	*	0	*	*
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	*	*	*	0	0	*	5	*	*	0	0	0	5	*	*	*	0	0	*	*
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*
新地町	2	*	*	7	1	*	9	27	1	*	1	13	41	3	*	*	*	5	*	8
飯館村	*	*	*	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*	*	*	*	0	0	0	*
合計	104	6	1	146	44	*	296	1,895	131	2	29	612	2,538	167	23	1	15	245	*	428

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

2.5 要救助者数（自力脱出困難者数）

地震別、季節・時間帯別の揺れによる建物被害に伴う要救助者数（自力脱出困難者数）の想定結果は、表Ⅲ-2.5-1 に示す通りである。市町村ごとには揺れの被害に伴う要救助者を表Ⅲ-2.5-2～表Ⅲ-2.5-4 に示し、津波被害に伴う要救助者を表Ⅲ-2.5-5 に示す。

表Ⅲ-2.5-1 要因別、季節・時間帯別の要救助者数

要因	季節・時間	福島盆地西縁断層帯の地震	会津盆地東縁断層帯の地震	想定東北地方太平洋沖地震
揺れ	冬 5 時	3,060	4,194	2,290
	夏 12 時	3,080	3,086	2,579
	冬 18 時	3,068	5,081	2,488
津波	冬 5 時	—	—	8,966
	夏 12 時	—	—	8,569
	冬 18 時	—	—	8,272

※表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.5-2 揺れによる建物被害に伴う要救助者数（自力脱出困難者数）  
（冬５時）（単位：人）

市区町村名	福島盆地西 縁断層帯の 地震	会津盆地東 縁断層帯の 地震	想定東北地 方太平洋沖 地震
福島市	2,232	0	8
会津若松市	0	3,022	32
郡山市	0	38	873
いわき市	0	0	432
白河市	0	0	47
須賀川市	0	0	385
喜多方市	*	232	0
相馬市	0	0	50
二本松市	1	0	37
田村市	0	0	30
南相馬市	0	0	9
伊達市	192	0	18
本宮市	0	0	22
桑折町	424	0	34
国見町	211	0	118
川俣町	0	0	1
大玉村	*	0	0
鏡石町	0	0	41
天栄村	0	13	13
下郷町	0	113	0
檜枝岐村	0	0	0
只見町	0	0	0
南会津町	0	13	0
北塩原村	*	4	0
西会津町	0	1	0
磐梯町	0	127	*
猪苗代町	0	282	3
会津坂下町	0	101	2
湯川村	0	108	1
柳津町	0	0	*
三島町	0	*	0
金山町	0	*	0
昭和村	0	*	0
会津美里町	0	141	1
西郷村	0	1	60
泉崎村	0	0	0
中島村	0	*	2
矢吹町	0	0	18
棚倉町	0	0	3
矢祭町	0	0	*
塙町	0	0	0
鮫川村	0	0	0
石川町	0	0	0
玉川村	0	0	1
平田村	0	0	2
浅川町	0	0	2
古殿町	0	0	1
三春町	0	0	4
小野町	0	0	3
広野町	0	0	3
檜葉町	0	0	2
富岡町	0	0	0
川内村	0	0	1
大熊町	0	0	0
双葉町	0	0	0
浪江町	0	0	0
葛尾村	0	0	*
新地町	0	0	28
飯舘村	0	0	*
合計	3,060	4,194	2,290

※ 表中の数字は小数第１位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.5-3 揺れによる建物被害に伴う要救助者数（自力脱出困難者数）  
（夏 12 時）（単位：人）

市区町村名	福島盆地西 縁断層帯の 地震	会津盆地東 縁断層帯の 地震	想定東北地 方太平洋沖 地震
福島市	2,180	0	10
会津若松市	0	2,419	9
郡山市	0	40	971
いわき市	0	0	550
白河市	0	0	50
須賀川市	0	0	389
喜多方市	*	89	*
相馬市	0	0	58
二本松市	1	0	35
田村市	0	0	27
南相馬市	0	0	11
伊達市	191	0	18
本宮市	0	0	63
桑折町	497	0	39
国見町	211	0	118
川俣町	0	0	1
大玉村	*	0	0
鏡石町	0	0	51
天栄村	0	11	14
下郷町	0	67	0
檜枝岐村	0	0	0
只見町	0	0	0
南会津町	0	5	*
北塩原村	*	2	0
西会津町	0	0	0
磐梯町	0	111	*
猪苗代町	*	188	1
会津坂下町	0	49	0
湯川村	0	59	*
柳津町	0	*	*
三島町	0	*	0
金山町	0	*	0
昭和村	0	*	0
会津美里町	0	45	0
西郷村	0	0	80
泉崎村	0	0	0
中島村	0	*	3
矢吹町	0	*	20
棚倉町	0	0	6
矢祭町	0	0	*
塙町	0	0	0
鮫川村	0	0	0
石川町	0	0	0
玉川村	0	0	2
平田村	0	0	2
浅川町	0	0	2
古殿町	0	0	1
三春町	0	0	3
小野町	0	0	4
広野町	0	0	4
楢葉町	0	0	2
富岡町	0	0	1
川内村	0	0	2
大熊町	0	0	0
双葉町	0	0	0
浪江町	0	0	1
葛尾村	0	0	*
新地町	0	0	29
飯館村	0	0	0
合計	3,080	3,086	2,579

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.5-4 揺れによる建物被害に伴う要救助者数（自力脱出困難者数）  
（冬 18 時）（単位：人）

市区町村名	福島盆地西 縁断層帯の 地震	会津盆地東 縁断層帯の 地震	想定東北地 方太平洋沖 地震
福島市	2,191	0	9
会津若松市	0	3,803	32
郡山市	0	39	925
いわき市	0	0	503
白河市	0	0	49
須賀川市	0	0	392
喜多方市	*	231	0
相馬市	0	0	55
二本松市	1	0	37
田村市	0	0	30
南相馬市	0	0	11
伊達市	194	0	19
本宮市	0	0	46
桑折町	469	0	37
国見町	212	0	119
川俣町	0	0	1
大玉村	*	0	0
鏡石町	0	0	47
天栄村	0	12	14
下郷町	0	123	0
檜枝岐村	0	0	0
只見町	0	0	0
南会津町	0	14	0
北塩原村	*	4	0
西会津町	0	1	0
磐梯町	0	168	0
猪苗代町	0	328	3
会津坂下町	0	113	2
湯川村	0	109	0
柳津町	0	0	*
三島町	0	*	0
金山町	0	*	0
昭和村	0	*	0
会津美里町	0	134	1
西郷村	0	1	73
泉崎村	0	0	0
中島村	0	*	3
矢吹町	0	*	20
棚倉町	0	0	5
矢祭町	0	0	*
塙町	0	0	0
鮫川村	0	0	0
石川町	0	0	0
玉川村	0	0	2
平田村	0	0	2
浅川町	0	0	2
古殿町	0	0	1
三春町	0	0	4
小野町	0	0	4
広野町	0	0	4
楢葉町	0	0	2
富岡町	0	0	1
川内村	0	0	1
大熊町	0	0	0
双葉町	0	0	0
浪江町	0	0	1
葛尾村	0	0	*
新地町	0	0	29
飯館村	0	0	0
合計	3,068	5,081	2,488

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.5-5 津波被害に伴う要救助者数（自力脱出困難者数）（単位：人）

想定東北地方太平洋沖地震

市区町村名	冬5時	夏12時	冬18時
福島市	0	0	0
会津若松市	0	0	0
郡山市	0	0	0
いわき市	8,031	7,788	7,476
白河市	0	0	0
須賀川市	0	0	0
喜多方市	0	0	0
相馬市	755	644	650
二本松市	0	0	0
田村市	0	0	0
南相馬市	149	79	101
伊達市	0	0	0
本宮市	0	0	0
桑折町	0	0	0
国見町	0	0	0
川俣町	0	0	0
大玉村	0	0	0
鏡石町	0	0	0
天栄村	0	0	0
下郷町	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0
只見町	0	0	0
南会津町	0	0	0
北塩原村	0	0	0
西会津町	0	0	0
磐梯町	0	0	0
猪苗代町	0	0	0
会津坂下町	0	0	0
湯川村	0	0	0
柳津町	0	0	0
三島町	0	0	0
金山町	0	0	0
昭和村	0	0	0
会津美里町	0	0	0
西郷村	0	0	0
泉崎村	0	0	0
中島村	0	0	0
矢吹町	0	0	0
棚倉町	0	0	0
矢祭町	0	0	0
塙町	0	0	0
鮫川村	0	0	0
石川町	0	0	0
玉川村	0	0	0
平田村	0	0	0
浅川町	0	0	0
古殿町	0	0	0
三春町	0	0	0
小野町	0	0	0
広野町	11	25	18
檜葉町	2	0	1
富岡町	0	0	0
川内村	0	0	0
大熊町	0	0	0
双葉町	0	0	0
浪江町	0	0	0
葛尾村	0	0	0
新地町	19	32	26
飯舘村	0	0	0
合計	8,966	8,569	8,272

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

## 2.6 災害関連死について

平成 23 年に発生した東日本大震災では、震災後に災害関連死が多数発生しており、11 年経った今でも災害関連死と認定されている例が出ている。災害関連死は避難生活の疲労や環境の悪化などによって、病気にかかったり、持病が悪化したりするなどして死亡することとされているが、他にも幅広い事例が災害関連死として認められており、定量的評価は難しい。本調査では、災害関連死の実態を取りまとめるとともに、想定地震に対しては被害の様相としてまとめることとする。

### (1) 災害関連死について

総務省消防庁(1970)<sup>Ⅲ-31)</sup>は、災害報告取扱要領の中で、「災害関連死者とは、当該災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡し、災害弔慰金の支給等に関する法律(昭和 48 年法律第 82 号)に基づき災害が原因で死亡したものと認められたもの」としている。

震災時では、1995 年阪神・淡路大震災において当時の厚生労働省(2011)<sup>Ⅲ-32)</sup>が「震災と相当な因果関係があると災害弔慰金判定委員会等において認定された死者」との認識を示したことにより、初めて公的に認められた。兵庫県(2005)<sup>Ⅲ-33)</sup>は、震災 10 周年を契機に死者について検証作業を行い、併せて、死因や死亡時年齢等の各種統計データを取りまとめた。この中で、直接死と関連死を分けて集計を行った。2004 年の新潟県中越地震では、災害発生時にエコノミークラス症候群などについて、日本集団災害医学会(2008)<sup>Ⅲ-34)</sup>から報告があった。東日本大震災後では、復興庁、内閣府、消防庁はそれぞれ災害関連死を定義し、復興庁においては震災関連死をまとめ、ホームページに公表している。

災害関連死については、平成 7 年阪神・淡路大震災、平成 23 年東日本大震災、平成 28 年熊本地震など、大規模な災害が発生した際、報道等において取り上げられたが、政府における明確な定義はなかった。内閣府(2021)<sup>Ⅲ-35)</sup>は、災害関連死を減らすために、まずはその数を把握することが重要であるという認識の下で、平成 31 年 4 月に災害関連死の定義を定め、関係省庁と共有するとともに自治体への周知を行った。

#### 【災害関連死の定義】(内閣府、平成 31 年 4 月)

当該災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡し、災害弔慰金の支給等に関する法律(昭和 48 年法律第 82 号)に基づき災害が原因で死亡したものと認められたもの(実際には災害弔慰金が支給されていないものも含めるが、当該災害が原因で所在が不明なものは除く。)

なお、定義では、「当該災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡」とあるところ、避難生活等における身体的負担によるものであれば、精神疾患による自殺も含まれることとしている。

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

内閣府(2019)では、東日本大震災及び熊本地震の震災関連死の現況をもとに、原因として以下の項目あげている。

##### ○ 震災関連死の原因

- ① 地震のショック、余震への恐怖による肉体的・精神的負担
- ② 避難生活の肉体的・精神的負担
- ③ 電気、ガス、水道等の途絶による肉体的・精神的負担
- ④ 医療機関の機能停止（転院を含む）による初期治療の遅れ（既往症の悪化及び疾病の発症を含む）
- ⑤ 社会福祉施設等の介護機能の低下
- ⑥ 多量の塵灰の吸引
- ⑦ 交通事情等による治療の遅れ
- ⑧ 救助・救護活動の激務
- ⑨ その他（倒壊した家屋による外傷など）

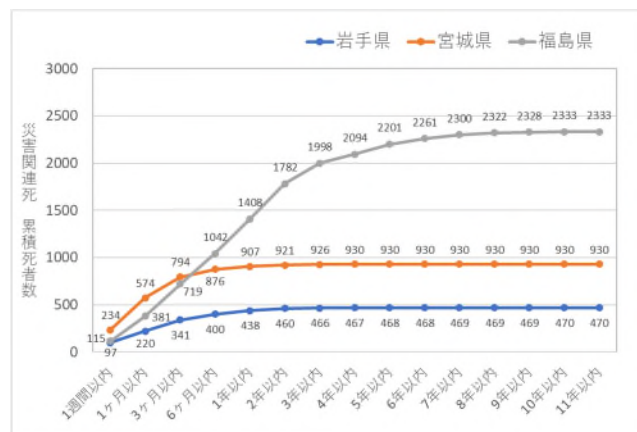
① と②が原因の半数以上を占め、次いで③と④が多くなっている。

#### （２）東日本大震災における災害関連死

災害関連死は、1995 年阪神・淡路大震災において当時の厚生省が「震災と相当な因果関係があると災害弔慰金判定委員会等において認定された死者」との認識を示したことにより、初めて公的に認められた。

復興庁・内閣府・消防庁(2022)Ⅲ-36)のまとめによると、東日本大震災における関連死者数は岩手県

から長野県に至る 10 都県で令和 4 年 3 月 31 日現在で 3,789 人となっており、岩手県、宮城県、福島県の 3 県で 3,733 人と全体の 98.5%を占めている。特に、福島県では直接死と死亡届等の合計が 1,831 人に対して関連死者数は 502 人多い 2,333 人となっている。東北 3 県の関連死者数の時系列を見たものを図Ⅲ-2.6-1 に示す。福島県では発災後 1 ヶ月経ってから急激に増加している。しかも、岩手県や宮城県では発災 1 年後に増加が止まっているが、福島県ではその後も漸増傾向が続いている。表Ⅲ-2.6-1 に福島県内市町村の震災関連死者数と人口比を示し、図Ⅲ-2.6-2 に福島県内市町村の震災関連死者数分布と人口比分布を示す。福島県内で最も多いのは南相馬市 520 人、ついで富



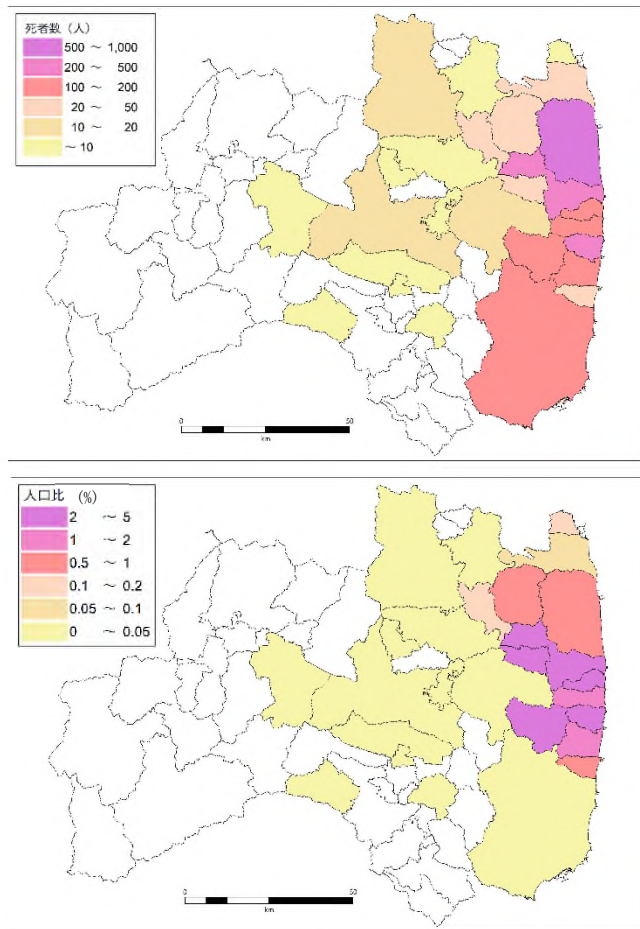
図Ⅲ-2.6-1 東日本大震災における災害関連死者数(累積) 復興庁ほか(2022)資料より作成

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.6-1 東日本大震災における  
福島県内市町村の関連死者数  
復興庁ほか(2022)資料より作成

市町村	H22国勢調査 人口	震災関連死 の死者数	人口比 %
福島市	292,590	11	0.004
会津若松市	126,220	3	0.002
郡山市	338,712	10	0.003
いわき市	342,249	138	0.040
須賀川市	79,267	2	0.003
相馬市	37,817	29	0.077
二本松市	59,871	2	0.003
田村市	40,422	14	0.035
南相馬市	70,878	520	0.734
伊達市	66,027	1	0.002
川俣町	15,569	29	0.186
大玉村	8,574	1	0.012
鏡石町	12,815	2	0.016
西郷村	19,767	2	0.010
石川町	17,775	1	0.006
三春町	18,191	1	0.005
広野町	5,418	46	0.849
楢葉町	7,700	141	1.831
富岡町	16,001	454	2.837
川内村	2,820	102	3.617
大熊町	11,515	131	1.138
双葉町	6,932	158	2.279
浪江町	20,905	442	2.114
葛尾村	1,531	42	2.743
新地町	8,224	9	0.109
飯館村	6,209	42	0.676
合計	1,633,999	2,333	0.143



図Ⅲ-2.6-2 東日本大震災における福島県内市町村の震  
災関連死者数分布（上図）及び人口比分布（下図）  
復興庁ほか(2022)資料より作成

岡町 454 人、浪江町 442 人となっており、これを人口比で表すと川内村で 3.6%、ついで富岡町 2.8%、葛尾村 2.7%と高くなっている。人口比で見ると福島第一原発に近い町村で震災関連死者の人口比が高くなっており、原発事故に伴う避難等による影響が大きいことが考えられる。

復興庁(2012)<sup>Ⅲ-37)</sup>によると、表Ⅲ-2.6-2に示すように、死亡時の年齢区分別の関連死者数は、60 歳以上が 95%と多く、高齢者の関連死がほとんどを示している。

表Ⅲ-2.6-2 東日本大震災における死亡時年齢区分別の関連死者数  
復興庁(2012)<sup>Ⅲ-37)</sup>

	0～9歳	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	100～	不明	合計
岩手県及び宮城県	1			3	8	20	53	102	239	96	7		529
福島県			2	2	7	13	59	136	310	188	16	1	734
合計	1		2	5	15	33	112	238	549	284	23	1	1,263

1,206人(約95%)

### Ⅲ 被害想定について

#### 2. 人的被害想定

また、復興庁(2012)が市町村からの提供資料をもとに原因区分別の関連死者を整理しており、これを表Ⅲ-2.6-3に示す。これより、関連死の原因は、避難所等における生活の肉体・精神的疲労が最も多く、次いで避難所等への移動中の肉体・精神的疲労と避難所の関連が多く、この2項目を合わせると福島県では6割強を占めている。

表Ⅲ-2.6-3 東日本大震災における原因区分別（複数回答）の関連死者数  
復興庁(2012)Ⅲ-37

(件数)

	1-1 病院の 機能停 止による 初期治 療の遅 れ	1-2 病院の 機能停 止(転院 を含む) による 既往症 の増悪	1-3 交通事 情等による 初期治 療の遅 れ	2 避難所 等への 移動中 の肉体・ 精神的 疲労	3 避難所 等にお ける生 活の肉 体・精 神的 疲労	4-1 地震・津 波のス トレス による 肉体・ 精神的 負担	4-2 原発事 故のス トレス による 肉体・ 精神的 負担	5-1 救助・救 護活動 等の激 務	5-2 多量の 塵灰の 吸引	6-1 その他	6-2 不明	合計
岩手県及び宮城県	39	97	13	21	205	112	1	1		110	65	664
福島県	51	186	4	380	433	38	33			105	56	1,286
合計	90	283	17	401	638	150	34	1		215	121	1,950

(備考)1. 市町村からの提供資料(死亡診断書、災害弔慰金支給審査委員会で活用された経緯書等)を基に、復興庁において情報を整理し、原因と考えられるものを複数選択。

さらに、復興庁(2012)では死亡時の生活環境についても整理している。整理結果を表Ⅲ-2.6-4に示す。病院で死亡することが多く、次いで自宅や介護施設等が多くなっている。その他では避難所や親戚や知人の家で亡くなられた方が多い。

表Ⅲ-2.6-4 東日本大震災における死亡時の生活環境等区分別の関連死者数  
復興庁(2012)Ⅲ-37

(人)

	1 震災発 生時に いた場 所及び その周 辺	2 避難所 等への 移動中	3-1 避難所 滞在中	3-2 仮設住 宅滞 在中	3-3 民間賃 貸住宅・ 公営住 宅等滞 在中	3-4 親戚や 知人の 家に滞 在中	3-5 自宅等震災前と同じ居場所 滞在中			4 その他(併せて具体的な滞在 場所を記入すること)			合計
							自宅等	病院	介護施設等	病院	介護施設等	その他・不明	
岩手県及び宮城県	15	3	66	4	5	40	125	57	45	81	32	56	529
福島県	2	9	28	3	18	27	47	30	9	150	81	330	734
合計	17	12	94	7	23	67	172	87	54	231	113	386	1,263

(備考)1. 原則、病院に搬送される直前に生活していた場所を記入。  
2. ただし、亡くなった際の入院期間が1か月以上の場合は、「4. 病院」を記入。

復興庁(2012)は、東日本大震災における震災関連死に関する報告の中で、以下の課題をあげている。

- ① 災害時要援護者対策
- ② 安全で確実な避難
- ③ 広域避難

- ④ 避難所等における生活
- ⑤ 救命・医療活動
- ⑥ 被災者の心のケアを含めた健康の確保
- ⑦ 緊急物資の提供
- ⑧ 被災地への物資の円滑な供給、ライフライン等の迅速な復旧
- ⑨ 原子力発電所の事故に係る住民避難の在り方等

### （３）想定地震における災害関連死の評価

３つの想定地震における災害関連死について、定性的評価を行う。

#### １）福島盆地西縁断層帯の地震

福島盆地で建物の被害が多く、広範囲の火災の延焼があったことで、避難者が多く出ている。延焼範囲にある避難所は利用できなくなり、利用できる避難所や公共施設に大量の避難者が身を寄せ、グラウンドや駐車場は避難者の車でいっぱいになる。特に、冬は、車に避難している人が寒さやトイレを控えるなどして車内にいることが多くなり、エコノミークラス症候群で亡くなる方が出てくる。また、避難所ではインフルエンザやノロウイルスなどの感染症にかかったり、持病が悪化して亡くなる方も出てくる。夏の場合は、気温の上昇や身体的なストレスにより体調を崩したり、熱中症などの症状がひどくなって亡くなる方が出てくる。さらに、ようやく入居できた仮設住宅では、生活環境の変化や発災から今までの生活の肉体的・精神的疲労によって亡くなる方も出てくる。

#### ２）会津盆地東縁断層帯の地震

会津盆地で建物の被害が多く、広範囲の火災の延焼があったことで、避難者が多く出ている。延焼範囲にある避難所は利用できなくなり、利用できる避難所や公共施設に大量の避難者が身を寄せ、グラウンドや駐車場は避難者の車でいっぱいになる。特に、会津地方の冬は、雪が深く、気温が低いことから道路は凍結し、土砂災害や雪崩により道路が通れなくなるところがあるために、発災後数日間は孤立する可能性がある。負傷された方や持病を持った方は、外部からの支援が受けられなくなって亡くなる方も出てくる。車に避難している人が寒さやトイレを控えるなどして車内にいることが多くなり、エコノミークラス症候群で亡くなる方が出てくる。また、避難所ではインフルエンザやノロウイルスなどの感染症にかかったり、持病が悪化して亡くなる方も出てくる。夏の場合は身体的なストレスによる体調の悪化や熱中症の症状などがひどくなって亡くなる方が出てくる。さらに、ようやく入居できた仮設住宅では、生活環境の変化や発災から今までの生活の肉体的・精神的疲労によって亡くなる方も



出てくる。

### 3) 想定東北地方太平洋沖地震

沿岸では、発災後 30 分から 60 分で浸水深が 30cm を超える津波が到達する。いわき市、相馬市、南相馬市、新地町では浸水が広範囲となり、避難者が多く出る。避難者の中には、逃げる途中に津波に遭遇し衣服が濡れた状態の方も多くいる。冬の浜通りは温暖とは言え、夜は冷え込むことから、寒さで亡くなる方が出てくる。揺れによる住家被害のほか火災の延焼、津波の浸水による倒壊や浸水被害により、避難は長期化する。中通りでは、郡山市や須賀川市等で揺れによる住家被害や火災の延焼が発生する。津波浸水または延焼範囲にある避難所は利用できなくなり、利用できる避難所や公共施設に大量の避難者が身を寄せ、グラウンドや駐車場は避難者の車でいっぱいになる。冬の場合は、車に避難している人が寒さやトイレを控えるなどして車内にいることが多くなり、エコノミークラス症候群で亡くなる方が出てくる。また、避難所ではインフルエンザやノロウィルスなどの感染症にかかったり、持病が悪化して亡くなる方も出てくる。夏の場合は身体的なストレスによる体調の悪化や熱中症の症状などがひどくなって亡くなる方が出てくる。さらに、ようやく入居できた仮設住宅では、生活環境の変化や発災から今までの生活の肉体的・精神的疲労によって亡くなる方も出てくる。

## 2.7 市町村直下の地震の揺れによる人的被害想定結果

1.5 において、市町村直下の地震の揺れによる建物被害想定について述べた。ここでは、この結果を用いて、建物倒壊による人的被害（死者、負傷者、重傷者）を求めた。

表Ⅲ-2.7-1 に冬の結果を、表Ⅲ-2.7-2 に夏の結果を示す。福島盆地西縁断層の地震、会津盆地東縁断層帯の地震、想定東北地方太平洋沖地震では、人的被害があまり発生していない市町村において、市町村直下の地震が発生した場合には、被害が発生する可能性があることから、地震防災対策を推進していく必要がある。



Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.7-1 市町村直下の地震の揺れの建物被害による人的被害想定結果（冬）

市町村名	5時			12時			18時		
	死者	負傷者	重傷者	死者	負傷者	重傷者	死者	負傷者	重傷者
福島市	1,110	9,087	1,794	463	7,251	1,170	821	6,852	1,266
会津若松市	335	2,041	500	141	3,036	510	251	2,019	416
郡山市	1,200	9,947	1,997	514	8,614	1,403	910	7,884	1,467
いわき市	1,520	10,063	2,297	661	8,918	1,652	1,173	8,139	1,720
白河市	194	1,793	292	81	1,549	227	144	1,402	220
須賀川市	233	2,189	350	97	1,890	274	173	1,705	263
喜多方市	418	2,207	612	176	3,007	551	312	2,088	485
相馬市	270	1,596	388	117	1,462	275	207	1,294	288
二本松市	254	2,462	373	106	1,922	260	188	1,849	269
田村市	228	2,557	366	95	2,115	285	169	1,957	274
南相馬市	239	2,141	351	112	1,764	261	199	1,735	280
伊達市	397	3,255	563	166	2,668	390	294	2,479	405
本宮市	104	1,031	158	47	918	135	83	838	128
桑折町	146	798	215	61	727	141	108	632	152
国見町	104	642	154	44	575	105	77	504	110
川俣町	122	1,002	181	51	835	131	90	769	132
大玉村	45	413	64	19	344	50	35	324	49
鏡石町	63	434	96	27	417	73	47	356	72
天栄村	24	226	37	10	231	34	18	187	29
下郷町	27	197	44	12	231	32	21	176	33
檜枝岐村	2	12	2	1	13	2	1	10	2
只見町	11	90	17	5	114	15	9	84	14
南会津町	99	534	149	41	820	161	74	535	127
北塩原村	2	20	4	1	33	4	2	21	3
西会津町	76	423	109	32	655	119	57	426	93
磐梯町	26	149	38	11	167	27	19	130	28
猪苗代町	124	665	189	54	1,066	213	95	692	166
会津坂下町	161	699	245	67	1,040	250	120	689	203
湯川村	27	123	44	12	197	47	20	126	37
柳津町	26	158	37	11	182	27	20	140	28
三島町	12	73	15	5	61	8	9	57	10
金山町	15	91	21	6	96	15	11	77	16
昭和村	10	65	14	4	78	10	8	59	11
会津美里町	197	1,012	269	82	1,140	193	146	874	196
西郷村	34	408	55	15	370	51	26	332	45
泉崎村	26	203	39	11	177	28	20	164	29
中島村	41	242	59	17	227	41	31	195	43
矢吹町	123	736	179	54	681	125	95	602	133
棚倉町	64	564	92	29	484	71	51	455	72
矢祭町	23	259	31	9	186	23	17	189	23
塙町	53	419	70	23	282	40	42	313	50
鮫川村	19	172	25	8	118	16	14	124	18
石川町	138	1,163	197	58	916	141	103	878	144
玉川村	43	346	66	19	299	47	33	274	49
平田村	53	506	81	22	397	56	39	383	59
浅川町	60	410	84	25	319	52	45	308	59
古殿町	36	387	50	15	294	39	27	289	38
三春町	101	991	155	43	882	124	76	788	119
小野町	57	616	85	25	521	72	44	489	68
広野町	20	164	30	9	142	21	15	131	22
檜葉町	8	89	13	4	82	11	7	82	12
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	12	127	17	5	93	12	9	94	13
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	1	6	1	0	5	1	0	5	1
新地町	38	334	57	17	317	50	31	285	47
飯館村	0	4	0	0	3	0	0	3	0

- 1) 2.2(2)の建物倒壊による人的被害の手法を用いている。
  - 2) 木造及び非木造建物の倒壊による人的被害を合わせた数である。
  - 3) 市町村の被害数は、市町村直下の地震に該当する市町村のみの被害数を集計したもの。
- ※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
2. 人的被害想定

表Ⅲ-2.7-2 市町村直下の地震の揺れの建物被害による人的被害想定結果（夏）

市町村名	5時			12時			18時		
	死者	負傷者	重傷者	死者	負傷者	重傷者	死者	負傷者	重傷者
福島市	1,110	9,087	1,794	463	7,251	1,170	821	6,852	1,266
会津若松市	99	956	175	42	2,845	453	74	1,417	236
郡山市	1,200	9,947	1,997	514	8,614	1,403	910	7,884	1,467
いわき市	1,520	10,063	2,297	661	8,918	1,652	1,173	8,139	1,720
白河市	194	1,793	292	81	1,549	227	144	1,402	220
須賀川市	233	2,189	350	97	1,890	274	173	1,705	263
喜多方市	134	1,077	223	56	2,809	483	100	1,464	270
相馬市	270	1,596	388	117	1,462	275	207	1,294	288
二本松市	254	2,462	373	106	1,922	260	188	1,849	269
田村市	228	2,557	366	95	2,115	285	169	1,957	274
南相馬市	239	2,141	351	112	1,764	261	199	1,735	280
伊達市	397	3,255	563	166	2,668	390	294	2,479	405
本宮市	104	1,031	158	47	918	135	83	838	128
桑折町	146	798	215	61	727	141	108	632	152
国見町	104	642	154	44	575	105	77	504	110
川俣町	122	1,002	181	51	835	131	90	769	132
大玉村	45	413	64	19	344	50	35	324	49
鏡石町	63	434	96	27	417	73	47	356	72
天栄村	24	226	37	10	231	34	18	187	29
下郷町	7	80	12	3	210	27	5	110	15
檜枝岐村	0	4	1	0	11	1	0	6	1
只見町	3	35	5	1	104	13	2	52	7
南会津町	36	277	62	15	775	146	27	394	79
北塩原村	1	8	1	0	31	4	0	15	2
西会津町	24	207	40	10	617	107	18	307	55
磐梯町	7	66	12	3	153	23	5	84	14
猪苗代町	44	347	77	19	1,008	193	33	510	103
会津坂下町	69	418	116	29	991	227	52	534	133
湯川村	12	75	21	5	188	43	9	100	25
柳津町	7	66	11	3	165	22	5	88	13
三島町	3	27	4	1	53	6	2	31	4
金山町	4	38	6	2	87	12	3	48	7
昭和村	2	26	4	1	71	9	2	37	5
会津美里町	57	456	87	24	1,043	162	42	570	96
西郷村	34	408	55	15	370	51	26	332	45
泉崎村	26	203	39	11	177	28	20	164	29
中島村	41	242	59	17	227	41	31	195	43
矢吹町	123	736	179	54	681	125	95	602	133
棚倉町	64	564	92	29	484	71	51	455	72
矢祭町	23	259	31	9	186	23	17	189	23
塙町	53	419	70	23	282	40	42	313	50
鮫川村	19	172	25	8	118	16	14	124	18
石川町	138	1,163	197	58	916	141	103	878	144
玉川村	43	346	66	19	299	47	33	274	49
平田村	53	506	81	22	397	56	39	383	59
浅川町	60	410	84	25	319	52	45	308	59
古殿町	36	387	50	15	294	39	27	289	38
三春町	101	991	155	43	882	124	76	788	119
小野町	57	616	85	25	521	72	44	489	68
広野町	20	164	30	9	142	21	15	131	22
檜葉町	8	89	13	4	82	11	7	82	12
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	12	127	17	5	93	12	9	94	13
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	1	6	1	0	5	1	0	5	1
新地町	38	334	57	17	317	50	31	285	47
飯館村	0	4	0	0	3	0	0	3	0

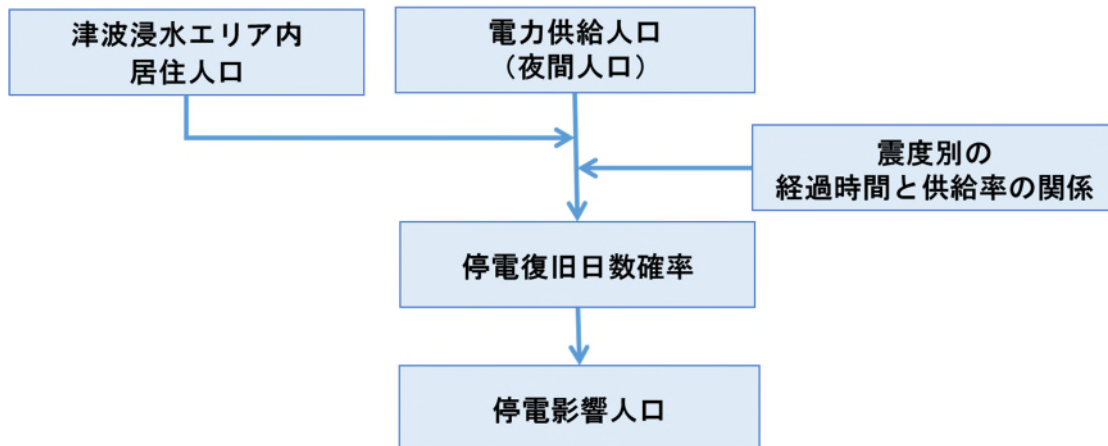
- 1) 2.2(2)の建物倒壊による人的被害の手法を用いている。
  - 2) 木造及び非木造建物の倒壊による人的被害を合わせた数である。
  - 3) 市町村の被害数は、市町村直下の地震に該当する市町村のみの被害数を集計したもの。
- ※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### 3. ライフライン被害について

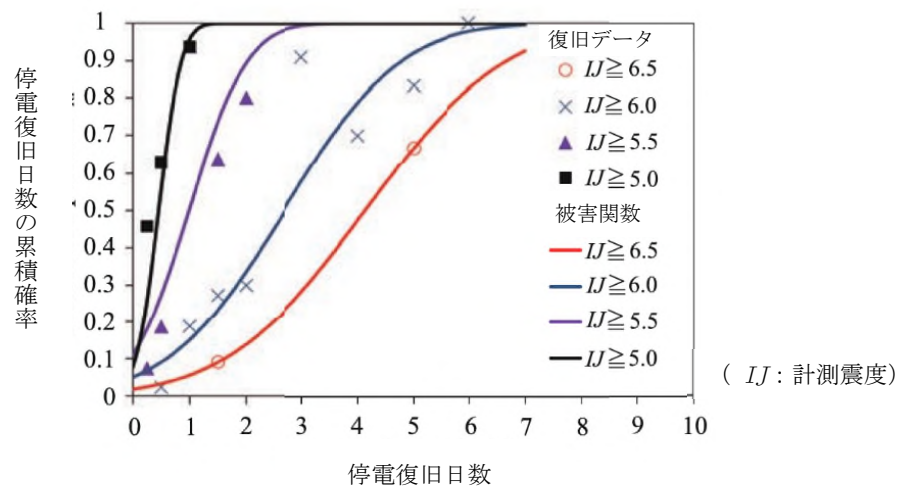
#### 3.1 電力

##### 3.1.1 電力の被害想定手法

Shoji et al (2011)<sup>Ⅲ-38)</sup>による震度階級別復旧日数確率から停電復旧日数を求め、これより停電人口を算出する。津波の浸水エリアについては、全壊建物は1ヶ月停電しているものとした。



図Ⅲ-3.1-1 電力被害の算定フロー



図Ⅲ-3.1-2 電力の計測震度に対する停電復旧時間の曲線 (Shoji ほか(2011)<sup>Ⅲ-38)</sup>)

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

3.1.2 被害想定結果

表Ⅲ-3.1-1～表Ⅲ-3.1-3 に、地震別の電力の被害想定結果を示し、図Ⅲ-3.1-3～図Ⅲ-3.1-5 に停電率の分布を示す。

表Ⅲ-3.1-1 停電人口（福島盆地西縁断層帯の地震）（単位：人）

市区町村名	被災直後		被災 1 日後		被災 1 週間後		被災 1 か月後	
	停電人口	停電率	停電人口	停電率	停電人口	停電率	停電人口	停電率
福島市	258,214	86.8%	125,704	42.2%	3,319	1.1%	0	0.0%
会津若松市	1,384	1.1%	38	*	0	0.0%	0	0.0%
郡山市	24,817	7.3%	943	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
いわき市	138	*	3	*	0	0.0%	0	0.0%
白河市	85	0.1%	2	*	0	0.0%	0	0.0%
須賀川市	523	0.7%	14	*	0	0.0%	0	0.0%
喜多方市	1,806	3.6%	61	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
相馬市	4,876	12.5%	241	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
二本松市	20,316	33.9%	2,283	3.8%	9	*	0	0.0%
田村市	21	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
南相馬市	1,277	2.2%	51	*	0	0.0%	0	0.0%
伊達市	49,480	77.4%	18,046	28.2%	222	0.3%	0	0.0%
本宮市	5,750	18.0%	338	1.1%	*	*	0	0.0%
桑折町	13,703	96.8%	10,159	71.8%	532	3.8%	0	0.0%
国見町	9,706	95.4%	6,296	61.9%	252	2.5%	0	0.0%
川俣町	3,304	22.3%	208	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
大玉村	2,993	31.0%	266	2.8%	1	*	0	0.0%
鏡石町	5	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
天栄村	26	0.5%	1	*	0	0.0%	0	0.0%
下郷町	12	0.2%	*	*	0	0.0%	0	0.0%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
北塩原村	517	16.3%	33	1.0%	*	*	0	0.0%
西会津町	6	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
磐梯町	292	7.8%	9	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
猪苗代町	3,736	24.8%	260	1.7%	*	*	0	0.0%
会津坂下町	106	0.6%	2	*	0	0.0%	0	0.0%
湯川村	374	9.9%	14	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
柳津町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三島町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金山町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
昭和村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津美里町	20	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
西郷村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
泉崎村	83	1.2%	2	*	0	0.0%	0	0.0%
中島村	14	0.3%	*	*	0	0.0%	0	0.0%
矢吹町	12	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
棚倉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
矢祭町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
塙町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鮫川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
玉川村	8	0.1%	*	*	0	0.0%	0	0.0%
平田村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浅川町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
古殿町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三春町	711	3.4%	27	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
小野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
檜葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新地町	1,228	14.2%	63	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
飯館村	1	1.9%	*	*	0	0.0%	0	0.0%
合計	405,544	20.8%	165,067	8.4%	4,334	0.2%	0	0.0%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

Ⅲ-3.1-2 停電人口（会津盆地東縁断層帯の地震）（単位：人）

市区町村名	被災直後		被災 1 日後		被災 1 週間後		被災 1 か月後	
	停電人口	停電率	停電人口	停電率	停電人口	停電率	停電人口	停電率
福島市	5,523	1.9%	151	*	0	0.0%	0	0.0%
会津若松市	122,604	98.1%	100,997	80.8%	7,071	5.7%	0	0.0%
郡山市	82,520	24.2%	7,546	2.2%	66	*	0	0.0%
いわき市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
白河市	15,601	24.1%	1,087	1.7%	2	*	0	0.0%
須賀川市	14,583	18.4%	1,174	1.5%	4	*	0	0.0%
喜多方市	37,250	74.4%	13,943	27.9%	321	0.6%	0	0.0%
相馬市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
二本松市	3,868	6.5%	164	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
田村市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南相馬市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
伊達市	27	*	1	*	0	0.0%	0	0.0%
本宮市	4,068	12.7%	222	0.7%	*	*	0	0.0%
桑折町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川俣町	12	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
大玉村	1,710	17.7%	84	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
鏡石町	3,096	22.5%	208	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
天栄村	2,969	52.7%	729	12.9%	18	0.3%	0	0.0%
下郷町	5,506	94.7%	3,624	62.3%	173	3.0%	0	0.0%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	137	3.1%	4	*	0	0.0%	0	0.0%
南会津町	7,109	43.9%	1,772	10.9%	21	0.1%	0	0.0%
北塩原村	2,450	77.5%	727	23.0%	7	0.2%	0	0.0%
西会津町	2,043	31.0%	214	3.2%	1	*	0	0.0%
磐梯町	3,684	99.0%	3,284	88.3%	253	6.8%	0	0.0%
猪苗代町	14,156	93.9%	10,237	67.9%	575	3.8%	0	0.0%
会津坂下町	13,859	84.3%	5,862	35.6%	111	0.7%	0	0.0%
湯川村	3,706	98.2%	3,070	81.3%	207	5.5%	0	0.0%
柳津町	1,298	36.2%	126	3.5%	*	*	0	0.0%
三島町	265	15.9%	14	0.8%	*	*	0	0.0%
金山町	122	5.6%	7	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
昭和村	284	21.6%	25	1.9%	*	*	0	0.0%
会津美里町	18,080	85.3%	7,406	35.0%	113	0.5%	0	0.0%
西郷村	9,395	35.9%	980	3.7%	3	*	0	0.0%
泉崎村	1,985	29.2%	166	2.4%	*	*	0	0.0%
中島村	1,071	20.0%	65	1.2%	*	*	0	0.0%
矢吹町	3,731	19.9%	190	1.0%	*	*	0	0.0%
棚倉町	201	1.4%	7	*	0	0.0%	0	0.0%
矢祭町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
塙町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鮫川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川町	272	1.7%	9	*	0	0.0%	0	0.0%
玉川村	276	4.0%	10	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
平田村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浅川町	28	0.4%	1	*	0	0.0%	0	0.0%
古殿町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三春町	575	2.7%	18	*	0	0.0%	0	0.0%
小野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
檜葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新地町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飯館村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	384,066	19.7%	164,126	8.4%	8,945	0.5%	0	0.0%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

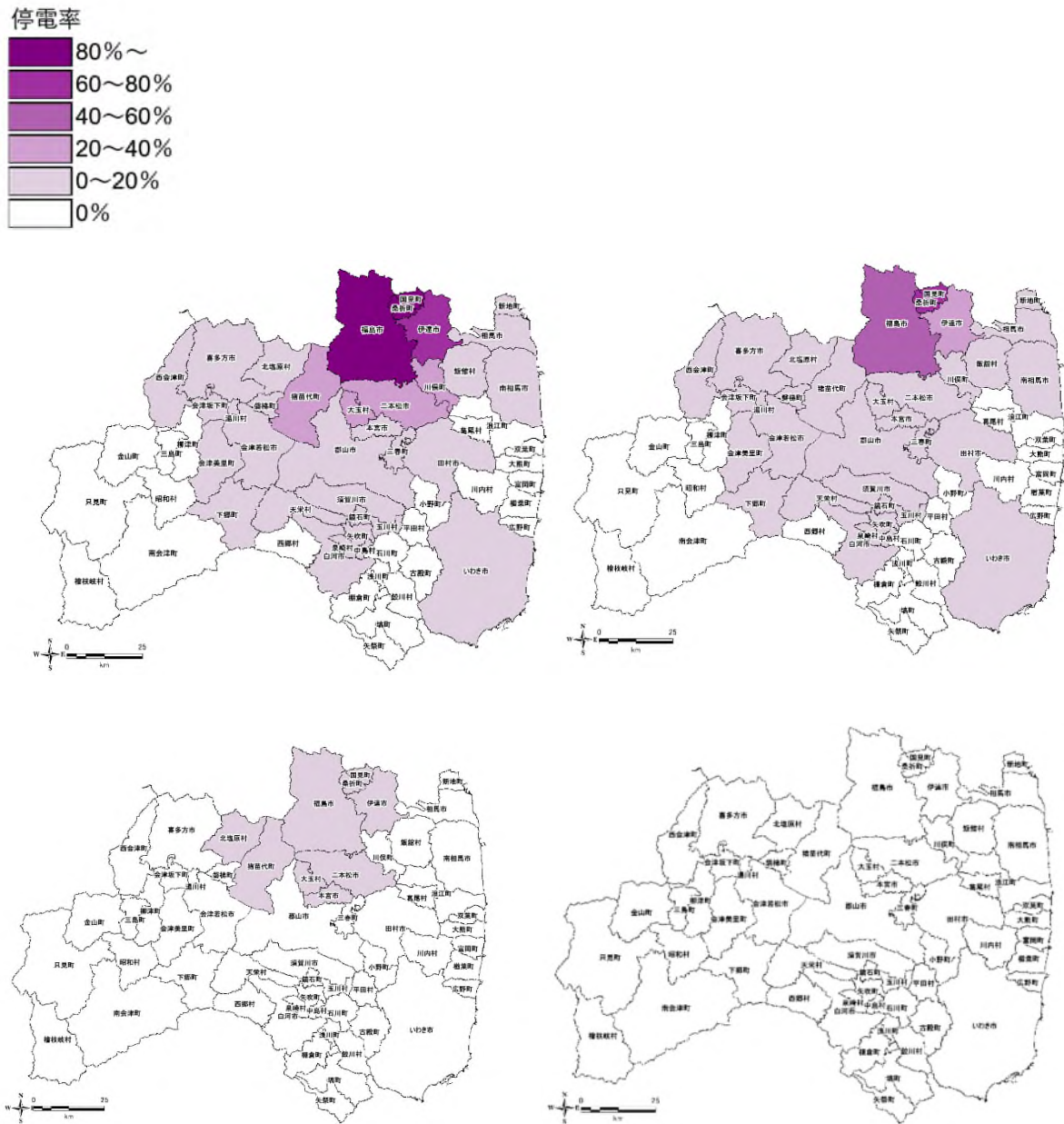
表Ⅲ-3.1-3 停電人口（想定東北地方太平洋沖地震）（単位：人）

市区町村名	被災直後		被災 1 日後		被災 1 週間後		被災 1 か月後	
	停電人口	停電率	停電人口	停電率	停電人口	停電率	停電人口	停電率
福島市	148,264	49.8%	19,443	6.5%	123	*	0	0.0%
会津若松市	57,163	45.7%	8,715	7.0%	53	*	0	0.0%
郡山市	291,079	85.4%	115,169	33.8%	1,153	0.3%	0	0.0%
いわき市	261,854	74.7%	75,747	21.6%	10,618	3.0%	9,851	2.8%
白河市	46,696	72.0%	13,517	20.8%	136	0.2%	0	0.0%
須賀川市	68,750	86.8%	30,756	38.8%	652	0.8%	0	0.0%
喜多方市	4,984	10.0%	352	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
相馬市	29,211	74.8%	9,282	23.8%	2,111	5.4%	2,045	5.2%
二本松市	37,260	62.2%	8,472	14.1%	73	0.1%	0	0.0%
田村市	29,529	74.8%	7,264	18.4%	67	0.2%	0	0.0%
南相馬市	38,755	66.9%	7,656	13.2%	1,050	1.8%	989	1.7%
伊達市	39,637	62.0%	7,149	11.2%	60	*	0	0.0%
本宮市	21,085	66.0%	4,517	14.1%	44	0.1%	0	0.0%
桑折町	11,565	81.7%	3,950	27.9%	37	0.3%	0	0.0%
国見町	9,411	92.5%	5,035	49.5%	124	1.2%	0	0.0%
川俣町	6,565	44.3%	809	5.5%	3	*	0	0.0%
大玉村	4,848	50.2%	648	6.7%	3	*	0	0.0%
鏡石町	12,051	87.5%	5,018	36.5%	47	0.3%	0	0.0%
天栄村	4,230	75.1%	1,564	27.8%	20	0.3%	0	0.0%
下郷町	349	6.0%	13	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津町	716	4.4%	52	0.3%	*	*	0	0.0%
北塩原村	91	2.9%	3	*	0	0.0%	0	0.0%
西会津町	506	7.7%	20	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
磐梯町	1,185	31.8%	98	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
猪苗代町	6,451	42.8%	837	5.6%	5	*	0	0.0%
会津坂下町	7,115	43.3%	819	5.0%	1	*	0	0.0%
湯川村	1,795	47.6%	215	5.7%	1	*	0	0.0%
柳津町	238	6.6%	9	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
三島町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金山町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
昭和村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津美里町	3,861	18.2%	295	1.4%	1	*	0	0.0%
西郷村	22,844	87.4%	9,688	37.1%	117	0.4%	0	0.0%
泉崎村	4,006	58.9%	595	8.7%	5	*	0	0.0%
中島村	3,928	73.4%	906	16.9%	9	0.2%	0	0.0%
矢吹町	14,919	79.6%	4,537	24.2%	41	0.2%	0	0.0%
棚倉町	7,772	53.0%	1,439	9.8%	12	*	0	0.0%
矢祭町	1,743	29.4%	128	2.2%	*	*	0	0.0%
塙町	2,615	28.1%	193	2.1%	*	*	0	0.0%
鮫川村	743	21.0%	41	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
石川町	6,583	40.2%	694	4.2%	3	*	0	0.0%
玉川村	4,248	61.0%	722	10.4%	6	*	0	0.0%
平田村	4,169	63.2%	750	11.4%	6	*	0	0.0%
浅川町	4,441	65.3%	851	12.5%	8	0.1%	0	0.0%
古殿町	2,824	52.3%	431	8.0%	3	*	0	0.0%
三春町	11,965	57.1%	1,942	9.3%	13	*	0	0.0%
小野町	7,479	70.9%	1,413	13.4%	13	0.1%	0	0.0%
広野町	2,454	56.8%	628	14.5%	21	0.5%	16	0.4%
檜葉町	866	88.9%	377	38.6%	8	0.8%	4	0.4%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	14	78.8%	4	24.4%	*	*	0	0.0%
新地町	7,627	88.1%	3,386	39.1%	299	3.5%	265	3.1%
飯館村	32	69.7%	5	10.4%	*	*	0	0.0%
合計	1,257,825	64.4%	356,438	18.2%	16,947	0.9%	13,171	0.7%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について 3. ライフライン被害想定



図Ⅲ-3.1-3 停電率（福島盆地西縁断層帯の地震）

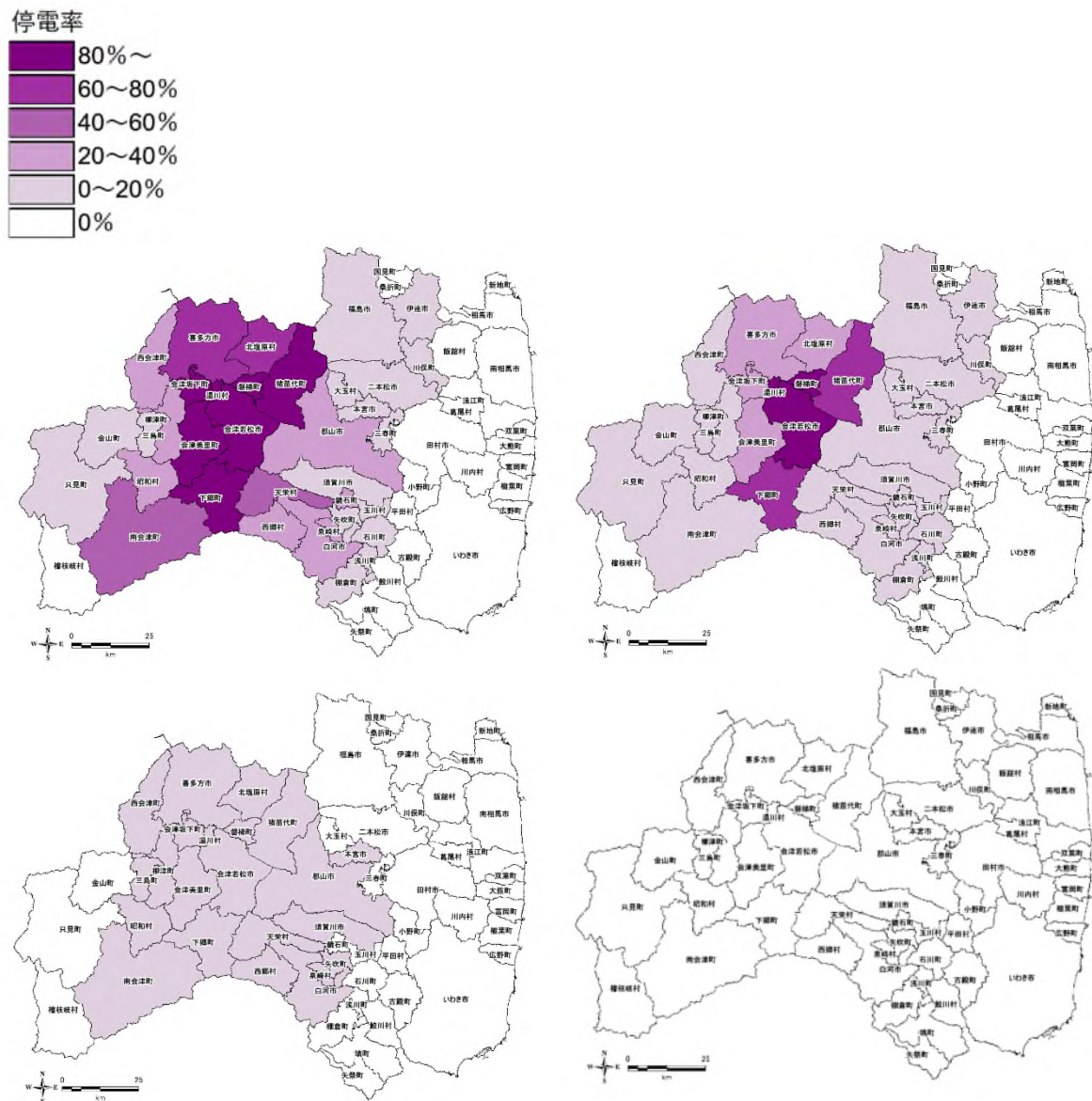
（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定



図Ⅲ-3.1-4 停電率（会津盆地東縁断層帯の地震）

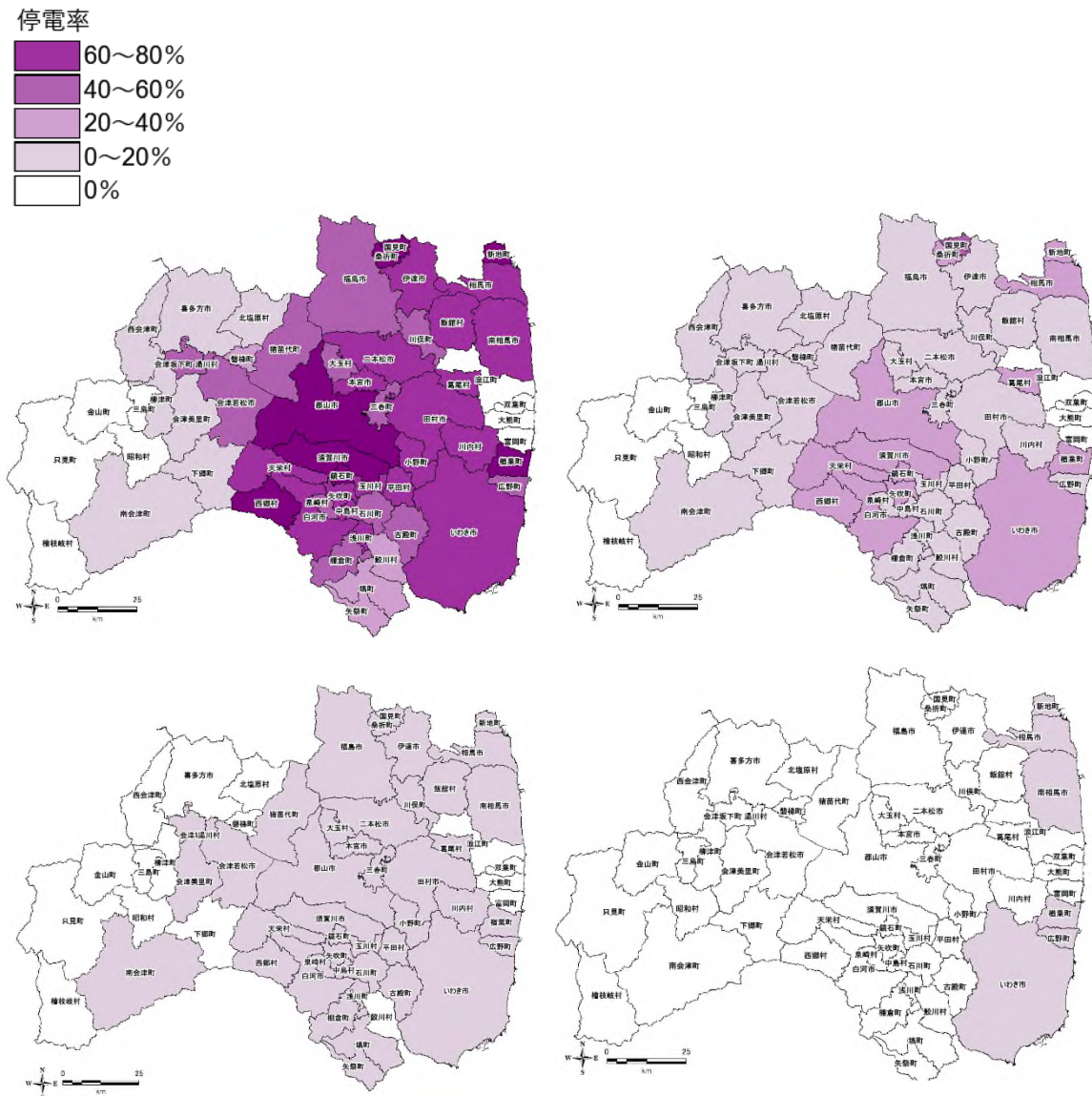
（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定



図Ⅲ-3.1-5 停電率（想定東北地方太平洋沖地震）

（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

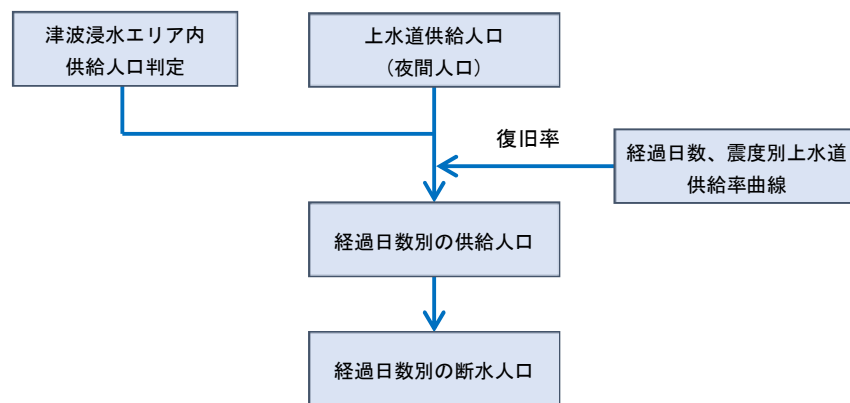
### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定

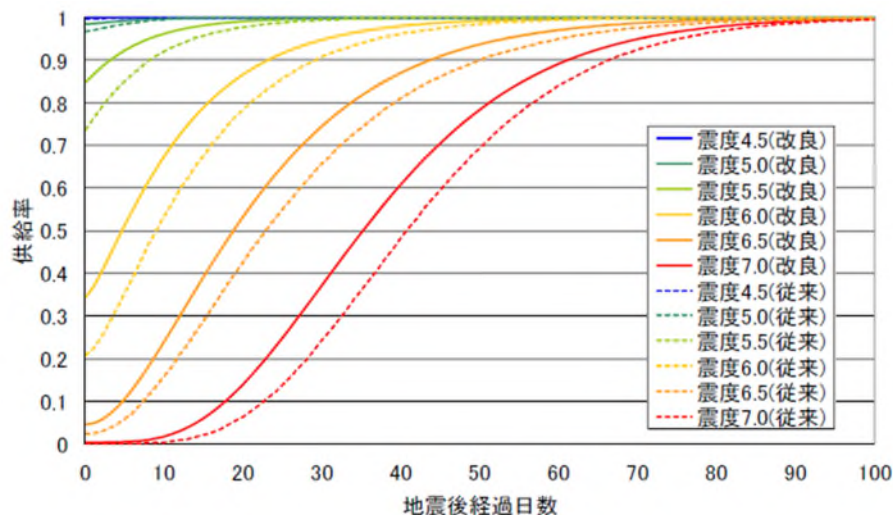
#### 3.2 上水道

##### 3.2.1 上水道の被害想定手法

上水道の被害予測については、揺れ及び津波による影響を考慮して、断水人口を算出した。揺れによる供給率は、能島ら(2012)<sup>Ⅲ-39)</sup>が提案している上水道の計測震度に対する供給率曲線の予測を用いて算出した。なお、福島県内には一定数の簡易水道及び専用水道の利用者もあり、簡易水道のほか、専用水道の施設被害と断水人口も考慮に入れた。津波の浸水区域内の居住者については1カ月間断水するものとした。



図Ⅲ-3.2-1 断水人口の算定フロー



図Ⅲ-3.2-2 上水道の計測震度に対する供給率曲線の予測（能島ら(2012)<sup>Ⅲ-39)</sup>※）

※ 能島、佐土原、稲垣「東日本大震災におけるライフライン被害と今後の課題」首都直下地震防災・減災特別プロジェクト、3. 広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究、平成23年度第4回成果発表会（2012.2）

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

3.2.2 被害想定結果

表Ⅲ-3.2-1～表Ⅲ-3.2-3 に、地震別の断水人口の被害想定結果を示し、図Ⅲ-3.2-3～図Ⅲ-3.2-5 に断水率分布を示す。

表Ⅲ-3.2-1 断水人口（単位：人）福島盆地西縁断層帯の地震

市区町村名	福島盆地西縁断層帯の地震							
	被災直後		被災 1 日後		被災 1 週間後		被災 1 か月後	
	断水人口	断水率	断水人口	断水率	断水人口	断水率	断水人口	断水率
福島市	193,727	65.1%	186,804	62.8%	138,824	46.7%	30,164	10.1%
会津若松市	117	*	79	*	17	*	0	0.0%
郡山市	2,387	0.7%	1,839	0.5%	587	0.2%	*	*
いわき市	11	*	6	*	*	*	0	0.0%
白河市	7	*	5	*	1	*	0	0.0%
須賀川市	44	*	30	*	7	*	0	0.0%
喜多方市	169	0.3%	122	0.2%	35	*	*	*
相馬市	544	1.4%	443	1.1%	162	0.4%	*	*
二本松市	4,961	8.3%	4,396	7.3%	2,095	3.5%	75	0.1%
田村市	2	*	1	*	*	*	0	0.0%
南相馬市	123	0.2%	96	0.2%	32	*	0	0.0%
伊達市	31,290	49.0%	29,748	46.5%	20,283	31.7%	3,219	5.0%
本宮市	753	2.4%	633	2.0%	251	0.8%	2	*
桑折町	12,673	89.5%	12,487	88.2%	10,652	75.2%	3,426	24.2%
国見町	8,599	84.5%	8,409	82.7%	6,792	66.8%	1,851	18.2%
川俣町	452	3.1%	384	2.6%	156	1.1%	1	*
大玉村	582	6.0%	509	5.3%	228	2.4%	5	*
鏡石町	*	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
天栄村	2	*	2	*	*	*	0	0.0%
下郷町	1	*	1	*	*	*	0	0.0%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
北塩原村	74	2.3%	63	2.0%	26	0.8%	*	*
西会津町	*	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
磐梯町	26	0.7%	19	0.5%	5	0.1%	0	0.0%
猪苗代町	569	3.8%	489	3.2%	205	1.4%	2	*
会津坂下町	8	*	5	*	1	*	0	0.0%
湯川村	35	0.9%	27	0.7%	8	0.2%	0	0.0%
柳津町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三島町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金山町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
昭和村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津美里町	2	*	1	*	*	*	0	0.0%
西郷村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
泉崎村	7	0.1%	5	*	1	*	0	0.0%
中島村	1	*	1	*	*	*	0	0.0%
矢吹町	1	*	1	*	*	*	0	0.0%
棚倉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
矢祭町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
埴町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鯨川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
玉川村	1	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
平田村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浅川町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
古殿町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三春町	67	0.3%	51	0.2%	16	*	0	0.0%
小野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
檜葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新地町	146	1.7%	119	1.4%	45	0.5%	*	*
飯館村	*	*	*	*	*	*	0	0.0%
合計	257,383	13.2%	246,773	12.6%	180,431	9.2%	38,746	2.0%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.2-2 断水人口（単位：人）会津盆地東縁断層帯の地震

市区町村名	会津盆地東縁断層帯の地震							
	被災直後		被災 1 日後		被災 1 週間後		被災 1 か月後	
	断水人口	断水率	断水人口	断水率	断水人口	断水率	断水人口	断水率
福島市	468	0.2%	310	0.1%	67	*	0	0.0%
会津若松市	117,334	93.9%	116,275	93.0%	104,115	83.3%	42,699	34.2%
郡山市	15,116	4.4%	13,291	3.9%	6,554	1.9%	553	0.2%
いわき市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
白河市	2,364	3.6%	2,027	3.1%	857	1.3%	15	*
須賀川市	2,625	3.3%	2,266	2.9%	1,000	1.3%	26	*
喜多方市	22,785	45.5%	21,699	43.4%	15,204	30.4%	2,935	5.9%
相馬市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
二本松市	396	0.7%	315	0.5%	109	0.2%	*	*
田村市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南相馬市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
伊達市	2	*	1	*	0	0.0%	0	0.0%
本宮市	501	1.6%	415	1.3%	161	0.5%	1	*
桑折町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川俣町	1	*	*	*	0	0.0%	0	0.0%
大玉村	185	1.9%	153	1.6%	57	0.6%	*	*
鏡石町	456	3.3%	389	2.8%	161	1.2%	2	*
天栄村	1,244	22.1%	1,162	20.6%	752	13.3%	139	2.5%
下郷町	4,831	83.1%	4,729	81.3%	3,877	66.7%	1,195	20.6%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	12	0.3%	9	0.2%	2	*	0	0.0%
南会津町	3,327	20.5%	3,094	19.1%	1,903	11.7%	242	1.5%
北塩原村	1,344	42.5%	1,263	39.9%	807	25.5%	106	3.3%
西会津町	471	7.1%	415	6.3%	193	2.9%	5	*
磐梯町	3,623	97.4%	3,608	97.0%	3,337	89.7%	1,476	39.7%
猪苗代町	12,735	84.5%	12,538	83.2%	10,709	71.1%	3,658	24.3%
会津坂下町	9,627	58.5%	9,217	56.0%	6,549	39.8%	1,229	7.5%
湯川村	3,560	94.3%	3,530	93.5%	3,159	83.7%	1,247	33.0%
柳津町	274	7.6%	240	6.7%	110	3.1%	2	*
三島町	31	1.9%	26	1.6%	10	0.6%	*	*
金山町	16	0.7%	13	0.6%	5	0.2%	*	*
昭和村	56	4.3%	49	3.7%	22	1.7%	*	*
会津美里町	12,474	58.9%	11,918	56.3%	8,345	39.4%	1,441	6.8%
西郷村	2,062	7.9%	1,827	7.0%	887	3.4%	42	0.2%
泉崎村	364	5.4%	317	4.7%	139	2.0%	2	*
中島村	143	2.7%	121	2.3%	49	0.9%	*	*
矢吹町	417	2.2%	348	1.9%	130	0.7%	*	*
棚倉町	19	0.1%	14	*	4	*	0	0.0%
矢祭町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
塙町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鮫川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川町	25	0.2%	19	0.1%	6	*	0	0.0%
玉川村	26	0.4%	20	0.3%	6	*	0	0.0%
平田村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浅川町	2	*	1	*	*	*	0	0.0%
古殿町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三春町	52	0.2%	38	0.2%	11	*	0	0.0%
小野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
檜葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新地町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飯館村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	218,971	11.2%	211,659	10.8%	169,297	8.7%	57,015	2.9%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.2-3 断水人口（単位：人）想定東北地方太平洋沖地震

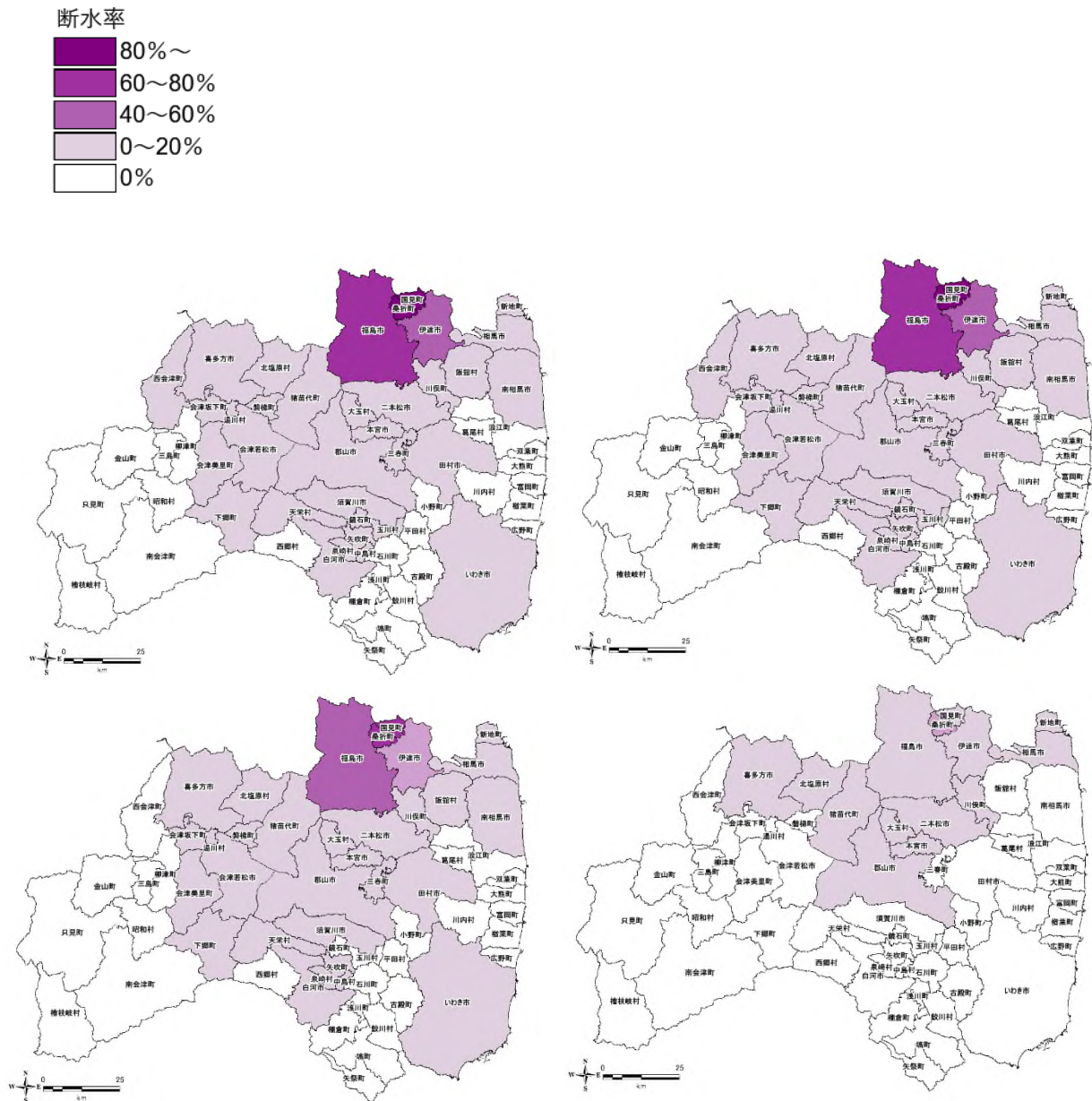
市区町村名	想定東北地方太平洋沖の地震							
	被災直後		被災 1日後		被災 1週間後		被災 1か月後	
	断水人口	断水率	断水人口	断水率	断水人口	断水率	断水人口	断水率
福島市	42,807	14.4%	38,145	12.8%	18,358	6.2%	623	0.2%
会津若松市	17,960	14.4%	16,259	13.0%	8,670	6.9%	644	0.5%
郡山市	199,948	58.7%	190,722	56.0%	131,325	38.5%	20,463	6.0%
いわき市	160,383	45.8%	152,936	43.7%	113,866	32.5%	58,110	16.6%
白河市	24,753	38.2%	23,240	35.8%	14,877	22.9%	2,018	3.1%
須賀川市	49,521	62.5%	47,532	60.0%	34,298	43.3%	6,734	8.5%
喜多方市	786	1.6%	669	1.3%	281	0.6%	2	*
相馬市	17,640	45.2%	16,824	43.1%	12,563	32.2%	6,604	16.9%
二本松市	16,363	27.3%	15,154	25.3%	9,061	15.1%	1,005	1.7%
田村市	14,063	35.6%	13,051	33.1%	7,848	19.9%	869	2.2%
南相馬市	16,115	27.8%	14,854	25.6%	9,129	15.8%	3,179	5.5%
伊達市	14,751	23.1%	13,423	21.0%	7,294	11.4%	560	0.9%
本宮市	8,861	27.7%	8,160	25.6%	4,737	14.8%	498	1.6%
桑折町	7,075	50.0%	6,696	47.3%	4,445	31.4%	641	4.5%
国見町	7,716	75.9%	7,470	73.4%	5,623	55.3%	1,212	11.9%
川俣町	1,745	11.8%	1,556	10.5%	757	5.1%	32	0.2%
大玉村	1,409	14.6%	1,259	13.0%	616	6.4%	26	0.3%
鏡石町	8,653	62.9%	8,275	60.1%	5,753	41.8%	909	6.6%
天栄村	2,688	47.7%	2,559	45.4%	1,757	31.2%	285	5.1%
下郷町	33	0.6%	25	0.4%	8	0.1%	0	0.0%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津町	130	0.8%	106	0.7%	44	0.3%	1	*
北塩原村	8	0.2%	5	0.2%	1	*	0	0.0%
西会津町	49	0.7%	39	0.6%	14	0.2%	0	0.0%
磐梯町	213	5.7%	185	5.0%	81	2.2%	*	*
猪苗代町	1,785	11.8%	1,597	10.6%	798	5.3%	42	0.3%
会津坂下町	1,818	11.1%	1,611	9.8%	748	4.5%	18	0.1%
湯川村	479	12.7%	425	11.3%	198	5.3%	4	0.1%
柳津町	24	0.7%	19	0.5%	6	0.2%	0	0.0%
三島町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金山町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
昭和村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津美里町	665	3.1%	569	2.7%	245	1.2%	4	*
西郷村	16,432	62.8%	15,731	60.2%	11,033	42.2%	1,840	7.0%
泉崎村	1,303	19.2%	1,168	17.2%	577	8.5%	25	0.4%
中島村	1,781	33.3%	1,646	30.7%	968	18.1%	100	1.9%
矢吹町	8,373	44.7%	7,871	42.0%	5,053	27.0%	664	3.5%
棚倉町	2,897	19.8%	2,650	18.1%	1,487	10.1%	134	0.9%
矢祭町	278	4.7%	240	4.1%	102	1.7%	1	*
塙町	422	4.5%	365	3.9%	155	1.7%	2	*
鮫川村	88	2.5%	74	2.1%	29	0.8%	*	*
石川町	1,529	9.3%	1,347	8.2%	619	3.8%	12	*
玉川村	1,514	21.8%	1,372	19.7%	727	10.4%	49	0.7%
平田村	1,554	23.6%	1,414	21.5%	765	11.6%	58	0.9%
浅川町	1,740	25.6%	1,590	23.4%	880	12.9%	73	1.1%
古殿町	906	16.8%	818	15.1%	425	7.9%	27	0.5%
三春町	4,078	19.5%	3,689	17.6%	1,937	9.2%	126	0.6%
小野町	2,938	27.8%	2,675	25.3%	1,449	13.7%	109	1.0%
広野町	1,215	28.1%	1,142	26.4%	751	17.4%	170	3.9%
檜葉町	647	66.4%	620	63.6%	439	45.0%	84	8.6%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	564	28.1%	520	25.9%	304	15.2%	31	1.6%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	8	44.8%	8	42.1%	5	27.2%	1	3.6%
新地町	5,684	65.7%	5,464	63.2%	3,991	46.1%	1,137	13.1%
飯館村	11	23.5%	10	21.0%	5	10.0%	*	*
合計	672,405	34.4%	633,780	32.4%	425,097	21.8%	109,126	5.6%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定



図Ⅲ-3.2-3 断水率（福島盆地西縁断層帯の地震）

（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

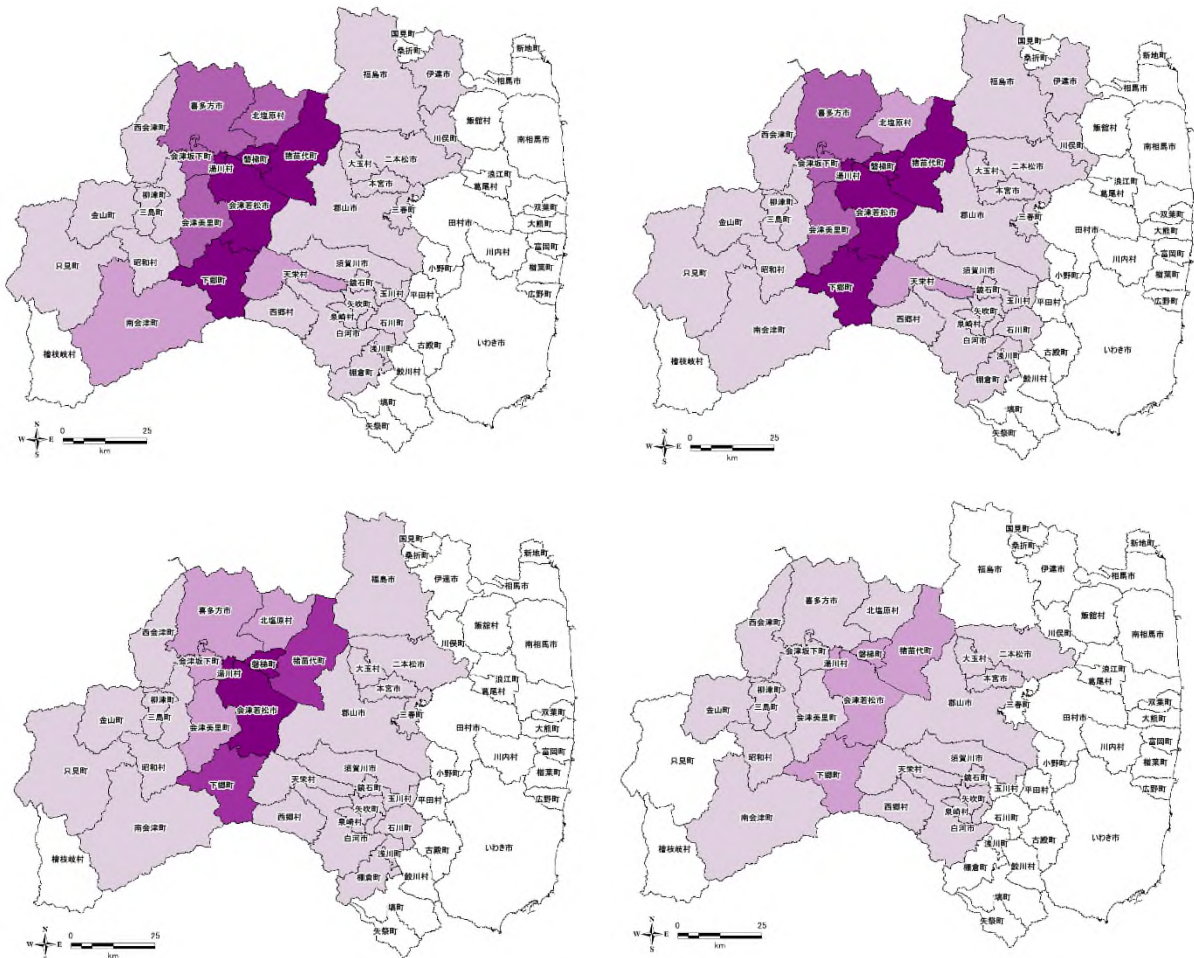
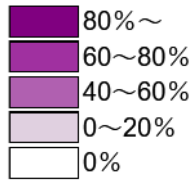
※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定

断水率

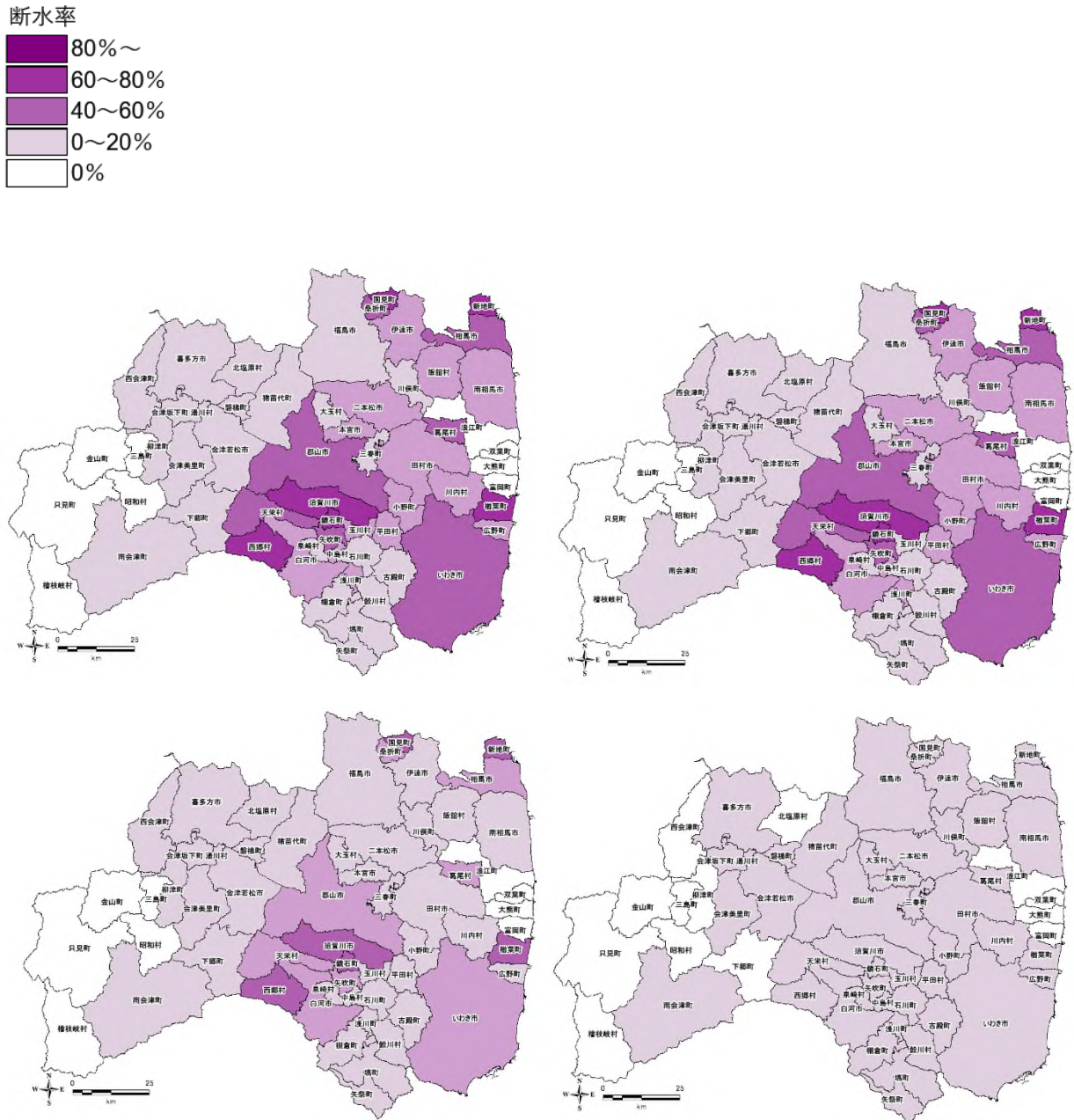


図Ⅲ-3.2-4 断水率（会津盆地東縁断層帯の地震）

（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### 3. ライフライン被害想定



図Ⅲ-3.2-5 断水率（想定東北地方太平洋沖地震）

(左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後)

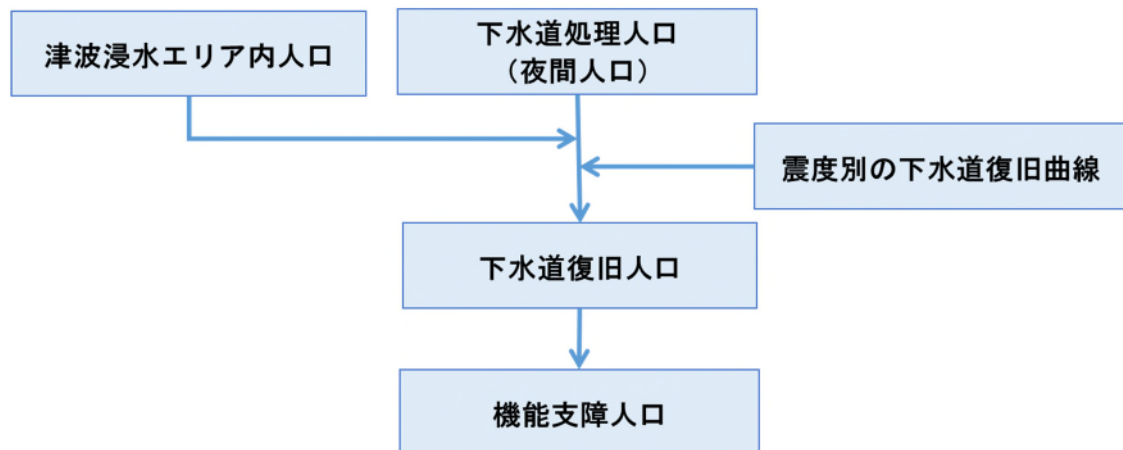
※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



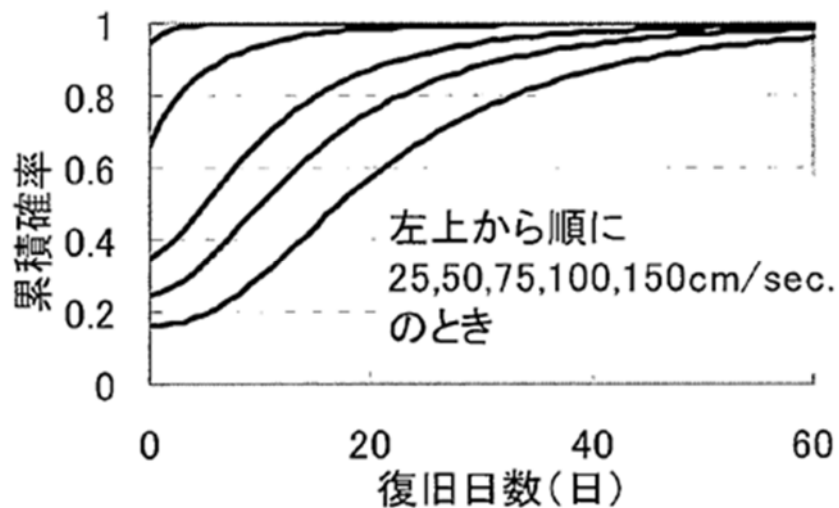
### 3.3 下水道

#### 3.3.1 下水道の被害想定手法

下水道の被害予測については、揺れによる影響を考慮して、図Ⅲ-3.3-2 に示す日下ほか(2011)<sup>Ⅲ-40)</sup>の地表の最大速度ごとの復旧率をもとに、復旧人口を算出し、これより機能支障人口を算出した。津波浸水エリア内では 1 カ月間の機能支障が発生するものとした。



図Ⅲ-3.3-1 下水道施設の機能支障人口の算定フロー



図Ⅲ-3.3-2 下水道の復旧曲線 (日下ほか, 2011)<sup>Ⅲ-40)</sup>

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

3.3.2 被害想定結果

表Ⅲ-3.3-1～表Ⅲ-3.3-3 に、地震別の下水道の被害想定結果を示し、図Ⅲ-3.3-3～図Ⅲ-3.3-5 に下水道の機能支障率の分布を示す。

表Ⅲ-3.3-1 下水道機能支障人口（単位：人）福島盆地西縁断層帯の地震

市区町村名	福島盆地西縁断層帯の地震							
	被災直後		被災 1 日後		被災 1 週間後		被災 1 か月後	
	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率
福島市	109,270	36.7%	95,560	32.1%	48,921	16.4%	6,064	2.0%
会津若松市	1,100	0.9%	652	0.5%	56	*	56	*
郡山市	13,177	3.9%	7,817	2.3%	670	0.2%	670	0.2%
いわき市	140	*	83	*	7	*	7	*
白河市	64	*	38	*	3	*	3	*
須賀川市	415	0.5%	246	0.3%	21	*	21	*
喜多方市	1,213	2.4%	720	1.4%	62	0.1%	62	0.1%
相馬市	1,746	4.5%	1,036	2.7%	89	0.2%	89	0.2%
二本松市	4,225	7.1%	2,780	4.6%	506	0.8%	195	0.3%
田村市	22	*	13	*	1	*	1	*
南相馬市	625	1.1%	371	0.6%	32	*	32	*
伊達市	15,854	24.8%	12,814	20.0%	4,881	7.6%	581	0.9%
本宮市	1,847	5.8%	1,107	3.5%	106	0.3%	93	0.3%
桑折町	8,578	60.6%	8,205	58.0%	5,584	39.4%	826	5.8%
国見町	5,432	53.4%	5,050	49.6%	3,086	30.3%	391	3.8%
川俣町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大玉村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鏡石町	5	*	3	*	*	*	*	*
天栄村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
下郷町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
北塩原村	154	4.9%	92	2.9%	9	0.3%	8	0.2%
西会津町	7	0.1%	4	*	*	*	*	*
磐梯町	188	5.1%	112	3.0%	10	0.3%	10	0.3%
猪苗代町	901	6.0%	541	3.6%	53	0.4%	45	0.3%
会津坂下町	102	0.6%	61	0.4%	5	*	5	*
湯川村	203	5.4%	121	3.2%	10	0.3%	10	0.3%
柳津町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三島町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金山町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
昭和村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津美里町	19	*	11	*	1	*	1	*
西郷村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
泉崎村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
中島村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
矢吹町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
棚倉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
矢祭町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
塙町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鮫川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
玉川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平田村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浅川町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
古殿町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三春町	380	1.8%	226	1.1%	19	*	19	*
小野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
楡葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新地町	478	5.5%	285	3.3%	26	0.3%	24	0.3%
飯館村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	166,146	8.5%	137,948	7.1%	64,158	3.3%	9,216	0.5%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が含まないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.3-2 下水道機能支障人口（単位：人）会津盆地東縁断層帯の地震

市区町村名	会津東縁断層帯の地震							
	被災直後		被災 1 日後		被災 1 週間後		被災 1 か月後	
	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率
福島市	4,415	1.5%	2,619	0.9%	225	*	225	*
会津若松市	84,721	67.8%	82,632	66.1%	62,413	49.9%	11,519	9.2%
郡山市	20,729	6.1%	12,941	3.8%	1,948	0.6%	1,071	0.3%
いわき市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
白河市	3,887	6.0%	2,349	3.6%	244	0.4%	195	0.3%
須賀川市	4,558	5.8%	2,822	3.6%	357	0.5%	224	0.3%
喜多方市	13,007	26.0%	10,973	21.9%	5,096	10.2%	659	1.3%
相馬市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
二本松市	1,779	3.0%	1,055	1.8%	90	0.2%	90	0.2%
田村市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南相馬市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
伊達市	30	*	18	*	2	*	2	*
本宮市	1,444	4.5%	860	2.7%	77	0.2%	73	0.2%
桑折町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川俣町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大玉村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鏡石町	782	5.7%	465	3.4%	40	0.3%	40	0.3%
天栄村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
下郷町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津町	1,882	11.6%	1,453	9.0%	488	3.0%	74	0.5%
北塩原村	702	22.2%	552	17.5%	183	5.8%	22	0.7%
西会津町	463	7.0%	299	4.5%	50	0.8%	22	0.3%
磐梯町	2,728	73.3%	2,697	72.5%	2,149	57.8%	418	11.2%
猪苗代町	8,699	57.7%	8,302	55.1%	5,752	38.2%	931	6.2%
会津坂下町	5,129	31.2%	4,325	26.3%	1,955	11.9%	243	1.5%
湯川村	2,565	68.0%	2,503	66.3%	1,867	49.5%	326	8.6%
柳津町	242	6.7%	152	4.2%	21	0.6%	12	0.3%
三島町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金山町	57	2.6%	34	1.5%	3	0.1%	3	0.1%
昭和村	68	5.2%	42	3.2%	5	0.4%	3	0.3%
会津美里町	6,350	30.0%	5,253	24.8%	2,170	10.2%	251	1.2%
西郷村	1,849	7.1%	1,177	4.5%	180	0.7%	87	0.3%
泉崎村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
中島村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
矢吹町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
棚倉町	111	0.8%	66	0.5%	6	*	6	*
矢祭町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
塙町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鮫川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
玉川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平田村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浅川町	25	0.4%	15	0.2%	1	*	1	*
古殿町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三春町	369	1.8%	219	1.0%	19	*	19	*
小野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
檜葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新地町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飯館村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	166,591	8.5%	143,824	7.4%	85,339	4.4%	16,516	0.8%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.3-3 下水道機能支障人口（単位：人）想定東北地方太平洋沖地震

市区町村名	想定東北地方太平洋沖地震							
	被災直後		被災 1 日後		被災 1 週間後		被災 1 か月後	
	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率
福島市	27,690	9.3%	19,117	6.4%	4,267	1.4%	1,227	0.4%
会津若松市	12,192	9.8%	8,502	6.8%	1,976	1.6%	512	0.4%
郡山市	98,280	28.8%	79,398	23.3%	29,059	8.5%	3,116	0.9%
いわき市	108,234	30.9%	95,765	27.3%	65,875	18.8%	52,066	14.9%
白河市	13,032	20.1%	10,236	15.8%	3,516	5.4%	463	0.7%
須賀川市	26,368	33.3%	22,476	28.4%	10,519	13.3%	1,289	1.6%
喜多方市	1,470	2.9%	872	1.7%	75	0.1%	75	0.1%
相馬市	11,910	30.5%	10,514	26.9%	7,292	18.7%	6,020	15.4%
二本松市	9,090	15.2%	6,858	11.4%	2,053	3.4%	327	0.5%
田村市	7,678	19.4%	5,954	15.1%	1,892	4.8%	251	0.6%
南相馬市	10,443	18.0%	8,489	14.7%	4,403	7.6%	3,065	5.3%
伊達市	8,189	12.8%	6,024	9.4%	1,663	2.6%	319	0.5%
本宮市	4,809	15.1%	3,656	11.4%	1,156	3.6%	192	0.6%
桑折町	3,540	25.0%	2,822	19.9%	984	6.9%	112	0.8%
国見町	4,378	43.0%	3,879	38.1%	2,039	20.0%	241	2.4%
川俣町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大玉村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鏡石町	4,118	29.9%	3,329	24.2%	1,212	8.8%	127	0.9%
天栄村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
下郷町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
檜枝岐村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津町	436	2.7%	264	1.6%	28	0.2%	22	0.1%
北塩原村	71	2.2%	42	1.3%	4	0.1%	4	0.1%
西会津町	228	3.5%	135	2.0%	12	0.2%	12	0.2%
磐梯町	220	5.9%	130	3.5%	11	0.3%	11	0.3%
猪苗代町	1,345	8.9%	918	6.1%	197	1.3%	59	0.4%
会津坂下町	1,354	8.2%	905	5.5%	177	1.1%	63	0.4%
湯川村	329	8.7%	224	5.9%	47	1.2%	15	0.4%
柳津町	120	3.3%	71	2.0%	6	0.2%	6	0.2%
三島町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金山町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
昭和村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津美里町	1,228	5.8%	754	3.6%	89	0.4%	61	0.3%
西郷村	8,082	30.9%	6,628	25.3%	2,603	10.0%	286	1.1%
泉崎村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
中島村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
矢吹町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
棚倉町	1,817	12.4%	1,328	9.1%	360	2.5%	69	0.5%
矢祭町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
塙町	578	6.2%	351	3.8%	38	0.4%	29	0.3%
鮫川村	209	5.9%	124	3.5%	11	0.3%	11	0.3%
石川町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
玉川村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平田村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浅川町	1,017	15.0%	765	11.3%	225	3.3%	37	0.5%
古殿町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
三春町	2,287	10.9%	1,634	7.8%	412	2.0%	94	0.5%
小野町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広野町	735	17.0%	574	13.3%	231	5.3%	108	2.5%
檜葉町	293	30.0%	238	24.4%	95	9.8%	25	2.6%
富岡町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大熊町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新地町	3,026	35.0%	2,570	29.7%	1,333	15.4%	670	7.7%
飯館村	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	374,792	19.2%	305,546	15.6%	143,860	7.4%	70,983	3.6%

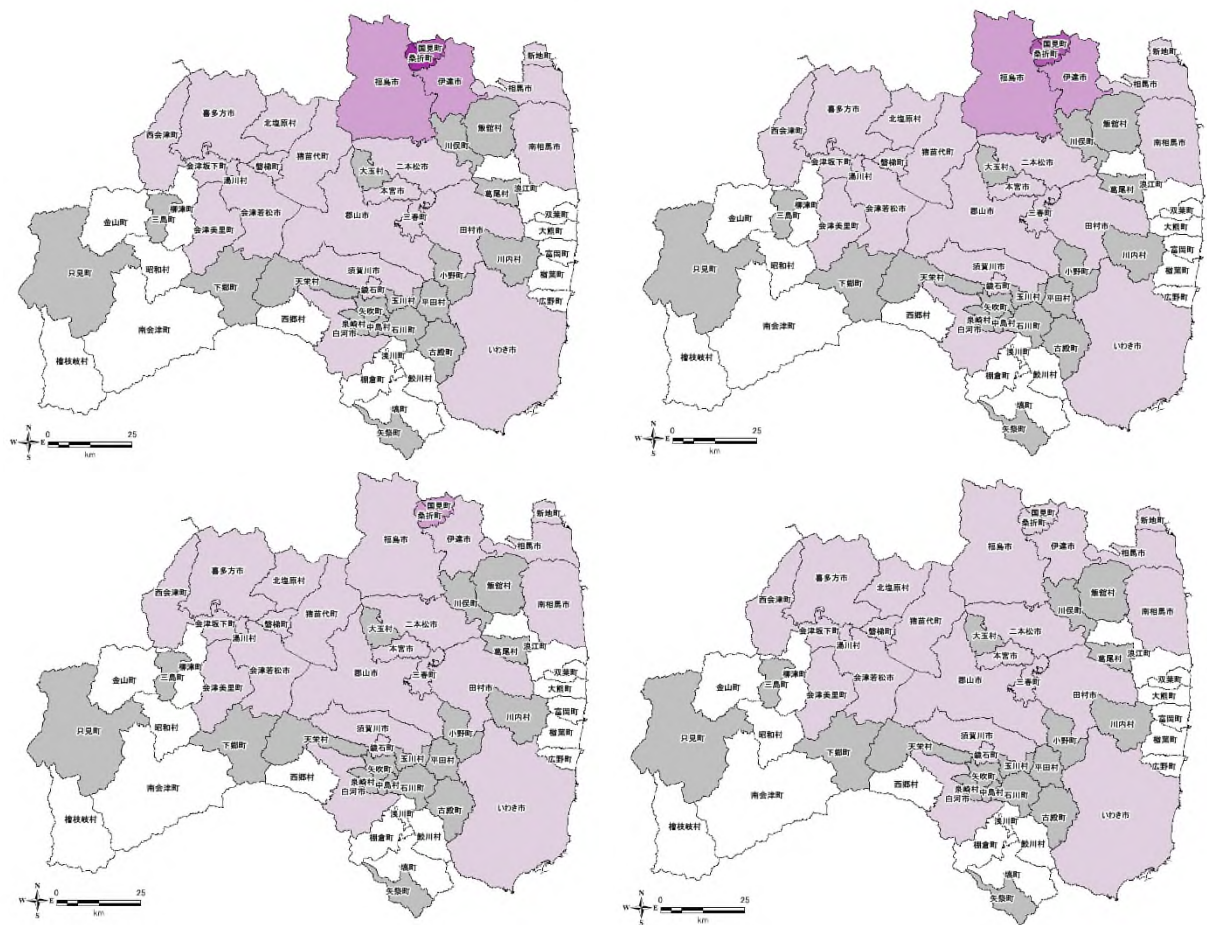
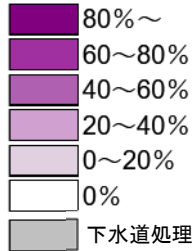
※：わずかな、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定

機能支障率



図Ⅲ-3.3-3 下水道の機能支障率（福島盆地西縁断層帯の地震）

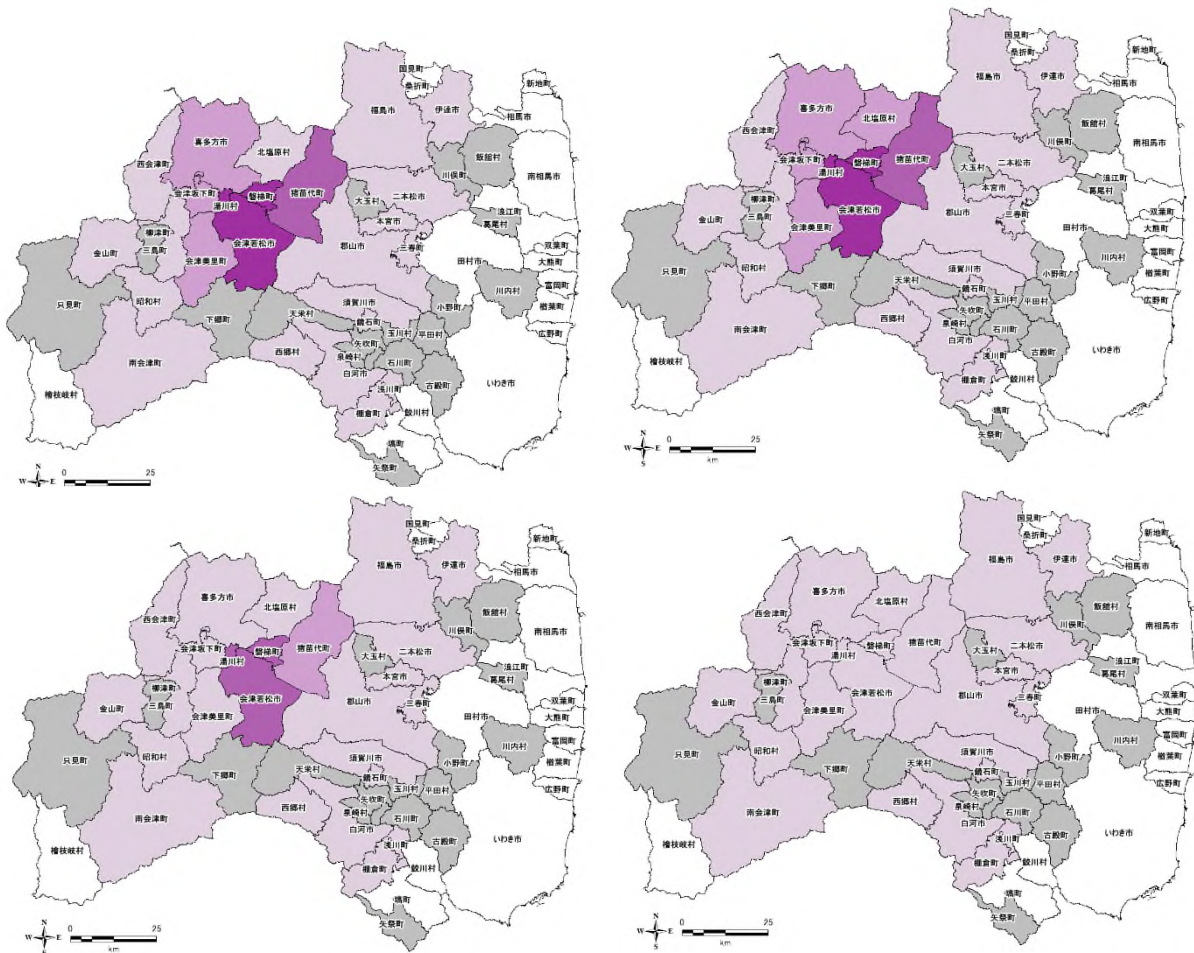
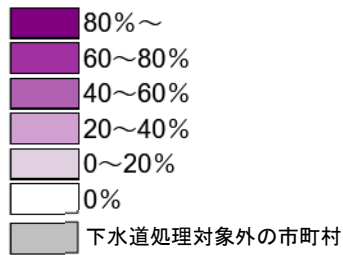
（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定

機能支障率



図Ⅲ-3.3-4 下水道の機能支障率（会津盆地東縁断層帯の地震）

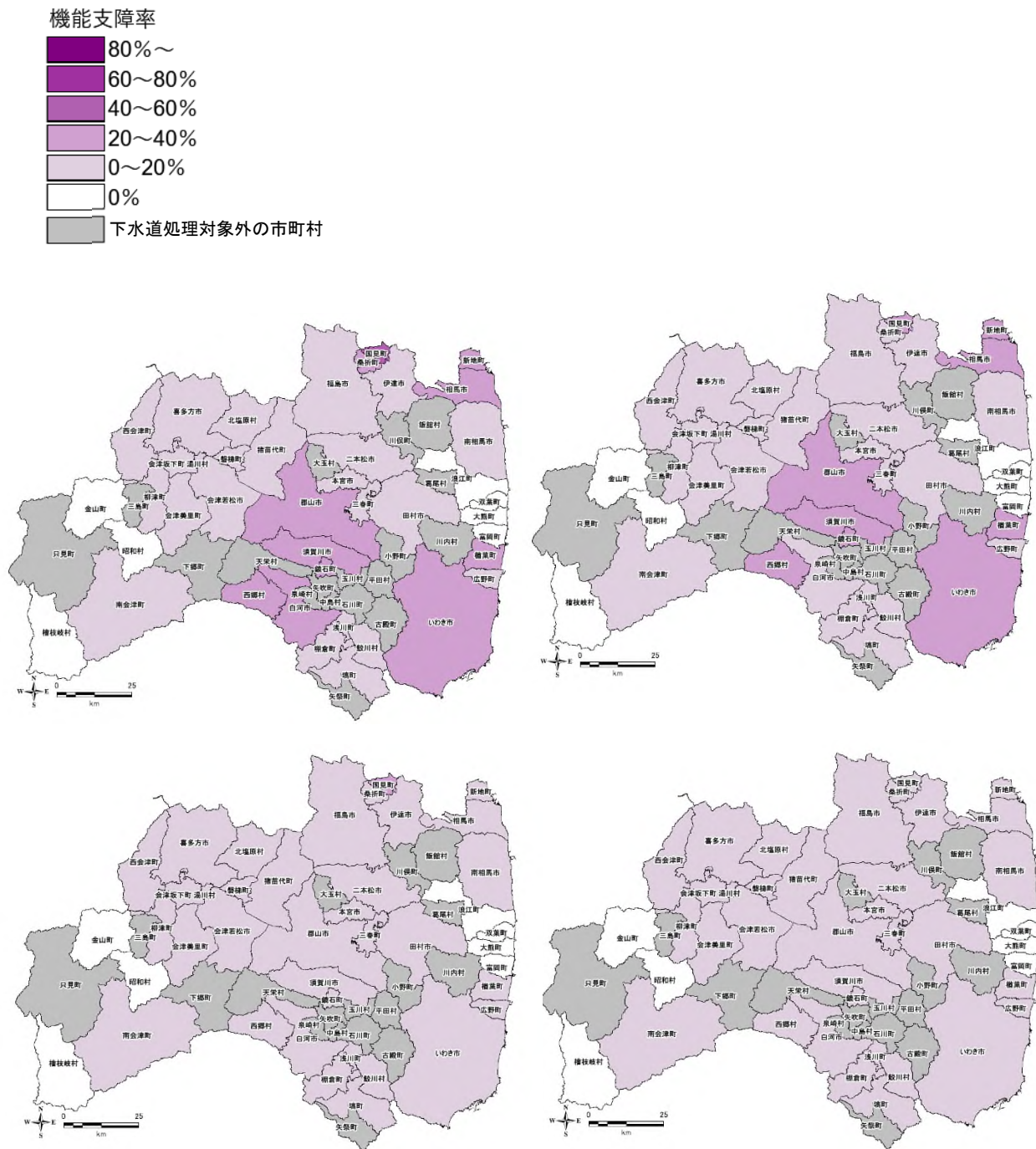
（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定



図Ⅲ-3.3-5 下水道の機能支障率（想定東北地方太平洋沖地震）

（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### 3.4 都市ガス及びLP ガス

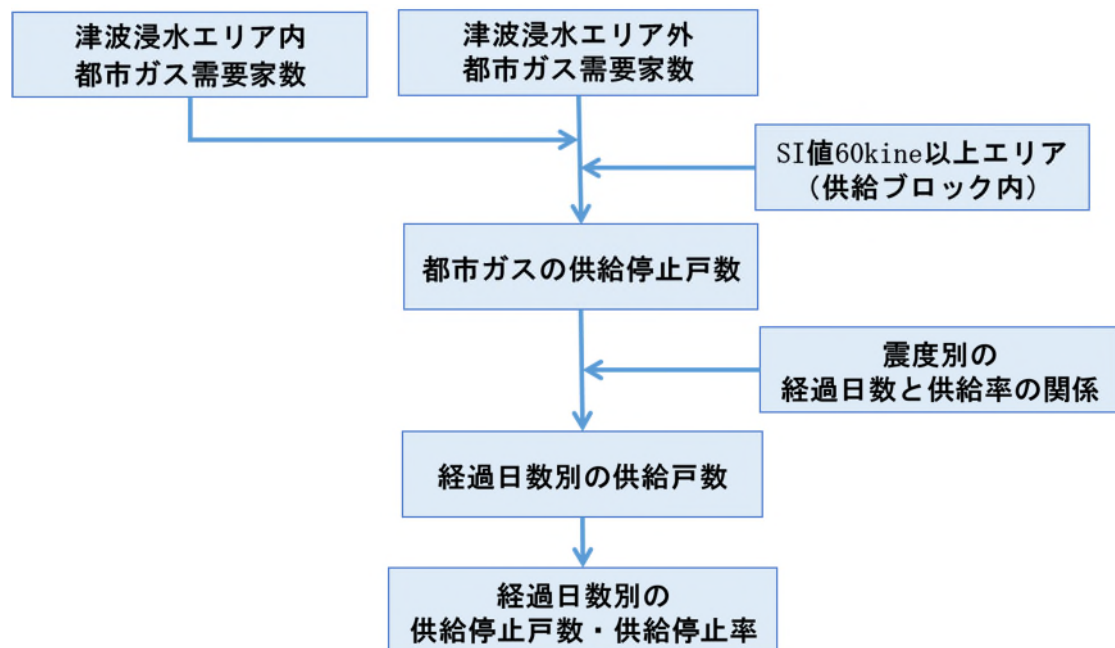
#### 3.4.1 ガスの被害想定手法

##### (1) 都市ガス

津波浸水エリア内需要家数を停止判定とする。津波浸水エリア外の需要家数に対して、供給ブロックの揺れによるガス供給停止の基準となる 60kine を越えたブロックを供給停止とする。これらの供給停止した需要家数を求める。次に、これらの供給停止した需要家が時間経過とともに供給される需要家を図Ⅲ-3.4-2 に示す能島他(2012)の震度別の経過日数と供給率の関係から求め、これより供給停止戸数を算出した。なお、能島他(2012)の震度別の経過日数と供給率の関係は、従来モデル(点線)を用いた。また、都市ガスの需要家数は、新電力ネット<sup>Ⅲ-41)</sup>による 2020 年の需要家数をもとにした。

都市ガス製造設備は停電時の非常用電源等が確保されているとして、停電による停止は発生しないものとする。

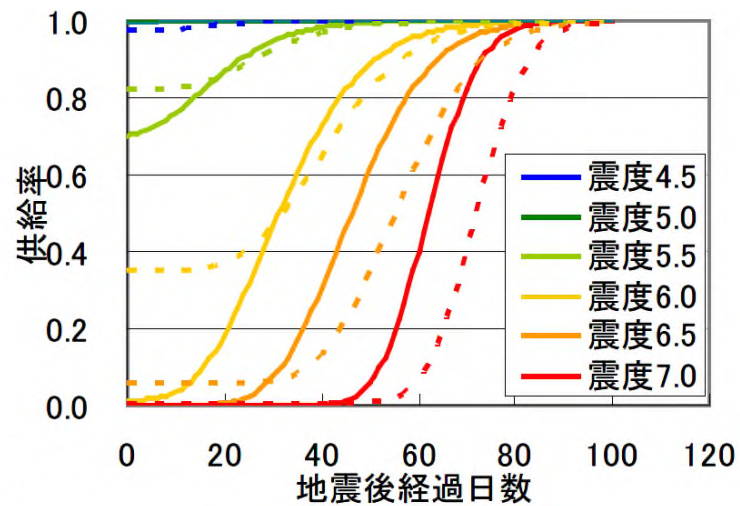
算出した供給停止戸数に基づき、都市ガスの復旧状況より、経過日数別の供給停止戸数等を算出する。



図Ⅲ-3.4-1 都市ガス被害の算定フロー



Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

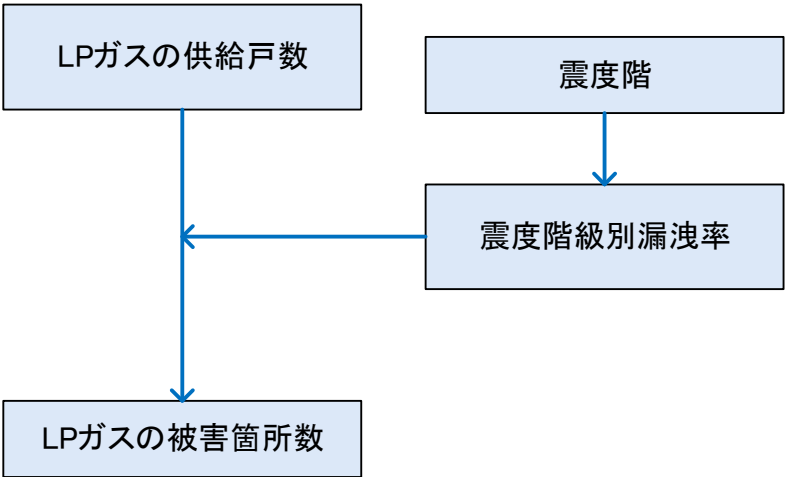


図Ⅲ-3.4-2 都市ガスの計測震度に対する供給率曲線の予測(能島ら(2012)※)  
(従来モデルは点線)

※ 能島、佐土原、稲垣「東日本大震災におけるライフライン被害と今後の課題」首都直下地震防災・減災特別プロジェクト、3. 広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究、平成 23 年度第 4 回成果発表会 (2012. 2)  
[http://www.drs.dpri.kyoto-u.ac.jp/medr/activities/20120224\\_results04.html](http://www.drs.dpri.kyoto-u.ac.jp/medr/activities/20120224_results04.html)

(2) LP ガス

LP ガスの被害については、市町村別供給戸数に震度階別漏洩率を掛け合わせることで被害箇所数を推定して、市町村別の被害箇所数を算出する。LP ガスの供給戸数は、各市町村の固定資産台帳から、「倉庫・物置・土蔵等」を除く、戸数を供給戸数として採用した。ただし、平成 27 年以前の避難指示区域は対象外とした。



図Ⅲ-3. 4-3 LP ガス被害の算定フロー

表Ⅲ-3. 4-1 震度階級別漏洩率 青森県(2022) Ⅲ-42)

ボンベ容量	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強以上
50kg	0.6%	1.1%	1.2%	2.5%

### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定

##### 3.4.2 被害想定結果

表Ⅲ-3.4-2～表Ⅲ-3.4-4 に地震別の都市ガスの被害想定結果を示し、表Ⅲ-3.4-5 に LP ガスの被害想定結果を示す。図Ⅲ-3.4-4～図Ⅲ-3.4-6 に LP ガスの漏洩被害率分布を示す。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.4-2 都市ガス被害（福島盆地西縁断層帯の地震）

市区町村名	需要家数	被災直後		被災1日後		被災1週間後		被災1か月後	
		供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率
福島市	42,913	42,913	100.0%	42,909	100.0%	42,883	99.9%	40,307	93.9%
会津若松市	16,932	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
郡山市	79,811	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
いわき市	49,422	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
白河市	4,487	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
須賀川市									
喜多方市									
相馬市									
二本松市									
田村市									
南相馬市	3,618	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
伊達市									
本宮市	734	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
桑折町									
国見町									
川俣町									
大玉村									
鏡石町									
天栄村									
下郷町									
檜枝岐村									
只見町									
南会津町									
北塩原村									
西会津町									
磐梯町									
猪苗代町									
会津坂下町									
湯川村									
柳津町									
三島町									
金山町									
昭和村									
会津美里町									
西郷村	70	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
泉崎村									
中島村									
矢吹町									
棚倉町									
矢祭町									
塙町									
鮫川村									
石川町									
玉川村									
平田村									
浅川町									
古殿町									
三春町									
小野町									
広野町									
楢葉町									
富岡町									
川内村									
大熊町									
双葉町									
浪江町									
葛尾村									
新地町									
飯館村									
合計	197,987	42,913	21.7%	42,909	21.7%	42,883	21.7%	40,307	20.4%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.4-3 都市ガス被害（会津盆地東縁断層帯の地震）

市区町村名	需要家数	被災直後		被災1日後		被災1週間後		被災1か月後	
		供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率
福島市	42,913	0	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	16,932	16,932	100.00%	16,930	99.99%	16,920	99.93%	16,658	98.38%
郡山市	79,811	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	49,422	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	4,487	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市									
喜多方市									
相馬市									
二本松市									
田村市									
南相馬市	3,618	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市									
本宮市	734	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町									
国見町									
川俣町									
大玉村									
鏡石町									
天栄村									
下郷町									
檜枝岐村									
只見町									
南会津町									
北塩原村									
西会津町									
磐梯町									
猪苗代町									
会津坂下町									
湯川村									
柳津町									
三島町									
金山町									
昭和村									
会津美里町									
西郷村	70	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村									
中島村									
矢吹町									
棚倉町									
矢祭町									
塙町									
鮫川村									
石川町									
玉川村									
平田村									
浅川町									
古殿町									
三春町									
小野町									
広野町									
楢葉町									
富岡町									
川内村									
大熊町									
双葉町									
浪江町									
葛尾村									
新地町									
飯館村									
合計	197,987	16,932	8.6%	16,930	8.6%	16,920	8.5%	16,658	8.4%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.4-4 都市ガス被害（想定東北地方太平洋沖地震）

市区町村名	需要家数	被災直後		被災1日後		被災1週間後		被災1か月後	
		供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率	供給停止戸数	供給停止率
福島市	42,913	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津若松市	16,932	16,932	100.0%	16,702	98.6%	16,551	97.7%	9,196	54.3%
郡山市	79,811	79,811	100.0%	79,090	99.1%	78,711	98.6%	55,440	69.5%
いわき市	49,422	49,422	100.0%	49,123	99.4%	48,957	99.1%	38,093	77.1%
白河市	4,487	4,487	100.0%	4,446	99.1%	4,425	98.6%	3,117	69.5%
須賀川市									
喜多方市									
相馬市									
二本松市									
田村市									
南相馬市	3,618	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
伊達市									
本宮市	734	734	100.0%	725	98.8%	721	98.2%	454	61.9%
桑折町									
国見町									
川俣町									
大玉村									
鏡石町									
天栄村									
下郷町									
檜枝岐村									
只見町									
南会津町									
北塩原村									
西会津町									
磐梯町									
猪苗代町									
会津坂下町									
湯川村									
柳津町									
三島町									
金山町									
昭和村									
会津美里町									
西郷村	70	70	100.0%	69	98.8%	69	98.2%	43	61.9%
泉崎村									
中島村									
矢吹町									
棚倉町									
矢祭町									
塙町									
鮫川村									
石川町									
玉川村									
平田村									
浅川町									
古殿町									
三春町									
小野町									
広野町									
楢葉町									
富岡町									
川内村									
大熊町									
双葉町									
浪江町									
葛尾村									
新地町									
飯館村									
合計	197,987	151,456	76.5%	150,155	75.8%	149,433	75.5%	106,344	53.7%

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3. 4-5 LP ガスの漏洩被害

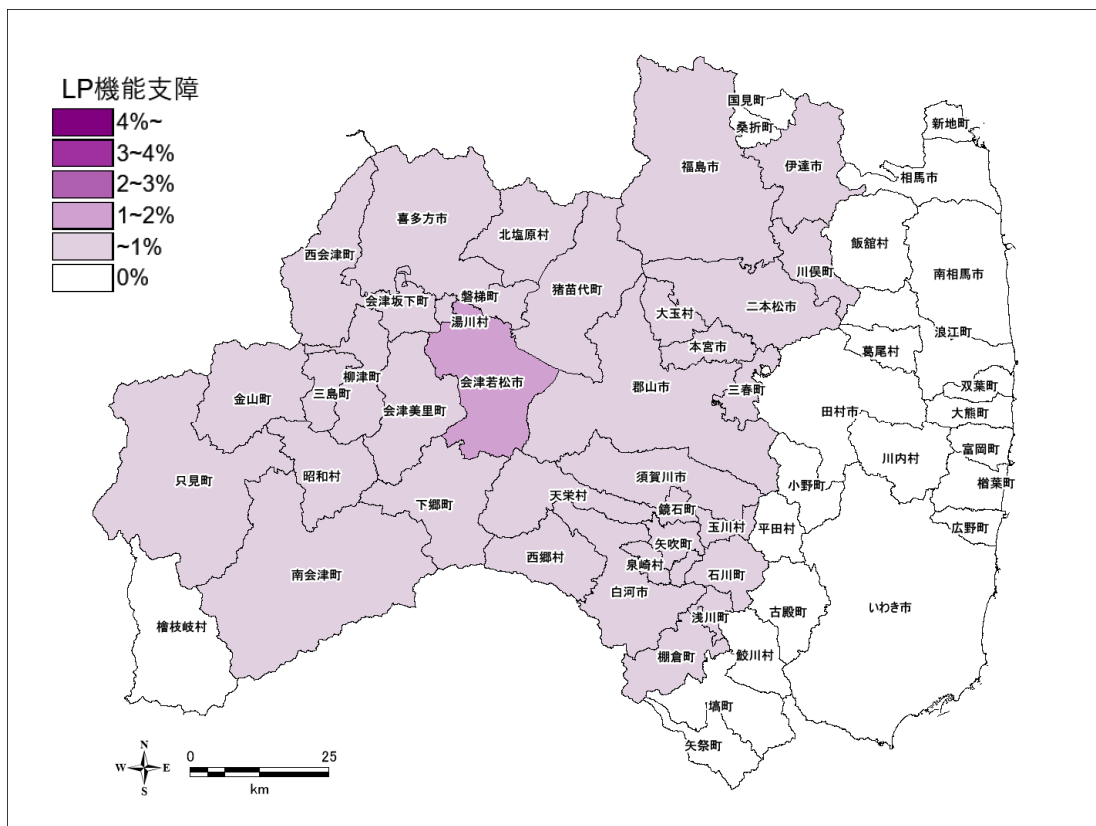
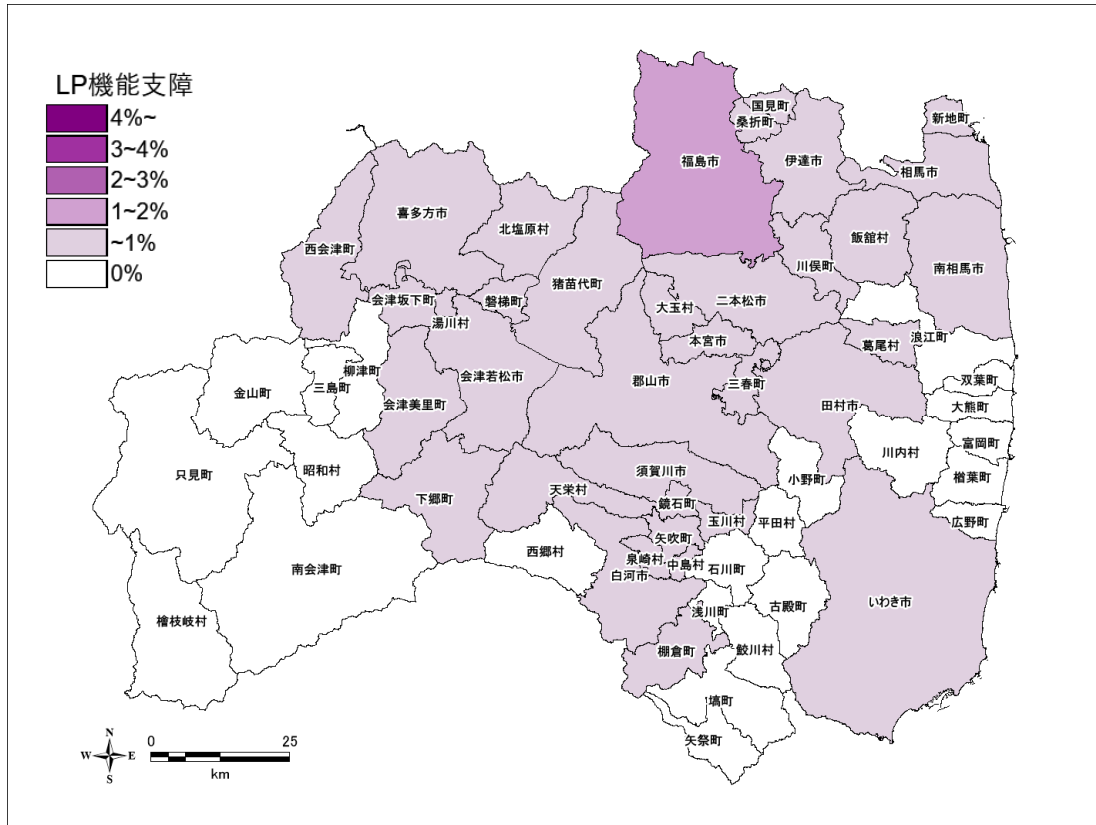
市区町村名	供給戸数	福島盆地西縁断層帯の地震		会津盆地東縁断層帯の地震		想定東北地方太平洋沖地震	
		機能支障件数	機能支障率	機能支障件数	機能支障率	機能支障件数	機能支障率
福島市	174,134	3,216	1.8%	237	0.1%	1,820	1.0%
会津若松市	133,834	125	*	3,317	2.5%	1,345	1.0%
郡山市	204,959	805	0.4%	1,594	0.8%	2,969	1.4%
いわき市	207,811	6	*	0	0.0%	2,581	1.2%
白河市	42,120	4	*	322	0.8%	545	1.3%
須賀川市	49,575	30	*	307	0.6%	814	1.6%
喜多方市	52,839	139	0.3%	795	1.5%	206	0.4%
相馬市	27,458	144	0.5%	0	0.0%	337	1.2%
二本松市	57,118	447	0.8%	149	0.3%	642	1.1%
田村市	52,116	4	*	0	0.0%	621	1.2%
南相馬市	43,148	51	0.1%	0	0.0%	496	1.2%
伊達市	57,940	783	1.4%	3	*	660	1.1%
本宮市	22,765	158	0.7%	122	0.5%	312	1.4%
桑折町	10,028	243	2.4%	0	0.0%	139	1.4%
国見町	8,305	194	2.3%	0	0.0%	173	2.1%
川俣町	15,481	121	0.8%	1	*	167	1.1%
大玉村	7,646	69	0.9%	50	0.7%	85	1.1%
鏡石町	8,670	*	*	62	0.7%	132	1.5%
天栄村	6,405	2	*	81	1.3%	91	1.4%
下郷町	6,924	1	*	152	2.2%	23	0.3%
檜枝岐村	791	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
只見町	5,655	0	0.0%	12	0.2%	0	0.0%
南会津町	24,233	0	0.0%	192	0.8%	62	0.3%
北塩原村	2,037	15	0.7%	25	1.2%	4	0.2%
西会津町	10,574	1	*	89	0.8%	35	0.3%
磐梯町	4,101	21	0.5%	103	2.5%	40	1.0%
猪苗代町	16,587	128	0.8%	371	2.2%	162	1.0%
会津坂下町	10,113	6	*	169	1.7%	104	1.0%
湯川村	1,433	8	0.5%	36	2.5%	16	1.1%
柳津町	4,669	0	0.0%	48	1.0%	16	0.3%
三島町	2,462	0	0.0%	15	0.6%	0	0.0%
金山町	3,634	0	0.0%	11	0.3%	0	0.0%
昭和村	2,425	0	0.0%	17	0.7%	0	0.0%
会津美里町	23,643	2	*	351	1.5%	147	0.6%
西郷村	12,217	0	0.0%	131	1.1%	204	1.7%
泉崎村	4,534	2	*	38	0.8%	48	1.0%
中島村	3,905	1	*	26	0.7%	46	1.2%
矢吹町	10,563	1	*	71	0.7%	126	1.2%
棚倉町	12,404	*	*	16	0.1%	130	1.0%
矢祭町	6,266	0	0.0%	0	0.0%	58	0.9%
塙町	8,418	0	0.0%	0	0.0%	69	0.8%
鮫川村	3,940	0	0.0%	0	0.0%	26	0.7%
石川町	17,883	0	0.0%	21	0.1%	190	1.1%
玉川村	5,786	1	*	13	0.2%	66	1.1%
平田村	7,901	0	0.0%	0	0.0%	90	1.1%
浅川町	5,540	0	0.0%	2	*	64	1.2%
古殿町	7,558	0	0.0%	0	0.0%	84	1.1%
三春町	16,293	12	*	12	*	182	1.1%
小野町	11,264	0	0.0%	0	0.0%	133	1.2%
広野町	3,739	0	0.0%	0	0.0%	42	1.1%
楢葉町	349	0	0.0%	0	0.0%	7	2.1%
富岡町	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川内村	3,200	0	0.0%	0	0.0%	37	1.1%
大熊町	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
双葉町	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
浪江町	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
葛尾村	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新地町	6,688	42	0.6%	0	0.0%	109	1.6%
飯館村	19	*	0.6%	0	0.0%	*	1.1%
合計	1,450,097	6,785	0.5%	8,960	0.6%	16,455	1.1%

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。  
注) 市町村別供給戸数は、メッシュより計算した値を集計している。

### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定

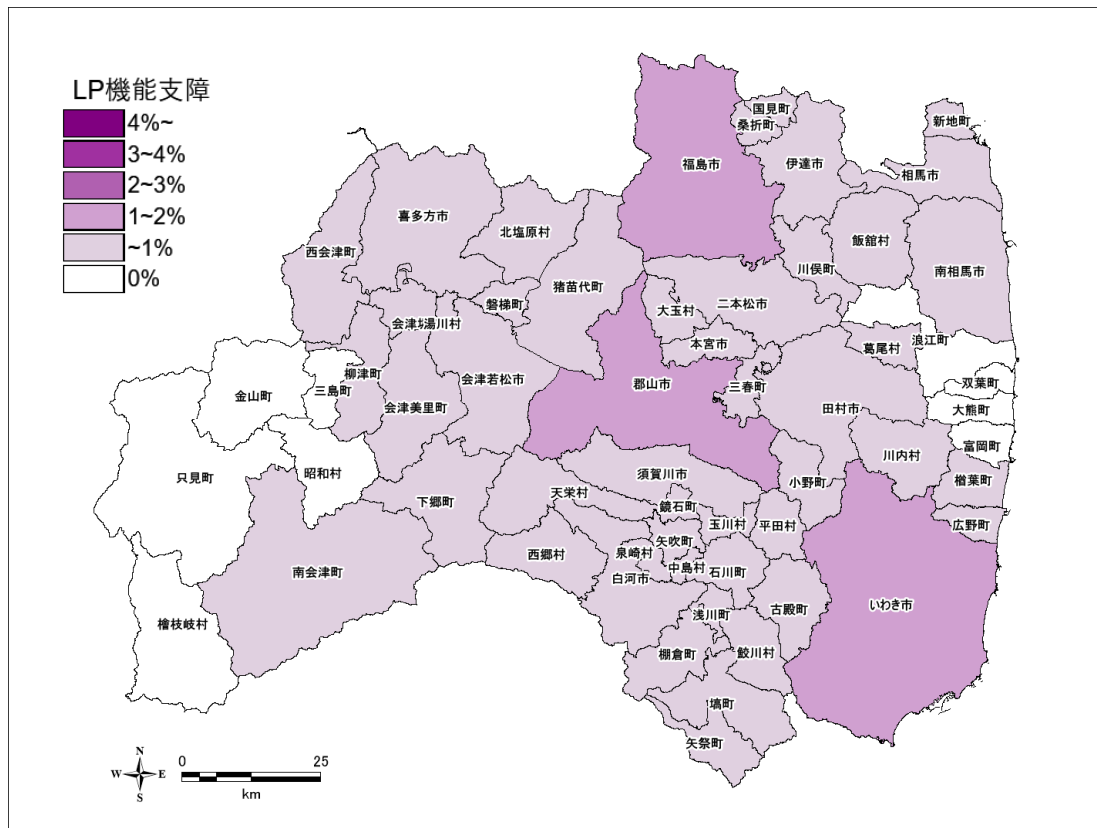


※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定



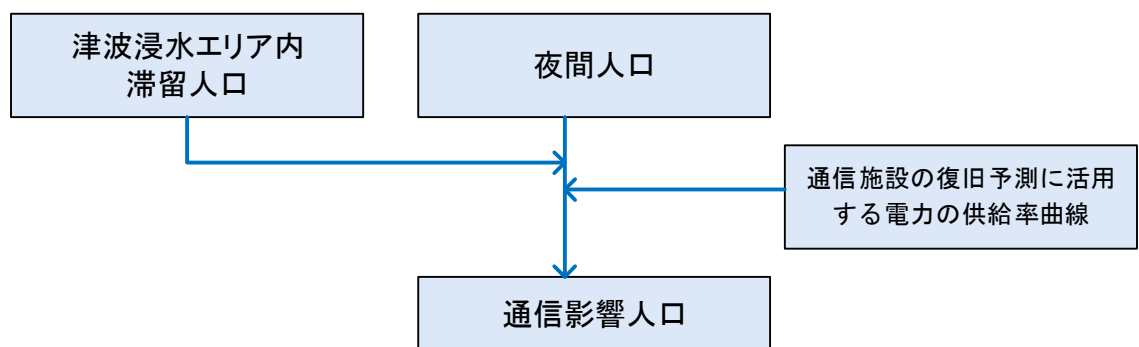
※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### 3.5 通信被害について

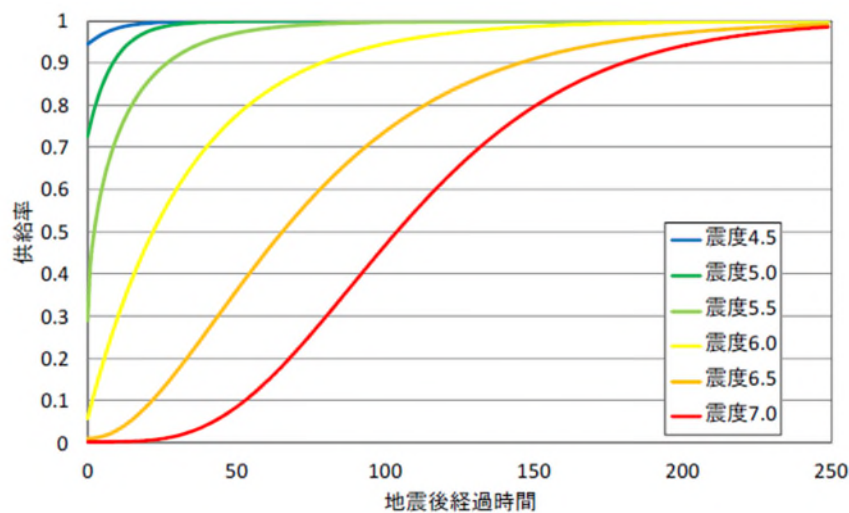
#### 3.5.1 通信被害想定手法

総務省(2011)<sup>Ⅲ-43)</sup>によると、東日本大震災に通信設備の機能停止の要因は、固定電話及び携帯電話共に 80%以上が広範囲かつ長期間に及んだ商用電源の停電としている。通信施設で被害を受けやすい架空設備は電力ケーブルも同一電柱に架渉する共架柱が使われることが多くある。このように、通信施設は電力施設と密接な関係がある。

通信における被害想定は、東京大学地震研究所ほか(2012)<sup>Ⅲ-44)</sup>による震度階級別の電力の地震後経過時間と供給率の関係より供給人口を算出し、影響人口を算出することとした。津波の浸水エリアについては、全壊建物は1ヶ月停電しているものとした。



図Ⅲ-3.5-1 不通回線数、携帯電話不通ランクの算定フロー



図Ⅲ-3.5-2 通信施設の復旧予測に活用する電力の供給率曲線

（東京大学地震研究所ほか，2012）<sup>Ⅲ-44)</sup>

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

3.5.2 被害想定結果

表Ⅲ-3.5-1～表Ⅲ-3.5-3 に地震別の通信被害想定結果を示し、図Ⅲ-3.5-3～図Ⅲ-3.5-5 に通信不通回線率分布を示す。

表Ⅲ-3.5-1 通信被害（福島盆地西縁断層帯の地震）

市区町村名	被災直後		被災1日後		被災1週間後		被災1か月後	
	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)
福島市	47,441	86.8	23,095	42.2	610	1.1	0	0.0
会津若松市	255	1.1	7	*	0	0.0	0	0.0
郡山市	4,583	7.3	174	0.3	0	0.0	0	0.0
いわき市	26	*	1	*	0	0.0	0	0.0
白河市	14	0.1	*	*	0	0.0	0	0.0
須賀川市	86	0.7	2	*	0	0.0	0	0.0
喜多方市	299	3.6	10	0.1	0	0.0	0	0.0
相馬市	796	12.5	39	0.6	0	0.0	0	0.0
二本松市	3,026	33.9	340	3.8	1	*	0	0.0
田村市	3	0.1	*	*	0	0.0	0	0.0
南相馬市	236	2.2	9	0.1	0	0.0	0	0.0
伊達市	7,823	77.4	2,853	28.2	35	0.3	0	0.0
本宮市	872	18.0	51	1.1	*	*	0	0.0
桑折町	1,976	96.8	1,465	71.8	77	3.8	0	0.0
国見町	1,452	95.4	942	61.9	38	2.5	0	0.0
川俣町	539	22.3	34	1.4	0	0.0	0	0.0
大玉村	399	31.0	35	2.8	*	*	0	0.0
鏡石町	1	*	*	*	0	0.0	0	0.0
天栄村	4	0.5	*	*	0	0.0	0	0.0
下郷町	2	0.2	*	*	0	0.0	0	0.0
檜枝岐村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
只見町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
南会津町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
北塩原村	80	16.3	5	1.0	*	*	0	0.0
西会津町	1	0.1	*	*	0	0.0	0	0.0
磐梯町	42	7.8	1	0.2	0	0.0	0	0.0
猪苗代町	585	24.8	41	1.7	*	*	0	0.0
会津坂下町	17	0.6	*	*	0	0.0	0	0.0
湯川村	44	9.9	2	0.4	0	0.0	0	0.0
柳津町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
三島町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
金山町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
昭和村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
会津美里町	3	0.1	*	*	0	0.0	0	0.0
西郷村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泉崎村	13	1.2	*	*	0	0.0	0	0.0
中島村	2	0.3	*	*	0	0.0	0	0.0
矢吹町	2	0.1	*	*	0	0.0	0	0.0
棚倉町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
矢祭町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
塙町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
鮫川村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
石川町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
玉川村	1	0.1	*	*	0	0.0	0	0.0
平田村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
浅川町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
古殿町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
三春町	96	3.4	4	0.1	0	0.0	0	0.0
小野町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
広野町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
檜葉町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
富岡町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
川内村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
大熊町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
双葉町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
浪江町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
葛尾村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
新地町	184	14.2	9	0.7	0	0.0	0	0.0
飯館村	15	1.9	1	0.1	0	0.0	0	0.0
合計	70,919	20.3	29,123	8.3	761	0.2	0	0.0

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.5-2 通信被害（会津盆地東縁断層帯の地震）

市区町村名	被災直後		被災1日後		被災1週間後		被災1か月後	
	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)
福島市	1,015	1.9	28	0.1	0	0.0	0	0.0
会津若松市	22,579	98.1	18,600	80.8	1,302	5.7	0	0.0
郡山市	15,238	24.2	1,393	2.2	12	*	0	0.0
いわき市	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
白河市	2,650	24.1	185	1.7	*	*	0	0.0
須賀川市	2,409	18.4	194	1.5	1	*	0	0.0
喜多方市	6,173	74.4	2,311	27.9	53	0.6	0	0.0
相馬市	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
二本松市	576	6.5	24	0.3	0	0.0	0	0.0
田村市	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
南相馬市	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
伊達市	4	*	*	*	0	0.0	0	0.0
本宮市	617	12.7	34	0.7	*	*	0	0.0
桑折町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
国見町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
川俣町	2	0.1	*	*	0	0.0	0	0.0
大玉村	228	17.7	11	0.9	0	0.0	0	0.0
鏡石町	475	22.5	32	1.5	0	0.0	0	0.0
天栄村	464	52.7	114	12.9	3	0.3	0	0.0
下郷町	939	94.7	618	62.3	30	3.0	0	0.0
檜枝岐村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
只見町	26	3.1	1	0.1	0	0.0	0	0.0
南会津町	1,292	43.9	322	10.9	4	0.1	0	0.0
北塩原村	378	77.5	112	23.0	1	0.2	0	0.0
西会津町	361	31.0	38	3.2	*	*	0	0.0
磐梯町	524	99.0	467	88.3	36	6.8	0	0.0
猪苗代町	2,216	93.9	1,603	67.9	90	3.8	0	0.0
会津坂下町	2,222	84.3	940	35.6	18	0.7	0	0.0
湯川村	441	98.2	365	81.3	25	5.5	0	0.0
柳津町	204	36.2	20	3.5	*	*	0	0.0
三島町	53	15.9	3	0.8	*	*	0	0.0
金山町	26	5.6	1	0.3	0	0.0	0	0.0
昭和村	63	21.6	6	1.9	*	*	0	0.0
会津美里町	2,772	85.3	1,135	35.0	17	0.5	0	0.0
西郷村	1,327	35.9	139	3.7	*	*	0	0.0
泉崎村	306	29.2	26	2.4	*	*	0	0.0
中島村	151	20.0	9	1.2	*	*	0	0.0
矢吹町	593	19.9	30	1.0	*	*	0	0.0
棚倉町	31	1.4	1	0.1	0	0.0	0	0.0
矢祭町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
塙町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
鮫川村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
石川町	42	1.7	1	0.1	0	0.0	0	0.0
玉川村	39	4.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0
平田村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
浅川町	4	0.4	*	*	0	0.0	0	0.0
古殿町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
三春町	78	2.7	2	0.1	0	0.0	0	0.0
小野町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
広野町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
楢葉町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
富岡町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
川内村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
大熊町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
双葉町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
浪江町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
葛尾村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
新地町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
飯館村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	66,517	19.0	28,766	8.2	1,592	0.5	0	0.0

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
3. ライフライン被害想定

表Ⅲ-3.5-3 通信被害（想定東北地方太平洋沖地震）

市区町村名	被災直後		被災1日後		被災1週間後		被災1か月後	
	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)	不通回線数	不通回線率(%)
福島市	27,240	49.8	3,572	6.5	23	*	0	0.0
会津若松市	10,527	45.7	1,605	7.0	10	*	0	0.0
郡山市	53,749	85.4	21,266	33.8	213	0.3	0	0.0
いわき市	48,550	74.7	14,044	21.6	1,969	3.0	1,827	2.8
白河市	7,933	72.0	2,296	20.8	23	0.2	0	0.0
須賀川市	11,356	86.8	5,080	38.8	108	0.8	0	0.0
喜多方市	826	10.0	58	0.7	0	0.0	0	0.0
相馬市	4,771	74.8	1,516	23.8	345	5.4	334	5.2
二本松市	5,550	62.2	1,262	14.1	11	0.1	0	0.0
田村市	4,203	74.8	1,034	18.4	10	0.2	0	0.0
南相馬市	7,170	66.9	1,416	13.2	194	1.8	183	1.7
伊達市	6,267	62.0	1,130	11.2	9	0.1	0	0.0
本宮市	3,198	66.0	685	14.1	7	0.1	0	0.0
桑折町	1,668	81.7	570	27.9	5	0.3	0	0.0
国見町	1,408	92.5	753	49.5	19	1.2	0	0.0
川俣町	1,072	44.3	132	5.5	*	*	0	0.0
大玉村	646	50.2	86	6.7	*	*	0	0.0
鏡石町	1,848	87.5	770	36.5	7	0.3	0	0.0
天栄村	660	75.1	244	27.8	3	0.3	0	0.0
下郷町	60	6.0	2	0.2	0	0.0	0	0.0
檜枝岐村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
只見町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
南会津町	130	4.4	10	0.3	*	*	0	0.0
北塩原村	14	2.9	*	0.1	0	0.0	0	0.0
西会津町	90	7.7	4	0.3	0	0.0	0	0.0
磐梯町	169	31.8	14	2.6	0	0.0	0	0.0
猪苗代町	1,010	42.8	131	5.6	1	*	0	0.0
会津坂下町	1,141	43.3	131	5.0	*	*	0	0.0
湯川村	213	47.6	26	5.7	*	*	0	0.0
柳津町	37	6.6	1	0.3	0	0.0	0	0.0
三島町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
金山町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
昭和村	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
会津美里町	592	18.2	45	1.4	*	*	0	0.0
西郷村	3,227	87.4	1,369	37.1	17	0.4	0	0.0
泉崎村	618	58.9	92	8.7	1	0.1	0	0.0
中島村	553	73.4	127	16.9	1	0.2	0	0.0
矢吹町	2,372	79.6	721	24.2	7	0.2	0	0.0
棚倉町	1,192	53.0	221	9.8	2	0.1	0	0.0
矢祭町	274	29.4	20	2.2	*	*	0	0.0
塙町	408	28.1	30	2.1	*	*	0	0.0
鮫川村	102	21.0	6	1.1	0	0.0	0	0.0
石川町	1,014	40.2	107	4.2	*	*	0	0.0
玉川村	596	61.0	101	10.4	1	0.1	0	0.0
平田村	623	63.2	112	11.4	1	0.1	0	0.0
浅川町	627	65.3	120	12.5	1	0.1	0	0.0
古殿町	407	52.3	62	8.0	*	0.1	0	0.0
三春町	1,621	57.1	263	9.3	2	0.1	0	0.0
小野町	1,192	70.9	225	13.4	2	0.1	0	0.0
広野町	546	56.8	140	14.5	5	0.5	4	0.4
檜葉町	1,173	88.9	510	38.6	10	0.8	6	0.4
富岡町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
川内村	359	65.1	79	14.3	1	0.1	0	0.0
大熊町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
双葉町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
浪江町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
葛尾村	168	78.8	52	24.4	*	0.2	0	0.0
新地町	1,143	88.1	508	39.1	45	3.5	40	3.1
飯館村	566	69.7	85	10.4	1	0.1	0	0.0
合計	220,876	63.1	62,834	18.0	3,053	0.9	2,393	0.7

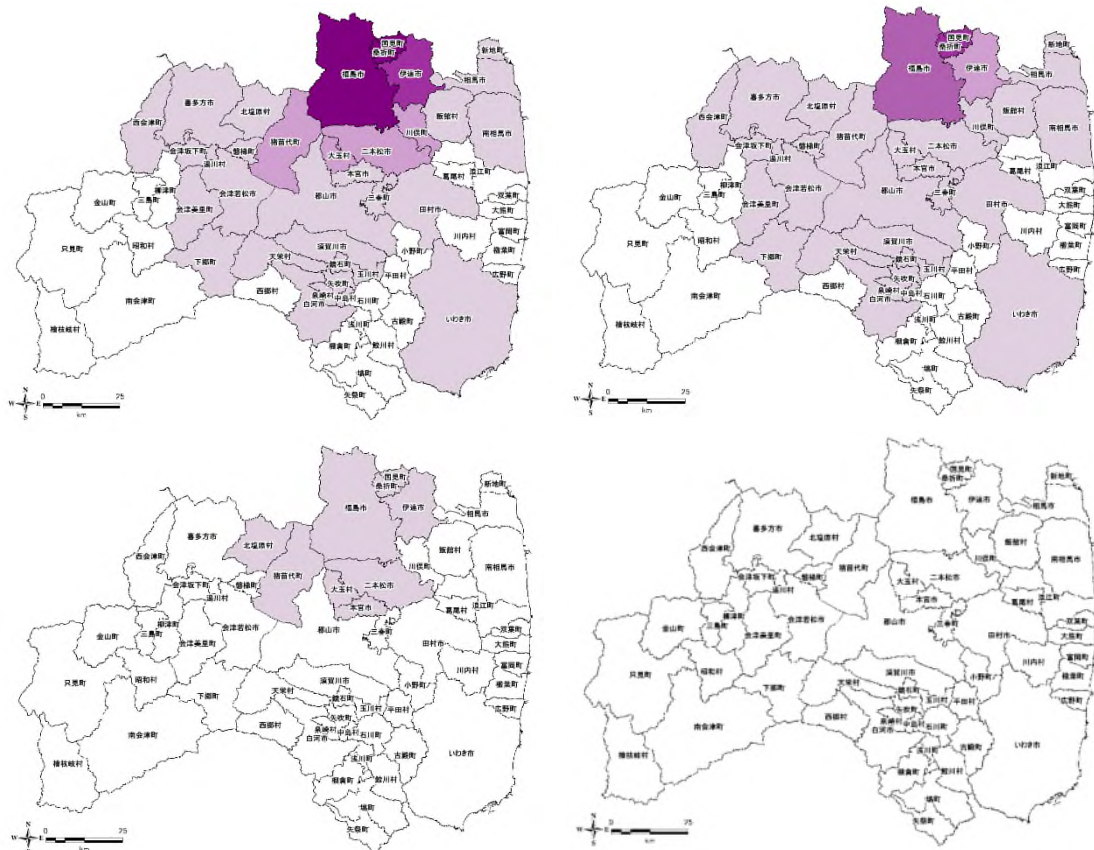
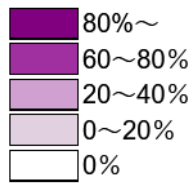
\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定

通信回線不通率



図Ⅲ-3.5-3 通信不通回線率（福島盆地西縁断層帯の地震）

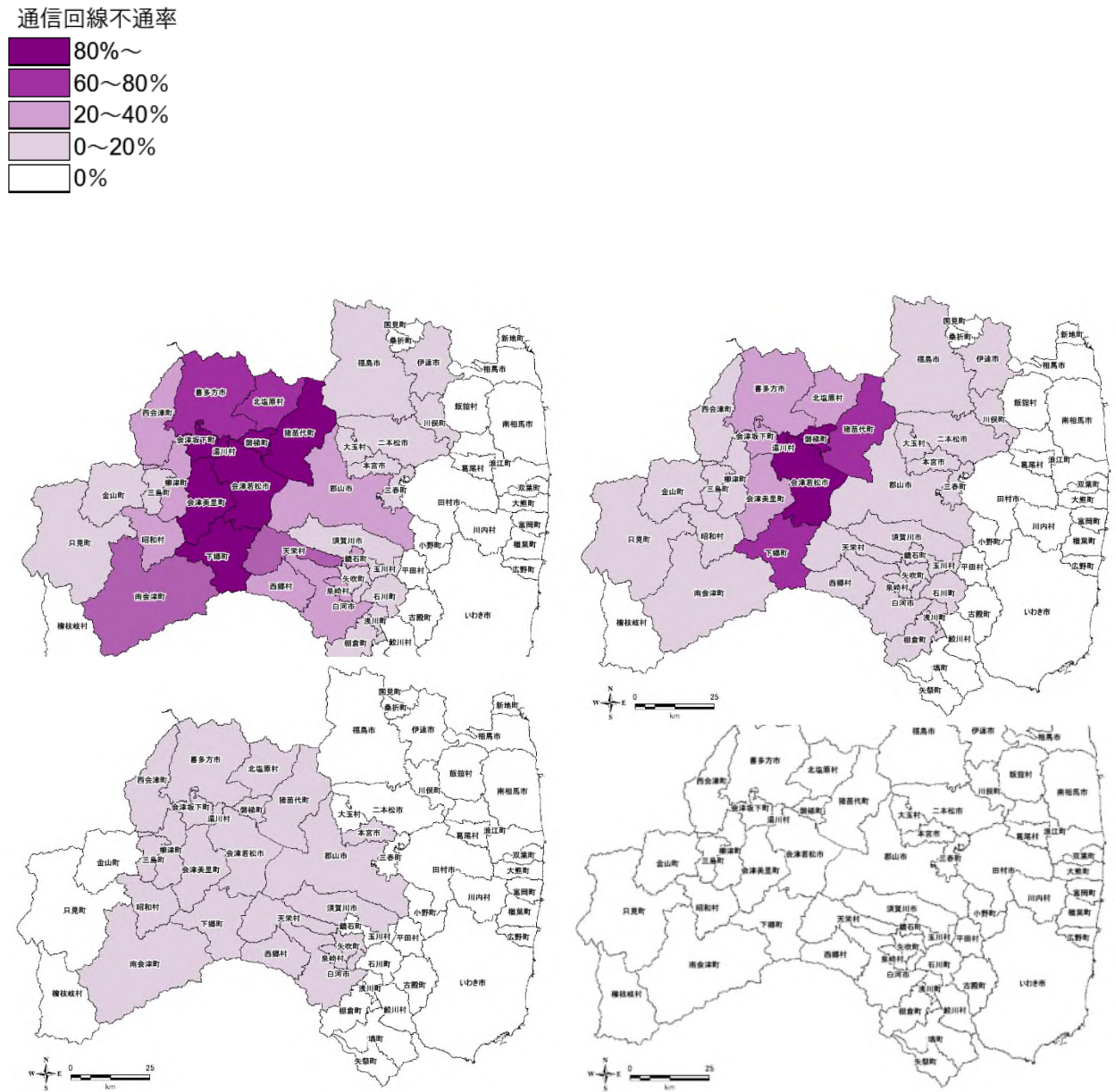
（左上：発災直後、右上：発災１日後、左下：発災１週間後、右下：発災１か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定



図Ⅲ-3.5-4 通信不通回線率（会津盆地東縁断層帯の地震）

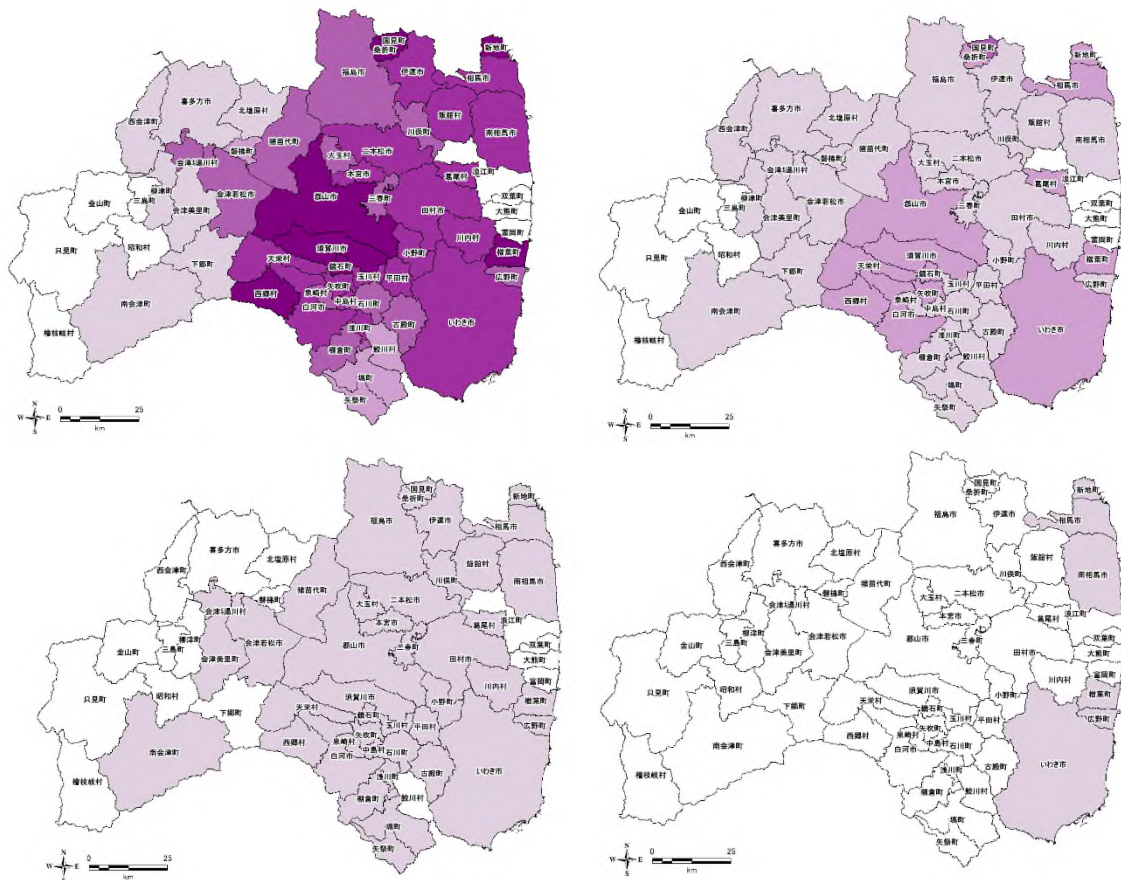
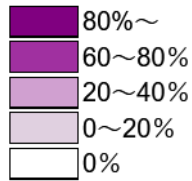
（左上：発災直後、右上：発災１日後、左下：発災１週間後、右下：発災１か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 3. ライフライン被害想定

通信回線不通率



図Ⅲ-3.5-5 通信不通回線率（想定東北地方太平洋沖地震）

（左上：発災直後、右上：発災1日後、左下：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



#### 4. 重要施設の被害について

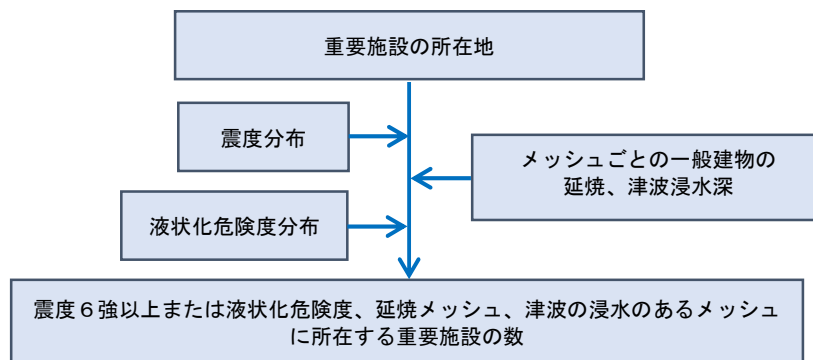
1995 年阪神淡路大震災の時には役所や警察署などの行政の庁舎、学校、病院などの公共の重要な建物が被災し、本来持っている機能を果たすことができなかった。2011 年東日本大震災においても、庁舎が地震・津波等により大きく被災し、発災直後に機能を果たせず、最終的には庁舎を移転せざるを得なくなった市町村が発生した。

##### 4.1 機能支障度の想定方法

対象とした重要施設は、以下の施設とした。

- ① 災害対策本部設置庁舎等（代替えの場所も含む）
- ② 消防拠点施設（消防署、分署）
- ③ 警察関係施設
- ④ 拠点病院
- ⑤ 避難所

重要施設において、大きな震度（揺れ）および延焼によって施設が倒壊または延焼により利用ができなくなるとか、液状化の発生によってライフラインに被害が生じるとか、津波浸水により施設が利用できなくなるなど、支障が生じることから、これらの状況を整理する。



図Ⅲ-4.1-1 重要施設の被害想定フロー

##### 4.2 機能支障度の評価結果

重要施設の震度、液状化、延焼、津波浸水について整理した。表Ⅲ-4.2-1 に重要施設ごとの影響をまとめた。図Ⅲ-4.2-1～図Ⅲ-4.2-8 に震度分布、液状化危険度分布、津波浸水分布と施設を重ねた図を示す。表Ⅲ-4.2-2～表Ⅲ-4.2-16 に市町村ごとに整理したものを示す。

福島盆地西縁断層帯の地震では、震度6強以上に位置する施設は災害対策本部で3施設、消防拠点施設で6施設、警察関連施設で2施設となっており、延焼火災の危険性がある消防拠点施設が1施設となっている。会津盆地東縁断層帯の地震では、震度

### Ⅲ 被害想定について

#### 4. 重要施設の被害想定

6 強以上に位置する施設は、災害対策本部で 10 施設、消防拠点施設で 10 施設、警察関連施設で 4 施設、拠点病院で 1 施設となっている。延焼火災の危険性は、災害対策本部で 2～5 施設、消防拠点施設で 1 施設となっている。想定東北地方太平洋沖地震では、震度 6 強以上に位置する施設は災害対策本部で 12 施設、消防拠点施設で 4 施設、警察関連施設で 6 施設となっている。延焼危険性は、災害対策本部で 1～2 施設、消防拠点施設で 1～2 施設、拠点病院で 1 施設となっている。また、津波浸水エリアには、50cm 以上の浸水深（床上浸水）となる施設が災害拠点本部で 4 施設、消防拠点施設で 4 施設、警察関連施設で 1 施設となっている。

震度 6 強となる施設については、耐震性の確認と対策の検討を行う必要がある。また、津波浸水エリア内にある施設では、電源施設は 1 階にある場合は上階への移動を検討すること必要がある。

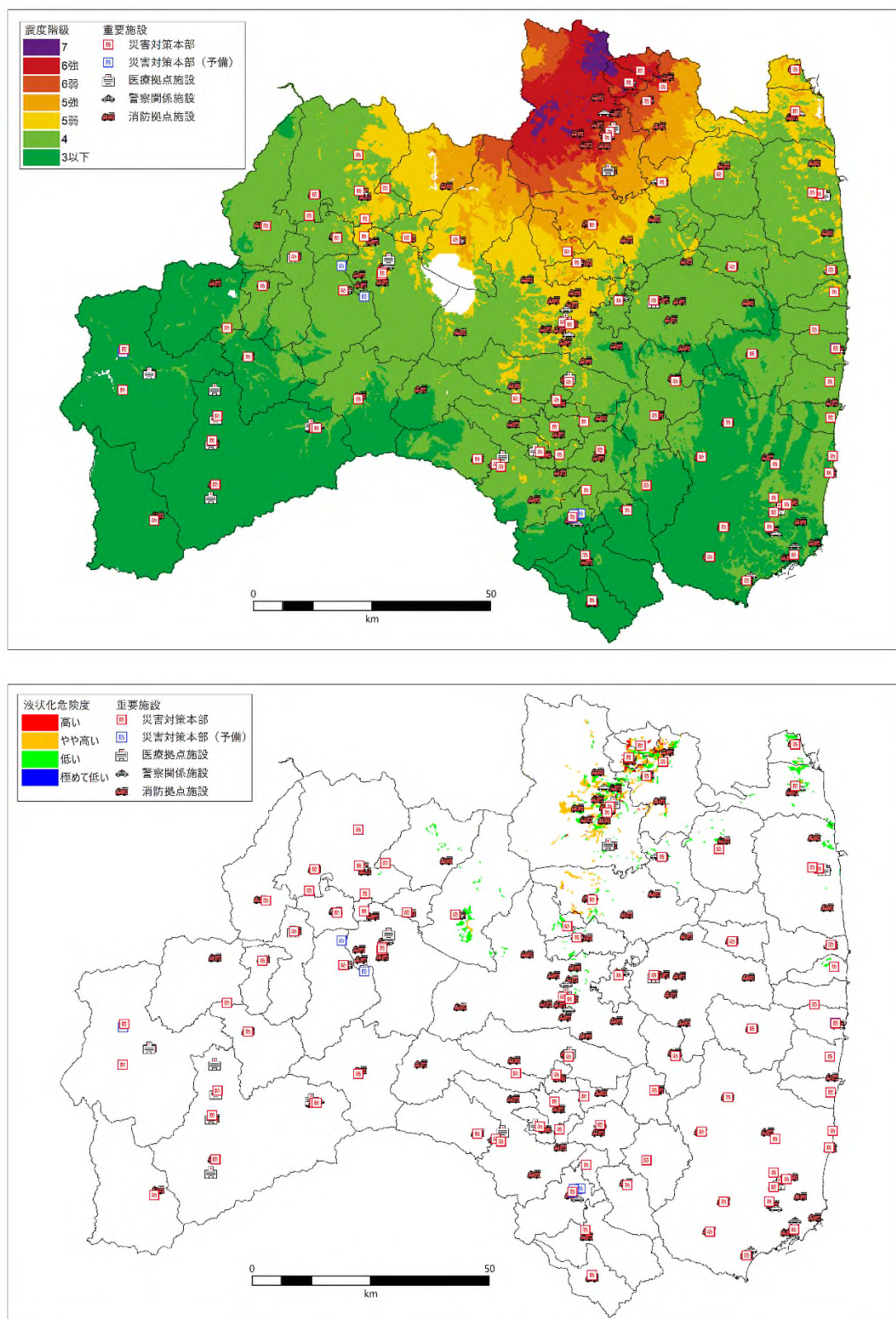
避難所については、耐震診断を行い、耐震性が劣る場合は、耐震対策を検討するか、別の施設の検討を行う、また、津波浸水エリアの避難所にある場合は、避難には適していないことから、浸水エリア外に逃げた方々を収容できる場所の確保を検討する必要がある。

表Ⅲ-4. 2-1 重要施設の機能支障

施設名	地震名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼			津波浸水深	
			震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時	≥1cm	≥50cm
災害対策本部	福島盆地西縁断層帯の地震	96	3	3	0	2	0	0	0	—	—
	会津盆地東縁断層帯の地震	96	5	4	6	3	2	3	5	—	—
	想定東北地方太平洋沖地震	96	29	11	1	27	0	2	1	4	4
消防拠点施設	福島盆地西縁断層帯の地震	108	4	6	0	2	0	1	1	—	—
	会津盆地東縁断層帯の地震	108	6	6	4	4	0	1	0	—	—
	想定東北地方太平洋沖地震	108	51	4	0	24	1	0	2	4	4
警察関連施設	福島盆地西縁断層帯の地震	30	3	2	0	3	0	0	0	—	—
	会津盆地東縁断層帯の地震	30	2	3	1	1	0	0	0	—	—
	想定東北地方太平洋沖地震	30	9	6	0	12	0	0	0	1	1
拠点病院	福島盆地西縁断層帯の地震	18	1	0	0	0	0	0	0	—	—
	会津盆地東縁断層帯の地震	18	1	0	1	1	0	0	0	—	—
	想定東北地方太平洋沖地震	18	4	0	0	2	0	0	1	0	0
避難所	福島盆地西縁断層帯の地震	2450	139	146	6	76	15	18	42	—	—
	会津盆地東縁断層帯の地震	2450	124	74	65	73	6	12	27	—	—
	想定東北地方太平洋沖地震	2450	909	167	1	497	2	9	15	21	16

### Ⅲ 被害想定について

#### 4. 重要施設の被害想定

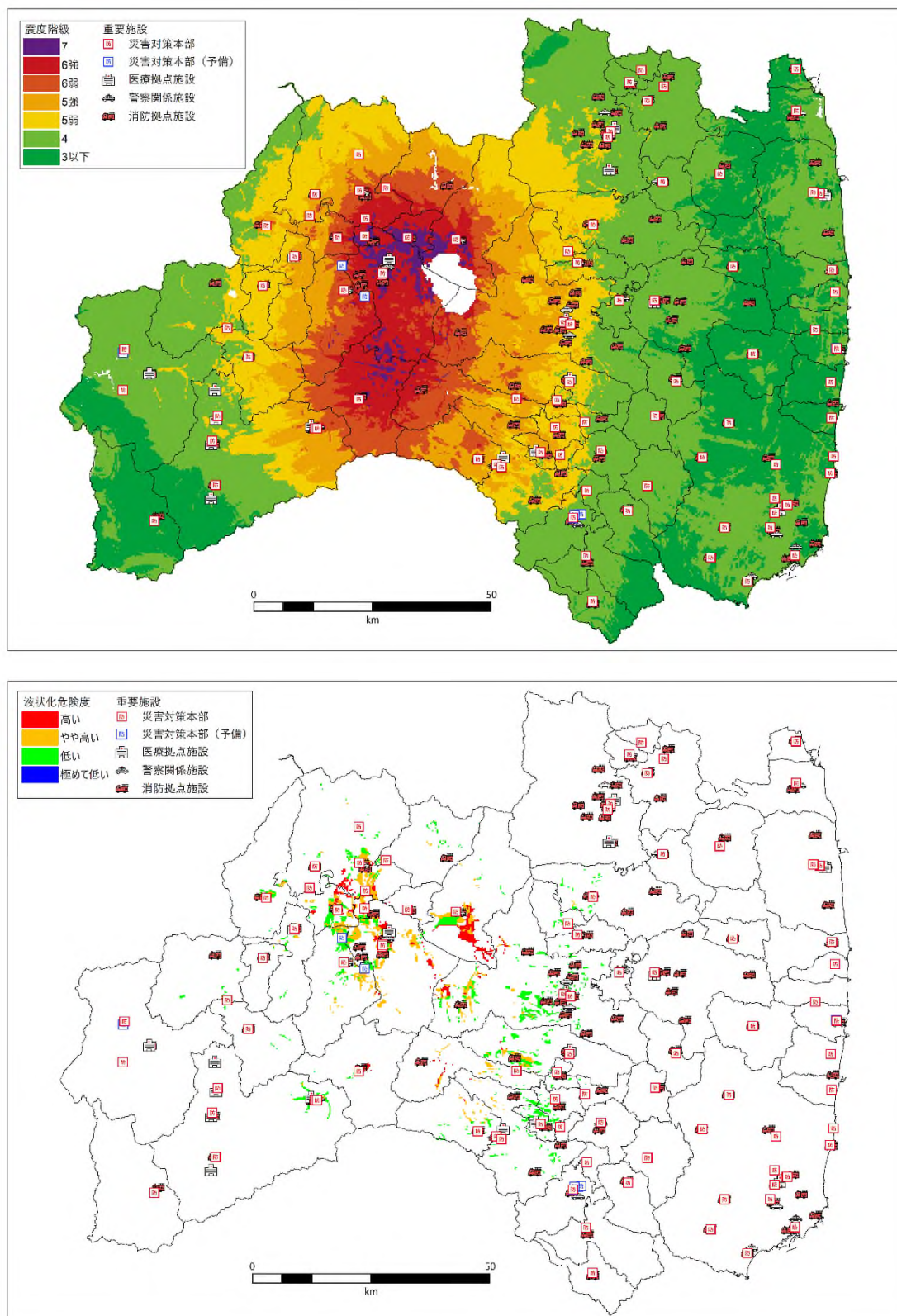


図Ⅲ-4.2-1 重要施設の分布と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（福島盆地西縁断層帯の地震）



### Ⅲ 被害想定について

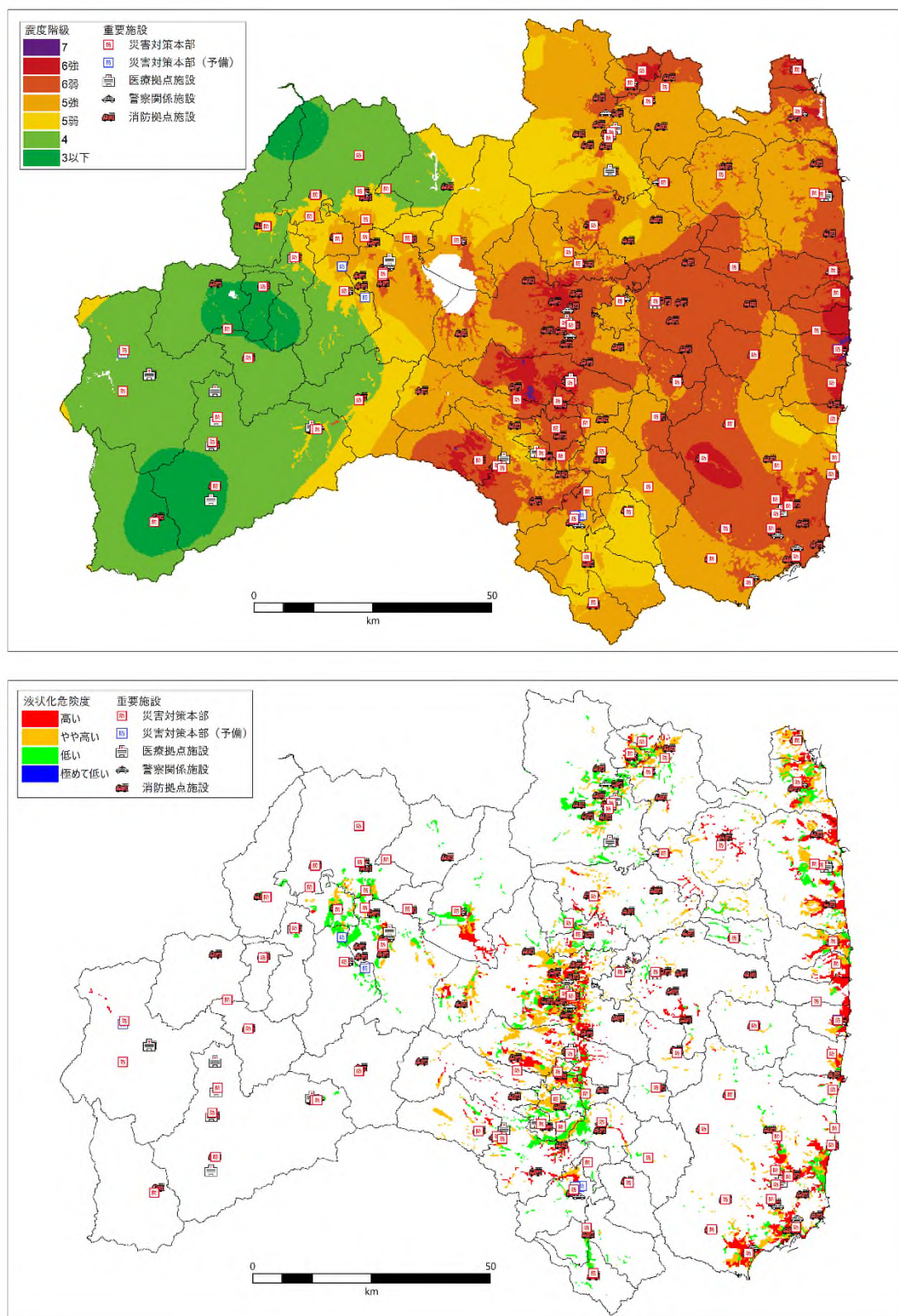
#### 4. 重要施設の被害想定



図Ⅲ-4.2-2 震度分布（上）、液状化危険度（下）と重要施設の分布  
（会津盆地東縁断層帯の地震）

### Ⅲ 被害想定について

#### 4. 重要施設の被害想定

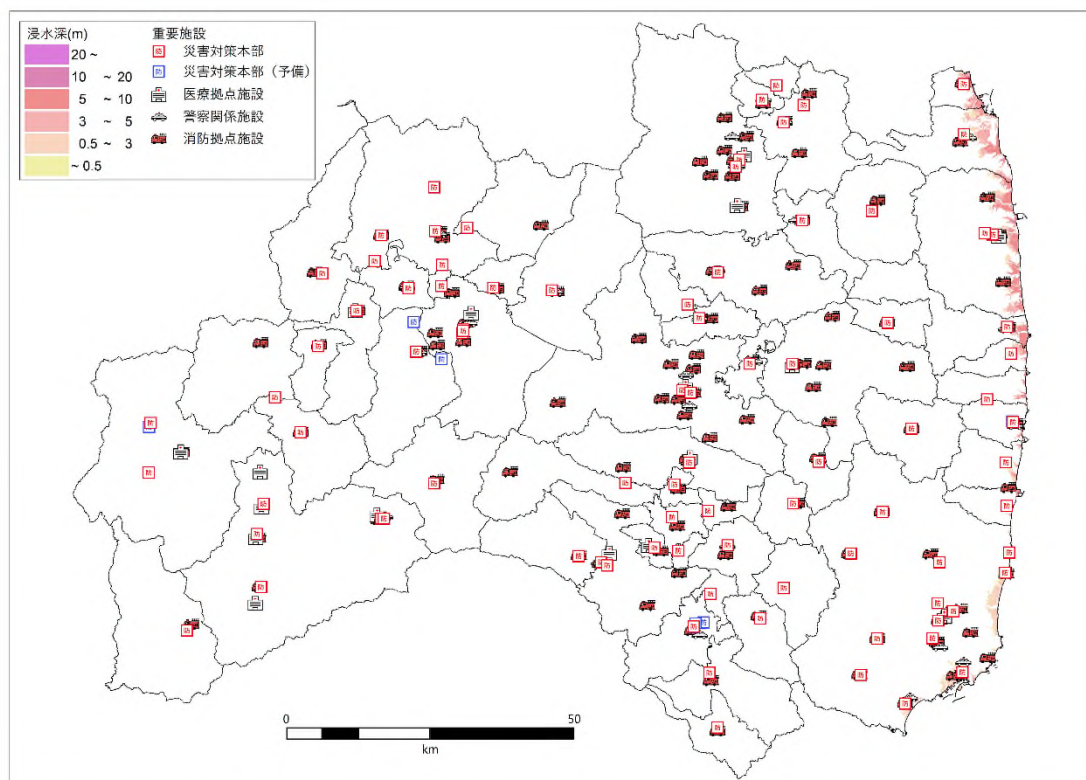


図Ⅲ-4.2-3 震度分布（上）、液状化危険度（下）と重要施設の分布  
（想定東北地方太平洋沖地震）



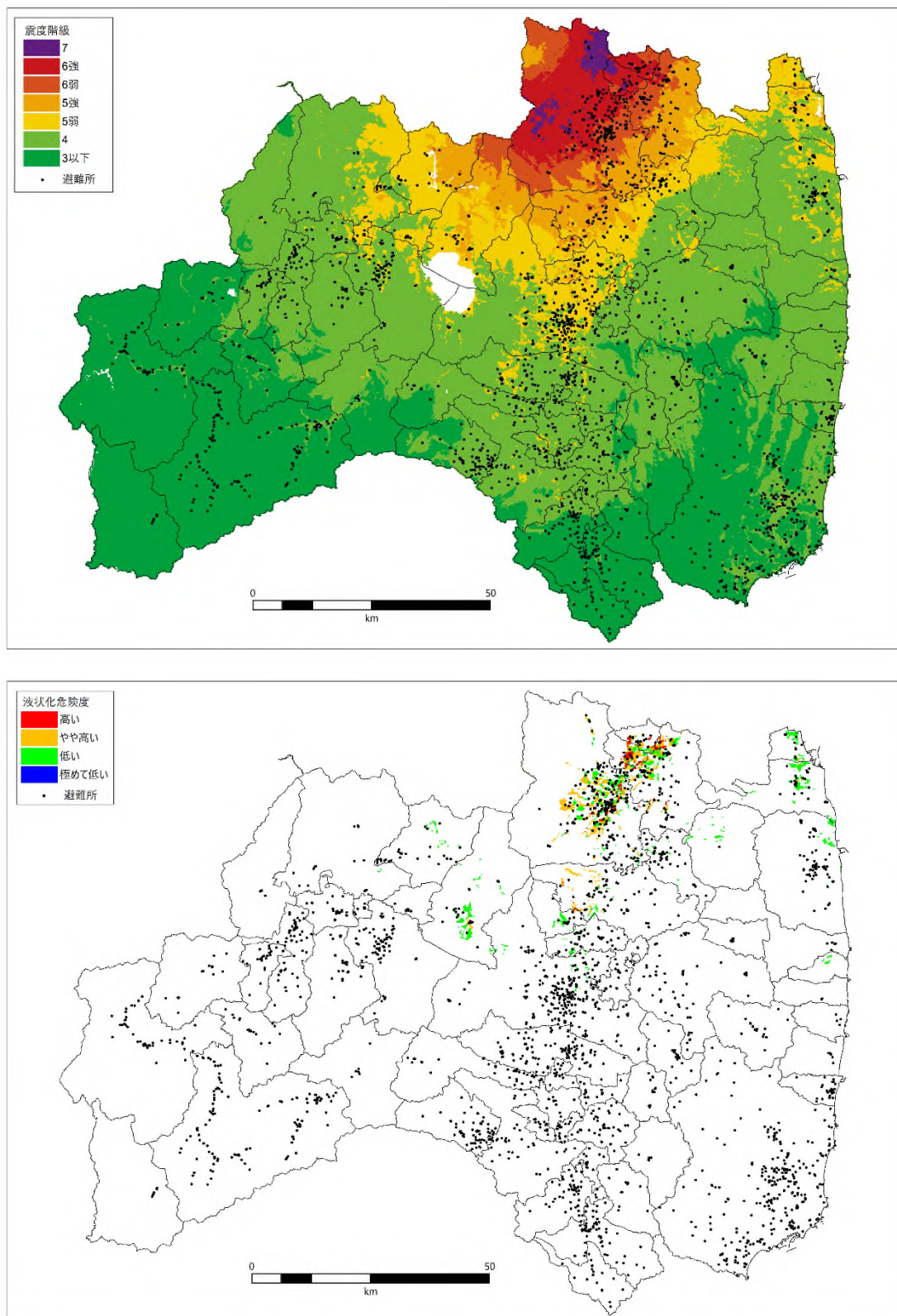
### Ⅲ 被害想定について

#### 4. 重要施設の被害想定



図Ⅲ-4. 2-4 津波浸水分布と重要施設の分布  
(想定東北地方太平洋沖地震)

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

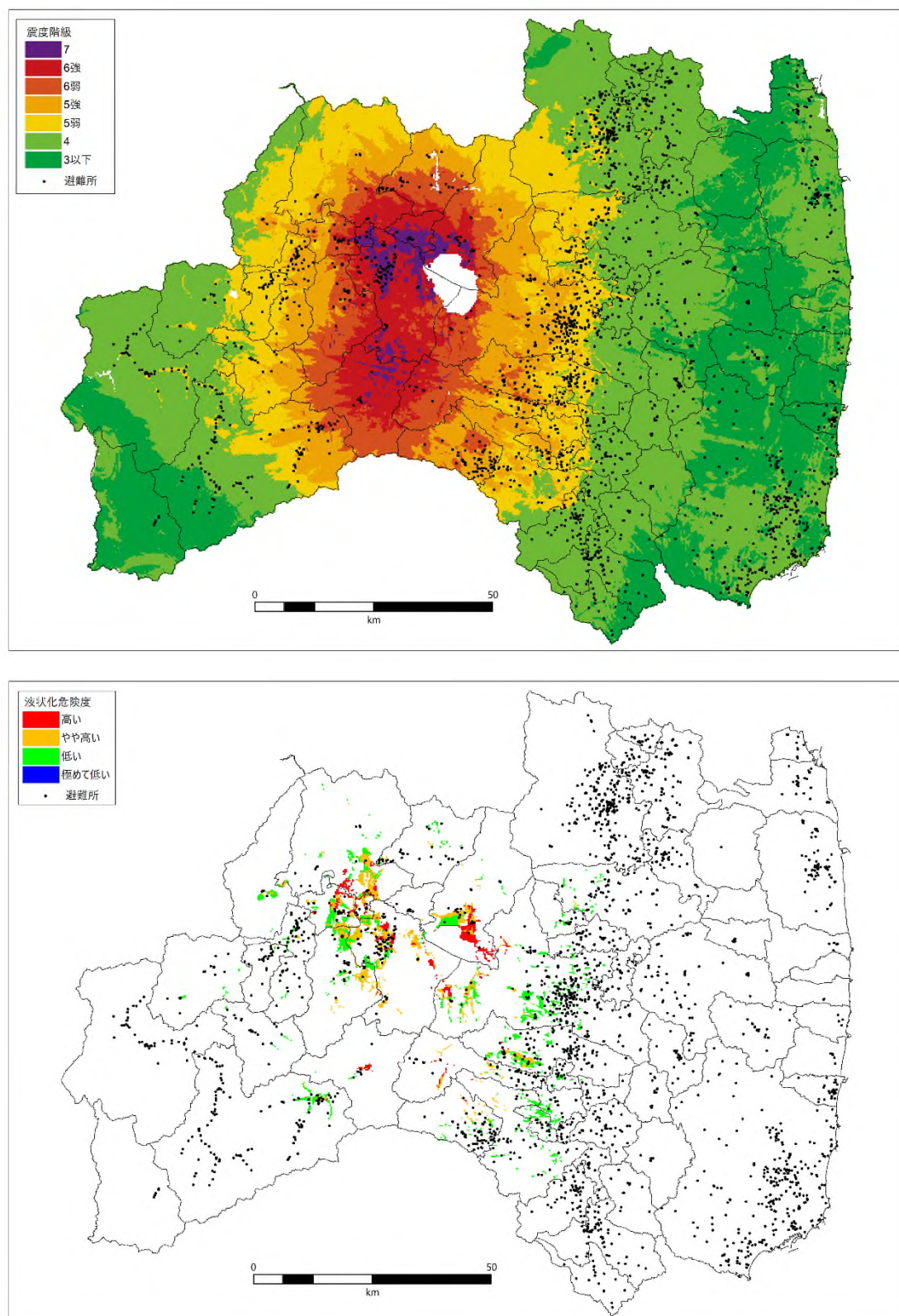


図Ⅲ-4.2-5 震度分布（上）、液状化危険度（下）と避難所の分布  
（福島盆地西縁断層帯の地震）



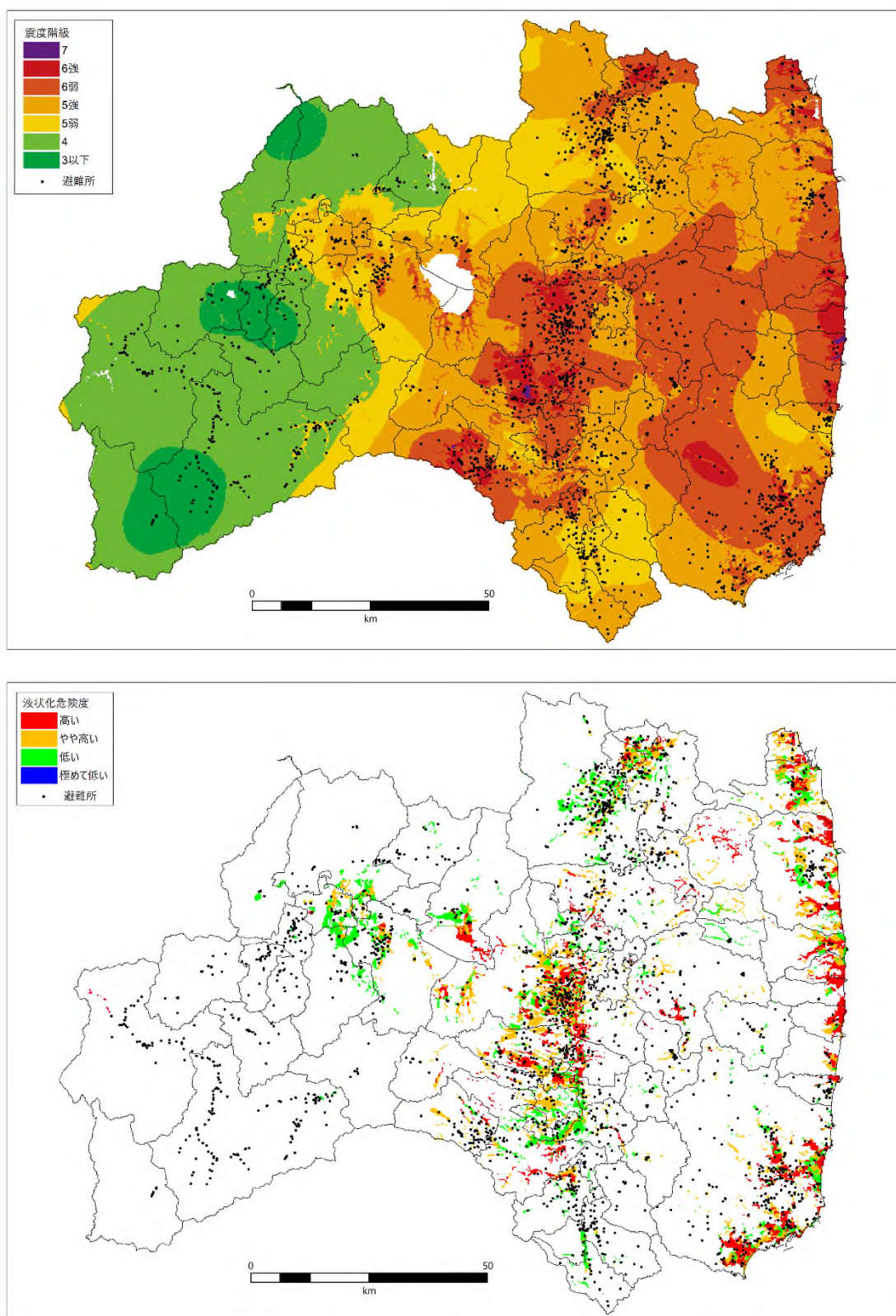
### Ⅲ 被害想定について

#### 4. 重要施設の被害想定



図Ⅲ-4.2-6 震度分布（上）、液状化危険度（下）と避難所の分布  
（会津盆地東縁断層帯の地震）

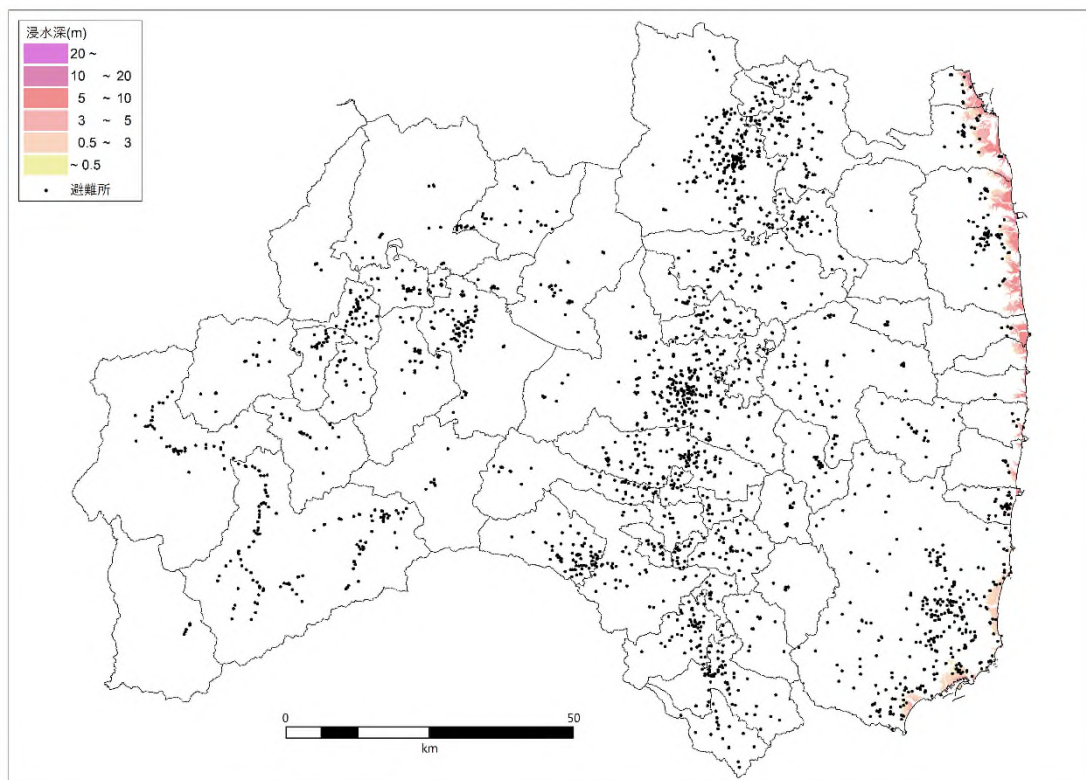
Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定



図Ⅲ-4.2-7 震度分布（上）、液状化危険度（下）と避難所の分布  
（想定東北地方太平洋沖地震）



Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定



図Ⅲ-4.2-8 津波浸水分布と避難所の分布  
(想定東北地方太平洋沖地震)

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4. 2-2 災害対策本部設置庁舎の機能支障（福島盆地西縁断層帯の地震）

福島盆地西縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	2	1	1	0	0	0	0	0
会津若松市	3	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	2	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	14	0	0	0	0	0	0	0
白河市	2	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	5	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	1	0	0	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	2	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	2	2	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	0	1	0	1	0	0	0
国見町	1	0	1	0	1	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	1	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	1	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	1	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	1	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	1	0	0	0	0	0	0	0
只見町	3	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	1	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	1	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	1	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	1	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	1	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	1	0	0	0	0	0	0	0
三島町	1	0	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	1	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	3	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	1	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	0	0	0	0	0	0	0
中島村	1	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	1	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	5	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	1	0	0	0	0	0	0	0
塙町	1	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	1	0	0	0	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	1	0	0	0	0	0	0	0
平田村	1	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	1	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	1	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	0	0	0	0	0	0	0
広野町	1	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	1	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	2	0	0	0	0	0	0	0
川内村	1	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	1	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	1	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	1	0	0	0	0	0	0	0
新地町	1	0	0	0	0	0	0	0
飯舘村	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	96	3	3	0	2	0	0	0

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-3 災害対策本部設置庁舎の機能支障（会津盆地東縁断層帯の地震）

会津盆地東縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	2	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	3	0	0	3	1	1	1	1
郡山市	2	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	14	0	0	0	0	0	0	0
白河市	2	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	5	1	1	0	0	0	0	1
相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	1	0	0	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	2	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	2	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	0	0	0	0	0	0	0
国見町	1	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	1	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	1	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	1	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	1	0	1	0	0	0	0	0
檜枝岐村	1	0	0	0	0	0	0	0
只見町	3	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	1	0	0	0	0	0	0
北塩原村	1	1	0	0	0	0	0	0
西会津町	1	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	1	0	0	1	0	1	1	1
猪苗代町	1	0	0	1	1	0	0	0
会津坂下町	1	0	1	0	0	0	0	0
湯川村	1	0	0	1	0	0	0	0
柳津町	1	0	0	0	0	0	0	0
三島町	1	0	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	1	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	3	2	1	0	1	0	1	2
西郷村	1	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	0	0	0	0	0	0	0
中島村	1	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	1	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	5	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	1	0	0	0	0	0	0	0
塙町	1	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	1	0	0	0	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	1	0	0	0	0	0	0	0
平田村	1	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	1	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	1	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	0	0	0	0	0	0	0
広野町	1	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	1	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	2	0	0	0	0	0	0	0
川内村	1	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	1	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	1	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	1	0	0	0	0	0	0	0
新地町	1	0	0	0	0	0	0	0
飯舘村	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	96	5	4	6	3	2	3	5

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-4 災害対策本部設置庁舎の機能支障（想定東北地方太平洋沖地震）

想定東北地方太平洋沖地震										
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼			津波浸水深	
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時	≥1cm	≥50cm
福島市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0
いわき市	14	10	2	0	7	0	0	0	4	4
白河市	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
喜多方市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
二本松市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
国見町	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
天栄村	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
会津坂下町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
中島村	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
棚倉町	5	2	0	0	2	0	0	0	0	0
矢祭町	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
塙町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
平田村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
広野町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
富岡町	2	1	1	0	2	0	0	0	0	0
川内村	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0
浪江町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
葛尾村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
飯館村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	96	28	11	1	27	0	2	1	4	4

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4. 2-5 消防拠点施設の機能支障（福島盆地西縁断層帯の地震）

福島盆地西縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	8	2	5	0	1	0	1	1
会津若松市	5	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	11	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	14	0	0	0	0	0	0	0
白河市	4	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	2	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	5	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	3	0	0	0	0	0	0	0
田村市	7	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	3	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	3	2	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	0	1	0	1	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	1	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	1	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	1	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	1	0	0	0	0	0	0	0
只見町	1	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	3	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	1	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	1	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	1	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	1	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	2	0	0	0	0	0	0	0
三島町	1	0	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	1	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	1	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	1	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	1	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	1	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	1	0	0	0	0	0	0	0
塙町	1	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	1	0	0	0	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	1	0	0	0	0	0	0	0
平田村	1	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	2	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	1	0	0	0	0	0	0	0
川内村	1	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	1	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	1	0	0	0	0	0	0	0
新地町	1	0	0	0	0	0	0	0
飯舘村	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	108	4	6	0	2	0	1	1



Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4. 2-6 消防拠点施設の機能支障（会津盆地東縁断層帯の地震）

会津盆地東縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	8	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	5	1	1	3	2	0	1	0
郡山市	11	0	1	0	0	0	0	0
いわき市	14	0	0	0	0	0	0	0
白河市	4	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	2	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	5	3	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	3	0	0	0	0	0	0	0
田村市	7	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	3	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	3	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	1	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	1	0	1	0	0	0	0	0
下郷町	1	0	1	0	1	0	0	0
檜枝岐村	1	0	0	0	0	0	0	0
只見町	1	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	3	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	1	1	0	0	0	0	0	0
西会津町	1	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	1	0	0	1	0	0	0	0
猪苗代町	1	0	1	0	1	0	0	0
会津坂下町	1	0	1	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	2	0	0	0	0	0	0	0
三島町	1	0	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	1	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	1	1	0	0	0	0	0	0
西郷村	1	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	1	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	1	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	1	0	0	0	0	0	0	0
塙町	1	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	1	0	0	0	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	1	0	0	0	0	0	0	0
平田村	1	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	2	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	1	0	0	0	0	0	0	0
川内村	1	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	1	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	1	0	0	0	0	0	0	0
新地町	1	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	108	6	6	4	4	0	1	0

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-7 消防拠点施設の機能支障（想定東北地方太平洋沖地震）

想定東北地方太平洋沖地震										
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼			津波浸水深	
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時	≥1cm	≥50cm
亶島市	8	1	0	0	1	0	0	0	0	0
会津若松市	5	1	0	0	2	0	0	0	0	0
耶山市	11	8	2	0	3	1	0	1	0	0
いわき市	14	12	0	0	6	0	0	1	3	3
白河市	4	3	0	0	2	0	0	0	0	0
須賀川市	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0
喜多方市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0
丑村市	7	7	0	0	1	0	0	0	0	0
菊相馬市	3	3	0	0	1	0	0	0	1	1
伊達市	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
天栄村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
會枝岐村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菊会津町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天吹町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天祭町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
高町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
綾川村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
巨川町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
玄野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
曾根町	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
良江町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
葛尾村	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
飯館村	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	108	51	4	0	24	1	0	2	4	4

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-8 警察関連施設の機能支障（福島盆地西縁断層帯の地震）

福島盆地西縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	3	2	1	0	2	0	0	0
会津若松市	1	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	2	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	4	0	0	0	0	0	0	0
白河市	1	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	1	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	1	0	0	0	0	0	0	0
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	1	1	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	0	1	0	1	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	1	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	1	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	1	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	1	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	1	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	1	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0
飯舘村	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	3	2	0	3	0	0	0

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-9 警察関連施設の機能支障（会津盆地東縁断層帯の地震）

会津盆地東縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	3	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	1	0	0	1	0	0	0	0
郡山市	2	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	4	0	0	0	0	0	0	0
白河市	1	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	1	1	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	1	0	0	0	0	0	0	0
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	1	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	1	0	1	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	0	1	0	1	0	0	0
会津坂下町	1	0	1	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	1	1	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	1	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	1	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	1	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	2	3	1	1	0	0	0

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-10 警察関連施設の機能支障（想定東北地方太平洋沖地震）

想定東北地方太平洋沖地震										
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼			津波浸水深	
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時	≥1cm	≥50cm
福島市	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0
会津若松市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0
いわき市	4	1	2	0	4	0	0	0	1	1
白河市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
喜多方市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
二本松市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	9	6	0	12	0	0	0	1	1

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4. 2-11 拠点病院の機能支障（福島盆地西縁断層帯の地震）

福島盆地西縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	2	1	0	0	0	0	0	0
会津若松市	1	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	1	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	1	0	0	0	0	0	0	0
白河市	1	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	0	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	2	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	0	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	1	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	1	0	0	0	0	0	0

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4. 2-12 拠点病院の機能支障（会津盆地東縁断層帯の地震）

会津盆地東縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	2	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	1	0	0	1	1	0	0	0
郡山市	1	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	1	0	0	0	0	0	0	0
白河市	1	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	0	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	2	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	1	0	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	0	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	1	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0
飯舘村	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	1	0	1	1	0	0	0



Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4. 2-13 拠点病院の機能支障（想定東北地方太平洋沖地震）

想定東北地方太平洋沖地震										
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼			津波浸水深	
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時	≥1cm	≥50cm
福島市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
郡山市	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
いわき市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
南相馬市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楡葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	4	0	0	2	0	0	1	0	0

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-14 避難所の機能支障（福島盆地西縁断層帯の地震）

福島盆地西縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	220	85	91	6	42	10	12	22
会津若松市	64	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	251	2	1	0	0	0	0	1
いわき市	282	0	0	0	0	0	0	0
白河市	30	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	102	0	0	0	0	0	0	0
喜多方市	17	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	26	0	0	0	1	0	0	0
二本松市	59	3	0	0	0	0	0	0
田村市	66	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	78	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	97	46	11	0	14	0	4	7
本宮市	44	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	21	0	20	0	11	1	1	8
国見町	24	2	22	0	8	3	1	3
川俣町	52	0	1	0	0	1	0	1
大玉村	15	1	0	0	0	0	0	0
鏡石町	16	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	38	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	5	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	5	0	0	0	0	0	0	0
只見町	45	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	132	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	38	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	4	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	10	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	23	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	29	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	10	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	63	0	0	0	0	0	0	0
三島町	27	0	0	0	0	0	0	0
金山町	17	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	18	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	37	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	67	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	14	0	0	0	0	0	0	0
中島村	19	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	12	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	54	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	18	0	0	0	0	0	0	0
塙町	62	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	12	0	0	0	0	0	0	0
石川町	45	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	17	0	0	0	0	0	0	0
平田村	14	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	14	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	7	0	0	0	0	0	0	0
三春町	23	0	0	0	0	0	0	0
小野町	21	0	0	0	0	0	0	0
広野町	32	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	6	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	6	0	0	0	0	0	0	0
川内村	17	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	2	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	5	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	6	0	0	0	0	0	0	0
新地町	11	0	0	0	0	0	0	0
飯舘村	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	2450	139	146	6	76	15	18	42

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-15 避難所の機能支障（会津盆地東縁断層帯の地震）

会津盆地東縁断層帯の地震								
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼		
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時
福島市	220	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	64	2	31	31	21	3	6	13
郡山市	251	1	6	1	3	0	0	0
いわき市	282	0	0	0	0	0	0	0
白河市	30	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	102	4	0	1	8	1	1	1
喜多方市	17	1	4	2	5	0	0	0
相馬市	26	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	59	0	0	0	0	0	0	0
田村市	66	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	78	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	97	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	44	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	21	0	1	0	0	0	0	0
国見町	24	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	52	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	15	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	16	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	38	4	7	0	1	0	0	0
下郷町	5	0	5	0	1	0	0	0
檜枝岐村	5	0	0	0	0	0	0	0
只見町	45	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	132	22	2	0	5	0	0	0
北塩原村	38	26	1	1	1	0	0	0
西会津町	4	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	10	0	0	10	0	2	2	3
猪苗代町	23	2	8	9	8	0	2	5
会津坂下町	29	18	4	0	8	0	0	2
湯川村	10	0	0	10	0	0	1	1
柳津町	63	3	0	0	1	0	0	0
三島町	27	0	0	0	0	0	0	0
金山町	17	0	1	0	0	0	0	0
昭和村	18	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	37	30	4	0	8	0	0	2
西郷村	67	11	0	0	3	0	0	0
泉崎村	14	0	0	0	0	0	0	0
中島村	19	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	12	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	54	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	18	0	0	0	0	0	0	0
塙町	62	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	12	0	0	0	0	0	0	0
石川町	45	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	17	0	0	0	0	0	0	0
平田村	14	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	14	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	7	0	0	0	0	0	0	0
三春町	23	0	0	0	0	0	0	0
小野町	21	0	0	0	0	0	0	0
広野町	32	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	6	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	6	0	0	0	0	0	0	0
川内村	17	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	2	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	5	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	6	0	0	0	0	0	0	0
新地町	11	0	0	0	0	0	0	0
飯舘村	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	2450	124	74	65	73	6	12	27

Ⅲ 被害想定について  
4. 重要施設の被害想定

表Ⅲ-4.2-16 避難所の機能支障（想定東北地方太平洋沖地震）

想定東北地方太平洋沖地震										
市町村名	施設数	揺れ			液状化 PL値>5	延焼			津波浸水深	
		震度6弱	震度6強	震度7		冬5時	夏12時	冬18時	≥1cm	≥50cm
亅島市	220	31	1	0	33	0	0	0	0	0
亅津若松市	64	11	0	0	12	0	0	0	0	0
亅山市	251	196	37	0	110	0	4	6	0	0
亅わき市	282	171	15	0	98	0	0	0	14	10
亅河市	30	13	1	0	2	0	0	1	0	0
亅賀川市	102	60	33	1	32	2	1	3	0	0
亅多方市	17	0	0	0	3	0	0	0	0	0
亅馬市	26	16	1	0	15	0	0	0	3	2
亅本松市	59	23	1	0	3	0	0	0	0	0
亅村市	66	60	0	0	10	0	3	0	0	0
亅相馬市	78	45	0	0	13	0	0	0	2	2
亅達市	97	25	0	0	17	0	0	0	0	0
亅宮市	44	18	8	0	12	0	0	0	0	0
亅折町	21	15	3	0	11	0	0	0	0	0
亅見町	24	7	17	0	8	0	0	1	0	0
亅俣町	52	5	2	0	9	0	0	0	0	0
亅玉村	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0
亅石町	16	12	4	0	8	0	0	0	0	0
亅柴村	38	10	13	0	2	0	0	0	0	0
亅郷町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅枝岐村	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅見町	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅会津町	132	4	0	0	0	0	0	0	0	0
亅塩原村	38	4	0	0	5	0	0	0	0	0
亅会津町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅梯町	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅苗代町	23	5	0	0	7	0	0	0	0	0
亅津坂下町	29	1	1	0	6	0	0	0	0	0
亅川村	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅津町	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅島町	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅山町	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅和村	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅津美里町	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅郷村	67	52	14	0	10	0	1	0	0	0
亅崎村	14	7	0	0	1	0	0	0	0	0
亅島村	19	13	0	0	2	0	0	0	0	0
亅吹町	12	10	1	0	5	0	0	0	0	0
亅倉町	54	19	0	0	15	0	0	0	0	0
亅祭町	18	0	0	0	1	0	0	0	0	0
亅町	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅川村	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅川町	45	5	1	0	12	0	0	0	0	0
亅川村	17	4	0	0	5	0	0	0	0	0
亅田村	14	6	0	0	0	0	0	0	0	0
亅川町	14	8	0	0	0	0	0	0	0	0
亅殿町	7	0	0	0	3	0	0	0	0	0
亅春町	23	3	0	0	0	0	0	0	0	0
亅野町	21	16	0	0	4	0	0	0	0	0
亅野町	32	5	0	0	2	0	0	0	0	0
亅葉町	6	2	3	0	5	0	0	0	0	0
亅岡町	6	4	2	0	4	0	0	2	0	0
亅内村	17	9	0	0	3	0	0	0	0	0
亅熊町	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
亅葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亅江町	5	1	4	0	4	0	0	0	2	2
亅尾村	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0
亅地町	11	6	5	0	5	0	0	2	0	0
亅館村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2450	909	167	1	497	2	9	15	21	16

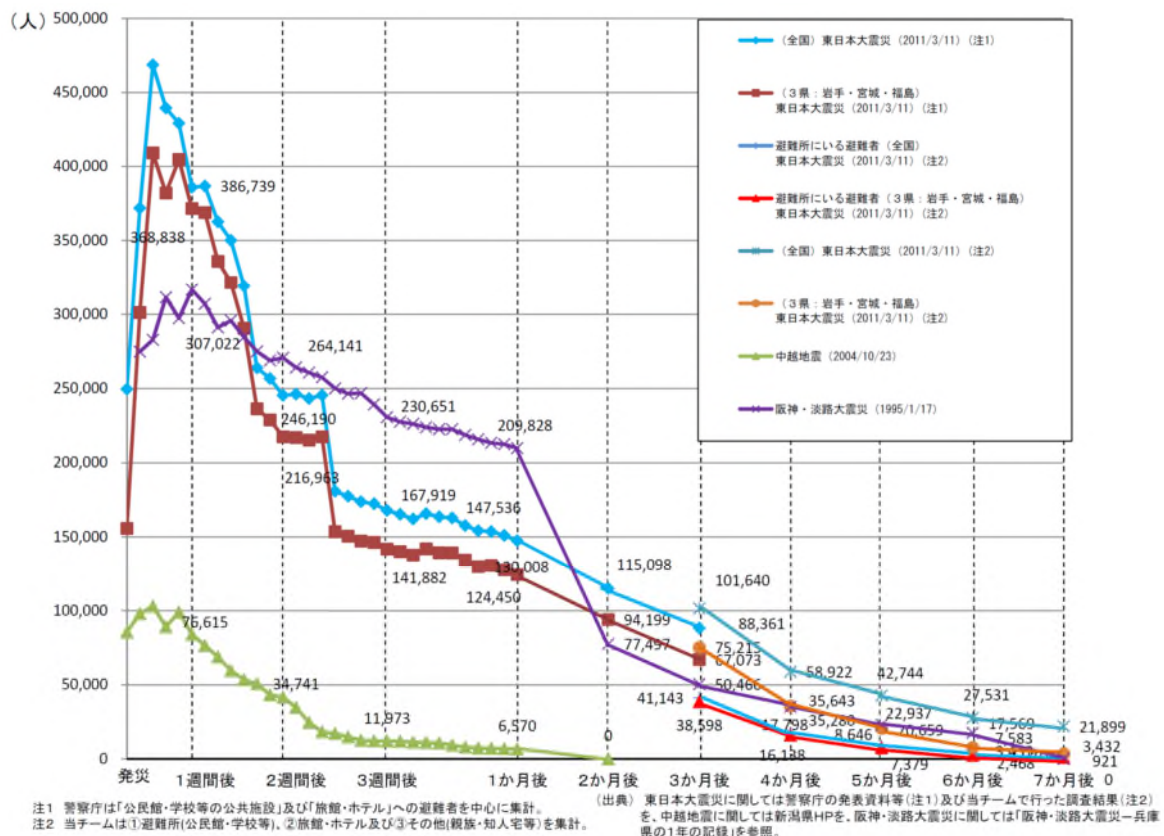
### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について

#### 5. 生活支障について

##### 5.1 避難者

東日本大震災の避難所生活者の推移を図Ⅲ-5.1-1に示す。東日本大震災では、全国で3日目に最大約47万人の避難者が発生している（青線）。岩手県、宮城県、福島県の3件の合計では3日目に約41万人、5日目に40万人強の避難者が発生している（茶色）。これらは津波被災による沿岸市町村の避難者が多くを占めていると考えられる。



図Ⅲ-5.1-1 東日本大震災の避難所生活者の推移

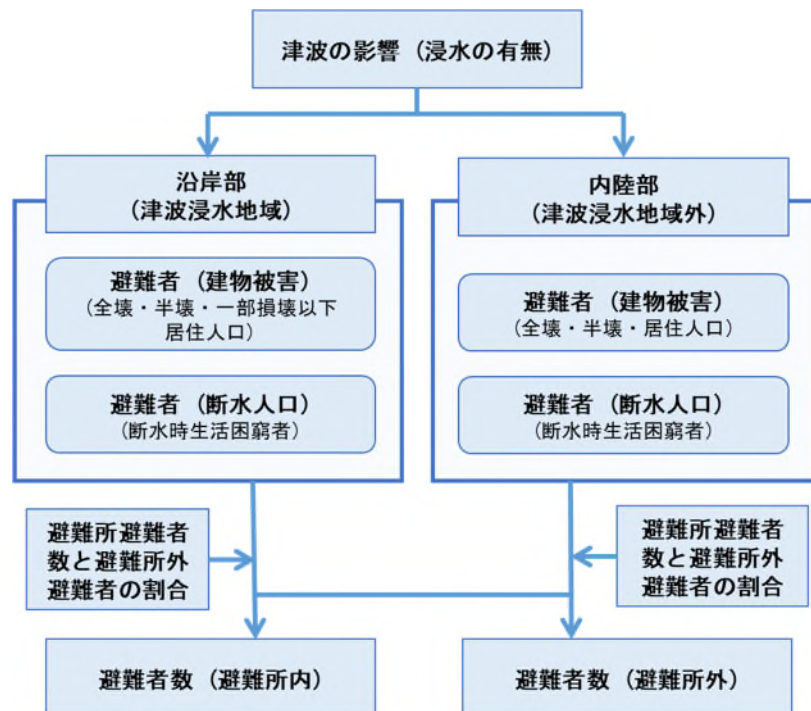
復興庁(平成23年10月12日)Ⅲ-45)

##### 5.1.1 避難者の想定手法

被災時の避難者数は、中央防災会議(2013、南海トラフ)による方法を用いる。津波の影響を受けない範囲（津波浸水地域外）と、津波の影響を受ける範囲（津波浸水地域）の避難者数を分けて算出する。

$$\begin{aligned}
 \text{(全避難者数)} &= \text{(津波の影響を受けない範囲の避難者数)} \\
 &+ \text{(津波の影響を受ける範囲の避難者数)}
 \end{aligned}$$

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について



図Ⅲ-5.1-2 避難者数の予測フロー

(1) 津波の影響を受けない範囲（津波浸水地域外）

1) 避難者数

津波浸水地域外の避難者数は、建物被害と断水人口、1 棟当たりの平均居住者数及び断水時生活困窮度より、発災当日、1 週間後、1 ヶ月後の避難者数を算出した。

$$\begin{aligned} & \text{（全避難者数）} \\ & = \text{（全壊住宅棟数} + 0.13 \times \text{半壊住宅棟数）} \\ & \quad \times \text{（1 棟当たり平均居住者数）} + \text{（断水人口}^{\ast 1}\text{）} \times \text{（断水時生活困窮度}^{\ast 2}\text{）} \end{aligned}$$

※1: 断水人口は、自宅建物被害を原因とする避難者を除く断水世帯人員を示す。

※2: 断水時生活困窮度とは、断水が継続されることにより自宅で生活し続けることが困難となる度合を表したものである。時間とともにこの度合は大きくなり、阪神・淡路大震災の事例では、水が入手可能ならば、自宅の被害が大きくない場合は、自宅で生活し、半壊の場合でも水道が復旧すると避難所から自宅に帰っていた。逆に断水の場合には断水時生活困窮度が増し、自宅での生活が難しいため、避難所で生活していた。

（当日・1 日後）0.0 ⇒ （1 週間後）0.25 ⇒ （1 ヶ月後）0.90

2) 避難所避難者と避難所外避難者の割合

避難所避難者と避難所外避難者の推定については、阪神・淡路大震災の実績を考慮して、発災当日、1 週間後、1 ヶ月後の避難所避難者と避難所外避難者の割合を以下のように設定した。

$$\begin{aligned} & \text{（避難所避難者：避難所外避難者）} \\ & \text{（当日・1 日後）} 60:40 \Rightarrow \text{（1 週間後）} 50:50 \Rightarrow \text{（1 ヶ月後）} 30:70 \end{aligned}$$

(2) 津波の影響を受ける範囲（津波浸水地域内）

1) 発災後 3 日間における避難者数

発災後 3 日間における、津波浸水地域内の避難者数は、揺れ及び液状化等に加えて津波による住宅被害から避難者数を算出した。

$$\begin{aligned} & \text{（全避難者数）} = \text{（全壊住宅棟数} + \text{半壊住宅棟数}^{\ast 1}\text{）} \\ & \quad \times \text{（1 棟当たり平均居住者数）} + \text{（一部破損以下の居住者数}^{\ast 2}\text{）} \end{aligned}$$

※1: 半壊住宅も、屋内への漂流物等により、自宅では生活不可

※2: 津波警報に伴う避難指示により全員が避難する（床下浸水含む）

2) 発災後 3 日間における避難所避難者と避難所外避難者の割合

東日本大震災における浸水範囲の全人口約 60 万人（総務省統計局の集計より）と東日本大震災の沿岸部の避難所避難者数の約 40 万人より、次のように想定した。

避難所避難者数：避難所外避難者数 = 40(60-40) = 2:1

$$\begin{aligned} & \text{（避難所避難者数（発災当日～発災 2 日後））} = \\ & \quad \text{（津波浸水地域の居住人口）} \times 2/3 \end{aligned}$$



3) 発災後4日目以降における避難者数

津波浸水地域内の、発災後4日目以降における避難者数は、「a. 津波の影響を受けない範囲（内陸部：津波浸水地域外）」に示した手法と同様の手法により算出した。

（全避難者数）

$$= (\text{全壊住宅棟数} + 0.13 \times \text{半壊住宅棟数}) \times (\text{1棟当たり平均居住者数}) \\ + (\text{断水人口}) \times (\text{断水時生活困窮度})$$

ここで、断水時生活困窮度は、(1週間後)0.25 ⇒ (1か月後)0.90

4) 発災後4日目以降における避難所避難者と避難所外避難者の割合

東日本大震災の避難実績及び南海トラフ巨大地震による被害の甚大性・広域性を考慮して、1週間後、1ヶ月後の避難所避難者と避難所外避難者の割合を次のように想定した。

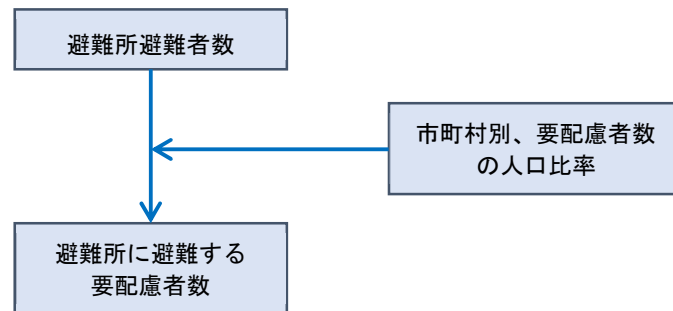
（避難所避難者：避難所外避難者）

（1週間後）90:10 ⇒ （1ヶ月後）30:70

(3) 要配慮者の避難者

中央防災会議(2013、南海トラフ)の手法を基に、避難所避難者数の内訳として、人口比率より避難所に避難する要配慮者数を算出した。避難所での対応等の参考に資するよう、幅広い要配慮者を対象に算出するものとし、重複の除去は行わない(内数に含めるものとする)。

要配慮者の割合は前述で示した表Ⅲ-2.2-15を使用した。



図Ⅲ-5.1-3 避難所に避難する要配慮者数の予測手順  
(中央防災会議(2013、南海トラフ)を一部修正)

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

5.1.2 避難者の想定結果

表Ⅲ-5.1-1～表Ⅲ-5.1-9 に各地震における避難者数の想定結果を示し、図Ⅲ-5.1-4～図Ⅲ-5.1-12 に避難者数分布を示す。

発災直後においては、断水による避難は発生しない想定であり、建物被害による避難者のみが発生する。1 週間後までには断水による避難者が発生し、徐々に避難者が増加する。1 か月後までになると徐々に上水道が復旧し、断水による避難者が自宅に戻るため断水による避難者が減少する。1 か月後には上水道の完全復旧により、建物被害による避難者のみになるケースがある。このため、自治体によっては 1 日後と 1 か月後で避難者数が同じになることがある。

なお、本想定では、原子力災害に伴う避難を対象としていないことから、東日本大震災時の実際の避難者数よりも少なく見積もられている。

表Ⅲ-5.1-1 避難者数（総括表）（単位：人）

地震名	季節・時間	被災 1 日後			被災 1 週間後			被災 1 か月後		
		総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島盆地西縁断層帯の地震	冬 5 時	48,283	28,970	19,313	81,320	40,660	40,660	48,941	14,682	34,259
	夏 12 時	49,536	29,722	19,814	82,260	41,130	41,130	49,640	14,892	34,748
	冬 18 時	53,726	32,236	21,490	85,402	42,701	42,701	53,764	16,129	37,635
会津盆地東縁断層帯の地震	冬 5 時	45,525	27,315	18,210	76,468	38,234	38,234	56,633	16,990	39,643
	夏 12 時	29,406	17,644	11,762	64,379	32,189	32,189	54,844	16,453	38,391
	冬 18 時	56,588	33,953	22,635	84,765	42,383	42,383	58,359	17,508	40,851
想定東北地方太平洋沖地震	冬 5 時	104,290	66,517	37,773	148,387	80,074	68,313	125,144	37,543	87,600
	夏 12 時	104,402	66,455	37,948	149,403	80,366	69,037	125,106	37,532	87,574
	冬 18 時	112,431	71,324	41,107	155,053	83,277	71,776	126,946	38,084	88,862

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

表Ⅲ-5.1-2 要配慮者避難者数（総括表）（単位：人）

地震名	季節・時間	被災 1 日後			被災 1 週間後			被災 1 か月後		
		総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島盆地西縁断層帯の地震	冬 5 時	8,954	5,373	3,582	15,080	7,540	7,540	9,089	2,727	6,362
	夏 12 時	9,185	5,511	3,674	15,253	7,626	7,626	9,206	2,762	6,444
	冬 18 時	9,936	5,961	3,974	15,816	7,908	7,908	9,943	2,983	6,960
会津盆地東縁断層帯の地震	冬 5 時	9,239	5,543	3,695	15,612	7,806	7,806	11,452	3,436	8,017
	夏 12 時	5,859	3,515	2,344	13,077	6,539	6,539	11,074	3,322	7,752
	冬 18 時	11,379	6,827	4,552	17,217	8,609	8,609	11,795	3,539	8,257
想定東北地方太平洋沖地震	冬 5 時	18,959	12,104	6,855	26,548	14,366	12,182	22,685	6,806	15,880
	夏 12 時	18,815	11,989	6,826	26,656	14,379	12,277	22,654	6,796	15,858
	冬 18 時	20,288	12,884	7,404	27,675	14,905	12,770	22,995	6,899	16,097

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-3 避難者数（福島盆地西縁断層帯の地震，冬５時）（単位：人）

市区町村名	被災１日後			被災１週間後			被災１か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	38,403	23,042	15,361	63,508	31,754	31,754	38,403	11,521	26,882
会津若松市	*	*	*	4	2	2	*	*	*
郡山市	27	16	11	167	84	84	27	8	19
いわき市	*	*	*	*	*	*	*	*	*
白河市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
須賀川市	0	0	0	2	1	1	0	0	0
喜多方市	1	*	*	9	5	5	1	*	1
相馬市	152	91	61	155	77	77	152	46	107
二本松市	117	70	47	612	306	306	117	35	82
田村市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南相馬市	2	1	1	10	5	5	2	1	2
伊達市	2,489	1,493	995	6,937	3,469	3,469	3,146	944	2,202
本宮市	16	9	6	75	37	37	16	5	11
桑折町	4,532	2,719	1,813	6,062	3,031	3,031	4,532	1,360	3,173
国見町	2,480	1,488	992	3,558	1,779	1,779	2,480	744	1,736
川俣町	17	10	7	52	26	26	17	5	12
大玉村	23	14	9	74	37	37	23	7	16
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
下郷町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	1	*	*	7	4	4	1	*	1
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	1	1	1	0	0	0
猪苗代町	15	9	6	63	31	31	15	5	11
会津坂下町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
湯川村	1	*	*	3	1	1	1	*	1
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
中島村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
矢吹町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	4	2	2	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	8	5	3	17	8	28,970	8	2	5
飯館村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
合計	48,283	28,970	19,313	81,320	40,660	40,660	48,941	14,682	34,259

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第１位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-4 避難者数（福島盆地西縁断層帯の地震，夏12時）（単位：人）

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	39,389	23,634	15,756	64,248	32,124	32,124	39,389	11,817	27,573
会津若松市	*	*	*	4	2	2	*	*	*
郡山市	27	16	11	167	83	83	27	8	19
いわき市	*	*	*	*	*	*	*	*	*
白河市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
須賀川市	0	0	0	2	1	1	0	0	0
喜多方市	1	*	*	9	5	5	1	*	*
相馬市	139	83	56	145	72	72	139	42	97
二本松市	107	64	43	604	302	302	107	32	75
田村市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南相馬市	2	1	1	10	5	5	2	1	2
伊達市	3,104	1,862	1,242	7,399	3,699	3,699	3,208	962	2,245
本宮市	17	10	7	76	38	38	17	5	12
桑折町	4,822	2,893	1,929	6,279	3,140	3,140	4,822	1,447	3,375
国見町	1,874	1,124	749	3,103	1,552	1,552	1,874	562	1,312
川俣町	16	10	7	51	26	26	16	5	11
大玉村	20	12	8	72	36	36	20	6	14
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
下郷町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	7	3	3	*	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	1	1	1	0	0	0
猪苗代町	10	6	4	59	30	30	10	3	7
会津坂下町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
湯川村	1	*	*	3	1	1	1	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
中島村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
矢吹町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	4	2	2	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	7	4	3	16	8	8	7	2	5
飯館村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
合計	49,536	29,722	19,814	82,260	41,130	41,130	49,640	14,892	34,748

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が含まないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-5 避難者数（福島盆地西縁断層帯の地震、冬18時）（単位：人）

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	43,530	26,118	17,412	67,354	33,677	33,677	43,530	13,059	30,471
会津若松市	*	*	*	4	2	2	*	*	*
郡山市	14	8	6	157	79	79	14	4	10
いわき市	*	*	*	*	*	*	*	*	*
白河市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
須賀川市	0	0	0	2	1	1	0	0	0
喜多方市	*	*	*	9	4	4	*	*	*
相馬市	92	55	37	109	55	55	92	28	64
二本松市	50	30	20	561	281	281	73	22	51
田村市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南相馬市	1	1	*	9	4	4	1	*	1
伊達市	3,202	1,921	1,281	7,473	3,736	3,736	3,218	965	2,252
本宮市	8	5	3	68	34	34	8	2	5
桑折町	4,707	2,824	1,883	6,194	3,097	3,097	4,707	1,412	3,295
国見町	2,087	1,252	835	3,263	1,631	1,631	2,087	626	1,461
川俣町	10	6	4	46	23	23	10	3	7
大玉村	12	7	5	66	33	33	12	4	8
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
下郷町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	7	3	3	*	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	1	1	1	0	0	0
猪苗代町	8	5	3	57	29	29	8	2	6
会津坂下町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
湯川村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
中島村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
矢吹町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	4	2	2	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	4	2	2	14	7	7	4	1	3
飯館村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
合計	53,726	32,236	21,490	85,402	42,701	42,701	53,764	16,129	37,635

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-6 避難者数（会津盆地東縁断層帯の地震，冬５時）（単位：人）

市区町村名	被災１日後			被災１週間後			被災１か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	*	*	*	17	8	8	*	*	*
会津若松市	32,441	19,465	12,976	50,360	25,180	25,180	41,674	12,502	29,172
郡山市	1,017	610	407	2,401	1,201	1,201	1,017	305	712
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	33	20	13	239	120	120	33	10	23
須賀川市	156	94	63	367	184	184	156	47	109
喜多方市	2,717	1,630	1,087	5,839	2,919	2,919	2,913	874	2,039
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	22	13	9	44	22	22	22	7	16
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	5	3	2	44	22	22	5	2	4
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	3	2	1	17	8	8	3	1	2
鏡石町	7	4	3	45	23	23	7	2	5
天栄村	165	99	66	312	156	156	165	50	116
下郷町	1,029	618	412	1,741	871	871	1,179	354	825
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
南会津町	173	104	69	605	303	303	235	70	164
北塩原村	46	28	19	237	118	118	100	30	70
西会津町	28	17	11	69	35	35	28	8	19
磐梯町	1,292	775	517	1,803	902	902	1,457	437	1,020
猪苗代町	2,596	1,558	1,039	4,624	2,312	2,312	3,551	1,065	2,486
会津坂下町	1,119	671	448	2,477	1,238	1,238	1,218	365	853
湯川村	1,042	625	417	1,571	786	786	1,226	368	858
柳津町	10	6	4	35	18	18	10	3	7
三島町	2	1	1	4	2	2	2	1	1
金山町	2	1	1	3	1	1	2	1	2
昭和村	1	1	*	6	3	3	1	*	1
会津美里町	1,571	943	628	3,264	1,632	1,632	1,571	471	1,100
西郷村	31	19	12	245	123	123	41	12	29
泉崎村	3	2	1	37	19	19	3	1	2
中島村	1	*	*	13	6	6	1	*	*
矢吹町	10	6	4	40	20	20	10	3	7
棚倉町	*	*	*	1	1	1	*	*	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	1	1	1	0	0	0
玉川村	1	1	*	2	1	1	1	*	1
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	3	1	1	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	45,525	27,315	18,210	76,468	38,234	38,234	56,633	16,990	39,643

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第１位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-7 避難者数（会津盆地東縁断層帯の地震，夏12時）（単位：人）

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	*	*	*	17	8	8	*	*	*
会津若松市	22,573	13,544	9,029	42,958	21,479	21,479	40,687	12,206	28,481
郡山市	1,003	602	401	2,391	1,195	1,195	1,003	301	702
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	33	20	13	239	119	119	33	10	23
須賀川市	145	87	58	359	179	179	145	44	102
喜多方市	1,153	692	461	4,666	2,333	2,333	2,757	827	1,930
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	20	12	8	42	21	21	20	6	14
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	6	3	2	45	22	22	6	2	4
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	3	2	1	16	8	8	3	1	2
鏡石町	7	4	3	46	23	23	7	2	5
天栄村	140	84	56	293	147	147	140	42	98
下郷町	447	268	179	1,304	652	652	1,121	336	784
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
南会津町	64	39	26	524	262	262	224	67	157
北塩原村	15	9	6	213	106	106	97	29	68
西会津町	20	12	8	64	32	32	20	6	14
磐梯町	1,022	613	409	1,601	800	800	1,430	429	1,001
猪苗代町	1,188	713	475	3,568	1,784	1,784	3,411	1,023	2,387
会津坂下町	475	285	190	1,994	997	997	1,154	346	808
湯川村	607	364	243	1,245	623	623	1,183	355	828
柳津町	4	3	2	31	15	15	4	1	3
三島町	2	1	1	4	2	2	2	1	1
金山町	3	2	1	3	2	2	3	1	2
昭和村	*	*	*	6	3	3	*	*	*
会津美里町	430	258	172	2,409	1,204	1,204	1,340	402	938
西郷村	31	19	12	245	122	122	41	12	29
泉崎村	4	2	1	38	19	19	4	1	3
中島村	*	*	*	13	6	6	*	*	*
矢吹町	10	6	4	40	20	20	10	3	7
棚倉町	*	*	*	1	1	1	*	*	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	1	1	1	0	0	0
玉川村	1	*	*	2	1	1	1	*	1
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	3	1	1	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	29,406	17,644	11,762	64,379	32,189	32,189	54,844	16,453	38,391

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-8 避難者数（会津盆地東縁断層帯の地震、冬18時）（単位：人）

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	0	0	0	17	8	8	0	0	0
会津若松市	42,463	25,478	16,985	57,876	28,938	28,938	42,676	12,803	29,873
郡山市	1,335	801	534	2,640	1,320	1,320	1,335	401	935
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	14	8	6	225	112	112	15	4	10
須賀川市	78	47	31	308	154	154	78	23	55
喜多方市	3,073	1,844	1,229	6,106	3,053	3,053	3,073	922	2,151
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	13	8	5	37	19	19	13	4	9
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	2	1	1	42	21	21	2	1	2
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	2	1	1	16	8	8	2	1	1
鏡石町	3	2	1	43	21	21	3	1	2
天栄村	118	71	47	277	138	138	137	41	96
下郷町	892	535	357	1,638	819	819	1,165	350	816
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
南会津町	128	77	51	572	286	286	230	69	161
北塩原村	33	20	13	227	113	113	99	30	69
西会津町	17	10	7	61	30	30	17	5	12
磐梯町	1,586	952	634	2,024	1,012	1,012	1,586	476	1,110
猪苗代町	2,567	1,540	1,027	4,602	2,301	2,301	3,548	1,065	2,484
会津坂下町	1,577	946	631	2,820	1,410	1,410	1,577	473	1,104
湯川村	1,149	689	460	1,651	826	826	1,237	371	866
柳津町	6	4	2	32	16	16	6	2	4
三島町	1	1	1	4	2	2	1	*	1
金山町	2	1	1	2	1	1	2	*	1
昭和村	1	*	*	6	3	3	1	*	*
会津美里町	1,509	905	604	3,218	1,609	1,609	1,509	453	1,056
西郷村	11	7	4	230	115	115	39	12	27
泉崎村	1	1	1	36	18	18	2	1	1
中島村	*	*	*	12	6	6	*	*	*
矢吹町	5	3	2	36	18	18	5	1	3
棚倉町	0	0	0	1	1	1	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	1	1	1	0	0	0
玉川村	1	*	*	2	1	1	1	*	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	3	1	1	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	56,588	33,953	22,635	84,765	42,383	42,383	58,359	17,508	40,851

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-9 避難者数（想定東北地方太平洋沖地震，冬５時）（単位：人）

市区町村名	被災１日後			被災１週間後			被災１か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	1,310	786	524	5,572	2,786	2,786	1,310	393	917
会津若松市	809	486	324	2,775	1,387	1,387	809	243	567
郡山市	15,818	9,491	6,327	44,695	22,348	22,348	19,998	6,000	13,999
いわき市	60,210	39,451	20,759	41,518	25,038	16,481	69,974	20,992	48,982
白河市	825	495	330	4,338	2,169	2,169	1,899	570	1,329
須賀川市	5,545	3,327	2,218	12,733	6,367	6,367	6,615	1,984	4,630
喜多方市	69	41	28	122	61	61	69	21	48
相馬市	7,004	4,590	2,414	5,403	3,495	1,908	8,016	2,405	5,611
二本松市	682	409	273	2,776	1,388	1,388	972	292	681
田村市	813	488	325	2,571	1,286	1,286	863	259	604
南相馬市	3,395	2,222	1,174	3,757	2,387	1,370	4,263	1,279	2,984
伊達市	663	398	265	2,321	1,161	1,161	663	199	464
本宮市	718	431	287	1,723	861	861	718	215	502
桑折町	613	368	245	1,571	785	785	638	191	446
国見町	1,255	753	502	2,347	1,174	1,174	1,255	377	879
川俣町	125	75	50	283	142	142	125	38	88
大玉村	40	24	16	184	92	92	40	12	28
鏡石町	544	327	218	1,847	923	923	872	262	610
天栄村	158	95	63	557	279	279	272	82	191
下郷町	*	*	*	2	1	1	*	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	9	5	4	18	9	9	9	3	6
北塩原村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
西会津町	10	6	4	11	6	6	10	3	7
磐梯町	2	1	1	22	11	11	2	1	1
猪苗代町	120	72	48	290	145	145	120	36	84
会津坂下町	113	68	45	272	136	136	113	34	79
湯川村	19	11	8	64	32	32	19	6	13
柳津町	1	*	*	2	1	1	1	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	28	17	11	82	41	41	28	8	19
西郷村	841	504	336	3,389	1,694	1,694	1,740	522	1,218
泉崎村	19	11	7	158	79	79	24	7	17
中島村	62	37	25	288	144	144	96	29	67
矢吹町	403	242	161	1,566	783	783	638	191	447
棚倉町	184	110	73	509	255	255	184	55	128
矢祭町	34	21	14	51	26	26	34	10	24
塙町	22	13	9	55	27	27	22	6	15
鮫川村	*	*	*	7	4	4	*	*	*
石川町	187	112	75	295	147	147	187	56	131
玉川村	64	39	26	230	115	115	64	19	45
平田村	57	34	23	234	117	117	58	17	40
浅川町	50	30	20	257	129	129	71	21	50
古殿町	32	19	13	130	65	65	32	10	22
三春町	101	61	40	560	280	280	124	37	87
小野町	103	62	41	439	220	220	109	33	76
広野町	141	91	51	291	177	114	245	74	172
檜葉町	51	32	19	147	82	65	123	37	86
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	29	17	12	105	59	46	87	26	61
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	*	*	*	1	1	1	1	*	*
新地町	1,012	646	365	1,817	1,162	656	1,631	489	1,142
飯館村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
合計	104,290	66,517	37,773	148,387	80,074	68,313	125,144	37,543	87,600

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第１位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5. 1-10 避難者数（想定東北地方太平洋沖地震，夏 12 時）（単位：人）

市区町村名	被災 1 日後			被災 1 週間後			被災 1 か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	1,325	795	530	5,583	2,791	2,791	1,325	397	927
会津若松市	548	329	219	2,578	1,289	1,289	634	190	444
郡山市	19,425	11,655	7,770	47,400	23,700	23,700	20,359	6,108	14,251
いわき市	56,546	37,069	19,477	40,530	24,422	16,108	69,843	20,953	48,890
白河市	815	489	326	4,331	2,165	2,165	1,898	569	1,329
須賀川市	5,485	3,291	2,194	12,688	6,344	6,344	6,609	1,983	4,626
喜多方市	61	37	24	116	58	58	61	18	43
相馬市	6,670	4,375	2,296	5,225	3,366	1,859	7,992	2,398	5,594
二本松市	621	373	248	2,731	1,365	1,365	966	290	676
田村市	758	455	303	2,531	1,265	1,265	858	257	600
南相馬市	2,975	1,946	1,029	3,630	2,291	1,339	4,246	1,274	2,972
伊達市	577	346	231	2,256	1,128	1,128	577	173	404
本宮市	781	469	313	1,770	885	885	781	234	547
桑折町	645	387	258	1,595	797	797	645	194	452
国見町	1,329	797	532	2,403	1,201	1,201	1,329	399	930
川俣町	120	72	48	279	140	140	120	36	84
大玉村	35	21	14	181	90	90	35	11	25
鏡石町	601	361	240	1,889	945	945	878	263	614
天栄村	134	80	53	540	270	270	270	81	189
下郷町	*	*	*	2	1	1	*	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	6	4	3	16	8	8	6	2	4
北塩原村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
西会津町	10	6	4	11	5	5	10	3	7
磐梯町	1	*	*	21	10	10	1	*	*
猪苗代町	76	46	31	257	128	128	76	23	54
会津坂下町	82	49	33	249	124	124	82	25	58
湯川村	9	5	3	56	28	28	9	3	6
柳津町	*	*	*	2	1	1	*	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	15	9	6	73	36	36	15	5	11
西郷村	913	548	365	3,443	1,721	1,721	1,747	524	1,223
泉崎村	22	13	9	161	81	81	24	7	17
中島村	48	29	19	278	139	139	95	28	66
矢吹町	392	235	157	1,557	779	779	637	191	446
棚倉町	181	109	73	508	254	254	181	54	127
矢祭町	34	20	14	51	25	25	34	10	24
塙町	21	13	8	54	27	27	21	6	15
鮫川村	*	*	*	7	4	4	*	*	*
石川町	183	110	73	292	146	146	183	55	128
玉川村	55	33	22	223	111	111	55	16	38
平田村	48	29	19	227	113	113	57	17	40
浅川町	42	25	17	251	126	126	70	21	49
古殿町	28	17	11	127	64	64	28	8	20
三春町	83	50	33	546	273	273	122	37	85
小野町	93	56	37	432	216	216	108	32	75
広野町	608	402	207	295	180	115	246	74	172
檜葉町	153	100	53	142	80	63	122	37	86
富岡町	249	163	85	37	19	17	37	11	26
川内村	25	15	10	101	57	44	85	25	59
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	47	31	16	11	6	4	11	3	7
葛尾村	*	*	*	1	1	1	1	*	*
新地町	1,526	993	533	1,716	1,087	629	1,617	485	1,132
飯館村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
合計	104,402	66,455	37,948	149,403	80,366	69,037	125,106	37,532	87,574

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5. 1-11 避難者数（想定東北地方太平洋沖地震，冬 18 時）（単位：人）

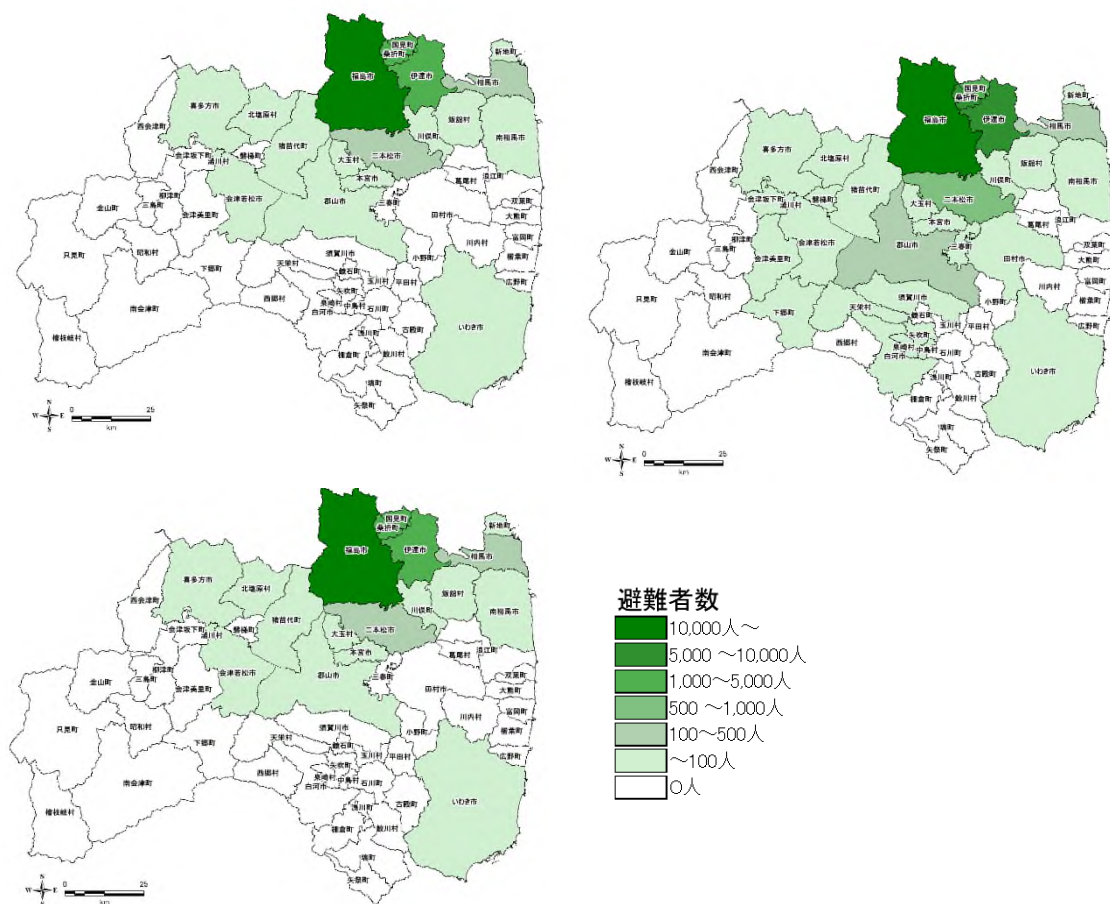
市区町村 名	被災 1 日後			被災 1 週間後			被災 1 か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	1,319	791	528	5,579	2,789	2,789	1,319	396	923
会津若松市	827	496	331	2,788	1,394	1,394	827	248	579
郡山市	21,040	12,624	8,416	48,611	24,306	24,306	21,040	6,312	14,728
いわき市	59,809	39,100	20,709	42,274	25,342	16,931	70,075	21,023	49,053
白河市	1,427	856	571	4,789	2,395	2,395	1,959	588	1,372
須賀川市	6,595	3,957	2,638	13,521	6,760	6,760	6,720	2,016	4,704
喜多方市	66	40	26	120	60	60	66	20	46
相馬市	6,979	4,566	2,413	5,428	3,484	1,945	8,019	2,406	5,613
二本松市	645	387	258	2,749	1,375	1,375	969	291	678
田村市	900	540	360	2,637	1,319	1,319	900	270	630
南相馬市	3,259	2,126	1,134	3,768	2,373	1,395	4,265	1,279	2,985
伊達市	611	367	245	2,282	1,141	1,141	611	183	428
本宮市	987	592	395	1,925	962	962	987	296	691
桑折町	632	379	253	1,585	793	793	640	192	448
国見町	1,259	755	504	2,350	1,175	1,175	1,259	378	881
川俣町	122	73	49	281	140	140	122	37	85
大玉村	37	22	15	182	91	91	37	11	26
鏡石町	783	470	313	2,025	1,013	1,013	896	269	627
天栄村	143	86	57	547	273	273	271	81	190
下郷町	*	*	*	2	1	1	*	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	9	5	4	18	9	9	9	3	6
北塩原村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
西会津町	10	6	4	11	5	5	10	3	7
磐梯町	2	1	1	22	11	11	2	1	2
猪苗代町	113	68	45	284	142	142	113	34	79
会津坂下町	109	65	44	269	134	134	109	33	76
湯川村	16	10	7	62	31	31	16	5	11
柳津町	1	*	*	2	1	1	1	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	24	15	10	79	40	40	24	7	17
西郷村	1,048	629	419	3,544	1,772	1,772	1,760	528	1,232
泉崎村	21	13	8	160	80	80	24	7	17
中島村	53	32	21	282	141	141	95	29	67
矢吹町	397	238	159	1,561	780	780	638	191	446
棚倉町	182	109	73	508	254	254	182	55	128
矢祭町	34	20	14	51	26	26	34	10	24
塙町	21	13	8	55	27	27	21	6	15
鮫川村	*	*	*	7	4	4	*	*	*
石川町	184	111	74	293	146	146	184	55	129
玉川村	59	35	23	226	113	113	59	18	41
平田村	52	31	21	230	115	115	57	17	40
浅川町	45	27	18	254	127	127	71	21	49
古殿町	29	18	12	128	64	64	29	9	21
三春町	90	54	36	552	276	276	123	37	86
小野町	97	58	39	435	217	217	108	32	76
広野町	422	277	144	294	179	115	246	74	172
檜葉町	112	73	39	144	81	64	123	37	86
富岡町	150	99	52	23	12	11	23	7	16
川内村	197	118	79	231	122	109	255	76	178
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	29	19	10	7	4	3	7	2	5
葛尾村	*	*	*	1	1	1	1	*	*
新地町	1,482	951	531	1,878	1,177	700	1,639	492	1,147
飯館村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
合計	112,431	71,324	41,107	155,053	83,277	71,776	126,946	38,084	88,862

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について

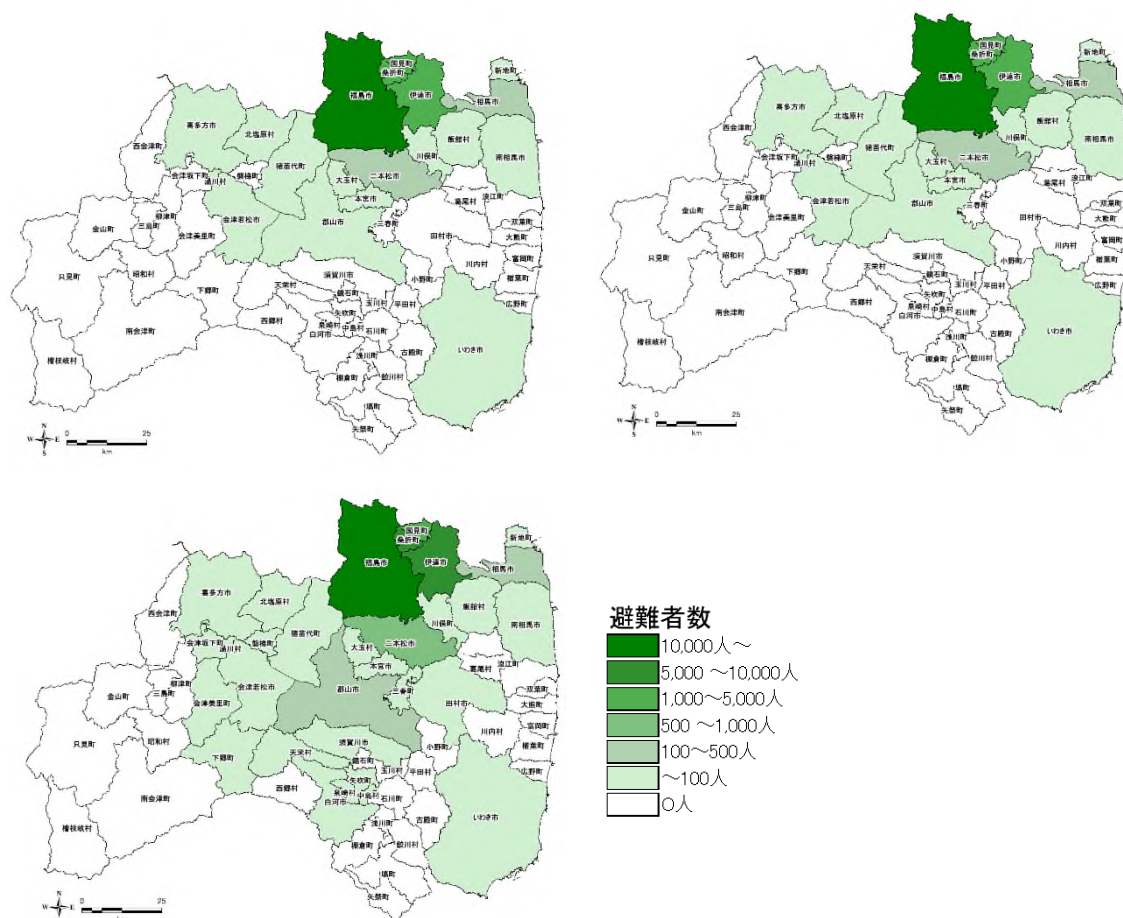


図Ⅲ-5.1-4 避難者数（福島盆地西縁断層帯の地震）冬5時  
 （左上：発災直後、右上：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について



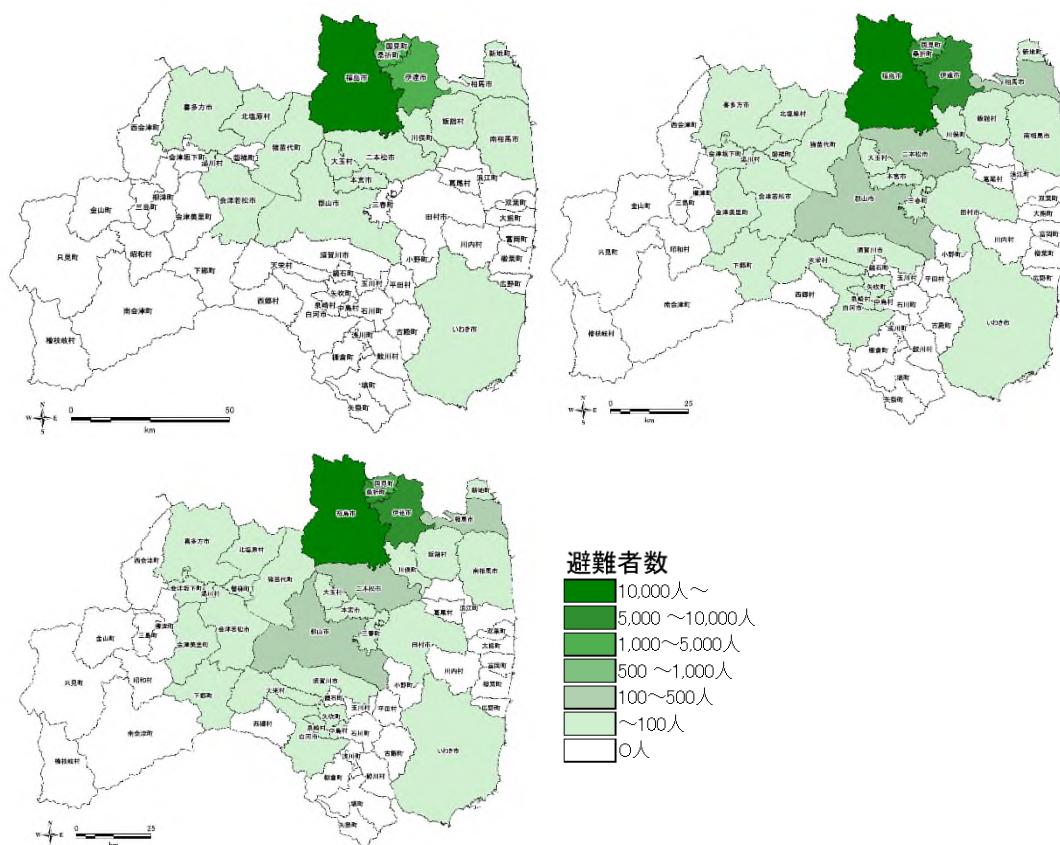
図Ⅲ-5. 1-5 避難者数（福島盆地西縁断層帯の地震）夏 12 時  
 （左上：発災直後、右上：発災 1 週間後、右下：発災 1 か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について

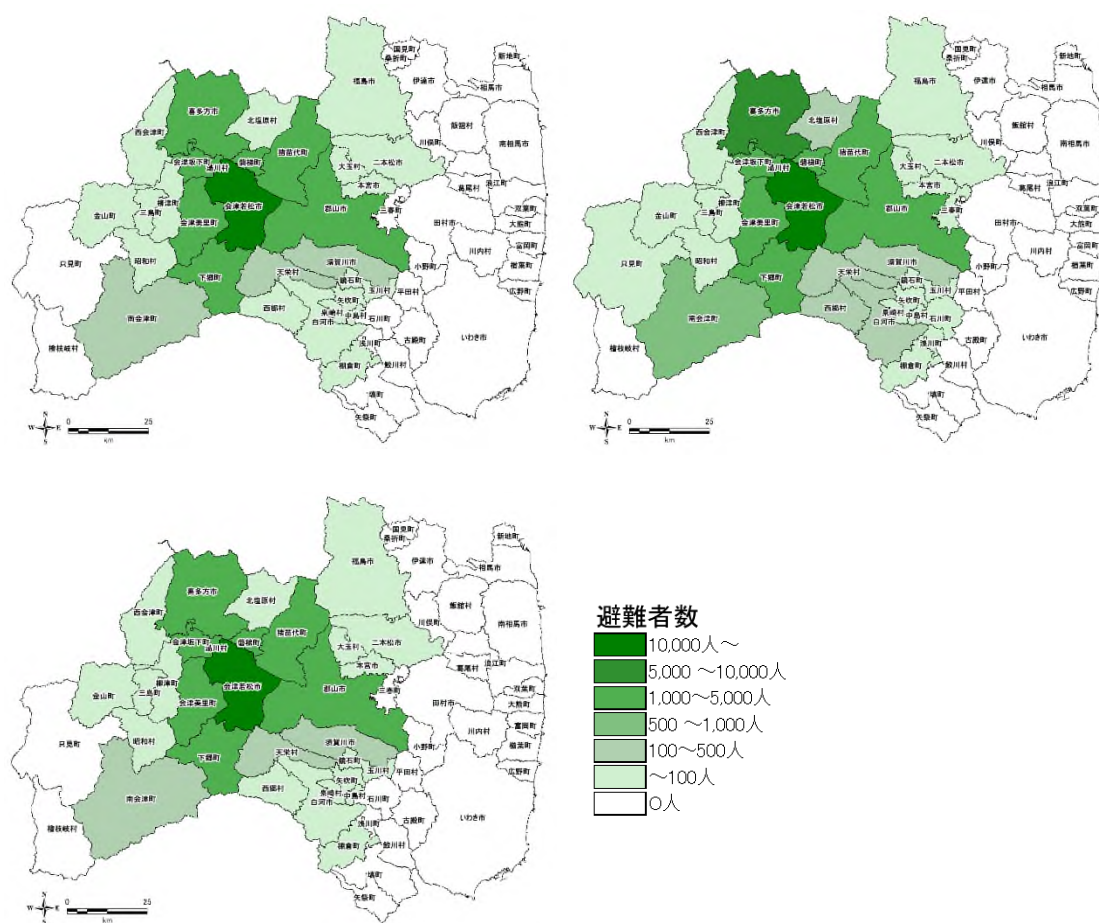


図Ⅲ-5.1-6 避難者数（福島盆地西縁断層帯の地震）冬18時  
（左上：発災直後、右上：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について

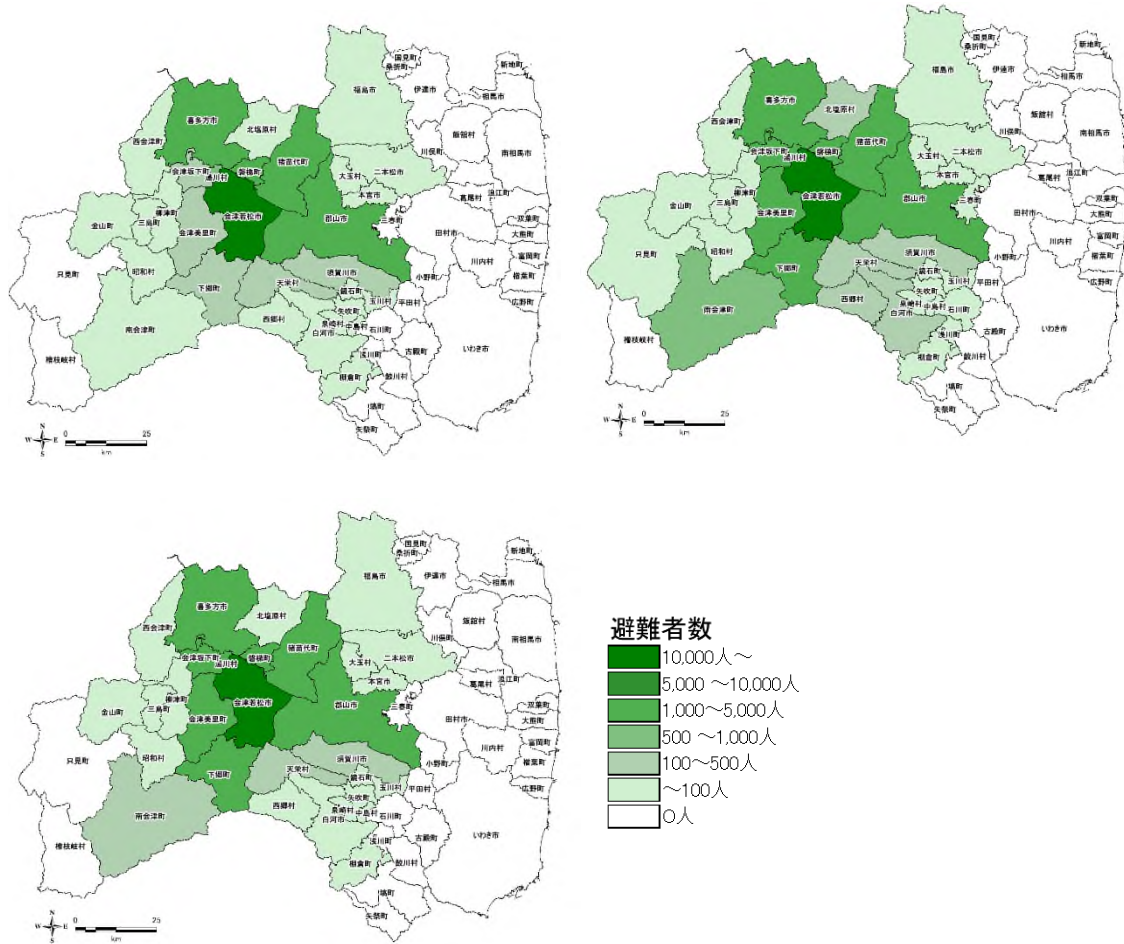


図Ⅲ-5.1-7 避難者数（会津盆地東縁断層帯の地震）冬5時  
 （左上：発災直後、右上：発災1週間後、右下：発災1か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について

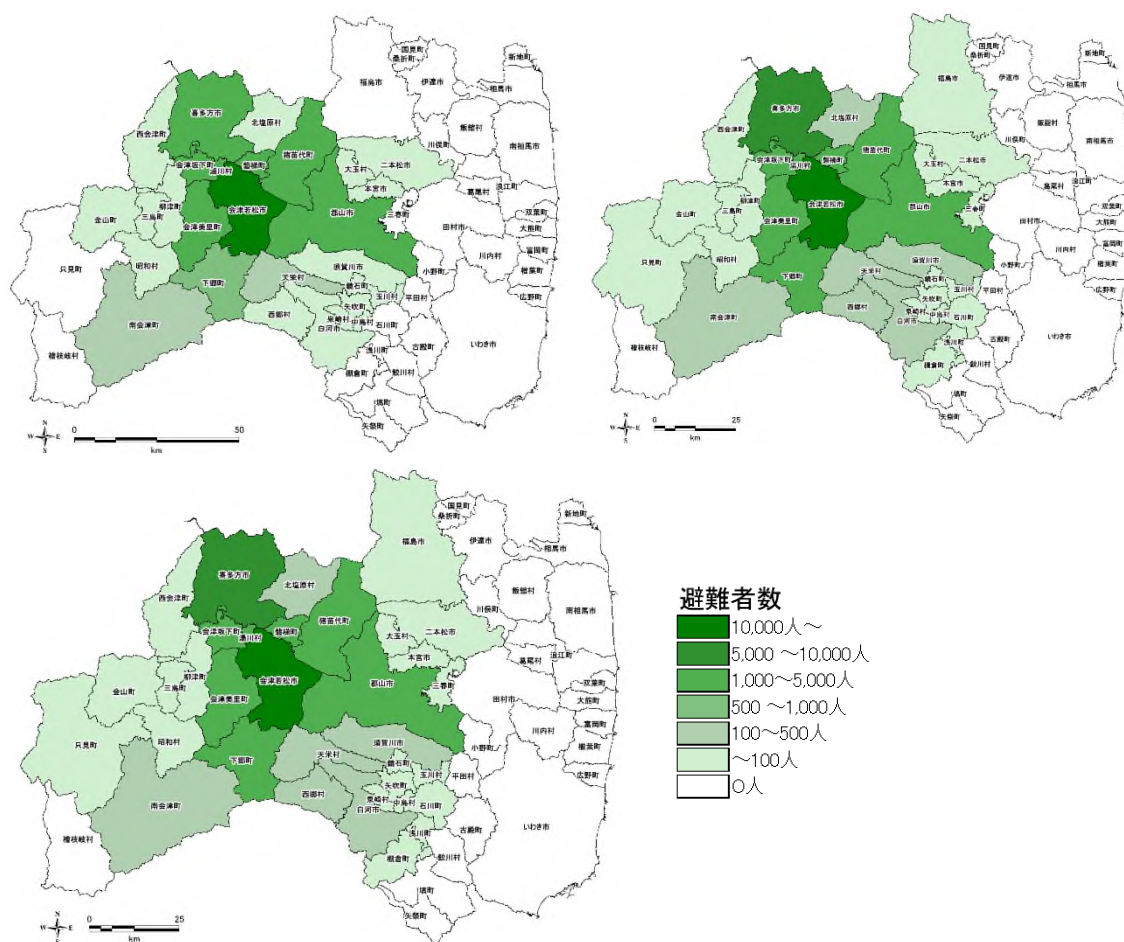


図Ⅲ-5.1-8 避難者数（会津盆地東縁断層帯の地震）夏 12 時  
（左上：発災直後、右上：発災 1 週間後、右下：発災 1 か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について



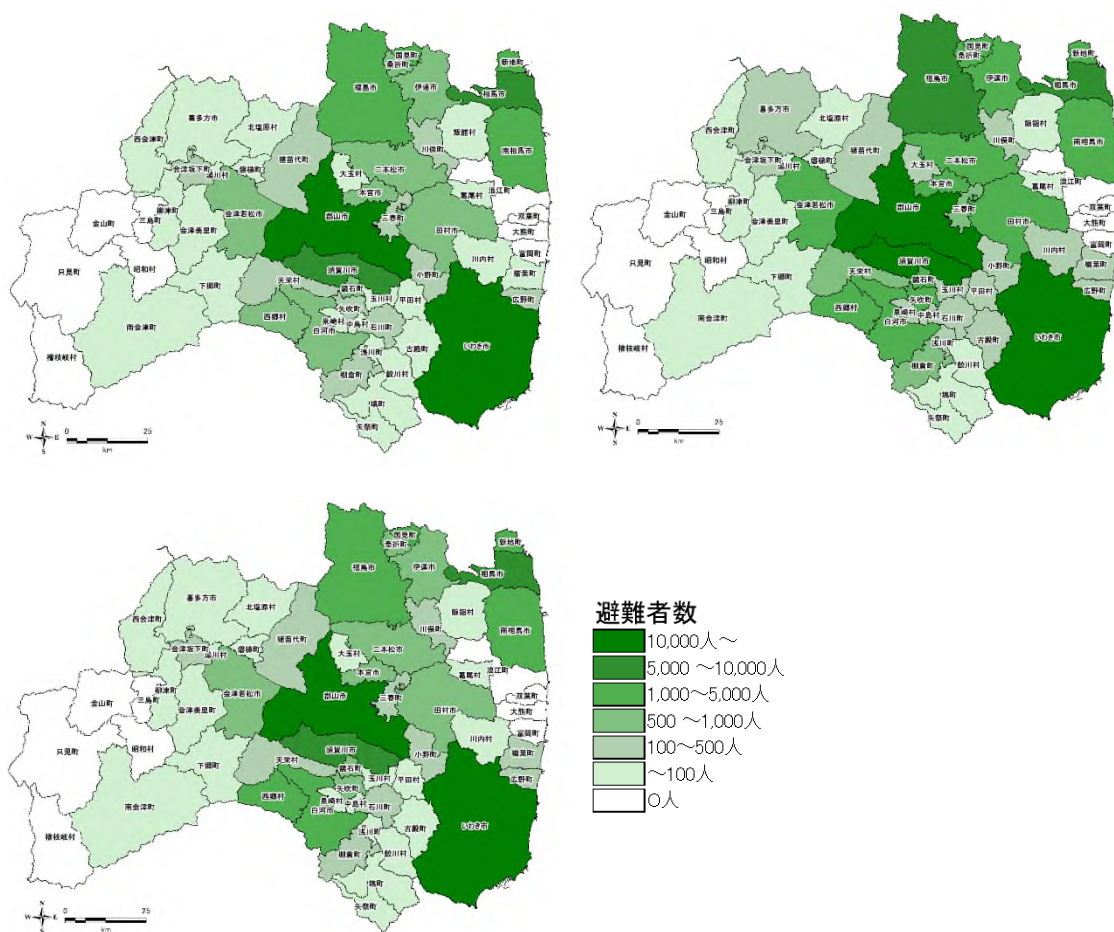
図Ⅲ-5.1-9 避難者数（会津盆地東縁断層帯の地震）冬 18 時  
（左上：発災直後、右上：発災 1 週間後、右下：発災 1 か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について

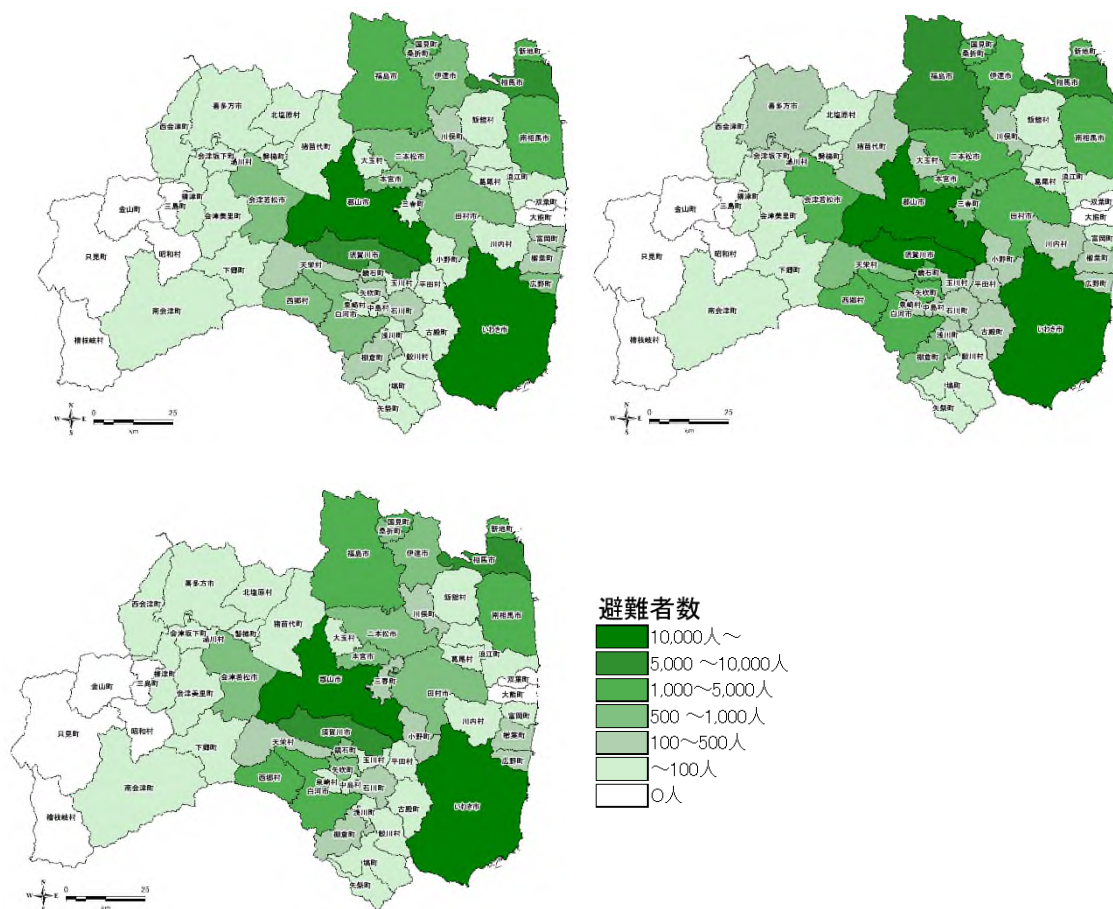


図Ⅲ-5.1-10 避難者数（想定東北地方太平洋沖地震）冬 5 時  
（左上：発災直後、右上：発災 1 週間後、右下：発災 1 か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について

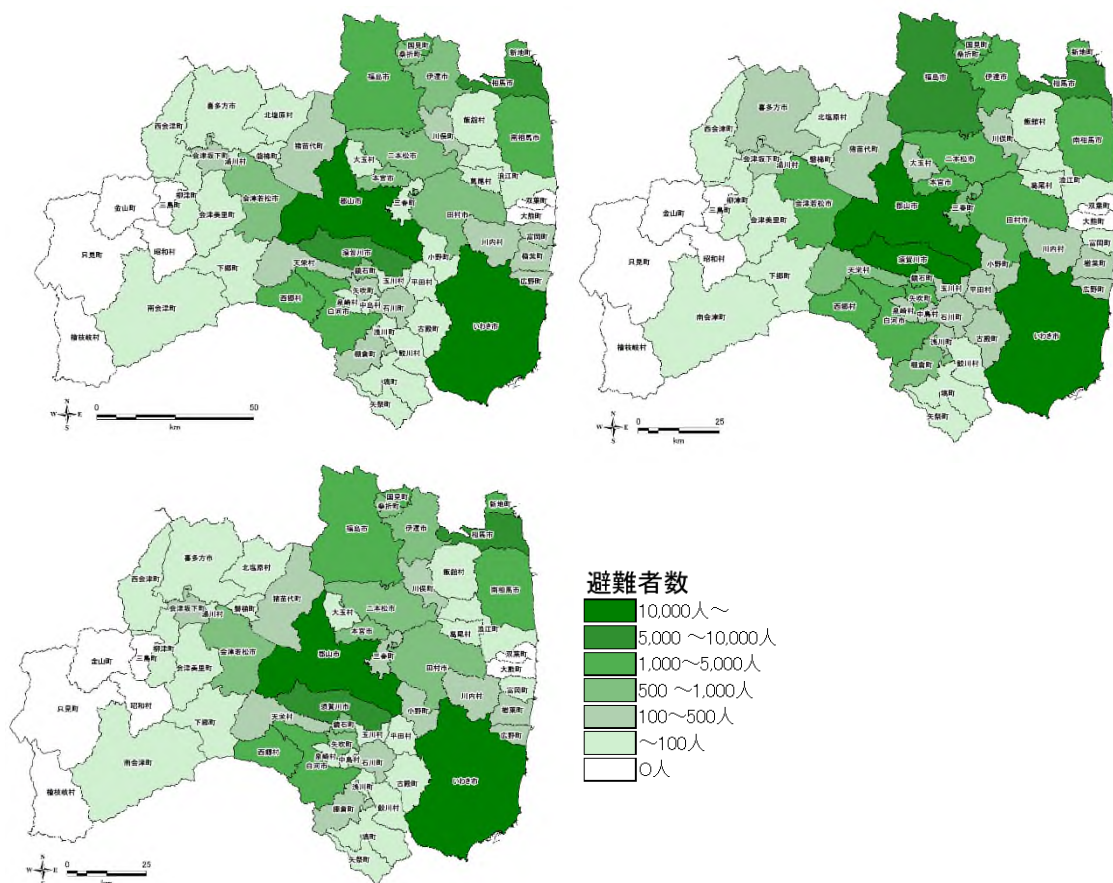


図Ⅲ-5.1-11 避難者数（想定東北地方太平洋沖地震）夏 12 時  
（左上：発災直後、右上：発災 1 週間後、右下：発災 1 か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。

### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について



図Ⅲ-5.1-12 避難者数（想定東北地方太平洋沖地震）冬 18 時  
（左上：発災直後、右上：発災 1 週間後、右下：発災 1 か月後）

※ 図は想定結果の実数値によって作成している。結果表の値とは異なる場合がある。



Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

5.1.3 要配慮者の避難者の想定結果

表Ⅲ-5.1-11～表Ⅲ-5.1-19 に要配慮者の避難者数の想定結果を示す。

表Ⅲ-5.1-11 要配慮者の避難者数  
(福島盆地西縁断層帯の地震, 冬5時)(単位:人)

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	6,857	4,114	2,743	11,340	5,670	5,670	6,857	2,057	4,800
会津若松市	*	*	*	1	*	*	*	*	*
郡山市	4	3	2	27	14	14	4	1	3
いわき市	*	*	*	*	*	*	*	*	*
白河市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
須賀川市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
喜多方市	*	*	*	2	1	1	*	*	*
相馬市	29	17	12	30	15	15	29	9	20
二本松市	24	14	9	123	61	61	24	7	16
田村市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南相馬市	*	*	*	2	1	1	*	*	*
伊達市	509	305	204	1,418	709	709	643	193	450
本宮市	3	2	1	14	7	7	3	1	2
桑折町	989	593	396	1,323	662	662	989	297	692
国見町	525	315	210	754	377	377	525	158	368
川俣町	4	2	2	12	6	6	4	1	3
大玉村	4	2	2	14	7	7	4	1	3
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
下郷町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
猪苗代町	4	2	1	15	7	7	4	1	3
会津坂下町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
湯川村	*	*	*	1	*	*	*	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
中島村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
矢吹町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	2	1	1	3	2	2	2	*	1
飯館村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
合計	8,954	5,373	3,582	15,080	7,540	7,540	9,089	2,727	6,362

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-12 要配慮者の避難者数  
(福島盆地西縁断層帯の地震, 夏 12 時) (単位: 人)

市区町村名	被災 1 日後			被災 1 週間後			被災 1 か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	7,033	4,220	2,813	11,472	5,736	5,736	7,033	2,110	4,923
会津若松市	*	*	*	1	*	*	*	*	*
郡山市	4	3	2	27	14	14	4	1	3
いわき市	*	*	*	*	*	*	*	*	*
白河市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
須賀川市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
喜多方市	*	*	*	2	1	1	*	*	*
相馬市	27	16	11	28	14	14	27	8	19
二本松市	21	13	9	121	61	61	21	6	15
田村市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南相馬市	*	*	*	2	1	1	*	*	*
伊達市	635	381	254	1,513	756	756	656	197	459
本宮市	3	2	1	14	7	7	3	1	2
桑折町	1,052	631	421	1,370	685	685	1,052	316	737
国見町	397	238	159	657	329	329	397	119	278
川俣町	4	2	2	12	6	6	4	1	3
大玉村	4	2	1	13	7	7	4	1	3
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
下郷町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
猪苗代町	2	1	1	14	7	7	2	1	2
会津坂下町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
湯川村	*	*	*	1	*	*	*	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
中島村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
矢吹町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	1	1	1	3	2	2	1	*	1
飯館村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
合計	9,185	5,511	3,674	15,253	7,626	7,626	9,206	2,762	6,444

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-13 要配慮者の避難者数  
(福島盆地西縁断層帯の地震, 冬 18 時) (単位: 人)

市区町村名	被災 1 日後			被災 1 週間後			被災 1 か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	7,773	4,664	3,109	12,026	6,013	6,013	7,773	2,332	5,441
会津若松市	*	*	*	1	*	*	*	*	*
郡山市	2	1	1	26	13	13	2	1	2
いわき市	*	*	*	*	*	*	*	*	*
白河市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
須賀川市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
喜多方市	*	*	*	2	1	1	*	*	*
相馬市	18	11	7	21	10	10	18	5	12
二本松市	10	6	4	112	56	56	15	4	10
田村市	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南相馬市	*	*	*	2	1	1	*	*	*
伊達市	655	393	262	1,528	764	764	658	197	461
本宮市	1	1	1	13	6	6	1	*	1
桑折町	1,027	616	411	1,352	676	676	1,027	308	719
国見町	442	265	177	691	346	346	442	133	309
川俣町	2	1	1	11	5	5	2	1	2
大玉村	2	1	1	12	6	6	2	1	2
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
下郷町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
猪苗代町	2	1	1	14	7	7	2	1	1
会津坂下町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
湯川村	*	*	*	1	*	*	*	*	*
柳津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
中島村	0	0	0	*	*	*	0	0	0
矢吹町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	1	1	*	3	1	1	1	*	1
飯館村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
合計	9,936	5,961	3,974	15,816	7,908	7,908	9,943	2,983	6,960

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第 1 位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-14 要配慮者の避難者数  
(会津盆地東縁断層帯の地震, 冬5時)(単位:人)

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	*	*	*	3	1	1	*	*	*
会津若松市	6,211	3,727	2,484	9,641	4,821	4,821	7,979	2,394	5,585
郡山市	166	99	66	391	196	196	166	50	116
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	6	4	2	43	22	22	6	2	4
須賀川市	26	16	11	62	31	31	26	8	19
喜多方市	647	388	259	1,390	695	695	694	208	486
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	4	3	2	9	4	4	4	1	3
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	1	*	8	4	4	1	*	1
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	1	*	*	3	2	2	1	*	*
鏡石町	1	1	*	8	4	4	1	*	1
天栄村	34	20	14	64	32	32	34	10	24
下郷町	281	169	112	476	238	238	322	97	225
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南会津町	45	27	18	159	79	79	62	18	43
北塩原村	10	6	4	49	24	24	21	6	14
西会津町	9	5	3	21	11	11	9	3	6
磐梯町	318	191	127	444	222	222	359	108	251
猪苗代町	616	370	246	1,097	548	548	842	253	590
会津坂下町	250	150	100	553	276	276	272	82	190
湯川村	227	136	91	343	171	171	267	80	187
柳津町	3	2	1	10	5	5	3	1	2
三島町	1	*	*	1	1	1	1	*	1
金山町	1	1	*	1	1	1	1	*	1
昭和村	*	*	*	3	1	1	*	*	*
会津美里町	373	224	149	775	388	388	373	112	261
西郷村	5	3	2	39	19	19	6	2	5
泉崎村	1	*	*	7	4	4	1	*	*
中島村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
矢吹町	2	1	1	8	4	4	2	1	1
棚倉町	*	*	*	*	*	*	*	*	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
玉川村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9,239	5,543	3,695	15,612	7,806	7,806	11,452	3,436	8,017

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-15 要配慮者の避難者数  
(会津盆地東縁断層帯の地震，夏12時)(単位：人)

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	*	*	*	3	1	1	*	*	*
会津若松市	4,322	2,593	1,729	8,224	4,112	4,112	7,790	2,337	5,453
郡山市	163	98	65	389	195	195	163	49	114
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	6	4	2	43	22	22	6	2	4
須賀川市	25	15	10	61	30	30	25	7	17
喜多方市	275	165	110	1,111	555	555	656	197	459
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	4	2	2	9	4	4	4	1	3
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	1	1	*	8	4	4	1	*	1
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	1	*	*	3	2	2	1	*	*
鏡石町	1	1	1	8	4	4	1	*	1
天栄村	29	17	12	60	30	30	29	9	20
下郷町	122	73	49	356	178	178	306	92	214
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南会津町	17	10	7	137	69	69	59	18	41
北塩原村	3	2	1	44	22	22	20	6	14
西会津町	6	4	3	19	10	10	6	2	4
磐梯町	252	151	101	394	197	197	353	106	247
猪苗代町	282	169	113	846	423	423	809	243	566
会津坂下町	106	64	42	445	223	223	258	77	180
湯川村	132	79	53	272	136	136	258	77	181
柳津町	1	1	*	9	4	4	1	*	1
三島町	1	*	*	1	1	1	1	*	*
金山町	1	1	*	1	1	1	1	*	1
昭和村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
会津美里町	102	61	41	572	286	286	318	95	223
西郷村	5	3	2	39	19	19	6	2	5
泉崎村	1	*	*	7	4	4	1	*	1
中島村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
矢吹町	2	1	1	7	4	4	2	1	1
棚倉町	*	*	*	*	*	*	*	*	*
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
玉川村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5,859	3,515	2,344	13,077	6,539	6,539	11,074	3,322	7,752

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が含まないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-16 要配慮者の避難者数  
(会津盆地東縁断層帯の地震，冬18時)(単位：人)

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	0	0	0	3	1	1	0	0	0
会津若松市	8,130	4,878	3,252	11,081	5,540	5,540	8,170	2,451	5,719
郡山市	217	130	87	430	215	215	217	65	152
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白河市	2	1	1	40	20	20	3	1	2
須賀川市	13	8	5	52	26	26	13	4	9
喜多方市	732	439	293	1,454	727	727	732	220	512
相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	3	2	1	7	4	4	3	1	2
田村市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	*	*	*	8	4	4	*	*	*
桑折町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	*	*	*	3	1	1	*	*	*
鏡石町	1	*	*	7	4	4	1	*	*
天栄村	24	15	10	57	28	28	28	8	20
下郷町	244	146	97	447	224	224	318	95	223
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
南会津町	33	20	13	150	75	75	60	18	42
北塩原村	7	4	3	47	23	23	20	6	14
西会津町	5	3	2	19	9	9	5	2	4
磐梯町	391	235	156	499	249	249	391	117	274
猪苗代町	609	365	244	1,092	546	546	842	253	589
会津坂下町	352	211	141	630	315	315	352	106	246
湯川村	250	150	100	360	180	180	270	81	189
柳津町	2	1	1	9	5	5	2	1	1
三島町	1	*	*	1	1	1	1	*	*
金山町	1	*	*	1	*	*	1	*	*
昭和村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
会津美里町	358	215	143	764	382	382	358	108	251
西郷村	2	1	1	37	18	18	6	2	4
泉崎村	*	*	*	7	4	4	*	*	*
中島村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
矢吹町	1	1	*	7	3	3	1	*	1
棚倉町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
玉川村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	*	*	*	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	1	*	*	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11,379	6,827	4,552	17,217	8,609	8,609	11,795	3,539	8,257

\*：わずか、0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-17 要配慮者の避難者数  
(想定東北地方太平洋沖地震, 冬5時)(単位:人)

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	234	140	94	995	497	497	234	70	164
会津若松市	155	93	62	531	266	266	155	46	108
郡山市	2,576	1,546	1,031	7,280	3,640	3,640	3,257	977	2,280
いわき市	11,054	7,243	3,811	7,622	4,597	3,026	12,847	3,854	8,993
白河市	148	89	59	781	390	390	342	103	239
須賀川市	939	564	376	2,157	1,078	1,078	1,120	336	784
喜多方市	16	10	7	29	14	14	16	5	11
相馬市	1,336	876	461	1,031	667	364	1,529	459	1,070
二本松市	137	82	55	557	278	278	195	58	136
田村市	176	106	71	558	279	279	187	56	131
南相馬市	648	424	224	717	455	261	813	244	569
伊達市	136	81	54	475	237	237	136	41	95
本宮市	132	79	53	316	158	158	132	39	92
桑折町	134	80	54	343	171	171	139	42	97
国見町	266	160	106	497	249	249	266	80	186
川俣町	29	17	12	66	33	33	29	9	20
大玉村	7	4	3	34	17	17	7	2	5
鏡石町	93	56	37	315	158	158	149	45	104
天栄村	32	19	13	114	57	57	56	17	39
下郷町	*	*	*	1	*	*	*	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	2	1	1	5	2	2	2	1	2
北塩原村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
西会津町	3	2	1	3	2	2	3	1	2
磐梯町	*	*	*	5	3	3	*	*	*
猪苗代町	28	17	11	69	34	34	28	9	20
会津坂下町	25	15	10	61	30	30	25	8	18
湯川村	4	2	2	14	7	7	4	1	3
柳津町	*	*	*	1	*	*	*	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	7	4	3	19	10	10	7	2	5
西郷村	133	80	53	538	269	269	276	83	193
泉崎村	4	2	1	31	16	16	5	1	3
中島村	12	7	5	55	28	28	18	6	13
矢吹町	76	46	30	295	147	147	120	36	84
棚倉町	37	22	15	102	51	51	37	11	26
矢祭町	9	5	3	13	6	6	9	3	6
塙町	5	3	2	14	7	7	5	2	4
鮫川村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
石川町	40	24	16	63	32	32	40	12	28
玉川村	12	7	5	44	22	22	12	4	9
平田村	13	8	5	54	27	27	13	4	9
浅川町	10	6	4	53	26	26	15	4	10
古殿町	8	5	3	33	17	17	8	2	6
三春町	20	12	8	110	55	55	24	7	17
小野町	23	14	9	99	49	49	24	7	17
広野町	21	13	8	43	26	17	36	11	26
楢葉町	4	3	2	12	7	5	10	3	7
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	7	4	3	25	14	11	21	6	15
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
新地町	204	130	74	367	235	132	329	99	230
飯館村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
合計	18,959	12,104	6,855	26,548	14,366	12,182	22,685	6,806	15,880

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-18 要配慮者の避難者数  
(想定東北地方太平洋沖地震, 夏12時)(単位:人)

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	237	142	95	997	498	498	237	71	166
会津若松市	105	63	42	494	247	247	121	36	85
郡山市	3,164	1,898	1,266	7,720	3,860	3,860	3,316	995	2,321
いわき市	10,381	6,806	3,576	7,441	4,484	2,957	12,823	3,847	8,976
白河市	147	88	59	780	390	390	342	102	239
須賀川市	929	557	372	2,149	1,075	1,075	1,119	336	784
喜多方市	15	9	6	28	14	14	15	4	10
相馬市	1,273	835	438	997	642	355	1,525	457	1,067
二本松市	125	75	50	548	274	274	194	58	136
田村市	165	99	66	549	275	275	186	56	130
南相馬市	568	371	196	692	437	255	810	243	567
伊達市	118	71	47	461	231	231	118	35	83
本宮市	143	86	57	324	162	162	143	43	100
桑折町	141	84	56	348	174	174	141	42	99
国見町	282	169	113	509	254	254	282	84	197
川俣町	28	17	11	65	32	32	28	8	19
大玉村	7	4	3	33	17	17	7	2	5
鏡石町	103	62	41	322	161	161	150	45	105
天栄村	27	16	11	111	55	55	55	17	39
下郷町	*	*	*	1	*	*	*	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	2	1	1	4	2	2	2	1	1
北塩原村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
西会津町	3	2	1	3	2	2	3	1	2
磐梯町	*	*	*	5	3	3	*	*	*
猪苗代町	18	11	7	61	30	30	18	5	13
会津坂下町	18	11	7	56	28	28	18	6	13
湯川村	2	1	1	12	6	6	2	1	1
柳津町	*	*	*	1	*	*	*	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	4	2	1	17	9	9	4	1	3
西郷村	145	87	58	547	273	273	277	83	194
泉崎村	4	3	2	32	16	16	5	1	3
中島村	9	5	4	53	27	27	18	5	13
矢吹町	74	44	30	293	146	146	120	36	84
棚倉町	36	22	15	102	51	51	36	11	25
矢祭町	8	5	3	13	6	6	8	3	6
塙町	5	3	2	13	7	7	5	2	4
鮫川村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
石川町	39	24	16	63	31	31	39	12	28
玉川村	10	6	4	42	21	21	10	3	7
平田村	11	7	4	52	26	26	13	4	9
浅川町	9	5	3	51	26	26	14	4	10
古殿町	7	4	3	32	16	16	7	2	5
三春町	16	10	7	108	54	54	24	7	17
小野町	21	13	8	97	49	49	24	7	17
広野町	90	60	31	44	27	17	37	11	26
楢葉町	13	8	4	12	7	5	10	3	7
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	6	4	2	25	14	11	21	6	14
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
新地町	308	200	108	346	219	127	326	98	229
飯館村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
合計	18,815	11,989	6,826	26,656	14,379	12,277	22,654	6,796	15,858

\*: わずか, 0: 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.1-19 要配慮者の避難者数  
(想定東北地方太平洋沖地震，冬18時)(単位：人)

市区町村名	被災1日後			被災1週間後			被災1か月後		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島市	235	141	94	996	498	498	235	71	165
会津若松市	158	95	63	534	267	267	158	48	111
郡山市	3,427	2,056	1,371	7,918	3,959	3,959	3,427	1,028	2,399
いわき市	10,981	7,179	3,802	7,761	4,653	3,108	12,865	3,860	9,006
白河市	257	154	103	862	431	431	353	106	247
須賀川市	1,117	670	447	2,290	1,145	1,145	1,138	341	797
喜多方市	16	9	6	29	14	14	16	5	11
相馬市	1,332	871	460	1,036	665	371	1,530	459	1,071
二本松市	129	78	52	551	276	276	194	58	136
田村市	195	117	78	573	286	286	195	59	137
南相馬市	622	406	216	719	453	266	814	244	570
伊達市	125	75	50	467	233	233	125	37	87
本宮市	181	109	72	353	176	176	181	54	127
桑折町	138	83	55	346	173	173	140	42	98
国見町	267	160	107	498	249	249	267	80	187
川俣町	28	17	11	65	33	33	28	8	20
大玉村	7	4	3	33	17	17	7	2	5
鏡石町	134	80	53	346	173	173	153	46	107
天栄村	29	18	12	112	56	56	56	17	39
下郷町	*	*	*	1	*	*	*	*	*
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	2	1	1	5	2	2	2	1	2
北塩原村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
西会津町	3	2	1	3	2	2	3	1	2
磐梯町	1	*	*	5	3	3	1	*	*
猪苗代町	27	16	11	67	34	34	27	8	19
会津坂下町	24	15	10	60	30	30	24	7	17
湯川村	4	2	1	13	7	7	4	1	2
柳津町	*	*	*	1	*	*	*	*	*
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	6	3	2	19	9	9	6	2	4
西郷村	166	100	67	563	281	281	279	84	196
泉崎村	4	2	2	32	16	16	5	1	3
中島村	10	6	4	54	27	27	18	5	13
矢吹町	75	45	30	294	147	147	120	36	84
棚倉町	37	22	15	102	51	51	37	11	26
矢祭町	8	5	3	13	6	6	8	3	6
塙町	5	3	2	13	7	7	5	2	4
鮫川村	*	*	*	2	1	1	*	*	*
石川町	40	24	16	63	32	32	40	12	28
玉川村	11	7	4	43	21	21	11	3	8
平田村	12	7	5	53	26	26	13	4	9
浅川町	9	6	4	52	26	26	14	4	10
古殿町	7	4	3	33	16	16	7	2	5
三春町	18	11	7	109	54	54	24	7	17
小野町	22	13	9	98	49	49	24	7	17
広野町	63	41	21	44	27	17	37	11	26
楢葉町	9	6	3	12	7	5	10	3	7
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	48	29	19	56	30	26	62	19	43
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	*	*	*	*	*	*	*	*	*
新地町	299	192	107	379	238	141	331	99	232
飯館村	*	*	*	1	1	1	*	*	*
合計	20,288	12,884	7,404	27,675	14,905	12,770	22,995	6,899	16,097

\*：わずか，0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

5.2 物資需要

5.2.1 物資需要の対象項目及び想定手法

本県では、備蓄物資整備・運用指針を令和3年3月3日に制定し、運用している。この指針には備蓄物資の品目及び数量、積算方法を設定している。指針では、令和元年東日本台風時の3日間の避難者数の平均となる10,000人をベースに、3日分の物資を備蓄することとしている。品目は発災初期の一週間において、生命の維持及び避難生活に必要不可欠となるものとしている。品目と積算内訳を表Ⅲ-5.2-1に示す。

表Ⅲ-5.2-1 令和元年東日本台風時の3日間の避難者数をベースに福島県が設定した備蓄物資の品目、数量及び積算内訳

No.	品目	備蓄目標数量	単位	積算内訳
1	食料	90,000	食	3食／1日×3日×10,000人分
2	飲料水(1本500ml)	180,000	本	3L／1日×3日×10,000人分／0.5L
3	粉ミルク	12,000	本	10本／1日×3日×400人分(10,000人の4%である400人が乳幼児(～4歳)と想定)
4	ほ乳瓶	400	本	1人1本×400人分(10,000人の4%である400人が乳幼児(～4歳)と想定)
5	毛布	10,000	枚	1人1枚×10,000人分
6	ウェットティッシュ	10,000	パック	1人1パック×10,000人分
7	おむつ(乳児用)	400	パック	1人1パック(10,000人の4%である400人が乳幼児(～4歳)と想定)
8	おむつ(大人用)	1,000	パック	1人1パック×1,000人分(10,000人の10%である1,000人が高齢者(75歳～)と想定)
9	生理用品	3,000	パック	1人1パック×3,000人分(10,000人の30%である3,000人が女性(10～60歳)と想定)
10	トイレットペーパー	10,000	巻	1人1巻×10,000人分
11	簡易トイレ	100	台	1台／100人×10,000人分
12	トイレフレーム	20	台	1台／500人×10,000人分
13	ワンタッチテント	200	張	1張／100人×10,000人分×2用途分(簡易トイレ及び着替え用)
14	マスク	70,000	枚	1枚／1日×7日×10,000人分
15	パーテーション(段ボール製)	500	セット	1セット／20人×10,000人分
16	パーテーション(EPS製)	16	セット	必要量
17	パーテーション(テント型)	2,000	張	1張／5人×10,000人分

地震時においても、発災初期は表Ⅲ-5.2-1の品目が必要となることから、想定地震ごとの3日間の避難者数に対する備蓄の必要数量を積算内訳に従って、求めることとした。なお、算出は、避難者数が最も多くなる冬18時の想定とした。表Ⅲ-5.2-2に避難者数を示す。

表Ⅲ-5.2-2 想定地震ごとの避難者数(冬18時)

想定地震	1日後			2日後			3日後			計		
	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外	総数	避難所	避難所外
福島盆地西縁断層帯の地震	53,726	32,236	21,490	59,006	33,980	25,026	64,285	35,724	28,561	177,017	101,940	75,077
会津盆地東縁断層帯の地震	56,588	33,953	22,635	61,284	35,358	25,926	65,981	36,763	29,218	183,853	106,074	77,779
想定東北地方太平洋沖地震	112,431	71,324	41,107	119,535	73,316	46,219	126,638	75,308	51,330	358,604	219,948	138,656

表Ⅲ-5.2-1の備蓄量は避難者に対して求めたものである。中央防災会議(2013、南海トラフ)では、飲料水の需要量として、避難者に対する備蓄以外に家庭内備蓄及び

### Ⅲ 被害想定について

#### 5. 生活支障について

給水資機材による応急給水量も含めた量を想定している。これは、断水人口を給水需要量として、1日1人3リットルを原単位として飲料水の需要量を求めている。この考え方による飲料水の需要量も求めることとした。

#### 5.2.2 物資需要量の想定結果

本県の運用指針に従った物資の需要量の想定結果を表Ⅲ-5.2-3～表Ⅲ-5.2-5に示す。さらに、飲料水について中央防災会議の考え方によった需要量を表Ⅲ-5.2-6に示した。

表Ⅲ-5.2-3 物資の需要量（福島盆地西縁断層帯の地震）

品目	単位	全避難者				避難所避難者				避難所外避難者			
		合計	1日目	2日目	3日目	合計	1日目	2日目	3日目	合計	1日目	2日目	3日目
食料	食	531,051	161,178	177,018	192,855	305,820	96,708	101,940	107,172	225,231	64,470	75,078	85,683
飲料水(1本500ml)	本	1,062,102	322,356	354,036	385,710	611,640	193,416	203,880	214,344	450,462	128,940	150,156	171,366
粉ミルク	本	59,550	18,090	19,850	21,610	34,290	10,850	11,430	12,010	25,260	7,240	8,420	9,600
ほ乳瓶	本	5,955	1,809	1,985	2,161	3,429	1,085	1,143	1,201	2,526	724	842	960
毛布	枚	177,017	53,726	59,006	64,285	101,940	32,236	33,980	35,724	75,077	21,490	25,026	28,561
ウェットティッシュ	パック	177,017	53,726	59,006	64,285	101,940	32,236	33,980	35,724	75,077	21,490	25,026	28,561
おむつ(乳児用)	パック	5,955	1,809	1,985	2,161	3,429	1,085	1,143	1,201	2,526	724	842	960
おむつ(大人用)	パック	25,739	7,807	8,579	9,353	14,821	4,684	4,940	5,197	10,918	3,123	3,639	4,156
生理用品	パック	49,284	14,962	16,428	17,894	28,382	8,977	9,461	9,944	20,902	5,985	6,967	7,950
トイレットペーパー	巻	177,017	53,726	59,006	64,285	101,940	32,236	33,980	35,724	75,077	21,490	25,026	28,561
簡易トイレ	台	1,770	537	590	643	1,019	322	340	357	751	215	250	286
トイレフレーム	台	354	107	118	129	204	64	68	71	150	43	50	57
ワンタッチテント	張	1,770	537	590	643	1,019	322	340	357	751	215	250	286
マスク	枚	177,017	53,726	59,006	64,285	101,940	32,236	33,980	35,724	75,077	21,490	25,026	28,561
パーテーション(段ボール製)	セット	8,851	2,686	2,950	3,214	5,097	1,612	1,699	1,786	3,754	1,075	1,251	1,428
パーテーション(テント型)	張	35,403	10,745	11,801	12,857	20,388	6,447	6,796	7,145	15,015	4,298	5,005	5,712

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。

表Ⅲ-5.2-4 物資の需要量（会津盆地東縁断層帯の地震）

品目	単位	全避難者				避難所避難者				避難所外避難者			
		合計	1日目	2日目	3日目	合計	1日目	2日目	3日目	合計	1日目	2日目	3日目
食料	食	551,559	169,764	183,852	197,943	318,222	101,859	106,074	110,289	233,337	67,905	77,778	87,654
飲料水(1本500ml)	本	1,103,118	339,528	367,704	395,886	636,444	203,718	212,148	220,578	466,674	135,810	155,556	175,308
粉ミルク	本	67,300	20,750	22,440	24,110	38,840	12,450	12,950	13,440	28,460	8,300	9,490	10,670
ほ乳瓶	本	6,730	2,075	2,244	2,411	3,884	1,245	1,295	1,344	2,846	830	949	1,067
毛布	枚	183,853	56,588	61,284	65,981	106,074	33,953	35,358	36,763	77,779	22,635	25,926	29,218
ウェットティッシュ	パック	183,853	56,588	61,284	65,981	106,074	33,953	35,358	36,763	77,779	22,635	25,926	29,218
おむつ(乳児用)	パック	6,730	2,075	2,244	2,411	3,884	1,245	1,295	1,344	2,846	830	949	1,067
おむつ(大人用)	パック	29,474	9,040	9,825	10,609	16,997	5,424	5,666	5,907	12,477	3,616	4,159	4,702
生理用品	パック	50,574	15,589	16,858	18,127	29,184	9,353	9,728	10,103	21,390	6,236	7,130	8,024
トイレットペーパー	巻	183,853	56,588	61,284	65,981	106,074	33,953	35,358	36,763	77,779	22,635	25,926	29,218
簡易トイレ	台	1,839	566	613	660	1,061	340	354	368	778	226	259	292
トイレフレーム	台	368	113	123	132	212	68	71	74	156	45	52	58
ワンタッチテント	張	1,839	566	613	660	1,061	340	354	368	778	226	259	292
マスク	枚	183,853	56,588	61,284	65,981	106,074	33,953	35,358	36,763	77,779	22,635	25,926	29,218
パーテーション(段ボール製)	セット	9,193	2,829	3,064	3,299	5,304	1,698	1,768	1,838	3,889	1,132	1,296	1,461
パーテーション(テント型)	張	36,771	11,318	12,257	13,196	21,215	6,791	7,072	7,353	15,556	4,527	5,185	5,844

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。

表Ⅲ-5.2-5 物資の需要量（想定東北地方太平洋沖地震）

品目	単位	全避難者				避難所避難者				避難所外避難者			
		合計	1日目	2日目	3日目	合計	1日目	2日目	3日目	合計	1日目	2日目	3日目
食料	食	1,075,812	337,293	358,605	379,914	659,844	213,972	219,948	225,924	415,968	123,321	138,657	153,990
飲料水(1本500ml)	本	2,151,624	674,586	717,210	759,828	1,319,688	427,944	439,896	451,848	831,936	246,642	277,314	307,980
粉ミルク	本	130,360	40,780	43,460	46,120	79,850	25,850	26,620	27,380	50,510	14,930	16,840	18,740
ほ乳瓶	本	13,036	4,078	4,346	4,612	7,985	2,585	2,662	2,738	5,051	1,493	1,684	1,874
毛布	枚	358,604	112,431	119,535	126,638	219,948	71,324	73,316	75,308	138,656	41,107	46,219	51,330
ウェットティッシュ	パック	358,604	112,431	119,535	126,638	219,948	71,324	73,316	75,308	138,656	41,107	46,219	51,330
おむつ(乳児用)	パック	13,036	4,078	4,346	4,612	7,985	2,585	2,662	2,738	5,051	1,493	1,684	1,874
おむつ(大人用)	パック	49,568	15,596	16,523	17,449	30,477	9,909	10,159	10,409	19,091	5,687	6,364	7,040
生理用品	パック	98,464	30,765	32,821	34,878	60,270	19,493	20,090	20,687	38,194	11,272	12,731	14,191
トイレットペーパー	巻	358,604	112,431	119,535	126,638	219,948	71,324	73,316	75,308	138,656	41,107	46,219	51,330
簡易トイレ	台	3,586	1,124	1,195	1,266	2,199	713	733	753	1,387	411	462	513
トイレフレーム	台	717	225	239	253	440	143	147	151	277	82	92	103
ワンタッチテント	張	3,586	1,124	1,195	1,266	2,199	713	733	753	1,387	411	462	513
マスク	枚	358,604	112,431	119,535	126,638	219,948	71,324	73,316	75,308	138,656	41,107	46,219	51,330
パーテーション(段ボール製)	セット	17,930	5,622	5,977	6,332	10,997	3,566	3,666	3,765	6,933	2,055	2,311	2,567
パーテーション(テント型)	張	71,721	22,486	23,907	25,328	43,990	14,265	14,663	15,062	27,731	8,221	9,244	10,266

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.2-6 避難者に対する備蓄以外の家庭内備蓄及び給水資機材も含めた必要給水量  
(リットル)

市区町村名	福島盆地西縁断層帯の地震				会津盆地東縁断層帯の地震				想定東北地方太平洋沖地震			
	合計	1日後	2日後	3日後	合計	1日後	2日後	3日後	合計	1日後	2日後	3日後
福島市	1,613,478	560,412	538,527	514,539	2,380	930	849	601	308,386	114,435	102,489	91,462
会津若松市	603	236	214	153	1,033,605	348,825	345,180	339,599	133,234	48,777	44,320	40,137
郡山市	14,183	5,517	4,812	3,854	107,257	39,874	35,643	31,740	1,628,715	572,167	543,503	513,045
いわき市	45	18	17	10	0	0	0	0	1,313,732	458,808	437,752	417,172
白河市	39	15	14	10	16,040	6,082	5,332	4,626	195,998	69,719	65,333	60,947
須賀川市	227	89	81	58	18,051	6,797	6,017	5,237	408,684	142,597	136,395	129,692
喜多方市	944	367	327	250	185,523	65,097	61,879	58,547	5,296	2,007	1,761	1,528
相馬市	3,453	1,330	1,157	967	0	0	0	0	144,568	50,473	48,183	45,911
二本松市	35,452	13,188	11,778	10,485	2,442	944	823	674	126,420	45,461	42,104	38,855
田村市	7	3	3	1	0	0	0	0	109,008	39,152	36,307	33,549
南相馬市	731	288	245	198	0	0	0	0	123,901	44,563	41,251	38,088
伊達市	253,513	89,245	84,572	79,696	8	3	3	2	110,415	40,270	36,751	33,394
本宮市	4,957	1,898	1,652	1,407	3,251	1,246	1,087	918	67,760	24,480	22,558	20,722
桑折町	110,267	37,461	36,834	35,972	0	0	0	0	56,835	20,089	18,957	17,789
国見町	73,622	25,226	24,586	23,810	0	0	0	0	64,695	22,410	21,597	20,688
川俣町	3,016	1,151	1,002	863	3	1	1	1	12,589	4,667	4,184	3,739
大玉村	4,060	1,526	1,348	1,187	1,182	460	392	330	10,201	3,778	3,390	3,033
鏡石町	1	1	1	0	3,067	1,167	1,019	881	70,789	24,825	23,623	22,341
天栄村	12	5	4	3	9,789	3,485	3,262	3,042	21,832	7,677	7,282	6,872
下郷町	6	2	2	2	41,471	14,187	13,848	13,436	193	75	66	52
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	68	26	24	18	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	25,925	9,283	8,638	8,004	851	319	288	244
北塩原村	496	188	165	143	10,649	3,788	3,550	3,312	40	15	14	10
西会津町	2	1	1	0	3,335	1,245	1,109	981	304	116	104	84
磐梯町	150	58	52	40	32,239	10,824	10,768	10,648	1,472	556	486	429
猪苗代町	3,854	1,466	1,278	1,110	110,671	37,614	36,963	36,093	12,972	4,792	4,313	3,866
会津坂下町	37	14	14	8	79,051	27,650	26,375	25,026	12,951	4,833	4,303	3,815
湯川村	206	80	70	55	31,387	10,589	10,483	10,315	3,417	1,274	1,135	1,008
柳津町	0	0	0	0	1,925	721	638	566	146	57	49	40
三島町	0	0	0	0	203	78	68	57	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	99	38	33	28	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	392	147	130	114	0	0	0	0
会津美里町	8	3	3	2	102,010	35,755	34,042	32,213	4,520	1,708	1,507	1,305
西郷村	0	0	0	0	14,763	5,482	4,902	4,380	134,728	47,194	44,950	42,584
泉崎村	39	15	13	10	2,523	952	837	734	9,478	3,503	3,150	2,825
中島村	8	3	3	2	948	363	315	270	13,702	4,938	4,564	4,201
矢吹町	5	2	2	1	2,689	1,044	894	751	66,443	23,613	22,155	20,675
棚倉町	0	0	0	0	109	43	37	29	21,889	7,950	7,284	6,655
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	1,903	721	632	551
塙町	0	0	0	0	0	0	0	0	2,881	1,094	955	831
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	575	222	191	162
石川町	0	0	0	0	146	57	50	39	10,817	4,042	3,590	3,184
玉川村	2	1	1	0	152	59	52	41	11,245	4,116	3,742	3,387
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0	11,624	4,243	3,868	3,513
浅川町	0	0	0	0	11	4	4	3	13,109	4,770	4,359	3,980
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	6,680	2,453	2,221	2,006
三春町	394	152	136	106	296	115	102	79	30,185	11,067	10,036	9,081
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0	21,995	8,025	7,312	6,659
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0	9,654	3,425	3,218	3,011
楢葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	5,320	1,861	1,775	1,683
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0	4,325	1,560	1,440	1,325
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0	64	23	21	20
新地町	932	357	313	262	0	0	0	0	47,027	16,393	15,690	14,945
飯館村	1	0	0	0	0	0	0	0	78	29	26	23
合計	2,124,751	740,318	709,226	675,208	1,843,659	634,977	615,349	593,333	5,373,645	1,901,340	1,791,185	1,681,120

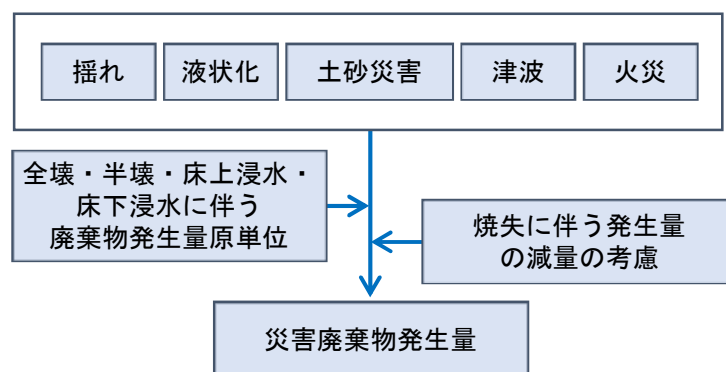
※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。

### 5.3 災害廃棄物

#### 5.3.1 災害廃棄物の想定手法

災害廃棄物については、福島県災害廃棄物処理計画に合わせて、環境省(2018)<sup>Ⅲ-46)</sup>「災害廃棄物対策指針(改定版)」におけるがれきの発生量の推定式を採用して建物の全壊、半壊、床上浸水・床下浸水(津波)及び焼失による災害廃棄物の発生量について算出した。計算の流れは以下のとおりである。環境省(2018)では、火災の焼失による廃棄物の算出は、全壊による発生量からの減量分を差し引いて算出することとしており、本手法においてもそれを採用した。

なお、被害想定の対象とした想定に基づいて災害廃棄物量の算出を行い、災害廃棄物の種類別の割合は表Ⅲ-5.3-1の内訳を用いて算出した。



図Ⅲ-5.3-1 災害廃棄物の被害想定フロー(中央防災会議(2013)を一部修正)

表Ⅲ-5.3-1 全壊・半壊・床上浸水・床下浸水・焼失による発生原単位

(環境省(2018)<sup>Ⅲ-46)</sup>をもとに作成)

被害区分	発生原単位	算出に用いたデータ
全壊	117 トン/棟	・ 東日本大震災における岩手県及び宮城県の建物被害棟数：消防庁被害報 ・ 東日本大震災における岩手県及び宮城県の災害廃棄物処理量
半壊	23 トン/棟	岩手県：「災害廃棄物処理詳細計画(第二次改訂版)」(岩手県, 2013.5) <sup>Ⅲ-47)</sup> 宮城県：「災害廃棄物処理実行計画(最終版)」(宮城県, 2013.4) <sup>Ⅲ-48)</sup> (半壊の発生原単位は「全壊の20%」に設定)
床上浸水(津波)	4.60 トン/世帯	・ 既往研究成果をもとに設定 「水害時における行政の初動対応からみた災害廃棄物発生量の推定手法に関する研究」(平山・河田, 2005) <sup>Ⅲ-49)</sup>
床下浸水(津波)	0.62 トン/世帯	
焼失	全壊の発生原単位から 木造：78 トン/棟 非木造：98 トン/棟	・ 既往資料による火災焼失の発生源単位 平成8年度大都市圏の震災時における廃棄物の広域処理体制に係る調査報告書(厚生省生活衛生局, 1997.3) <sup>Ⅲ-50)</sup>

※ 津波浸水深が0.5m以上1.5m未満の場合は、床上浸水、0.5m未満の場合は、床下浸水と判定する。

表Ⅲ-5.3-2 災害廃棄物の種類別割合

項目	液状化、揺れ、津波 (既往文献の発生原単位 に首都圏の建物特性 を加味して設定)	火災 (既往文献の発生原単位をもとに設定)	
		木造	非木造
可燃物	8%	0.1%	0.1%
不燃物	28%	65%	20%
コンクリートがら	58%	31%	76%
金属	3%	4%	4%
柱角材	3%	0%	0%

津波堆積物については、環境省（2018）における津波堆積物の発生原単位の設定に基づき、津波浸水面積（㎡）に対して、0.024 トン／㎡の発生原単位を用いて、処理量を算出する。ここで、津波浸水面積は浸水深が 30cm 以上のエリアを対象として抽出した。



Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

5.3.2 災害廃棄物の想定結果

災害廃棄物ならびに津波堆積物の想定結果を示す。

表Ⅲ-5.3-3 災害廃棄物発生量（福島盆地西縁断層帯の地震）：冬5時

トン

市町村名	福島盆地西縁断層帯の地震					
	災害廃棄物					
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	合計
福島市	180,738	873,954	1,423,381	82,571	67,637	2,628,280
会津若松市	*	*	*	*	*	*
郡山市	189	661	1,368	71	71	2,359
いわき市	0	1	3	0	0	5
白河市	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0
喜多方市	9	33	67	3	3	116
相馬市	1,182	4,138	8,571	443	443	14,777
二本松市	1,349	4,721	9,778	506	506	16,859
田村市	0	0	0	0	0	0
南相馬市	25	88	182	9	9	313
伊達市	25,136	87,976	182,237	9,426	9,426	314,201
本宮市	137	480	995	51	51	1,715
桑折町	29,221	116,014	218,289	11,800	10,950	386,275
国見町	18,076	81,494	139,588	7,896	6,768	253,823
川俣町	227	795	1,648	85	85	2,841
太玉村	228	799	1,656	86	86	2,854
鏡石町	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0
北塩原村	6	21	44	2	2	76
西会津町	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	193	674	1,397	72	72	2,408
会津坂下町	0	0	0	0	0	0
湯川村	4	14	28	1	1	48
柳津町	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0
双葉町	15	53	110	6	6	190
浪江町	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0
新地町	70	243	504	26	26	870
飯館村	8	28	59	3	3	101
合計	256,814	1,172,188	1,989,905	113,059	96,147	3,628,113

\*： わずか      0： 被害なし      ※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.3-4 災害廃棄物発生量（福島盆地西縁断層帯の地震）：夏 12 時

トン

市町村名	福島盆地西縁断層帯の地震					
	災害廃棄物					
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	合計
福島市	180,763	890,471	1,431,258	83,587	67,637	2,653,716
会津若松市	*	*	*	*	*	*
郡山市	189	661	1,368	71	71	2,359
いわき市	0	1	3	0	0	5
白河市	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0
喜多方市	9	33	67	3	3	116
相馬市	1,182	4,138	8,571	443	443	14,777
二本松市	1,349	4,721	9,778	506	506	16,859
田村市	0	0	0	0	0	0
南相馬市	25	88	182	9	9	313
伊達市	25,212	137,551	205,880	12,477	9,426	390,546
本宮市	137	480	995	51	51	1,715
桑折町	29,224	117,750	219,117	11,907	10,950	388,948
国見町	18,053	66,250	132,318	6,958	6,768	230,347
川俣町	227	795	1,648	85	85	2,841
大玉村	228	799	1,656	86	86	2,854
鏡石町	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0
北塩原村	6	21	44	2	2	76
西会津町	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	193	674	1,397	72	72	2,408
会津坂下町	0	0	0	0	0	0
湯川村	4	14	28	1	1	48
柳津町	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0
双葉町	15	53	110	6	6	190
浪江町	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0
新地町	70	243	504	26	26	870
飯館村	8	28	59	3	3	101
合計	256,895	1,224,772	2,014,984	116,295	96,147	3,709,092

\*： わずか      0： 被害なし      ※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.3-5 災害廃棄物発生量（福島盆地西縁断層帯の地震）：冬 18 時

トン

市町村名	福島盆地西縁断層帯の地震					
	災害廃棄物					
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	合計
福島市	181,226	1,191,189	1,574,678	102,093	67,637	3,116,822
会津若松市	*	*	*	*	*	*
郡山市	189	661	1,368	71	71	2,359
いわき市	0	1	3	0	0	5
白河市	0	0	0	0	0	0
須賀川市	0	0	0	0	0	0
喜多方市	9	33	67	3	3	116
相馬市	1,182	4,138	8,571	443	443	14,777
二本松市	1,349	4,721	9,778	506	506	16,859
田村市	0	0	0	0	0	0
南相馬市	25	88	182	9	9	313
伊達市	25,268	173,912	223,221	14,714	9,426	446,542
本宮市	137	480	995	51	51	1,715
桑折町	29,248	133,189	226,480	12,857	10,950	412,724
国見町	18,083	85,659	141,575	8,152	6,768	260,237
川俣町	227	795	1,648	85	85	2,841
大玉村	228	799	1,656	86	86	2,854
鏡石町	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0
下郷町	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0
南会津町	0	0	0	0	0	0
北塩原村	6	21	44	2	2	76
西会津町	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	193	674	1,397	72	72	2,408
会津坂下町	0	0	0	0	0	0
湯川村	4	14	28	1	1	48
柳津町	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0
会津美里町	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0
埴町	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0
楡葉町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0
双葉町	15	53	110	6	6	190
浪江町	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0
新地町	70	243	504	26	26	870
飯館村	8	28	59	3	3	101
合計	257,467	1,596,698	2,192,364	139,182	96,147	4,281,859

\*： わずか      0： 被害なし      ※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.3-6 災害廃棄物発生量（会津盆地東縁断層帯の地震）：冬5時

市町村名	会津盆地東縁断層帯の地震					
	災害廃棄物					
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	合計
福島市	*	*	*	*	*	*
会津若松市	145,418	628,804	1,110,399	61,877	54,462	2,000,960
郡山市	6,521	22,823	47,276	2,445	2,445	81,511
いわき市	0	0	0	0	0	0
白河市	259	907	1,879	97	97	3,239
須賀川市	1,136	3,975	8,234	426	426	14,196
喜多方市	27,637	104,380	203,951	10,833	10,359	357,161
相馬市	0	0	0	0	0	0
二本松市	238	831	1,722	89	89	2,969
田村市	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0
本宮市	45	158	326	17	17	563
桑折町	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0
太玉村	33	116	240	12	12	414
鏡石町	44	154	319	16	16	550
天栄村	2,014	7,048	14,600	755	755	25,173
下郷町	12,082	43,045	87,952	4,577	4,530	152,187
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0
南会津町	2,740	9,590	19,866	1,028	1,028	34,251
北塩原村	338	1,182	2,449	127	127	4,223
西会津町	493	1,726	3,575	185	185	6,164
磐梯町	13,235	53,887	99,498	5,427	4,959	177,005
猪苗代町	27,432	100,642	201,049	10,571	10,284	349,978
会津坂下町	7,021	24,575	50,905	2,633	2,633	87,767
湯川村	4,521	15,825	32,780	1,696	1,696	56,517
柳津町	153	535	1,109	57	57	1,912
三島町	34	118	245	13	13	422
金山町	44	154	319	17	17	550
昭和村	26	89	185	10	10	319
会津美里町	18,249	63,872	132,305	6,843	6,843	228,113
西郷村	191	668	1,383	72	72	2,384
泉崎村	23	81	168	9	9	290
中島村	6	19	40	2	2	69
矢吹町	72	251	520	27	27	897
棚倉町	*	*	*	*	*	1
矢祭町	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0
鯨川村	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0
玉川村	9	33	68	4	4	117
平田村	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0
合計	270,013	1,085,490	2,023,364	109,863	101,173	3,589,903

\*： わずか 0： 被害なし ※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.3-7 災害廃棄物発生量（会津盆地東縁断層帯の地震）：夏 12 時

市町村名	会津盆地東縁断層帯の地震					
	災害廃棄物					
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	合計
福島市	*	*	*	*	*	*
会津若松市	145,556	718,529	1,153,191	67,398	54,462	2,139,136
郡山市	6,521	22,823	47,276	2,445	2,445	81,511
いわき市	0	0	0	0	0	0
白河市	259	907	1,879	97	97	3,239
須賀川市	1,136	3,975	8,234	426	426	14,196
喜多方市	27,648	111,435	207,316	11,267	10,359	368,025
相馬市	0	0	0	0	0	0
二本松市	238	831	1,722	89	89	2,969
田村市	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0
本宮市	45	158	326	17	17	563
桑折町	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0
大玉村	33	116	240	12	12	414
鏡石町	44	154	319	16	16	550
天栄村	2,014	7,048	14,600	755	755	25,173
下郷町	12,082	42,845	87,856	4,565	4,530	151,879
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0
南会津町	2,740	9,590	19,866	1,028	1,028	34,251
北塩原村	338	1,182	2,449	127	127	4,223
西会津町	493	1,726	3,575	185	185	6,164
磐梯町	13,239	56,146	100,575	5,566	4,959	180,484
猪苗代町	27,438	104,434	202,858	10,804	10,284	355,818
会津坂下町	7,025	27,036	52,078	2,784	2,633	91,557
湯川村	4,530	21,376	35,427	2,037	1,696	65,066
柳津町	153	535	1,109	57	57	1,912
三島町	34	118	245	13	13	422
金山町	44	154	319	17	17	550
昭和村	26	89	185	10	10	319
会津美里町	18,252	66,042	133,341	6,977	6,843	231,455
西郷村	191	668	1,383	72	72	2,384
泉崎村	23	81	168	9	9	290
中島村	6	19	40	2	2	69
矢吹町	72	251	520	27	27	897
棚倉町	*	*	*	*	*	1
矢祭町	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0
玉川村	9	33	68	4	4	117
平田村	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0
合計	270,187	1,198,303	2,077,167	116,805	101,173	3,763,636

\*： わずか 0： 被害なし ※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.3-8 災害廃棄物発生量（会津盆地東縁断層帯の地震）：冬 18 時

トン

市町村名	会津盆地東縁断層帯の地震					
	災害廃棄物					
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	合計
福島市	*	*	*	*	*	*
会津若松市	145,895	938,851	1,258,267	80,957	54,462	2,478,432
郡山市	6,550	41,706	56,282	3,607	2,445	110,591
いわき市	0	0	0	0	0	0
白河市	259	907	1,879	97	97	3,239
須賀川市	1,136	3,975	8,234	426	426	14,196
喜多方市	27,713	153,993	227,613	13,886	10,359	433,564
相馬市	0	0	0	0	0	0
二本松市	238	831	1,722	89	89	2,969
田村市	0	0	0	0	0	0
南相馬市	0	0	0	0	0	0
伊達市	0	0	0	0	0	0
本宮市	45	158	326	17	17	563
桑折町	0	0	0	0	0	0
国見町	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0
大玉村	33	116	240	12	12	414
鏡石町	44	154	319	16	16	550
天栄村	2,014	7,048	14,600	755	755	25,173
下郷町	12,082	43,130	87,992	4,582	4,530	152,317
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0
南会津町	2,740	9,590	19,866	1,028	1,028	34,251
北塩原村	338	1,182	2,449	127	127	4,223
西会津町	493	1,726	3,575	185	185	6,164
磐梯町	13,246	60,638	102,717	5,842	4,959	187,402
猪苗代町	27,466	122,895	211,662	11,940	10,284	384,247
会津坂下町	7,055	46,509	61,366	3,983	2,633	121,546
湯川村	4,534	23,787	36,577	2,185	1,696	68,779
柳津町	153	535	1,109	57	57	1,912
三島町	34	118	245	13	13	422
金山町	44	154	319	17	17	550
昭和村	26	89	185	10	10	319
会津美里町	18,285	87,007	143,339	8,267	6,843	263,742
西郷村	191	668	1,383	72	72	2,384
泉崎村	23	81	168	9	9	290
中島村	6	19	40	2	2	69
矢吹町	72	251	520	27	27	897
棚倉町	*	*	*	*	*	1
矢祭町	0	0	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0
玉川村	9	33	68	4	4	117
平田村	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0
三春町	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0
合計	270,722	1,546,153	2,243,065	138,211	101,173	4,299,325

\*： わずか      0： 被害なし      ※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.3-9 災害廃棄物発生量（想定東北地方太平洋沖地震）：冬5時

市町村名	想定東北地方太平洋沖の地震						
	災害廃棄物						津波堆積物
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	合計	
福島市	9,283	32,491	67,303	3,481	3,481	116,039	0
会津若松市	4,783	16,742	34,679	1,794	1,794	59,792	0
郡山市	92,711	382,925	699,522	38,348	34,733	1,248,239	0
いわき市	148,419	519,466	1,076,037	55,657	55,657	1,855,235	34,982
白河市	6,188	21,658	44,863	2,321	2,321	77,350	0
須賀川市	34,505	131,603	255,235	13,604	12,933	447,880	0
喜多方市	817	2,860	5,924	306	306	10,213	0
相馬市	34,072	119,252	247,021	12,777	12,777	425,898	646,214
二本松市	7,717	27,010	55,950	2,894	2,894	96,465	0
田村市	13,077	45,768	94,805	4,904	4,904	163,457	0
南相馬市	27,742	97,095	201,126	10,403	10,403	346,770	1,034,083
伊達市	7,292	25,522	52,867	2,734	2,734	91,150	0
本宮市	5,818	20,363	42,180	2,182	2,182	72,723	0
桑折町	4,962	17,366	35,972	1,861	1,861	62,020	0
国見町	11,403	39,910	82,670	4,276	4,276	142,534	0
川俣町	1,692	5,923	12,268	635	635	21,152	0
大玉村	421	1,474	3,054	158	158	5,266	0
鏡石町	3,386	11,849	24,545	1,270	1,270	42,319	0
天栄村	2,034	7,120	14,749	763	763	25,430	0
下郷町	*	*	*	*	*	*	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	152	532	1,101	57	57	1,899	0
北塩原村	0	2	3	0	0	6	0
西会津町	180	632	1,308	68	68	2,256	0
磐梯町	28	99	205	11	11	353	0
猪苗代町	1,476	5,165	10,698	553	553	18,445	0
会津坂下町	780	2,729	5,652	292	292	9,745	0
湯川村	96	337	698	36	36	1,203	0
柳津町	8	28	58	3	3	101	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	355	1,241	2,571	133	133	4,433	0
西郷村	4,643	16,249	33,658	1,741	1,741	58,031	0
泉崎村	146	512	1,060	55	55	1,828	0
中島村	510	1,786	3,699	191	191	6,378	0
矢吹町	2,951	10,327	21,392	1,107	1,107	36,884	0
棚倉町	1,774	6,208	12,859	665	665	22,171	0
矢祭町	400	1,399	2,897	150	150	4,996	0
塙町	232	811	1,679	87	87	2,895	0
鮫川村	6	19	40	2	2	70	0
石川町	2,189	7,663	15,873	821	821	27,368	0
玉川村	683	2,391	4,953	256	256	8,539	0
平田村	885	3,097	6,416	332	332	11,062	0
浅川町	560	1,959	4,058	210	210	6,996	0
古殿町	548	1,917	3,970	205	205	6,845	0
三春町	1,062	3,717	7,700	398	398	13,275	0
小野町	1,361	4,762	9,865	510	510	17,008	0
広野町	1,463	5,122	10,609	549	549	18,292	35,203
檜葉町	2,462	8,617	17,850	923	923	30,776	72,818
富岡町	5,556	19,447	40,282	2,084	2,084	69,452	49,795
川内村	578	2,022	4,188	217	217	7,221	0
大熊町	6,531	22,860	47,353	2,449	2,449	81,643	65,875
双葉町	11,087	38,804	80,379	4,158	4,158	138,585	104,957
浪江町	9,363	32,772	67,884	3,511	3,511	117,042	174,166
葛尾村	185	649	1,344	70	70	2,317	0
新地町	12,199	42,697	88,445	4,575	4,575	152,491	228,734
飯館村	500	1,751	3,627	188	188	6,253	0
合計	487,270	1,774,716	3,565,147	186,972	182,686	6,196,792	2,446,829

\*：わずか

0：被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。



Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.3-10 災害廃棄物発生量（想定東北地方太平洋沖地震）：夏12時

市町村名	想定東北地方太平洋沖の地震						トン
	災害廃棄物					津波堆積物	
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材		合計
福島市	9,283	32,491	67,303	3,481	3,481	116,039	0
会津若松市	4,783	16,742	34,679	1,794	1,794	59,792	0
郡山市	92,890	498,762	754,767	45,477	34,733	1,426,629	0
いわき市	148,419	519,466	1,076,037	55,657	55,657	1,855,235	34,982
白河市	6,188	21,658	44,863	2,321	2,321	77,350	0
須賀川市	34,523	143,024	260,682	14,306	12,933	465,468	0
喜多方市	817	2,860	5,924	306	306	10,213	0
相馬市	34,072	119,252	247,021	12,777	12,777	425,898	646,214
二本松市	7,717	27,010	55,950	2,894	2,894	96,465	0
田村市	13,081	48,950	96,322	5,100	4,904	168,357	0
南相馬市	27,742	97,095	201,126	10,403	10,403	346,770	1,034,083
伊達市	7,292	25,522	52,867	2,734	2,734	91,150	0
本宮市	5,818	20,363	42,180	2,182	2,182	72,723	0
桑折町	4,962	17,366	35,972	1,861	1,861	62,020	0
国見町	11,420	51,000	87,959	4,959	4,276	159,614	0
川俣町	1,692	5,923	12,268	635	635	21,152	0
大玉村	421	1,474	3,054	158	158	5,266	0
鏡石町	3,386	11,849	24,545	1,270	1,270	42,319	0
天栄村	2,034	7,120	14,749	763	763	25,430	0
下郷町	*	*	*	*	*	*	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	152	532	1,101	57	57	1,899	0
北塩原村	0	2	3	0	0	6	0
西会津町	180	632	1,308	68	68	2,256	0
磐梯町	28	99	205	11	11	353	0
猪苗代町	1,476	5,165	10,698	553	553	18,445	0
会津坂下町	780	2,729	5,652	292	292	9,745	0
湯川村	96	337	698	36	36	1,203	0
柳津町	8	28	58	3	3	101	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	355	1,241	2,571	133	133	4,433	0
西郷村	4,645	18,167	34,573	1,859	1,741	60,986	0
泉崎村	146	512	1,060	55	55	1,828	0
中島村	510	1,786	3,699	191	191	6,378	0
矢吹町	2,951	10,327	21,392	1,107	1,107	36,884	0
棚倉町	1,774	6,208	12,859	665	665	22,171	0
矢祭町	400	1,399	2,897	150	150	4,996	0
境町	232	811	1,679	87	87	2,895	0
鮫川村	6	19	40	2	2	70	0
石川町	2,189	7,663	15,873	821	821	27,368	0
玉川村	683	2,391	4,953	256	256	8,539	0
平田村	885	3,097	6,416	332	332	11,062	0
浅川町	560	1,959	4,058	210	210	6,996	0
古殿町	548	1,917	3,970	205	205	6,845	0
三春町	1,062	3,717	7,700	398	398	13,275	0
小野町	1,361	4,762	9,865	510	510	17,008	0
広野町	1,463	5,122	10,609	549	549	18,292	35,203
檜葉町	2,462	8,617	17,850	923	923	30,776	72,818
富岡町	5,560	21,675	41,345	2,221	2,084	72,884	49,795
川内村	578	2,022	4,188	217	217	7,221	0
大熊町	6,531	22,860	47,353	2,449	2,449	81,643	65,875
双葉町	11,096	44,871	83,273	4,531	4,158	147,928	104,957
浪江町	9,363	32,772	67,884	3,511	3,511	117,042	174,166
葛尾村	185	649	1,344	70	70	2,317	0
新地町	12,199	42,697	88,445	4,575	4,575	152,491	228,734
飯館村	500	1,751	3,627	188	188	6,253	0
合計	487,504	1,926,462	3,637,518	196,310	182,686	6,430,480	2,446,829

\* : わずか 0 : 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

表Ⅲ-5.3-11 災害廃棄物発生量（想定東北地方太平洋沖地震）：冬 18 時

市町村名	想定東北地方太平洋沖の地震						
	災害廃棄物						津波堆積物
	可燃物	不燃物	コンクリート がら	金属	柱角材	合計	
福島市	9,307	48,113	74,753	4,443	3,481	140,097	0
会津若松市	4,804	30,381	41,184	2,633	1,794	80,797	0
郡山市	93,343	793,827	895,491	63,635	34,733	1,881,029	0
いわき市	148,944	860,783	1,238,818	76,661	55,657	2,380,863	34,982
白河市	6,239	54,960	60,745	4,370	2,321	128,635	0
須賀川市	34,753	292,653	332,044	23,514	12,933	695,897	0
喜多方市	820	5,036	6,962	440	306	13,565	0
相馬市	34,197	200,473	285,757	17,775	12,777	550,979	646,214
二本松市	7,742	42,968	63,561	3,876	2,894	121,041	0
田村市	13,131	81,243	111,724	7,087	4,904	218,088	0
南相馬市	27,840	160,806	231,511	14,324	10,403	444,883	1,034,083
伊達市	7,312	38,824	59,211	3,553	2,734	111,634	0
本宮市	5,855	44,365	53,627	3,659	2,182	109,687	0
桑折町	4,981	30,060	42,026	2,642	1,861	81,570	0
国見町	11,474	86,082	104,690	7,117	4,276	213,639	0
川俣町	1,698	9,886	14,159	878	635	27,256	0
大玉村	423	2,290	3,443	208	158	6,522	0
鏡石町	3,407	25,978	31,283	2,139	1,270	64,077	0
天栄村	2,044	13,273	17,684	1,142	763	34,905	0
下郷町	*	*	*	*	*	*	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	152	918	1,285	81	57	2,493	0
北塩原村	0	3	4	0	0	7	0
西会津町	181	1,160	1,560	100	68	3,070	0
磐梯町	28	153	230	14	11	436	0
猪苗代町	1,482	9,349	12,694	811	553	24,889	0
会津坂下町	783	4,849	6,663	423	292	13,010	0
湯川村	97	572	810	51	36	1,566	0
柳津町	8	49	68	4	3	133	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	356	2,180	3,019	191	133	5,879	0
西郷村	4,670	34,378	42,304	2,857	1,741	85,950	0
泉崎村	147	693	1,147	66	55	2,107	0
中島村	511	2,549	4,063	238	191	7,553	0
矢吹町	2,960	16,144	24,166	1,464	1,107	45,841	0
棚倉町	1,779	9,786	14,565	885	665	27,681	0
矢祭町	401	2,561	3,452	221	150	6,786	0
塙町	233	1,428	1,974	125	87	3,846	0
鮫川村	6	32	46	3	2	88	0
石川町	2,199	14,078	18,933	1,216	821	37,247	0
玉川村	685	3,638	5,547	333	256	10,459	0
平田村	887	4,229	6,956	402	332	12,805	0
浅川町	561	2,612	4,369	250	210	8,003	0
古殿町	549	2,835	4,408	262	205	8,258	0
三春町	1,065	5,409	8,507	502	398	15,881	0
小野町	1,364	6,645	10,763	626	510	19,907	0
広野町	1,470	9,272	12,588	804	549	24,683	35,203
檀栗町	2,473	15,393	21,082	1,340	923	41,211	72,818
富岡町	5,592	42,466	51,261	3,500	2,084	104,902	49,795
川内村	603	18,237	11,922	1,215	217	32,193	0
大熊町	6,568	46,286	58,525	3,891	2,449	117,719	65,875
双葉町	11,150	80,040	100,046	6,695	4,158	202,088	104,957
浪江町	9,410	63,085	82,341	5,377	3,511	163,725	174,166
葛尾村	186	1,053	1,537	94	70	2,940	0
新地町	12,261	83,136	107,731	7,063	4,575	214,767	228,734
飯館村	502	2,780	4,118	251	188	7,838	0
合計	489,632	3,309,996	4,297,358	281,451	182,686	8,561,123	2,446,829

\* : わずか 0 : 被害なし

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

## 5.4 孤立集落

### 5.4.1 孤立集落の想定手法

内閣府(2005)<sup>Ⅲ-51)</sup>は、「中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況調査(都道府県アンケート調査)調査結果」において、孤立集落の定義を以下のように設定している。

#### ○孤立の定義

中山間地域、沿岸地域、島嶼部などの集落のうち、道路交通または海上交通による外部からのアクセス(四輪自動車で通行可能かどうかを目安)が、以下の要因等により、人の移動・物資の流通が困難となり、住民生活が困難もしくは不可能となる状態とする。

- ・ 地震、風水害に伴う土砂災害や液状化等による道路構造物の損傷、道路への土砂堆積
- ・ 地震動に伴う液状化による道路構造物の損傷
- ・ 津波による浸水、道路構造物の損傷、流出物の堆積
- ・ 地震または津波による船舶の停泊施設の被災

上記の定義を踏まえ、本被害想定で検討した、急傾斜地崩壊危険箇所及び山腹崩壊危険箇所の崩壊危険度結果、液状化危険度結果、緊急輸送道路被害想定結果、港湾の被害想定結果、そして津波浸水分布をもとに、孤立集落の発生可能性について定性的評価を行う。

### 5.4.2 孤立集落の想定結果

3つの想定地震における孤立集落について、定性的評価を行う

#### 1) 福島盆地西縁断層帯の地震

図Ⅲ-5.4-1に、福島盆地西縁断層帯の地震における急傾斜地崩壊危険箇所及び山腹崩壊危険箇所の崩壊危険度結果、液状化危険度結果、緊急輸送道路被害想定結果を示す。福島盆地及びその周辺で地震の揺れが大きく、急傾斜地崩壊危険箇所及び山腹崩壊危険箇所の崩壊危険度が高い箇所が多数発生している。また、緊急輸送道路の被害も発生している。これらのことから、伊達市、川俣町、二本松市、福島市の東部および西部の山間地では孤立する集落が発生する可能性がある。

#### 2) 会津盆地東縁断層帯の地震

図Ⅲ-5.4-2に、会津盆地東縁断層帯の地震における急傾斜地崩壊危険箇所及び山腹崩壊危険箇所の崩壊危険度結果、液状化危険度結果、緊急輸送道路被害想定結果を示す。

会津盆地東縁断層帯は、会津盆地の東端に沿って南に伸び、会津若松市から下郷町付近に位置しており、会津若松市、会津美里町、下郷町、郡山市湖南町、天栄村西部、猪苗代町南部において、急傾斜地崩壊危険箇所や山腹崩壊危険箇所の多くが崩壊危険度が高い評価になっており、道路被害も発生している。また、猪苗代湖の周辺では液状化危険度が高くなっている。このようなことから、会津若松市、会津美里町、下郷町、郡山市湖南町、天栄村西部、猪苗代町南部では孤立する集落が発生する可能性がある。

### 3) 想定東北地方太平洋沖地震

図Ⅲ-5.4-3 に、想定東北地方太平洋沖地震における急傾斜地崩壊危険箇所及び山腹崩壊危険箇所の崩壊危険度結果、液状化危険度結果、緊急輸送道路被害想定結果、港湾被害結果、津波浸水深分布図を示す。阿武隈高原及びその周辺で急傾斜地崩壊危険箇所及び山腹崩壊危険箇所の多くが崩壊危険度が高くなっており、緊急輸送道路の被害が発生している。浜通りと中通りのアクセス道路で通行ができなくなるところが出てくる。港湾では全域で被害が発生するが、相馬港、小名浜港、諸戸漁港の3か所に耐震岸壁があるので利用は可能である。しかし、沿岸は液状化が発生することから道路の通航に支障が出る可能性がある。以上より、阿武隈高原に位置する市町村及び沿岸の市町では孤立する集落が発生する可能性がある。

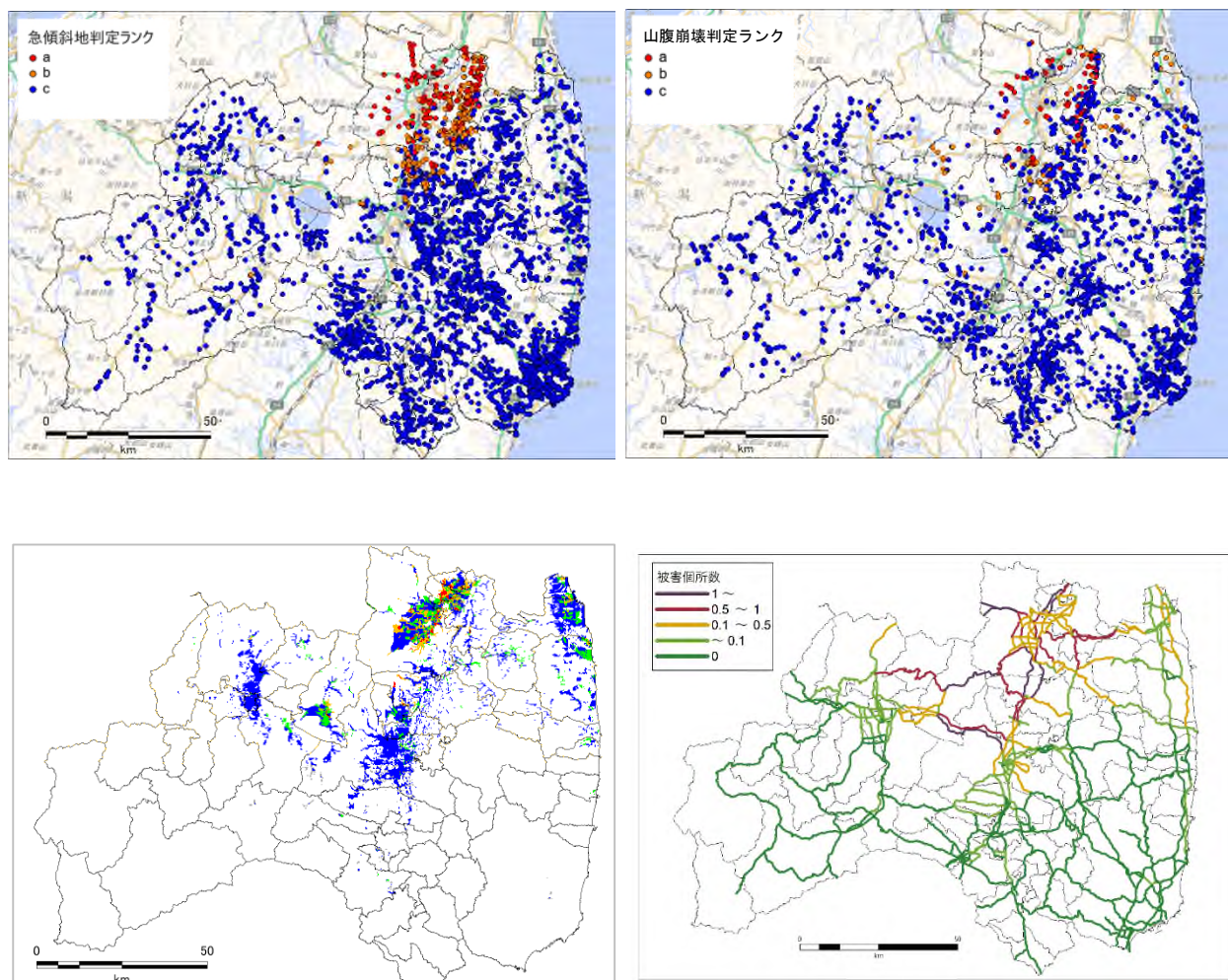
新潟県中越地震の発生後に開催された「中山間地等の集落散在地域における地震防災対策に関する検討会」の提言(平成17年8月)<sup>Ⅲ-52)</sup>によると、孤立集落の対策として以下の対策をあげている。

#### ○孤立集落対策

1. 孤立集落と外部との通信の確保
2. 物資供給、救助活動
3. 孤立に強い集落づくりー備蓄の推進
4. 道路、ライフライン等寸断への対応
5. 津波に伴う孤立集落対策

中山間地や沿岸の集落においては、多様な文化があり、それぞれの集落ごとに状況が異なることが考えられる。集落でよく話し合い、集落にあった対策を行うとともに、市町村や関係機関等とも相談しながら、防災力を高めていくことが重要と考えられる。

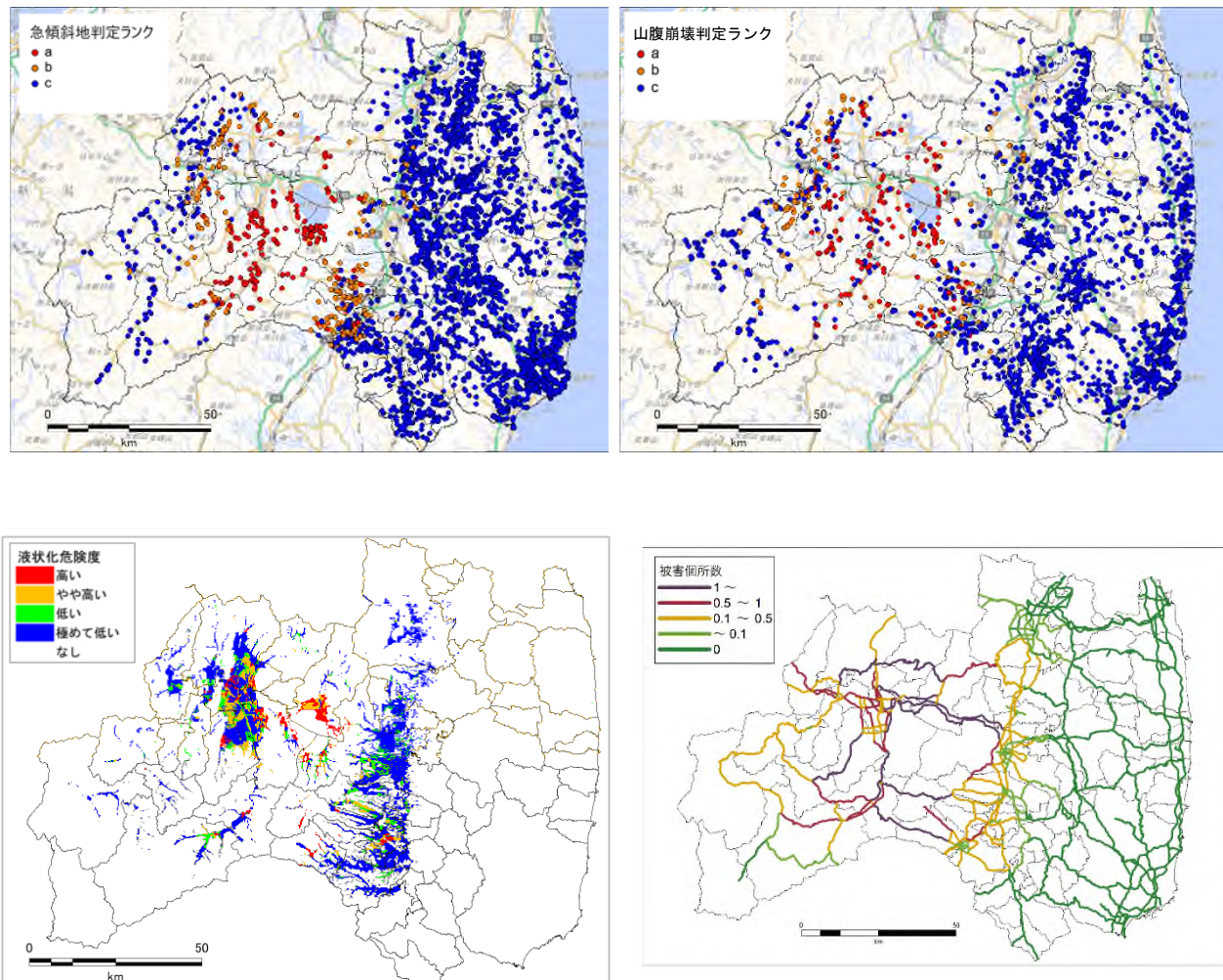
Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について



図Ⅲ-5. 4-1 福島盆地西縁断層帯の地震における急傾斜地崩壊危険箇所（左上）及び山腹崩壊危険箇所（右上）の崩壊危険度、液状化危険度（左下）、緊急輸送道路被害（右下）



Ⅲ 被害想定について  
5. 生活支障について

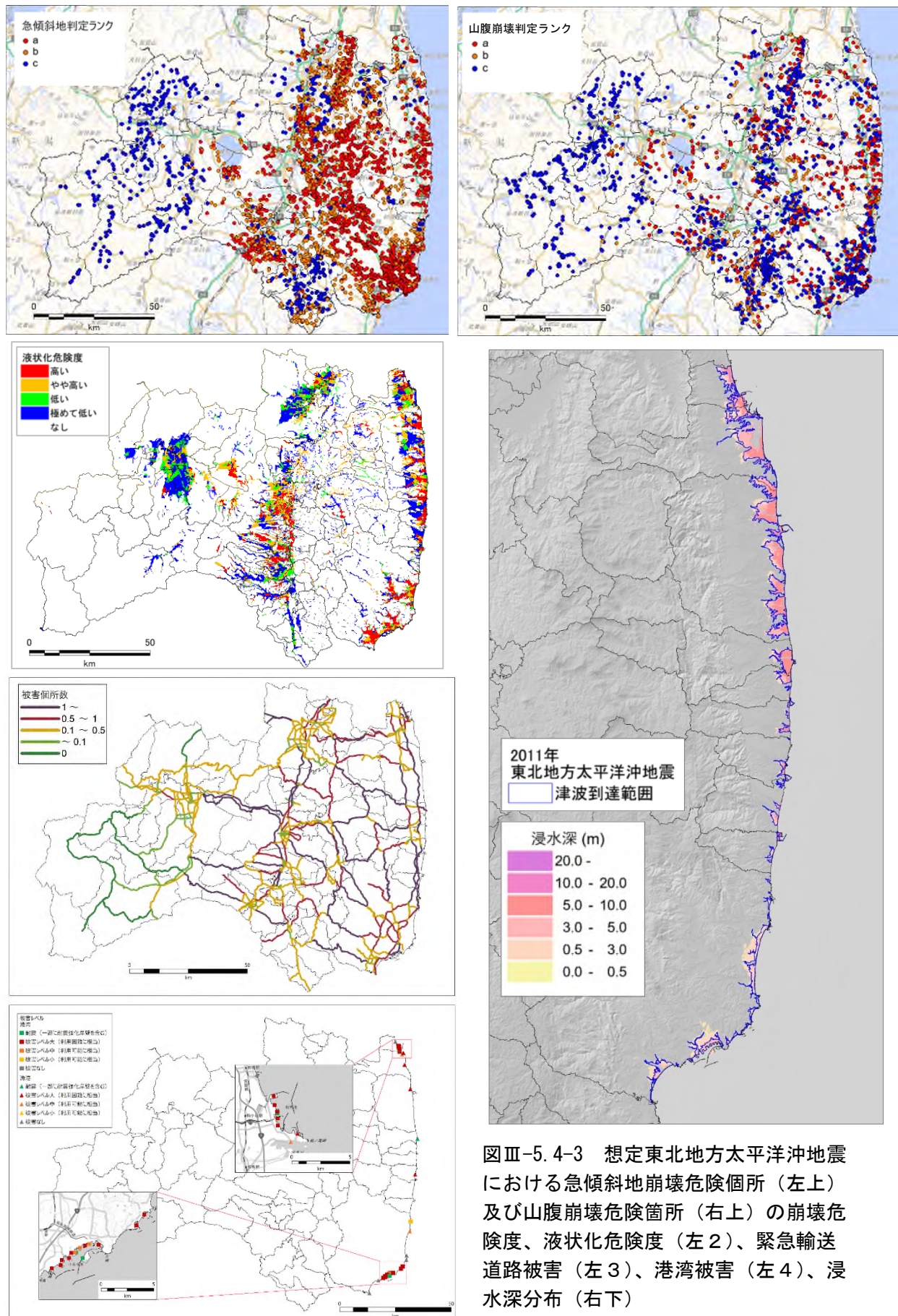


図Ⅲ-5.4-2 会津盆地東縁断層帯の地震における急傾斜地崩壊危険箇所（左上）及び山腹崩壊危険箇所（右上）の崩壊危険度、液状化危険度（左下）、緊急輸送道路被害（右下）



### III 被害想定について

#### 5. 生活支障について



図Ⅲ-5.4-3 想定東北地方太平洋沖地震における急傾斜地崩壊危険箇所（左上）及び山腹崩壊危険箇所（右上）の崩壊危険度、液状化危険度（左2）、緊急輸送道路被害（左3）、港湾被害（左4）、浸水深分布（右下）



## 6. 交通施設被害について

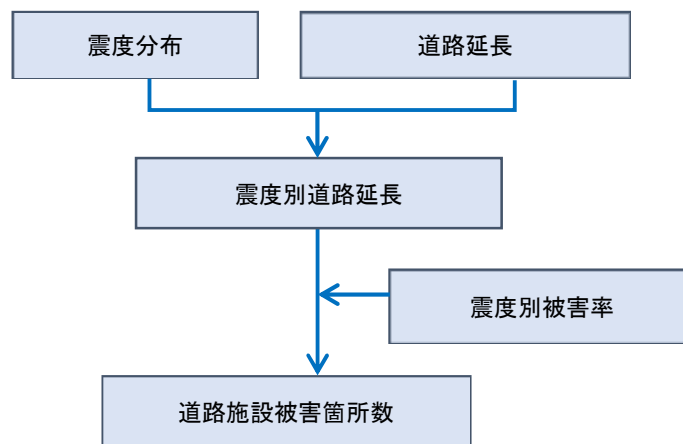
### 6.1 道路

#### 6.1.1 道路の被害想定手法

道路被害は、緊急輸送道路を対象とし、内閣府（2013、南海トラフ）の手法を用いて実施する。揺れによる道路被害と津波による道路被害に分けて評価を行った。

#### （１）揺れによる道路被害

揺れによる道路被害は、以下に算定フローと算定式に従った。被害率は、東日本大震災の実績を踏まえて設定している。



図Ⅲ-6.1-1 揺れによる道路施設被害箇所数の算定フロー

<算定式>

$$\text{被害箇所数} = \text{震度別道路延長(km)} \times \text{震度別道路施設被害率(箇所/km)}$$

表Ⅲ-6.1-1 直轄国道に用いる道路施設被害率（浸水域外）

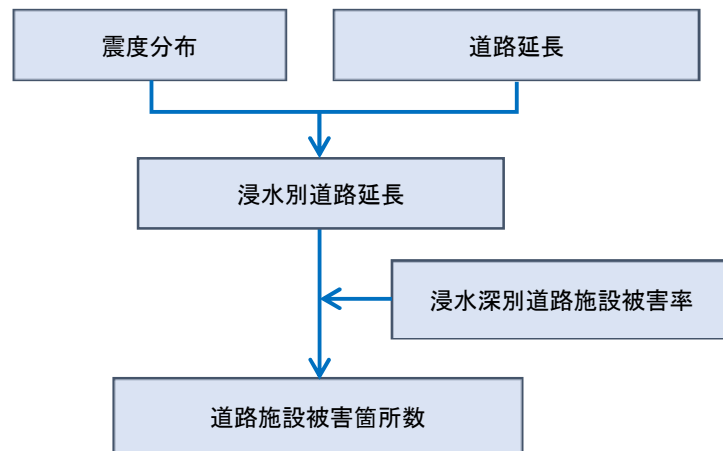
震度	被害箇所	道路延長 (km)	原単位 (箇所/km)
震度4以下	5	—	—
震度5弱	9	256	0.035
震度5強	87	767	0.11
震度6弱	135	832	0.16
震度6強	25	149	0.17
震度7	1	2	0.48

表Ⅲ-6.1-2 補助国道・県道・市町道に用いる道路施設被害率（浸水域外）

震度	原単位(箇所/km)
震度4以下	—
震度5弱	0.016
震度5強	0.049
震度6弱	0.071
震度6強	0.076
震度7	0.21

(2) 津波による道路被害

津波による道路被害は、以下に算定フローと算定式に従った。



図Ⅲ-6.1-2 津波による道路施設被害箇所数の算定フロー

<算定式>

$$\text{被害箇所数} = \text{浸水深別道路延長(km)} \times \text{浸水深別道路施設被害率(箇所/km)}$$

表Ⅲ-6.1-3 直轄国道に用いる道路施設被害率（浸水域）

浸水深	被害箇所	道路延長 (km)	原単位 (箇所/km)
1m 未満	9	68	0.13
1m～3m	19	51	0.37
3m～5m	9	14	0.65
5m～10m	35	23	1.52
10m 以上	39	15	2.64

表Ⅲ-6.1-4 補助国道・県道・市町道に用いる道路施設被害率（浸水域）

浸水深	原単位(箇所/km)
1m 未満	0.058
1m～3m	0.16
3m～5m	0.29
5m～10m	0.68
10m 以上	1.17

#### 6.1.2 道路の被害想定結果

以下に地震別の緊急輸送道路上の被害箇所数を市町村ごとに表Ⅲ-6.1-5 に示し、道路種別ごとに表Ⅲ-6.1-6 に示す。図Ⅲ-6.1-3～図Ⅲ-6.1-5 に、左に道路と震度分布を重ねた図を、右に道路の被害箇所数の分布を示す。

市町村で見ると、福島盆地西縁断層帯の地震では福島市で被害が多く、全県で 56 箇所となっている。会津盆地東縁断層帯の地震では会津若松市、猪苗代市、郡山市などで被害が多くなっており、全県で 101 箇所となっている。想定東北地方太平洋沖地震では、いわき市、郡山市、福島市で被害箇所が多くなっており、その他の県の中東部の市町村で被害が出ており、全県で 205 箇所となっている。また、津波による被害は、新地町、いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、富岡町、浪江町で浸水による被害が出ている。

路線ごとに見ると、福島盆地西縁断層帯の地震では東北自動車道、国道 4 号で被害が多くなっており、会津盆地東縁断層帯の地震では常磐自動車道、国道 49 号で被害が多くなっている。想定東北地方太平洋沖地震では、常磐自動車道、東北自動車道、国道 4 号、6 号、49 号で被害が多くなっている。津波の影響は、国道 6 号線、相馬亘理線で被害箇所が出ている。

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について

表Ⅲ-6.1-5 緊急輸送道路の市町村ごとの被害箇所数

市町村	揺れによる被害 (箇所)			浸水による被害 (箇所)
	福島盆地西縁 断層帯の地震	会津盆地東縁 断層帯の地震	想定東北地方 太平洋沖地震	想定東北地方 太平洋沖地震
福島市	26	1	16	-
会津若松市	1	23	7	-
郡山市	4	11	24	-
いわき市	*	0	35	4
白河市	*	3	6	-
須賀川市	*	3	7	-
喜多方市	1	4	1	-
相馬市	2	0	7	4
二本松市	4	1	6	-
田村市	*	0	9	-
南相馬市	*	0	6	4
伊達市	6	*	6	-
本宮市	1	1	2	-
桑折町	3	0	2	-
国見町	3	0	3	-
川俣町	1	*	2	-
大玉村	1	*	1	-
鏡石町	*	1	3	-
天栄村	*	3	2	-
下郷町	*	7	1	-
檜枝岐村	0	0	0	-
只見町	0	*	0	-
南会津町	0	3	*	-
北塩原村	*	2	*	-
西会津町	*	2	1	-
磐梯町	*	4	1	-
猪苗代町	3	13	6	-
会津坂下町	*	4	2	-
湯川村	*	3	1	-
柳津町	0	1	*	-
三島町	0	*	0	-
金山町	0	*	0	-
昭和村	0	1	0	-
会津美里町	*	4	1	-
西郷村	0	3	5	-
泉崎村	*	1	1	-
中島村	*	*	*	-
矢吹町	0	1	3	-
棚倉町	0	*	2	-
矢祭町	0	0	1	-
塙町	0	0	*	-
鮫川村	0	0	*	-
石川町	0	*	1	-
玉川村	*	*	1	-
平田村	0	0	2	-
浅川町	0	*	*	-
古殿町	0	0	2	-
三春町	*	*	1	-
小野町	0	0	4	-
広野町	0	0	1	*
楡葉町	0	0	2	-
富岡町	*	0	4	*
川内村	0	0	2	-
大熊町	0	0	2	-
双葉町	*	0	2	*
浪江町	*	0	4	2
葛尾村	0	0	1	-
新地町	1	0	2	5
飯館村	*	0	1	-
合計	56	101	205	19

※ 「\*」：わずか。「-」：対象道路なし。

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について

表Ⅲ-6. 1-6(1) 緊急輸送道路の道路種別ごとの被害箇所数

道路種別	路線	揺れによる被害（箇所）			浸水による被害（箇所）
		福島盆地西縁断層帯の地震	会津盆地東縁断層帯の地震	想定東北地方太平洋沖地震	想定東北地方太平洋沖地震
高速自動車道	常磐自動車道	*	*	9	*
	東北自動車道	10	5	17	—
	東北中央自動車道	3	0	2	—
	磐越自動車道	2	17	19	—
	国道115号	1	*	3	—
一般国道	常磐自動車道	0	*	4	—
	国道4号	8	5	18	—
	国道6号	2	*	21	8
	国道13号	6	0	4	—
	国道49号	2	20	21	—
	国道113号	0	*	1	*
	国道114号	1	0	4	—
	国道115号	5	2	5	*
	国道118号	0	8	7	—
	国道121号	1	7	1	—
	国道252号	*	1	0	—
	国道288号	0	0	6	—
	国道289号	*	4	5	*
	国道294号	0	1	2	—
	国道349号	2	*	8	—
	国道352号	*	0	*	—
	国道399号	1	*	5	—
	国道400号	*	1	0	—
	国道401号	*	3	0	—
	国道459号	2	3	2	—
主要地方道（都道府県道）	福島飯坂線	1	0	1	—
	福島保原線	1	0	0	—
	上名倉飯坂伊達線	1	0	1	—
	郡山湖南線	0	0	0	—
	猪苗代塩川線	0	3	1	—
	本宮熱海線	0	0	0	—
	日立いわき線	*	*	0	*
	白河石川線	*	0	0	—
	原町川俣線	0	*	2	—
	いわき石川線	*	*	3	—
	喜多方西会津線	0	1	0	—
	船引大越小野線	*	*	2	—
	いわき上三坂小野線	*	*	1	*
	会津坂下会津高田線	0	1	1	—
	会津高田上三寄線	*	1	0	—
	棚倉鮫川線	*	*	0	—
	小名浜平線	*	*	1	*
	本宮三春線	0	0	0	—
	長沼喜久田線	0	1	1	—
	浪江国見線	1	*	0	—
	会津坂下河東線	0	1	0	—
	相馬浪江線	0	*	1	—
	いわき浪江線	*	*	0	*
	小野富岡線	*	*	1	—
	白河羽鳥線	*	1	1	—
	相馬亘理線	0	*	0	5
	川俣安達線	0	0	0	—
	飯野三春石川線	0	0	0	—
	小野四倉線	*	*	1	*
	矢吹小野線	*	0	0	—
	矢吹小野線（あぶくま高原道）	*	0	0	—
	会津坂下山都線	*	0	2	—
	棚倉矢吹線	0	0	1	—
	白石国見線	0	*	0	—
	郡山長沼線	0	0	1	—
	霊山松川線	0	*	0	—
	会津高田柳津線	*	0	0	—
	常磐勿来線	*	*	0	*
	矢吹天栄線	*	0	0	—
	黒磯棚倉線	*	*	1	—
	原町二本松線	*	*	0	—
	古殿須賀川線	*	0	1	—
	会津若松裏磐梯線	0	2	1	—
	小野郡山線	0	0	0	—
	小名浜小野線	*	*	0	*
	中野須賀川線	0	1	1	—
	福島吾妻裏磐梯線	1	0	0	—
	勿来浅川線	*	*	1	—
	会津坂下会津本郷線	0	1	1	—
	原町海老相馬線	*	*	0	—
	塙泉崎線	*	0	0	—

※ 「\*」：わずか。「-」：対象道路なし。

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について

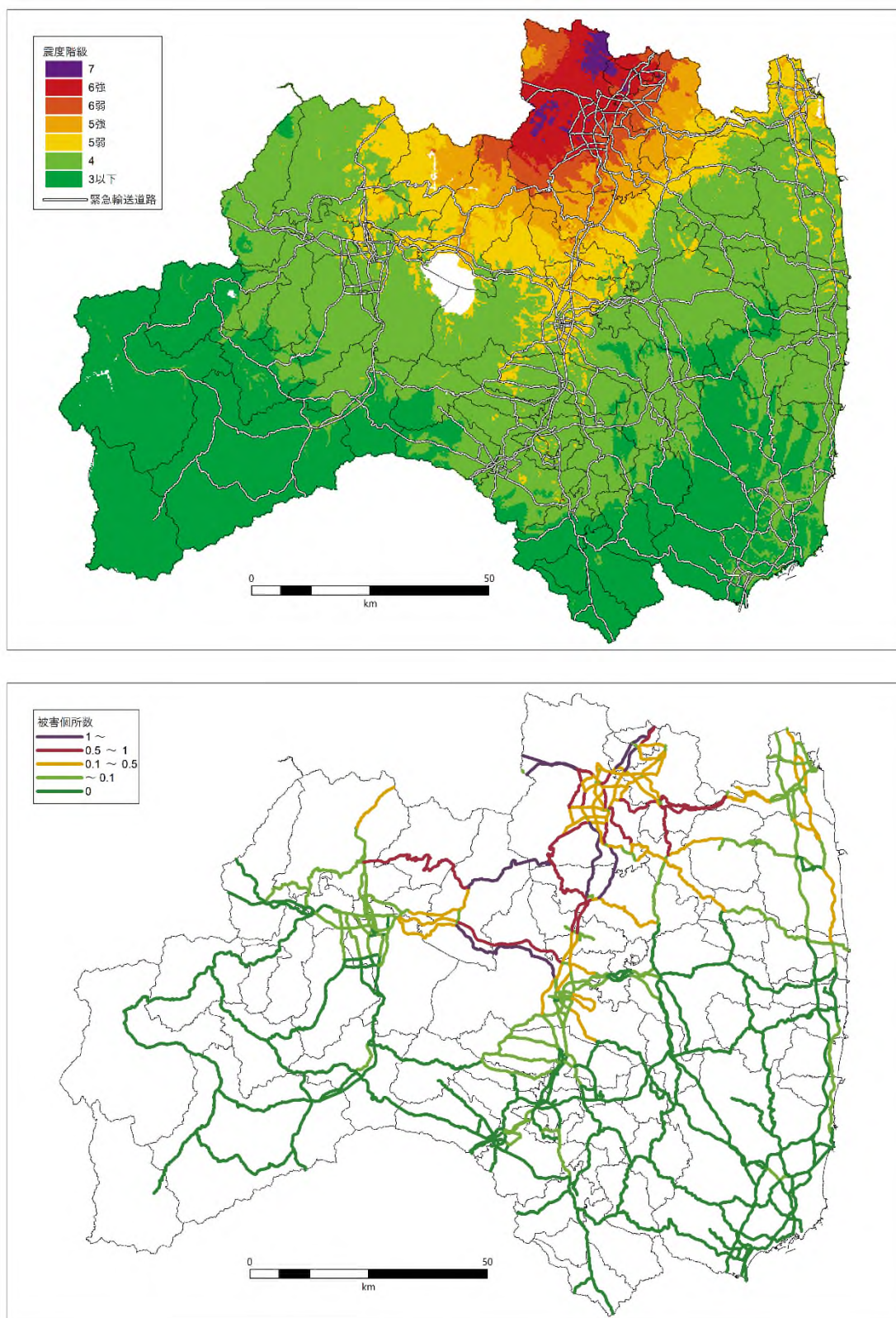
表Ⅲ-6. 1-6(2) 緊急輸送道路の道路種別ごとの被害箇所数

道路種別	路線	揺れによる被害（箇所）			浸水による被害（箇所）
		福島盆地西縁断層帯の地震	会津盆地東縁断層帯の地震	想定東北地方太平洋沖地震	想定東北地方太平洋沖地震
一般都道府県道	本宮岩代線	0	0	0	—
	浪江鹿島線	0	*	0	*
	梁川雪山線	0	*	0	—
	会津坂下塩川線	0	0	0	—
	会津若松会津高田線	*	0	0	—
	二本松安達線	0	0	0	—
	会津高田会津本郷線	*	0	0	—
	下郷会津本郷線	*	0	*	—
	母畑須賀川線	*	*	0	—
	母畑白河線	0	0	0	—
	石川鴉子線	*	*	0	—
	玉川田村線	*	0	0	—
	河内郡山線	0	0	0	—
	石筵本宮線	0	0	0	—
	伊達雪山線	0	*	0	—
	山都柳津線	0	0	0	—
	小名浜港線	*	*	*	*
	新地停車場釣師線	0	*	*	*
	磐城棚倉停車場線	*	*	0	—
	久田野停車場線	0	0	0	—
	磐梯町停車場線	0	0	0	—
	福島空港西線	*	0	0	—
	南湖公園線	*	0	0	—
	小栗山宮下線	*	0	*	—
	赤坂東野埼線	*	*	0	—
	白岩久之浜線	*	*	0	*
	小良ヶ浜野上線	*	*	0	—
	長塚請戸浪江線	0	*	0	1
	鳥崎江垂線	0	*	0	*
	大芦鹿島線	0	*	0	—
	草野大倉鹿島線	0	*	0	—
	赤柴中島線	0	*	0	*
	高萩久田野停車場線	*	0	0	—
	増見小田倉線	*	0	0	—
	北方遅沢線	*	*	0	—
	下松本鏡石停車場線	0	0	1	—
	大沢広表線	0	*	0	—
	五十沢国見線	0	*	0	—
	浜崎高野会津若松線	0	2	0	—
	上郷舟渡線	*	0	0	—
	戸赤栄富線	*	1	*	—
	南福島停車場線	1	0	0	—
	須賀川二本松自転車道線	0	0	0	—
	熱塩加納山都西会津線	*	0	*	—
	飯坂保原線	0	*	0	—
	相馬港線	0	*	*	*
市町村道（認定道路）	赤沼方八町線	0	0	0	—
	荒井八山田線	0	0	1	—
	上野館中島線	*	0	0	—
	金沢立子山線	0	*	0	—
	草野飯樋線	0	*	0	—
	桑野一丁目五丁目線	0	0	0	—
	桑野大槻線	0	0	0	—
	笹川多田野線	0	0	0	—
	中島関平線	*	0	0	—
	麓山一丁目大久保線	0	0	0	—
	南町東荒田線	*	*	*	*
	南向台黒岩線	0	0	0	—
	本町開成線	0	0	0	—
	新田矢吹線	0	0	0	—
	桧内如信沢線	0	0	0	—
	向河原大町線	0	0	0	—
	村2078号	*	0	0	—
	若葉桑野線	0	0	0	—
その他	相馬臨港道路	0	*	0	1
	小名浜臨港道路	*	*	0	1
不明		1	2	4	1
合計		56	101	205	19

※ 「\*」：わずか。「-」：対象道路なし。

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

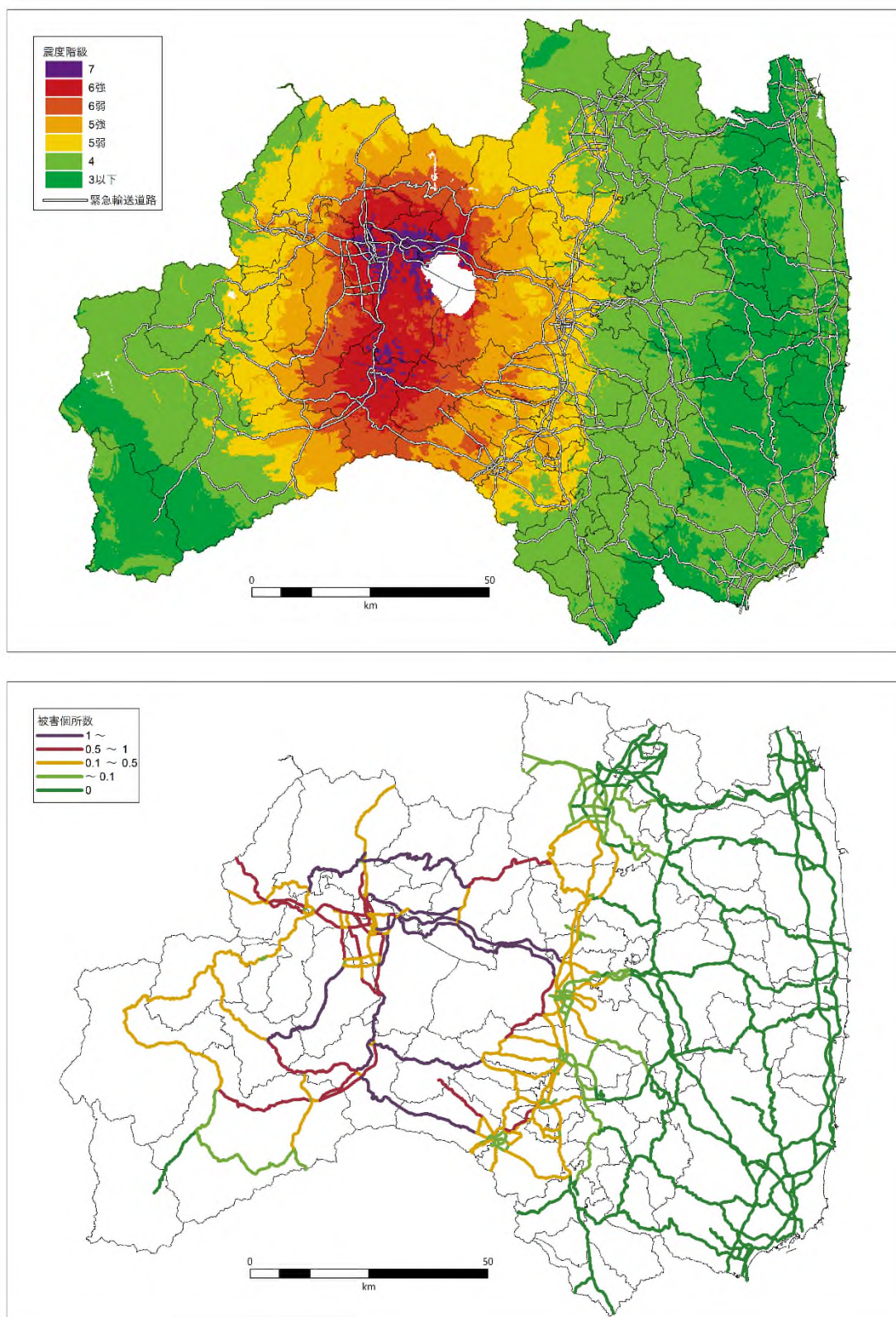
Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について



図Ⅲ-6.1-3 緊急輸送道路の位置と震度分布（上）、区間ごとの被害率分布（下）  
（福島盆地西縁断層帯の地震）

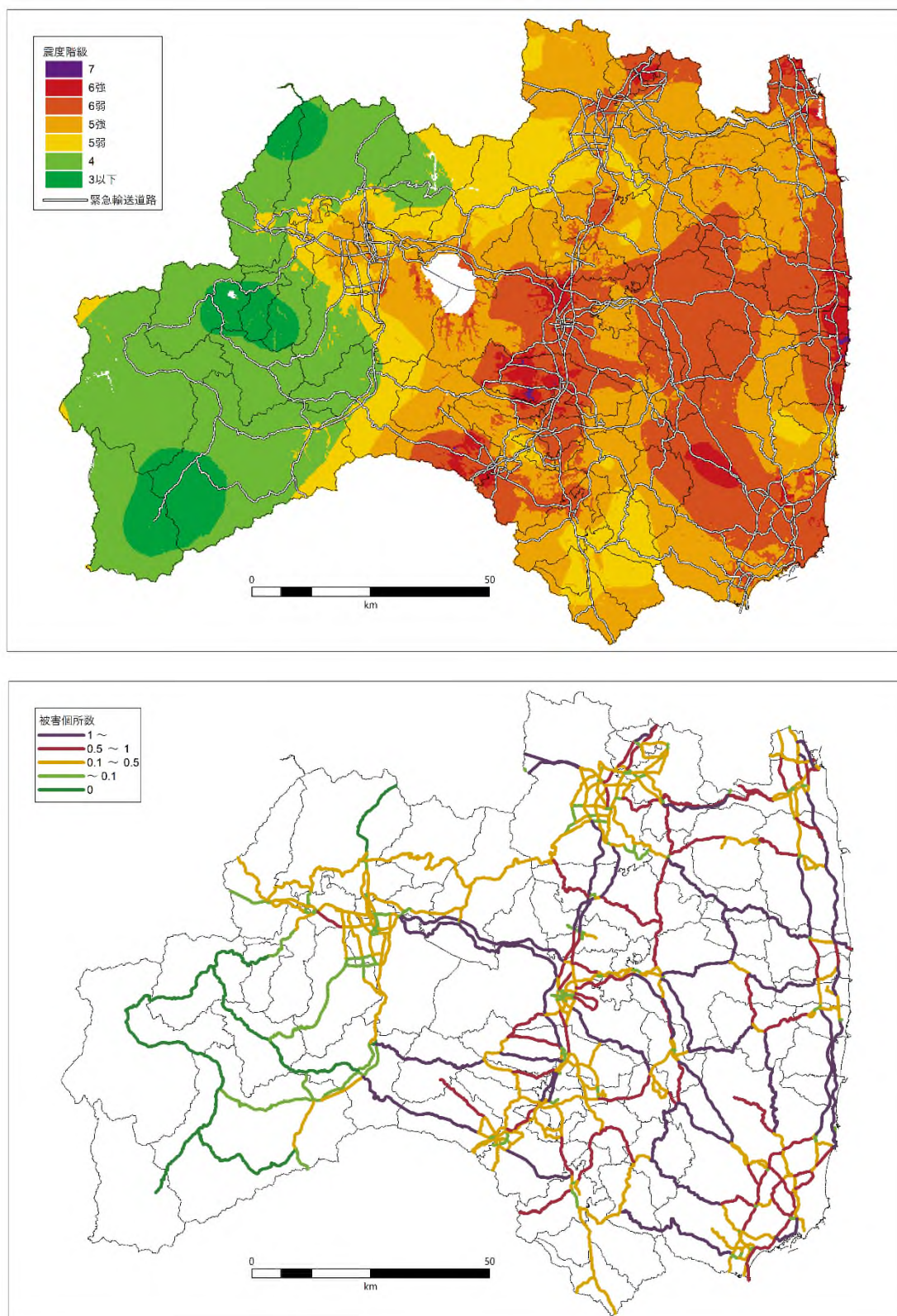


Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について



図Ⅲ-6.1-4 緊急輸送道路の位置と震度分布（上）、区間ごとの被害率分布（下）  
（会津盆地東縁断層帯の地震）

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について



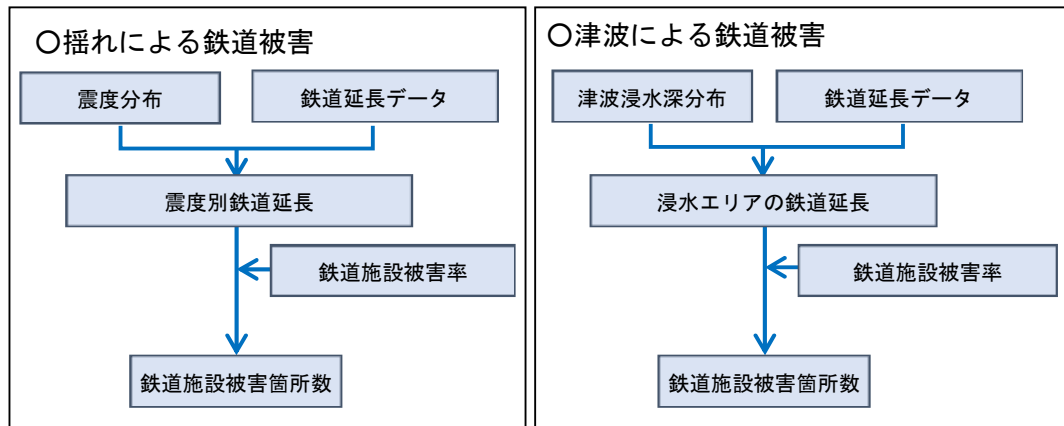
図Ⅲ-6.1-5 緊急輸送道路の位置と震度分布（上）、区間ごとの被害率分布（下）  
（想定東北地方太平洋沖地震）



## 6.2 鉄道

### 6.2.1 鉄道の被害想定手法

鉄道の被害箇所数の予測は内閣府（2013、南海トラフ）の手法を用いて実施する。



図Ⅲ-6.2-1 鉄道施設被害箇所数の予測手順（左：揺れ、右：津波）

<算定式>

揺れ：（被害箇所数）＝（浸水域外の震度別鉄道延長）×（鉄道施設被害率[浸水域外]）

ただし、鉄道施設被害率[浸水域外]は、表Ⅲ-6.2-1に示すとおり。

津波：（被害箇所数）＝（浸水域の鉄道延長）×（鉄道施設被害率[浸水域]）

ただし、鉄道施設被害率[浸水域]は、表Ⅲ-6.2-2のとおり1.97（箇所/km）とする。

表Ⅲ-6.2-1 鉄道施設被害率（揺れ）

震度	新幹線被害率 （箇所/km）	在来線等被害率 （箇所/km）
震度5弱	—	0.26
震度5強	0.26	1.01
震度6弱	0.4	2.03
震度6強以上		2.8

表Ⅲ-6.2-2 鉄道施設被害率（津波）

	被災 箇所	鉄道延長 (km)	原単位 (箇所/km)
津波被害を 受けた線区	640	325	1.97

※ JR 東日本「津波を受けた7線区の主な被害と点検状況」Ⅲ-53より推計（土木・保線のみ）

※ JR 東日本の被害データ（浸水域除く）に基づく（土木・保線のみ）

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について

6.2.2 鉄道の被害想定結果

表Ⅲ-6.2-3に鉄道の被害箇所数を示す。図Ⅲ-6.2-3～図Ⅲ-6.2-5について、上に路線網図と震度分布の重ね合わせ図を、下に路線の駅間ごとの被害箇所数の分布を示す。

福島盆地西縁断層帯の地震では東北線、奥羽線、阿武隈急行線で被害が多く、全県で329箇所となっている。会津盆地東縁断層帯の地震では磐越西線、会津線、只見線などで被害が多くなっており、全県で460箇所となっている。想定東北地方太平洋沖地震では、常磐線、東北線で被害が多く、次いで磐越東線、磐越西線、水郡線で被害が多くなっており、全県で986箇所となっている。また、津波による被害は、常磐線で24箇所の被害が出ている。

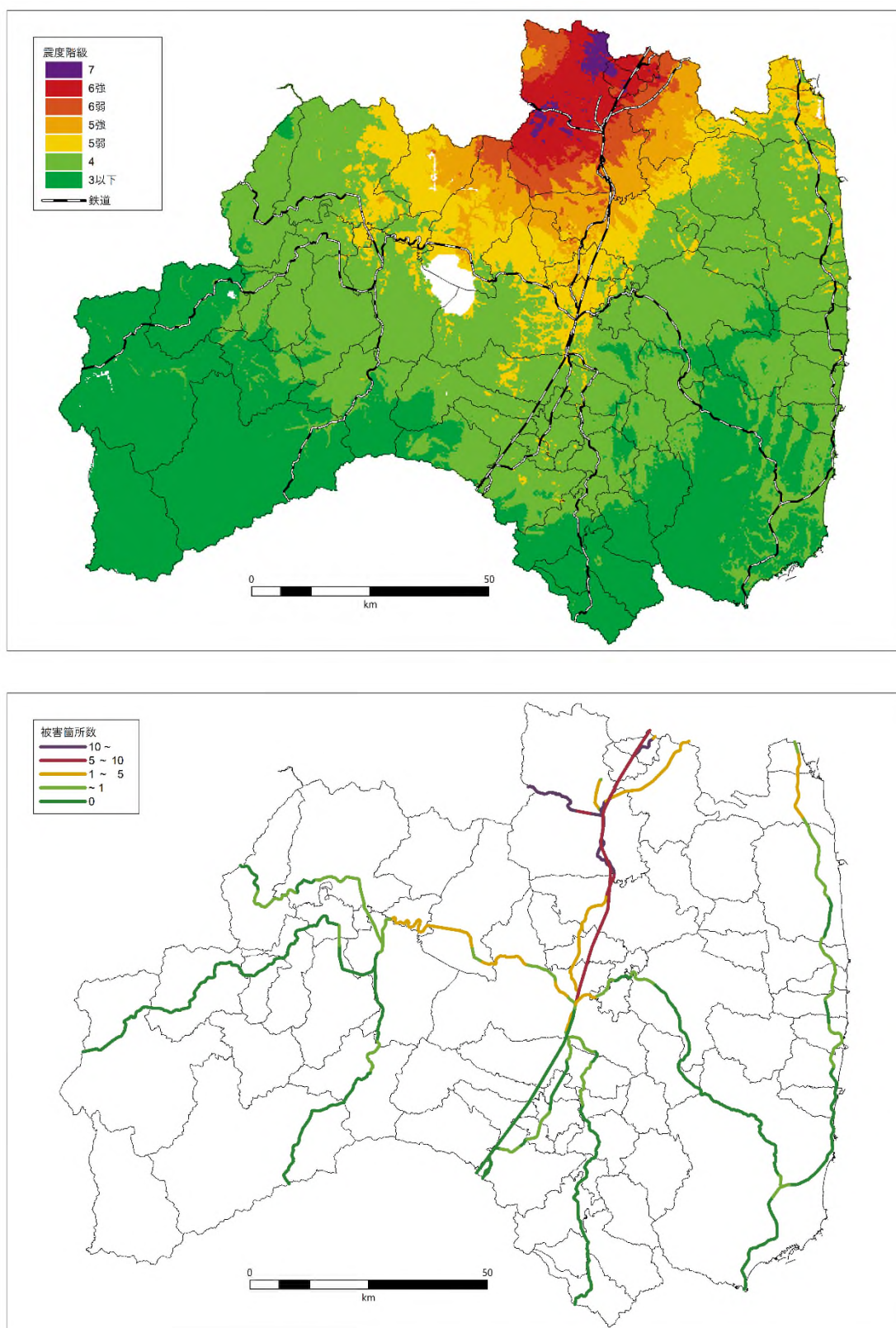
表Ⅲ-6.2-3 鉄道被害箇所数

運行会社	路線名	揺れによる被害 (箇所)			浸水による被害 (箇所)
		福島盆地西縁 断層帯の地震	会津盆地東縁 断層帯の地震	想定東北地方 太平洋沖の地震	想定東北地方 太平洋沖の地震
阿武隈急行	阿武隈急行線	56	0	38	-
会津鉄道	会津線	0	125	17	-
野岩鉄道	会津鬼怒川線	-	-	-	-
福島交通	飯坂線	25	0	15	-
東日本旅客鉄道	東北新幹線	15	4	36	-
	奥羽本線	69	3	25	-
	常磐線	8	-	239	24
	水郡線	2	7	94	-
	只見線	0	77	22	-
	東北本線	133	38	233	-
	磐越西線	19	203	120	-
	磐越東線	2	2	148	-
合計		329	460	986	24

※ 「\*」：わずか。「-」：対象路線なし。

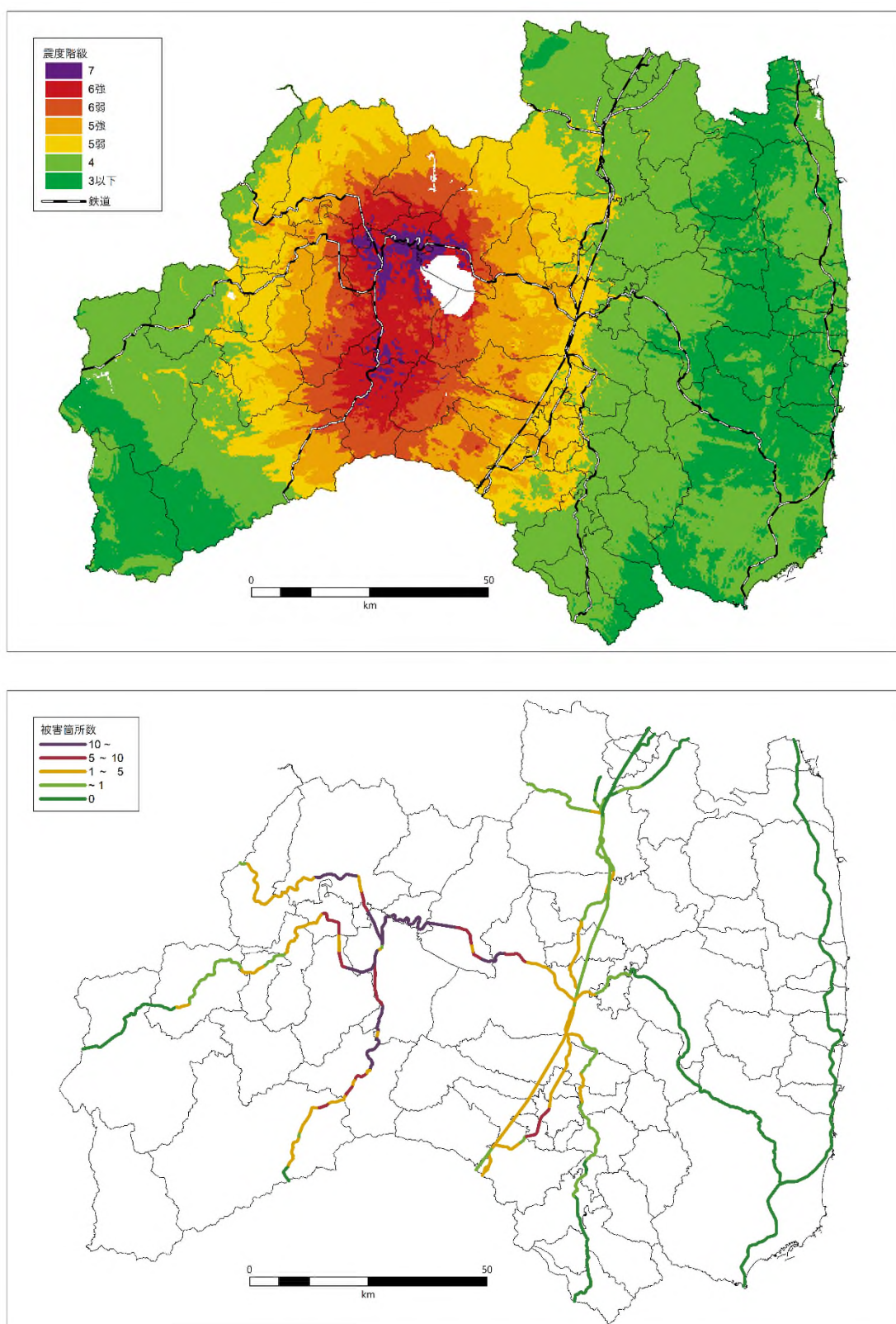
※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について



図Ⅲ-6.2-2 鉄道の路線と震度分布（上）、被害箇所数（下）  
（福島盆地西縁断層帯の地震）

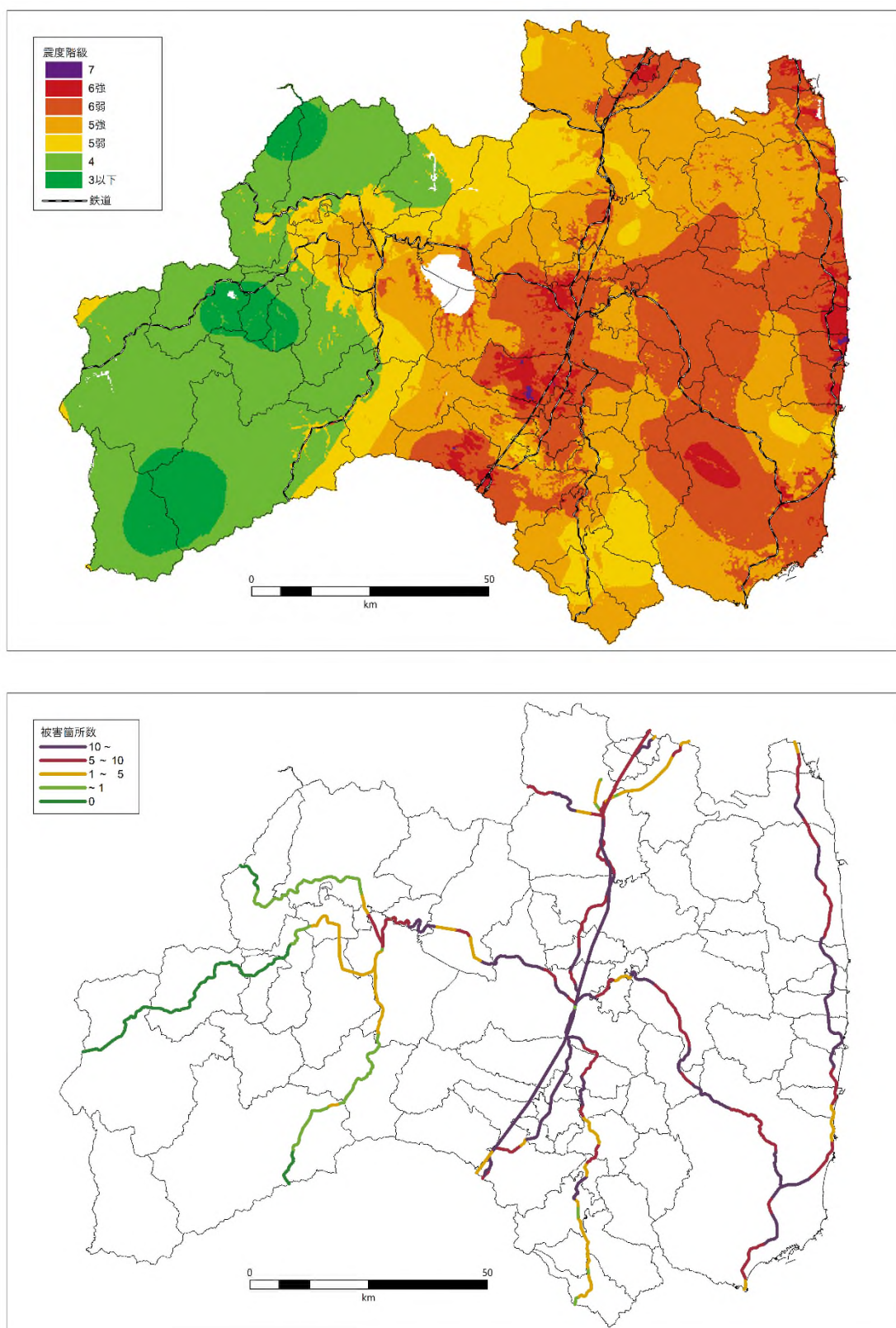
Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について



図Ⅲ-6.2-3 鉄道の路線と震度分布（上）、被害箇所数（下）  
（会津盆地東縁断層帯の地震）



Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について



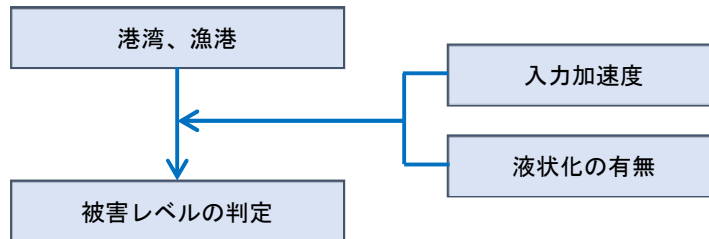
図Ⅲ-6.2-4 鉄道の路線と震度分布（上）、被害箇所数（下）  
（想定東北地方太平洋沖地震）



### 6.3 港湾

#### 6.3.1 港湾等の被害想定手法

港湾については、愛知県(2014)<sup>Ⅲ-54)</sup>の手法を用いた。県内の各港湾、漁港について、地震による被害の程度を想定する。入力加速度及び液状化の有無から被害レベル（なし、小、中、大）を判定する。耐震補強が行われている岸壁については健全とし、耐震岸壁として示した。



図Ⅲ-6.3-1 港湾施設の被害予測手順

表Ⅲ-6.3-1 被害レベルの判定基準

	入力加速度（単位：gal）				
	0～150	150～200	200～300	300～450	450～
液状化あり（PL＞15）	なし	小	中	大	大
液状化なし	なし	なし	小	中	大

表Ⅲ-6.3-2 被害レベルのイメージ

被害レベル	被災の状況・程度のイメージ
なし	無被害
小	本体には異常は無いが、附属構造物に破壊や変状が認められるもの。
中	本体にかなりの変状が起こったもの。簡単な手直しですぐに供用に耐えうる。
大	形はとどめているが、構造物本体に破壊が起こったと認められるもの。機能を全く喪失している。
	全壊して形をとどめていないもの。

注）港湾周辺で想定される揺れ及び液状化に基づいた想定であり、個別の港湾施設に対して地震動を与えて被害有無を照査するものではない。

東日本大震災においては津波により防波堤や荷役機械、上屋倉庫等の被害、コンテナや自動車、がれき等の流出・沈殿、津波火災等が発生したが、津波による被害を個別に想定することは困難であるため、港湾別の定量的な被害程度の想定には津波の要素を考慮していない。今後、津波対策を検討する際には、津波浸水域・浸水深に対応した被害様相を想定する必要がある。

### 6.3.2 港湾等の被害想定結果

港湾ならびに漁港については、岸壁および物揚場の区分がわかるものは個々に被害レベルの評価を行った。区分がわからないものについては港湾または漁港ごとに被害レベルの評価を行った。最終的には、相馬港と小名浜港については埠頭ごとに、他の港湾ならびに漁港については最大となる評価結果を被害レベルとした。なお、耐震強化岸壁を含む埠頭・漁港については、別途「耐震」として表現した。

表Ⅲ-6.3-3 に埠頭ごとおよび港湾、漁港の想定結果を示す。また、図Ⅲ-6.3-2～図Ⅲ-6.3-4 に埠頭ごと港湾、漁港ごとの想定結果図を示す。福島盆地西縁断層帯の地震および会津盆地東縁断層帯の地震では地震の揺れが小さく被害が発生しなかった。想定東北地方太平洋沖地震では、沿岸の地震動が大きいこと、液状化発生もあることから、6割強の港湾、漁港で被害レベルが大となっている。ただし、3港湾、1漁港では耐震岸壁を持っている。

令和4年3月16日に福島県沖で発生した地震（ $M_j7.4$ ）では、相馬港で公共岸壁15バース全てで段差や傾斜などの被害が発生した。地震発生直後は、耐震強化岸壁である3-1岸壁を含む4バースのみが使用可能な状況であったが、他のバースは使用不可能となった。特に、耐震強化岸壁は、被災程度が想定範囲にとどまったことから応急復旧の実施後は、貨物重量等の制約なしに一般貨物を取り扱うことが可能になった。相馬港は、技術的検討を踏まえ概ね2年以内の復旧完了を目指している。<sup>Ⅲ-55)</sup>

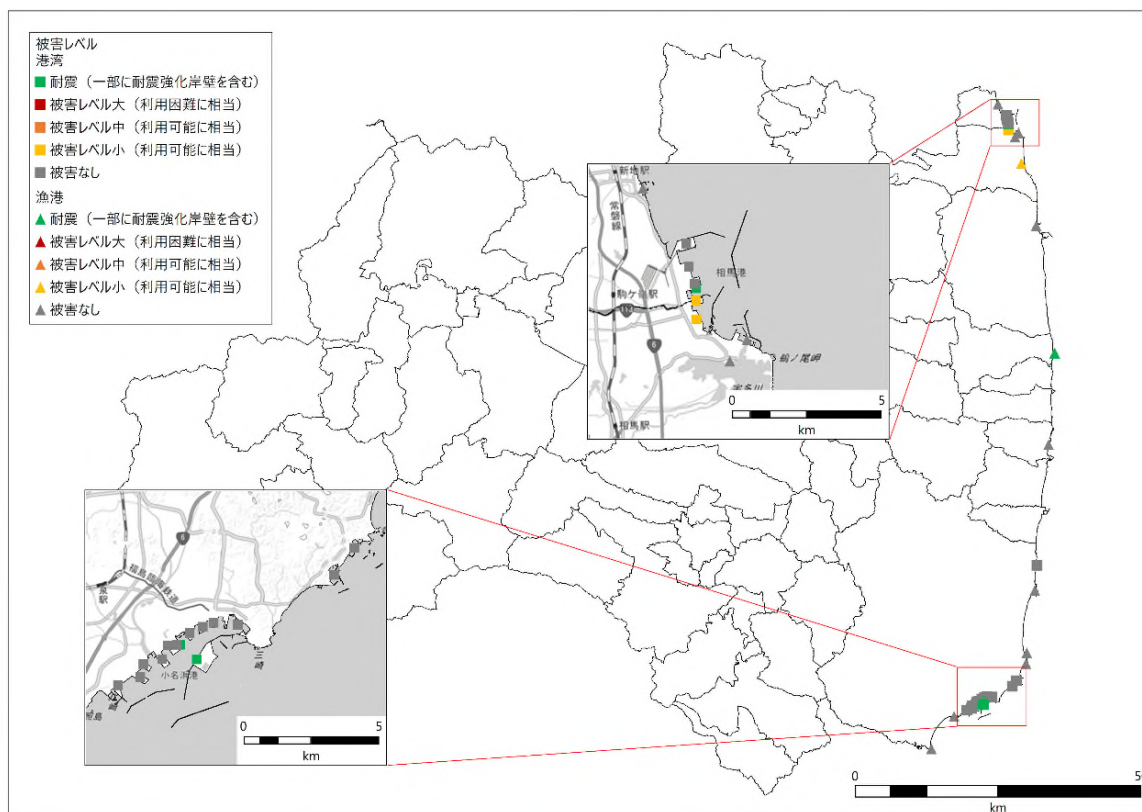
今後も福島県沖では地震が発生する可能性があり、令和4年の福島県沖の地震と同程度の地震が発生した場合は、福島県沿岸の港湾または漁港で被害が発生する可能性がある。東北地方太平洋沖地震及び令和4年の福島県沖の地震の教訓をもとに、福島県沿岸の港湾または漁港で対策が進められることが望まれる。

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について

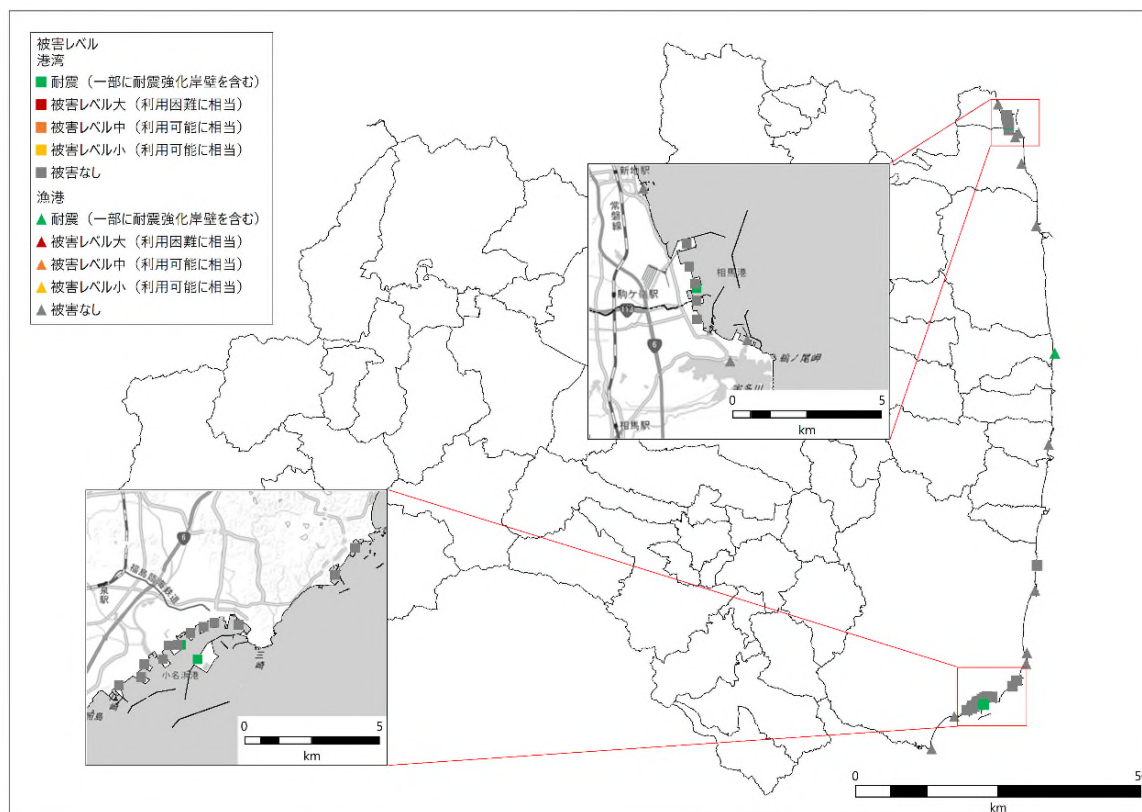
表Ⅲ-6.3-3 港湾施設の被害レベル（埠頭別）

港湾及び 漁港の種類	港湾及び漁港名	埠頭	被害レベル		
			福島盆地西縁 断層帯の地震	会津盆地東縁 断層帯の地震	東北地方太平 洋沖地震
重要港湾	相馬港	1号ふ頭	小	なし	大
重要港湾	相馬港	2号ふ頭	小	なし	大
重要港湾	相馬港	3号ふ頭	耐震	耐震	耐震
重要港湾	相馬港	3号ふ頭	なし	なし	大
重要港湾	相馬港	4号ふ頭	なし	なし	大
重要港湾	相馬港	5号ふ頭	なし	なし	大
重要港湾	小名浜港	2号ふ頭	なし	なし	中
重要港湾	小名浜港	3号ふ頭	なし	なし	大
重要港湾	小名浜港	4号ふ頭	なし	なし	中
重要港湾	小名浜港	5号ふ頭	耐震	耐震	耐震
重要港湾	小名浜港	5号ふ頭	なし	なし	中
重要港湾	小名浜港	6号ふ頭	なし	なし	大
重要港湾	小名浜港	7号ふ頭	なし	なし	大
重要港湾	小名浜港	藤原ふ頭	なし	なし	大
重要港湾	小名浜港	大剣ふ頭	なし	なし	大
重要港湾	小名浜港	漁港区	なし	なし	大
重要港湾	小名浜港	東港	耐震	耐震	耐震
重要港湾	小名浜港	専用	なし	なし	大
地方港湾	久之浜港		なし	なし	小
地方港湾	江名港		なし	なし	大
地方港湾	中之作港		なし	なし	大
第3種漁港	松川浦漁港（松川浦地区）		なし	なし	中
第3種漁港	松川浦漁港（原釜・鶴ノ尾岬地区）		なし	なし	大
第3種漁港	松川浦漁港（磯部地区）		小	なし	大
第3種漁港	諸戸漁港		なし	なし	大
第3種漁港	諸戸漁港		耐震	耐震	耐震
第2種漁港	釣師浜漁港		なし	なし	大
第2種漁港	真野川漁港		なし	なし	大
第2種漁港	久之浜漁港		なし	なし	小
第2種漁港	豊間漁港（豊間地区）		なし	なし	大
第2種漁港	豊間漁港（沼ノ内地区）		なし	なし	大
第2種漁港	勿来漁港		なし	なし	小
第2種漁港	四倉漁港		なし	なし	中
第1種漁港	富岡漁港		なし	なし	大
第1種漁港	小浜漁港		なし	なし	小

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について

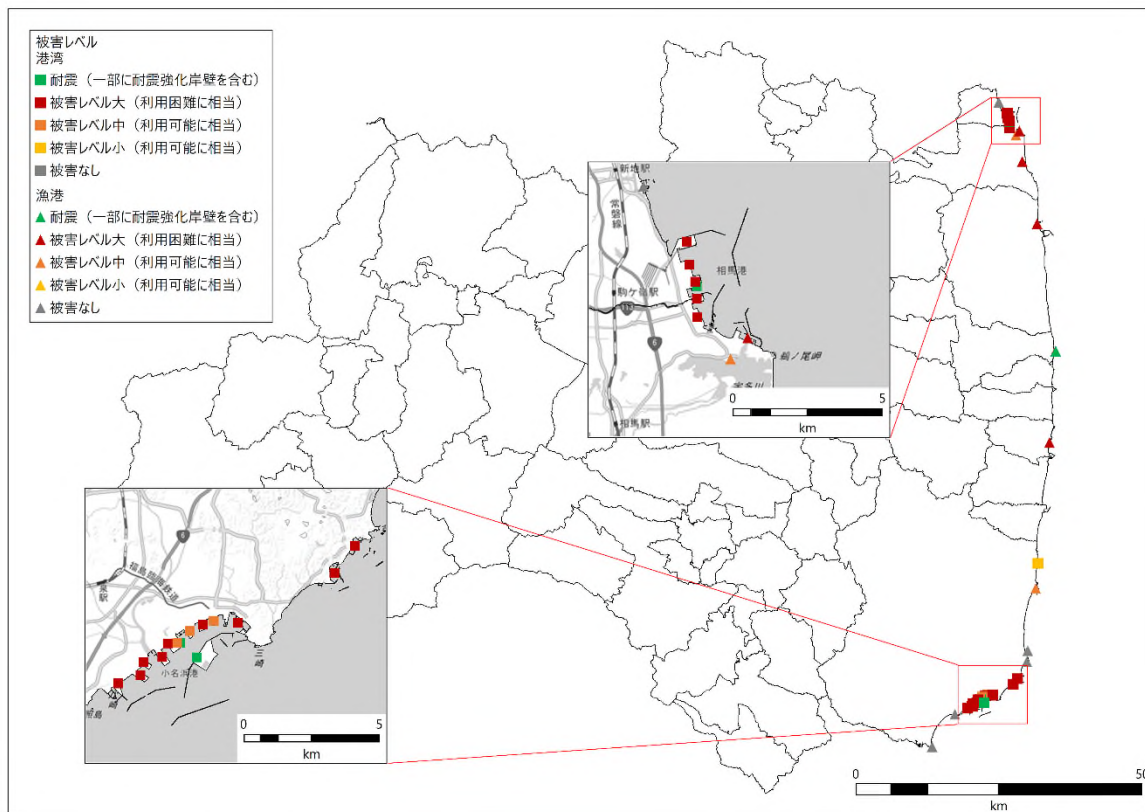


Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について



図Ⅲ-6.3-3 港湾・漁港施設（埠頭・港湾・漁港別）の被害レベルの分布  
（会津盆地東縁断層帯の地震）

Ⅲ 被害想定について  
6. 交通施設被害について



図Ⅲ-6.3-4 港湾・漁港施設（埠頭・港湾・漁港別）の被害レベルの分布  
（想定東北地方太平洋沖地震）

#### 6.4 空港

空港については、定量的な評価が困難なことから定性的なシナリオを作成する。

対象とする空港は福島空港である。各地震での空港における震度及び液状化危険度は以下のとおりである。

表Ⅲ-6.4-1 各地震での空港における震度及び液状化危険度

福島空港	福島盆地西縁断層帯 の地震	会津盆地東縁断層帯 の地震	想定東北地方 太平洋沖地震
震度	震度 4	震度 4 ～ 5 弱	震度 5 強
液状化危険度	液状化なし（液状化評価対象外）		

福島空港および周辺の地盤は液状化が発生するようなところではなかった。震度は、東北地方太平洋沖地震で震度 5 強、他の地震では震度 4 ～ 5 弱程度であった。

東日本大震災においては、福島空港は、地震発生後に管制塔の窓ガラスが破損した程度の被害だけであったことから、空港を閉鎖せず 24 時間運用可能とすること等により、DMAT による救急救命活動や支援物資搬送の拠点となるとともに、地震や津波により甚大な被害を受けた近隣空港や高速道路、新幹線等の代替機能を担うなど、大規模災害において大きな役割を果たした。

今回の想定では、福島盆地西縁断層帯の地震と会津盆地東縁断層帯の地震は、東北地方太平洋沖地震の震度 5 強よりも低い震度 5 弱以下となっていることから、被害は発生せず、通常運航ができる状態と考えられる。したがって、福島盆地西縁断層帯の地震と会津盆地東縁断層帯の地震時においても、東北地方太平洋沖地震の時と同様に官公庁や民間のヘリの利用が多く行われると考えられる。



## 7. 地震水害について

### 7.1 河川堤防

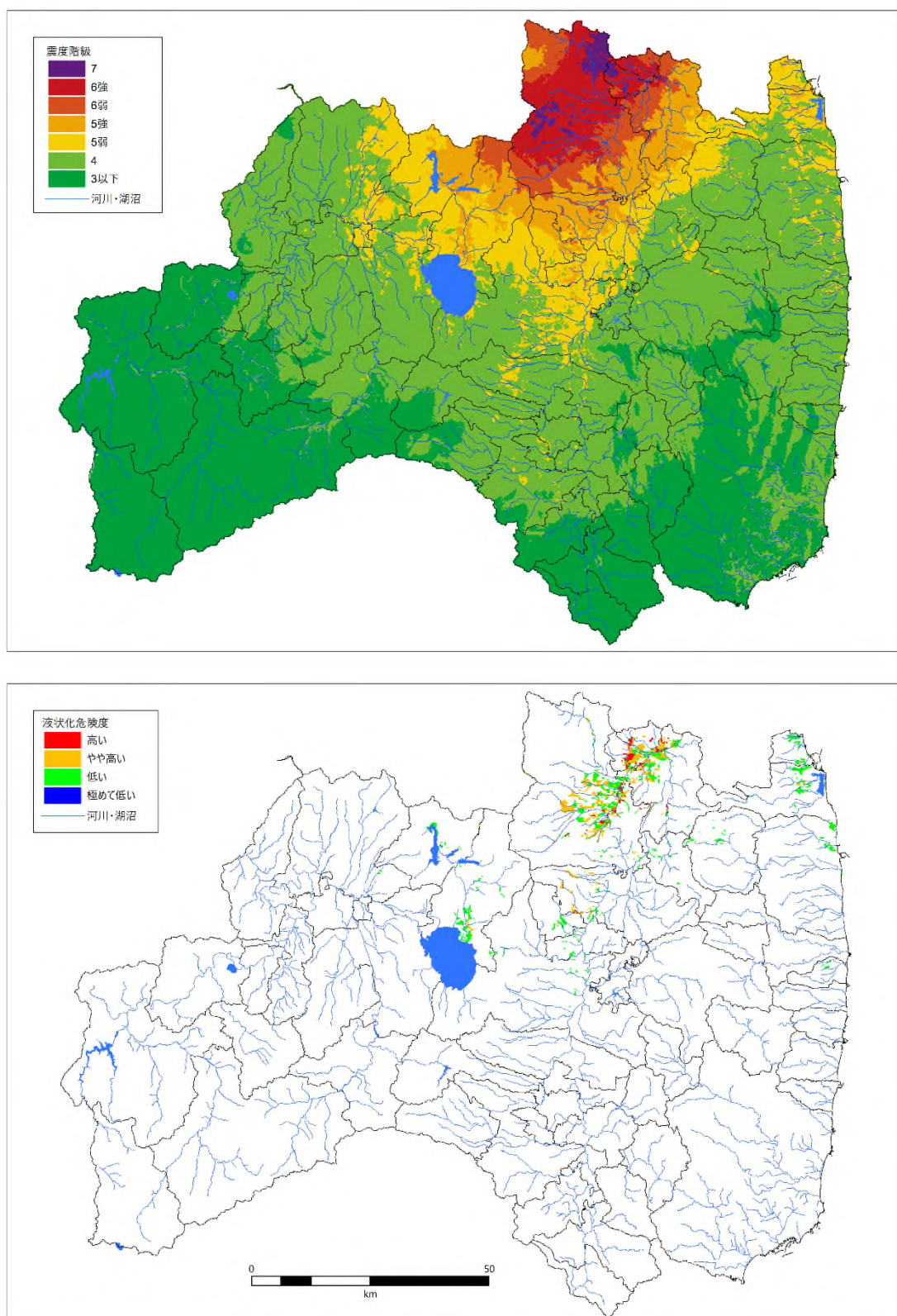
河川堤防については、想定地震による震度ならびに液状化危険度を重ね合わせた結果を基に、定性的な被害様相を記載する。

図Ⅲ-7.1-1～図Ⅲ-7.1-3 に、震度分布と河川・湖沼の位置を重ねた図と液状化危険度と河川・湖沼の位置を重ねた図を示す。関東地方河川堤防復旧技術等検討会(2011)<sup>Ⅲ-56)</sup>では、東日本大震災における河川堤防の大規模な被災の原因は、液状化の発生によって堤体の変状が生じ、堤体のすべりや天端の亀裂・陥没等の変状が生じたとの分析結果が報告された。

これを踏まえ、河川の流路における液状化危険度が高いメッシュを抽出し、液状化危険度ランクごとに流路延長を市町村ごとに抽出した。まとめた結果を表Ⅲ-7.1-1 に示す。

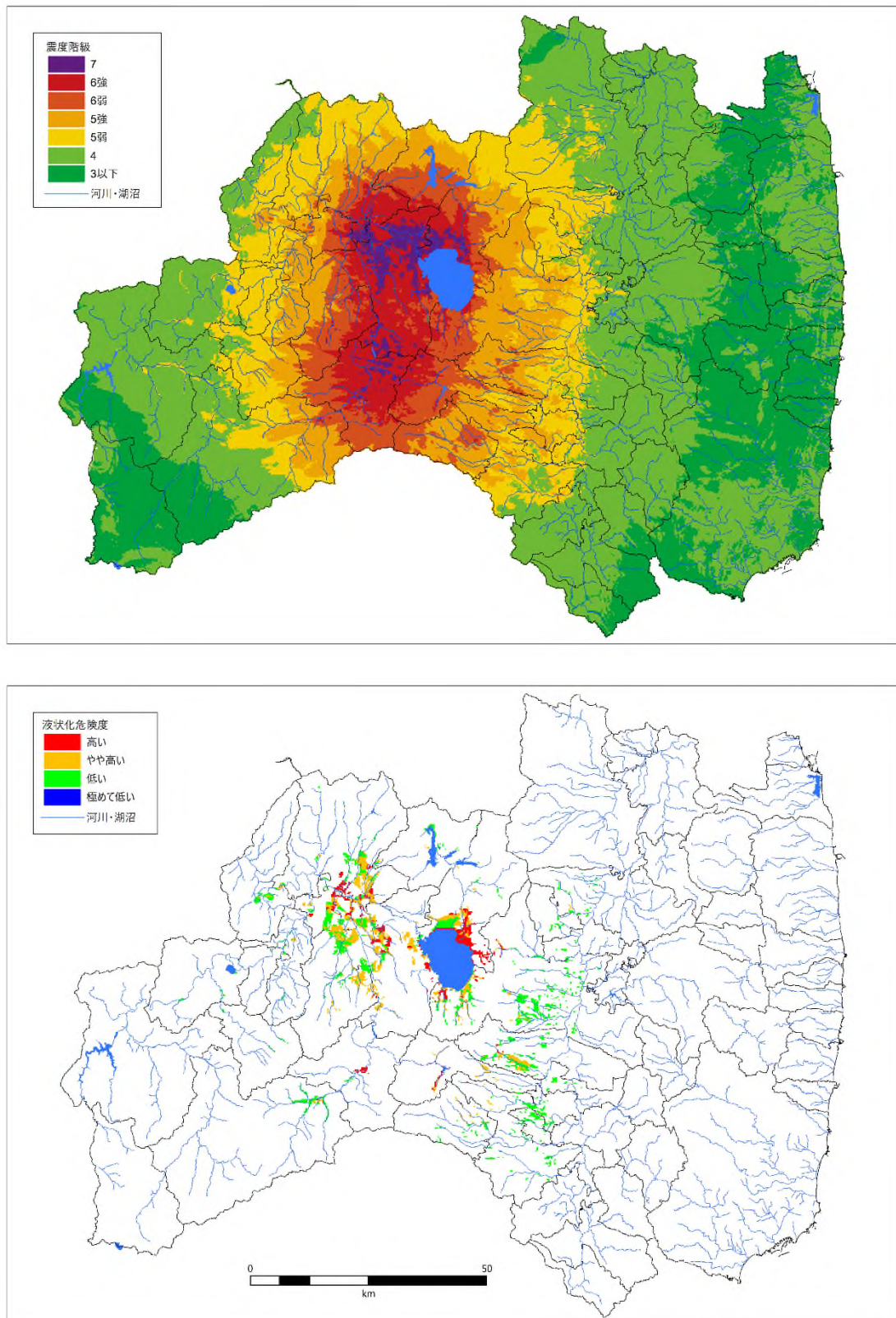
液状化危険度の高いところでは、堤体に大規模な変状が生じる可能性がある。また、液状化危険度が低いところであっても震度の高いところでは、小規模ではあるが亀裂等の被害が出る可能性がある。

Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.1-1 河川・湖沼の位置と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（福島盆地西縁断層帯の地震）

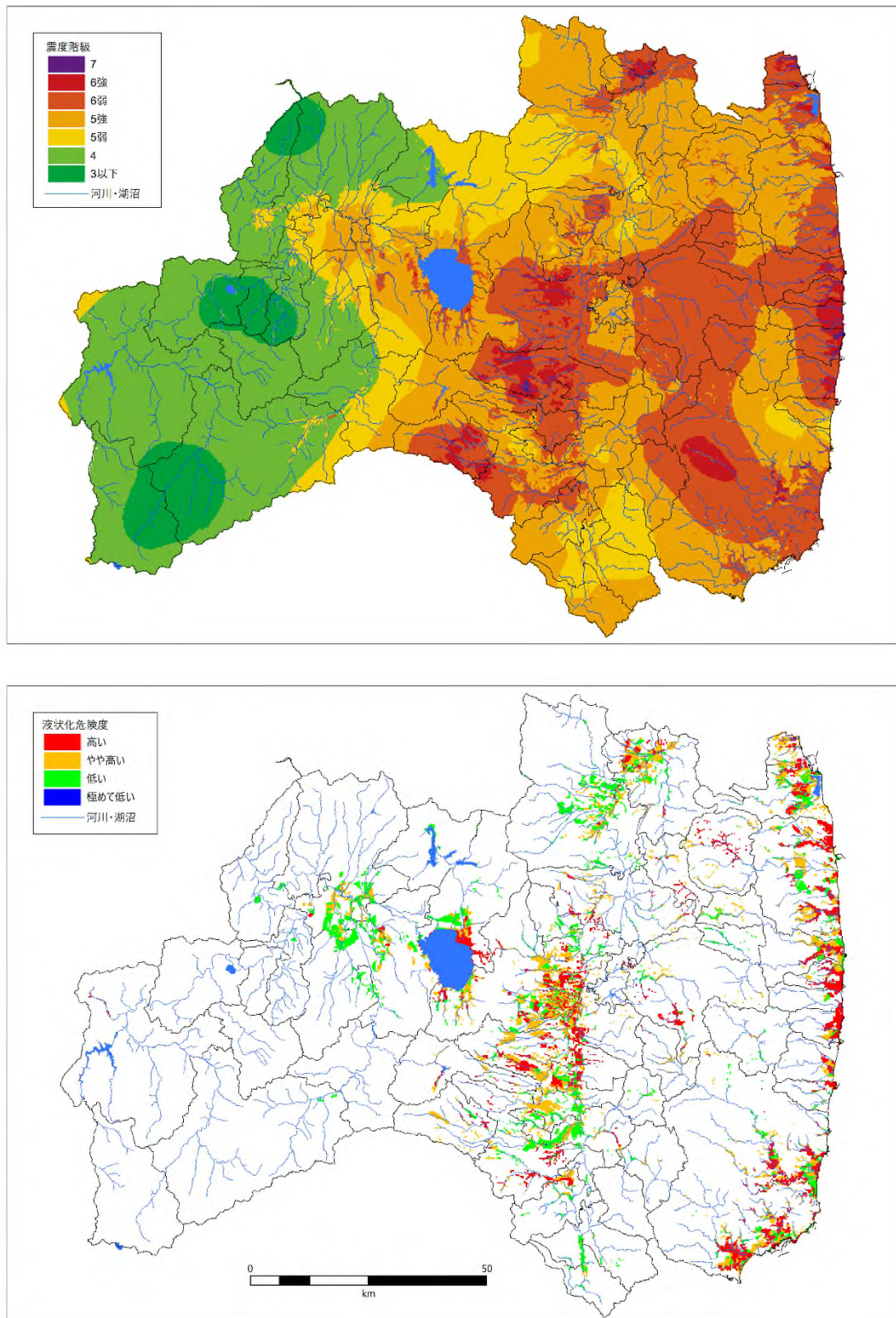
Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.1-2 河川・湖沼の位置と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（会津盆地東縁断層帯の地震）



Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.1-3 河川・湖沼の位置と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（想定東北地方太平洋沖地震）

Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について

表Ⅲ-7.1-1 液状化危険度が高い河川の流路延長（単位：km）

市町村名	福島盆地西縁断層帯の地震				会津盆地東縁断層帯の地震				想定東北地方太平洋沖の地震			
	1級河川		2級河川		1級河川		2級河川		1級河川		2級河川	
	5<PL≤15	15<PL	5<PL≤15	15<PL	5<PL≤15	15<PL	5<PL≤15	15<PL	5<PL≤15	15<PL	5<PL≤15	15<PL
福島市	33.9	4.2	-	-	-	-	-	-	18.7	0.6	-	-
会津若松市	-	-	-	-	21.1	7.4	-	-	11.5	2.1	-	-
郡山市	-	-	-	-	13.6	6.4	-	-	66.0	39.5	-	-
いわき市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63.1	99.0
白河市	-	-	-	-	1.2	0.3	-	-	5.4	9.1	-	-
須賀川市	-	-	-	-	3.2	0.7	-	-	24.0	18.7	-	-
喜多方市	-	-	-	-	17.0	7.9	-	-	9.6	-	-	-
相馬市	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	23.8	10.8
二本松市	7.8	0.5	-	-	-	-	-	-	23.9	10.8	-	-
田村市	-	-	-	-	-	-	-	-	10.4	8.0	4.2	1.4
南相馬市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.6	40.3
伊達市	17.1	4.2	-	-	-	-	-	-	20.3	6.6	-	-
本宮市	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	0.7	-	-
桑折町	3.7	3.2	-	-	-	-	-	-	4.5	3.1	-	-
国見町	3.0	1.9	-	-	-	-	-	-	3.2	2.0	-	-
川俣町	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	3.4	-	-
大玉村	0.7	1.0	-	-	-	-	-	-	0.3	1.7	-	-
鏡石町	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	2.2	-	-
天栄村	-	-	-	-	8.6	2.3	-	-	12.1	3.3	-	-
下郷町	-	-	-	-	0.6	2.5	-	-	-	-	-	-
檜枝岐村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
只見町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-
南会津町	-	-	-	-	1.5	-	-	-	-	-	-	-
北塩原村	-	-	-	-	1.1	-	-	-	-	-	-	-
西会津町	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
磐梯町	-	-	-	-	-	0.4	-	-	-	-	-	-
猪苗代町	0.3	-	-	-	8.0	7.1	-	-	4.6	3.6	-	-
会津坂下町	-	-	-	-	4.6	2.8	-	-	5.4	-	-	-
湯川村	-	-	-	-	4.5	1.5	-	-	3.4	-	-	-
柳津町	-	-	-	-	1.3	0.3	-	-	-	-	-	-
三島町	-	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-
金山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
会津美里町	-	-	-	-	7.5	0.1	-	-	0.4	-	-	-
西郷村	-	-	-	-	7.5	0.8	-	-	10.6	8.4	-	-
泉崎村	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	-	-	-
中島村	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	-
矢吹町	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	0.1	-	-
棚倉町	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	-	-
矢祭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塙町	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	0.1	-	-
鮫川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川町	-	-	-	-	-	-	-	-	14.8	2.7	-	-
玉川村	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	1.5	-	-
平田村	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-
浅川町	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-
古殿町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-
三春町	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	0.7	-	-
小野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	0.9
広野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	0.1
楢葉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	3.5
富岡町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	5.3
川内村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-
大熊町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8
双葉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	13.7
浪江町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.0	14.1
葛尾村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新地町	-	-	0.1	-	-	-	-	-	-	-	10.5	7.5
飯館村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.8	12.0
合計	66.4	15.1	0.6	-	102.8	40.4	-	-	292.1	132.5	186.0	214.6

※ 表中の数字は小数第2位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

## 7.2 ため池

鈴木(2015)<sup>Ⅲ-57)</sup>は、東日本大震災の際の東北3県と関東4県の計7県について、農林水産省の調査結果(2012)をもとに、被災ため池数及びその被災総額などを整理した。これによると、福島県では803箇所(県内のため池:3,299箇所。全被害ため池数の約40%)のため池に被害が生じ、237億円(被害総額の約75%)の被害額だった。須賀川市の藤沼貯水池では堤体が大きく変形し、貯水が堤体上を越流して決壊に至り、下流の住宅を直撃して8名の犠牲者を出した。田中他(2013)<sup>Ⅲ-58)</sup>は、藤沼貯水池の決壊の原因を調査した結果、決壊した原因は、堤頂部で最大442galに達する強い地震動があり、かつ50gal以上の地震動が100秒間も継続した過去に例のない地震動であったことをあげている。鈴木(2015)は、推定震度とため池の関係を整理し、東日本大震災時の福島県では推定震度4.9より被害が出始め、震度5強から6強にかけて被害が出ているとした。被災率は10%程度となっている。なお、地盤の液状化と被災の関係には言及されていなかった。

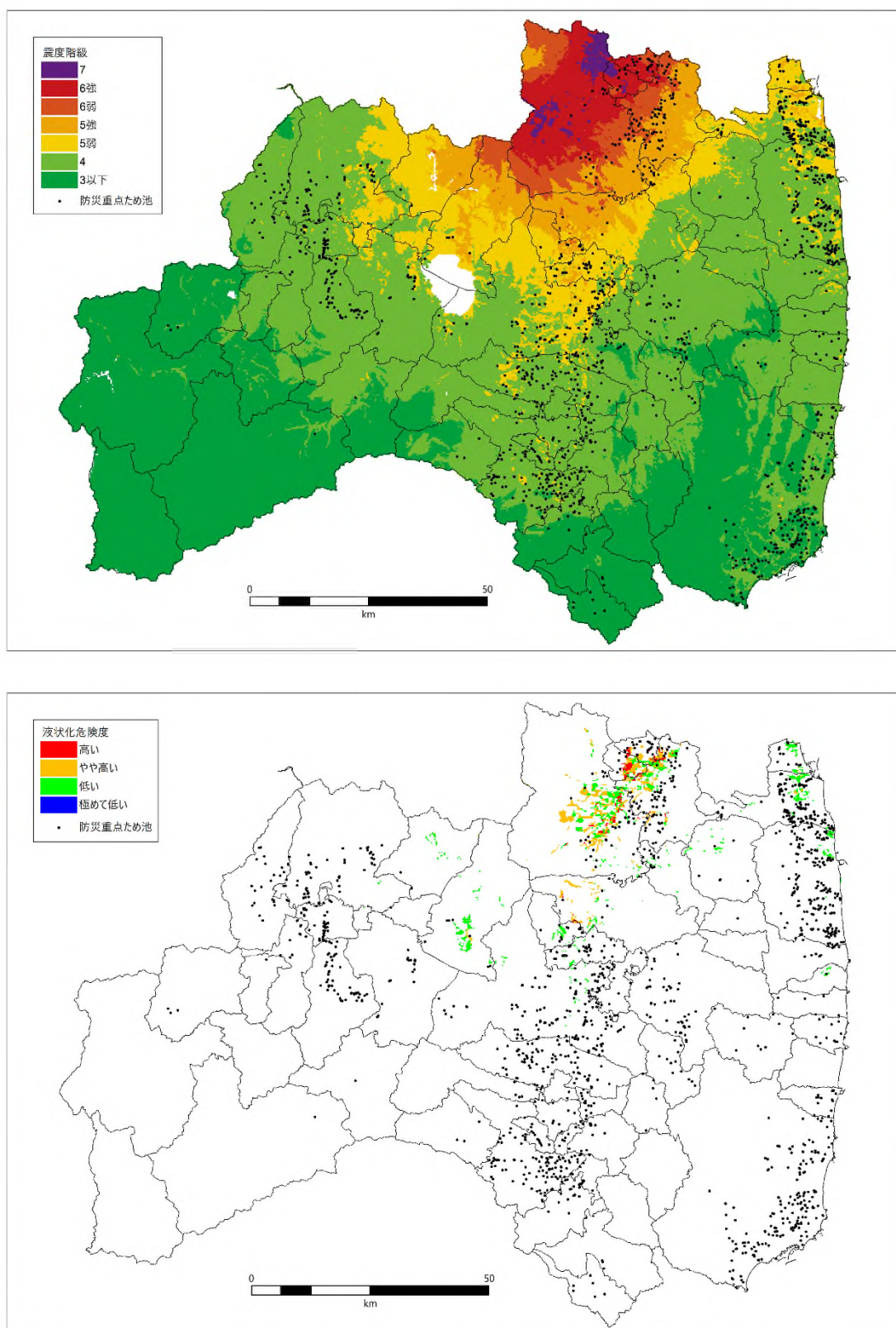
以上のことを踏まえ、ため池については想定地震による震度ならびに液状化危険度とため池を重ねた結果を基に、定性的な被害様相を記載する。なお、今回評価するため池は、福島県内にあるため池4,061箇所のうち、防災重点ため池<sup>1)</sup>に指定されている1,469箇所とした。

図Ⅲ-7.2-1～図Ⅲ-7.2-3に、ため池の分布と震度分布を重ねた図とため池の分布と液状化危険度を重ねた図を示す。これらの図より、地震別に「震度5強以上の揺れ」または「液状化危険度が高い・非常に高い」のため池の箇所数を抽出し、表Ⅲ-7.2-1に示した。また、「震度6強以上の揺れ」または「液状化危険度が高い・非常に高い」のため池の箇所数を抽出し、表Ⅲ-7.2-2に示した。

田中他(2013)の藤沼貯水池の決壊原因の検討結果より、東日本大震災のような地震動が長く続く地震では、表Ⅲ-7.2-1の震度5強以上の揺れにおいて10%のため池において被害が生じる可能性がある。一方、福島盆地西縁断層帯の地震または会津盆地東縁断層帯の地震のように活断層による直下の地震では短時間の揺れではあるが断層近傍では大きな地震動が発生することから、より震度の大きな地震に対して被害が生じる可能性がある。

<sup>1)</sup> 防災重点ため池とは、『決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与える恐れのあるため池』のうち、次の条件のどれかを満たすため池のこと。条件：①ため池から100m以内に家屋や公共施設が存在する。②貯水量が1000m<sup>3</sup>以上のため池で、ため池から500m以内に家屋や公共施設が存在する。③貯水量が5000m<sup>3</sup>以上のため池で、ため池から500m以上に家屋や公共施設が存在する。④地形条件、家屋等との位置関係、維持管理の状況等から都道府県及び市町村が必要と認めるもの

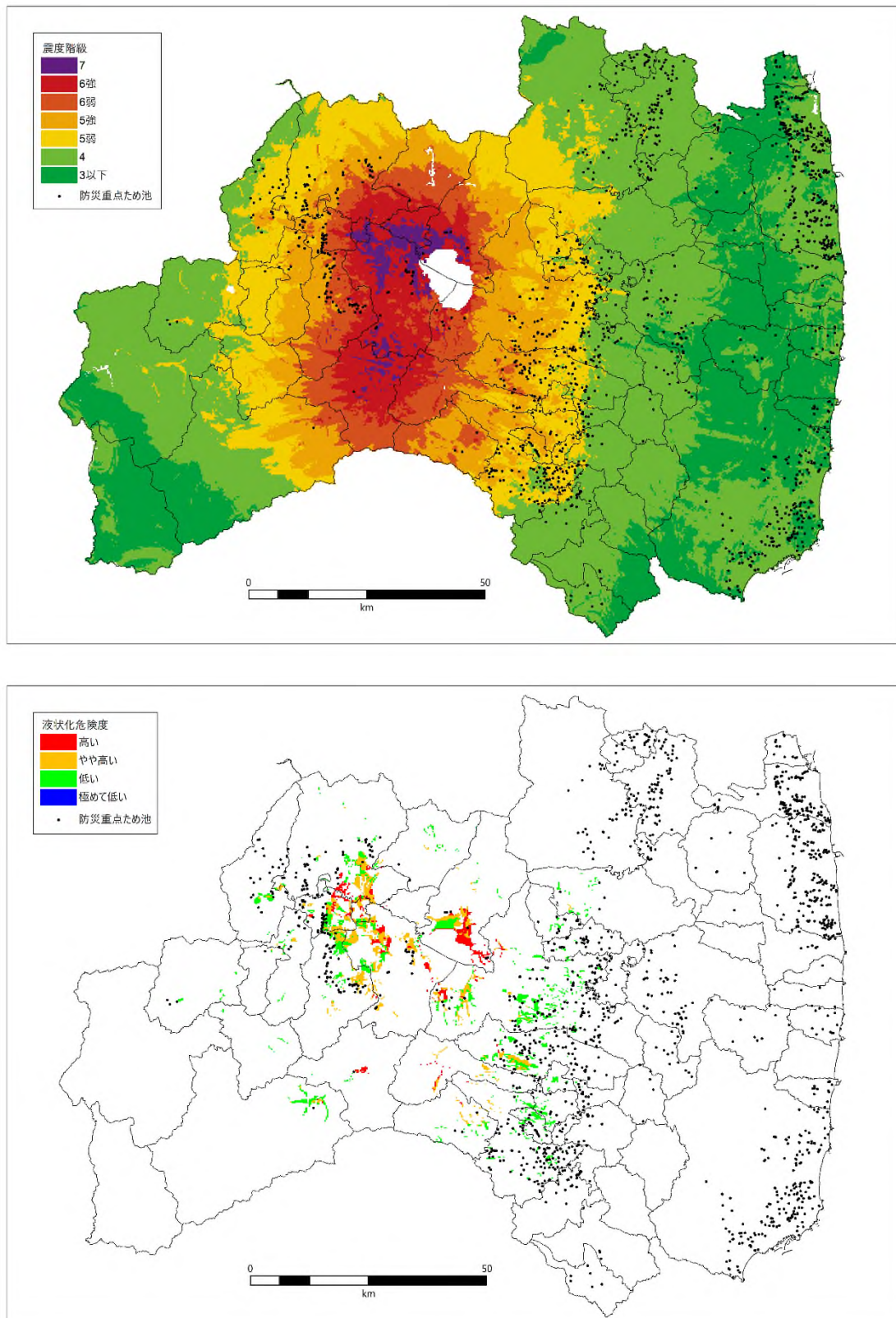
Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.2-1 ため池の分布と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（福島盆地西縁断層帯の地震）

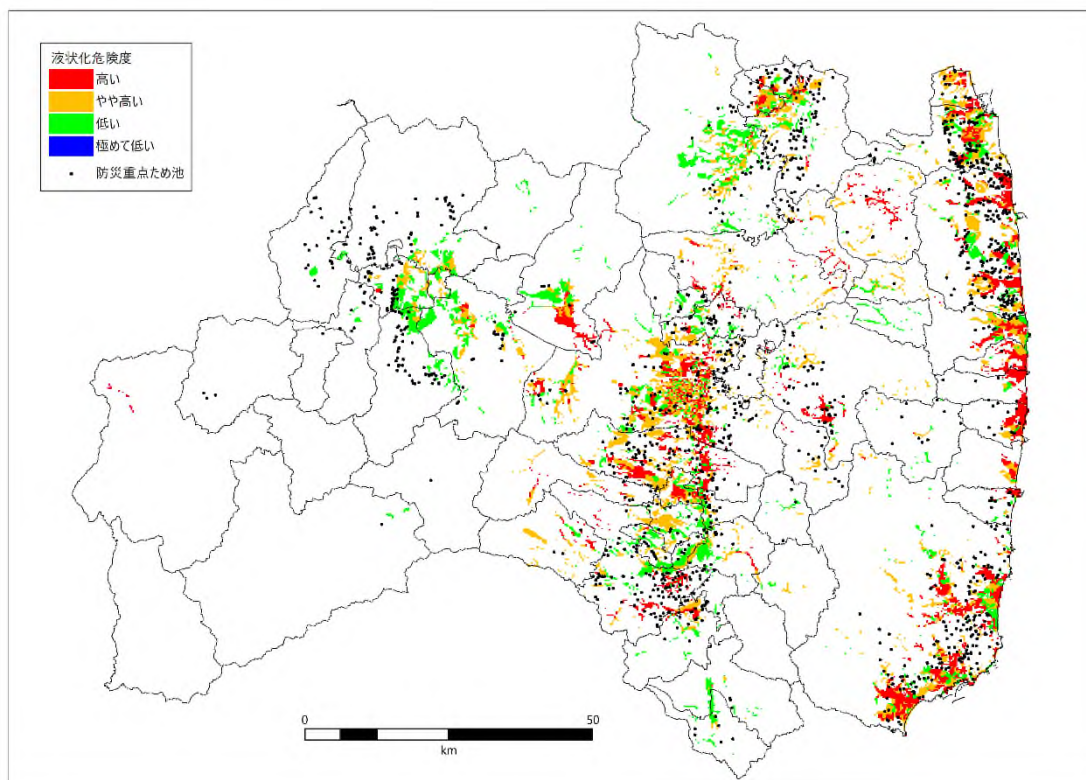
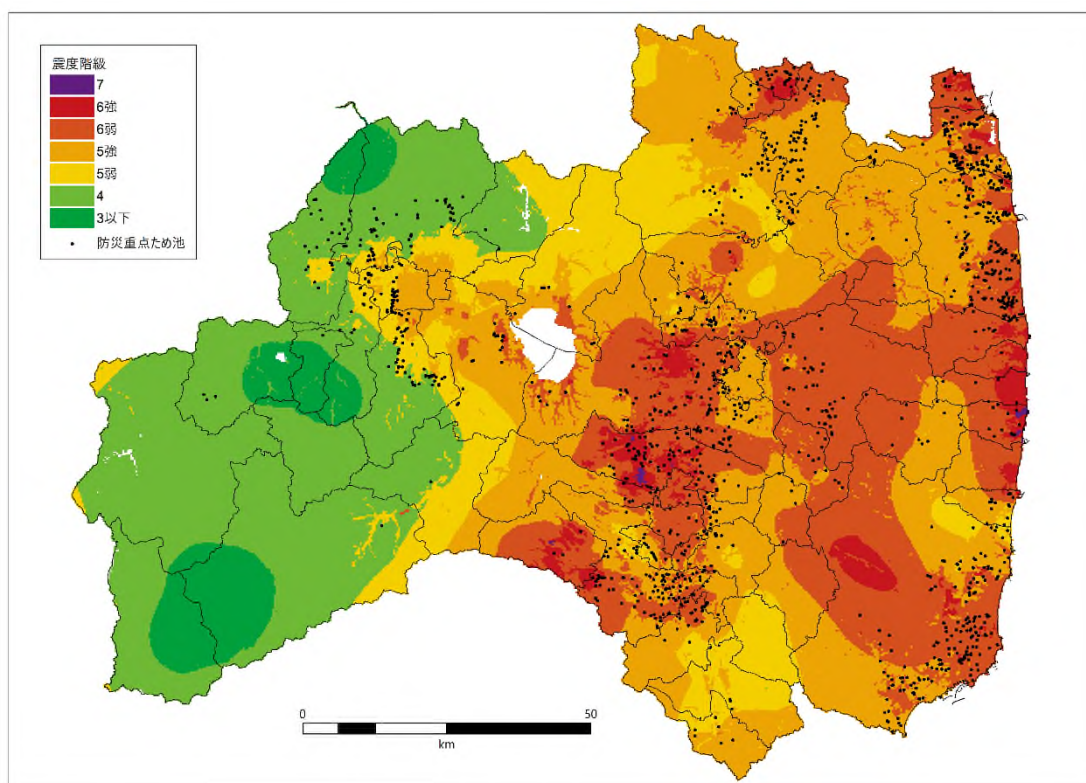


Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.2-2 ため池の分布と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（会津盆地東縁断層帯の地震）

Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.2-3 ため池の分布と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（東北地方太平洋沖地震）

Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について

表Ⅲ-7.2-1 「震度5強以上」または「液状化の危険性が高い」防災重点ため池数

市町村名	ため池数	福島盆地西縁 断層帯の地震	会津盆地東縁 断層帯の地震	想定東北地方 太平洋沖の地震
福島市	38	37	0	23
会津若松市	18	0	18	15
郡山市	133	1	38	133
いわき市	183	0	0	178
白河市	104	0	26	101
須賀川市	75	0	34	75
喜多方市	54	0	30	4
相馬市	119	0	0	119
二本松市	5	5	0	5
田村市	44	0	0	44
南相馬市	187	0	0	187
伊達市	78	76	0	78
本宮市	31	7	5	31
桑折町	5	5	0	5
国見町	26	26	0	26
川俣町	13	11	0	12
大玉村	12	4	1	12
鏡石町	2	0	1	2
天栄村	6	0	4	6
下郷町	1	0	1	0
檜枝岐村	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0
南会津町	1	0	1	0
北塩原村	2	0	2	0
西会津町	23	0	5	0
磐梯町	1	0	1	0
猪苗代町	8	1	8	7
会津坂下町	36	0	34	5
湯川村	0	0	0	0
柳津町	11	0	8	0
三島町	1	0	0	0
金山町	3	0	0	0
昭和村	0	0	0	0
会津美里町	51	0	51	8
西郷村	3	0	3	3
泉崎村	13	0	5	7
中島村	6	0	1	6
矢吹町	13	0	3	13
棚倉町	22	0	1	21
矢祭町	6	0	0	2
塙町	3	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0
石川町	10	0	0	10
玉川村	16	0	0	16
平田村	5	0	0	5
浅川町	10	0	0	10
古殿町	0	0	0	0
三春町	10	0	0	10
小野町	12	0	0	12
広野町	15	0	0	13
檜葉町	0	0	0	0
富岡町	11	0	0	11
川内村	10	0	0	10
大熊町	5	0	0	5
双葉町	1	0	0	1
浪江町	10	0	0	10
葛尾村	0	0	0	0
新地町	11	1	0	11
飯館村	6	0	0	6
合計	1,469	174	281	1,258

Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について

表Ⅲ-7. 2-2 「震度6強以上」または「液状化の危険性が高い」防災重点ため池数

市町村名	ため池数	福島盆地西縁 断層帯の地震	会津盆地東縁 断層帯の地震	想定東北地方 太平洋沖地震
福島市	38	9	0	0
会津若松市	18	0	18	0
郡山市	133	0	2	23
いわき市	183	0	0	8
白河市	104	0	0	13
須賀川市	75	0	0	41
喜多方市	54	0	0	0
相馬市	119	0	0	7
二本松市	5	0	0	0
田村市	44	0	0	4
南相馬市	187	0	0	16
伊達市	78	1	0	1
本宮市	31	0	0	2
桑折町	5	4	0	0
国見町	26	17	0	9
川俣町	13	0	0	0
大玉村	12	0	0	0
鏡石町	2	0	0	0
天栄村	6	0	0	1
下郷町	1	0	1	0
檜枝岐村	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0
南会津町	1	0	0	0
北塩原村	2	0	1	0
西会津町	23	0	0	0
磐梯町	1	0	1	0
猪苗代町	8	0	8	3
会津坂下町	36	0	0	0
湯川村	0	0	0	0
柳津町	11	0	0	0
三島町	1	0	0	0
金山町	3	0	0	0
昭和村	0	0	0	0
会津美里町	51	0	7	0
西郷村	3	0	0	2
泉崎村	13	0	0	0
中島村	6	0	0	0
矢吹町	13	0	0	0
棚倉町	22	0	0	1
矢祭町	6	0	0	0
塙町	3	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0
石川町	10	0	0	0
玉川村	16	0	0	1
平田村	5	0	0	0
浅川町	10	0	0	0
古殿町	0	0	0	0
三春町	10	0	0	0
小野町	12	0	0	0
広野町	15	0	0	5
檜葉町	0	0	0	0
富岡町	11	0	0	4
川内村	10	0	0	0
大熊町	5	0	0	2
双葉町	1	0	0	1
浪江町	10	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0
新地町	11	0	0	4
飯舘村	6	0	0	1
合計	1,469	31	38	149



### Ⅲ 被害想定について

#### 7. 地震水害について

#### 7.3 ダム

治水機能およびかんがい用のダムについて、想定地震による震度ならびに液状化危険度を重ねた結果を基に、定性的な被害様相を記載する。

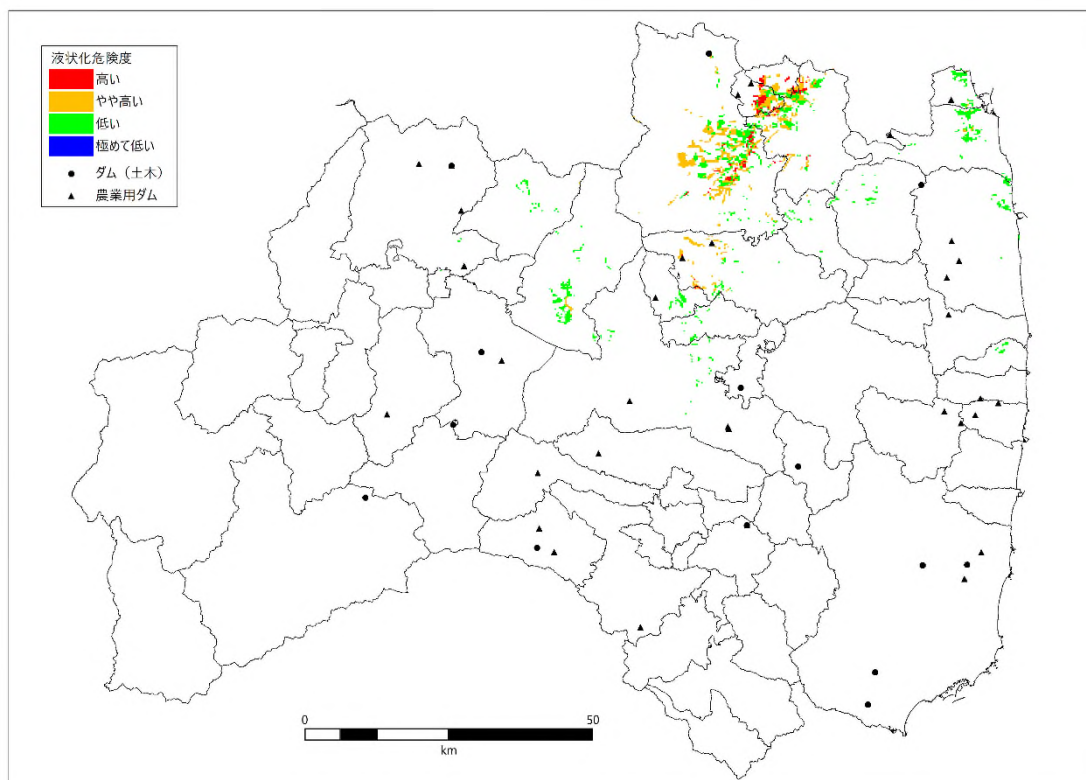
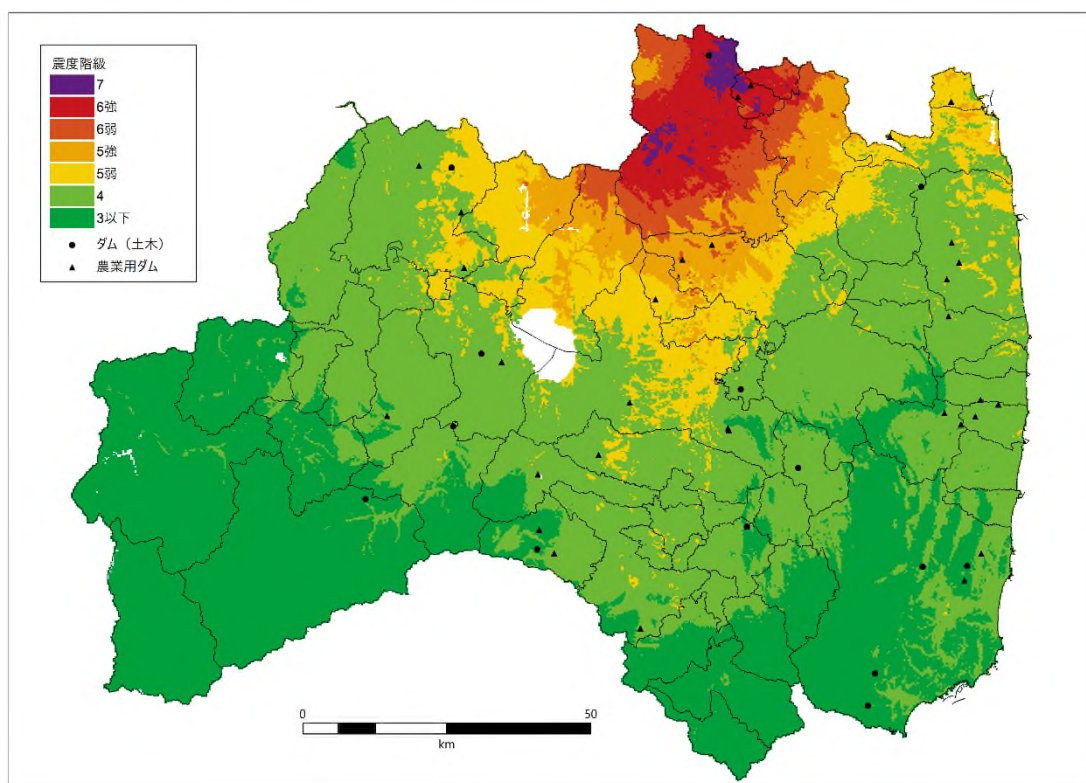
表Ⅲ-7.3-1 に、対象としたダムの一覧表を示す。治水を目的としたダム 14 箇所、かんがいを目的としたダム 31 箇所である。

図Ⅲ-7.3-1～図Ⅲ-7.3-3 に、ダムの分布と震度分布を重ねた図およびダムの分布と液状化危険度を重ねた図を示す。これらより、震度 6 強以上または液状化危険度が高いダムを抽出し、該当するダムを市町村ごとに集計し、表Ⅲ-7.3-2 に示す。福島盆地西縁断層帯の地震で 4 箇所、会津盆地東縁断層帯の地震で 5 箇所、想定東北地方太平洋沖地震で 2 箇所が抽出されたが、ダムサイトは強固な岩盤の上に成り立っており、地質調査等の各試験を行っていることから、緩い砂地盤に起こりやすい液状化現象については、危険性は低い。

表Ⅲ-7.3-1 対象としたダム一覧表

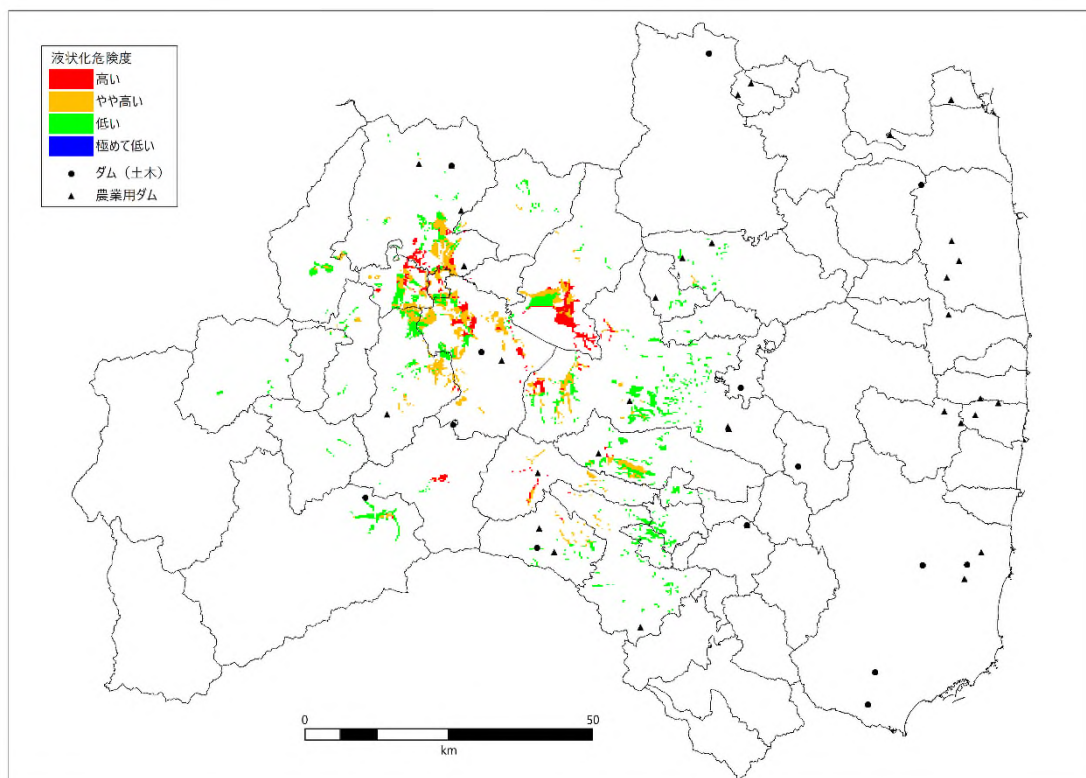
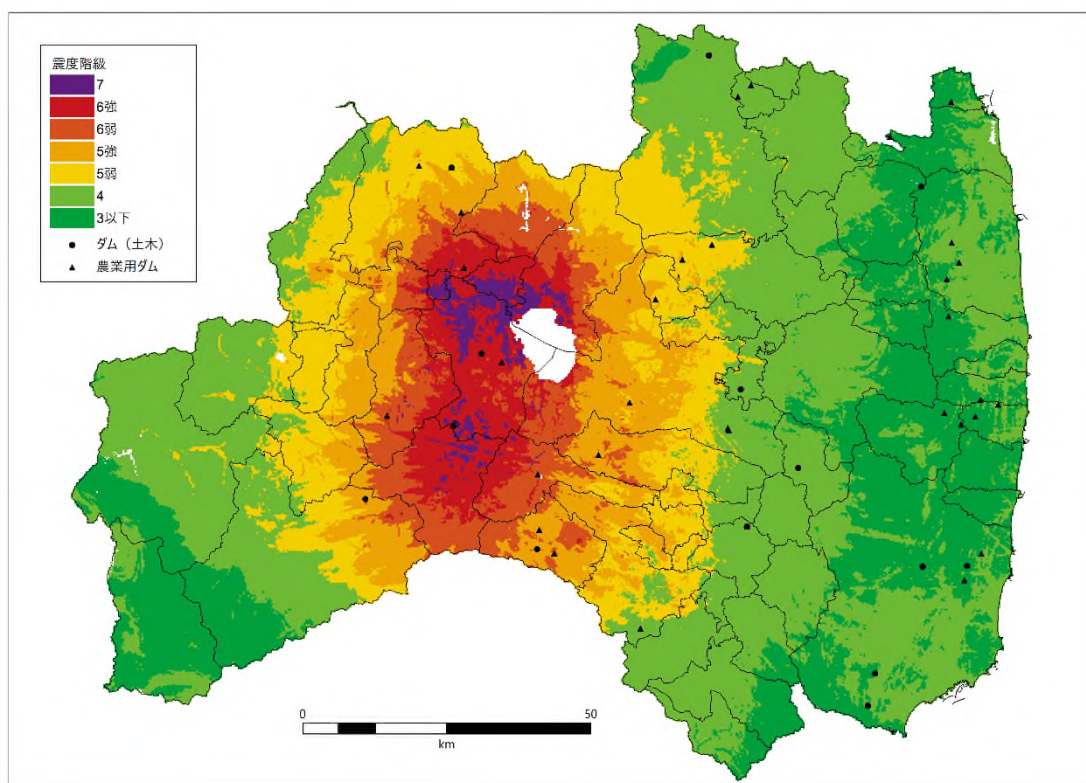
種類	No	名称	ダム事業者	高さ (m)	集水面積 (km <sup>2</sup> )	総貯水量 (千m <sup>3</sup> )	目的	形式	竣工	市町村
土木	1	大川ダム	北陸地方整備局	75	825.6	57,500	洪水調整、かんがい用水	重力式コンクリート・フィル複合	S62	下郷町
土木	2	三春ダム	東北地方整備局	65	226.4	42,800	流水の正常な機能維持	重力式コンクリートダム	H9	三春町
土木	3	摺上川ダム	東北地方整備局	105	160	153,000	洪水調整、流水の正常な機能維持	ロックフィルダム	H17	福島市
土木	4	高柴ダム	福島県	59.5	410	12,700	治水、利水（工水）	重力式コンクリートダム	S37.3	いわき市
土木	5	四時ダム	福島県	83.5	95.6	12,100	治水、利水（工水）	ロックフィルダム	S59.3	いわき市
土木	6	小玉ダム	福島県	102	67.8	13,930	洪水調整、既得取水の確保	重力式コンクリートダム	H9.3	いわき市
土木	7	木戸ダム	福島県	93.5	224.8	18,470	洪水調整、水道用水、かんがい用水	重力式コンクリートダム	H20.3	楡葉町
土木	8	真野ダム	福島県	69	72.8	36,200	洪水調整、流水の正常な機能維持	重力式コンクリートダム	H3	飯館村
土木	9	こまちダム	福島県	37	4	772	洪水調整、水道用水、かんがい用水	重力式コンクリートダム	H18	小野町
土木	10	日中ダム	東北農政局	101	40.6	24,600	洪水調整、水道用水、かんがい用水	ロックフィルダム	H3	喜多方市
土木	11	東山ダム	福島県	70	40.5	12,500	洪水調整、取得取水の確保	重力式コンクリートダム	S57	会津若松市
土木	12	田島ダム	福島県	36	4.8	523	洪水調整、取得取水の確保	重力式コンクリートダム	H11.3	南会津町
土木	13	堀川ダム	福島県	57	15.2	5,500	洪水調整、河川維持、かんがい用水	ロックフィルダム	H12	西郷村
土木	14	千五沢ダム	福島県	43	111	13,000	洪水調整、農業用水、かんがい用水	アースダム	H7R5	石川町
農業	1	岳ダム	福島県	60	14.5	1,100	農業用水	重力式コンクリートダム	S54	二本松市
農業	2	藤倉ダム	福島県	36.5	6.4	905	かんがい用水	重力式コンクリートダム	S44	桑折町
農業	3	山ノ入ダム	福島県	29.5	16	1,266	かんがい用水	アースダム	H16	二本松市
農業	4	三ツ森溜池	福島県	28.8	16.1	720	かんがい用水	アースダム	S15	大玉村
農業	5	半田沼	福島県	29.4	1.55	560	かんがい用水	アースダム	S25	桑折町
農業	7	藤沼ダム	福島県	31.4	8	1,500	かんがい用水	アースダム	R3	須賀川市
農業	8	深田調整池	東北農政局	55.5	1.3	8,690	かんがい用水	アースダム	S57	郡山市
農業	9	金沢調整池	東北農政局	30.8	1.3	1,371	かんがい用水	重力式コンクリートダム	H13	郡山市
農業	9	金沢調整池副堤	東北農政局	22	1.3	1,371	かんがい用水	アースダム	H13	郡山市
農業	10	西郷ダム	東北農政局	32.5	10.6	3,299	かんがい用水	アースダム	S30	西郷村
農業	11	大神ダム	福島県	32.4	4.9	1,206	かんがい用水	アースダム	S46	白河市
農業	12	赤坂ダム	福島県	18.3	16.6	906	かんがい用水	アースダム	S40	西郷村
農業	13	羽鳥ダム	東北農政局	37.1	42.7	27,321	かんがい用水	アースダム	S31	天栄村
農業	14	大平沼	福島県	32	24	2,115	かんがい用水、発電	アスファルトフェイスングフィルダム	S45	喜多方市
農業	15	大深沢調整池	東北農政局	36.5	4.4	720	かんがい用水	ロックフィルダム	S63	喜多方市
農業	16	新宮川ダム	東北農政局	69	40.7	10,320	かんがい用水、発電	重力式コンクリートダム	H16	会津美里町
農業	17	関柴ダム	福島県	20	12.1	934	かんがい用水	アースダム	S33	喜多方市
農業	18	吉ヶ平ダム	福島県	22.5	7.3	1,253	かんがい用水	アースダム	S47	会津若松市
農業	20	松ヶ房ダム	福島県	46	25.6	9,710	かんがい用水	ロックフィルダム	H9	相馬市
農業	21	高の倉ダム	福島県	54.2	13.4	6,000	かんがい用水	重力式コンクリートダム	S50	南相馬市
農業	22	横川ダム	福島県	78.5	44.2	13,650	かんがい用水、工業用水	重力式コンクリートダム	S59	南相馬市
農業	23	鉄山ダム	大田川沿岸土地改良区	25.2	0	1,076	かんがい用水	アースダム	S13	南相馬市
農業	24	大柿ダム	東北農政局	84.5	110.2	19,500	かんがい用水	ロックフィルダム	S63	浪江町
農業	25	坂下ダム	福島県	43	12.5	2,840	かんがい用水、発電	重力式コンクリートダム	S48	大熊町
農業	26	鴻の巣ダム	福島県	23.5	2.6	483	かんがい用水、発電	アースダム	S53	新地町
農業	27	荻ダム	渚川江筋土地改良区	27.8	0	716	かんがい用水	アースダム	S9	川内村
農業	28	毛戸ダム	福島県	22	5.2	544	かんがい用水	アースダム	S40	川内村
農業	29	館山ダム	富岡町上岡村連合第二耕地整理組合	20	0	1286	かんがい用水	アースダム	S15	富岡町
農業	30	滝川ダム	福島県	74.3	31.2	5,945	かんがい用水	重力式コンクリートダム	H22	富岡町
農業	31	千軒平溜池	福島県	25.5	5	865	かんがい用水	アースダム	S34	いわき市
農業	32	新池	いわき市	15.4	1	250	かんがい用水	重力式コンクリートダム	S17	いわき市

Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.3-1 ダムの分布と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（福島盆地西縁断層帯の地震）

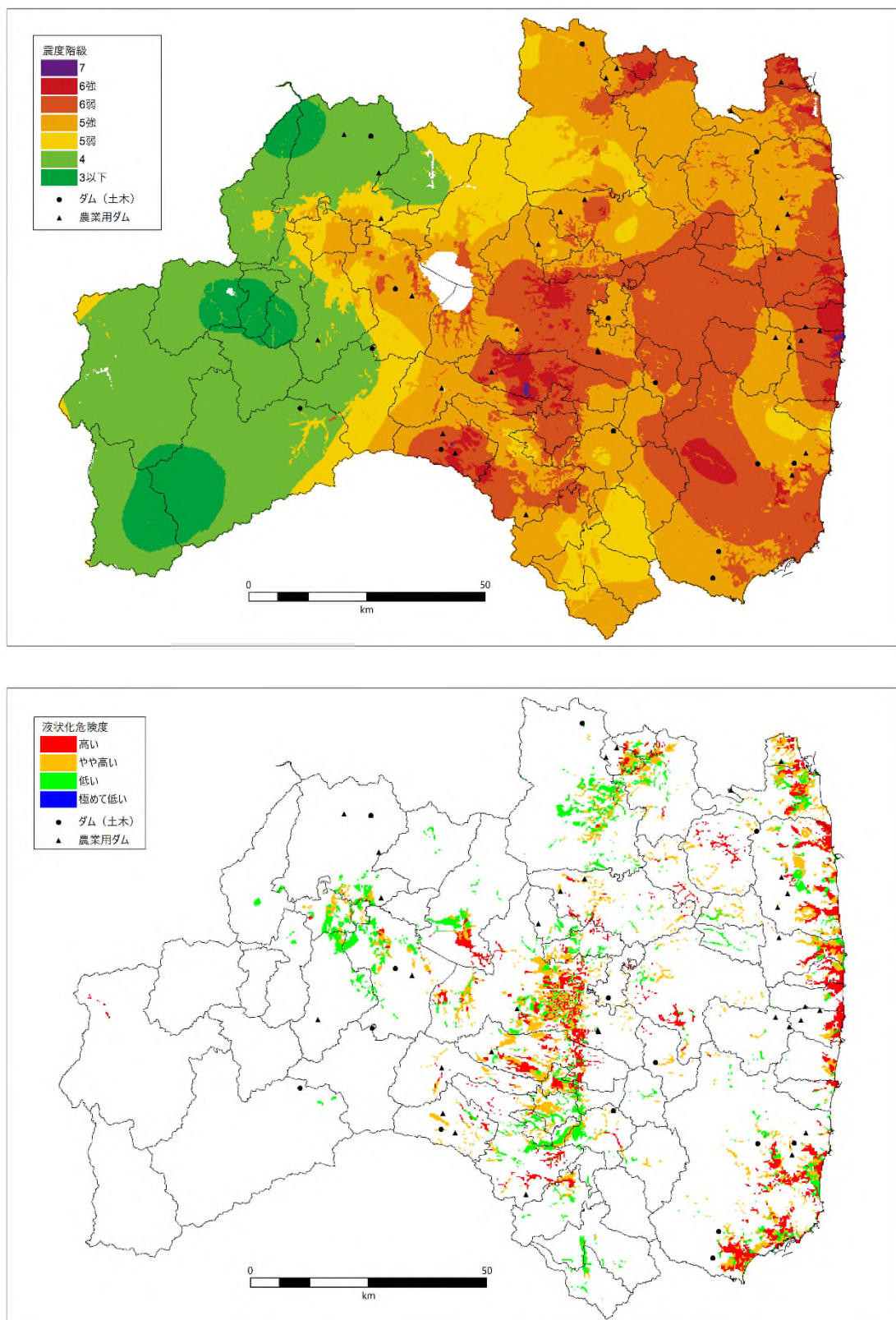
Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.3-2 ダムの分布と震度分布（上）、液状化危険度（下）  
（会津盆地東縁断層帯の地震）



Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について



図Ⅲ-7.3-3 ダムの分布と震度分布（左）、液状化危険度（右）  
（想定東北地方太平洋沖地震）

Ⅲ 被害想定について  
7. 地震水害について

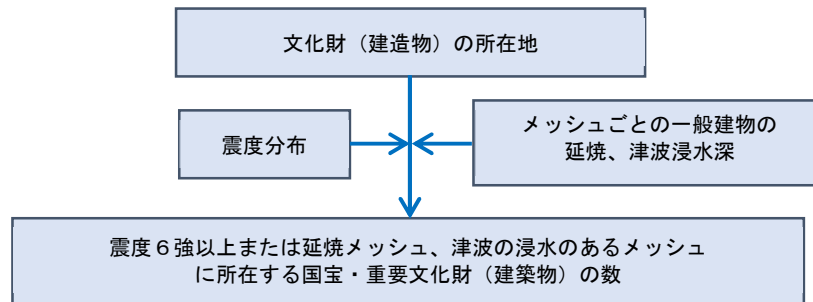
表Ⅲ-7.3-2 震度6強以上または液状化危険度が高いダム数

市町村名	ダム数	福島盆地西縁 断層帯の地震	会津盆地東縁 断層帯の地震	想定東北地方 太平洋沖地震
福島市	1	1	0	0
会津若松市	2	0	2	0
郡山市	3	0	0	0
いわき市	5	0	0	0
白河市	1	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0
喜多方市	4	0	1	0
相馬市	1	0	0	0
二本松市	2	1	0	0
田村市	0	0	0	0
南相馬市	3	0	0	0
伊達市	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0
桑折町	2	2	0	0
国見町	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0
大玉村	1	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0
天栄村	1	0	0	0
下郷町	1	0	1	0
檜枝岐村	0	0	0	0
只見町	0	0	0	0
南会津町	1	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0
西会津町	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0
猪苗代町	0	0	0	0
会津坂下町	0	0	0	0
湯川村	0	0	0	0
柳津町	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0
会津美里町	1	0	1	0
西郷村	3	0	0	2
泉崎村	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0
棚倉町	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0
塙町	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0
石川町	1	0	0	0
玉川村	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0
三春町	1	0	0	0
小野町	1	0	0	0
広野町	0	0	0	0
檜葉町	1	0	0	0
富岡町	2	0	0	0
川内村	2	0	0	0
大熊町	1	0	0	0
双葉町	0	0	0	0
浪江町	1	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0
新地町	1	0	0	0
飯館村	1	0	0	0
合計	45	4	5	2

## 8. 文化財被害について

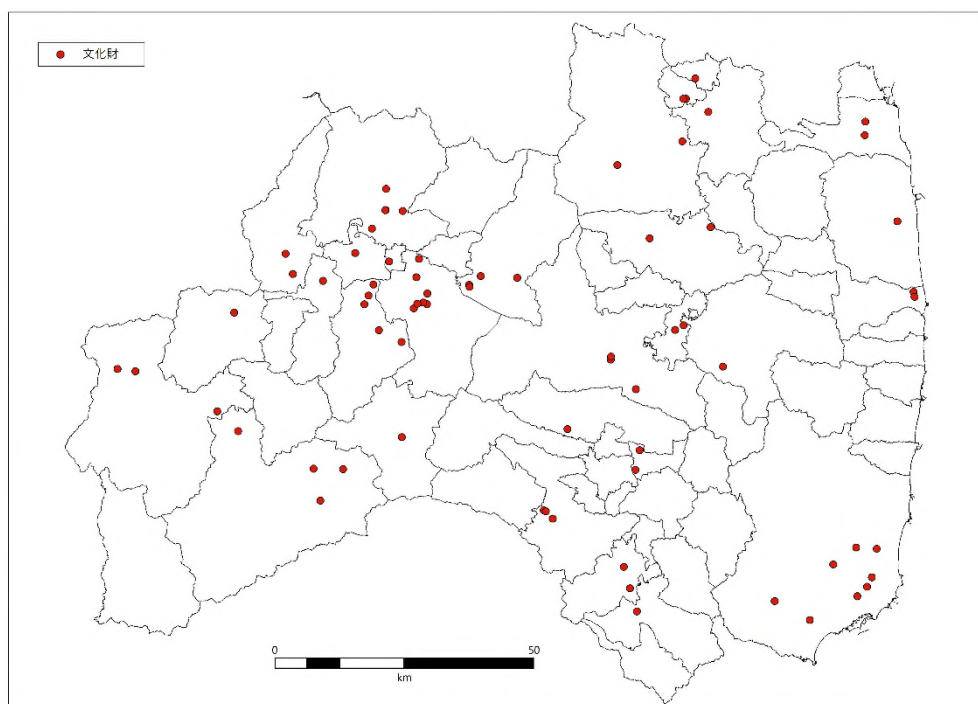
### 8.1 文化財施設のデータ整理の概要

文化財については、中央防災会議(2013、南海トラフ)の手法を用いて、震度 6 強以上または延焼したメッシュに所在する重要文化財（建築物）ならびに、県指定文化財（有形建築物）などを、被災可能性のある文化財の数として算出する。なお、沿岸については津波の浸水のあるメッシュにある文化財も抽出した。以下の流れで評価を行う。



図Ⅲ-8.1-1 文化財の被害想定フロー

福島県教育委員会<sup>Ⅲ-59)</sup>は、県内にある重要文化財および県指定文化財をまとめている。このうち重要文化財および県指定文化財（有形文化財（建築物））の一覧と位置を表Ⅲ-8.1-1 および図Ⅲ-8.1-2 に示す。各想定地震で火災が最も燃え広がった冬 18 時のケースを対象としたが、火災の燃え広がり方にもばらつきがあることを考慮して、焼失建物が生じたメッシュに所在した文化財を取り上げることとした。また、津波浸水域に存在する文化財も抽出した。



図Ⅲ-8.1-2 文化財の分布

### Ⅲ 被害想定について

#### 8. 文化財被害について

表Ⅲ-8. 1-1 文化財の一覧（重要文化財（有形文化財（建造物）））

No	指定	種別	名称	員数	指定年月日	所在地
1	国	国宝(建造物)	阿弥陀堂(白水阿弥陀堂)	1棟	昭和27.3.29	福島県いわき市内郷白水町広畑
2	国	重文(建造物)	旧広瀬座	1棟	平成10.12.25	福島県福島市上名倉字大石前21-3
3	国	重文(建造物)	旧伊達郡役所	1棟	昭和52.6.27	福島県桑折町字陣屋
4	国	重文(建造物)	旧亀岡家住宅	1棟	平成28.7.25	福島県伊達市保原町大泉字宮脇
5	国	重文(建造物)	旧福島尋常中学校本館	1棟	昭和52.6.27	福島県郡山市開成5丁目
6	国	重文(建造物)	五輪塔	1基	昭和13.7.4	福島県玉川村岩法寺字方丈
7	国	重文(建造物)	都々古別神社本殿	1棟	平成26.12.10	福島県棚倉町棚倉字馬場
8	国	重文(建造物)	中山家住宅	1棟	昭和52.1.28	福島県三春町
9	国	重文(建造物)	堂山王子神社本殿	1棟	大正6.4.5	福島県田村市船引町門沢字堂山
10	国	重文(建造物)	旧滝沢本陣横山家住宅主屋、座敷	2棟	昭和46.3.11	福島県会津若松市一箕町八幡
11	国	重文(建造物)	旧正宗寺三仏堂	1棟	平成7.6.27	福島県会津若松市一箕町八幡
12	国	重文(建造物)	延命寺地藏堂	1棟	明治36.4.15	福島県会津若松市河東町倉橋字藤倉
13	国	重文(建造物)	八葉寺阿弥陀堂	1棟	明治37.2.18	福島県会津若松市河東町広野字権現塚
14	国	重文(建造物)	旧馬場家住宅	1棟	昭和52.1.28	福島県猪苗代町三ツ和字前田
15	国	重文(建造物)	天鏡閣本館、別館、表門	3棟	昭和54.2.3	福島県猪苗代町翁沢字御殿山1048-14
16	国	重文(建造物)	旧高松宮翁島別邸(福島県迎賓館) 居間棟、玄関棟、台所棟	3棟	平成11.5.13	福島県猪苗代町翁沢字畑田1072-4
17	国	重文(建造物)	熊野神社長床	1棟	昭和38.7.1	福島県喜多方市慶徳町新宮字熊野
18	国	重文(建造物)	勝福寺観音堂	1棟	昭和57.6.11	福島県喜多方市関柴町三津井字堂ノ上
19	国	重文(建造物)	円満寺観音堂	1棟	昭和41.8.5	福島県西会津町下谷字宮ノ後
20	国	重文(建造物)	恵隆寺観音堂	1棟	明治37.2.18	福島県会津坂下町塔寺字松原
21	国	重文(建造物)	旧五十嵐家住宅	1棟	昭和46.3.11	福島県会津坂下町塔寺字松原
22	国	重文(建造物)	勝常寺薬師堂	1棟	明治36.4.15	福島県湯川村勝常字代舞
23	国	重文(建造物)	奥之院弁天堂	1棟	大正6.4.5	福島県柳津町柳津字門前町
24	国	重文(建造物)	法用寺本堂内厨子及び仏壇	1具	昭和35.6.9	福島県会津美里町雀林字三番山下
25	国	重文(建造物)	福生寺観音堂	1棟	昭和54.2.3	福島県会津美里町富川字富岡
26	国	重文(建造物)	弘安寺旧観音堂厨子	1基	昭和35.6.9	福島県会津美里町米田字宮ノ後
27	国	重文(建造物)	常福院薬師堂	1棟	明治37.2.18	福島県会津美里町新屋敷字山王塚
28	国	重文(建造物)	観音堂	1棟	昭和35.6.9	福島県下郷町中妻字観音前
29	国	重文(建造物)	成法寺観音堂	1棟	昭和38.7.1	福島県只見町家取字仏地
30	国	重文(建造物)	旧五十嵐家住宅	1棟	昭和47.5.15	福島県只見町叶津字居平
31	国	重文(建造物)	相馬中村神社本殿・幣殿・拜殿	1棟	昭和58.1.7	福島県相馬市中村字北町
32	国	重文(建造物)	八幡神社（本殿・幣殿・拜殿ほか）	4棟	平成24.7.9	福島県相馬市坪田字涼ヶ岡
33	国	重文(建造物)	旧武山家住宅	1棟	昭和46.3.11	福島県南相馬市原町区北原字大塚
34	国	重文(建造物)	飯野八幡宮（本殿、若宮八幡神社本殿ほか）	7棟	昭和58.1.7 平成14.12.26	福島県いわき市平字八幡小路
35	国	重文(建造物)	専称寺本堂、庫裏、総門	3棟	平成16.7.6	福島県いわき市平山崎字梅福山
36	県	重文(建造物)	旧安河院多宝塔	1棟	昭和57.3.30	福島県福島市山口字文知摺
37	県	重文(建造物)	旧奈良輪家住宅	1棟	昭和57.3.30	福島県福島市上名倉字大石前21-3
38	県	重文(建造物)	旧菅野家住宅	1棟	昭和60.3.29	福島県福島市上名倉字大石前21-3
39	県	重文(建造物)	旧阿部家住宅	1棟	昭和62.3.27	福島県福島市上名倉字大石前21-3
40	県	重文(建造物)	桑折寺山門	1棟	昭和54.3.23	福島県桑折町字新町
41	県	重文(建造物)	旧佐藤家住宅	1棟	昭和47.4.7	福島県国見町藤田字観月台
42	県	重文(建造物)	洗心亭	1棟	平成16.3.23	福島県二本松市郭内二本松城跡内
43	県	重文(建造物)	隠津島神社三重塔(木幡山三重塔)	1棟	昭和30.12.27	福島県二本松市木幡字治家
44	県	重文(建造物)	開成館	1棟	昭和35.3.29	福島県郡山市開成3丁目
45	県	重文(建造物)	田村神社厨子	1棟	昭和56.3.31	福島県郡山市田村町山字本郷
46	県	重文(建造物)	袴衝神社本殿	1棟	昭和51.5.4	福島県須賀川市袴衝字亀屋山
47	県	重文(建造物)	八幡神社本殿	1棟	昭和34.3.17	福島県玉川村川辺字宮の前
48	県	重文(建造物)	西光寺阿弥陀堂(田口阿弥陀堂)	1棟	昭和31.9.4	福島県古殿町田口字久保田
49	県	重文(建造物)	小峰寺厨子	1棟	昭和54.3.23	福島県白河市道場町
50	県	重文(建造物)	白河ハリストス正教会聖堂	1棟	平成5.3.23	福島県白河市愛宕町
51	県	重文(建造物)	松風亭羅月庵	1棟	平成6.3.31	福島県白河市菅生館
52	県	重文(建造物)	八槻家住宅旧主屋及び書院棟・表門・脇門	4棟	平成25.4.5	福島県棚倉町大字八槻字大宮
53	県	重文(建造物)	八槻郡々古別神社本殿、隨身門	2棟	令和元.10.15	福島県棚倉町大字八槻字大宮
54	県	重文(建造物)	築王寺薬師堂(米山薬師堂旧御飯屋)	1棟	平成14.3.29	福島県塙町大字田宿字大久保
55	県	重文(建造物)	旧中畑陣屋主屋	1棟	昭和51.5.4	福島県会津若松市東山町石山字院内
56	県	重文(建造物)	蓮生秀行廟	1棟	昭和61.3.31	福島県会津若松市館馬町
57	県	重文(建造物)	会津松平氏庭園石造三重塔	1基	平成7.3.31	福島県会津若松市花春町
58	県	重文(建造物)	茶室麒麟	1棟	平成11.3.30	福島県会津若松市追手町若松城本丸跡内
59	県	重文(建造物)	観音寺宝篋印塔	1基	昭和33.8.1	福島県猪苗代町川桁字村北
60	県	重文(建造物)	旧佐々木家住宅	1棟	昭和45.4.24	福島県猪苗代町三ツ和字前田
61	県	重文(建造物)	熊野神社本殿	3棟	昭和42.12.8	福島県喜多方市慶徳町新宮字熊野
62	県	重文(建造物)	旧手代木家住宅	1棟	昭和61.3.31	福島県喜多方市押切川向5364-1
63	県	重文(建造物)	旧外島家住宅	1棟	平成4.3.24	福島県喜多方市小荒井道下
64	県	重文(建造物)	願成寺本堂、旧阿弥陀堂、山門	3棟	平成22.5.21	福島県喜多方市上三宮町上三宮字龍山
65	県	重文(建造物)	如法寺観音堂	1棟	昭和59.3.23	福島県西会津町野沢字如法寺
66	県	重文(建造物)	法用寺三重塔	1棟	昭和55.3.28	福島県会津美里町雀林字三番山下
67	県	重文(建造物)	法用寺観音堂	1棟	平成20.4.4	福島県会津美里町雀林字三番山下
68	県	重文(建造物)	左下り観音堂	1棟	平成26.9.30	福島県会津美里町大石字東左下り
69	県	重文(建造物)	旧五十嵐家住宅	1棟	昭和53.4.7	福島県金山町中川字上居平
70	県	重文(建造物)	旧南会津郡役所	1棟	昭和46.4.13	福島県南会津町田島字丸山
71	県	重文(建造物)	旧猪股家住宅	1棟	平成13.3.30	福島県南会津町大字糸沢字西沢山3692-20
72	県	重文(建造物)	南泉寺鐘樓門	1棟	平成15.3.25	福島県南会津町静川字西の沢口
73	県	重文(建造物)	旧山内家住宅	1棟	昭和54.3.23	福島県南会津町界字川久保552
74	県	重文(建造物)	旧長谷部家住宅	1棟	昭和48.3.23	福島県只見町叶津
75	県	重文(建造物)	旧渡部家住宅	1棟	昭和49.5.7	福島県浪江町北幾世橋字北原
76	県	重文(建造物)	初発神社本殿	1棟	平成18.4.7	福島県浪江町北幾世橋字町後
77	県	重文(建造物)	満照寺不動堂（黒田不動堂）	1棟	昭和30.12.27	福島県いわき市田人町黒田字別当
78	県	重文(建造物)	住吉神社本殿	1棟	昭和33.8.1	福島県いわき市小名浜住吉字住吉
79	県	重文(建造物)	高蔵寺三重塔	1棟	昭和56.3.31	福島県いわき市高倉町鶴巻
80	県	重文(建造物)	旧樋口家住宅	1棟	平成19.4.6	福島県いわき市鹿島町矢田字散野14番地の16
81	県	重文(建造物)	金光寺木造宝篋印塔	2基	令和3.4.27	福島県いわき市鹿島町久保

福島県教育委員会：国・県指定等文化財一覧、令和3年6月1日現在より作成

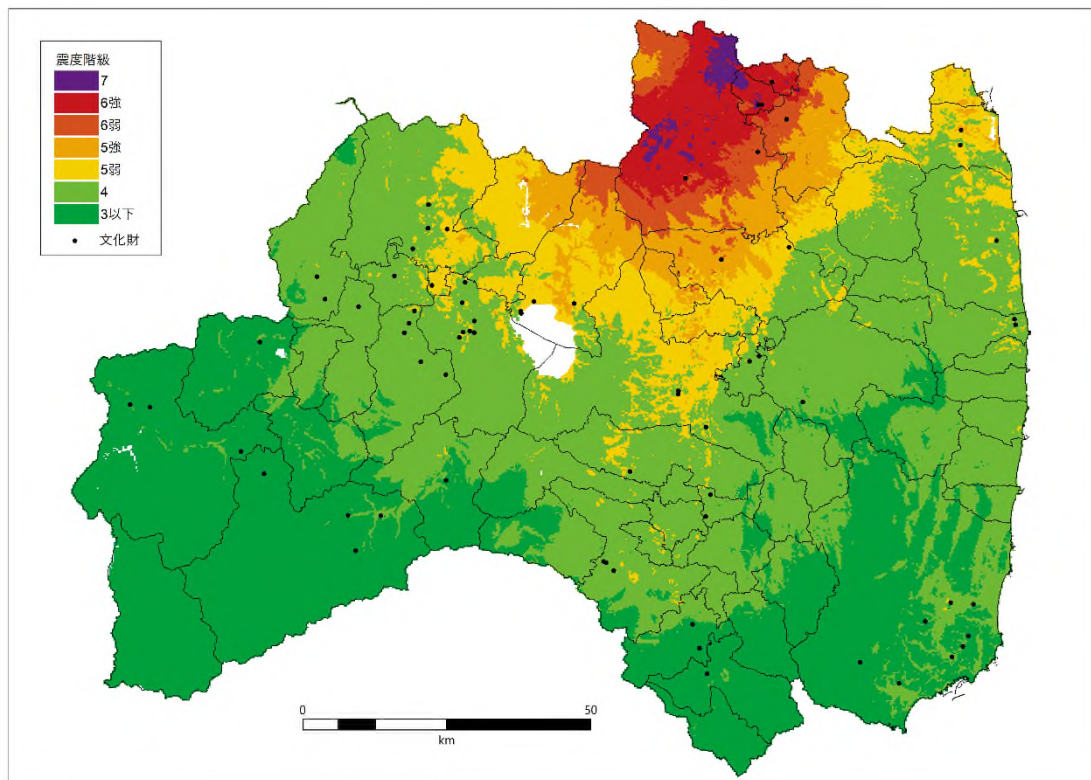
## 8.2 文化財施設の被害の様相について

重要文化財及び県指定文化財（有形文化財（建造物））について、震度 6 強以上の揺れに見舞われるもの、焼失可能性の高いメッシュに所在するもの、津波の浸水を受けるものを抽出した。図Ⅲ-8.2-1～図Ⅲ-8.2-3 に、文化財の分布と震度分布を重ねた図を示す。

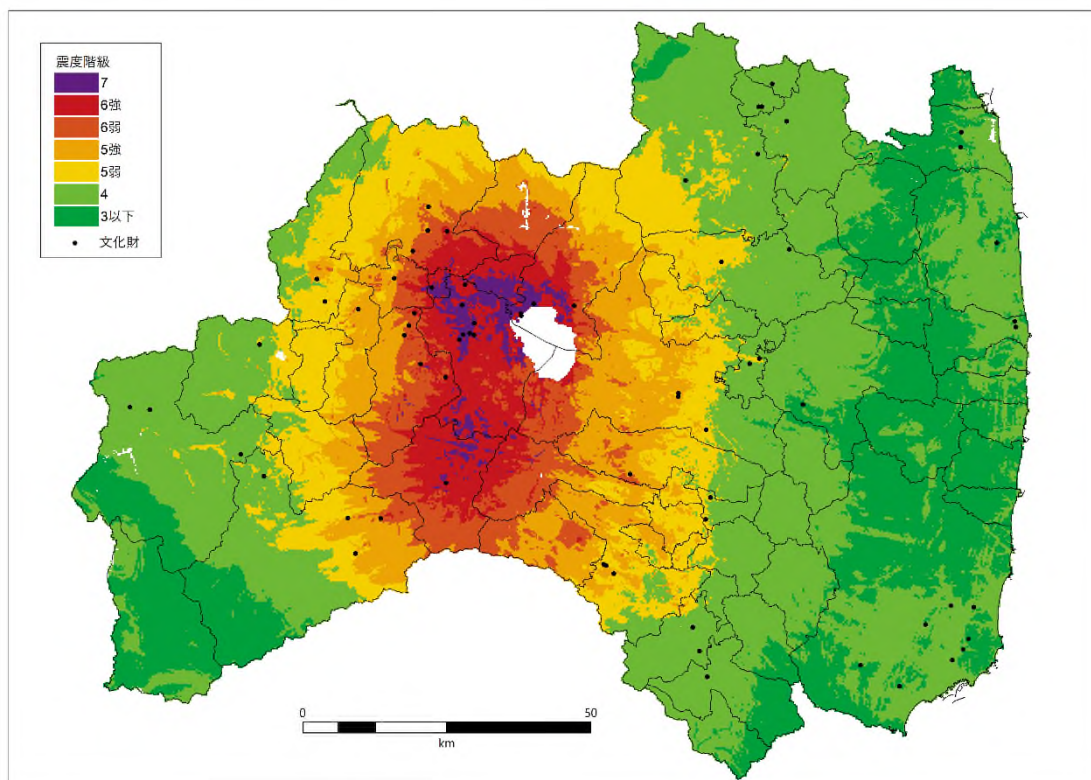
震度が 6 強以上となる文化財は、福島盆地西縁断層帯の地震で 7 棟、会津盆地東縁断層帯の地震で 17 棟、想定東北地方太平洋沖地震では 3 棟となった。火災の影響は、福島盆地西縁断層帯の地震および会津盆地東縁断層帯の地震で 1 棟から 2 棟、想定東北地方太平洋沖地震では影響がなかった。また、津波の浸水の影響は想定東北地方太平洋沖地震で 1 棟あった。

文化財は地震時に、建造物の倒壊や構造物の壁面へのクラックの発生、石灯籠などの工作物の転倒や、石垣、土塀、瓦屋根等の崩落が発生するおそれがある。さらに、建造物以外についても絵画・彫刻等の文化財の滅失・毀損、庭園等での液状化被害や地盤沈下、景観地や集落、町並み等の急傾斜地崩壊や土石流による被災なども起こりうる。火災の発生によって、絵画・彫刻等の焼失や寺院や庭園の樹木、草木、天然記念物の動植物等の焼失の恐れもある。このように、様々な被害を被る恐れがあることから、特に危険性が高いところについては事前に対策を検討しておく必要がある。

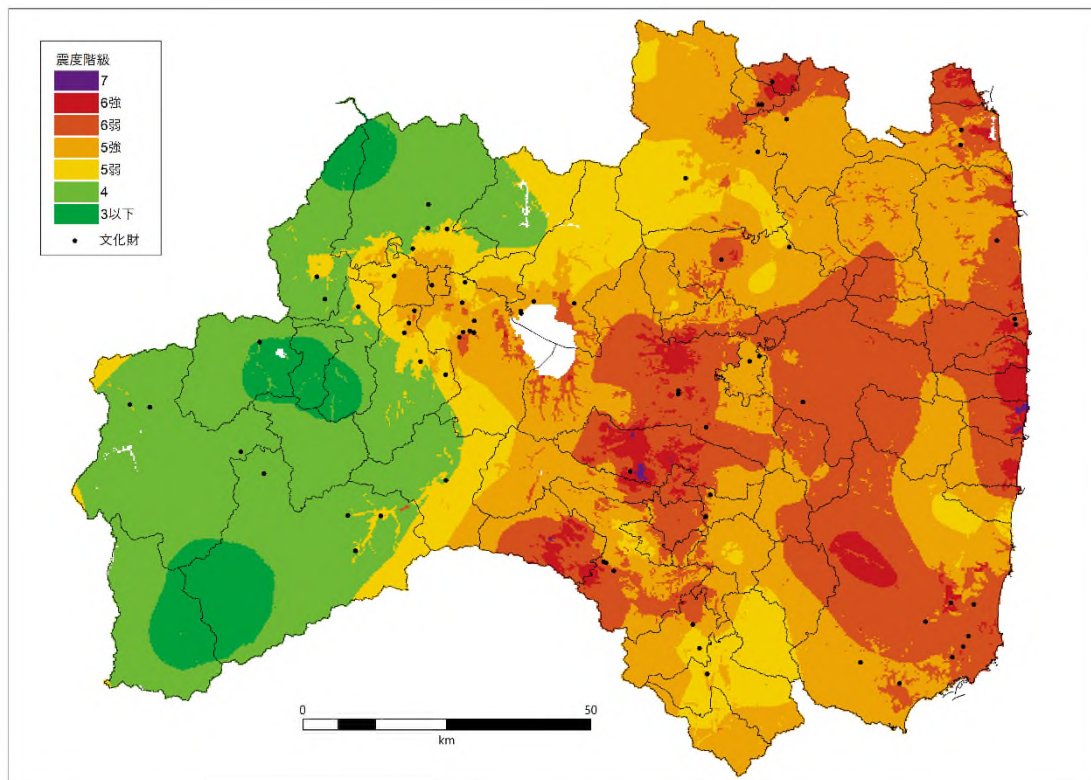




図Ⅲ-8.2-1 文化財の分布と震度分布（福島盆地西縁断層帯の地震）



図Ⅲ-8.2-2 文化財の分布と震度分布（会津盆地東縁断層帯の地震）



図Ⅲ-8.2-3 文化財の分布と震度分布（想定東北地方太平洋沖地震）



Ⅲ 被害想定について  
8. 文化財被害について

表Ⅲ-8.2-1 被害を被る可能性のある文化財数（福島盆地西縁断層帯の地震）

福島盆地西縁断層帯の地震						
市町村名	施設数	揺れ		延焼		
		震度6強	震度7	冬5時	夏12時	冬18時
福島市	5	4	0	0	0	0
会津若松市	8	0	0	0	0	0
郡山市	3	0	0	0	0	0
いわき市	8	0	0	0	0	0
白河市	3	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0	0	0
喜多方市	6	0	0	0	0	0
相馬市	2	0	0	0	0	0
二本松市	2	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0
南相馬市	1	0	0	0	0	0
伊達市	1	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	0	0
桑折町	2	1	1	1	1	1
国見町	1	1	0	1	0	1
川俣町	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0
下郷町	1	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0
只見町	3	0	0	0	0	0
南会津町	4	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0
西会津町	2	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	5	0	0	0	0	0
会津坂下町	2	0	0	0	0	0
湯川村	1	0	0	0	0	0
柳津町	1	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0
会津美里町	7	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0
棚倉町	3	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0
塙町	1	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0
玉川村	2	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0
三春町	2	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0
浪江町	2	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0
飯舘村	0	0	0	0	0	0
合計	81	6	1	2	1	2

Ⅲ 被害想定について  
8. 文化財被害について

表Ⅲ-8.2-2 被害を被る可能性のある文化財数（会津盆地東縁断層帯の地震）

会津盆地東縁断層帯の地震						
市町村名	施設数	揺れ		延焼		
		震度6強	震度7	冬5時	夏12時	冬18時
福島市	5	0	0	0	0	0
会津若松市	8	2	6	1	1	1
郡山市	3	0	0	0	0	0
いわき市	8	0	0	0	0	0
白河市	3	0	0	0	0	0
須賀川市	1	0	0	0	0	0
喜多方市	6	1	0	0	0	0
相馬市	2	0	0	0	0	0
二本松市	2	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0
南相馬市	1	0	0	0	0	0
伊達市	1	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	0	0
桑折町	2	0	0	0	0	0
国見町	1	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0
下郷町	1	1	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0
只見町	3	0	0	0	0	0
南会津町	4	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0
西会津町	2	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	5	2	2	0	0	0
会津坂下町	2	0	0	0	0	0
湯川村	1	0	1	0	1	1
柳津町	1	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0
会津美里町	7	2	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0
棚倉町	3	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0
塙町	1	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0
玉川村	2	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0
三春町	2	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0
楢葉町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0
浪江町	2	0	0	0	0	0
葛尾村	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0
合計	81	8	9	1	2	2

Ⅲ 被害想定について  
8. 文化財被害について

表Ⅲ-8.2-3 被害を被る可能性のある文化財数（想定東北地方太平洋沖地震）

想定東北地方太平洋沖地震								
市町村名	施設数	揺れ		延焼			津波浸水深	
		震度6強	震度7	冬5時	夏12時	冬18時	≥1cm	≥50cm
福島市	5	0	0	0	0	0	0	0
会津若松市	8	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	3	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	8	0	0	0	0	0	0	0
白河市	3	0	0	0	0	0	0	0
須賀川市	1	1	0	0	0	0	0	0
喜多方市	6	0	0	0	0	0	0	0
相馬市	2	0	0	0	0	0	0	0
二本松市	2	0	0	0	0	0	0	0
田村市	1	0	0	0	0	0	0	0
南相馬市	1	0	0	0	0	0	0	0
伊達市	1	0	0	0	0	0	0	0
本宮市	0	0	0	0	0	0	0	0
桑折町	2	0	0	0	0	0	0	0
国見町	1	1	0	0	0	0	0	0
川俣町	0	0	0	0	0	0	0	0
大玉村	0	0	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0
下郷町	1	0	0	0	0	0	0	0
檜枝岐村	0	0	0	0	0	0	0	0
只見町	3	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	4	0	0	0	0	0	0	0
北塩原村	0	0	0	0	0	0	0	0
西会津町	2	0	0	0	0	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	5	0	0	0	0	0	0	0
会津坂下町	2	0	0	0	0	0	0	0
湯川村	1	0	0	0	0	0	0	0
柳津町	1	0	0	0	0	0	0	0
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	1	0	0	0	0	0	0	0
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0
会津美里町	7	0	0	0	0	0	0	0
西郷村	0	0	0	0	0	0	0	0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0
棚倉町	3	0	0	0	0	0	0	0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0
塙町	1	0	0	0	0	0	0	0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	2	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	2	0	0	0	0	0	0	0
小野町	0	0	0	0	0	0	0	0
広野町	0	0	0	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	2	1	0	0	0	0	1	1
葛尾村	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	0	0	0	0	0
飯館村	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	81	3	0	0	0	0	1	1

Ⅲ 被害想定について  
9. 経済被害について

9. 経済被害について

9.1 直接経済被害

9.1.1 直接経済被害額の算出手法

(1) 資産等の被害（建物被害による直接経済被害額）

中央防災会議(2013、南海トラフ)の手法を参考に、前述のとおり算出した建物被害数量に、被害の復旧に必要な費用（原単位：表Ⅲ-9.1-1）を乗じて、直接経済被害額を算出した。

表Ⅲ-9.1-1 建物被害による直接経済被害額の評価項目

定量評価 対象項目	①被害量	②原単位	原単位の値
木造住宅	被害のあった住宅数 (全壊棟数＋ 半壊棟数×0.5)	新規1棟あたり 工事必要単価 (木造住宅の工事費予定額の合計 ／木造住宅の数の合計)	福島県で約2,140万円/棟 (R3年建築着工統計) Ⅲ-61)
木造非住宅 (事務所、 工場建屋)	被害のあった建物数 (全壊棟数＋ 半壊棟数×0.5)	新規1棟あたり 工事必要単価 (木造非住宅の工事費予定額の合計 ／木造非住宅の数の合計)	福島県で約3,038万円/棟 (R3年建築着工統計)
非木造住宅	被害のあった住宅数 (全壊棟数＋ 半壊棟数×0.5)	新規1棟あたり 工事必要単価 (非木造住宅の床面積あたり工事費予定額 ×1棟あたり床面積)	福島県で約2,277万円/棟 (R3年建築着工統計)
非木造非住宅 (事務所、 工場建屋)	被害のあった建物数 (全壊棟数＋ 半壊棟数×0.5)	新規1棟あたり 工事必要単価 (非木造非住宅の床面積あたり工事費予定額 ×1棟あたり床面積)	福島県で約7,189円/棟 (R3年建築着工統計)
家庭用品	甚大な被害のあった 住宅数 倒壊棟数＋(全壊棟 数－倒壊棟数)×0.5	1世帯あたり評価単価 【全国・世帯主年齢別】	単身世帯300万円/世帯 家族世帯の世帯主年齢 29歳以下500万円/世帯 30代800万円/世帯 40代1,100万円/世帯 50歳以上1,150万円/世帯
事業所 償却資産	被害のあった建物数 (非住家の全壊棟数 ＋半壊棟数)	償却資産評価額 (産業分類別従業者1人あたり評価額【全 国】 ×産業分類別従業者数【市町村別】 ／全体の建物数)	「治水経済マニュアル：各種資 産評価単価及びデフレーター」 (国土交通省) H28評価値※
事業所 在庫資産 (棚卸資産)	被害のあった建物数 (非住家の全壊棟数 ＋半壊棟数)	在庫資産評価額 (産業分類別従業者1人あたり評価額【全 国】 ×産業分類別従業者数【市町村別】 ／全体の建物数)	「治水経済マニュアル：各種資 産評価単価及びデフレーター」 (国土交通省) H28評価値※

※「治水経済マニュアル：各種資産評価単価及びデフレーター」（国土交通省）Ⅲ-60)

事業所従業員1人あたり資産評価額（H28評価値、単位：千円／人）

	償却資産	在庫資産		償却資産	在庫資産
C 鉱業、採石業、砂利採取業	14,772	2,893	L 学術研究、専門・技術サービス業	1,493	405
D 建設業	1,540	2,634	M 宿泊業、飲食サービス業	1,669	124
E 製造業	4,593	4,465	N 生活関連サービス業、娯楽業	3,989	276
F 電気・ガス・熱供給・水道業	114,478	3,903	O 教育、学習支援業	1,479	222
G 情報通信業	5,301	1,043	P 医療、福祉	1,263	95
H 運輸業、郵便業	5,730	968	Q 複合サービス業	1,005	243
I 卸売業、小売業	2,264	1,772	R サービス業	1,005	243
J 金融業、保険業	1,005	243	S 公務	1,005	243
K 不動産業、物品賃貸業	21,133	7,398			

注）農林業、漁業は、「法人企業統計年報特集（平成27年度）」Ⅲ-62)より別途算出

Ⅲ 被害想定について  
9. 経済被害について

(2) 資産等の被害（ライフライン被害による直接経済被害額）

(1) と同じくライフライン被害数量に、被害の復旧に必要な費用（原単位：表Ⅲ-9.1-2）を乗じて、直接経済被害額を算出する。

表Ⅲ-9.1-2 ライフライン被害による直接経済被害額の評価項目 高知県(2013) Ⅲ-63)

定量評価対象項目		①被害量	②原単位	原単位の値
ライフライン	上水道	断水人口	人口あたり復旧額	約 1.59 万円/人 (阪神淡路大震災時)
	都市ガス	供給停止戸数	戸数あたり復旧額	約 22 万円/戸 (阪神淡路大震災時)
	通信	不通回線数	回線あたり復旧額	約 41.4 万円/回線 (阪神淡路大震災時)

(3) 資産等の被害（交通施設等の被害による直接経済被害額）

(1) と同じく交通施設等の被害数量に、被害の復旧に必要な費用（原単位：表Ⅲ-9.1-3）を乗じて、直接経済被害額を算出する。

表Ⅲ-9.1-3 交通施設等の被害による直接経済被害額の評価項目 高知県(2013) Ⅲ-63)

定量評価対象項目		①被害量	②原単位	原単位の値
交通施設	道路	被害箇所数	箇所あたり復旧額 (道路種別)	約 9,857 万円/箇所 (東日本大震災時の直轄国道、高速道路にも適用) 約 2,153 万円/箇所 (東日本大震災時の地方自治体管理道路)
	鉄道	被害箇所数	箇所あたり復旧額 (在来線)	約 2,300 万円/箇所 (東日本大震災時三陸鉄道等)
	港湾・漁港	被害岸壁数	岸壁あたりの復旧額	約 13 億円/岸壁 (東日本大震災での実態データより)
	漁港	被害漁港数	漁港あたり復旧額	(1種) 約 12 億円 (2種) 約 48 億円 (3種) 約 100 億円 (4種) 約 36 億円 (東日本大震災時)
その他	災害廃棄物	災害廃棄物発生量	トンあたり処理費用	約 2.2 万円/トン※ (阪神淡路大震災時)

※ 東日本大震災の原単位（約 3.7 万円／トン）は、津波堆積土砂を含んだ混合廃棄物の処理のため、阪神淡路大震災時の原単位を用いた。

Ⅲ 被害想定について  
9. 経済被害について

9.1.2 直接経済被害の想定結果

直接経済被害の想定結果を示す。

表Ⅲ-9.1-4 直接経済被害の想定結果（単位：億円）

区分	項目	福島盆地西縁断層帯の地震 (億円)			会津盆地東縁断層帯の地震 (億円)			想定東北地方太平洋沖の地震 (億円)		
		冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
建物	木造住家	5,282	5,398	6,284	4,585	2,930	5,709	8,610	8,898	9,441
	木造非住家	3,565	3,672	4,245	3,609	2,175	4,396	6,025	6,202	6,569
	非木造住宅	850	861	1,012	281	193	354	1,216	1,287	1,358
	非木造非住宅	3,232	3,305	3,827	3,286	2,065	4,016	6,576	6,823	7,229
	家庭用品	465	560	725	2	325	704	9	501	584
	償却資産	17,944	18,057	20,217	13,253	9,141	15,960	32,019	32,668	33,881
ライフライン	在庫資産	8,713	8,744	9,766	6,742	4,600	8,042	16,577	16,911	17,533
	上水道	41	41	41	49	49	37	107	107	107
	都市ガス	94	94	94	42	42	42	333	333	333
	通信	294	296	295	280	277	275	914	936	936
交通施設	道路	40	40	40	81	81	81	174	174	174
	鉄道	76	76	76	106	106	106	232	232	232
	港湾・漁港	0	0	0	0	0	0	689	689	689
	漁港	0	0	0	0	0	0	504	504	504
その他	災害廃棄物	798	816	942	790	828	946	1,363	1,953	2,422
合計		41,394	41,959	47,564	33,106	22,810	40,669	75,348	78,218	81,992

※ 表中の数字は小数第1位を四捨五入している。合計が合わないことがある。

## 9.2 間接経済被害

東日本大震災では、主に製造業におけるサプライチェーンの崩壊により間接経済被害が拡大し、国内外の経済に深刻なダメージを与えた。津波による沿岸の製造業の生産停止被害や原子力災害が原因で、生産停止日数が長期化した事業所が多数発生した。津波の被害地域では、復興の整備計画や土地利用計画の遅れ、建築規制の要因などにより、また原子力災害では警戒区域や避難指示区域の指定により、移転を余儀なくされた事業所や、中には他の地域の事業所への代替生産や再建困難などから事業所の閉鎖や再建資金不足による廃業に追い込まれた事業所も存在した。

一方、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトである福島イノベーション・コースト構想<sup>Ⅲ-64)</sup>が進められている。

以上のように、福島県では、東日本大震災以降の復興によって、産業構造が大きく変化してきており、間接経済被害の定量化が難しいところがある。ここでは、東日本大震災時の製造業の停止状況を整理するとともに、東日本大震災以降の福島県の産業構造を整理する。そして、福島盆地西縁断層帯の地震、会津盆地東縁断層帯の地震、想定東北地方太平洋沖地震について被害の様相をまとめることとする。

### (1) 東日本大震災時の製造業の生産停止被害について

経済産業省の「東日本大震災の産業緊急実態調査」(平成 23 年 4 月、平成 23 年 8 月)<sup>Ⅲ-65)、Ⅲ-66)</sup>があるが、全国 80 社と 123 社へのアンケート調査と限定的であった。また、同省の「ものづくり白書 2011 年版」(平成 23 年 10 月)<sup>Ⅲ-67)</sup>では、サプライチェーン被害について、企業の事例を数件紹介するにとどまっている。

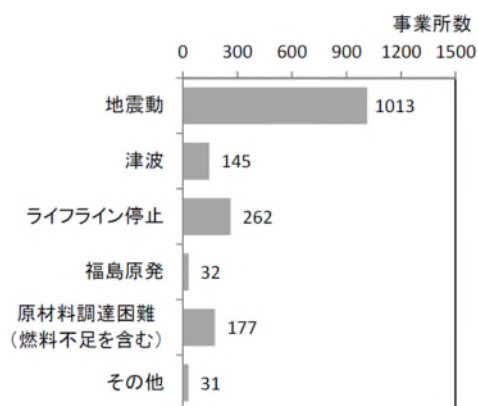
仲条他(2013)<sup>Ⅲ-68)</sup>は、製造業の各企業における生産被害に着目し、被災内容や生産停止の実態について、インターネットや新聞情報等から調査し、国内約 1,300 事業所の被災情報を収集、整理した。表Ⅲ-9.2-1 に、仲条他(2013)が把握した被災企業の業種別・地域別集計表を示し、図Ⅲ-9.2-1 に産業別の被災事業所位置図を示す。全国では、飲食料品、化学製品、輸送機械、電子部品で 52%を占めている。福島県では、化学製品、輸送機械、電子部品、金属製品で 51%を占めている。図Ⅲ-9.2-2 に製造停止または減産等があった事業所の主たる被災要因を示し、図Ⅲ-9.2-3 に要因別の被災事業所位置図を示す。製造停止または減産等があった事業所の 6 割が地震動による要因となっており、次いでライフライン停止や原材料調達困難となっている。福島県内の要因は、浜通りの沿岸は津波と原子力災害、原材料の調達困難が要因となっており、中通りでは地震動、ライフライン停止、原材料調達困難、会津では地震動、原材料調達困難となっている。図Ⅲ-9.2-4 に、生産停止日数別被災事業所の分布を示す。原子力災害に近い事業所は 30 日～90 日の生産停止、離れた北部や南部で 1 ヶ月程度の停止となっている。中通りと会津の事業所では早ければ 2 週間程度の停止、2 週間～3 か月の停止、数か所で 3 ヶ月以上の停止となっている。サプライチェーンの被災による影響は大きくなることが伺える。



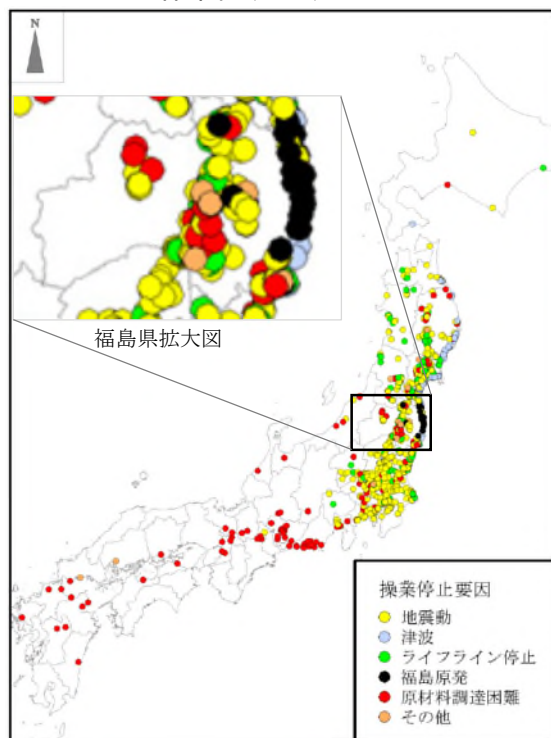
Ⅲ 被害想定について  
9. 経済被害について

表Ⅲ-9.2-1 把握した被災企業の業種別・地域別集計表 仲条他(2013)Ⅲ-68)

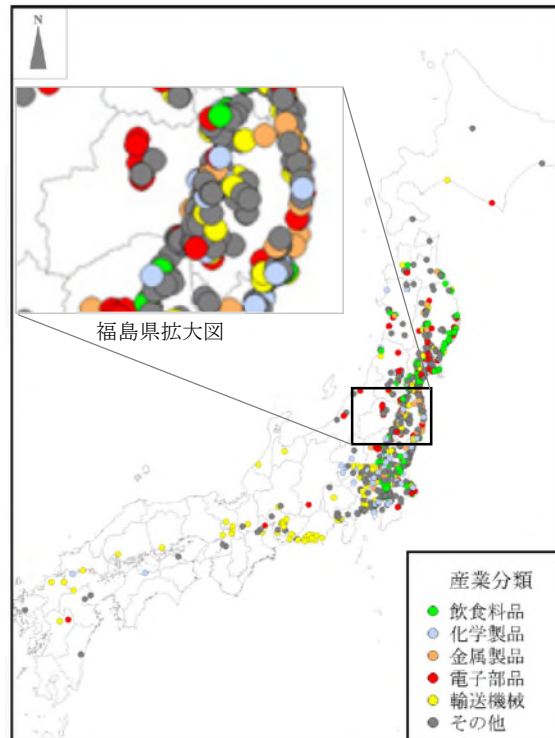
産業分類	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	その他 北海道 東北	その他 関東	その他 全国	計
飲食料品	31	90	11	34	15	41	0	222
化学製品	7	16	38	49	7	62	3	182
輸送機械	13	18	26	14	8	48	51	178
電子部品	21	22	37	11	20	12	5	128
金属製品	8	20	30	22	3	9	1	93
パルプ・紙・木製品	8	23	13	12	5	7	8	76
一般機械	10	8	22	11	4	15	3	73
その他の製造工業製品	4	13	15	17	0	17	0	66
情報・通信機器	2	9	18	12	4	11	8	64
精密機械	5	14	6	5	4	9	5	48
その他	20	42	39	37	27	60	2	227
合計	129	275	255	224	97	291	86	1357



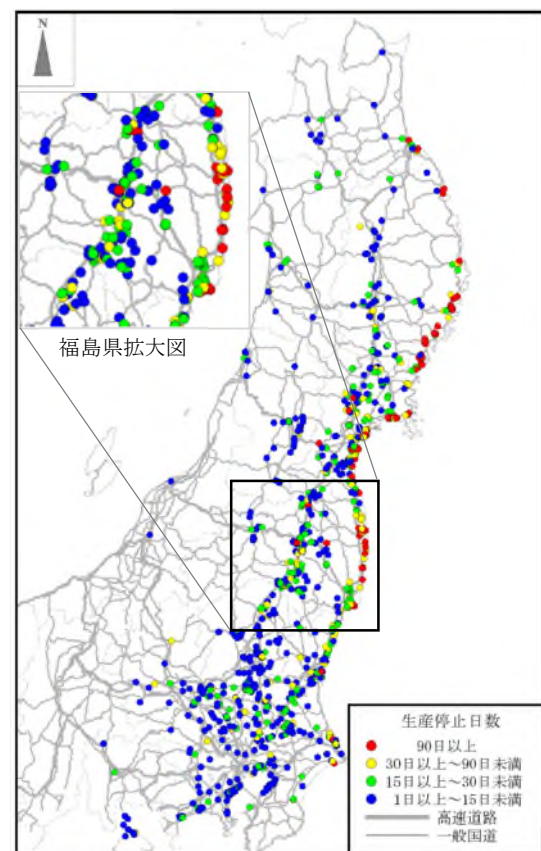
図Ⅲ-9.2-2 要因別の被災事業所数 仲条他(2013)Ⅲ-68)



図Ⅲ-9.2-3 要因別の被災事業所位置図 仲条他(2013)Ⅲ-68)に追記



図Ⅲ-9.2-1 産業別の被災事業所位置図 仲条他(2013)Ⅲ-68)に追記



図Ⅲ-9.2-4 生産停止日数別被災事業所の分布 仲条他(2013)Ⅲ-68)に追記

Ⅲ 被害想定について  
9. 経済被害について

表Ⅲ-9.2-2 に被災により移転または閉鎖した事業所数を示し、表Ⅲ-9.2-3 に被災事業所の移転先割合を示す。特に、浜通りにおける原子力災害の事業所は 15 ケ所が移転となり、7 ケ所が県内の別の場所へ移転、5 ケ所が東北外への移転となった。

表Ⅲ-9.2-2 被災により移転または閉鎖した事業所数 仲条他(2013) Ⅲ-68)

産業分類	福島原発30km圏内の事業所		その他		合計	
	移転	閉鎖	移転	閉鎖	移転	閉鎖
飲食料品	0	0	26	6	26	6
化学製品	4	0	0	2	4	2
金属製品	2	0	2	2	4	2
パルプ・紙・木製品	1	0	3	2	4	2
電子部品	1	0	2	1	3	1
その他	7	1	3	4	10	5
合計	15	1	36	17	51	18

表Ⅲ-9.2-3 被災事業所の移転先割合 仲条他(2013) Ⅲ-68)

移転先	福島原発30km圏内の事業所	その他	合計	
			件数	割合
同一市町村 周辺沿岸市町村	1	18	19	37.3%
同一県内	7	6	13	25.5%
東北内	0	6	6	11.8%
東北外	5	5	10	19.6%
未定	2	1	3	5.9%
合計	15	36	51	100.0%

(2) 令和4年3月16日の福島県沖の地震等による製造業の生産停止被害について

令和4年3月16日の福島県沖の地震では福島県及び宮城県で最大震度6強を観測した。東北地方には自動車や半導体など、幅広い生産拠点があるが、3月16日の福島県沖の地震の発生により、これらの工場の稼働を止める工場が相次いだ。特に、自動車メーカーでは、自動車部品や電子製品の供給が滞り、全国の工場の生産が少なくとも2日から3日程度停止となった。他には、工場のラインの一部に被害が発生したり、倉庫の一部の商品が散乱し、保管場所が確保できなくなり止まった工場もあった。また、停電の影響で稼働が停止した工場も発生した。

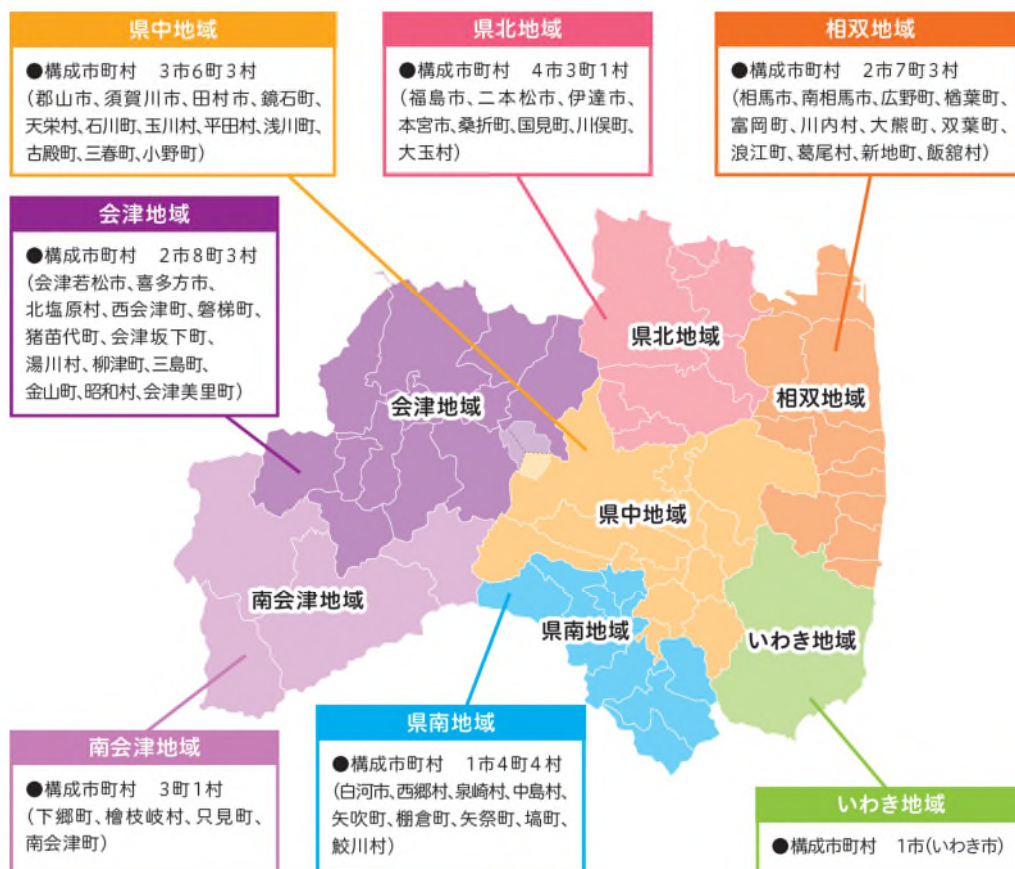
令和4年3月16日の福島県沖の地震の1年前の令和3年2月13日にも福島県沖の地震が発生し、福島県及び宮城県で震度6強を観測した。一部の工場で設備に被害が出て復旧作業を行う工場もあったが、多くは被害なし又は軽微で数日の点検で済んでいる。地震発生が土曜日だったことで休業が少なかったことが要因である。

以上のように、県内に震度6強以上となる地震が発生すると、少なくとも数日の設備点検による休業となり、被害が発生すると数週間から数か月の休業停止となる工場が出てくる可能性がある。特に、自動車や半導体などの生産拠点の被害が発生すると、サプライチェーンが切れて全国的な工場の停止となることが考えられる。

(3) 福島県の産業について

福島県<sup>Ⅲ-69)</sup>では、各地方振興局を中心に県北、県中、県南、会津、南会津、相双、いわきの7つの地域(図Ⅲ-9.2-5)に大別して地域づくりを進めている。表Ⅲ-9.2-4に、7つの地域別の概要と産業の特徴を示す。県北、県南、いわきには輸送機械や半導体の企業が多く、県南と会津には医療関連産業が多い。また、会津には電子部品関連産業、いわきには化学工業関連の産業が多い。県中では産官学連携による産業が集積しており、相双では東日本大震災及び原子力災害によって失われた産業を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトが進められている。会津、南会津、いわきでは観光産業が多くなっている。

相双の国家プロジェクトは、「福島イノベーション・コースト」と浜通り地域等において、重点分野に位置付けられる廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙の各分野の具体化を進めるとともに、その実現に向けた産業集積や人材育成、交流人口の拡大、情報発信、生活環境の整備など多岐にわたる基盤整備が進められている。



図Ⅲ-9.2-5 福島県の5つの地域区分 福島県(2021)<sup>Ⅲ-69)</sup>



Ⅲ 被害想定について  
9. 経済被害について

表Ⅲ-9.2-4 福島県の地域別の概要と産業の特徴

地域	人口 (人)	就業人口 (人)	地域内 総生産 (億円)	産業構造の内訳(上位) (百万円)			産業の特徴	農林水産業の特徴
県北	462,134	239,518	18,854	製造業 470,899 (25.0%)	不動産 177,359 (9.4%)	保健衛生・社会事業 164,230 (8.7%)	情報通信、輸送用機械産業などの製造業が集積。	野菜や果樹を中心とする北部地域、稲作が主体の南部地域、畜産等が盛んな中山間地域に分けられる。
県中	515,897	259,662	26,000	製造業 443,187 (22.2%)	卸売・小売業 224,990 (11.2%)	不動産 224,106 (11.2%)	試験研究・調査・人材育成機関の下、広域的な産学官連携により、産業等が集積。	米、園芸作物、畜産、椎茸の生産が盛んで、木材関連工場も多数立地。
県南	137,515	72,665	7,113	製造業 338,676 (47.6%)	不動産 61,037 (8.6%)	保健衛生・社会事業 38,850 (5.5%)	輸送用機械や半導体、医療関連産業など、製造業を中心としたものづくり産業が集積。	野菜、鉢花などの生産が盛んであるとともに、スギを中心とした林業が盛んな地域。
会津	229,158	119,865	8,612	製造業 164,942 (19.2%)	保健衛生・社会事業 92,706 (10.8%)	不動産 92,392 (10.7%)	電子部品・デバイス、電子回路関連・医療用機械関連産業を中心に産業が集積。 県観光の中心	稲作中心で、清酒、味噌、漆器、陶磁器、木工品といった伝統な地場産業が盛ん。
南会津	23,669	13,969	989	建設業 13,613 (13.8%)	公務 13,418 (13.6%)	製造業 10,038 (10.1%)	伝統文化、歴史的景観、スキー場などの観光。	夏期の冷涼な気候をいかして栽培されるトマトなどが盛ん。
相双	117,059	56,303	10,166	建設業 291,564 (28.7%)	製造業 202,066 (19.9%)	電気・ガス・水道・廃棄物処理業 187,642 (18.5%)	機械電子工学産業を始めとした産業が集積、国家プロジェクトによる新産業創出を推進。	水稻、園芸作物、畜産、林業が中心で、沿岸漁業も盛ん。
いわき	330,105	160,151	13,314	製造業 307,211 (23.1%)	不動産 148,827 (11.2%)	卸売・小売業 135,915 (10.2%)	輸送用機械関連企業や化学工業関連企業が多数立地。新エネルギー関連産業の集積が進展。 観光施設や観光資源がある。	米のほか大規模な施設による園芸作物の生産が盛ん。 本県唯一の沖合・遠洋漁業の拠点。

福島県：福島県総合計画(2022-2030)、平成21年10月<sup>Ⅲ-69)</sup>をもとに作成

図Ⅲ-9.2-6に、福島イノベーション・コーストのプロジェクトの主な施設のマップを示す。沿岸部には様々な施設が新しく配置されている。また、沿岸地域と阿武隈高地には先端技術の導入による新しい農林水産業を推進する地域があり、今後新たな農林水産業の形が出てくることが考えられる。

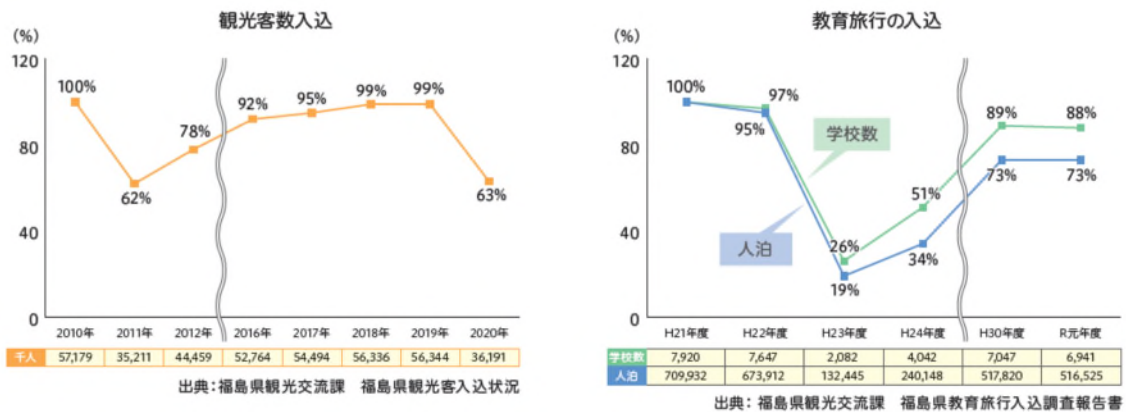
図Ⅲ-9.2-7に、観光客の入込数の推移を示す。震災前を100%としている。2011年の東日本大震災で6割程度に落ち込んだのが2018年に震災前のレベルに戻ってきたところで、2020年の新型コロナウイルス感染症の影響で2011年の震災時のレベルに戻った。



図Ⅲ-9.2-6 福島イノベーション・コーストのプロジェクトの主な施設のマップ 福島県(2021)<sup>Ⅲ-69)</sup>

### III 被害想定について

#### 9. 経済被害について



図Ⅲ-9.2-7 福島県の実環境客の推移 福島県(2021) Ⅲ-69

#### (4) 3つの想定地震による被害の様相

福島盆地西縁断層帯の地震、会津盆地東縁断層帯の地震、想定東北地方太平洋沖地震について、震度分布や津波浸水などを踏まえ、間接被害の様相をまとめる。

##### 1) 福島盆地西縁断層帯の地震

県北の福島市、伊達市、桑折町、国見町などで、震度6弱以上となり、これらの地域で事業所の被害が発生するが、限定的である。県北の製造業では、情報通信機器製造、金属製品、食料品、電気機械、電子部品等が多く、これらの工場被害が発生すると、サプライチェーンへの影響は大きい。県庁所在地の福島市の市街地のほぼ全域で震度6強以上となり、県の重要な機関の施設にも被害が発生することが考えられることから、発災直後は様々な行政サービスを受けられない可能性があり、問題となる。

##### 2) 会津盆地東縁断層帯の地震

会津若松市、喜多方市、会津坂下町、湯川村、会津美里町、下郷町、磐梯町、猪苗代町、北塩原村などで震度6弱以上となる。特に、会津若松市及びその周辺の自治体では震度6強、場所によっては震度7が分布している。このように、会津地方で大きな震度となることから、会津地方の事業所の被害に限定される。会津若松市の市街地では多点で火災が発生し、延焼火災が広範囲に及んだ。これらの地域の事業所に被害が発生する。会津の製造業は、電子情報機器産業を支える半導体メーカーや医療機器メーカー、光学機器メーカー、そして非鉄金属、鉄鋼金属加工などの製造拠点が会津若松市及びその周辺に位置しており、揺れや火災によって、製造業は大きな被害を受ける。また、斜面崩壊等が山間部で多く発生し、道路の通行ができなくなる路線が出てくる。これにより、事業所の修理を行うための資材や重機、人的資源など輸送に障害が発生し、復旧にかなりの時間を要する事業所も出てくる。また、事業所が軽微又

は無被害で稼働できるとしても、資材に搬入や成果品の搬出などが滞る場合が出てくる。このような状況から、サプライチェーンの影響は大変大きい。

観光資源にも被害が生じ、また道路や鉄道の被害も発生することから、発災直後しばらくは観光客が減るものと考えられる。

### 3) 想定東北地方太平洋沖地震

2011年東北地方太平洋沖地震では、福島県だけでなく東北から関東にかけても地震の揺れや津波の浸水によって広範囲に被害が発生した。また、広範囲の停電の影響が事業停止または復旧の遅れとなった。さらに、道路被害や燃料不足による輸送ができなくなったことで原材料を入手できなくなったり、また設備等の修繕に必要な材料の調達ができなくなるなど、物流の影響も復旧遅れの原因となった。仲条他(2013)の調査では、復旧した事業所は、20日以内が約4割、2ヶ月後が約7割、3ヶ月後は約8割となっており、6ヶ月以上を要した事業所も約1割あったとされた。このように、製造業を中心としたサプライチェーンの崩壊により間接被害が深刻となった。

本想定においては、県中、県南、県北、相双、いわき市の広い範囲で震度6弱以上となる。特に、郡山市、須賀川市、田村市、白河市、国見町、二本松市、新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、楢葉町、川内村、いわき市などでは震度6強となる場所があった。阿武隈高原及びその周辺では土砂災害が多発し、浜通りから中通りへの道路の通行止めが多く発生する。沿岸では津波の浸水被害、そして揺れや液状化による港湾及び漁港の被害の発生、また道路の通行止めや常磐線の被害などが発生し、孤立することが考えられる。

県中では、主に化学工業、食料品、電気機械器具、電子部品等の製造業が、県南では電子部品等、ゴム製品、業務用機械器具、化学工業など、県北では飲料・たばこ・飼料製造業、電子部品等、輸送用機械、食料品の製造業が多くなっている。相双では輸送用機械製造業が震災後急激に多くなっており、いわきでは化学工業、情報通信関係製造業が多くなっている。自動車関連の事業所が多く、サプライチェーンの被災により、全国の事業所への波及が考えられる。ただし、大規模なサプライチェーンが構築されている産業は、サプライチェーン全体で機能不全を解消しようとするところから、比較的短期間での復旧となることが考えられる。一方、地場産業として大きなサプライチェーンを持っていない産業は、迅速な事業継続を行っていくための支援を構築していくことが重要である。

## 10. 減災効果の評価

今後、主な地震対策を実施したときの被害想定を行い、現状との比較により、その減災効果を算出した。

減災効果は、下表に示す対策項目に対して、影響する主な被害の軽減状況について整理した。

減災効果の計算は、定量的に被害量を評価することが可能なもののうち、県民の行動によって被害量を減少させることが可能な項目を選定した。すなわち、県民による対策行動が今後進んでいくことで、揺れや火災による建物被害及びこれらによる人的被害、並びに家具等の転倒や津波による人的被害をどの程度減少させることができるかを想定するために、表Ⅲ-10-1 に示した条件で被害想定を行い、現状の被害想定結果との比較を行った。

表Ⅲ-10-1 減災効果の想定条件と影響する主な被害

効果	対策項目	条件	影響する主な被害
減災対策の推進による減災効果の評価	1) 建物の耐震化	・ ケース 1 (旧耐震建物の耐震化 (1981 年～1989 年建物として計算))	・ 揺れによる建物全壊棟数
		・ ケース 2 (全ての建物を 2002 年以降の建物として建替え)	
	2) 感震ブレーカーの設置	・ 感震ブレーカーの設置率が 100%に上昇 (電気火災無し)	・ 火災による焼失棟数 ・ 火災による死者数
	3) 家具などの転倒防止対策	・ 家具の転倒防止率が 100%に上昇	・ 家具の転倒による死傷者数
	4) 津波に対する避難意識の向上	・ 早期避難者比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合 (直接避難：70%、用事後避難：30%、切迫避難：0%)	・ 津波による死者数



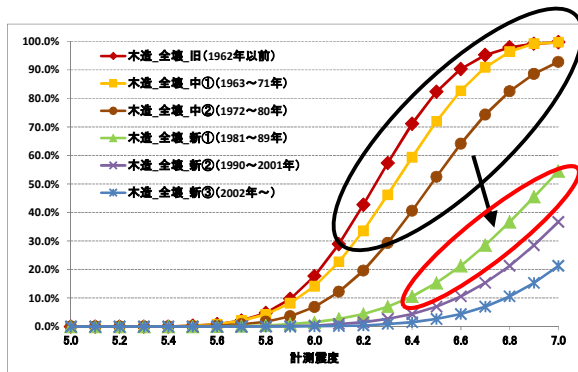
## 10.1 建物の耐震化による効果

### (1) 揺れによる建物全壊棟数

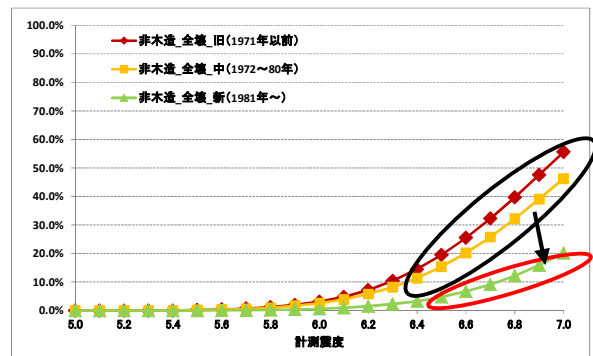
建築基準法の耐震基準は昭和 56 年（1981 年）6 月に大幅に見直されており、過去の大規模地震においては、見直し以前の耐震基準に基づき建てられた建物に被害が多く発生している。表Ⅲ-10.1-1 及び図Ⅲ-10.1-1、図Ⅲ-10.1-2 に示したように、現況の旧耐震基準（1980 年以前）の建物が、全て耐震対策を行い新耐震基準相当の建物になった場合と木造の全ての建物が 2002 年以降の建物に建て替わった場合の揺れによる建物被害の減災効果を検討した。検討結果を図Ⅲ-10.1-3～図Ⅲ-10.1-6 に示す。ケース 1 では現況の全壊棟数からおよそ 80%、ケース 2 では 90%以上減少しており、耐震化率を 100%とすることで大きく被害が減少すると予測される。

表Ⅲ-10.1-1 建物被害の減災効果の検討ケース一覧

減災効果 検討ケース	内容	
ケース 1 (図Ⅲ-10.1-1)	木造	建築年 1980 年以前（1962 年以前，1963～71 年，1972～80 年）の建物を建築年 1981～89 年の建物相当とする。
	非木造	建築年 1980 年以前の建物を建築年 1981 年以降の建物相当とする。
ケース 2 (図Ⅲ-10.1-2)	木造	全ての建物を建築年 2002 年以降の建物とする。
	非木造	建築年 1980 年以前の建物を建築年 1981 年以降の建物相当とする。

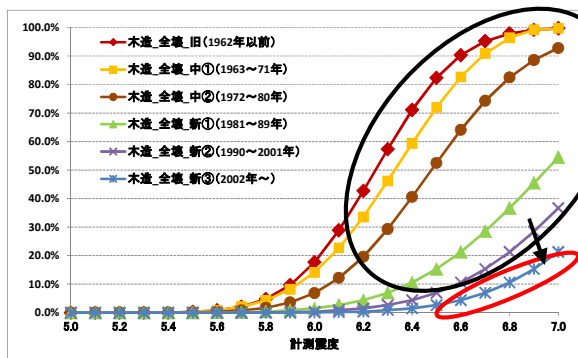


木造建物の全壊率曲線

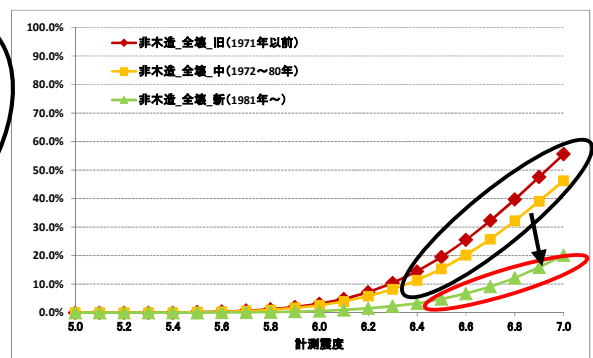


非木造建物の全壊率曲線

図Ⅲ-10.1-1 再掲：建物の被害率曲線（中央防災会議[2012, 2013]資料に追記）※ケース 1



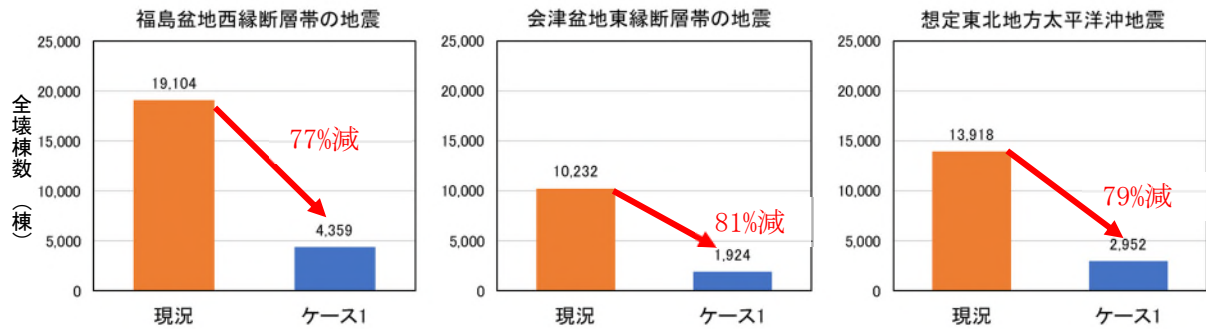
木造建物の全壊率曲線



非木造建物の全壊率曲線

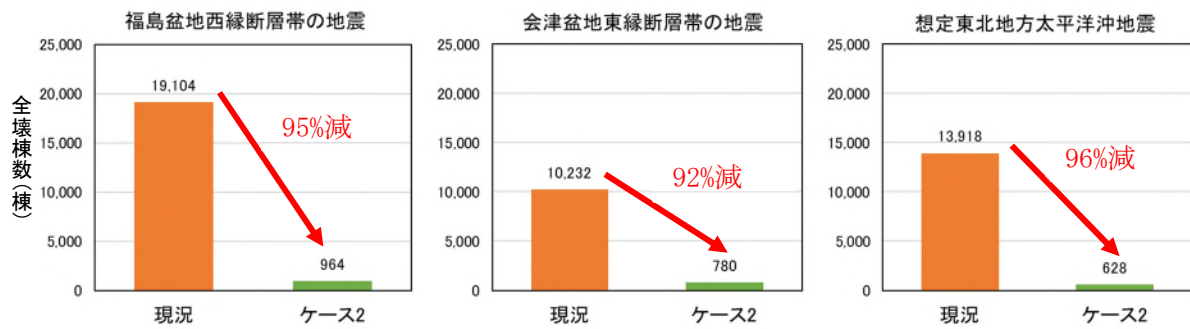
図Ⅲ-10.1-2 再掲：建物の被害率曲線（中央防災会議[2012, 2013]資料に追記）※ケース 2

Ⅲ 被害想定について  
10. 減災効果の評価



図Ⅲ-10.1-3 現状及びケース1の揺れによる全壊棟数の比較（夏）

※減災率は、端数処理のため、図中の数字による減災率と合わない場合がある。

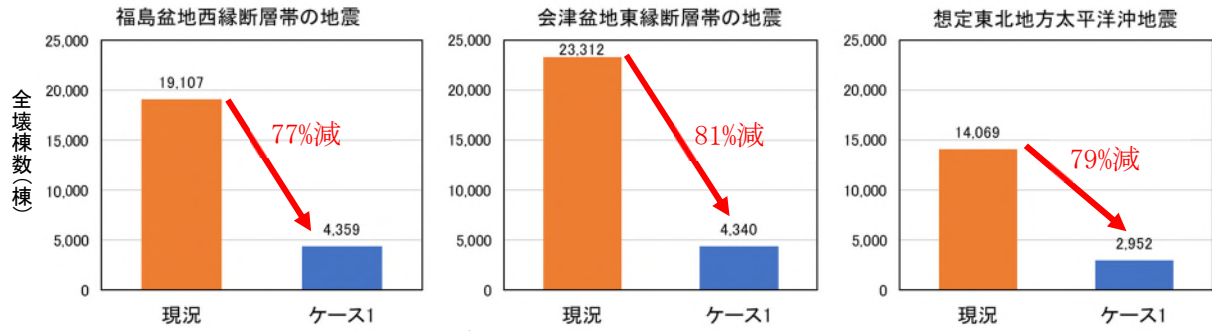


図Ⅲ-10.1-4 現状及びケース2の揺れによる全壊棟数の比較（夏）

※減災率は、端数処理のため、図中の数字による減災率と合わない場合がある。

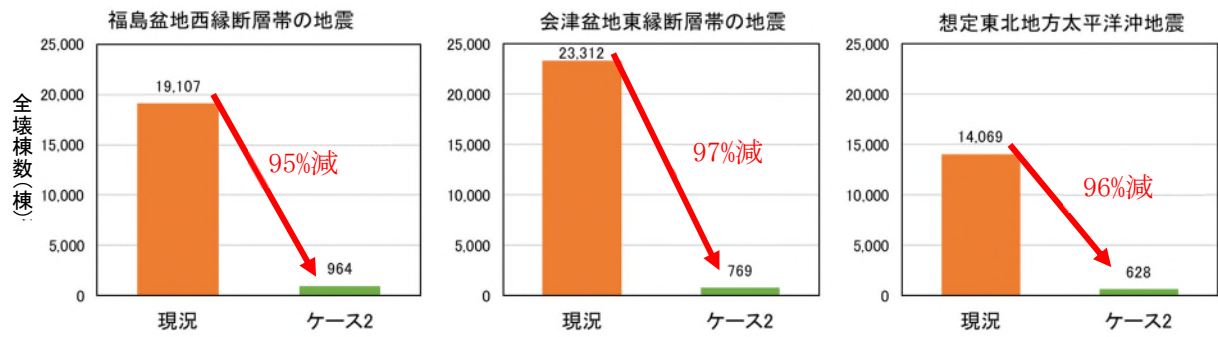
### Ⅲ 被害想定について

#### 10. 減災効果の評価



図Ⅲ-10.1-5 現状及びケース1の揺れによる全壊棟数の比較（冬）

※減災率は、端数処理のため、図中の数字による減災率と合わない場合がある。



図Ⅲ-10.1-6 現状及びケース2の揺れによる全壊棟数の比較（冬）

※減災率は、端数処理のため、図中の数字による減災率と合わない場合がある。

## 10.2 感震ブレーカーの設置による効果

近年の大規模な被害地震では、火災の原因として電気関係の火災が多くなっている。総務省消防庁(1998)<sup>Ⅲ-70)</sup>は、阪神・淡路大震災で出火原因が明らかなもののうち約 6 割が電気火災であったと報告している。岩見(2014)<sup>Ⅲ-71)</sup>によると、東日本大震災時の火災の発生要因が判明したうち 65%が電気関係の火災であったことをまとめ、適切な電気の遮断、復旧により電気に関連する出火の多くを未然に防ぐことが期待できるとした。

東日本大震災の教訓を踏まえ、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法及び首都直下地震対策特別措置法が制定された。中でも首都直下地震については、密集市街地における同時多発延焼火災等の危険性が改めて指摘され、人的・物的被害の軽減対策として、これまでの市街地整備事業や避難地・避難路の整備、延焼遮断帯の整備等の推進と合わせて、ソフト的な出火抑制対策として、特に感震ブレーカーの普及に務めることとされた。

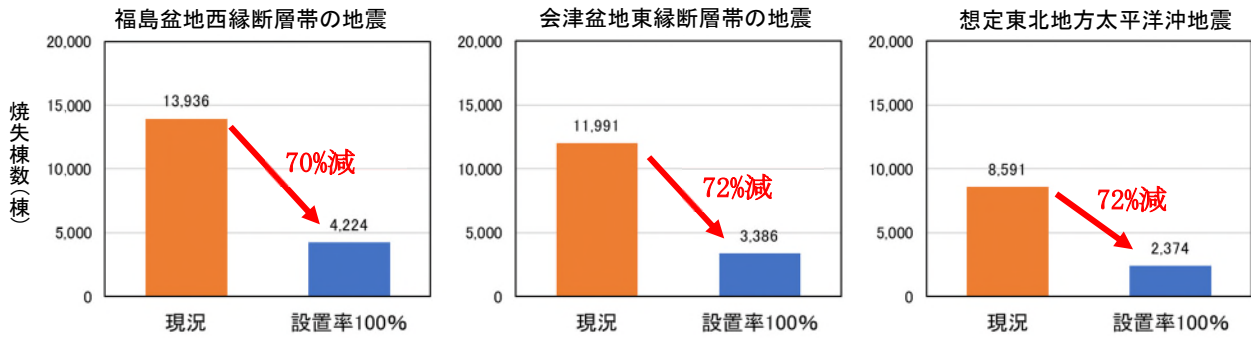
地震時の電気火災の要因を解消するにはブレーカーを落とすなど電気を遮断することが有効であるが、それを居住者自身が行うことには困難が伴うと考えられる。そこで、地震を感知すると電気を遮断する機能を持つ「感震ブレーカー」を設置することで、居住者の負担なく電気を遮断でき、電気火災を減らすことが期待されている。

これを踏まえ、感震ブレーカーを設置した場合の火災による焼失棟数及び死者数について検討を行った。

### (1) 火災による焼失棟数

感震ブレーカーを設置することで出火要因となる電気火災は起きないとして出火を想定し、それによる延焼シミュレーションを行い、焼失棟数を求めた。中央防災会議(2013)による出火の想定では、出火原因を火気器具と電熱器具、電気機器としているが、それらの内訳は明確になっていない。上述したように、阪神・淡路大震災の電気火災が約 6 割、東日本大震災の電気関係の火災が 65%ということから、6 割の火災が電気関係の火災と考えられる。そこで、感震ブレーカーを設置したことで電気関係の火災がなくなると考え、炎上出火件数を 6 割減の 4 割として、延焼シミュレーションを行い、焼失棟数を求めた。なお、算定ケースは最も被害が大きいとされる冬 18 時とした。

図Ⅲ-10.2-1に、感震ブレーカーの設置率が現状(9.8%(大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会、平成 30 年 3 月)<sup>Ⅲ-72)</sup>)と 100%時の焼失棟数の比較を示す。出火が最も多くなる冬 18 時において、福島盆地西縁断層帯の地震では 13,936 棟の焼失から 4,224 棟の焼失に、会津盆地東縁断層帯の地震で 11,991 棟の焼失から 3,386 棟の焼失へと減少する。想定東北地方太平洋沖地震では、8,591 棟の焼失から 2,374 棟の焼失へと約 7 割減少した。

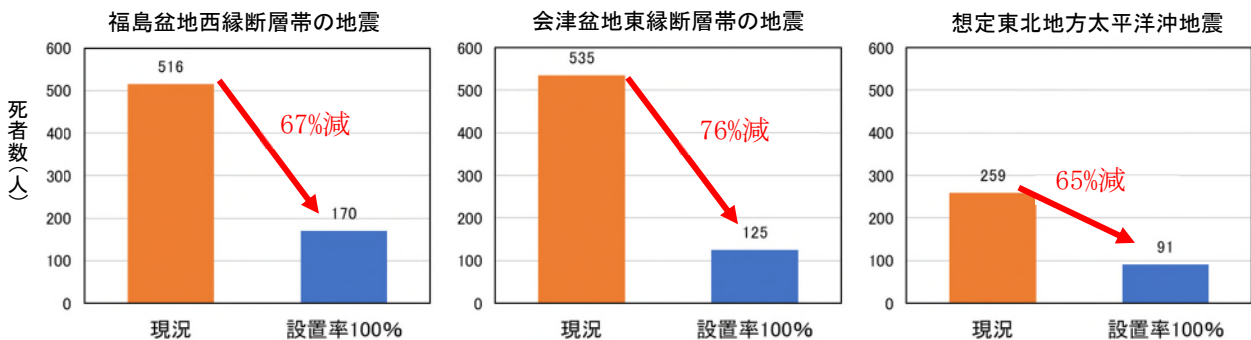


図Ⅲ-10.2-1 現状及び感震ブレーカー設置率 100%時の火災による焼失棟数の比較 (冬 18 時)

※減災率は、端数処理のため、図中の数字による減災率と合わない場合がある。

## (2) 火災による死者数

感震ブレーカーの設置によって出火件数が減少するとともに、倒壊によって出火した家屋内における死者や、延焼拡大時の逃げまどいによる死者を減少させることが可能である。感震ブレーカー設置率が 100%に達すると、福島盆地西縁断層帯の地震では死者数がおおよそ 67%、会津盆地東縁断層帯の地震ではおおよそ 76%、想定東北地方太平洋沖地震ではおおよそ 65%減少した。



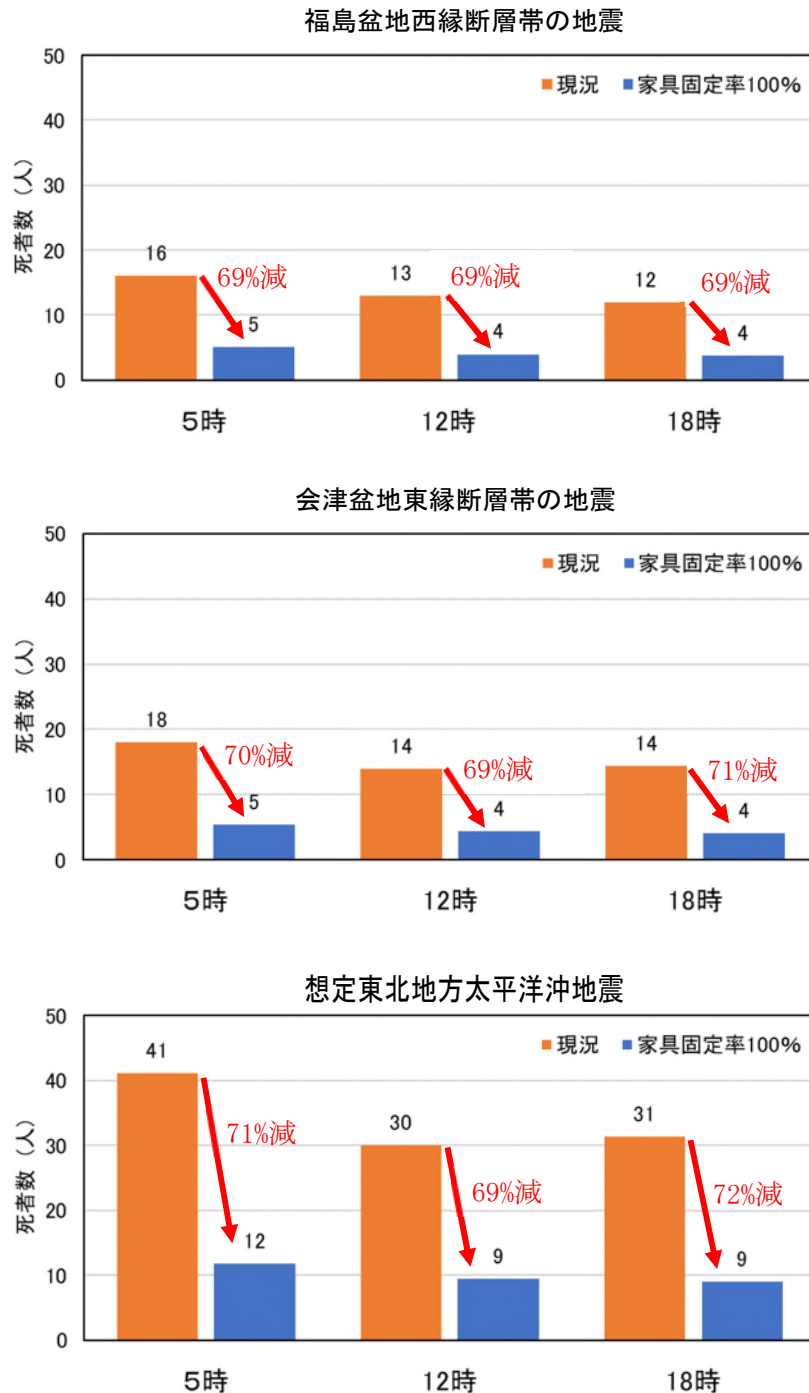
図Ⅲ-10.2-2 現状及び感震ブレーカー設置率 100%時の火災による死者数比較 (冬 18 時)

※減災率は、端数処理のため、図中の数字による減災率と合わない場合がある。

### 10.3 屋内収容物等の転倒防止対策による効果

#### (1) 屋内収容物等による死者数

大規模な地震では、固定していない家具等の移動や転倒、その他の落下物による死者が発生する。本調査に用いた家具等の転倒、落下防止対策の実施率（家具固定率）は、全国平均 26.2%（南海トラフの巨大地震建物被害・人的被害の被害想定項目及び手法（平成 25 年 3 月））であるが、これが 100%になった場合の死者数を求めた。屋内収容物等による死者は図Ⅲ-10.3-1 のとおり約 7 割減少した。



図Ⅲ-10.3-1 現状及び家具固定率 100%時の屋内収容物等による死者数比較

※減災率は、端数処理のため、図中の数字による減災率と合わない場合がある。

#### 10.4 津波に対する避難意識向上による効果

中央防災会議(2021)<sup>Ⅲ-24)</sup>によると、東日本大震災の被災地の岩手県及び宮城県の実績から、直後避難が55%、用事後避難が40%、切迫避難が5%であったとし、津波による人的被害の予測を行っている。本県における被害想定でも同じ設定を用いた。

今後、沿岸の地域ごとに津波避難訓練を定期的に行い、津波に対する避難への意識向上と早期避難行動の実施が進めば、人的被害を減らせることができると考えられる。ここでは、避難意識の違いによる人的被害の違いを検討した。

中央防災会議(2021)は、東日本大震災の被災地域での調査結果（「津波避難等に関する調査結果」(内閣府・消防庁・気象庁)<sup>Ⅲ-73)</sup>）及び過去の津波被害の避難の状況を踏まえ、表Ⅲ-10.4-1に示す5つの避難意識パターンを設定している。本県の被害想定では、東日本大震災の実績を用いて津波の人的被害の計算を行っている。日頃より避難訓練を行い、津波避難比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合について、津波の人的被害の計算を行い、被害想定の結果と比較を行った。

津波による人的被害の計算に際しては、表Ⅲ-10.4-2の避難開始時間の設定と表Ⅲ-10.4-3の避難速度の設定に従った。

図Ⅲ-10.4-1に、計算結果を示す。早期避難率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合の死者数は0に近づく。避難訓練や避難対策などを定期的に行い、住民の啓発の場を設け、津波の避難意識を向上または維持していくことが重要である。

また、表Ⅲ-10.4-4に、表Ⅲ-10.4-1に示した5つの避難意識パターン毎の死者数について参考までに示す。これを見ると、切迫避難率が増えると死者数も増えていることから、切迫避難者を減らしていくことが津波による死者を減らしていくことになる。

なお、津波による人的被害の計算は、対象となる地域住民が皆健常者として避難を行うという仮定で計算しているものである。お年寄りや体の不自由な方などの要配慮者については考慮されていない。要配慮者を考慮すると人的被害はもっと増えてくる。地域住民が知恵を出し合い、要配慮者も含め住民全員が無事に避難できる方法を検討していくことが必要である。そして、それを活かした避難訓練等を定期的に行い、住民の意識向上を図ることができれば、津波による被害を防げるものと考えられる。



表Ⅲ-10. 4-1 避難意識のパターン

中央防災会議(2021)<sup>Ⅲ-24)</sup>に追記

	避難する		切迫避難 あるいは 避難しない
	すぐに 避難する (直接避難)	避難するが すぐには 避難しない (用事後避難)	
全員が発災後すぐに避難を開始した場合	100%	0%	0%
早期避難者比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合	70% ※1	30% ※2	0% ※3
早期避難者比率が高い場合	70% ※1	20% ※2	10% ※4
早期避難者比率が低い場合	20% ※5	50% ※2	30% ※6
東日本大震災の実績 ※7	55%	40%	5%

津波避難が向上したケース

被害想定で用いたケース

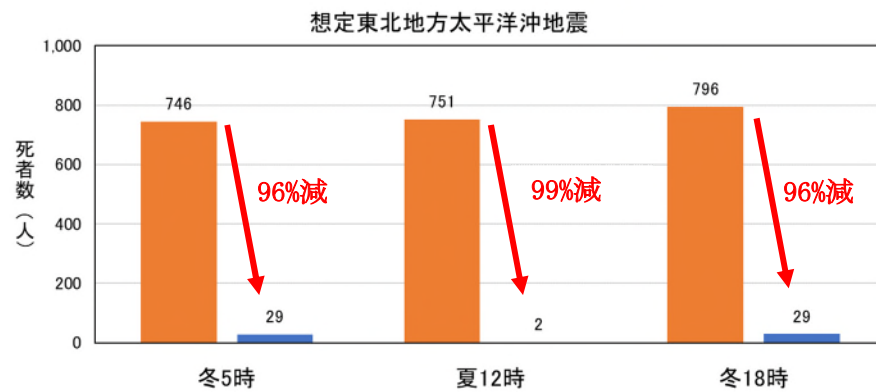
設定値については、東日本大震災の被災地域での調査結果や過去の津波被害（北海道南西沖地震、日本海中部地震）の避難の状況を踏まえ設定。  
 ※1：東日本大震災ですぐに避難した人の割合が最も高い市で67%  
 ※2：全体から直接避難と切迫避難の割合を引いた数値  
 ※3：津波情報や避難の呼びかけを見聞きしている中でそれをもって避難のきっかけとなった場合、切迫避難の割合が一番低い市で0%。  
 ※4：東日本大震災で意識の高い地域でも6.5%もの人が避難しなかったこと（死者含む）を踏まえて設置  
 ※5：日本海中部地震の事例等から20%。  
 ※6：切迫避難の割合が高い市で25～約27%であったことによる。  
 ※7：東日本大震災の実績：岩手県（54%、40%、6%）、宮城県（56%、41%、3%）

表Ⅲ-10. 4-2 避難開始時刻の設定（中央防災会議(2021)より作成）

時刻	直接避難	用事後避難	切迫避難あるいは 避難しない
夏 12 時	発災後 5 分	発災後 15 分	津波到達後
冬 5 時	発災後 12 分	発災後 22 分	津波到達後 7 分
冬 18 時	発災後 7 分	発災後 17 分	津波到達後 2 分

表Ⅲ-10. 4-3 避難速度の設定（中央防災会議(2021)より作成）

避難意識（表Ⅲ-10.4-1）	避難速度	
	夏 12 時	冬 5 時, 18 時 (夏から 8 割)
早期避難者比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合	2.24 km/時	1.79 km/時
東日本大震災の実績	2.24 km/時	1.79 km/時



図Ⅲ-10.4-1 避難意識パターンの違いによる死者数の比較

橙色：東日本大震災の実績（被害想定結果）

青色：早期避難比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合

※減災率は、端数処理のため、図中の数字による減災率と合わない場合がある。

表Ⅲ-10.4-4 （参考）各種避難意識パターンに対する死者数

避難意識のパターン（表Ⅲ-10.4-1）	冬5時	夏12時	冬18時	
全員が発災後すぐに避難した場合 （直後避難100%）	0	0	0	
早期避難者比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合 （直後避難70%、用事後避難30%、切迫避難0%）	29	2	29	津波避難が向上したケース
早期避難者比率が高い場合 （直後避難70%、用事後避難20%、切迫避難10%）	1,437	1,498	1,535	
早期避難者比率が低い場合 （直後避難20%、用事後避難50%、切迫避難30%）	5,253	4,496	4,600	
東日本大震災の実績 （直後避難55%、用事後避難40%、切迫避難5%）	746	751	796	被害想定で用いたケース

## 11. 被害シナリオ

## 11.1 被害シナリオの対象ケースの選定

被害シナリオについては、本想定で対象としている4種の地震のうち、震源断層が特定されている福島盆地西縁断層帯及び会津盆地東縁断層帯、異なる季節・時間帯の発生を想定した東北地方太平洋沖地震を対象として作成する。

なお、シナリオの対象とする各地震が発生する季節、時間帯について、「① 福島盆地西縁断層帯」では、揺れによる被害だけでなく、火災による被害も多く発生する冬18時、「② 会津盆地東縁断層帯」では、積雪による救助や避難の難航、雪崩や落雪による被害拡大の懸念がある冬5時、「③ 想定東北地方太平洋沖地震」では、就寝中・暗闇の中での津波避難の難航や、一時避難先での寒さの影響が懸念される冬5時を対象とした。

3つの地震がそれぞれの季節、時間帯に発生した場合の被害の主な特徴は、表Ⅲ-11.1-1に示すとおりである。被害シナリオでは、この3つの地震それぞれについて、建物やライフラインの被害から、死傷者や避難者の発生、道路や鉄道の被害に至る状況、そして避難者の生活への影響など、どういった事象が発生し、事態がどのように推移していくかを示している。シナリオの中では、定量的な計算結果だけでなく、過去の地震被害の知見や教訓を踏まえた定性的な被害の様相についても触れている。

表Ⅲ-11.1-1 選定した3地震の主な特徴

1	福島盆地 西縁断層帯 の地震 (冬18時)	地域 特性	建物被害が最大になると思われる時間帯を対象とする。 火災の拡大による消火・避難の難航に言及する。
		状況	日没後で周囲はすでに暗い。市街地では仕事を終えて帰宅を急ぐ人、外食をする人が往来にいる。家庭では夕食の準備が進められている。中通りの北部では、早朝や深夜の除雪作業後、日中も雪が降り続いて数cmの積雪があり、車や歩行者はスリップに気を付けながら通行している地域もある。
2	会津盆地 東縁断層帯 の地震 (冬5時)	地域 特性	積雪の影響を最も受けるであろう時間帯に設定する。気温は氷点下となり、道路は凍結している。また、水道も凍結しているところが出ている。積雪による救助・避難の難航、土砂災害・落雪による被害拡大に言及する。
		状況	日の出前で周囲はまだ暗い。人々はまだ寝ている人が多く、深夜勤務で帰宅する人、早朝から活動を開始する人が若干往来に見受けられる。会津地方には積雪が多い地域もあり、早朝から除雪作業が行われているが、降り積もった雪が残り車や歩行者が通れないほど高く積もっている箇所も多い。
3	想定東北地方 太平洋沖地震 (冬5時)	地域 特性	東日本大震災時とは異なる時間帯で地震・津波が発生した場合に、起こりうることを検討してもらうきっかけとする。就寝中・暗闇の中での津波避難の難航、一時避難先での寒さの影響に言及する。
		状況	日の出前で周囲はまだ暗い。人々はまだ寝ている人が多く、深夜勤務で帰宅する人、早朝から活動を開始する人が若干往来に見受けられる。沿岸部の漁港は漁船の出港準備又は出港後の活動をしている人が見られる。浜通りにはほとんど雪はない。

## 11.2 被害シナリオの活用シーンの選定

被害シナリオについては、定量的な被害結果に加え、過去の大規模地震を参考に定性的な起こりうる事態に言及した「①被害」と、その事態が発生した場合に想定される県民の行動や県民への影響をまとめた「②県民」、国や県、市町村の活動をまとめた「③、④対策・活動」で構成している。

県民の皆様には①と②を参考にして、自身の生活環境や地域特性を踏まえて具体的に身の回りでどのようなことが起こるかをイメージしていただいたり、地震発生後のタイムラインを検討いただくことを想定している。また、県や市町村は①及び③、④を参考に、災害対応訓練のシナリオを検討したり、活動マニュアルの見直しの参考に活用することを想定している。

次ページより以下のシナリオを示す。

- ・ 表Ⅲ-11.2-1～表Ⅲ-11.2-2 被害シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）
- ・ 表Ⅲ-11.2-3 県民の行動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）
- ・ 表Ⅲ-11.2-4～表Ⅲ-11.2-7 対策・活動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）
- ・ 表Ⅲ-11.2-8～表Ⅲ-11.2-9 被害シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時）
- ・ 表Ⅲ-11.2-10 県民の行動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時）
- ・ 表Ⅲ-11.2-11～表Ⅲ-11.2-14 対策・活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時）
- ・ 表Ⅲ-11.2-15～表Ⅲ-11.2-2 被害シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時）
- ・ 表Ⅲ-11.2-3 県民の行動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時）
- ・ 表Ⅲ-11.2-4～表Ⅲ-11.2-7 対策・活動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時）



III 被害想定について  
11. 被害シナリオ

表Ⅲ-11. 2-1 被害シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬５時）（１）

①被害シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬５時（揺れによる死傷者が多く発生する阪神・淡路大震災と同じ季節時間帯））

		地震発生直後～ 5:00	1時間後～ 6:00～	3時間後～ 8:00～	12時間後～ 17:00～	1日後～
地震動		●冬の朝5時、会津盆地東縁断層帯を震源とするマグニチュード7.0規模の地震が発生。 ●会津若松市や郡山市、喜多方市、天栄村、下郷町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、会津美里町で震度7に達する。南会津町、北塩原村、西郷村でも震度6強を観測。 ○地表に地震断層が出現し、段差や横ずれなどの地盤や地面の変位が生じる。		○最大震度5弱～6強の余震が発生。		○余震が頻発。
建物被害	液状化	●液状化の被害は揺れに比べると少なく、全県で全壊634棟、半壊3,233棟。 ●揺れの被害が少ない須賀川市や二本松市、西会津町では液状化被害の方が多く発生。 ○農地に液状化が発生したが、積雪により被害状況が把握できない。		○会津盆地や猪苗代周辺では、マンホールが地中からせり出したり、道路沿いで液状化が発生している。ただし、積雪の影響で液状化の痕跡を確認しづらい状況となっている。		
	揺れ	●会津若松市では13,330棟、猪苗代町では2,423棟、喜多方市では2,098棟、会津美里町で1,444棟、磐梯町で1,278棟、下郷町で1,100棟の建物が揺れによって全壊となる。 ●県全体で揺れによる全壊23,312棟、半壊21,325棟。 ○地盤や地面の変位によって建物が壊れたり、傾くなどの被害が生じる。		○余震により、被害が進行する。		
	土砂災害	●会津若松市や郡山市などで若干の土砂災害による建物被害が発生。 ●全壊33棟、半壊79棟。 ○積雪地域では、揺れの影響により、規模の大小を問わず雪崩や屋根からの落雪が発生する。		○余震や降雨等で土砂災害が増加。 ○流れ出た土砂によって道路が塞がれ、迂回を余儀なくされる箇所が発生。 ○余震による雪崩や屋根からの落雪被害も発生。		
	火災		●会津若松市では21件、猪苗代町や喜多方市では3件、磐梯町では2件出火するなど計35件の出火が発生し、初期消火により一部は消火されるも炎上。 ●炎上した火災のうち一部は消防機関や消防団の活動により、消火あるいは自然鎮火。 ●全県で25件が延焼に発展。 ○積雪により、消防車の往来に支障が発生する。	○消防機関による消火を継続するが、さらに延焼。 ○積雪により消防車の消火活動に支障が発生。	●さらに延焼し、全焼棟数は全県で2,813棟に達する。 ●被害は会津若松市が大部分を占める。	○直後に発生した火災は概ね鎮火。 ○電力の復旧により、新たに通電火災が発生するおそれ。
人的被害		●会津地方を中心に人的被害が発生（全県で死者1,602人、負傷者8,724人うち重傷者は2,673人）。 ●死傷者のほとんどは建物倒壊によるもので、死者1,448人、負傷者7,520人、重傷者2,191人発生。会津若松市、猪苗代町、喜多方市、会津美里町、磐梯町、下郷町、会津坂下町、湯川村、郡山市、南会津町で10人以上の死者が発生する。 ●家具の転倒等により、死者18人、負傷者374人、重傷者66人発生。土砂災害やブロック塀等の転倒による被害は軽微。 ●建物等の下敷きになり、自力脱出困難者も発生。 ●要配慮者の死者は337人、負傷者は1,839人。会津若松市では185人の死者が発生する。また、負傷者も会津若松市で943人、喜多方市で220人、猪苗代町で182人発生。重傷者も全県で559人発生。 ○建物被害のほか、停電の影響を受け、会津地方を中心にエレベーターが一部停止し、閉じ込めが発生。 ○雪崩や落雪に巻き込まれて死傷する人が発生する。		○会津若松市を中心に被害が集中し、局地的に要救出者が多数発生したことにより、救助活動が遅れる。低体温症による死亡も発生する。 ○被害が集中する会津若松市等から周辺の災害拠点病院へ重傷者の広域搬送が行われる。 ○余震で雪崩や落雪がさらに発生し、人的被害が拡大。道路閉塞による救助活動の支障にもなる。 ○積雪による自力脱出国難者が増加し、寒さや火災への巻き込まれの死者も増加する。		●火災による死者は151人、負傷者1,199人発生。 ○気象・地理条件、救助活動支障により、救助が難航・長期化する。特に火災発生件数の多い会津若松市では、同時多発火災となったことで、消火、救助の対応に追われる。 ○大きな余震で雪崩や落雪が発生し、死傷する人が発生する。
生活支障等	避難者	●会津地方を中心に避難者が多数発生（避難所避難者27,315人、避難所外避難者18,210人）。 ●会津若松市の避難所避難者は19,465人、避難所外避難者は12,976人にのぼる。 ○避難路の被災や避難時の混乱による二次被害発生。 ○建物の倒壊や電柱の転倒、液状化被害によって除雪作業が円滑に行われず、避難所への移動もままならない。 ○そもそも屋外の往来が困難な暴風雪時に地震が発生すると、自宅から着の身着のまま外に出るのも困難となる。		○避難所へ避難する住民が増える。 ○避難所開設時に混乱が発生。 ○着の身着のまま避難してきた人々にとって、耐え難い寒さが続く。停電により、寒さで体調を悪化させる避難者が多発する。		○避難所におけるトイレが不足する。非指定避難所では更に深刻な事態となる。 ○避難所におけるペットの飼育が問題となり、避難者間でトラブルとなる。 ○被災した自宅から毛布や衣類、暖房器具などが持ち込むが、停電や火災の危険性から使用できない器具もある。
		○避難行動要支援者の安否確認や避難支援が必要。 ●避難所に避難する要配慮者は、5,543人にのぼる。 ○歩行が困難な要配慮者は、積雪した道路を前に避難を躊躇せざるを得なくなる。		○在宅の避難行動要支援者の安否確認等のための人員が不足。 ○要配慮者が避難所内で適切に生活するための場所を確保することが困難。		○透析患者等内部障がい者への医療対応の難航。
	物資不足	○食料、飲料水、毛布、粉ミルク（乳児用）、乳児用・大人用おむつ、簡易トイレ、トイレットペーパー、生理用品のほか、避難所の感染症対策やプライバシー確保のため、マスクやバーテーションなどの需要が発生する。 ○寒さ対策のため、避難所で暖房器具も必要となる。		○毛布、粉ミルク、仮設トイレ、トイレットペーパーが不足する。		○車やテントなど、避難所以外の施設に避難している人も多数おり、支援物資の不足状況の把握が困難になる。（⇒）
	災害廃棄物発生	○道路上などに障害物が発生。家屋だけでなく、自動車、樹木・材木等も災害廃棄物となる。				○全壊した建物を中心に廃棄物が発生。 ○発生した廃棄物を処理するための輸送力、集積場所の確保が必要。
	孤立集落	○会津地方を中心に迂回路のない中山間地域の集落で、土砂崩れなどによる道路閉塞から孤立集落が発生する。		○一部地域では、迂回時間の長時間化により、迅速な手当を要する要救助者に対するベリでの搬送が行われる。		
交通	緊急輸送道路	●平面道路の被害は会津地方から中通りにかけて発生し、101箇所の緊急輸送道路に被害が発生。 ○橋梁は落橋のような大被害はほぼないが、クラック等により点検を要する橋梁が発生する。 ○積雪の影響で被害箇所の発見が遅れる。		○緊急輸送道路では交通規制により、緊急車両のみ通行可能となる。 ○細街路の閉塞により、応急活動に支障が生じる。 ○揺れが強い地域では地震被害に伴う道路閉塞、交通規制により、大規模な交通渋滞が発生。		
	鉄道	●会津鉄道やJR只見線、磐越西線を中心に在来線等で460箇所の揺れによる被害が発生し、運行を停止する。 ○鉄道の停止により、出社が困難となる通勤者が発生。 ○被害のない路線でも、点検のため一時運休または当日は運休。			○不通となったエリアは、応急復旧作業や被害状況の把握及び復旧に向けた作業の準備が開始される。 ○積雪の影響で復旧作業が遅れが生じる。	
	港湾	●いずれの港湾においても被害はない。				
	空港	○滑走路の点検後、すぐに運転再開。				
ライフライン	電力	●会津若松市で約12万人、郡山市で約8万3千人、喜多方市で約3万7千人が停電の影響を受ける。そのほか停電は会津地方、中通りに広域に発生し、全県では約38万人が停電の影響を受ける。 ○着雪の凍結による電線破断が発生し、停電が増える。		○ライフライン断絶による生活支障が発生。 ○災害対策本部や病院等におけるライフラインのバックアップ機能が限界を超え、様々な活動支障が発生。 ○透析患者や重傷者等の搬送が喫緊の課題となる。		●全県では、停電人口が約16万人となるが、会津若松市では依然約10万人が停電の影響を受けている。 ○応急給水活動の実施。 ●被害の大きい地域では断水人口があまり減らない。
	上水道	●会津若松市で約12万人、喜多方市約2万3千人、郡山市で約1万5千人、猪苗代町で約1万3千人、会津美里町で1万2千人が断水の影響を受ける。そのほか断水は会津地方、中通りに広域に発生し、全県では約22万人が断水の影響を受ける。 ○水道管の凍結による破損が発生し、漏水被害の復旧要請も発生する。				
	下水道	●会津若松市で約8万5千人、郡山市で約2万1千人、喜多方市約1万3千人が下水道の機能支障の影響を受ける。そのほか下水道被害は会津地方、中通りに広域に発生し、全県では約17万人が下水道被害の影響を受ける。				●復旧は若干進むも、依然全県で約14万4千人が下水道の機能支障の影響を受ける。
	都市ガス	●都市ガスの供給エリアにおいて供給停止は会津若松市のみで発生。市内全域が供給停止となる。				●復旧が進まない。
	LPガス	●全県では8,960箇所で被害が発生。会津若松市で3,317箇所、郡山市で1,594箇所で被害。				○各需要家において安全確認次第復旧。（⇒） ●全県で約2万9千回線が不通と不通回線が減ってきているが、会津若松市、磐梯町、湯川村では依然8割以上の固定回線が不通。下郷町、猪苗代町でも6割以上が不通。
	固定電話	●揺れによる家屋や通信設備などの被災によって、全県で約6万7千回線が不通となる。 ●会津若松市、猪苗代町、磐梯町、下郷町、湯川村では9割以上の固定回線が不通。 ○固定電話は停電が発生してもしばらく通話できる可能性があるが、FAX搭載機やIP電話など、外部電源が必要な電話機は使えなくなる。 ○ただし、停電の影響を受けなくても、安否を確認しあう連絡等で輻輳が始まり、通信会社が通信規制を実施することで、つながりにくくなる。				
その他被害	携帯電話	○携帯電話は、一部を除き、基地局の機能が自家発電装置などにより生き残るため、停波による不通の影響はほとんどない。 ○ただし固定電話と同様に、安否を確認しあう連絡等で輻輳が始まり、通信会社が通信規制を実施することで、つながりにくくなる。				○基地局のバックアップ電源の喪失に伴い、携帯電話も非常につながりにくくなる。
	河川・ため池・ダム	●会津若松市や郡山市、喜多方市、猪苗代町の一級河川の河川堤防で、液状化によりクラックなどが発生する。会津若松市、喜多方市、下郷町、会津美里町の計5つのダムが震度6強以上または液状化危険度が高いダムに該当する。会津美里町の51箇所のほか全県で281箇所の防災重点ため池で強い揺れや液状化によってクラックなどが発生する。場合によっては決壊等による漏水が発生するなどして、地震水害による被害が発生する。				
	危険物施設	○会津地方、中通り地方の危険物施設で、破損等の被害、危険物の流出等の被害が発生する。		○毒性ガスや可燃性ガスが大量に漏洩した場合には、周辺に影響が及ぶ。		
文化財	エレベーター	○会津地方、中通り地方の高層ビル、マンションで、運転中の地震の発生により、エレベーターが停止し、一部で閉じ込めが発生する。		○利用者が少ない時間帯の地震発生ではあるが、停止台数が多く、点検・復旧に時間を要し、閉じ込め者の救出には数時間以上を要する。		
	文化財	●会津若松市や猪苗代町、会津美里町などで震度6強以上の揺れによる倒壊あるいは焼失による被害を受ける恐れのある重要文化財等がある。				



表Ⅲ-11.2-2 被害シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）（2）

①被害シナリオ(会津盆地東縁断層帯の地震:冬5時(揺れによる死傷者が多く発生する阪神・淡路大震災と同じ季節時間帯))							
		3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～	～数年後
地震動			○余震が次第に減少。			●定量データに基づく被害像 ○定性的な被害像	
建物被害	液状化					○雪解けとともに液状化による被害状況が明らかになってくる。 ○道路の陥没事故が発生する。	
	揺れ	○余震により、被害が進行する。					
	土砂災害	○余震により、被害が進行する。土砂災害に加え、雪崩や屋根からの落雪被害も発生。					
	火災	○電力の復旧により、新たに通電火災が発生するおそれ。					
人的被害		○救出活動の取束後、遺体捜索・埋火葬対応へ移行するも、遺体安置所が不足する。 ○地震後、家の片付けをしていた人が落雪に巻き込まれて被害にあうケースが発生する。	○高齢者や既往症があった人などが、慣れない環境での避難生活や、余震の恐怖による心身の負担などにより死亡したり、寒さによる肺炎の発症や既往症を悪化させたりする事例が多く発生する。 ○口腔ケアの不足による誤嚥性肺炎や、車中泊の継続による静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)による突然死なども発生する。			○避難所生活の長期化に端を発し、震災関連死が発生する。	○震災に関連した自殺者は地震発生から時間が経過しても継続して発生する。
生活支障等	避難者	○生活環境の悪化が深刻化。 ○入浴施設の不足。 ○家が無事で戻る者もいるが停電、断水の継続により避難所へ行く者も増加。 ○親戚等を頼り、県外避難者が発生。	●1週間後の避難所避難者は38,234人。 ●1週間後の避難所外避難者38,234人。 ○会津若松市、喜多方市、猪苗代町、会津美里町、会津坂下町、下郷町、磐梯町、郡山市は依然避難者が多い。また、白河市や須賀川市、天栄村、南会津町などでライフラインの影響により避難者が増大する。 ○避難所生活者の一部が生活不活発病(廃用症候群)発症。高齢者は認知症の症状を発症する方も出始める。 ○避難所でウイルス性の病気が蔓延する。		●1ヵ月後の避難所避難者は16,990人と依然として多い。依然、ライフラインの復旧が続いており、会津若松市では12,502人、猪苗代町で1,065人、喜多方市で874人が避難所生活を送る。避難所外避難者は39,643人となる。会津若松市が最多で29,172人にのぼる。 ○仮設住宅の建設に際し、除雪・排雪作業を伴い、時間と労力を要する。 ○避難者は仮設住宅や公営住宅等への移動、ライフライン復旧・自宅の修理完了による帰宅を始める。一時的に被害の少ない周辺市への避難も増加する。 ○中長期にわたってPTSDへのケアを要する。		
		○要配慮者の避難所での生活における負担大。 ○福祉避難所の不足。	●被災1週間後には避難所に避難する要配慮者は全県で7,806人となる。 ○慢性疾患の悪化。		●被災1ヵ月後に、避難所に避難する要配慮者は減少するが、依然として全県で3,436人いる。半数以上が会津若松市で、次いで、猪苗代町、喜多方市の要配慮者が多い。 ○高齢者等の入院(病院)・入所(福祉施設)の長期化。 ○生活再建が困難な高齢者等が避難所に残される。		
	物資不足	●3日間合計で、約55万食の食料、約110万本の飲料水(500mlペットボトル)、約18万枚の毛布、約7万本の粉ミルク(乳児用)、約6千7百パックの乳児用おむつ、約3万パックの大人用おむつ、1千8百台の簡易トイレ、約18万巻のトイレットペーパー、約5万パックの生理用品の需要が発生する。	○温かい食事などニーズ多様化。 ○応援物資は続々と被災地に届くが、マッチングがうまくいかず、古着や食料の廃棄の必要性が出てくる。				
		●約359万トンの災害廃棄物が発生。会津若松市で約200万トン、喜多方市で約36万トン、猪苗代町で約35万トン、会津美里町で約23万トン、磐梯町で約18万トン、下郷町で約15万トンの廃棄物が発生する。 ○特に廃棄物の多い市では避難所や自宅避難者の生活ゴミやし尿処理の対応が急がれる。			○周辺環境への汚染のおそれ、オープンスペースの不足などが課題になる。		
	孤立集落		○仮設道路の設置により、通行可となる集落も出てくる。			○集落への道路が復旧し、孤立集落も解消へ向かう。	
交通	緊急輸送道路	○緊急輸送道路が概ね復旧。 ○一部の地域での日常生活、経済活動の再開により、交通渋滞が激化。	○道路啓開が進み、徐々に交通基盤が復旧。				
	鉄道	○大規模な斜面崩壊によって線路に甚大なダメージを受けた在来線の復旧は遅れる。	○応急復旧作業中であり、不通のままである。 ○道路の復旧を待って、バスによる代替輸送が開始される。			○大きな被害を受けた箇所を除き、概ね全線で運転再開が完了する。	
	港湾						
	空港						
ライフライン	電力	○積雪の影響で復旧作業に遅れが生じる。	●概ね停電は解消するが、会津若松市で約7千百人、猪苗代町で575人など全県で約8千9百人に停電の影響が残る。	○全県で概ね電力の復旧作業が完了。			
	上水道	○停電の影響により停止していた浄水場では、優先的な電力復旧により、浄水場の機能が徐々に回復する。 ○基幹管路の復旧が進む。	●全県の断水人口は依然約17万人。会津若松市で約10万人、喜多方市で約1万5千人、猪苗代町で約1万1千人が断水。	○積雪の影響で復旧作業に遅れが生じる。	●全県の断水人口は約5万7千人となるまで復旧作業は進む。会津若松市では依然約4万3千人が断水。	○断水はほぼ解消。	
	下水道	○管渠・処理場等の応急対策が進められる。	●復旧は進むが、依然会津若松市で約6万2千人、全県で約8万5千人が機能支障。	○積雪の影響で復旧作業に遅れが生じる。	●全県の機能支障人口は約1万7千人となるまで復旧作業は進む。会津若松市では依然約1万2千人が機能支障。	○下水道の機能支障はほぼ解消。	
	都市ガス	○積雪の影響で復旧作業に遅れが生じる。	●復旧が進まない。		●復旧が進まず、さらに長機関を要する。	○復旧は進み、概ね支障は解消。	
	LPガス				○復旧は進み、概ね支障は解消。		
通信	固定電話	○積雪の影響で復旧作業に遅れが生じる。	●通信回線の復旧作業が進み、全県で1,592回線の不通となる。		●全県で通信回線の復旧作業が完了する。		
	携帯電話	○依然、会津若松市などで携帯電話が非常に繋がりにくい状態が継続する。 ○被害の少ない市町村では、通信量が減少して徐々に通信規制が緩和され、つながりやすくなる。					
その他被害	河川・ため池・ダム	○ダム、ため池の点検・復旧が概ね完了。					
	危険物施設						
	エレベーター						
	文化財						



表Ⅲ-11. 2-3 県民の行動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）

②県民の行動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）

発災期		災害拡大期		災害鎮静期		復旧・復興期				
地震発生直後	10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	1日後～	3日後～	1週間後～	2週間後～	1カ月～	
地震動	●冬の朝5時、会津盆地東縁断層帯を震源とするマグニチュード7.0規模の地震が発生。 ●会津若松市や郡山市、喜多方市、天栄村、下郷町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、会津美里町で震度7に達する。南会津町、北塩原村、西郷村でも震度6強を観測。 ○地表に地震断層が出現し、段差や横ずれなどの地盤や地面の変位が生じる。						○地震により緩んだ急傾斜地等が降雨により崩壊 ○余震が頻発。 ○余震が次第に減少。			
	【自宅】 ・まだ周囲が暗い早朝に突然、大きな揺れに見舞われる。 ・直下型地震のため、緊急地震速報が鳴る前あるいは鳴ると同時に、就寝中、急に起き上げるような揺れに襲われることになる。 ・揺れはしばらく続き、身動きが取れない人も多い。 ・棚が倒れたり、棚の中や机の上から物が落下、ガラス等が割れる。	【自宅】 ・一旦揺れが収まるが、室内の電気のスイッチを押しても電気がつかない（停電）。 ・スマートフォンを通じて、つながらずにいつか震源等の情報が入る。 ・調理器具や暖房器具のうち、ガスや灯油を使う器具で揺れを感じて止まる機能や転倒防止機能のあるものは運転が停止するが、それ以外のものは起動し続ける。 ・雪の多い地域では、元々の積雪に加え、屋根の雪が落ちて家屋周辺の通行が困難になる箇所が出る。	【自宅・避難所等】 ・火災が発生し、暗闇の中、赤い炎が見える。 ・夜明けとともに周囲の状況も分かるようになる。 ・メールやSNSなどは大幅に遅れて届く事態が発生する。 ・積雪により避難に時間がかかる。低体温症の症状が出る者がいる。また、転倒でケガをする者もいる。 ・ライフラインが停止し、人工呼吸器や透析等で在宅医療を受けている人の生命維持が困難となり、自宅などで日常生活をサポートする電動介護用ベッドなどの器具等が利用困難となる。 ・近隣の人が協力して生理めになった人の救助活動が行おうとするが、雪の影響で困難なケースもある。	【自宅・避難所等】 ・自主防災組織が中心となり、倒壊家屋からの救出作業を実施する。 ・余震が発生した際は、救出作業は一時中断する。 ・余震が続き、自宅の建物被害等がなくても、不安等から車身高齢者や高層階居住者などを中心に、多数の住民が避難所等へ避難する。	【自宅・避難所等】 ・非常用発電機等が配備されていない場合や、発電機の燃料が枯渇した避難所では、テレビやスマートフォンによる情報収集や、照明、空調、避難所情報の管理に用いるパソコン等が利用できない。 ・日が暮れ、暖房が使用できない中で、一層冷え込みが厳しくなる。 ・日ごとの非常食のみの提供となり、備蓄も布のみで寒さをしのぐようになる。 ・着の身着のまま避難した被災者にとって、翌日、一旦自宅へ衣服や暖房器具を取り戻りたいという声がある。	【避難所】 ・飲料水や食料の備蓄がなくなった者なども避難所に避難してこるため、避難者が増加する。 ・自主防災組織が避難所運営に協力的な避難所では、避難スペースの割当や食料の配給などもスムーズに行われる。 ・一方、そうでない避難所では、後から来た人の避難スペースがなくなったり、通路が狭く避難所内の行き来が容易でなかったり、食料や物資の配給も早い者勝ちになるなどして、一部の避難者から苦情が出るケースも出てくる。 ・一部の避難所では、自衛隊が炊き出しや入浴支援を開始している。	【避難所】 ・自宅に避難していた者も食料や水の備蓄がなくなり、避難所へ物資をもらいにやってくる。 ・暖房器具や燃料、粉ミルクやおむつなどの物資の不足が深刻である。 ・寒さから、風邪をひいたり、体調を崩す人が出はじめる。 ・くみ取り式の仮設トイレでは、貯留槽が満杯になり、処理作業を行うバキュームカーの不足等により、使用が困難になる。 ・避難所では足腰の弱い高齢者などが、トイレに行く回数を減らすために水分摂取を控えるなどして、エコノミークラス症候群を発症する。 ・避難所に避難者が入りきれない場合、他の地域の避難所への受入れ調整が行われるが、広域的に被害が発生しているため、受入れ可能な避難所の確保が困難となる。	【自宅・避難所等】 ・概ね電力は復旧し、電熱器具などの使用ができるようになる。 ・避難生活の長期化に伴い、避難所の周辺にでマイカーの中で避難生活を送っていた被災者などを中心に、エコノミークラス症候群や生活不活発病を発症する避難者が増加する。 ・ペースが不足する避難所では、インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染症がまん延するところも出てくる。 ・ごみ収集・し尿処理収集の遅れ等により、避難所の生活ごみやし尿が回収されず、避難所の衛生状態が悪化する。 ・一部の鉄道の復旧やバスによる輸送が再開され、被災者も移動ができるようになる。 ・自治体による応急仮設住宅への入居希望調査が始まる。	【自宅・避難所・応急仮設住宅等】 ・被災認定調査の結果を受けて、被災証明書が発行される。 ・被災者生活再建支援金の支給や税金の減免措置、義援金の配分など、各自自治体で被災者の生活再建を支援するための取組が進められる。 ・ライオンバギーの確保が不十分な環境の中で、避難者の不安やストレスも大きくなる。 ・避難所の物資の持ち帰りや部外者の出入り、盗難や暴力行為等の様々なトラブルが発生する。 ・寒さによる肺炎の発症や既往症を悪化させる人が増える。 ・水不足や歯ブラシ等衛生用品の不足等から、口腔ケアができず、誤嚥性肺炎を発症するなど、体調悪化する者が出てくる。	【自宅・避難所・応急仮設住宅等】 ・被災認定調査の結果に不服を持つ被災者が再調査の依頼を行う。 ・仮設住宅での生活において、孤独感や慣れない生活環境による心身の不調をきたす者などから、自殺者が発生する場合がある。 ・ライフラインの復旧や公共交通機関の再開に伴い、避難所に避難していた避難者が、自宅や親戚・知人宅等へ移動する。
	想定される大被害地域における県民の行動・県民への影響		会津地方							



Ⅲ 被害想定について  
11. 被害シナリオ

表Ⅲ-11.2-4 対策活動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬５時）（１）

③対策活動シナリオ(会津盆地東縁断層帯の地震:冬5時) 活動体制・情報・交通・ライフライン、経済

			発災期 地震発生直後	災害拡大期 10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	災害鎮静期 1日後～
地震・災害事象等			・冬の朝5時、会津盆地東縁断層帯を震源とするマグニチュード7.0規模の地震が発生。 ・会津若松市や郡山市、喜多方市、天栄村、下郷町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、会津美里町で震度7に達する。南会津町、北塩原村、西郷村でも震度6強を観測。 ・地表に地震断層が出現し、段差や横ずれなどの地盤や地面の変位が生じる。			・最大震度5弱～6強の余震が発生		・余震が頻発
想定被災者行動			・会津若松市や磐梯町、猪苗代町を中心に多くの住民が被災 ・消防機関へ救急や消火要請の電話が殺到 ・電話やメールによる家族等の安否確認	・防災行政無線で避難等についての情報を入手 ・自主防災組織を中心に初期消火活動や倒壊建物の下敷きになった住民に対する救出作業を開始	・自主防災組織による救出活動の継続 ・負傷者の手当てや搬送の実施	・自主防災組織による救出活動の継続 ・避難所へ避難する住民が増える ・倒壊家屋からの救出作業が進み、会津若松市を中心に救出された負傷者が増加	・ライフライン断絶のため、自宅の被害がない住民も食料や水を求めて避難所へ行く	・全半壊を免れた建物の室内片づけを開始 →廃棄物増加
想定される対策活動	国		・官邸対策室設置	・自衛隊の近傍災害派遣の開始 ・道路、空港、港湾等の被災情報の収集	・災害派遣要請による自衛隊派遣 ・近隣県の緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の出動要請	・内閣府に災害対策本部を設置 ・国民に対する被害情報の発表 ・内閣府調査チーム、災害時情報集約支援チーム(ISUT)が福島県庁到着	・国交省:災害対策派遣隊(TEC-FORCE)による被害調査 ・総務省:地方公共団体へ人的支援の要請	・大臣等による現地視察 ・政府調査団の派遣 ・経産省:支援物資等の提供要請
		活動体制情報	・震度速報の受信 ・職員の非常参集 ・一部職員の負傷 ・被害が大きく、県庁内は混乱 ・県庁舎全館停電	・県災害対策本部・地方本部の設置 ・指定職員が事務局参集 ・事務局会場設営 ・情報通信手段の確認 ・通信連絡網の確立 ・NTTに回線増設依頼 ・被害状況即報(第1報)取りまとめ ・関係機関への通知 ・地方本部との連絡体制整備 ・職員登庁先、安否確認(発災から6時間以内までに完了する。) ・職員家族の安否確認 ・知事メッセージ ・原子力発電所の情報収集(原子力班) ・自衛隊リエゾンとの事前調整(救助、給水等) ・第1回本部員会議開催 ・災害救助法の適用調整 ・災害救助法4号適用の検討 ・自衛隊災害派遣要請の準備 ・連絡員の本部派遣依頼 ・リエゾン職員を市町村に派遣	・被害状況即報取りまとめ(以降、2時間毎～本部会議に合わせて適時) ・職員は登庁途上で被害情報収集 ・自衛隊への災害派遣要請 ・県内広域応援隊による消火、救助活動 ・消防防災ヘリ情報収集出動 ・ヘリによる情報収集 ・消防庁(緊急消防援助隊)、広域応援ヘリ、国、自治体、知事会等への応援要請と受入体制の整備 ・自衛隊作業計画作成 ・広域救急救隊要請 ・被害、対策関係HPの立ち上げ ・県民への広報 ・災害救助法の適用 ・内閣府への災害救助法適用の報告 ・市町村への災害救助法適用の報告 ・各種公共施設の安全対策 ・第2回本部員会議開催(以降、適時開催) ・リエゾンルーム確保 ・定期的な情報収集 ・使用可能な通信手段の通知 ・リエゾン職員による情報収集 ・ヘリからの災害情報提供 ・定期的な被害報告 ・倉庫業協会の本部参画(救援物資関連) ・トラック協会の本部参画	・リエゾン職員から画像データ入手 ・被害情報とともに安心情報の発信 ・広域応援の受入準備 ・国、関係機関のリエゾン職員受入 ・応急復旧作業 ・アマチュア無線協力依頼 ・ミラーサーバー等の設置 ・被害情報の確認 ・市町村からの応援要請 ・自衛隊現地本部への職員派遣 ・関係省庁連絡会議(以降、適時開催) ・県内被害情報の収集整理(⇒)	・災害救助法の適用(追加) ・国への被害状況報告(⇒) ・内閣府への災害救助法適用の報告 ・市町村への災害救助法適用の報告 ・死者、行方不明者の氏名公表の検討及び公表 ・知事の現地視察及び視察先の検討、調整 ・市町村への応援職員派遣 ・孤立化地域への支援体制の確立	・広域応援職員受入 ・本部会議の開催頻度検討(1回/日) ・大臣等の視察対応、国への要望 ・県議会からの要望対応 ・県の応急対策方針等の明確化および対策実施の指示
	県	交通 ライフライン		・福島空港は点検後、すぐに利用可能 ・被害情報(救急輸送(港湾・空港))の収集	・道路の被災情報の収集→災対本部へ被害報告 ・ライフライン関係機関との情報連絡体制の確立 ・緊急輸送路の確保 ・交通規制実施、周知 ・物資受入機能の回復 ・ヘリ臨時離着陸場の使用可能状況調査 ・使用可能車両(トラック・バス)の把握と確保	・建設業者との連絡調整、復旧作業のための資機材及び人員の確保 ・緊急輸送車両の確保 ・緊急通行車両証明書発行 ・ライフライン被害状況の広報 ・電子メール等の通信網徐々に回復 ・インターネット復旧 ・緊急輸送物資受入 ・上水道の広域復旧支援要請 ・支援物資輸送 ・臨時電話の設置 ・県管理道路の被害状況の把握(⇒)	・被害を受けた緊急輸送道路の優先的復旧開始 ・高速道路無料化対応(災害派遣車両) ・高速道路使用無料措置の調整	・輸送拠点の開設、運営 ・応急復旧体制の確立、建設機械等の調達 ・警察等による交通整理の実施 ・ライフライン復旧の見通しについて広報 ・福島空港が災害時拠点施設、広域搬送拠点に指定 ・ガソリン等の供給要請 ・水道被害・応急給水状況確認
		経済						
	市町村等	会津地方（大被害地域）	【市町村】 ・震度速報の受信 ・災害対策本部の設置 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・職員の非常参集 ・職員の安否確認 ・職員家族の安否確認 ・消防機関の出動 ・避難場所の確保 【住民】 ・自主防災組織の活動開始	【市町村】 ・自宅にいた職員が登庁 ・(県へ)被害第1報報告 ・被害状況調査(上水道、下水道) 【関係機関】 ・県へ被害報告 ・空港ビル安全確保 【ライフライン事業者】 ・電話輻輳のため通話規制開始 ・災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板(携帯電話等)の運用を開始 ・被害状況調査(電力施設、ガス施設、鉄道施設、放送施設) ・被害状況収集(電気通信施設) ・ガス供給停止措置 ・鉄道の乗客利用者の安全な誘導 ・鉄道利用者の避難確保(電気通信施設) ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・災害情報、避難呼びかけ等の速やかな放送(放送施設)	【市町村】 ・職員は登庁途上で被害情報収集 ・参集者による活動体制調整 ・県に対して概況速報報告、救援要請 ・避難所開設の要員確保、自主防災組織との協力 ・県に自衛隊の派遣要請 ・災害対応ホームページ掲載 ・災害情報の掲載 ・上水道の応急対策状況の広報 ・重要な上水道から復旧作業 【ライフライン事業者】 ・被害状況の確認、行政へ被害速報 ・復旧作業員の招集 ・NTT緊急通話確保 ・応急対策状況の広報(電力施設、ガス施設) ・応急復旧作業(電力施設、ガス施設) ・鉄道運行状況の広報 ・鉄道利用者の避難所への誘導 ・優先順位により通信の回復(電気通信施設) ・災害情報、被災者向け情報の適時適切な発信(放送施設) 【自衛隊】 ・自衛隊ヘリ情報収集、自主派遣	【市町村、関係機関、企業】 ・被害情報の共有 【市町村】 ・県への被害報告 ・人員不足のため全ての被害への対応困難 ・住民に被害状況伝達(防災行政無線) ・上水道応急対策に関して、日本水道協会への要請 ・災害救助法に関して県からの情報提供 ・死亡者・行方不明者等の氏名公表に係る遺族等の意向確認 【ライフライン事業者】 ・被害状況の行政への連絡 ・市町村の災害対策本部へ職員派遣 ・伝言ダイヤル等活用周知 ・応急復旧作業(鉄道施設) ・鉄道不通区間の再開見通し広報	【市町村、関係機関、企業】 ・死者・行方不明者の氏名公表要件の確認 ・要件確認後、順次氏名公表 【市町村】 ・現有人員による被害対応体制の調整(優先度の確認) ・県を通じ他自治体に応援派遣要請 【関係機関、企業】 ・衛星通信システム配備 【ライフライン事業者】 ・応急復旧体制の立ち上げ ・復旧計画策定(下水道)	【市町村】 ・災害救助法に基づく活動展開 ・ライフライン等の復旧状況、見通しについて住民に広報 ・ボランティアの受け入れ、当初は混乱 ・県や他自治体からの応援人員受入、調整 【ライフライン事業者】 ・応急復旧作業開始 ・復旧の見通しについて行政に連絡 ・LPガスは安全確認次第復旧
		上記以外の地域	【市町村】 ・震度速報の受信 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 ・住民への速やかな避難指示・誘導	【市町村】 ・被害状況を確認し、住民へ速報 ・(県へ)被害第1報報告 ・被害状況調査(上水道、下水道) 【関係機関】 ・県へ被害報告 ・空港ビル安全確保 【ライフライン事業者】 ・被害状況調査(電力施設、ガス施設、鉄道施設、放送施設) ・被害状況収集(電気通信施設) ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・行政への被害速報 ・ガス供給停止措置 ・鉄道の乗客利用者の安全な誘導 ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・災害情報、避難呼びかけ等の速やかな放送(放送施設)	【市町村】 ・被害情報収集、県に報告 ・災害対応ホームページ掲載 ・災害情報の掲載 ・上水道の応急対策状況の広報 ・重要な上水道から復旧作業 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【ライフライン事業者】 ・安全確認後、ライフライン復旧 ・被害地域は、応急復旧体制の立ち上げ ・NTT緊急通話確保 ・応急対策状況の広報(電力施設、ガス施設) ・鉄道運行状況の広報 ・鉄道利用者の避難所への誘導 ・優先順位により通信の回復(電気通信施設) ・災害情報、被災者向け情報の適時適切な発信(放送施設) 【自衛隊】 ・自衛隊ヘリ情報収集、自主派遣	【市町村、関係機関、企業】 ・被害情報の共有 【市町村】 ・県に被害状況の報告 ・自宅を失った住民の情報収集 ・上水道応急対策に関して、日本水道協会への要請 ・死亡者・行方不明者等の氏名公表に係る遺族等の意向確認 【ライフライン事業者】 ・復旧の見通しについて行政に連絡 ・応急復旧作業(鉄道施設) ・鉄道不通区間の再開見通し広報	【市町村】 ・会津地方に対する応援職員の派遣検討 【ライフライン事業者】 ・復旧状況、復旧予定時期を行政に連絡 ・復旧計画策定(下水道)	【市町村】 ・会津地方へ応援職員の派遣 【ライフライン事業者】 ・復旧作業完了後、復旧要員の一部を大被害地域へ派遣



表Ⅲ-11.2-5 対策活動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）（2）

③対策活動シナリオ(会津盆地東縁断層帯の地震:冬5時) 活動体制・情報、交通・ライフライン、経済

			復旧・復興期				
			3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～数年
地震・災害事象等			・地震により緩んだ急傾斜地等が降雨により崩壊	・余震が次第に減少			
想定被災者行動			・応急危険度判定により安全が確認された住宅の被災者は、ライフライン復旧に比例し、順次帰宅 ・飲料水から生活用水へとニーズが拡大	・全半壊の建物を除き、概ね片づけを終了 ・全半壊建物における再建方法を思索 ・観光客の帰宅	・身体的精神的に疲労が蓄積 ・全半壊住宅の被災者の自力による転居が増加	・避難所に残っていた被災者が仮設住宅等への入居を開始	
想定される対策活動	国				・緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣解除	・復旧・復興に関する会議を開催 ・激甚災害の指定	・自衛隊の撤収
		活動体制情報	・激甚災害指定の見通し把握 ・業務量に応じ本部体制の見直し ・降雨による河川、斜面等の二次災害への警戒	・本部会議の開催頻度検討(2、3回/週) ・県内の復旧情報の収集整理及び災害復旧体制の整備(⇒) ・国への復旧状況報告(⇒) ・帰宅困難者への帰宅支援	・本部会議の開催頻度検討(1回/週) ・災害廃棄物処理基本方針の決定 ・復興基金の検討 ・身元不明者情報のHP掲載開始 ・義援金品の配分委員会を組織	・復興計画策定体制の確立 ・「福島県震災復旧・復興本部」設置 ・他都道府県・県外市町村からの中長期派遣職員受入開始(順次)	・自衛隊の撤収要請 ・追悼式 ・福島県復興に関する展示開始
		交通 ライフライン	・緊急輸送計画の作成 ・県管理道路の応急復旧開始 ・ライフラインの復旧状況、地区別の復旧予定時期について広報 ・被災港湾の一部供用開始 ・工業用水の復旧方法検討			・約2ヵ月で緊急輸送道路の応急復旧が概ね完了	・県管理道路について、応急復旧の継続 ・県内の水道復旧状況の把握(概ね復旧が完了)
		経済	・産業関係被害の情報収集 ・物価の監視	・被災中小企業、農林水産業者等への援助、助成措置の広報	・税の減免	・融資の実施 ・天災資金の予算化	・事業所、商店街等の復興PR等実施 ・義援金配分
	市町村等	会津地方（大被害地域）	【市町村】 ・二次災害への警戒 【ライフライン事業者】 ・応急復旧の本格化 ・復旧状況、復旧予定時期を行政に連絡 【ライフライン事業者】 ・通信回線が復旧	【市町村】 ・県、国への復旧支援要請 ・復旧状況についての広報 ・被災中小企業、被災農林水産業者等に対する援助、助成措置について広報 ・被災者一人ひとりへのケア体制の整備 【ライフライン事業者】 ・電力が復旧	【市町村】 ・対策実施状況に応じた人員構成の再調整 ・上水道が復旧 【ライフライン事業者】 ・都市ガスが復旧	【市町村】 ・災害対策本部廃止、災害復興本部(仮称)設置	【市町村】 ・県に対し、自衛隊の撤収要請 ・下水道について応急復旧の継続
		上記以外の地域	【市町村】 ・応急対策にめどが立つ ・災害対策本部廃止、警戒本部設置 【ライフライン事業者】 ・応急復旧完了	【市町村】 ・復旧復興対策へと移行し、人員配置を変更 ・警戒本部廃止			【市町村】 ・会津地方へ応援職員の派遣継続、復興支援



表Ⅲ-11.2-6 対策活動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）（3）

④対策活動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時） 救出・救急・医療・福祉、避難・救援、住宅

		発災期	災害拡大期		災害鎮静期			
		地震発生直後	10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	1日後～	
地震・災害事象等		・冬の朝5時、会津盆地東縁断層帯を震源とするマグニチュード7.0規模の地震が発生。 ・会津若松市や郡山市、喜多方市、天栄村、下郷町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、会津美里町で震度7に達する。南会津町、北塩原村、西郷村でも震度6強を観測。 ・地表に地震断層が出現し、段差や横ずれなどの地盤や地面の変位が生じる。			・最大震度5弱～6強の余震が発生		・余震が頻発	
想定被災者行動		・会津若松市や磐梯町、猪苗代町を中心に多くの住民が被災 ・消防機関へ救急や消火要請の電話が殺到 ・電話やメールによる家族等の安否確認	・防災行政無線で避難等についての情報を入手 ・自主防災組織を中心に初期消火活動や倒壊建物の下敷きになった住民に対する救出作業を開始	・自主防災組織による救出活動の継続 ・負傷者の手当てや搬送の実施	・自主防災組織による救出活動の継続 ・避難所へ避難する住民が増える ・倒壊家屋からの救出作業が進み、会津若松市や磐梯町、猪苗代町を中心に救出された負傷者が増加	・ライフライン断絶のため、自宅の被害がない住民も食料や水を求めて避難所へ行く	・全半壊を免れた建物の室内片づけを開始→廃棄物増加	
想定される対策活動	国	・官邸対策室設置	・自衛隊の近傍災害派遣の開始	・厚労省:DMATの派遣 ・災害派遣要請による自衛隊派遣 ・近隣県の緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の出動要請	・内閣府に災害対策本部を設置 ・自衛隊:大被害地域での救出、搬送活動を開始 ・救助救急活動用の資機材の確保 ・厚労省:広域後方医療活動の総合調整	・自衛隊、海上保安庁:航空機による患者搬送 ・厚労省:医療体制確保を関係団体に要請 ・国交省:災害対策派遣隊(TEC-FORCE)による被害調査	・経産省:支援物資等の提供要請 ・厚労省:心のケア対策として専門家を現地派遣	
	県	救出救急医療福祉	・情報収集(救助救急の必要状況) ・県立病院での受入体制確保および医療看護班派遣準備	・要救出救助現場の把握→緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣要請 ・市町からの応援要請に対応 ・医療看護班の派遣及び医療機関への派遣要請 ・DMATの派遣要請 ・トリアージの実施	・災害拠点病院を中心に、救護活動の実施、支援 ・緊急医療活動情報の集約 ・緊急輸送ルート、手段の確保 ・医薬品・医療機器等の供給 ・DMAT等調整本部の設置 ・SCU(広域医療搬送拠点)本部設置 ・ドクターヘリ調整本部設置 ・緊急消防援助隊の活動調整	・県外の後方医療機関との調整 ・医薬品、資機材等が不足の場合、隣接県、厚労省に協力要請 ・孤立集落からの重傷者の搬送(航空輸送による)	・市町が行う要支援者対策への支援 ・国へ県外からの保健師等の派遣幹旋要請 ・ヘルパー、ボランティア等の応援派遣 ・カウンセラー、相談員等の巡回	
		避難	・報道機関を通じ、県民や観光客へ避難等の呼びかけ(⇒) ・各拠点庁舎から職員一時退避、安全が確認され次第、県災害対策本部設置	・避難誘導 ・救助活動	・避難用輸送手段の確保 ・救援物資受入拠点の選定 ・個人等の物資受入辞退周知	・市町からの各種救援要請に対応 ・広域避難の調整 ・断水による仮設トイレ調達 ・避難所等への仮設トイレ設置 ・レンタル業者に仮設トイレ等の調達要請 ・DMAT、広域援助体制による救援活動 ・支援物資要望への対応(備蓄品) ・避難所への人的支援の調整 ・2次避難所の検討開始 ・旅館ホテル等の2次避難所開設要請 ・食糧必要数の情報収集 ・協定先との協議(救援物資) ・外国人向け相談窓口、インターネット情報掲載 ・義援物資要請取りまとめ公表	・農政局に食糧の供給要請 ・市町の依頼による給水応援 ・協定先から支援物資調達、配送 ・入浴支援に関する自衛隊との調整(入浴施設派遣要請) ・避難所への人的支援開始 ・警備系協会へ警備員派遣要請 ・義援金受付口座公表	・必要物資の把握、生活必需物資の確保・調達、ボランティアの調整及び支援を実施(⇒) ・観光客の把握 ・被災ペットの保護活動実施(⇒) ・旅館、公共施設等入浴施設への協力要請
		救援						
	住宅		・被災建築物応急危険度判定支援本部設置				・応急仮設住宅の必要戸数把握 ・建築基準法第85条第1項に基づく区域指定(仮設建築物に対する制限を緩和する区域) ・耐震診断判定委員会等による被災状況調査 ・罹災証明書の発行に係る市町村説明会の開催 ・応急仮設住宅(建設型、賃貸型)の供給計画の作成 ・下水道応急復旧作業	・住家被害認定調査の支援調整 ・廃棄物集積場検討への支援 ・仮置き場(災害廃棄物)の巡回指導開始 ・被災状況調査 ・被災者への住宅提供の検討 ・救援物資配送における人員、車両の確保 ・廃棄物集積場の検討 ・住家の障害物除去 ・小規模避難所の集約(コロナに配慮) ・避難所の生活環境改善 ・建設型応急住宅、賃貸型応急住宅計画の方向性作成 ・ニーズに応じた物資の提供 ・応急復旧作業 【消防】 ・重傷者の域外転送 【自主防災組織】 ・炊き出しの実施 ・自力で可能な救出活動は終了 【自衛隊】 ・自衛隊による入浴支援
市町村等	会津地方(大被害地域)	【市町村】 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 【医療機関】 ・停電した場合、非常用電源切替 【住民等】 ・家族の安否確認 ・地域による声かけ、避難誘導 ・救出が必要な場合、消防等に連絡 【自主防災組織】 ・住民、要支援者の避難誘導	【市町村】 ・情報収集(救助救急状況) 【消防】 ・消火の実施 【医療機関】 ・被災状況、入院患者の安否確認、入院患者転院、負傷者対応の準備を実施 【自主防災組織】 ・初期消火活動 ・住民の安否確認、救出、救急救助活動(⇒)	【市町村】 ・救出活動の応援要請 ・避難所開設(要員確保、自主防災組織との協力)、周知 ・県内広域応援による消火活動 ・県内広域応援隊による救急活動 ・福祉避難所の運営 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【消防】 ・医療機関へ負傷者の搬送 【医療機関】 ・DMATの派遣 ・医療機関の被災により、入院患者について近隣医療機関へ転院を開始 ・ライフライン応急復旧の要請 【自主防災組織】 ・避難所での避難受入、整理 【関係機関】 ・行方不明者等の搜索 【自衛隊】 ・応急給水開始	・救援活動開始 【市町村】 ・避難所自主運営組織の確立 ・救護班の要請、救護所設置 ・避難所に仮設トイレの設置 ・避難所における要配慮者への配慮(配食、トイレ等への配慮) ・県等への避難所設置要請 ・避難状況の把握 ・社会福祉施設等へ受入要請(トラック・バスによる)避難者等輸送 ・備蓄品による供給 ・生活必需品の必要数収集 ・毛布等の避難所への提供 【消防】 ・救出救助活動の継続 ・重傷者を後方医療機関へ転送する必要がある、ヘリコプターの派遣要請 【医療機関】 ・医療看護班編成、現地での救護(トリアージの実施) ・災害拠点病院における重篤救急患者の救命医療 ・医療機関相互の密接な情報交換 ・会津地方の大被害エリアで受入困難→転送先確保	【市町村】 ・(協定先から)食料、一般的生活必需品の供給及び避難者へ提供 ・食料、飲料水、生活費需品、仮設トイレ等の不足→救援物資の要請 ・避難所でのペット対策 ・要支援者の把握、福祉避難所の状況確認、受入先確保 ・帰宅困難者を一時避難所、一時宿泊施設へ誘導 ・災害廃棄物の仮置き場の設置 ・応急仮設住宅の必要戸数把握 【消防】 ・救出、搬送活動の実施 ・重傷者の域外転送	【市町村】 ・行方不明者搜索 ・ボランティアセンター設置 ・一般ボランティア、専門ボランティアの受入開始 ・建物応急危険度判定士の派遣要請 ・要支援者を福祉避難所へ移動 ・被災者への住宅提供の検討 ・救援物資配送における人員、車両の確保 ・廃棄物集積場の検討 ・住家の障害物除去 ・小規模避難所の集約(コロナに配慮) ・避難所の生活環境改善 ・建設型応急住宅、賃貸型応急住宅計画の方向性作成 ・ニーズに応じた物資の提供 ・応急復旧作業 【消防】 ・重傷者の域外転送 【自主防災組織】 ・炊き出しの実施 ・自力で可能な救出活動は終了 【自衛隊】 ・自衛隊による入浴支援	
	上記以外の地域	【市町村】 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 【住民】 ・地域による声かけ、避難誘導 【自主防災組織】 ・住民、要支援者の避難誘導	【消防】 ・救出活動、負傷者の搬送 【自主防災組織】 ・初期消火活動 ・住民の安否確認、救出、救急活動の実施	【市町村】 ・避難者発生地域は、避難所を開設、周知 ・県内広域応援による消火活動 ・県内広域応援隊による救急活動 ・福祉避難所の運営 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【消防】 ・医療機関へ負傷者の搬送 【医療機関】 ・負傷者の手当て 【関係機関】 ・行方不明者等の搜索 【自衛隊】 ・応急給水開始	【市町村】 ・避難所自主運営組織の確立 ・仮設トイレの設置 ・県等への避難所設置要請 ・避難状況の把握 ・社会福祉施設等へ受入要請(トラック・バスによる)避難者等輸送 ・備蓄品による供給 ・生活必需品の必要数収集 ・毛布等の避難所への提供 【消防】 ・会津地方への応援出動	【市町村】 ・協定先から食料・物資供給 ・一般的生活必需品の提供 ・避難者に食料等の提供 ・物資不足地域は供給要請 ・会津地方への物資提供の検討 ・応急仮設住宅の必要戸数把握	【市町村】 ・被災者への住宅提供の検討 ・公営住宅等の空家確認 ・会津地方への救援物資の提供 ・小規模避難所の集約(コロナに配慮) ・避難所の生活環境改善 ・建設型応急住宅、賃貸型応急住宅計画の方向性作成 ・ニーズに応じた物資の提供 ・応急復旧作業 【自衛隊】 ・自衛隊による入浴支援	



表Ⅲ-11.2-7 対策活動シナリオ（会津盆地東縁断層帯の地震：冬5時）（4）

			復旧・復興期				
			3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～数年
地震・災害事象等			・地震により緩んだ急傾斜地等が降雨により崩壊	・余震が次第に減少			
想定被災者行動			・応急危険度判定により安全が確認された住宅の被災者は、ライフライン復旧に比例し、順次帰宅 ・飲料水から生活用水へとニーズが拡大	・全半壊の建物を除き、概ね片づけを終了 ・全半壊建物における再建方法を思案 ・観光客の帰宅	・身体的精神的に疲労が蓄積 ・全半壊住宅の被災者の自力による転居が増加	・避難所に残っていた被災者が仮設住宅等への入居を開始	
想定される対策活動	県	国	・文科省：学校施設の安全点検	・厚労省：健康相談窓口を設置	・文科省：スクールカウンセラーの派遣 ・緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣解除	・総務省：特別行政相談所を被災地に順次開設	・自衛隊の撤収
		救出救急医療福祉	・避難所における栄養管理の必要な人に対する周知ポスターの掲示 ・避難所等における感染症・食中毒の発生防止パンフレット作成 ・県外保健師等の応援派遣受入れ調整 ・支援医薬品等集積所の運営 ・自衛隊による医薬品搬送開始		・PTSDへのケアの実施(⇒) ・県内保健師の会津若松市等への応援派遣 ・薬剤師派遣要請		・子供の心のケア事業開始 ・病院・診療所等災害復旧事業 ・被災者健康サポート事業(被災市町村の専門職確保支援等)開始 ・女性のための電話相談ふくしま開設
		避難救援	・被災者生活再建支援法の適用 ・市町を通じて要支援者の把握→福祉避難所の確保 ・孤立集落への物資の航空輸送(⇒) ・県域災害ボランティアセンター設置 ・旅館ホテル等の2次避難所への避難開始 ・生活再建支援に関する施策情報の提供(ガイドブック作成)	・食品衛生監視員による現地指導 ・入浴施設確保への支援 ・帰宅困難者への帰宅支援 ・「電話・メールの問い合わせ窓口」設置 ・避難所に県職員派遣	・海外からの救援物資、資金援助受入れ対応 ・緊急小口資金特例貸付開始 ・栄養・食生活支援等開始 ・介護保険にかかる保険料・利用者負担・食費・居住費の減免開始 ・「金融相談窓口」「労働相談窓口」設置 ・市町村への義援金の配分		・生活支援相談員配置 ・各種基金・給付金等の設置・給付開始 ・介護保険にかかる保険料・利用者負担の減免の原則終了
		住宅	・建物応急危険度判定の開始 ・公営住宅等の空家確認 ・仮設住宅資材の確保 ・自衛隊、事業者による仮置き場(災害廃棄物)搬入 ・住家被害認定調査の人的支援開始 ・応急仮設住宅(賃貸型)の入居開始 ・応急仮設住宅(建設型)の着工(状況に応じて随時着工) ・救助法による応急修理実施要領の検討	・市町と連携し、がれき処理の検討 ・被災者住宅再建支援制度の適用 ・県独自の住宅修理支援策の検討	・応急仮設住宅入居者決定(要支援者優先、コミュニティ配慮) ・「被災者住宅入居相談窓口」設置 ・民間賃貸住宅借り上げ制度の運用開始 ・罹災証明書の発行(1次)終了 ・県独自の住宅修理支援策の公表		・長期避難者等の生活拠点の検討のための協議会 ・県内自主避難者に対する借上住宅支援開始
	市町村等	会津地方（大被害地域）	【市町村】 ・降雨により土砂災害危険が高い地域へ避難指示 ・被災者に関する情報のデータベース化 ・被災動物対策 ・入浴施設の確保 ・避難所でのプライバシー確保、要配慮者や女性への配慮 ・義援金の受付 ・仮設住宅建設の用地確保 ・公営住宅等の空家確認 ・仮設住宅入居時期や手続きについての広報 ・各種相談窓口の設置 ・こころのケア(⇒) ・ホームヘルパー等の巡回による健康相談(⇒) ・近隣自治体の協力により広域的な火葬の実施 ・住家被害認定調査開始→罹災証明書の発行 ・応急仮設住宅(建設型)の着工(状況に応じて随時着工) 【消防】 ・救出救助活動の収束→遺体捜索へ移行	【市町村】 ・災害対策広報の作成、配布 ・被災者の心身不調への対応 ・応急仮設住宅入居申込の受付 ・一部の被災者を公営住宅等に入居 【自主防災組織】 ・避難所の自主運営	【市町村】 ・学校等の再開 ・被災者生活再建支援法等に関する説明会の実施 ・被災者に対する住宅復興支援等、市町独自の金銭的支援策の決定 ・1次避難所の廃止 ・罹災証明書の発行(1次)終了	【市町】 ・応急仮設住宅入居開始	【市町】 ・仮設住宅入居等による避難所の縮小
		上記以外の地域	【市町村】 ・一時避難者(要配慮者)受入施設の確保及び受入 ・住家被害認定調査開始→罹災証明書の発行 ・応急仮設住宅(建設型)の着工(状況に応じて随時着工)	【民間】 ・日帰り入浴の受入	【市町村】 ・1次避難所の廃止 ・一部の被災者を公営住宅等に入居	【市町】 ・残りの避難所についても閉鎖	



表Ⅲ-11.2-8 被害シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時）（1）

①被害シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時（火災被害が多く発生する季節時間帯））

		地震発生直後～ 18:00	1時間後～ 19:00～	3時間後～ 21:00～	12時間後～ 6:00～	1日後～
地震動		●冬の夕方18時、福島盆地西縁活断帯を震源とするマグニチュード7.1規模の地震が発生。 ●福島市を中心に伊達市や桑折町、国見町の一部地域で震度7に達する。猪苗代町で震度6強を観測。 ○地表に地震断層が出現し、段差や横ずれなどの地盤や地面の変位が生じる。		○最大震度5弱～6強の余震が発生。		○余震が頻発。
建物被害	液状化	●液状化の被害は揺れに比べると少なく、全県で全壊564棟、半壊3,066棟。 ●揺れの被害が少ない相馬市や川俣町では液状化被害の方が多く発生。		○マンホールが地中からせり出したり、噴砂の発生により車両通行への支障が各地で発生。		
	揺れ	●福島市では13,700棟、桑折町では2,539棟、国見町では1,488棟、伊達市で1,368棟の建物が揺れによって全壊となる。甚大な被害はほぼこの4市に集中する。 ●県全体で揺れによる全壊19,107棟、半壊35,876棟。 ○地盤や地面の変位によって建物が壊れたり、傾くなどの被害が生じる。		○余震により、被害が進行する。		
	土砂災害	●福島市や伊達市、二本松市などで若干の土砂災害による建物被害が発生。 ●全壊12棟、半壊26棟。		○余震や降雨等で土砂災害が増加。	○流れ出た土砂によって道路が塞がれ、迂回を余儀なくされる箇所が発生。	
	火災		●福島市では52件、桑折町で8件、伊達市で7件、国見町で4件の出火が発生するなど全県で74件の出火が発生し、初期消火により一部は消火されるも炎上。 ●炎上した火災のうち一部は消防機関や消防団の活動により、消火あるいは自然鎮火。 ●全県で45件が延焼に発展。	○消防機関による消火を継続するが、さらに延焼。	●さらに延焼し、全焼棟数は全県で13,936棟に達する。 ●被害は福島市、伊達市、桑折町、国見町に集中。	○直後に発生した火災は概ね鎮火。 ○電力の復旧により、新たに通電火災が発生するおそれ。
人的被害		●福島市を中心に人的被害が発生（全県で死者1,434人、負傷者13,910人うち重傷者は3,985人）。 ●死傷者のほとんどは建物倒壊によるもので、死者918人、負傷者7,206人。死傷者は、伊達市、桑折町、国見町でも発生。 ●家具の転倒等により、死者12人、負傷者264人、重傷者48人発生。土砂災害やブロック塀等の転倒による被害は軽微。 ●建物等の下敷きになり、自力脱出困難者も発生。 ●要配慮者の死者は268人、負傷者は2,593人。福島市では100人を超える死者が発生する。また、負傷者も福島市で1,861人、伊達市で343人、桑折町で227人発生。重傷者も全県で741人発生。 ○建物被害のほか、停電の影響を受け、福島市を中心にエレベータが一部停止し、閉じ込めが発生。		○福島市を中心に被害が集中し、局地的に要救出者が多数発生したことにより、救助活動が遅れる。低体温症による死亡も発生する。 ○被害が集中する福島市から周辺の災害拠点病院へ重傷者の広域搬送が行われる。		●火災による死者は516人、負傷者6,702人発生。 ○気象条件や地理条件、救助活動支障により、救助が難航・長期化する。特に火災発生件数の多い福島市では、同時多発火災となったことで、消火、救助の対応に追われる。
生活 支 障 等	避難者	●中通りを中心に避難者が多数発生（避難所避難者32,236人、避難所外避難者21,490人）。 ●福島市の全避難者は43,530人にのぼる。桑折町では4,707人、伊達市で3,202人、国見町で2,087人の避難者が発生。 ○避難路の被災や避難時の混乱による二次被害発生。		○避難所へ避難する住民が増える。 ○避難所開設時に混乱が発生。 ○停電により、寒さで体調を悪化させる避難者が多発する。		○避難所におけるトイレが不足する。非指定避難所では更に深刻な事態となる。 ○避難所におけるベットの飼育が問題となり、避難者間でトラブルとなる。
	要配慮者	○避難行動要支援者の安否確認や避難支援が必要。 ●避難所に避難する要配慮者は、5,961人にのぼる。		○在宅の避難行動要支援者の安否確認等のための人員が不足。 ○要配慮者が避難所内で適切に生活するための場所を確保することが困難。		○透析患者等内部障がい者への医療対応の難航。
	物資不足	○食料、飲料水、毛布、粉ミルク（乳児用）、乳児用・大人用おむつ、簡易トイレ、トイレトペーパー、生理用品のほか、避難所の感染症対策やプライバシー確保のため、マスクやパーテーションなどの需要が発生する。 ○寒さ対策のため、避難所で暖房器具も必要となる。		○毛布、粉ミルク、仮設トイレ、トイレトペーパーが不足する。		○車やテントなど、避難所以外の施設に避難している人も多数おり、支援物資の不足状況の把握が困難になる。（⇒）
	災害廃棄物発生	○道路上などに障害物が発生。家屋だけでなく、自動車、樹木・材木等も災害廃棄物となる。				○全壊した建物を中心に廃棄物が発生。 ○発生した廃棄物を処理するための輸送力、集積場所の確保が必要。
	孤立集落	○福島市の北西部で道路被害が多く、孤立集落が発生する。		○一部地域では、迂回時間の長時間化により、迅速な手当を要する要救助者に対するヘリでの搬送が行われる。		
交通	緊急輸送道路	●平面道路の被害はほぼ中通り北部に集中し、56箇所の緊急輸送道路に被害が発生。クラック等により点検を要する橋梁もある。		○緊急輸送道路では交通規制により、緊急車両のみ通行可能となる。 ○細街路の閉塞により、応急活動に支障が生じる。 ○揺れが強い地域では地震被害に伴う道路閉塞、交通規制により、大規模な交通渋滞が発生。		
	鉄道	●阿武隈急行、JR奥羽線、東北線を中心に在来線等で329箇所の揺れによる被害が発生し、運行を停止する。東北新幹線も15箇所の被害発生により、運行を停止する。 ○鉄道の停止により、帰宅が困難となる通勤者が発生。 ○被害のない路線でも、点検のため一時運休または当日は運休。	○鉄道の運休により、帰宅が困難となった移動者が駅周辺の避難所やホテル等に移動		○不通となったエリアは、応急復旧作業や被害状況の把握及び復旧に向けた作業の準備が開始される。	
	港湾	●相馬港や松川浦漁港で揺れ・液状化による小規模の岸壁の被害が発生。 ○設計を超える地震動による建造物の大きな被害が増加する。			○道路被害や渋滞の拡大により被災箇所へのアクセスが困難になる。	
	空港	○滑走路の点検後、すぐに運転再開。				
ライフライン	電力	●福島市で約26万人、伊達市で約4万9千人、郡山市で約2万5千人が停電の影響を受ける。そのほか停電は中通りを中心に広域に発生し、全県では約41万人が停電の影響を受ける。		○ライフライン断絶による生活支障が発生。 ○災害対策本部や病院等におけるライフラインのバックアップ機能が限界を超え、様々な活動支障が発生。		●全県では、停電人口が約17万人となるが、福島市では依然約13万人が停電の影響を受けている。
	上水道	●福島市で約19万人、伊達市で約3万1千人、桑折町で約1万3千人が断水の影響を受ける。そのほか断水は中通りを中心に広域に発生し、全県では約26万人が断水の影響を受ける。		○透析患者や重傷者等の搬送が喫緊の課題となる。		○応急給水活動の実施。 ●復旧は若干進むも、依然全県で約25万人が断水の影響を受ける。
	下水道	●福島市で約11万人、伊達市で約1万6千人、郡山市で約1万3千人が下水道の機能支障の影響を受ける。そのほか下水道被害は中通りを中心に広域に発生し、全県では約17万人が下水道被害の影響を受ける。				●復旧は若干進むも、依然全県で約14万人が下水道の機能支障の影響を受ける。
	都市ガス	●福島市内の供給エリア全域で供給停止が発生。供給停止は約4万3千戸。				●復旧が進まない。
	LPガス	●全県では6,813箇所で漏洩被害が発生。福島市で3,216箇所、郡山市で805箇所、伊達市で783箇所被害。				○各需要家において安全確認次第復旧。（⇒）
通信	固定電話	●揺れによる家屋や通信設備などの被災によって、全県で約7万1千回線が不通となる。 ●桑折町、国見町では9割以上、福島市は8割以上、伊達市は7割以上の固定回線が不通。 ○固定電話は停電が発生してもしばらく通話できる可能性があるが、FAX搭載機やIP電話など、外部電源が必要な電話機は使えなくなる。 ○ただし、停電の影響を受けなくても、安否を確認しあう連絡等で輻輳が始まり、通信会社が通信規制を実施することで、つながりにくくなる。				●全県で約2万9千回線が不通と不通回線が減ってきているが、依然、桑折町で7割以上、国見町で6割以上の固定回線が不通。
	携帯電話	○携帯電話は、一部を除き、基地局の機能が自家発電装置などにより生き残るため、停波による不通の影響はほとんどない。 ○ただし固定電話と同様に、安否を確認しあう連絡等で輻輳が始まり、通信会社が通信規制を実施することで、つながりにくくなる。				○基地局のバックアップ電源の喪失に伴い、携帯電話も非常につながりにくくなる。
その他被害	河川・ため池・ダム	●福島市や伊達市、桑折町、国見町などの一級河川の河川堤防で、液状化によりクラックなどが発生する。福島市、二本松市、桑折町の計4つのダムが震度6強以上または液状化危険度が高いダムに該当する。福島市の37箇所のほか全県で174箇所の防災重点ため池で強い揺れや液状化によってクラックなどが発生する。場合によっては決壊等による漏水が発生するなどして、地震水害による被害が発生する。				
	危険物施設	○中通り地方の危険物施設で、破損等の被害、危険物の流出等の被害が発生する。		○毒性ガスや可燃性ガスが大量に漏洩した場合には、周辺に影響が及ぶ。		
	エレベーター	○中通り地方の高層ビル、マンションで、運転中の地震の発生により、エレベータが停止し、一部で閉じ込めが発生する。		○利用者が少ない時間帯の地震発生ではあるが、停止台数が多く、点検・復旧に時間を要し、閉じ込め者の救出には数時間以上を要する。		
	文化財	●福島市や桑折町、国見町に震度6強以上の揺れによる倒壊あるいは焼失による被害を受ける恐れのある重要文化財等がある。				



表Ⅲ-11.2-9 被害シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時）（2）

①被害シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時（火災被害が多く発生する季節時間帯））

		3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～	～数年後
地震動		○地震により緩んだ急傾斜地等が降雨により崩壊	○余震が次第に減少。		●定量データに基づく被害像 ○定性的な被害像		
建物被害	液状化						
	揺れ	○余震により、被害が進行する。					
	土砂災害	○余震により、被害が進行する。					
	火災	○電力の復旧により、新たに通電火災が発生するおそれ。					
人的被害		○救出活動の収束後、遺体捜索・埋火葬対応へ移行するも、遺体安置所が不足する。	○高齢者や既往症があった人などが、慣れない環境での避難生活や、余震の恐怖による心身の負担などにより死亡したり、症状を悪化させたりする事例が多く発生する。口腔ケアの不足による誤嚥性肺炎や、車中泊の継続による静脈血栓塞栓症（エコノミクス症候群）による突然死なども発生する。			○避難所生活の長期化に端を発し、震災関連死が発生する。	○震災に関連した自殺者は地震発生から時間が経過しても継続して発生する。
生活支援等	避難者	○生活環境の悪化が深刻化。 ○入浴施設の不足。 ○家が無事で戻る者もいるが停電、断水の継続により避難所へ行く者も増加。 ○親戚等を頼り、県外避難者が発生。	●1週間後の避難所避難者は42,701人。 ●1週間後の避難所外避難者42,701人。 ○福島市、伊達市、桑折町、国見町以外は避難所の統合・閉鎖は進む。 ○避難所生活者の一部が生活不活発病（廃用症候群）発症。高齢者は認知症の症状を発症する方も出始める。 ○避難所でウイルス性の病気が蔓延する。		●1ヵ月後の避難所避難者は16,129人と依然として多い。依然、ライフラインの復旧が続いており、福島市では13,059人、桑折町で1,412人、伊達市で965人、国見町で626人が避難所生活を送る。避難所外避難者は37,635人となる。福島市が最多で30,471人にのぼる。 ○避難者は仮設住宅や公営住宅等への移動、ライフライン復旧・自宅の修理完了による帰宅を始める。一時的に被害の少ない周辺市への避難も増加する。 ○中長期にわたってPTSDへのケアを要する。		
		○要配慮者の避難所での生活における負担大。 ○福祉避難所の不足。	●被災1週間後には避難所に避難する要配慮者は全県で7,908人となる。 ○慢性疾患の悪化。		●被災1ヵ月後に、避難所に避難する要配慮者は減少するが、依然として全県で2,983人いる。7割以上が福島市で、次いで、桑折町、伊達市、国見町の要配慮者が多い。 ○高齢者等の入院（病院）・入所（福祉施設）の長期化。 ○生活再建が困難な高齢者等が避難所に残される。		
	物資不足	●3日間合計で、約53万食の食料、約106万本の飲料水(500mlペットボトル)、約18万枚の毛布、約6万本の粉ミルク(乳児用)、約6千パックの乳児用おむつ、約2万6千パックの大人用おむつ、約1千8百張の簡易トイレ、約18万巻のトイレットペーパー、約4万9千パックの生理用品の需要が発生する。	○温かい食事などニーズ多様化。 ○応援物資は続々と被災地に届くが、マッチングがうまくいかず、古着や食料の廃棄の必要性が出てくる。				
	災害廃棄物発生	●約428万トンの災害廃棄物が発生。福島市で約312万トン、伊達市で約45万トン、桑折町で約41万トン、国見町で約26万トンの廃棄物が発生する。 ○特に廃棄物の多い市では避難所や自宅避難者の生活ゴミや尿処理の対応が急がれる。	○周辺環境への汚染のおそれ、オープンスペースの不足などが課題になる。				
	孤立集落	○仮設道路の設置により、通行可となる集落も出てくる。			○集落への道路が復旧し、孤立集落も解消へ向かう。		
交通	緊急輸送道路	○緊急輸送道路が概ね復旧。 ○一部の地域での日常生活、経済活動の再開により、交通渋滞が激化。	○道路啓開が進み、徐々に交通基盤が復旧。				
	鉄道	○大規模な斜面崩壊によって線路に甚大なダメージを受けた在来線の復旧は遅れる。	○応急復旧作業中であり、不通のままである。 ○道路の復旧を待って、バスによる代替輸送が開始される。		○大きな被害を受けた箇所を除き、概ね全線で運転再開が完了する。		
	港湾	○耐震強化岸壁や被害の少ない港湾で、応援物資の搬送が行われる。			○大きな被害を受けた箇所を除き、概ね復旧する。		
	空港						
ライフライン	電力		●概ね停電は解消するが、福島市で3,319人など全県で4,334人に停電の影響が残る。				
	上水道	○停電の影響により停止していた浄水場では、優先的な電力復旧により、浄水場の機能が徐々に回復する。 ○基幹管路の復旧が進む。	●全県の断水人口は依然約18万人。福島市で約14万人、伊達市で約2万人、桑折町で約1万1千人が断水。		●全県の断水人口は38,746人となるまで復旧作業が進む。福島市では依然約3万人が断水。ほかの市町村は概ね断水は回復する。		
	下水道	○管渠・処理場等の応急対策が進められる。	●復旧は進むが、依然福島市で約4万9千人、全県で約6万4千人が機能支障。		●福島市で約6千人、全県で約9千2百人が機能支障の影響を依然受けるも、下水道の復旧作業は大部分完了。 ●復旧が進まず、さらに長機関を要する。		
	都市ガス		●復旧が進まない。		○復旧は進み、概ね支障は解消。		
	LPガス				○復旧は進み、概ね支障は解消。		
通信	固定電話		●通信回線の復旧作業が進み、全県で761回線の不通となる。		●全県で通信回線の復旧作業が完了する。		
	携帯電話	○依然、福島市などで携帯電話が非常に繋がりにくい状態が継続する。 ○被害の少ない市町村では、通信量が減少して徐々に通信規制が緩和され、つながりやすくなる。					
その他被害	河川・ため池・ダム	○ダム、ため池の点検・復旧が概ね完了。					
	危険物施設						
	エレベーター						
	文化財						



表Ⅲ-11. 2-10 県民の行動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬 18 時）

②県民の行動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時）

※（⇒）は継続を表す

発災期		災害拡大期		災害鎮静期		復旧・復興期			
地震発生直後	10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	1日後～	3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～
地震動	●冬の夕方18時、福島盆地西縁活断層帯を震源とするマグニチュード7.1規模の地震が発生。 ●福島市を中心に伊達市や桑折町、国見町の一部地域で震度7に達する。猪苗代町で震度6強を観測。 ○地表に地震断層が出現し、段差や横ずれなどの地盤や地面の変位が生じる。			○最大震度5弱～6強の余震が発生。	○余震が頻発。	○地震により緩んだ急傾斜地等が降雨により崩壊	○余震が次第に減少。		
	【自宅】 ・帰宅を急ぐ人、夕食の準備をする人などが多い夕方、突然大きな揺れに見舞われる。 ・直下型地震のため、緊急地震速報が鳴る前あるいは鳴ると同時に、急に突き上げられるような揺れに襲われることになる。 ・揺れはしばらく続き、身動きが取れない人も多い。 ・棚が倒れたり、棚の中や机の上から物が落下、ガラス等が割れる。	【自宅】 ・一旦揺れが収まるが、室内の電気のスイッチを押しても電気がつかない(停電)。 ・スマートフォンを通じて、つながらずに震源などの情報が入る。 ・調理器具や暖房器具のうち、電気を使うもの(停電エリア)、ガスや灯油を使う器具で揺れを感じて止まる機能や転倒防止機能のあるものは運転が停止するが、それ以外のものは起動し続ける。 ・停電時、暗闇と寒さの中、雪で足下がすべる状況での避難を強いられる。また、火災の延焼や建物の倒壊が避難の障害となるケースがある。	【自宅・避難所等】 ・火災が発生し、暗闇の中、赤い炎が見える。 ・メールやSNSなどは大幅に遅れて届く事態が発生する。 ・SNSを通じて、正確不明の情報が流れる。 ・人工呼吸器や透析等で在宅生命維持が困難となり、自宅で日常生活をサポートする電動介護用ベッドなどの器具等が利用困難となる。 ・近隣の人が協力して生理めになった人の救助活動が行われる。	【自宅・避難所等】 ・自主防災組織が中心となり、倒壊家屋からの救出作業を実施するが、夜が深くなり、朝まで活動を断念せざるを得なくなる。 ・余震が発生した際は、救出作業は一時中断する。 ・余震が続き、自宅の建物被害等がなくても、不安等から車身高齢者や高層階居住者などを中心に、多数の住民が避難所等へ避難する。	【自宅・避難所等】 ・停電や寒さ、余震の不安から十分な睡眠がとれないまま夜を明かす。 ・非常用発電機等が配備されていない場合は、テレビやスマートフォンによる情報収集や、照明、空調、避難用パソコン等が利用できなくなる。	【避難所】 ・飲料水や食料の備蓄がなくなった者なども避難所に避難してこるため、避難者が増加する。 ・自主防災組織が避難所運営に協力的な避難所では、避難スペースの割り当てや食料の配給などもスムーズに行われる。 ・一方、そうでない避難所では、後から来た人の避難スペースがなくなったり、通路が狭く避難所内の行き来が容易でなかったり、食料や物資の配給も早い者勝ちになるなどして、一部の避難者から苦情が出るケースも出てくる。 ・一部の避難所では、自衛隊が炊き出しや入浴支援を開始している。	【避難所】 ・自宅に避難していた者も食料や水の備蓄がなくなり、避難所へ物資をもらいにやってくる。 ・暖房器具や燃料、粉ミルクやおむつなどの物資の不足が深刻である。 ・寒さから、風邪をひいたり、体調を崩す人が出はじめる。 ・くみ取り式の仮設トイレでは、貯留槽が満杯になり、処理作業を行うバキュームカーの不足等により、使用が困難になる。 ・避難所では足腰の弱い高齢者などが、トイレに行き回数を減らすために水分摂取を控えるなどして、エコノミクス症候群を発症する。 ・避難所への受入れ調整が行われるが、広域的に被害が発生しているため、受入れ可能な避難所の確保が困難となる。	【自宅・避難所等】 ・概ね電力は復旧し、電気器具などの使用ができるようになる。 ・避難生活の長期化に伴い、避難所の周辺にてバキュームカーの中で避難生活を送っていた被災者などを中心に、エコノミクス症候群や生活不活発病を発症する避難者が増加する。 ・ベスマグが不足する避難所では、インフルエンザ、新型コロナウイルス等の感染症がまん延するところも出てくる。 ・ごみ収集・し尿処理収集の遅れ等により、避難所の生活ごみやし尿が衛生状態が悪化する。 ・一部の鉄道の復旧やバスによる輸送が再開され、被災者も移動ができるようになる。 ・自治体による応急仮設住宅への入居希望調査が始まる。	【自宅・避難所・応急仮設住宅等】 ・被災者生活再建支援金の支給や税金の減免措置、義援金の配分など ・被災者が再調査の結果を受けて、罹災証明書が発行される。 ・被災者生活再建支援金の支給や税金の減免措置、義援金の配分など ・被災者が再調査の結果を受けて、罹災証明書が発行される。
想定される大被害地域における県民の行動・県民地域への影響	中 通 り								



Ⅲ 被害想定について  
11. 被害シナリオ

表Ⅲ-11. 2-11 対策活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬 18 時）（１）

③対策活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時） 活動体制・情報、交通・ライフライン、経済

			発災期 地震発生直後	災害拡大期 10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	災害鎮静期 1日後～
地震・災害事象等			・冬の夕方18時、福島盆地西縁断層帯を震源とするマグニチュード7.1規模の地震が発生。 ・福島市を中心に伊達市や桑折町、国見町の一部地域で震度7に達する。猪苗代町で震度6強を観測。 ・地表に地震断層が出現し、段差や横ずれなどの地盤や地面の変位が生じる。			・最大震度5弱～6強の余震が発生。		・余震が頻発。
想定被災者行動			・福島市、伊達市、桑折町、国見町を中心に多くの住民が被災 ・消防機関へ救急や消火要請の電話が殺到 ・電話やメールによる家族等の安否確認	・防災行政無線で避難等についての情報を入手 ・自主防災組織を中心に初期消火活動や倒壊建物の下敷きになった住民に対する救出作業を開始	・自主防災組織による救出活動の継続 ・負傷者の手当てや搬送の実施	・自主防災組織による救出活動の継続 ・避難所へ避難する住民が増える ・倒壊家屋からの救出作業が進み、福島市を中心に救出された負傷者が増加	・ライフライン断絶のため、自宅の被害がない住民も食料や水を求めて避難所へ行く	・全半壊を免れた建物の室内片づけを開始一廃棄物増加
想定される対策活動	国		・官邸対策室設置	・自衛隊の近傍災害派遣の開始 ・道路、空港、港湾等の被災情報の収集	・災害派遣要請による自衛隊派遣 ・近隣県の緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の出動要請	・内閣府に災害対策本部を設置 ・国民に対する被害情報の発表 ・内閣府調査チーム、災害時情報集約支援チーム(ISUT)が福島県庁到着	・国交省：災害対策派遣隊(TEC-FORCE)による被害調査 ・総務省：地方公共団体へ人的支援の要請	・大臣等による現地視察 ・政府調査団の派遣 ・経産省：支援物資等の提供要請
		活動体制 情報	・震度速報の受信 ・職員の非常参集 ・一部職員の負傷 ・被害が大きく、県庁内は混乱 ・県庁舎全館停電	・県災害対策本部・地方本部の設置 ・指定職員が事務局参集 ・事務局会場設営 ・情報通信手段の確認 ・通信連絡網の確立 ・NTTに回線増設依頼 ・被害状況即報(第1報)取りまとめ ・関係機関への通知 ・地方本部との連絡体制整備 ・職員登庁先、安否確認(発災から6時間以内までに完了する。) ・職員家族の安否確認 ・知事メッセージ ・原子力発電所の情報収集(原子力班) ・自衛隊リエゾンとの事前調整(救助、給水等) ・第1回本部員会議開催 ・災害救助法の適用調整 ・災害救助法4号適用の検討 ・自衛隊災害派遣要請の準備 ・連絡員の本部派遣依頼 ・リエゾン職員を市町村に派遣	・被害状況即報取りまとめ(以降、2時間毎～本部会議に合わせて適時) ・退庁した職員は登庁途上で被害情報収集 ・自衛隊への災害派遣要請 ・県内広域応援隊による消火、救助活動 ・消防庁(緊急消防援助隊)、国、自治体、知事会等への応援要請と受入体制の整備 ・自衛隊作業計画作成 ・広域救急救助隊要請 ・被害、対策関係HPの立ち上げ ・県民への広報 ・災害救助法の適用 ・内閣府への災害救助法適用の報告 ・市町村への災害救助法適用の報告 ・各種公共施設の安全対策 ・第2回本部員会議開催(以降、適時開催) ・リエゾンルーム確保 ・定期的な情報収集 ・使用可能な通信手段の通知 ・リエゾン職員による情報収集 ・定期的な被害報告 ・倉庫業協会の本部参画(救援物資関連) ・トラック協会の本部参画	・リエゾン職員から画像データ入手 ・被害情報とともに安心情報の発信 ・広域応援の受入準備 ・国、関係機関のリエゾン職員受入 ・応急復旧作業 ・アマチュア無線協力依頼 ・ミラーサーバー等の設置 ・被害情報の確認 ・市町村からの応援要請 ・自衛隊現地本部への職員派遣 ・関係省庁連絡会議(以降、適時開催) ・県内被害情報の収集整理(⇒)	・災害救助法の適用(追加) ・国への被害状況報告(⇒) ・内閣府への災害救助法適用の報告 ・市町村への災害救助法適用の報告 ・死者、行方不明者の氏名公表の検討及び公表 ・知事の現地視察及び視察先の検討、調整 ・市町村への応援職員派遣 ・孤立化地域への支援体制の確立 ・消防防災ヘリ情報収集出動 ・ヘリによる情報収集	・広域応援職員受入 ・本部会議の開催頻度検討(1回/日) ・大臣等の視察対応、国への要望 ・県議会からの要望対応 ・県の応急対策方針等の明確化および対策実施の指示
		交通 ライフライン		・福島空港は点検後、すぐに利用可能 ・被害情報(救急輸送(港湾・空港))の収集	・道路の被災情報の収集→災対本部へ被害報告 ・ライフライン関係機関との情報連絡体制の確立 ・緊急輸送路の確保 ・交通規制実施、周知 ・物資受入機能の回復 ・ヘリ臨時離着陸場の使用可能状況調査 ・使用可能車両(トラック・バス)の把握と確保	・建設業者との連絡調整、復旧作業のための資機材及び人員の確保 ・緊急輸送車両の確保 ・緊急通行車両証明書発行 ・ライフライン被害状況の広報 ・電子メール等の通信網徐々に回復 ・インターネット復旧 ・緊急輸送物資受入 ・上水道の広域復旧支援要請 ・支援物資輸送 ・臨時電話の設置 ・県管理道路の被害状況の把握(⇒)	・被害を受けた緊急輸送道路の優先的復旧開始 ・高速道路無料化対応(災害派遣車両) ・高速道路使用無料措置の調整	・輸送拠点の開設、運営 ・応急復旧体制の確立、建設機械等の調達 ・警察等による交通整理の実施 ・ライフライン復旧の見通しについて広報 ・福島空港が災害時拠点施設、広域搬送拠点に指定 ・ガソリン等の供給要請 ・水道被害・応急給水状況確認
	市町村等	中 通 り （ 大 被 害 地 域 ）	【市町村】 ・震度速報の受信 ・災害対策本部の設置 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・職員の非常参集 ・職員の安否確認 ・職員家族の安否確認 ・消防機関の出動 ・避難場所の確保 【住民】 ・自主防災組織の活動開始	【市町村】 ・自宅にいた職員が登庁(県へ)被害第1報報告 ・被害状況調査(上水道、下水道) 【関係機関】 ・県へ被害報告 ・空港ビル安全確保 【ライフライン事業者】 ・電話輻輳のため通話規制開始 ・災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板(携帯電話)等の運用を開始 ・被害状況調査(電力施設、ガス施設、鉄道施設、放送施設) ・被害状況収集(電気通信施設) ・ガス供給停止措置 ・鉄道の乗客利用者の安全な誘導 ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・災害情報、避難呼びかけ等の速やかな放送(放送施設)	【市町村】 ・職員は退庁から登庁に切り替え途上で被害情報収集 ・参集者による活動体制調整 ・県に対して概況速報報告、救援要請 ・県に自衛隊の派遣要請 ・避難所開設の要員確保、自主防災組織との協力 ・災害対応ホームページ掲載 ・災害情報の掲載 ・上水道の応急対策状況の広報 ・重要な上水道から復旧作業 【ライフライン事業者】 ・被害状況の確認、行政へ被害速報 ・復旧作業員の招集 ・NTT緊急通話確保 ・応急対策状況の広報(電力施設、ガス施設) ・応急復旧作業(電力施設、ガス施設) ・鉄道運行状況の広報 ・鉄道利用者の避難所への誘導 ・優先順位により通信の回復(電気通信施設) ・災害情報、被災者向け情報の適時適切な発信(放送施設)	【市町村、関係機関、企業】 ・被害情報の共有 【市町村】 ・県への被害報告 ・人員不足のため全ての被害への対応困難 ・住民に被害状況伝達(防災行政無線) ・上水道応急対策に関して、日本水道協会への要請 ・災害救助法に関して県からの情報提供 ・死亡者・行方不明者等の氏名公表に係る遺族等の意向確認 【ライフライン事業者】 ・被害状況の行政への連絡 ・市町村の災害対策本部へ職員派遣 ・伝言ダイヤル等活用周知 ・応急復旧作業(鉄道施設) ・鉄道不通区間の再開見通し広報	【市町村、関係機関、企業】 ・死者・行方不明者の氏名公表要件の確認 ・要件確認後、順次氏名公表 【市町村】 ・現有人員による被害対応体制の調整(優先度の確認) ・県を通じ他自治体に応援派遣要請 【関係機関、企業】 ・衛星通信システム配備 【ライフライン事業者】 ・応急復旧体制の立ち上げ ・復旧計画策定(下水道) 【自衛隊】 ・自衛隊ヘリ情報収集、自主派遣	【市町村】 ・災害救助法に基づく活動展開 ・ライフライン等の復旧状況、見通しについて住民に広報 ・ボランティアの受け入れ、当初は混乱 ・県や他自治体からの応援人員受入、調整 【ライフライン事業者】 ・人員、資機材等の確保 ・応急復旧作業開始 ・復旧の見通しについて行政に連絡 ・LPGガスは安全確認次第復旧
		上 記 以 外 の 地 域	【市町村】 ・震度速報の受信 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 ・住民への速やかな避難指示、誘導	【市町村】 ・被害状況を確認し、住民へ速報(県へ)被害第1報報告 ・被害状況調査(上水道、下水道) 【関係機関】 ・県へ被害報告 ・空港ビル安全確保 【ライフライン事業者】 ・被害状況調査(電力施設、ガス施設、鉄道施設、放送施設) ・被害状況収集(電気通信施設) ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・行政への被害速報 ・ガス供給停止措置 ・鉄道の乗客利用者の安全な誘導 ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・災害情報、避難呼びかけ等の速やかな放送(放送施設)	【市町村】 ・被害情報収集、県に報告 ・災害対応ホームページ掲載 ・災害情報の掲載 ・上水道の応急対策状況の広報 ・重要な上水道から復旧作業 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【ライフライン事業者】 ・安全確認後、ライフライン復旧 ・被害地域は、応急復旧体制の立ち上げ ・NTT緊急通話確保 ・応急対策状況の広報(電力施設、ガス施設) ・鉄道運行状況の広報 ・鉄道利用者の避難所への誘導 ・優先順位により通信の回復(電気通信施設) ・災害情報、被災者向け情報の適時適切な発信(放送施設)	【市町村、関係機関、企業】 ・被害情報の共有 【市町村】 ・県に被害状況の報告 ・自宅を失った住民の情報収集 ・上水道応急対策に関して、日本水道協会への要請 ・死亡者・行方不明者等の氏名公表に係る遺族等の意向確認 【ライフライン事業者】 ・復旧の見通しについて行政に連絡 ・応急復旧作業(鉄道施設) ・鉄道不通区間の再開見通し広報	【市町村】 ・中通り地方に対する応援職員の派遣検討 【ライフライン事業者】 ・復旧状況、復旧予定時期を行政に連絡 ・復旧計画策定(下水道) 【自衛隊】 ・自衛隊ヘリ情報収集、自主派遣	【市町村】 ・中通り地方へ応援職員の派遣 【ライフライン事業者】 ・復旧作業完了後、復旧要員の一部を大被害地域へ派遣



表Ⅲ-11. 2-12 対策活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬 18 時）（2）

③対策活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時） 活動体制・情報、交通・ライフライン、経済				※（⇒）は継続を表す			
		復旧・復興期					
		3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～数年	
地震・災害事象等		・地震により緩んだ急傾斜地等が降雨により崩壊	・余震が次第に減少。				
想定被災者行動		・応急危険度判定により安全が確認された住宅の被災者は、ライフライン復旧に比例し、順次帰宅 ・飲料水から生活用水へとニーズが拡大	・全半壊の建物を除き、概ね片づけを終了 ・全半壊建物における再建方法を思案 ・観光客の帰宅	・身体的精神的に疲労が蓄積 ・全半壊住宅の被災者の自力による転居が増加	・避難所に残っていた被災者が仮設住宅等への入居を開始		
想定される対策活動	県	国		・緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣解除	・復旧・復興に関する会議を開催 ・激甚災害の指定	・自衛隊の撤収	
		活動体制情報	・激甚災害指定の見直し把握 ・業務量に応じ本部体制の見直し ・降雨による河川、斜面等の二次災害への警戒	・本部会議の開催頻度検討(2、3回/週) ・県内の復旧情報の収集整理及び災害復旧体制の整備(⇒) ・国への復旧状況報告(⇒) ・帰宅困難者への帰宅支援	・本部会議の開催頻度検討(1回/週) ・災害廃棄物処理基本方針の決定 ・復興基金の検討 ・身元不明者情報のHP掲載開始 ・義援金品の配分委員会を組織	・復興計画策定体制の確立 ・「福島県震災復旧・復興本部」設置 ・他都道府県・県外市町村からの中長期派遣職員受入開始(順次)	・自衛隊の撤収要請 ・追悼式 ・福島県復興に関する展示開始
		交通 ライフライン	・緊急輸送計画の作成 ・県管理道路の応急復旧開始 ・ライフラインの復旧状況、地区別の復旧予定時期について広報 ・被災港湾の一部供用開始 ・工業用水の復旧方法検討			・約2ヵ月で緊急輸送道路の応急復旧が概ね完了	・県管理道路について、応急復旧の継続 ・県内の水道復旧状況の把握(概ね復旧が完了)
		経済	・産業関係被害の情報収集 ・物価の監視	・被災中小企業、農林水産業者等への援助、助成措置の広報	・税の減免	・融資の実施 ・天災資金の予算化	・事業所、商店街等の復興PR等実施 ・義援金配分
		市町村等	中通り（大被害地域）	【市町村】 ・二次災害への警戒 【ライフライン事業者】 ・応急復旧の本格化 ・復旧状況、復旧予定時期を行政に連絡 【ライフライン事業者】 ・通信回線が復旧	【市町村】 ・県、国への復旧支援要請 ・復旧状況についての広報 ・被災中小企業、被災農林水産業者等に対する援助、助成措置について広報 ・被災者一人ひとりへのケア体制の整備 【ライフライン事業者】 ・電力が復旧	【市町村】 ・対策実施状況に応じた人員構成の再調整 ・上水道が復旧 【ライフライン事業者】 ・都市ガスが復旧	【市町村】 ・災害対策本部廃止、災害復興本部(仮称)設置
	上記以外の地域		【市町村】 ・応急対策にめどが立つ ・災害対策本部廃止、警戒本部設置 【ライフライン事業者】 ・応急復旧完了	【市町村】 ・復旧復興対策へと移行し、人員配置を変更 ・警戒本部廃止			【市町村】 ・中通り地方へ応援職員の派遣継続、復興支援



表Ⅲ-11.2-13 対策活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時）（3）

④対策活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時） 救出・救急・医療・福祉・避難・救援・住宅

			発災期 地震発生直後	災害拡大期 10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	災害鎮静期 1日後～
地震・災害事象等			・冬の夕方18時、福島盆地西縁活断層を震源とするマグニチュード7.1規模の地震が発生。 ・福島市を中心に伊達市や桑折町、国見町の一部地域で震度7に達する。猪苗代町で震度6強を観測。 ・地表に地震断層が出現し、段差や横ずれなどの地盤や地面の変位が生じる。			・最大震度5弱～6強の余震が発生。		・余震が頻発。
想定被災者行動			・福島市、伊達市、桑折町、国見町を中心に多くの住民が被災 ・消防機関へ救急や消火要請の電話が殺到 ・電話やメールによる家族等の安否確認	・防災行政無線で避難等についての情報を入手 ・自主防災組織を中心に初期消火活動や倒壊建物の下敷きになった住民に対する救出作業を開始	・自主防災組織による救出活動の継続 ・負傷者の手当てや搬送の実施	・自主防災組織による救出活動の継続 ・避難所へ避難する住民が増える ・倒壊家屋からの救出作業が進み、福島市を中心に救出された負傷者が増加	・ライフライン断絶のため、自宅の被害がない住民も食料や水を求めて避難所へ行く	・全半壊を免れた建物の室内片づけを開始→廃棄物増加
想定される対策活動	国		・官邸対策室設置	・自衛隊の近傍災害派遣の開始	・厚労省：DMATの派遣 ・災害派遣要請による自衛隊派遣 ・近隣県の緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の出動要請	・内閣府に災害対策本部を設置 ・自衛隊：大被害地域での救出、搬送活動を開始 ・救助救急活動用の資機材の確保 ・厚労省：広域後方医療活動の総合調整	・自衛隊、海上保安庁：航空機による患者搬送 ・厚労省：医療体制確保を関係団体に要請 ・国交省：災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による被害調査	・経産省：支援物資等の提供要請 ・厚労省：心のケア対策として専門家を現地派遣
		救出救急医療福祉		・情報収集(救助救急の必要状況) ・県立病院での受入体制確保および医療看護班派遣準備	・要救出救助現場の把握→緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣要請 ・市町からの応援要請に対応 ・医療看護班の派遣及び医療機関への派遣要請 ・DMATの派遣要請 ・トリアージの実施	・災害拠点病院を中心に、救護活動の実施、支援 ・緊急医療活動情報の集約 ・緊急輸送ルート、手段の確保 ・医薬品・医療機器等の供給 ・DMAT等調整本部の設置 ・SCU(広域医療搬送拠点)本部設置 ・ドクターヘリ調整本部設置 ・緊急消防援助隊の活動調整	・県外の後方医療機関との調整 ・医薬品、資機材等が不足の場合、隣接県、厚労省に協力要請 ・孤立集落からの重傷者の搬送(航空輸送による)	・市町が行う支援者対策への支援 ・国へ県外からの保健師等の派遣斡旋要請 ・ヘルパー、ボランティア等の応援派遣 ・カウンセラー、相談員等の巡回
		避難救援	・報道機関を通じ、県民や観光客へ避難等の呼びかけ(⇒) ・各拠点庁舎から職員一時退避、安全が確認され次第、県災害対策本部設置	・避難誘導 ・救助活動	・避難用輸送手段の確保 ・救援物資受入拠点の選定 ・個人等の物資受入辞退周知	・市町からの各種救援要請に対応 ・広域避難の調整 ・断水による仮設トイレ調達 ・避難所等への仮設トイレ設置 ・レンタル業者に仮設トイレ等の調達要請 ・DMAT、広域援助体制による救援活動 ・支援物資要望への対応(備蓄品) ・避難所への人的支援の調整 ・2次避難所の検討開始 ・旅館ホテル等の2次避難所開設要請 ・食糧必要数の情報収集 ・協定先との協議(救援物資) ・外国人向け相談窓口、インターネット情報掲載 ・義援物資要請取りまとめ公表	・農政局に食糧の供給要請 ・市町の依頼による給水応援 ・協定先から支援物資調達、配送 ・入浴支援に関する自衛隊との調整(入浴施設派遣要請) ・避難所への人的支援開始(⇒) ・警備業協会へ警備員派遣要請 ・義援金受付口座公表	・必要物資の把握、生活必需品の確保・調達、ボランティアの調整及び支援を実施(⇒) ・観光客の把握 ・被災ペットの保護活動実施(⇒) ・旅館、公共施設等入浴施設への協力要請
	市町村等	住宅		・被災建築物応急危険度判定支援本部設置			・応急仮設住宅の必要戸数把握 ・建築基準法第85条第1項に基づく区域指定(仮設建築物に対する制限を緩和する区域) ・耐震診断判定委員会等による被災状況調査 ・罹災証明書の発行に係る市町村説明会の開催 ・応急仮設住宅(建設型、賃貸型)の供給計画の作成 ・下水道応急復旧作業	・住家被害認定調査の支援調整 ・廃棄物集積場検討への支援 ・仮置き場(災害廃棄物)の巡回指導開始 ・耐震診断判定委員会等による被災状況調査 ・罹災証明書の発行に係る市町村説明会の開催 ・応急仮設住宅(建設型、賃貸型)の供給計画の作成 ・下水道応急復旧作業
		中通り（大被害地域）	【市町村】 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 【医療機関】 ・停電した場合、非常用電源切替 【住民等】 ・家族の安否確認 ・地域による声かけ、避難誘導 ・救出が必要な場合、消防等に連絡 【自主防災組織】 ・住民、要支援者の避難誘導	【市町村】 ・情報収集(救助救急状況) 【消防】 ・消火の実施 【医療機関】 ・被災状況、入院患者の安否確認、入院患者転院、負傷者対応の準備を実施 【自主防災組織】 ・初期消火活動 ・住民の安否確認、救出、救急救助活動(⇒)	【市町村】 ・救出活動の応援要請 ・避難所開設(要員確保、自主防災組織との協力)、周知 ・県内広域応援による消火活動 ・県内広域応援隊による救急活動 ・福祉避難所の運営 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【消防】 ・医療機関へ負傷者の搬送 【医療機関】 ・DMATの派遣 ・医療機関の被災により、入院患者について近隣医療機関へ転院を開始 ・ライフライン応急復旧の要請 【自主防災組織】 ・避難所での避難受入、整理 【関係機関】 ・行方不明者等の捜索 【自衛隊】 ・応急給水開始	・救援活動開始 【市町村】 ・避難所自主運営組織の確立 ・救護班の要請、救護所設置 ・避難所に仮設トイレの設置 ・避難所における要配慮者への配慮(配食、トイレ等への配慮) ・県等への避難所設置要請 ・避難状況の把握 ・社会福祉施設等へ受入要請 ・(トラック・バスによる)避難者等輸送 ・備蓄品による供給 ・生活必需品の必要数収集 ・毛布等の避難所への提供 【消防】 ・救出救助活動の継続 ・重傷者を後方医療機関へ転送する必要がある、ヘリコプターの派遣要請 【医療機関】 ・医療看護班編成、現地での救護(トリアージの実施) ・災害拠点病院における重傷救急患者の救命医療 ・医療機関相互の密接な情報交換 ・中通り地方の大被害エリアで受入困難→転送先確保	【市町村】 ・(協定先から)食料、一般的生活必需品の供給及び避難者へ提供 ・食料、飲料水、生活必需品、仮設トイレ等の不足→救援物資の要請 ・避難所でのペット対策 ・要支援者の把握、福祉避難所の状況確認、受入先確保 ・帰宅困難者を一時避難所、一時宿泊施設へ誘導 ・災害廃棄物の仮置き場の設置 ・応急仮設住宅の必要戸数把握 【消防】 ・救出、搬送活動の実施 ・重傷者の域外転送	【市町村】 ・行方不明者捜索 ・ボランティアセンター設置 ・一般ボランティア、専門ボランティアの受入開始 ・建物応急危険度判定士の派遣要請 ・要支援者を福祉避難所へ移動 ・被災者への住宅提供の検討 ・救援物資配送における人員、車両の確保 ・廃棄物集積場の検討 ・住家の障害物除去 ・小規模避難所の集約(コロナに配慮) ・避難所の生活環境改善 ・建設型応急住宅、賃貸型応急住宅計画の方向性作成 ・ニーズに応じた物資の提供 ・応急復旧作業 【消防】 ・重傷者の域外転送 【自主防災組織】 ・炊き出しの実施 ・自力で可能な救出活動は終了 【自衛隊】 ・自衛隊による入浴支援
		上記以外の地域	【市町村】 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 【住民】 ・地域による声かけ、避難誘導 【自主防災組織】 ・住民、要支援者の避難誘導	【消防】 ・救出活動、負傷者の搬送 【自主防災組織】 ・初期消火活動 ・住民の安否確認、救出、救急活動の実施	【市町村】 ・避難者発生地域は、避難所を開設、周知 ・県内広域応援による消火活動 ・県内広域応援隊による救急活動 ・福祉避難所の運営 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【消防】 ・医療機関へ負傷者の搬送 【医療機関】 ・負傷者の手当て 【関係機関】 ・行方不明者等の捜索 【自衛隊】 ・応急給水開始	【市町村】 ・避難所自主運営組織の確立 ・仮設トイレの設置 ・県等への避難所設置要請 ・避難状況の把握 ・社会福祉施設等へ受入要請 ・(トラック・バスによる)避難者等輸送 ・備蓄品による供給 ・生活必需品の必要数収集 ・毛布等の避難所への提供 【消防】 ・中通り地方への応援出動	【市町村】 ・協定先から食料・物資供給 ・一般的生活必需品の提供 ・避難者に食料等の提供 ・物資不足地域は供給要請 ・中通り地方への物資提供の検討 ・応急仮設住宅の必要戸数把握	【市町村】 ・被災者への住宅提供の検討 ・公営住宅等の空家確認 ・中通り地方への救援物資の提供 ・小規模避難所の集約(コロナに配慮) ・避難所の生活環境改善 ・建設型応急住宅、賃貸型応急住宅計画の方向性作成 ・ニーズに応じた物資の提供 ・応急復旧作業 【自衛隊】 ・自衛隊による入浴支援



表Ⅲ-11.2-14 対策活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時）（4）

④対策活動シナリオ（福島盆地西縁断層帯の地震：冬18時） 救出・救急・医療・福祉・避難・救援、住宅						※（⇒）は継続を表す		
				復旧・復興期				
		3日後～		1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～数年	
地震・災害事象等		・地震により緩んだ急傾斜地等が降雨により崩壊		・余震が次第に減少。				
想定被災者行動		・応急危険度判定により安全が確認された住宅の被災者は、ライフライン復旧に比例し、順次帰宅 ・飲料水から生活用水へとニーズが拡大		・全半壊の建物を除き、概ね片づけを終了 ・全半壊建物における再建方法を思案 ・観光客の帰宅	・身体的精神的に疲労が蓄積 ・全半壊住宅の被災者の自力による転居が増加	・避難所に残っていた被災者が仮設住宅等への入居を開始		
想定される対策活動	国	・文科省：学校施設の安全点検		・厚労省：健康相談窓口を設置	・文科省：スクールカウンセラーの派遣 ・緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣解除	・総務省：特別行政相談所を被災地に順次開設	・自衛隊の撤収	
	県	救出救急医療福祉	・避難所における栄養管理の必要な人に対する周知ポスターの掲示 ・避難所等における感染症・食中毒の発生防止パンフレット作成 ・県外保健師等の応援派遣受入れ調整 ・支援医薬品等集積所の運営 ・自衛隊による医薬品搬送開始			・PTSDへのケアの実施（⇒） ・県内保健師の福島市等への応援派遣 ・薬剤師派遣要請		・子供の心のケア事業開始 ・病院・診療所等災害復旧事業 ・被災者健康サポート事業（被災市町村の専門職確保支援等）開始 ・女性のための電話相談ふくしま開設
		避難救援	・被災者生活再建支援法の適用 ・市町を通じて要支援者の把握→福祉避難所の確保 ・孤立集落への物資の航空輸送（⇒） ・県域災害ボランティアセンター設置 ・旅館ホテル等の2次避難所への避難開始 ・生活再建支援に関する施策情報の提供（ガイドブック作成）		・食品衛生監視員による現地指導 ・入浴施設確保への支援 ・帰宅困難者への帰宅支援 ・「電話・メールの問い合わせ窓口」設置 ・避難所に県職員派遣	・海外からの救援物資、資金援助受入れ対応 ・緊急小口資金特例貸付開始 ・栄養・食生活支援等開始 ・介護保険にかかる保険料・利用者負担・食費・居住費の減免開始 ・「金融相談窓口」「労働相談窓口」設置 ・市町村への義援金の配分		・生活支援相談員配置 ・各種基金・給付金等の設置・給付開始 ・介護保険にかゝる保険料・利用者負担の減免の原則終了
		住宅	・建物応急危険度判定の開始 ・公営住宅等の空家確認 ・仮設住宅資材の確保 ・自衛隊、事業者による仮置き場（災害廃棄物）搬入 ・住家被害認定調査の人的支援開始 ・応急仮設住宅（賃貸型）の入居開始 ・応急仮設住宅（建設型）の着工（状況に応じて随時着工） ・救助法による応急修理実施要領の検討		・市町と連携し、がれき処理の検討 ・被災者住宅再建支援制度の適用 ・県独自の住宅修理支援策の検討	・応急仮設住宅入居者決定（要支援者優先、コミュニティ配慮） ・「被災者住宅入居相談窓口」設置 ・民間賃貸住宅借り上げ制度の運用開始 ・罹災証明書の発行（1次）終了 ・県独自の住宅修理支援策の公表		・長期避難者等の生活拠点の検討のための協議会 ・県内自主避難者に対する借上住宅支援開始
	市町村等	中通り（大被害地域）	【市町村】 ・降雨により土砂災害危険が高い地域へ避難指示 ・被災者に関する情報のデータベース化 ・被災動物対策 ・入浴施設の確保 ・避難所でのプライバシー確保、要配慮者や女性への配慮 ・義援金の受付 ・仮設住宅建設の用地確保 ・公営住宅等の空家確認 ・仮設住宅入居時期や手続きについての広報 ・各種相談窓口の設置 ・こころのケア（⇒） ・ホームヘルパー等の巡回による健康相談（⇒） ・近隣自治体の協力により広域的な火葬の実施 ・住家被害認定調査開始→罹災証明書の発行 ・応急仮設住宅（建設型）の着工（状況に応じて随時着工） 【消防】 ・救出救助活動の収束→遺体捜索へ移行		【市町村】 ・災害対策広報の作成、配布 ・被災者の心身不調への対応 ・応急仮設住宅入居申込の受付 ・一部の被災者を公営住宅等に受入 【自主防災組織】 ・避難所の自主運営	【市町村】 ・学校等の再開 ・被災者生活再建支援法等に関する説明会の実施 ・被災者に対する住宅復興支援等、市町独自の金銭的支援策の決定 ・1次避難所の廃止 ・罹災証明書の発行（1次）終了	【市町】 ・応急仮設住宅入居開始	【市町】 ・仮設住宅入居等による避難所の縮小
上記以外の地域		【市町村】 ・一時避難者（要配慮者）受入施設の確保及び受入 ・住家被害認定調査開始→罹災証明書の発行 ・応急仮設住宅（建設型）の着工（状況に応じて随時着工）		【民間】 ・日帰り入浴の受入	【市町村】 ・1次避難所の廃止 ・一部の被災者を公営住宅等に受入	【市町】 ・残りの避難所についても閉鎖		



Ⅲ 被害想定について  
11. 被害シナリオ

表Ⅲ-11.2-15 被害シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時）（1）

①被害シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時（3.11とは異なり、避難開始が遅れ、寒さに加えて暗間の中での避難となる季節時間帯））

		地震発生直後～ 5:00	1時間後～ 6:00～	6時間後～ 11:00～	18時間後～ 23:00～	1日後～
地震動、津波		<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬の朝5時ころ、海溝型の地震(Mw9.0)が発生。</li> <li>○全県の沿岸市町村に対して、大津波警報、津波警報が発令される。</li> <li>●県内で広く震度6弱～5弱の揺れが発生し、地盤の緩い地域では震度6強の揺れが発生。一部では震度7の揺れも発生する。</li> <li>●20mを超える浸水深となる地域もある津波が来襲。沿岸部には繰返し津波が押し寄せる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○最大震度5弱～6弱の余震が発生。</li> <li>○津波警報等は依然継続。</li> </ul>		○余震が頻発。
建物被害	液状化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●揺れ被害に近い規模で液状化被害が発生。全県で全壊4,233棟、半壊21,024棟。</li> <li>●いわき市で1,621棟、郡山市で670棟、福島市で260棟、相馬市で213棟の全壊。</li> </ul>		○マンホールが地中からせり出したり、噴砂の発生により車両通行への支障が各地で発生。		
	揺れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●揺れによる建物の全壊被害は、全県で14,069棟発生するが、市町村別に見ると郡山市で4,296棟、須賀川市で2,241棟、いわき市で1,922棟全壊、半壊被害は全県で71,714棟発生する。</li> </ul>		○余震により、被害が進行する。		
	土砂災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建物被害は他の要因に比べると少ないものの、いわき市で全壊41棟、半壊88棟、郡山市で全壊11棟、半壊23棟など、全県で全壊113棟、半壊245棟の被害が発生。</li> </ul>		○余震や降雨等で土砂災害が増加。		
	津波	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いわき市で2,090棟、相馬市で1,009棟、南相馬市で912棟、新地町で469棟の全壊被害が発生し、全県では4,965棟の全壊被害となる。半壊被害は全県で6,576棟にのぼる。</li> </ul>		○津波は依然来襲。		
	火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>●郡山市で8件、須賀川市で3件出火するほか全県で29件の出火が発生し、初期消火により一部は消火されるも炎上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●炎上した火災のうち一部は消防機関や消防団の活動により、消火あるいは自然鎮火。</li> <li>●全県で6件が延焼に発展。</li> </ul>	○消防機関による消火を継続するが、さらに延焼。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多くの火災は周辺へ少し燃え広がって消火される。焼失棟数は全県で1,388棟。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○直後に発生した火災は概ね鎮火。</li> <li>○電力の復旧により、新たに通電火災が発生するおそれ。</li> </ul>
人的被害		<ul style="list-style-type: none"> <li>●被害は全県で死者1,577人、負傷者14,449人、うち重傷者1,497人。死者は建物倒壊と津波によるものがほとんど。</li> <li>●建物倒壊による死者は郡山市で257人、須賀川市で144人、いわき市で123人。建物倒壊による負傷者は、郡山市で4,563人、いわき市で2,415人、須賀川市で1,415人。</li> <li>●津波による死者は全県で746人、負傷者152人、重傷者78人。</li> <li>●家具の転倒等により、死者41人、負傷者947人、重傷者164人発生。ブロック塀等の倒壊による被害は軽微。</li> <li>●要配慮者の死者は286人、負傷者は2,603人。いわき市で119人、郡山市で50人の死者が発生する。また、負傷者も郡山市で815人、いわき市で468人発生。重傷者も全県で264人発生。</li> <li>○建物被害のほか、停電の影響を受け、浜通り、中通りを中心にエレベータが一部停止し、閉じ込めが発生。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○要救助者が多数発生したことにより、救助活動が遅れる。特に津波浸水域では救助活動が開始できず、低体温症による死亡も多数発生する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●郡山市では火災による死者が50人、負傷者は442人、重傷者177人となり、県内で最大の火災被害が発生。</li> </ul>
生活支障等	避難者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難者は沿岸部の市町村を中心に広く全県で発生する。避難所避難者は66,517人、避難所外避難者は37,773人。</li> <li>●いわき市は60,210人、郡山市で15,818人の避難者が発生。</li> <li>○津波からの避難にともない、沿岸部では避難時の混乱が発生。避難路の渋滞や二次被害が発生。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所へ避難する住民が増える。</li> <li>○避難所開設時に混乱が発生。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所におけるトイレが不足する。非指定避難所では更に深刻な事態となる。</li> <li>○避難所におけるペットの飼育が問題となり、避難者間でトラブルとなる。</li> </ul>
	要配慮者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難行動要支援者の安否確認や避難支援が必要。</li> <li>●避難所に避難する要配慮者は、12,104人にのぼる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅の避難行動要支援者の安否確認等のための人員が不足。</li> <li>○要配慮者が避難所内で適切に生活するための場所を確保することが困難。</li> </ul>		○透析患者等内部障がい者への医療対応の難航。
	物資不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食料、飲料水、毛布、粉ミルク(乳児用)、乳児用・大人用おむつ、簡易トイレ、トイレトペーパー、生理用品のほか、避難所の感染症対策やプライバシー確保のため、マスクやパーテーションなどの需要が発生する。</li> <li>○寒さ対策のため、避難所で暖房器具も必要となる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛布、粉ミルク、仮設トイレ、トイレトペーパーが不足する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○車やテントなど、避難所以外の施設に避難している人も多数おり、支援物資の不足状況の把握が困難になる。(⇒)</li> </ul>
	災害廃棄物発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路上などに障害物が発生。家屋だけでなく、自動車、樹木・材木等も災害廃棄物となる。</li> <li>○津波による堆積物も大量に発生。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○全壊した建物を中心に廃棄物が発生。</li> <li>○発生した廃棄物を処理するための輸送力、集積場所の確保が必要。</li> </ul>
	孤立集落	○浜通りの主要道路の被害や浸水する基幹道路の被害により、孤立集落が発生。		○一部地域では、迂回時間の長時間化により、迅速な手当を要する要救助者に対するヘリでの搬送が行われる。		
交通	緊急輸送道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●揺れによって全県で205箇所の緊急輸送道路に被害が発生。</li> <li>●いわき市、郡山市、福島市で10箇所以上の揺れによる緊急輸送道路の被害が発生。</li> <li>●いわき市、相馬市、南相馬市、新地町、浪江町では津波の浸水による被害も発生する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急輸送道路では交通規制により、緊急車両のみ通行可能となる。</li> <li>○細街路の閉塞による応急活動に支障。</li> <li>○地震被害に伴う道路閉塞、自動車による避難により、大規模な交通渋滞が発生。</li> </ul>		
	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>●揺れによる被害は全県で986箇所、津波による被害は24箇所発生し、運行を停止する。</li> <li>○鉄道の停止により、出社が困難となる通勤者が発生</li> <li>○被害のない路線でも、点検のため一時運休または当日は運休</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○不通となったエリアは、応急復旧作業や被害状況の把握及び復旧に向けた作業の準備が開始される。</li> </ul>
	港湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震強化岸壁を除き、県内の多くの港湾・漁港において、揺れ・液状化による岸壁の被害が発生。</li> <li>○設計を超える地震動による構造物の大きな被害や、津波による施設被害・航路障害等が発生。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路被害や渋滞の拡大により被災箇所へのアクセスが困難になる。</li> <li>○防波堤の被災が増加し港内の静穏度が低下する港湾が増加する。</li> </ul>
	空港	○滑走路の点検のため、一時運航停止。				○点検・緊急補修後、運航再開。
	電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●郡山市で約29万人、いわき市で約26万人、福島市で約15万人が停電の影響を受ける。そのほか停電は中通り及び浜通りに広域に発生し、全県では約126万人が停電の影響を受ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ライフライン断絶による生活支障が発生。</li> <li>○災害対策本部や病院等におけるライフラインのバックアップ機能が限界を超え、様々な活動支障が発生。</li> <li>○透析患者や重傷者等の搬送が喫緊の課題となる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●全県では、停電人口が約36万人となるが、依然郡山市では約12万人、いわき市では約7万6千人が停電の影響を受けている。</li> </ul>
ライフライン	上水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>●郡山市で約20万人、いわき市で約16万人、須賀川市で約5万人、福島市で約4万3千人が断水の影響を受ける。そのほか断水は県内広域に発生し、全県では約67万人が断水の影響を受ける。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○応急給水活動の実施。</li> <li>●復旧は若干進むも、依然全県で約63万人が断水の影響を受ける。</li> </ul>
	下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いわき市で約11万人、郡山市で約9万8千人、福島市で約2万8千人、須賀川市で約2万6千人が下水道の機能支障の影響を受ける。そのほか下水道被害は県内広域に発生し、全県では約37万人が下水道被害の影響を受ける。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●復旧は若干進むも、依然全県で約31万人が下水道の機能支障の影響を受ける。</li> </ul>
	都市ガス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市ガスの供給エリアにおいて供給停止は会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、本宮市、西郷村で発生。各市村の供給エリア全域の約15万戸が供給停止となる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●復旧が進まない。</li> </ul>
	LPガス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全県では約1万7千箇所で漏洩被害が発生。郡山市で約3千箇所、いわき市で2千5百箇所、福島市で1千8百箇所、会津若松市で1千3百箇所で被害。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○各需要家において安全確認次第復旧。(⇒)</li> </ul>
通信	固定電話	<ul style="list-style-type: none"> <li>●揺れによる家屋や通信設備などの被災によって、全県で約22万1千回線が不通となる。</li> <li>●国見町では9割以上、郡山市、須賀川市、桑折町、鏡石町、西郷村、楡葉町、新地町は8割以上の固定回線が不通となるなど、広域で障害が発生する。</li> <li>○固定電話は停電が発生してもしばらく通話できる可能性があるが、FAX搭載機やIP電話など、外部電源が必要な電話機は使えなくなる。</li> <li>○ただし、停電の影響を受けなくても、安否を確認しあう連絡等で輻輳が始まり、通信会社が通信規制を実施することで、つながりにくくなる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●全県で約6万3千回線が不通と不通回線が減ってきているが、依然、国見町で4割以上、須賀川市、郡山市、鏡石町、西郷村、楡葉町、新地町で3割以上の固定回線が不通。</li> </ul>
	携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> <li>○携帯電話は、一部を除き、基地局の機能が自家発電装置などにより生き残るため、停波による不通の影響はほとんどない。</li> <li>○ただし固定電話と同様に、安否を確認しあう連絡等で輻輳が始まり、通信会社が通信規制を実施することで、つながりにくくなる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○基地局のバックアップ電源の喪失に伴い、基地局の停波が発生。多くの市町村で携帯電話が繋がりにくい状態となる。</li> </ul>
その他被害	河川・ため池・ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浜通りに限らず県内広域にわたり河川堤防で、液状化によりクラックなどが発生する。西郷村の2つのダムが震度6強以上または液状化危険度が高いダムに該当する。南相馬市の187箇所、いわき市の178箇所、郡山市の133箇所のほか全県で1,258箇所の防災重点ため池で強い揺れや液状化によってクラックなどが発生する。場合によっては決壊等による漏水が発生するなどして、地震水害による被害が発生する。</li> </ul>				
	危険物施設	○浜通り地方の危険物施設で、破損等の被害、危険物の流出等の被害が発生する。		○毒性ガスや可燃性ガスが大量に漏洩した場合には、周辺に影響が及ぶ。		
	エレベーター	○浜通り地方の高層ビル、マンションで、運転中の地震の発生により、エレベータが停止し、一部で閉じ込めが発生する。				○被害が広域に及ぶため、点検・復旧に時間を要し、閉じ込め者の救出には少なくとも半日以上を要する。
	文化財	●震度6強以上の揺れによる倒壊あるいは焼失、津波による被害を受ける恐れのある重要文化財等は須賀川市、国見町、浪江町にある。				



表Ⅲ-11.2-16 被害シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時）（2）

①被害シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時（3.11とは異なり、避難開始が遅れ、寒さに加えて暗闇の中での避難となる季節時間帯））

		3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～	～数年後
地震動、津波		○全ての津波警報等が解除される。 ○津波警報等の解除後も、津波警報を再度発表することになる余震が発生。	○余震が次第に減少。			●定量データに基づく被害像 ○定性的な被害像	
建物被害	液状化						
	揺れ	○余震により、被害が進行する。					
	土砂災害	○余震により、被害が進行する。					
	津波						
	火災	○電力の復旧により、新たに通電火災が発生するおそれ。					
人的被害		○津波警報等の解除後、浸水域の救出活動が開始。 ○救出活動の収束後、遺体捜索・埋火葬対応へ移行するも、遺体安置所が不足する。	○高齢者や既往症があった人などが、慣れない環境での避難生活や、余震の恐怖による心身の負担などにより死亡したり、症状を悪化させたりする事例が多く発生する。口腔ケアの不足による誤嚥性肺炎や、車中泊の継続による静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)による突然死なども発生する。			○津波浸水により住家を失った避難者の避難は長期化する。 ○避難所生活の長期化に端を発し、震災関連死が発生する。	○震災に関連した自殺者は地震発生から時間が経過しても継続して発生する。
生活支障等	避難者	○生活環境の悪化が深刻化。 ○入浴施設の不足。 ○家が無事で戻る者もいるが停電、断水の継続により避難所へ行く者も増加。 ○親戚等を頼り、県外避難者が発生。	●1週間後の避難所避難者は80,074人。 ●1週間後の避難所外避難者68,313人。 ●多くの市町村でも被災日より避難者は増加する。 ○避難所生活者の一部が生活不活発病(廃用症候群)発症。 高齢者は認知症の症状を発症する方も出始める。 ○避難所でウイルス性の病気が蔓延する。		●1ヵ月後の避難所避難者は37,543人と依然として多い。津波の浸水による家屋の流失やライフライン復旧の長引化により、いわき市では20,992人が避難所避難者となる。 ○避難者は仮設住宅や公営住宅等への移動、ライフライン復旧・自宅の修理完了による帰宅を始める。一時的に被害の少ない周辺市への避難も増加する。 ○中長期にわたってPTSDへのケアを要する。		
	要配慮者	○要配慮者の避難所での生活における負担大。 ○福祉避難所の不足。	●被災1週間後には避難所に避難する要配慮者は全県で14,366人となる。 ○慢性疾患の悪化。		●被災1ヵ月後に、避難所に避難する要配慮者は減少するが、依然として全県で6,806人いる。特にいわき市、郡山市、相馬市に多い。 ○高齢者等における入院(病院)・入所(福祉施設)の長期化。 ○生活再建が困難な高齢者等が避難所に残される。		
	物資不足	●3日間合計で、約108万食の食料、約215万本の飲料水(500mlペットボトル)、約36万枚の毛布、約13万本の粉ミルク(乳児用)、約1万3千パックの乳児用おむつ、約5万パックの大人用おむつ、約3千6百張の簡易トイレ、約36万巻のトイレットペーパー、約9万8千パックの生理用品の需要が発生する。	○温かい食事などニーズ多様化。 ○応援物資は続々と被災地に届くが、マッチングがうまくいかず、古着や食料の廃棄の必要性が出てくる。				
	災害廃棄物発生	●約620万トンの災害廃棄物が発生。いわき市では約186万トン、郡山市では約125万トンの廃棄物が発生する。 ●津波浸水が発生する南相馬市で約103万トン、相馬市で約65万トン、新地町で約23万トン、全県で約245万トンの津波堆積物が発生する。			○周辺環境への汚染のおそれ、オープンスペースの不足などが課題になる。		
	孤立集落	○仮設道路の設置により、通行可となる集落も出てくる。				○集落への道路が復旧し、孤立集落も解消へ向かう。	
交通	緊急輸送道路	○緊急輸送道路が概ね復旧。 ○一部の地域での日常生活、経済活動の再開により、交通渋滞が激化。		○道路啓開が進み、徐々に交通基盤が復旧。			
	鉄道	○大規模な斜面崩壊によって線路に甚大なダメージを受けた在来線の復旧は遅れる。	○応急復旧作業中であり、不通のままである。 ○道路の復旧を待って、バスによる代替輸送が開始される。			○大きな被害を受けた箇所を除き、概ね全線で運転再開が完了する。	
	港湾	○津波による流出物が原因の航路障害は依然として続く。 ○道路啓開、津波堆積物の除去後、耐震強化岸壁や被害の少ない港湾から、応援物資の搬送が行われる。				○大きな被害を受けた箇所を除き、概ね復旧するが、防波堤被害の復旧などは長期化する。	
	空港						
	電力		●全県では、停電人口が約1万7千人となるが、依然いわき市では約1万1千人、相馬市で約2千人、郡山市で約1千2百人、南相馬市で約1千百人が停電の影響を受けている。		●全県では、停電人口が約1万3千人となる。いわき市で約9千9百人、相馬市で約2千人、南相馬市で9百9十人、新地町で2百7十人が停電の影響を受けている以外、概ね停電は解消する。		
ライフライン	上水道	○停電の影響により停止していた浄水場では、優先的な電力復旧により、浄水場の機能が徐々に回復する。 ○基幹管路の復旧が進む。	●全県の断水人口は依然約43万人。郡山市で約13万人、いわき市で約11万人、須賀川市で約3万4千人が断水。		●復旧が進み、全県の断水人口は約11万人となる。いわき市では依然約5万8千人、郡山市は約2万人が断水。多くの市町村は概ね断水は回復する。	○断水はほぼ解消。	
	下水道	○管渠・処理場等の応急対策が進められる。	●復旧が進むが、依然いわき市で約6万6千人、郡山市で約2万9千人、須賀川市で約1万人、全県で約14万人が機能支障。		●依然、いわき市で約5万2千人、相馬市で約6千人が機能支障の影響を受ける。全県で約7万1千人。	○下水道の機能支障はほぼ解消。	
	都市ガス		●復旧が進まない。		●被災市町の復旧はやや進み、供給停止率は、5割～8割程度になる。	○復旧は進み、概ね支障は解消。	
	LPガス				○復旧は進み、概ね支障は解消。		
通信	固定電話		●通信回線の復旧作業が進み、全県で3,053回線の不通となる。		●通信回線の復旧作業がさらに進み、全県で2,393回線の不通となる。	○復旧は進み、回線の不通は解消。	
	携帯電話	○依然、福島市などで携帯電話が非常に繋がりにくい状態が継続する。 ○被害の少ない市町村では、通信量が減少して徐々に通信規制が緩和され、つながりやすくなる。					
その他被害	河川・ため池・ダム	○ダム、ため池の点検・復旧が概ね完了。					
	危険物施設				○地震被害の範囲が広いため、点検及び修復に相当の期間を要する。		
	エレベーター						
	文化財						



表Ⅲ-11. 2-17 県民の行動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時）

②県民の行動シナリオ(想定東北地方太平洋沖地震:冬5時)

※(⇒)は継続を表す

災害拡大期			災害鎮静期			復旧・復興期				
発災期	地震発生直後	10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	1日後～	3日後～	1週間後～	2週間後～	1か月～
地震動、津波	●冬の朝5時ころ、海溝型の地震(M9.0)が発生。 ○全県の沿岸市町村に対して、大津波警報、津波警報が発令される。 ●県内で広く震度6弱～5弱の揺れが発生し、地盤の緩い地域では震度6強の揺れが発生。一部では震度7の揺れも発生する。 ●20mを超える浸水深となる地域もある津波が来襲。沿岸部には繰返し津波が押し寄せる。	○最大震度5弱～6弱の余震が発生。 ○津波警報等は依然継続。	○余震が頻発。	○全ての津波警報等が解除される。 ○津波警報等の解除後も、津波警報を再度発表することになる余震が発生。	○余震が次第に減少。					
	【自宅】 ・まだ周囲が暗い、早朝に突然、緊急地震速報が鳴り響く。 ・その後、少し時間が経過してから大きく揺れ始める。 ・はじめに縦揺れがあった後、ゆっくりとした揺れが長く続き、身動きが取れない人も多い。 ・棚が倒れたり、棚の中や机の上から物が落下、ガラス等が割れる。	【自宅】 ・一旦揺れが収まるが、室内の電気のスイッチを押しても電気がつかない(停電)。 ・スマートフォンを通じて、つながりにくいが震源などの情報が入る。	【自宅・避難所等】 ・火災が発生し、暗闇の中、赤い炎が見える。 ・夜明けとともに周囲の状況も分かるようになる。 ・メールやSNSなどは大幅に遅れて届く事態が発生する。 ・SNSを通じて、正確不明の情報が流れる。 ・ライフラインが停止し、人工呼吸器や透析等で在宅医療を受けている人の生命維持が困難となったり、自宅で日常生活をサポートする電動介護用ベッドなどの器具等が利用困難となる。	【自宅・避難所等：浸水域外】 ・浸水域外では、自主防災組織が中心となり、倒壊家屋からの救出作業を実施。 ・余震が発生し、救出作業は一時中断する。 ・余震が続く、自宅の建物被害等がなくても、不安等から車身高齢者や高層階居住者などを中心に、多数の住民が避難所等へ避難する。	【自宅・避難所等：浸水域外】 ・浸水しない地域でも、非常用発電機等が配備されていない場合や、発電機の燃料が枯渇した避難所では、テレビやスマートフォンによる情報収集や、照明、空調、避難所情報の管理に利用できない。 【避難所】 ・飲料水や食料の備蓄がなくなったり、避難所へ避難してくため、避難所が増加する。 ・自主防災組織が避難所運営に協力的な避難所では、避難スペースの割当や食料の配給などもスムーズに行われる。 ・一方、そうでない避難所では、後から来た人の避難スペースがなくなったため、通路が狭く避難所内の行き来が容易でなかったり、食料や物資の配給も早い者勝ちになるなどして、一部の避難者から苦情が出るケースも出てくる。 ・一部の避難所では、自衛隊が炊き出しや入浴支援を開始している。	【自宅～避難所】 ・自宅に避難していた者も食料や水の備蓄がなくなり、避難所へ物資をもらいにやってくる。 ・津波浸水域では、避難所の不足が顕著で、避難所以外に避難している人も多いため、そのような避難者へ十分な物資が回らない、暖房器具や燃料、粉ミルクやおむつなどの物資の不足が深刻である。 ・寒さから、風邪をひいたり、体調を崩す人が出はじめる。	【避難所】 ・飲み取り式の仮設トイレでは、貯留槽が満杯になり、処理作業を行うバキュームカーの不足等により、使用が困難になる。 ・避難所では足腰の弱い高齢者などが、トイレに行く回数や減らすために水分摂取を控えるなどして、エコノミークラス症候群を発症する。 ・避難所に避難者が入りきれない場合、他の地域の避難所への受け入れ調整が行われるが、広域的に被害が発生しているため、受け入れ可能な避難所の確保が困難となる。	【自宅・避難所等】 ・浸水した地域を除き、概ね電力は復旧し、電熱器具などの使用ができるようになる。 ・避難生活の長期化に伴い、避難所の周辺にでマイカーの中で避難生活を送っていた被災者などを中心に、エコノミークラス症候群や生活不活発病を発症する避難者が増加する。 ・バスが不足する避難所では、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症がまん延するところも出てくる。 ・ごみ収集・し尿処理収集の遅れ等により、避難所の生活ごみやし尿の回収されず、避難所の衛生状態が悪化する。 ・浸水していない地域では、一部の鉄道が復旧され、被災者も移動ができるようになる。 ・自治体による応急仮設住宅への入居希望調査が始まる。	【自宅・避難所・応急仮設住宅等】 ・被害認定調査結果を受けて、被災証明書が発行される。 ・被災者生活再建支援金の支給や税金の減免措置、義援金の配分など、各自自治体で被災者の生活再建を支援するための取組が進められる。 ・ファイナンスの確保が不十分な環境の中で、避難者の不安やストレスも大きくなる。 ・避難所の物資の持ち帰りや部外者の出入り、盗難や暴力行為等の様々なトラブルが発生する。 ・水不足や歯ブラシ等衛生用品の不足等から、口腔ケアができず、誤嚥性肺炎を発症する者が出てくる。	【自宅・避難所・応急仮設住宅等】 ・甚大な被害を受けた自治体では、ようやく被害認定調査の終了に目処が立つ。 ・被害認定調査の結果に不服を持つ被災者が再調査の依頼を行う。 ・仮設住宅での生活において、孤独感や慣れない生活環境による心身の不調をきたす者や、将来への悲観などから、自殺者が発生する場合がある。 ・ライフラインの復旧や公共交通機関の再開に伴い、避難所に避難していた避難者が、自宅や親戚・知人宅等へ移動する。

想定される 県民の行 動・県民 の行 動・県民
---

想定される大被害地域の行動・県民への影響

浜通り

【自宅：浸水域】  
・津波浸水想定区域では、揺れが収まると防寒着を着込んで避難の準備を始める。

【自宅～避難：浸水域】  
・津波浸水想定区域では、大津波警報が発表され、エリアメールが届くほか、遠くから防災行政無線やサイレンの音が聞こえる。  
・津波浸水想定区域では、パジャマに防寒具を着込んで、避難所等に急ぎ避難する人々の姿が見られる。  
・沿岸部の津波浸水想定区域に避難指示が発令される。  
・到達時間が早いと想定される地域では、避難所等に向かわず、近くの高台に移動する人もいる。  
・避難行動要支援者の中には、一人では避難先へ避難できず逃げ遅れてしまうケース、介助者等がいたとしても、車両、担架等の資機材が不足するため、避難誘導が困難なケースがあり、津波に巻き込まれてしまう可能性がある。

【自宅・避難所等：浸水域】  
・津波の第2波、第3波も襲来し、依然浸水域では津波警報が出されたままで、高層階の避難者は身動きが取れない。  
・電話で連絡を取ろうと試みるが、基地局の被災や通信制限、輻輳による影響でほとんどつながらない。

【自宅・避難所等：浸水域】  
・周囲が明るくなってきたり、津波浸水域で、高層階に避難して孤立した避難者がいることが報道へりにより取り上げられる。  
・津波により、鉄筋コンクリート等の頑丈な建物以外は全て流され、一面ガレキと泥にまみれる。  
・高層建物や高台に避難し、孤立している方が、へり等で救助され始めるが、追いついていない。

【市街地】  
・被災した建物や地盤に対して、応急危険度判定、被災宅地危険度判定調査が順次実施され、被害の程度によって赤・黄・緑の用紙(建物の場合)が貼付けられる。

【自宅・避難所等：浸水域】  
・津波警報が解除されてい間、救助隊によってボートやへりで浸水域の中で孤立した被災者の救出活動が行われる。



Ⅲ 被害想定について  
11. 被害シナリオ

表Ⅲ-11.2-18 対策活動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時）（1）

③対策活動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時） 活動体制・情報、交通・ライフライン、経済

			発災期 地震発生直後	災害拡大期 10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	災害鎮静期 1日後～
地震・災害事象等			・冬の朝5時ころ、海溝型の地震(Mw9.0)が発生。 ・全県の沿岸市町村に対して、大津波警報、津波警報が発令される。 ・県内で広く震度6弱～5弱の揺れが発生し、地盤の緩い地域では震度6強の揺れが発生。一部では震度7の揺れも発生する。 ・20mを超える浸水深となる地域もある津波が来襲。沿岸部には繰返し津波が押し寄せる。			・最大震度5弱～6弱の余震が発生。 ・津波警報等は依然継続。		・余震が頻発。
想定被災者行動			・浜通りの市町村を中心に多くの住民が被災	・浸水域では避難警報等を受けて、浸水域外への避難が行われる。就寝中の被災者も多く、防寒具を身に着けて暗闇の中を避難 ・浸水域外でも防災行政無線で避難等についての情報を入手 ・消防機関へ救急や消火要請の電話が殺到	・自主防災組織を中心に初期消火活動や倒壊建物の下敷きになった住民に対する救出作業を開始 ・負傷者の手当てや搬送の実施 ・津波が襲来して、逃げ遅れて、高層階への避難者が多数孤立	・自主防災組織による救出活動の継続 ・避難所へ避難する住民が増える ・倒壊家屋からの救出作業が進み、いわき市を中心に救出された負傷者が増加 ・津波浸水域では、高層階の避難者は依然孤立	・ライフライン断絶のため、自宅の被害がない住民も食料や水を求めて避難所へ行く	・全半壊を免れた建物の室内片づけを開始→廃棄物増加
想定される対策活動	国		・官邸対策室設置	・自衛隊の近傍災害派遣の開始 ・道路、空港、港湾等の被災情報の収集	・災害派遣要請による自衛隊派遣 ・近隣県の緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の出動要請	・内閣府に災害対策本部を設置 ・国民に対する被害情報の発表 ・内閣府調査チーム、災害時情報集約支援チーム(ISUT)が福島県庁到着	・国交省：災害対策派遣隊(TEC-FORCE)による被害調査 ・総務省：地方公共団体へ人的支援の要請	・大臣等による現地視察 ・政府調査団の派遣 ・経産省：支援物資等の提供要請
		活動体制 情報	・震度速報・津波警報の受信 ・職員の非常参集 ・一部職員の負傷 ・被害が大きく、県庁内は混乱 ・県庁舎全館停電	・県災害対策本部・地方本部の設置 ・指定職員が事務局参集 ・事務局会場設営 ・情報通信手段の確認 ・通信連絡網の確立 ・NTTに回線増設依頼 ・被害状況即報(第1報)取りまとめ ・関係機関への通知 ・地方本部との連絡体制整備 ・職員登庁先、安否確認(発災から6時間以内までに完了する。) ・職員家族の安否確認 ・知事メッセージ ・原子力発電所の情報収集(原子力班) ・事故現地警戒本部(OFC)等との連絡体制確立(原子力班) ・自衛隊リエゾンとの事前調整(救助、給水等) ・第1回本部員会議開催 ・災害救助法の適用調整 ・災害救助法4号適用の検討 ・海域被害情報収集 ・自衛隊災害派遣要請の準備 ・連絡員の本部派遣依頼 ・リエゾン職員を市町村に派遣	・被害状況即報取りまとめ(以降、2時間毎～本部会議に合わせて適時) ・職員は登庁途上で被害情報収集 ・自衛隊への災害派遣要請 ・県内広域応援隊による消火、救助活動 ・消防防災ヘリ情報収集出動 ・ヘリによる情報収集 ・消防庁(緊急消防援助隊)、広域応援ヘリ、国、自治体、知事会等への応援要請と受入体制の整備 ・自衛隊作業計画作成 ・広域救急救助隊要請 ・被害、対策関係HPの立ち上げ ・県民への広報 ・災害救助法の適用 ・内閣府への災害救助法適用の報告 ・市町村への災害救助法適用の報告 ・各種公共施設の安全対策 ・第2回本部員会議開催(以降、適時開催) ・リエゾンルーム確保 ・定期的な情報収集 ・使用可能な通信手段の通知 ・リエゾン職員による情報収集 ・ヘリからの災害情報提供 ・定期的な被害報告 ・倉庫業協会の本部参画(救援物資関連) ・トラック協会の本部参画	・リエゾン職員から画像データ入手 ・被害情報とともに安心情報の発信 ・広域応援の受入準備 ・国、関係機関のリエゾン職員受入 ・応急復旧作業 ・アマチュア無線協力依頼 ・ミラーサーバー等の設置 ・被害情報の確認 ・市町村からの応援要請 ・自衛隊現地本部への職員派遣 ・関係省庁連絡会議(以降、適時開催) ・県内被害情報の収集整理(⇒)	・災害救助法の適用(追加) ・国への被害状況報告(⇒) ・内閣府への災害救助法適用の報告 ・市町村への災害救助法適用の報告 ・死者、行方不明者の氏名公表の検討及び公表 ・知事の現地視察及び視察先の検討、調整 ・市町村への応援職員派遣 ・孤立化地域への支援体制の確立	・広域応援職員受入 ・本部会議の開催頻度検討(1回/日) ・大臣等の視察対応、国への要望 ・県議会からの要望対応 ・県の応急対策方針等の明確化および対策実施の指示
		交通 ライフライン		・福島空港の24時間運用開始 ・被害情報(救急輸送(港湾・空港))の収集	・道路、港湾、漁港等の被災情報の収集→災対本部へ被害報告 ・ライフライン関係機関との情報連絡体制の確立 ・緊急輸送路の確保 ・交通規制実施、周知 ・物資受入機能の回復 ・ヘリ臨時離着陸場の使用可能状況調査 ・使用可能車両(トラック・バス)の把握と確保	・建設業者との連絡調整、復旧作業のための資機材及び人員の確保 ・緊急輸送車両の確保 ・緊急通行車両証明書発行 ・ライフライン被害状況の広報 ・電子メール等の通信網徐々に回復 ・インターネット復旧 ・緊急輸送物資受入 ・上水道の広域復旧支援要請 ・支援物資輸送 ・臨時電話の設置 ・県管理道路の被害状況の把握(⇒)	・津波浸水域を除き、浜通り地方で被害を受けた緊急輸送道路の優先的復旧開始 ・高速道路無料化対応(災害派遣車両) ・高速道路使用無料措置の調整	・輸送拠点の開設、運営 ・応急復旧体制の確立、建設機械等の調達 ・警察等による交通整理の実施 ・ライフライン復旧の見通しについて広報 ・福島空港が災害時拠点施設、広域搬送拠点に指定 ・ガソリン等の供給要請 ・水道被害・応急給水状況確認
	市町村等	経済						
		浜通り（大被害地域）	【市町村】 ・震度速報、津波警報の受信 ・災害対策本部の設置 ・沿岸住民への津波警報の伝達 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・職員の非常参集 ・職員の安否確認 ・職員家族の安否確認 ・消防機関の出動 ・避難場所の確保 【住民】 ・自主防災組織の活動開始	【市町村】 ・自宅にいた職員が登庁 ・(県へ)被害第1報報告 ・被害状況調査(上水道、下水道) 【関係機関】 ・県へ被害報告 ・空港ビル安全確保 【ライフライン事業者】 ・電話輻輳のため通話規制開始 ・災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板(携帯電話)等の運用を開始 ・被害状況調査(電力施設、ガス施設、鉄道施設、放送施設) ・被害状況収集(電気通信施設) ・ガス供給停止措置 ・鉄道の乗客利用者の安全な誘導 ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・災害情報、避難呼びかけ等の速やかな放送(放送施設)	【市町村】 ・職員は登庁途上で被害情報収集 ・参集者による活動体制調整 ・県に対して概況速報報告、救援要請 ・県に自衛隊の派遣要請 ・避難所開設の要員確保、自主防災組織との協力 ・災害対応ホームページ掲載 ・災害情報の掲載 ・上水道の応急対策状況の広報 ・重要な上水道から復旧作業 【ライフライン事業者】 ・被害状況の確認、行政へ被害速報 ・復旧作業員の招集 ・NTT緊急通話確保 ・応急対策状況の広報(電力施設、ガス施設) ・応急復旧作業(電力施設、ガス施設) ・鉄道運行状況の広報 ・鉄道利用者の避難所への誘導 ・優先順位により通信の回復(電気通信施設) ・災害情報、被災者向け情報の適時適切な発信(放送施設) 【自衛隊】 ・自衛隊ヘリ情報収集、自主派遣	【市町村、関係機関、企業】 ・被害情報の共有 【市町村】 ・県への被害報告 ・人員不足のため全ての被害への対応困難 ・住民に被害状況伝達(防災行政無線) ・上水道応急対策に関して、日本水道協会への要請 ・災害救助法に関して県からの情報提供 ・死亡者・行方不明者等の氏名公表に係る遺族等の意向確認 【ライフライン事業者】 ・被害状況の行政への連絡 ・市町村の災害対策本部へ職員派遣 ・伝言ダイヤル等活用周知 ・応急復旧作業(鉄道施設) ・鉄道不通区間の再開見通し広報	【市町村、関係機関、企業】 ・死者・行方不明者の氏名公表要件の確認 ・要件確認後、順次氏名公表 【市町村】 ・現有人員による被害対応体制の調整(優先度の確認) ・県を通じ他自治体に応援派遣要請 【関係機関、企業】 衛星通信システム配備 【ライフライン事業者】 ・応急復旧体制の立ち上げ ・復旧計画策定(下水道)	【市町村】 ・災害救助法に基づく活動展開 ・ライフライン等の復旧状況、見通しについて住民に広報 ・ボランティアの受け入れ、当初は混乱 ・県や他自治体からの応援人員受入、調整 【ライフライン事業者】 ・人員、資機材等の確保 ・応急復旧作業開始 ・復旧の見通しについて行政に連絡 ・LFPは安全確認次第復旧
		上記以外の地域	【市町村】 ・震度速報の受信 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 ・住民への速やかな避難指示・誘導	【市町村】 ・被害状況を確認し、住民へ速報 ・(県へ)被害第1報報告 ・被害状況調査(上水道、下水道) 【関係機関】 ・県へ被害報告 ・空港ビル安全確保 【ライフライン事業者】 ・被害状況調査(電力施設、ガス施設、鉄道施設、放送施設) ・被害状況収集(電気通信施設) ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・行政への被害速報 ・ガス供給停止措置 ・鉄道の乗客利用者の安全な誘導 ・災害優先電話の通信確保(電気通信施設) ・災害情報、避難呼びかけ等の速やかな放送(放送施設)	【市町村】 ・被害情報収集、県に報告 ・災害対応ホームページ掲載 ・災害情報の掲載 ・上水道の応急対策状況の広報 ・重要な上水道から復旧作業 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【ライフライン事業者】 ・安全確認後、ライフライン復旧 ・被害地域は、応急復旧体制の立ち上げ ・NTT緊急通話確保 ・応急対策状況の広報(電力施設、ガス施設) ・鉄道運行状況の広報 ・鉄道利用者の避難所への誘導 ・優先順位により通信の回復(電気通信施設) ・災害情報、被災者向け情報の適時適切な発信(放送施設) 【自衛隊】 ・自衛隊ヘリ情報収集、自主派遣	【市町村、関係機関、企業】 ・被害情報の共有 【市町村】 ・県に被害状況の報告 ・自宅を失った住民の情報収集 ・上水道応急対策に関して、日本水道協会への要請 【関係機関】 ・死亡者・行方不明者等の氏名公表に係る遺族等の意向確認 【ライフライン事業者】 ・復旧の見通しについて行政に連絡 ・応急復旧作業(鉄道施設) ・鉄道不通区間の再開見通し広報	【市町村】 ・浜通り地方に対する応援職員の派遣検討 【ライフライン事業者】 ・復旧状況、復旧予定時期を行政に連絡 ・復旧計画策定(下水道)	【市町村】 ・浜通り地方へ応援職員の派遣 【ライフライン事業者】 ・復旧作業完了後、復旧要員の一部を大被害地域へ派遣



表Ⅲ-11.2-19 対策活動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬5時）（2）

③対策活動シナリオ(想定東北地方太平洋沖地震:冬5時) 活動体制・情報、交通・ライフライン、経済				※(⇒)は継続を表す					
				復旧・復興期					
				3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～数年	
地震・災害事象等				・全ての津波警報等が解除される。 ・津波警報等の解除後も、再度発表することになる余震が発生。	・余震が次第に減少。				
想定被災者行動				・応急危険度判定により安全が確認された住宅の被災者は、ライフライン復旧に比例し、順次帰宅 ・飲料水から生活用水へとニーズが拡大	・全半壊の建物を除き、概ね片づけを終了 ・全半壊建物における再建方法を思案 ・観光客の帰宅	・身体的精神的に疲労が蓄積 ・全半壊住宅の被災者の自力による転居が増加	・避難所に残っていた被災者が仮設住宅等への入居を開始		
想定される対策活動	国					・緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣解除	・復旧・復興に関する会議を開催 ・激甚災害の指定	・自衛隊の撤収	
	県	活動体制 情報		・激甚災害指定の見直し把握 ・業務量に応じ本部体制の見直し ・降雨による河川、斜面等の二次災害への警戒	・本部会議の開催頻度検討(2、3回/週) ・県内の復旧情報の収集整理及び災害復旧体制の整備(⇒) ・国への復旧状況報告(⇒) ・帰宅困難者への帰宅支援	・本部会議の開催頻度検討(1回/週) ・災害廃棄物処理基本方針の決定 ・復興基金の検討 ・身元不明者情報のHP掲載開始 ・義援金品の配分委員会を組織	・復興計画策定体制の確立 ・「福島県震災復旧・復興本部」設置 ・他都道府県・県外市町村からの中長期派遣職員受入開始(順次)	・自衛隊の撤収要請 ・追悼式 ・福島県復興に関する展示開始	
		交通 ライフライン		・緊急輸送計画の作成 ・県管理道路の応急復旧開始 ・ライフラインの復旧状況、地区別の復旧予定時期について広報 ・被災港湾の一部供用開始 ・工業用水の復旧方法検討			・約2ヵ月で津波浸水域を除く緊急輸送道路の応急復旧が概ね完了	・県管理道路について、応急復旧の継続 ・津波浸水域では、市町村と連携して復興計画に基づく道路整備を実施 ・県内の水道復旧状況の把握(概ね復旧が完了)	
		経済		・産業関係被害の情報収集 ・物価の監視	・被災中小企業、農林水産業者等への援助、助成措置の広報	・税の減免	・融資の実施 ・天災資金の予算化	・事業所、商店街等の復興PR等実施 ・義援金配分	
	市町村等	浜通り（大被害地域）		【市町村】 ・二次災害への警戒 【ライフライン事業者】 ・応急復旧の本格化 ・復旧状況、復旧予定時期を行政に連絡 【ライフライン事業者】 ・通信回線が復旧	【市町村】 ・県、国への復旧支援要請 ・復旧状況についての広報 ・被災中小企業、被災農林水産業者等に対する援助、助成措置について広報 ・被災者一人ひとりへのケア体制の整備 【ライフライン事業者】 ・津波浸水域を除き電力が復旧	【市町村】 ・対策実施状況に応じた人員構成の再調整 ・上水道が復旧 【ライフライン事業者】 ・津波浸水域を除き都市ガスが復旧	【市町村】 ・災害対策本部廃止、災害復興本部(仮称)設置	【市町村】 ・県に対し、自衛隊の撤収要請 ・下水道について応急復旧の継続	
		上記以外の地域		【市町村】 ・応急対策にめどが立つ ・災害対策本部廃止、警戒本部設置 【ライフライン事業者】 ・応急復旧完了	【市町村】 ・復旧復興対策へと移行し、人員配置を変更 ・警戒本部廃止			【市町村】 ・浜通り地方へ応援職員の派遣継続、復興支援	



Ⅲ 被害想定について  
11. 被害シナリオ

表Ⅲ-11. 2-20 対策活動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬５時）（３）

④対策活動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬５時） 救出・救急・医療・福祉、避難・救援、住宅

			発災期 地震発生直後	災害拡大期 10分後～	1時間後～	3時間後～	12時間後～	災害鎮静期 1日後～
地震・災害事象等			・冬の朝5時ころ、海溝型の地震(Mw9.0)が発生。 ・全県の沿岸市町村に対して、大津波警報、津波警報が発令される。 ・県内で広く震度6弱～5弱の揺れが発生し、地盤の緩い地域では震度6強の揺れが発生。一部では震度7の揺れも発生する。 ・20mを超える浸水深となる地域もある津波が来襲。沿岸部には繰返し津波が押し寄せる。			・最大震度5弱～6弱の余震が発生。 ・津波警報等は依然継続。		・余震が頻発。
想定被災者行動			・浜通りの市町村を中心に多くの住民が被災 ・消防機関へ救急や消火要請の電話が殺到 ・電話やメールによる家族等の安否確認	・防災行政無線で避難等についての情報を入手 ・自主防災組織を中心に初期消火活動や倒壊建物の下敷きになった住民に対する救出作業を開始	・自主防災組織による救出活動の継続 ・負傷者の手当てや搬送の実施	・自主防災組織による救出活動の継続 ・避難所へ避難する住民が増える ・倒壊家屋からの救出作業が進み、浜通りの市町村を中心に救出された負傷者が増加	・ライフライン断絶のため、自宅の被害がない住民も食料や水を求めて避難所へ行く	・全半壊を免れた建物の室内片づけを開始→廃棄物増加
想定される対策活動	国		・官邸対策室設置	・自衛隊の近傍災害派遣の開始	・厚労省：DMATの派遣 ・災害派遣要請による自衛隊派遣 ・近隣県の緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の出動要請	・内閣府に災害対策本部を設置 ・自衛隊：大被害地域での救出、搬送活動を開始 ・救助救急活動用の資機材の確保 ・厚労省：広域後方医療活動の総合調整	・自衛隊、海上保安庁：航空機による患者搬送 ・厚労省：医療体制確保を関係団体に要請 ・国交省：災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による被害調査	・経産省：支援物資等の提供要請 ・厚労省：心のケア対策として専門家を現地派遣
		救出救急医療福祉		・情報収集(救助救急の必要状況) ・県立病院での受入体制確保および医療救護班派遣準備	・要救出救助現場の把握→緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣要請 ・市町村からの応援要請に対応 ・医療救護班の派遣及び医療機関への派遣要請 ・DMATの派遣要請 ・トリアージの実施	・災害拠点病院を中心に、救護活動の実施、支援 ・緊急医療活動情報の集約 ・緊急輸送ルート、手段の確保 ・医薬品・医療機器等の供給 ・DMAT等調整本部の設置 ・SCU（広域医療搬送拠点）本部設置 ・ドクターヘリ調整本部設置 ・緊急消防援助隊の活動調整	・県外の後方医療機関との調整 ・医薬品、資機材等が不足の場合、隣接県、厚労省に協力要請 ・孤立集落からの重傷者の搬送（航空輸送による）	・市町が行う要支援者対策への支援 ・国へ県外からの保健師等の派遣斡旋要請 ・ヘルパー、ボランティア等の応援派遣 ・カウンセラー、相談員等の巡回
		避難救援	・報道機関を通じ、県民や観光客へ避難等の呼びかけ(⇒) ・各拠点庁舎から職員一時退避、安全が確認され次第、県災害対策本部設置	・避難誘導 ・救助活動	・避難用輸送手段の確保 ・救援物資受入拠点の選定 ・個人等の物資受入辞退周知	・市町村からの各種救援要請に対応 ・広域避難の調整 ・断水による仮設トイレ調達 ・避難所等への仮設トイレ設置 ・レンタル業者に仮設トイレ等の調達要請 ・DMAT、広域援助体制による救援活動 ・支援物資要望への対応（備蓄品） ・避難所への人的支援の調整 ・2次避難所の検討開始 ・旅館ホテル等の2次避難所開設要請 ・食糧必要数の情報収集 ・協定先との協議（救援物資） ・外国人向け相談窓口、インターネット情報掲載 ・義援物資要請取りまとめ公表	・農政局に食糧の供給要請 ・市町の依頼による給水応援 ・協定先から支援物資調達、配送 ・入浴支援に関する自衛隊との調整（入浴施設派遣要請） ・避難所への人的支援開始 ・警備業協会へ警備員派遣要請 ・義援金受付口座公表	・必要物資の把握、生活必需物資の確保・調達、ボランティアの調整及び支援を実施(⇒) ・観光客の把握 ・被災ペットの保護活動実施(⇒) ・旅館、公共施設等入浴施設への協力要請
	県	住宅		・被災建築物応急危険度判定支援本部設置			・応急仮設住宅の必要戸数把握 ・建築基準法第85条第1項に基づく区域指定（仮設建築物に対する制限を緩和する区域）	・住家被害認定調査の支援調整 ・廃棄物集積場検討への支援 ・仮置き場(災害廃棄物)の巡回指導開始 ・耐震診断判定委員会等による被災状況調査 ・罹災証明書の発行に係る市町村説明会の開催 ・応急仮設住宅（建設型、賃貸型）の供給計画の作成 ・下水道応急復旧作業
		浜通り（大被害地域）	【市町村】 ・沿岸住民への津波警報の伝達 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 【医療機関】 ・停電した場合、非常用電源切替 【住民等】 ・家族の安否確認 ・地域による声かけ、避難誘導 ・救出が必要な場合、消防等に連絡 【自主防災組織】 ・住民、要支援者の避難誘導	【市町村】 ・情報収集(救助救急状況) 【消防】 ・消火の実施 【医療機関】 ・被災状況、入院患者の安否確認、入院患者転院、負傷者対応の準備を実施 【自主防災組織】 ・初期消火活動 ・住民の安否確認、救出、救急救助活動(⇒)	【市町村】 ・救出活動の応援要請 ・避難所開設(要員確保、自主防災組織との協力)、周知 ・県内広域応援による消火活動 ・県内広域応援隊による救急活動 ・福祉避難所の運営 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【消防】 ・医療機関へ負傷者の搬送 【医療機関】 ・DMATの派遣 ・医療機関の被災により、入院患者について近隣医療機関へ転院を開始 ・ライフライン応急復旧の要請 【自主防災組織】 ・避難所での避難受入、整理 【関係機関】 ・巡視船、航空機による海上警戒、行方不明者等の搜索 【自衛隊】 ・応急給水開始	・救援活動開始 【市町村】 ・避難所自主運営組織の確立 ・救護班の要請、救護所設置 ・避難所に仮設トイレの設置 ・避難所における要支援者への配慮（配食、トイレ等への配慮） ・県等への避難所設置要請 ・避難状況の把握 ・社会福祉施設等へ受入要請 ・(トラック・バスによる)避難者等輸送 ・備蓄品による供給 ・生活必需品の必要数収集 ・毛布等の避難所への提供 【消防】 ・救出救助活動の継続 ・重傷者を後方医療機関へ転送する必要がある、ヘリコプターの派遣要請 【医療機関】 ・医療救護班編成、現地での救護(トリアージの実施) ・災害拠点病院における重篤救急患者の救命医療 ・医療機関相互の密接な情報交換 ・浜通り地方の大被害エリアで受入困難→転送先確保	【市町村】 ・（協定先から）食料、一般的生活必需品の供給及び避難者へ提供 ・食料、飲料水、生活必需品、仮設トイレ等の不足→救援物資の要請 ・避難所でのペット対策 ・要支援者の把握、福祉避難所の状況確認、受入先確保 ・帰宅困難者を一時避難所、一時宿泊施設へ誘導 ・災害廃棄物の仮置き場の設置 ・応急仮設住宅の必要戸数把握 【消防】 ・救出、搬送活動の実施 ・重傷者の域外転送	【市町村】 ・行方不明者搜索 ・ボランティアセンター設置 ・一般ボランティア、専門ボランティアの受入開始 ・建物応急危険度判定士の派遣要請 ・要支援者を福祉避難所へ移動 ・廃棄物集積場の検討 ・住家の障害物除去 ・小規模避難所の集約（コロナに配慮） ・避難所の生活環境改善 ・建設型応急住宅、賃貸型応急住宅計画の方向性作成 ・ニーズに応じた物資の提供 ・応急復旧作業 【消防】 ・重傷者の域外転送 【自主防災組織】 ・炊き出しの実施 ・自力で可能な救出活動は終了 【自衛隊】 ・自衛隊による入浴支援
		上記以外の地域	【市町村】 ・住民への速やかな避難指示、誘導 ・防災行政無線等により住民に呼びかけ(⇒) ・緊急速報メール、SNS等による避難指示、情報発信 ・避難場所の確保 【住民】 ・地域による声かけ、避難誘導 【自主防災組織】 ・住民、要支援者の避難誘導	【消防】 ・救出活動、負傷者の搬送 【自主防災組織】 ・初期消火活動 ・被災状況の把握、救出、救急活動の実施	【市町村】 ・避難者発生地域は、避難所を開設、周知 ・県内広域応援による消火活動 ・県内広域応援隊による救急活動 ・福祉避難所の運営 ・給水活動に関する自衛隊との調整 【消防】 ・医療機関へ負傷者の搬送 【医療機関】 ・負傷者の手当て 【関係機関】 ・行方不明者等の搜索 【自衛隊】 ・応急給水開始	【市町村】 ・避難所自主運営組織の確立 ・仮設トイレの設置 ・県等への避難所設置要請 ・避難状況の把握 ・社会福祉施設等へ受入要請 ・(トラック・バスによる)避難者等輸送 ・備蓄品による供給 ・生活必需品の必要数収集 ・毛布等の避難所への提供 【消防】 ・浜通り地方への応援出動	【市町村】 ・協定先から食料・物資供給 ・一般的生活必需品の提供 ・避難者に食料等の提供 ・物資不足地域は供給要請 ・浜通り地方への物資提供の検討 ・応急仮設住宅の必要戸数把握	【市町村】 ・被災者への住宅提供の検討 ・公営住宅等の空家確認 ・浜通り地方への救援物資の提供 ・小規模避難所の集約（コロナに配慮） ・避難所の生活環境改善 ・建設型応急住宅、賃貸型応急住宅計画の方向性作成 ・ニーズに応じた物資の提供 ・応急復旧作業 【自衛隊】 ・自衛隊による入浴支援



表Ⅲ-11.2-21 対策活動シナリオ（想定東北地方太平洋沖地震：冬５時）（４）

4)対策活動シナリオ(想定東北地方太平洋沖地震:冬5時) 救出・救急・医療・福祉・避難・救援、住宅

※(⇒)は継続を表す

			復旧・復興期				
			3日後～	1週間後～	2週間後～	1ヵ月～	3ヵ月～数年
地震・災害事象等			・全ての津波警報等が解除される。 ・津波警報等の解除後も、再度発表することになる余震が発生。	・余震が次第に減少。			
想定被災者行動			・応急危険度判定により安全が確認された住宅の被災者は、ライフライン復旧に比例し、順次帰宅 ・飲料水から生活用水へとニーズが拡大	・全半壊の建物を除き、概ね片づけを終了 ・全半壊建物における再建方法を思案 ・観光客の帰宅	・身体的精神的に疲労が蓄積 ・全半壊住宅の被災者の自力による転居が増加	・避難所に残っていた被災者が仮設住宅等への入居を開始	
想定される対策活動	国		・文科省:学校施設の安全点検	・厚労省:健康相談窓口を設置	・文科省:スクールカウンセラーの派遣 ・緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊の派遣解除	・総務省:特別行政相談所を被災地に順次開設	・自衛隊の撤収
	県	救出救急医療福祉	・避難所における栄養管理の必要な人に対する周知ポスターの掲示 ・避難所等における感染症・食中毒の発生防止パンフレット作成 ・県外保健師等の応援派遣受入れ調整 ・支援医薬品等集積所の運営 ・自衛隊による医薬品搬送開始		・PTSDへのケアの実施(⇒) ・県内保健師の沿岸部市町へ応援派遣 ・薬剤師派遣要請		・子供の心のケア事業開始 ・病院・診療所等災害復旧事業 ・被災者健康サポート事業(被災市町村の専門職確保支援等)開始 ・女性のための電話相談ふくしま開設
		避難	・被災者生活再建支援法の適用 ・市町を通じて要支援者の把握→福祉避難所の確保 ・孤立集落への物資の航空輸送(⇒) ・県域災害ボランティアセンター設置 ・旅館ホテル等の2次避難所への避難開始 ・生活再建支援に関する施策情報の提供(ガイドブック作成)	・食品衛生監視員による現地指導 ・入浴施設確保への支援 ・帰宅困難者への帰宅支援 ・「電話・メールの問い合わせ窓口」設置 ・避難所に県職員派遣	・海外からの救援物資、資金援助受入れ対応 ・緊急小口資金特例貸付開始 ・栄養・食生活支援等開始 ・介護保険にかかる保険料・利用者負担・食費・居住費の減免開始 ・「金融相談窓口」「労働相談窓口」設置 ・市町村への義援金の配分		・生活支援相談員配置 ・各種基金・給付金等の設置・給付開始 ・介護保険にかかる保険料・利用者負担の減免の原則終了
		救援					
		住宅	・建物応急危険度判定の開始 ・公営住宅等の空家確認 ・仮設住宅資材の確保 ・自衛隊、事業者による仮置き場(災害廃棄物)搬入 ・住家被害認定調査の人的支援開始 ・応急仮設住宅(賃貸型)の入居開始 ・応急仮設住宅(建設型)の着工(状況に応じて随時着工) ・救助法による応急修理実施要領の検討	・市町と連携し、がれき処理の検討 ・被災者住宅再建支援制度の適用 ・県独自の住宅修理支援策の検討	・応急仮設住宅入居者決定(要支援者優先、コミュニティ配慮) ・「被災者住宅入居相談窓口」設置 ・民間賃貸住宅借上げ制度の運用開始 ・罹災証明書の発行(1次)終了 ・県独自の住宅修理支援策の公表		・長期避難者等の生活拠点の検討のための協議会 ・県内自主避難者に対する借上住宅支援開始
	市町村等	浜通り（大被害地域）	【市町村】 ・降雨により土砂災害危険が高い地域へ避難指示 ・被災者に関する情報のデータベース化 ・被災動物対策 ・入浴施設の確保 ・避難所でのプライバシー確保、要配慮者や女性への配慮 ・義援金の受付 ・仮設住宅建設の用地確保 ・公営住宅等の空家確認 ・仮設住宅入居時期や手続きについての広報 ・各種相談窓口の設置 ・こころのケア(⇒) ・ホームヘルパー等の巡回による健康相談(⇒) ・近隣自治体の協力により広域的な火葬の実施 ・住家被害認定調査開始→罹災証明書の発行 ・応急仮設住宅(建設型)の着工(状況に応じて随時着工) 【消防】 ・救出救助活動の収束→遺体捜索へ移行	【市町村】 ・災害対策広報の作成、配布 ・被災者の心身不調への対応 ・応急仮設住宅入居申込の受付 ・一部の被災者を公営住宅等に受入 【自主防災組織】 ・避難所の自主運営	【市町村】 ・学校等の再開 ・被災者生活再建支援法等に関する説明会の実施 ・被災者に対する住宅復興支援等、市町独自の金銭的支援策の決定 ・1次避難所の廃止 ・罹災証明書の発行(1次)終了	【市町】 ・応急仮設住宅入居開始	【市町】 ・仮設住宅入居等による避難所の縮小
上記以外の地域		【市町村】 ・一時避難者(要配慮者)受入施設の確保及び受入 ・住家被害認定調査開始→罹災証明書の発行 ・応急仮設住宅(建設型)の着工(状況に応じて随時着工)	【民間】 ・日帰り入浴の受入	【市町村】 ・1次避難所の廃止 ・一部の被災者を公営住宅等に受入	【市町】 ・残りの避難所についても閉鎖		